



平成 7 年

感染症サーベイランス事業年報

平成10年 3 月



厚生省保健医療局結核感染症課

東京都新宿区戸山一丁目三十一番

国立感染症研究所附属図書館

はじめに

本事業は、近年、新たに問題となっている感染症や、迅速な対応を必要とする感染症を対象として始めてから17年目を迎えますが、現在までに集められ解析されてきた多くの資料は、その時々々の保健医療現場での活用にとどまらず、学問的にも貴重な情報として注目されています。

しかし、対象疾病、収集情報の内容、還元情報の内容等、今後とも検討すべき点があり、常に点検を加えながら絶えず前進して行かねばならないと考えております。

本事業の推進にあたって、全国でご協力をお願いしている定点医療機関の方々をはじめ、関係各位の皆様のご並々ならぬご努力に対して、心より感謝の意を表しますとともに、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。

昭和62年1月からオンラインシステムの導入により、本事業が、情報の収集・還元において、わが国の感染症の患者発生状況の迅速な把握及びこれらの疾患に対する有効・的確な予防対策の確立に大きく貢献していくものと確信しております。これもひとえに情報解析小委員会の先生方のご協力のたまものであり、ここに誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成10年3月

厚生省保健医療局結核感染症課長
岩 尾 總 一 郎

◎情報解析小委員会委員名簿

(アイウエオ順)

班	氏名	所属
小児・内科	青木 功喜	日本眼科医会公衆衛生委員
眼科班	飯野 四郎	聖マリアンナ大学教授
	大野 重昭	横浜市立大学医学部教授
	神谷 齋	国立療養所三重病院長
	○木村 三生夫	筑波病院長
	鈴木 宏	山梨医科大学長
	養輪 眞澄	国立公衆衛生院疫学部長
性感染症班 (STD班)	大里 和久	大阪府万代診療所長
	川名 尚	東京大学医学部付属病院教授
	熊本 悦明	札幌医科大学名誉教授
	橋爪 壮	(勳)日本ポリオ研究所理事長
病原体情報班	井上 榮	国立予防衛生研究所感染症疫学部長
	倉科 周介	東京都立衛生研究所長
	中村 明子	国立予防衛生研究所細菌部 外来性細菌室長
	柳川 洋	自治医科大学公衆衛生学教授
	山崎 修道	国立予防衛生研究所長

○印は委員長

目 次

第1章 各疾病の動向	1
I 小児科・内科定点、病院定点の感染症	6
1. 麻疹様疾患	7
2. 風しん	11
3. 水痘	15
4. 流行性耳下腺炎	19
5. 百日せき様疾患	23
6. 溶連菌感染症	27
7. 異型肺炎	32
8. 感染性胃腸炎	36
9. 乳児嘔吐下痢症	41
10. 手足口病	48
11. 伝染性紅斑	53
12. 突発性発しん	57
13. ヘルパンギーナ	61
14. インフルエンザ様疾患	67
15. MCLS（川崎病）	71
16. 感染性髄膜炎	78
17. 脳・脊髄炎	90
II 眼感染症	106
1. 咽頭結膜熱（PCF）	106
2. 流行性角膜炎（EKC）	106
3. 急性出血性結膜炎	106
III ウイルス肝炎	117
1. A型肝炎	117
2. B型肝炎	117
3. その他のウイルス肝炎	117
IV 性感染症	130
1. 淋病様疾患	130
2. 陰部クラミジア感染症	130
3. 陰部ヘルペス	130

4. 尖圭コンジローム	130
5. トリコモナス症	130
第2章 病原体情報について	151
1. 情報収集還元システム	151
第3章 患者情報集計	185
1. 平成7年全国、週別。疾病別報告数及び一定点当たり報告数	185
2. 平成7年全国、疾病別。月別。性別報告数及び一定点当たり報告数	188
3. 平成7年都道府県別。疾病別年間報告数及び一定点当たり報告数	194
4. 平成7年都道府県別。疾病別。性別年間報告数及び一定点当たり報告数	197
5. 平成7年疾病別。ブロック別年間報告数及び一定点当たり報告数	206
6. 平成7年疾病別。ブロック別。性別年間報告数及び一定点当たり報告数	207
7. 平成7年疾病別。年齢階級別年間報告数及び一定点当たり報告数	210
8. 平成7年疾病別。年齢階級別。性別年間報告数及び一定点当たり報告数	211
第4章 感染症サーベイランス事業定点数	215
1. 平成7年感染症サーベイランス事業定点数	215
第5章 病原細菌検出成績	217
1. 病原細菌検出状況総括、由来ヒト、1995年	217
1-1 地研。保健所、都市立伝染病院、検疫所	217
1-2 医療機関	219
2. 病原細菌検出数の月別集計、由来ヒト、1995年	220
2-1 地研。保健所	220
2-2 検疫所	222
2-3 都市立伝染病院	223
2-4 医療機関	225
3. 病原細菌検出数の報告機関別集計、由来ヒト、1995年	230
3-1 地研。保健所	230
3-2 検疫所	235
3-3 医療機関	236
4. サルモネラの菌型分布、1995年	245
4-1 由来別集計、地研。保健所	245
4-2 材料別集計、由来ヒト、医療機関	248
4-3 報告機関別集計、由来ヒト、地研。保健所	250
4-4 報告機関別集計、由来ヒト、医療機関	262
4-5 報告機関別集計、由来動物、地研。保健所	267
4-6 報告機関別集計、由来食品、地研。保健所	268

4-7	報告機関別集計、由来環境、地研・保健所	270
5.	チフス菌、パラチフスA菌のフェージ型分布、由来ヒト	274
5-1	チフス菌の月別フェージ型分布	274
5-2	パラチフスA菌の月別フェージ型分布	274
5-3	チフス菌の都道府県別フェージ型分布	275
5-4	パラチフスA菌の都道府県別フェージ型分布	276
6.	A群レンサ球菌の菌型分布、由来ヒト	277
6-1	月別全国集計、地研・保健所	277
6-2	月別全国集計、医療機関	277
6-3	報告機関別集計、地研・保健所	278
6-4	報告機関別集計、医療機関	279
7.	病原細菌検出数の年別集計、由来ヒト、1990~1995年	281
7-1	地研・保健所	281
7-2	検疫所	283
7-3	都市立伝染病院	285
7-4	医療機関	287
第6章	ウイルス、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ検出成績	291
1.	検体採取月別、由来ヒト、1995年	291
2.	感染年齢、由来ヒト、1995年	292
2-1	年齢別	292
2-2	年齢群別	293
2-3	0歳児の月齢	294
3.	性別、由来ヒト、1995年	295
4.	検体の種類、由来ヒト、1995年	296
5.	臨床診断名、由来ヒト、1995年	297
6.	臨床症状、由来ヒト、1995年	298
7.	検出方法、由来ヒト、1995年	299
8.	検体採取の理由、由来ヒト、1995年	300
9.	検査実施機関、由来ヒト、1995年	301
10.	検体提供者の住所（都道府県・政令市）、由来ヒト、1995年	302
11.	報告機関、由来ヒト、1995年	304
12.	年別、由来ヒト、1990~1995年	306
第7章	結核・感染症サーベイランス事業の実施について	局長通知 309
	（結核・感染症サーベイランス事業実施要綱）	310
第8章	結核・感染症サーベイランス事業の実施について	課長、室長通知 327

	(感染症サーベイランス事業の対象疾病について)	332
第9章	感染症サーベイランス事業病原体検査指針	337
第10章	〈資料編〉	343
1.	平成7年都道府県別。男女別人口(日本人人口)	343
2.	平成7年年齢5歳階級。男女別人口(日本人人口)	344
3.	年次別人口	345
4.	伝染病患者数。死者数(法定。指定伝染病)	346
5.	同 (届出伝染病)	347
6.	インフルエンザ様疾患総患者数(昭和61年～平成8年)	348
7.	インフルエンザ様疾患週別発生状況	349
8.	インフルエンザ様疾患週別発生状況(都道府県。指定都市別、最終報 7.10.22 ～8.5.11)	350
9.	平成7年性病患者数。り患率(人口10万対)、病類。年次別	351
10.	平成7年性病患者数、病類別。都道府県別	352
11.	平成7年梅毒発生状況、月別	353

第1章 各疾病の動向

第 1 章 各疾病の動向

1995年第1週から第52週の動きについて情報解析小委員会の解析評価を報告する。

1995年の定点数は、小児科・内科定点 2,440、眼科定点 313、病院定点 515、性感染症定点 604 で昨年にくらべて小児科・内科定点は 12 定点、病院定点は 9 定点、性感染症定点は 5 定点それぞれ増加した。眼科定点は定点数に変化がなかった。

感染症サーベイランス事業（平成7年）における各疾病の患者発生状況（一定点医療機関当たりの報告数）

Weekly reported cases per reporting clinic, Japan, 1995

図1. 麻疹様疾患、風しん、水痘、流行性耳下腺炎、突発性発疹

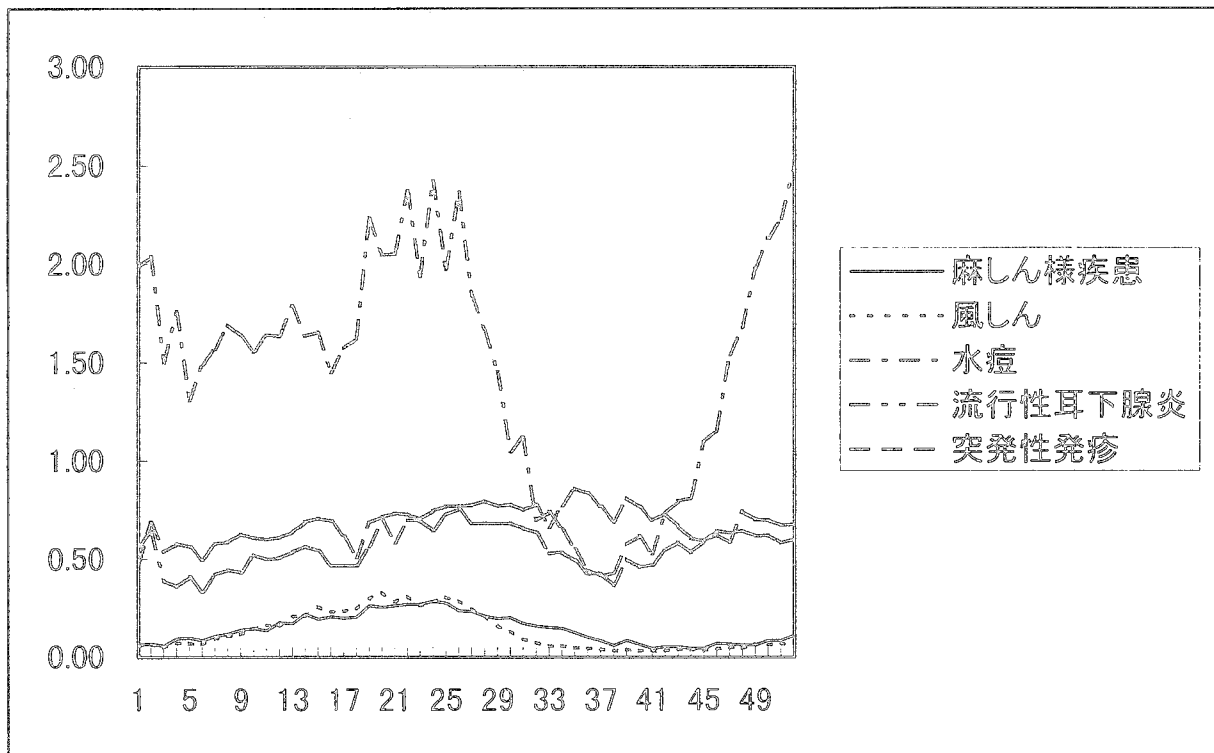


図2. 百日せき様疾患、溶連菌感染症、異型肺炎、伝染性紅斑

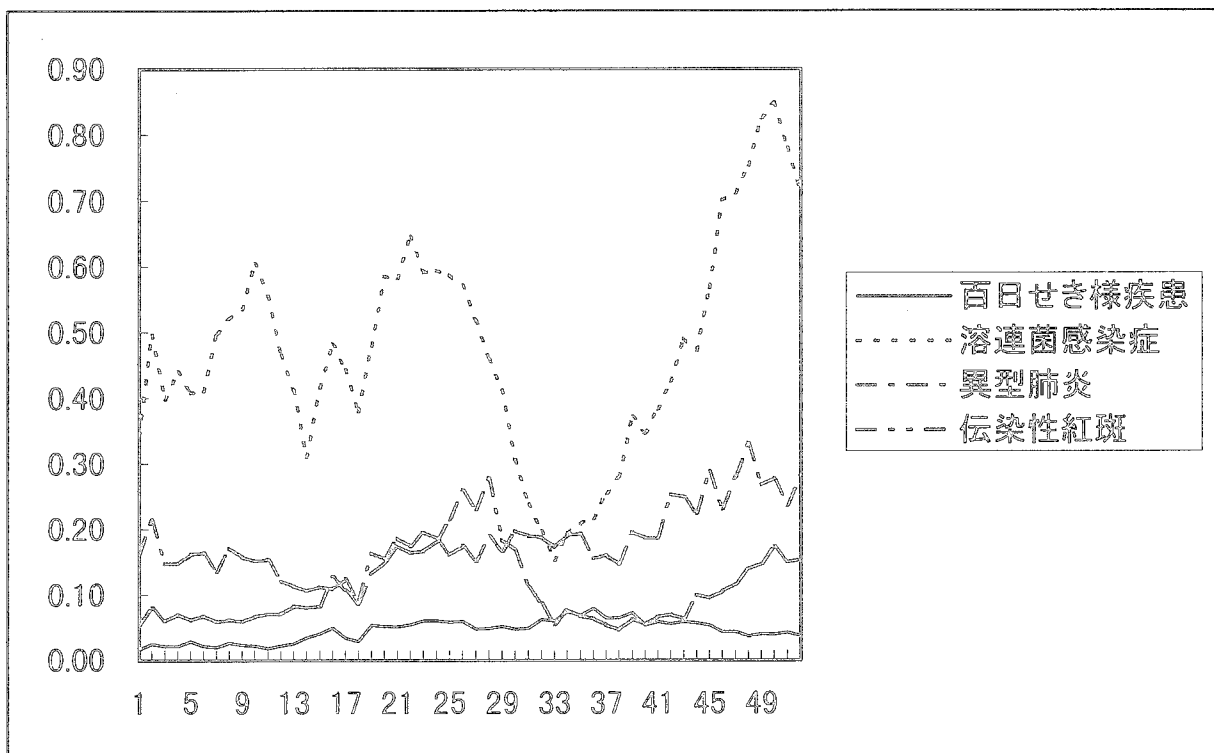


図3. 感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症、手足口病、ヘルパンギーナ

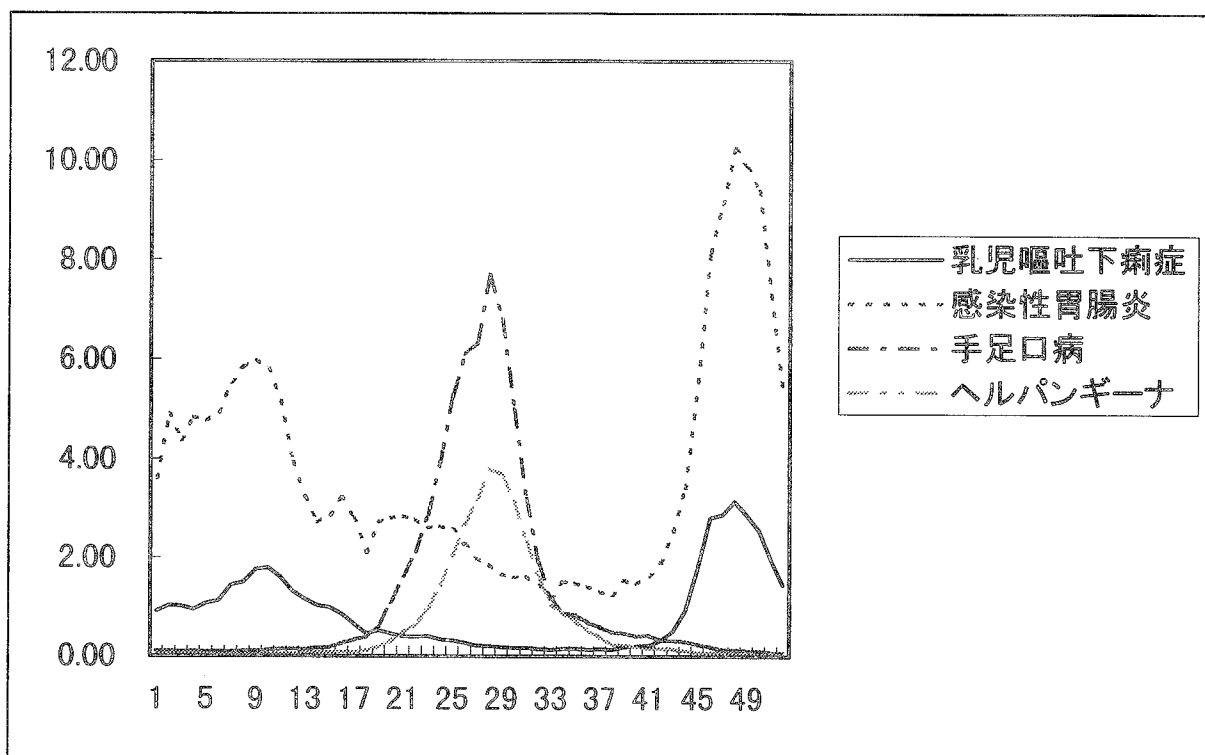


図4. 咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎

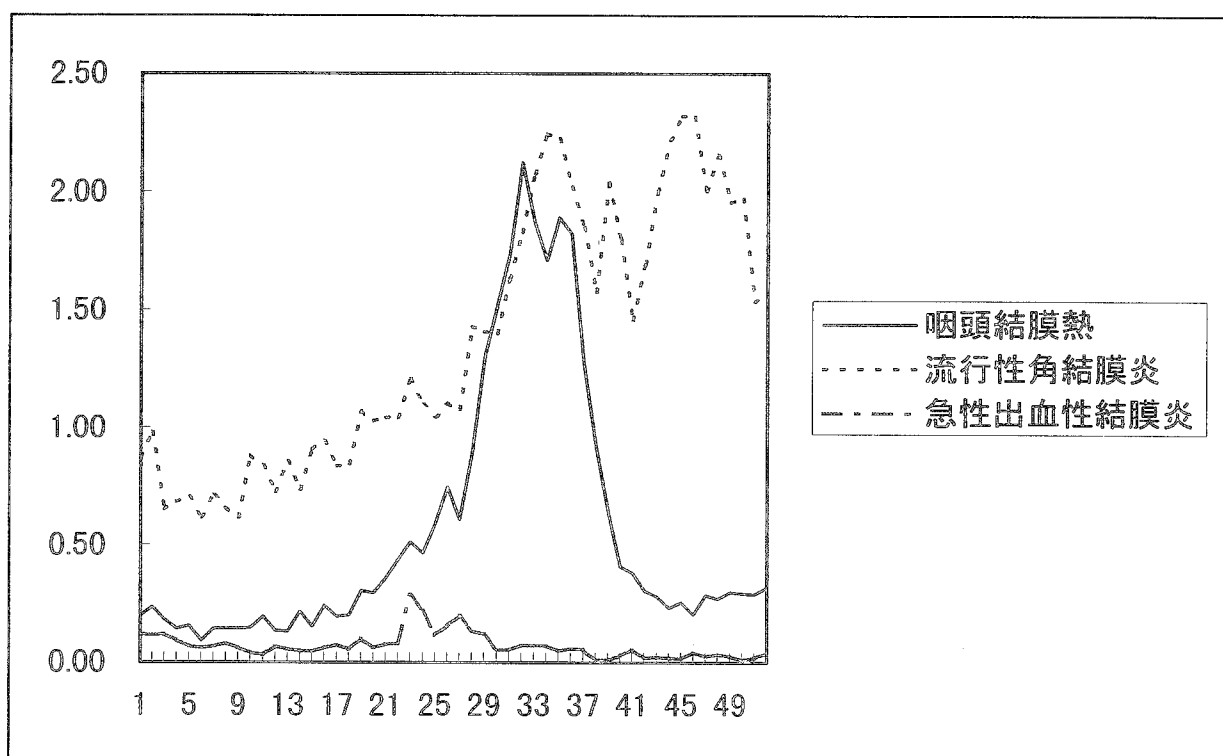


図5. 細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎

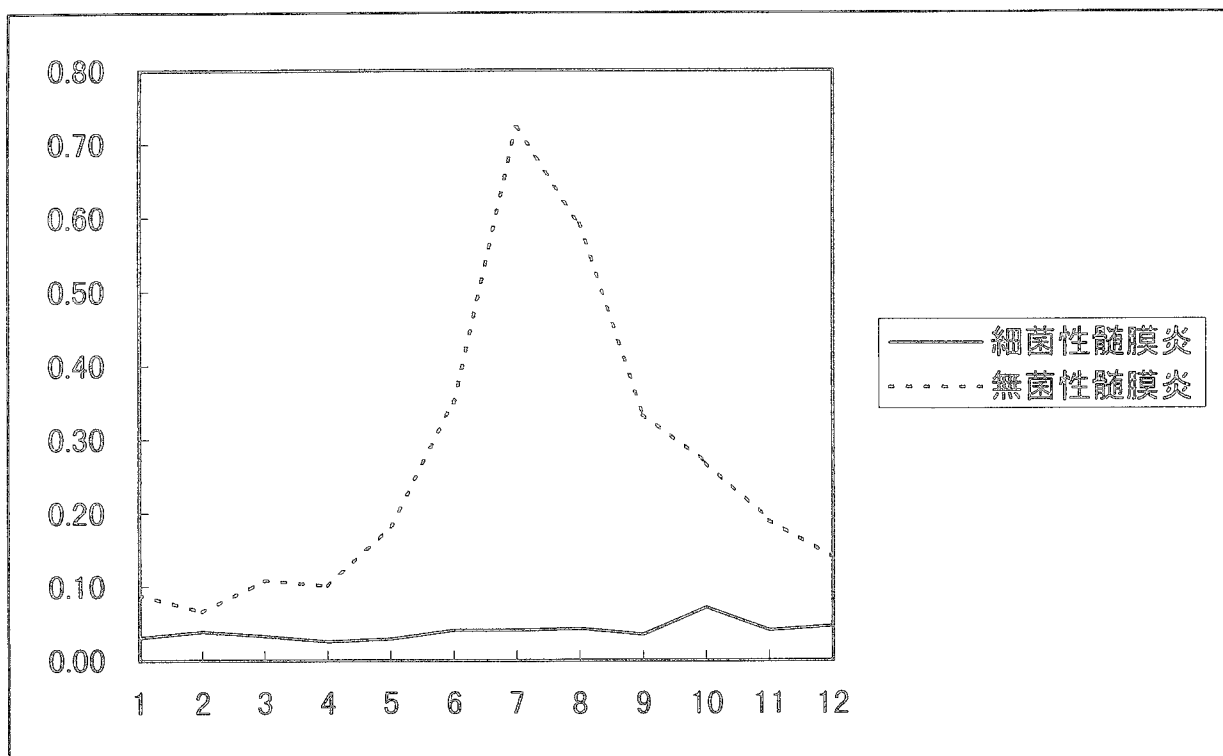


図6. 脳炎、脳症、ライ症候群、脊髄炎

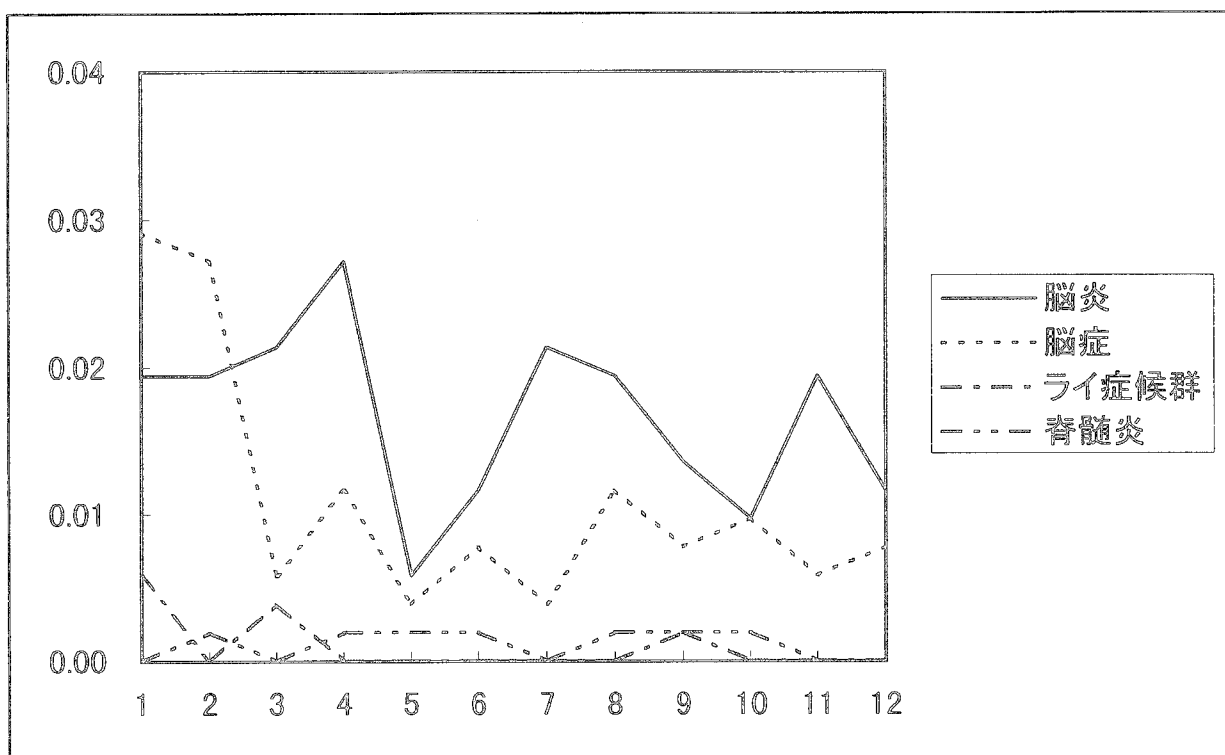


図7. A型肝炎、B型肝炎、その他のウイルス肝炎

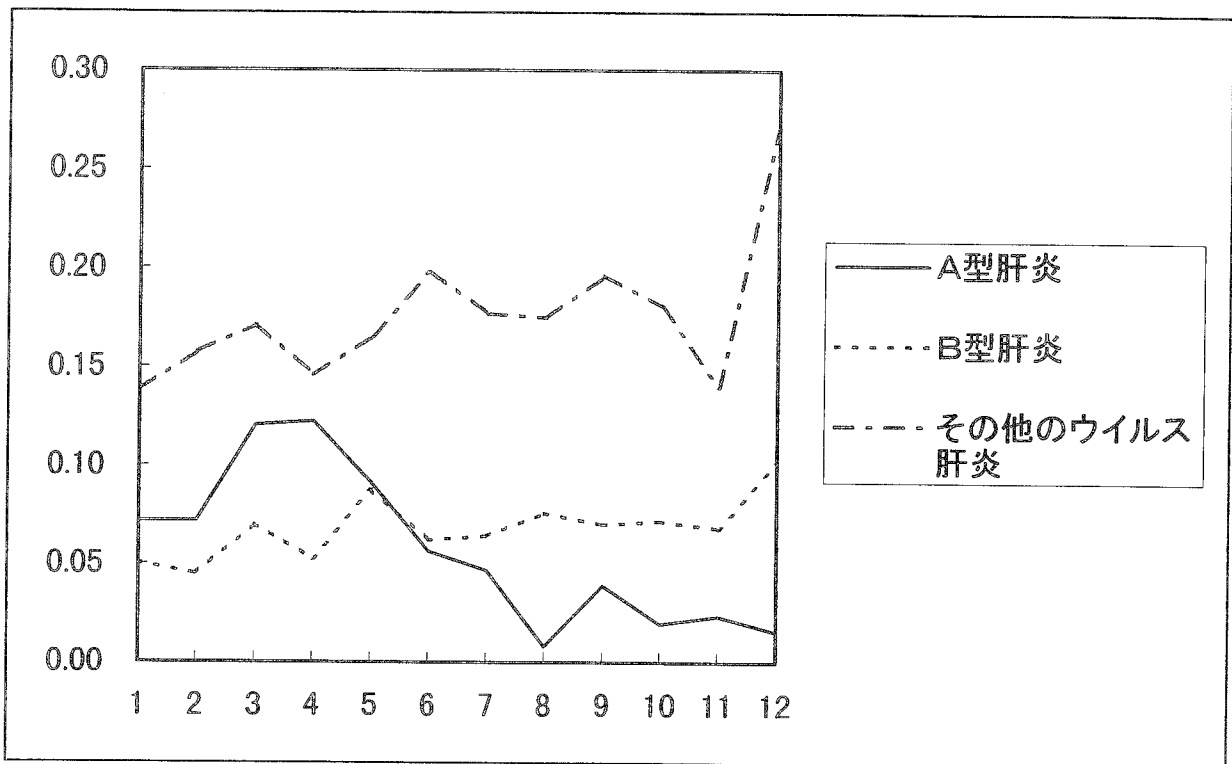
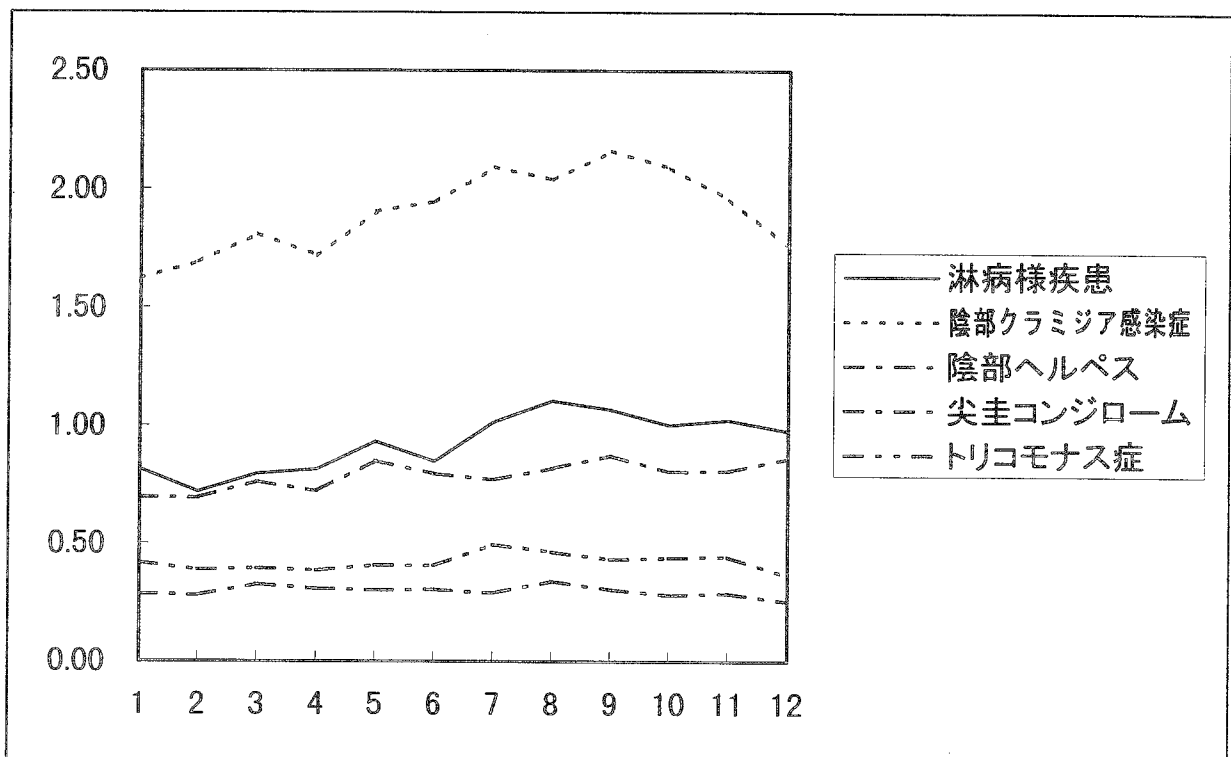


図8. 淋病様疾患、陰部クラミジア感染症、陰部ヘルペス、尖圭コンジローム、トリコモナス症



1. 小児科・内科定点、病院定点の感染症

概況

1995年に流行が目立ったのはインフルエンザ様疾患、手足口病、感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症である。

インフルエンザ様疾患は、1994 - 95年シーズンは第51週から立ち上がり、第4週をピークとする大流行となった。サーベイランス開始以来、最大の流行で、流行ウイルスは、はじめA香港型が主力で、後にB型が加わった。

1995 - 96年シーズンは、例年より早めに、第48週から急増しはじめた。

手足口病は第28週をピークとする大きな流行となった。1990年から5年ぶりの流行で、1982年以降、最大の流行となった。病原ウイルスはCA16型が多かった。

感染性胃腸炎は例年より早めに10月末から急増し、第48週にはこれまでの最高のピークを作った。同時期に乳児嘔吐下痢症の報告も著明な増加をみた。

その他の疾病では麻疹様疾患は昨年よりも減少し、これまでの最低の発生となったが鹿児島県、宮城県ではかなりの流行をみた。

風しんは流行の谷間の時期であったが、鹿児島県、愛媛県では流行がみられた。

水痘は1993年以降、少な目の発生が続いている。

流行性耳下腺炎は1994年に流行の山を作ったが、秋以降低下し、1995年は低目の発生が続いた。

百日せき様疾患は着実に減少傾向がみられ、1993年はこれまでの最低の発生であったが、1994年、1995年はやや増加している。3 - 4年毎に増減する性質によるものと考えられる。

溶連菌感染症は、1993年末から1994年にかけて、それまでのほぼ一定の発生パターンから変わって、増加したが、1995年は中程度の発生で終わった。

異型肺炎は4年毎の流行の山が目立たなくなり、1995年は流行の谷間レベルの発生である。

伝染性紅斑は、前回の1993年流行から3年目で谷間の時期であるが、北海道、神奈川県、福岡県でかなりの流行をみた。これらの県で、札幌市、北九州市の発生が特に多いのが目立った。

突発性発しんは特に変わりはない。

ヘルパンギーナは第28週をピークとする中程度の発生であった。

MCLS (川崎病) は、ほぼ一定の発生が続き、多発傾向はみられていない。

感染性髄膜炎のうち細菌性髄膜炎は、病院定点当たり年間報告数0.48人と少なく、例年と特に変わりはない。

無菌性髄膜炎は年により変動するが、昨年よりは少なく、これまでの最低の報告数であった。

脳・脊髄炎は昨年と同程度の少ない報告数であったが、月別にみると1月、2月にやや多かった。脳炎の月別報告数は大きな変わりはないが、脳症は1月、2月に増加がみられた。

1. 麻疹様疾患

本年度は発生が少なく、第24週ピークも定点当たり0.28人と最低の発生カーブであった。年間報告数は昨年（1994年）が最も少なく定点当たり8.89人であったが、本年度は7.32人と約20%下回った。

県別発生状況とみると、全般に少ない県が多いが、一部ではかなりの流行がみられている。年間報告数では鹿児島県が最も多く、定点当たり46.92人と全国平均の約6倍で、次いで宮崎県39.73人が多かった。その他、和歌山県26.38人、福岡県24.27人、指定都市では大阪市29.18人、北九州市27.27人が多かった。

一方、定点当たり年間報告数1人未満は群馬県、千葉県、新潟県、石川県、山梨県、静岡県等の6県、指定都市では千葉市、川崎市、名古屋市の3市で、ほとんど流行をみなかった。ブロック別では、九州・沖縄定点当たり年間報告数20.05人が最も多く、次いで近畿12.56人、東北8.97人、中国・四国6.18人、北海道6.14人で東海・北陸2.21人と関東・甲信越1.41人は少なかった。

年齢分布は0歳12.2%、1歳28.2%、2歳14.1%、3歳9.8%、4歳7.7%、5-9歳16.5%、10-14歳8.2%、15歳以上3.3%で、5歳以上の比率がやや減少した。

図1-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of measles per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

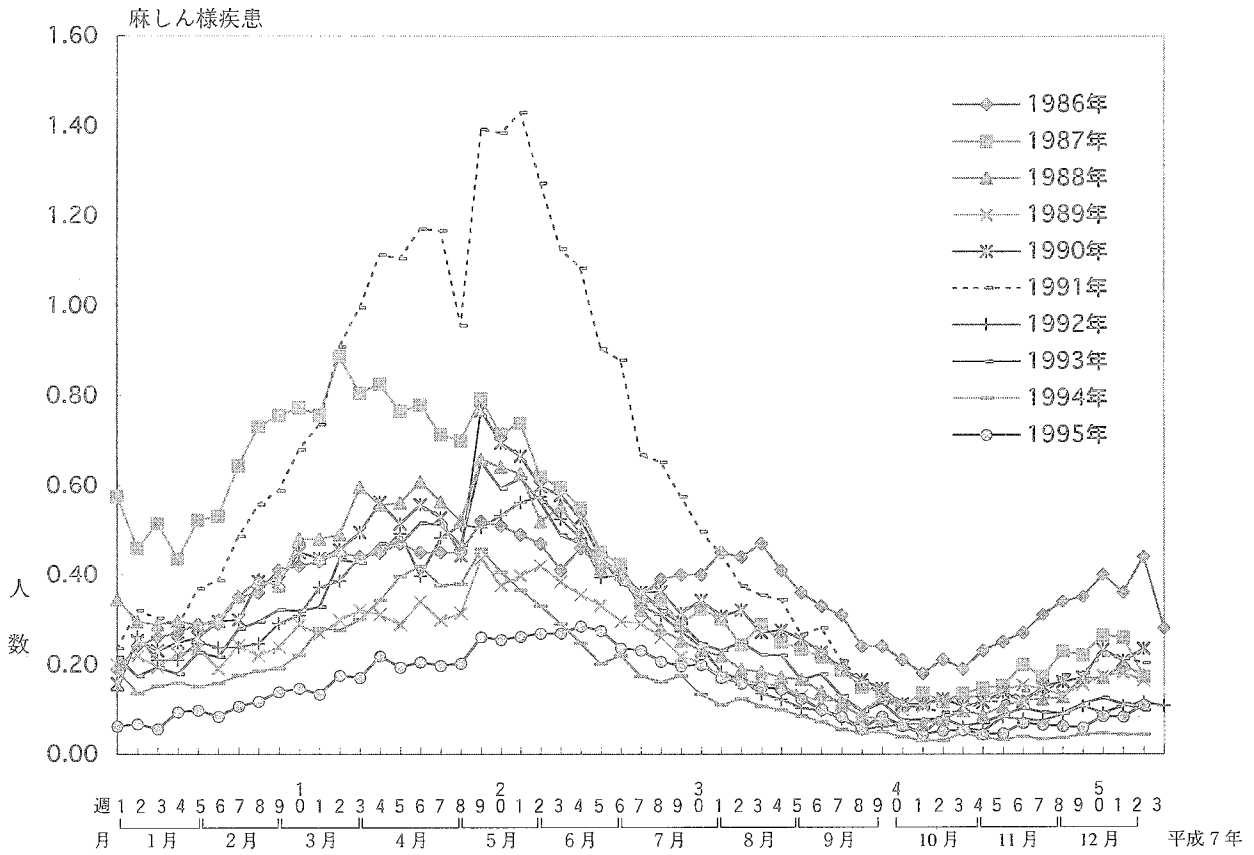


図1-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of measles, Japan, 1994-1995.

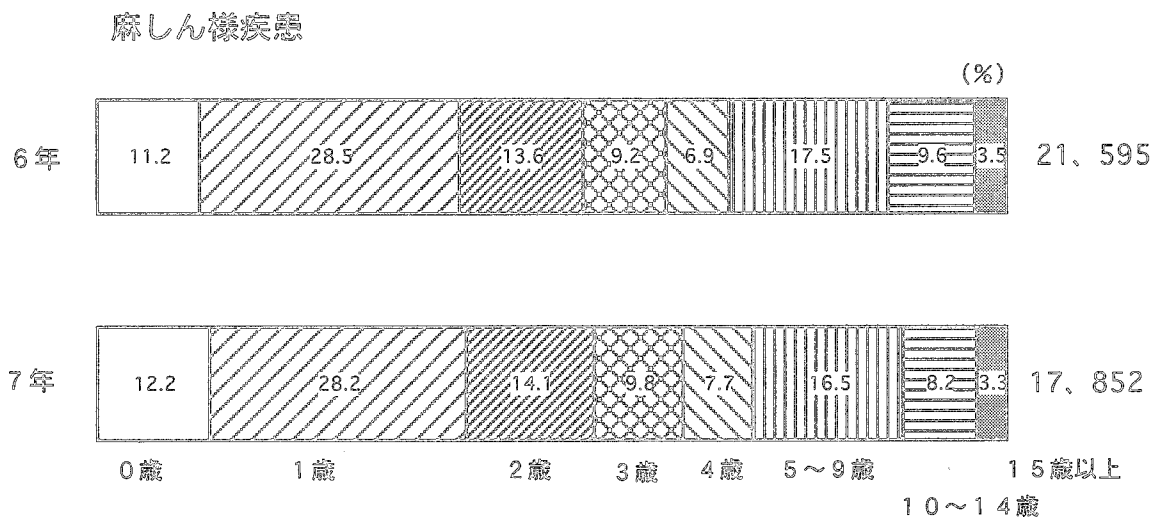
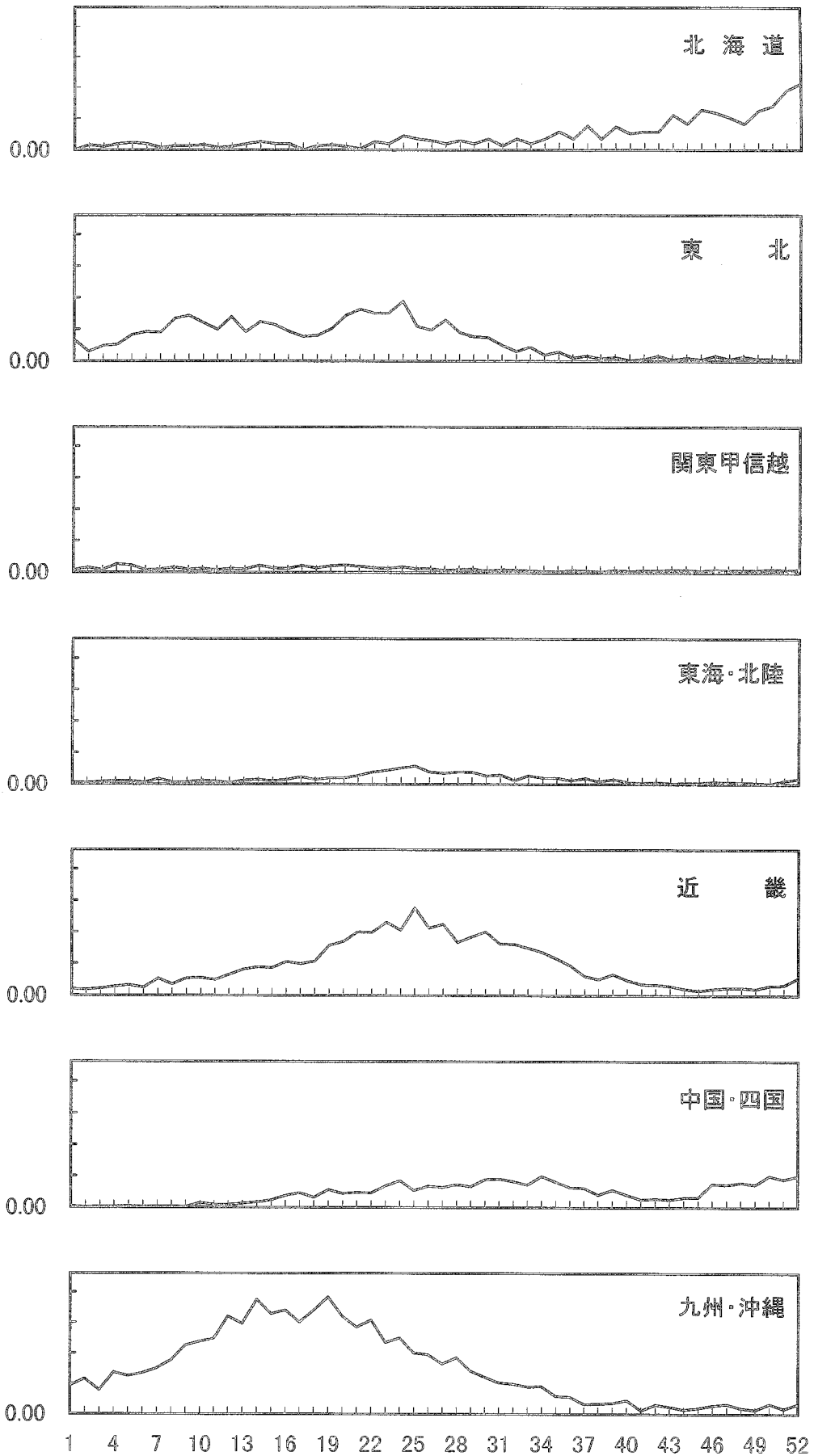


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of measles per reporting clinic, by geographical area, 1995.

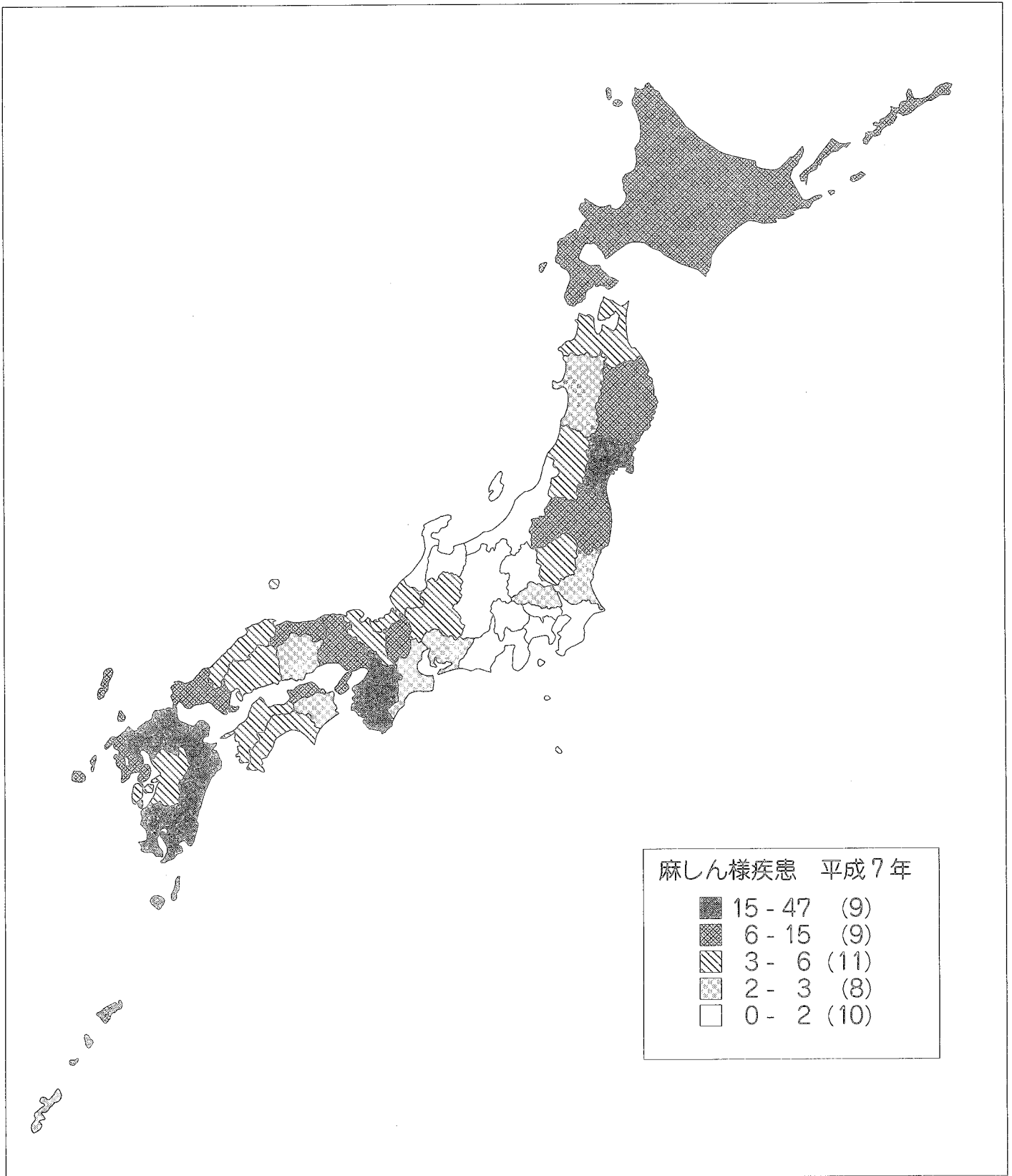
麻疹様疾患



MAX=1.00

平成7年

図1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of measles per reporting clinic, by prefecture, 1995.



2. 風しん

1992年の全国流行の年間報告数定点当たり92.69人から次第に下がり、1995年には6.67人と最低となった。1994年は14.79人であったが、本年度はその約45%まで低下した。

全国的には流行の谷間にあるが、県によってはかなりの流行がみられた。鹿児島県は定点当たり76.31人と大流行で、愛媛県も41.72人でかなりの流行があった。その他では長野県19.10人、東京都13.54人、石川県13.12人、香川県10.96人、指定都市では千葉市12.10人、川崎市17.39人、北九州市11.73人がやや多いのが目立った。

ブロック別では九州・沖縄13.81人が最も多く、次いで関東・甲信越8.90人、中国・四国6.79人で、以下、北海道3.81人、東海・北陸3.70人、近畿3.15人、東北2.78人は全国平均以下であった。

年齢分布は0歳 4.3%、1歳11.7%、2歳10.4%、3歳12.0%、4歳12.7%、5－9歳29.2%、10－14歳11.8%、15歳以上7.9%で、昨年と比べ、流行の中心となる5－9歳の比率が低下した。

図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of rubella per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

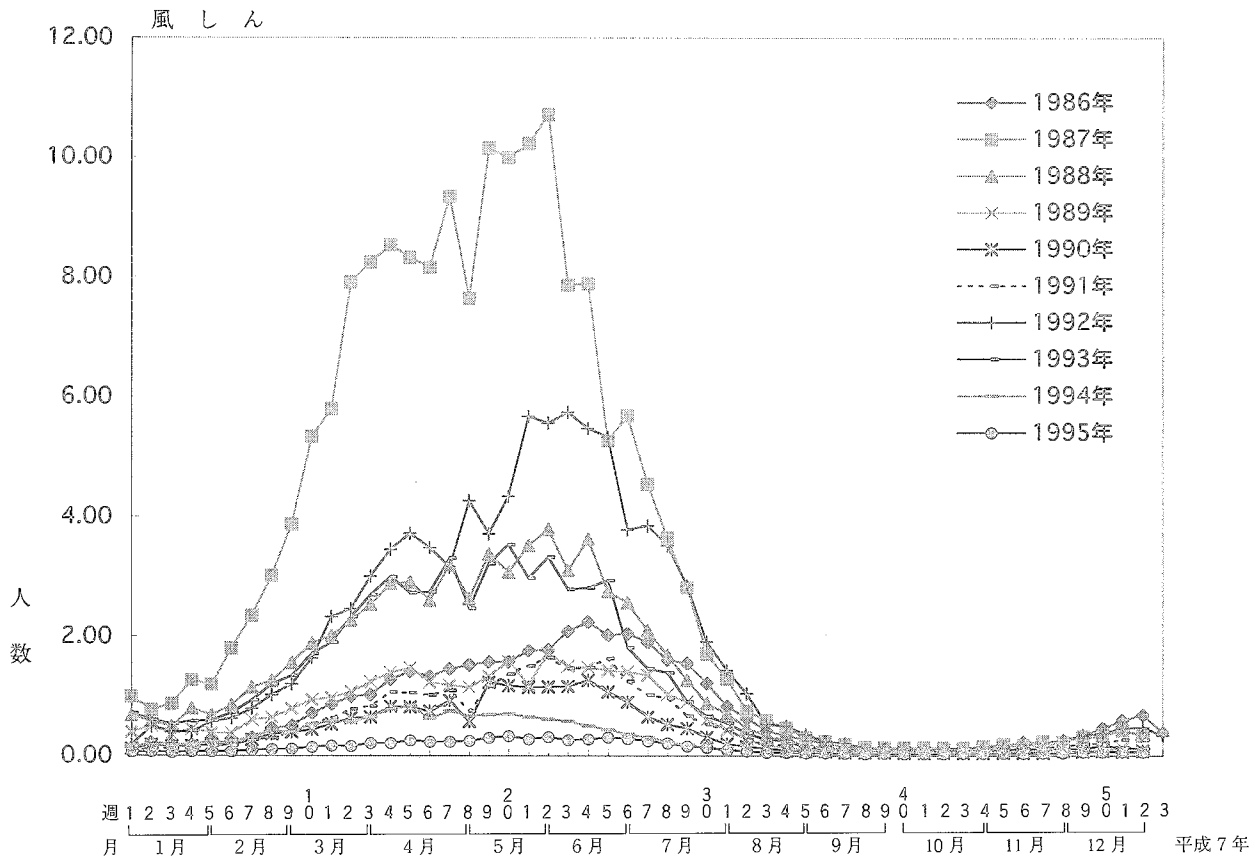


図2-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of rubella, Japan, 1994-1995.

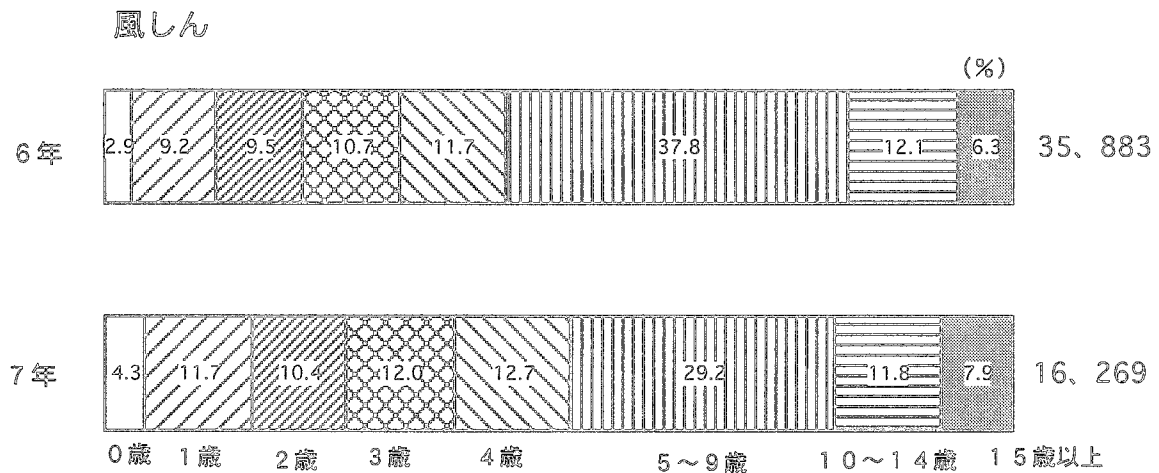
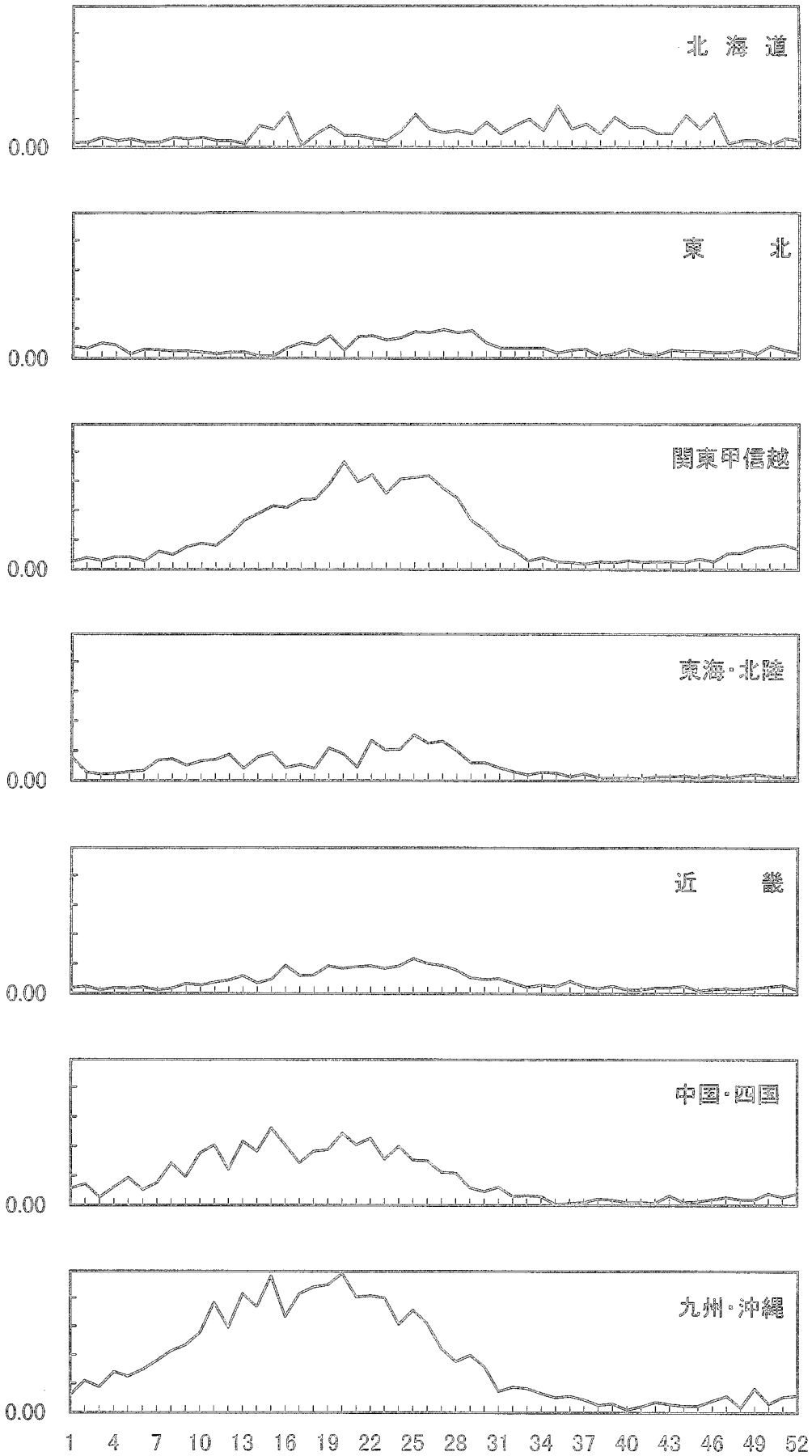


図2-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of rubella per reporting clinic, by geographical area, 1995.

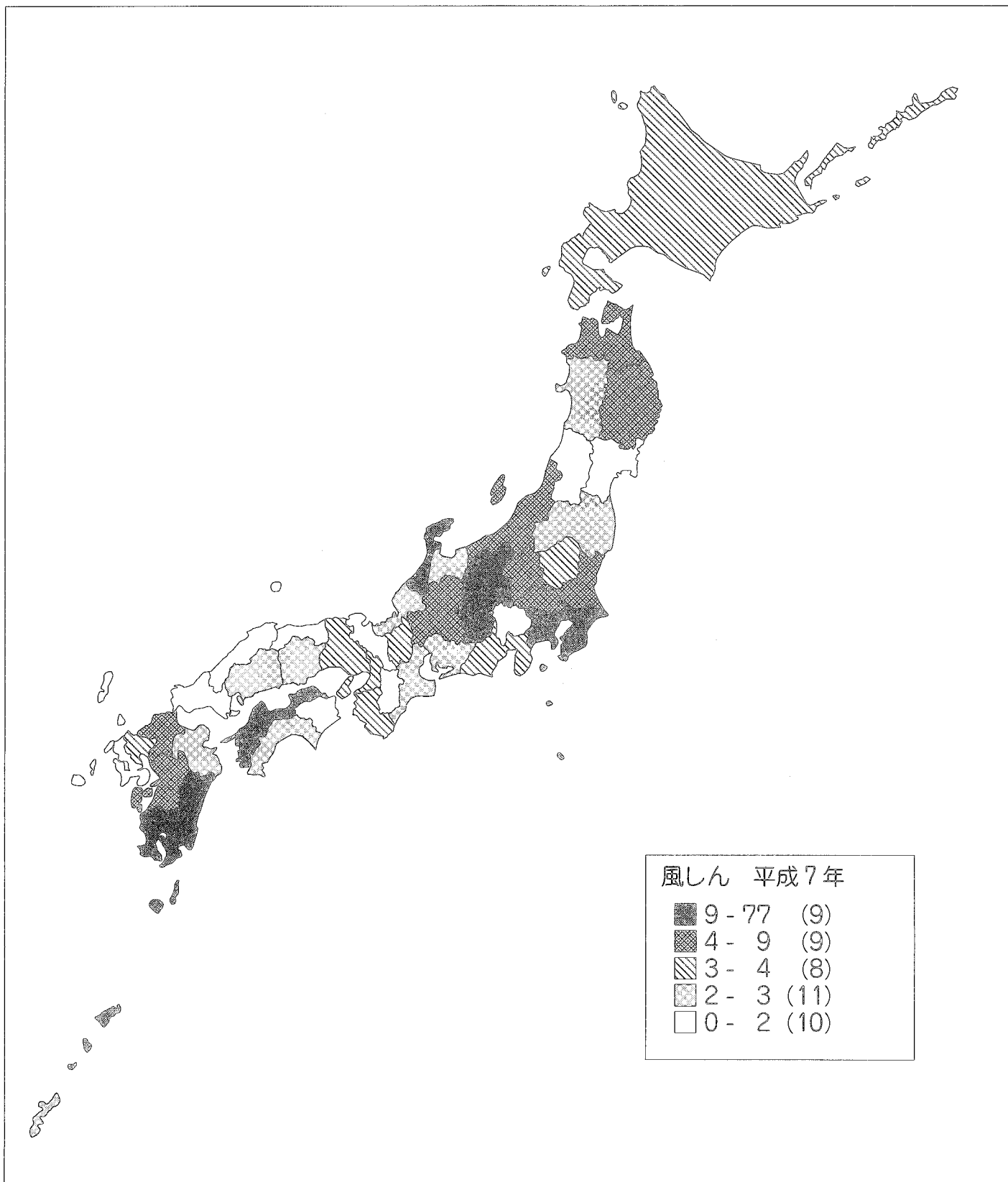
風しん



MAX=0.70

平成7年

図2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of rubella per reporting clinic, by prefecture, 1995.



3. 水痘

本年度前半は最低の発生カーブであったが、第19週から増加し、約2倍の発生となり、第27週以降低下した。年末にかけての増加は例年並みであった。年間報告数で見ると、1991年、1992年は定点当たり90人台であったが、1993年77.01人、94年73.40人、95年76.32人とやや少なめである。

県別定点当たり年間報告数が100人を越えているのは北海道、岩手県、山形県、富山県、長野県、熊本県、大分県、沖縄県で、70人未満は栃木県、東京都、神奈川県、山梨県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、鹿児島県で、年により多少の違いはあるが、多い県、少ない県の傾向は同様である。

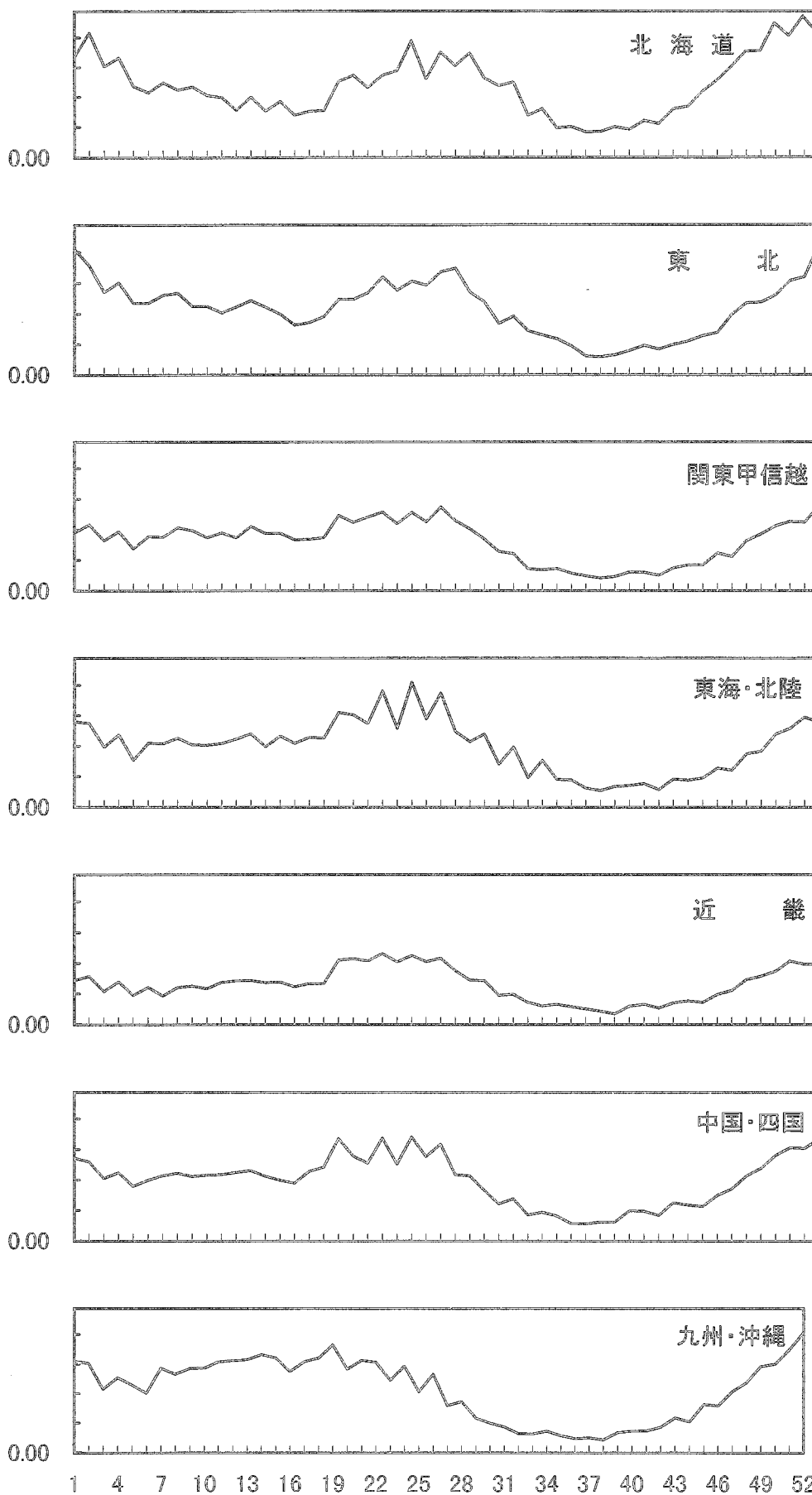
ブロック別定点当たり年間報告数は北海道101.76人、東北92.39人、九州・沖縄90.49人、東海・北陸84.76人、中国・四国84.59人、関東・甲信越68.98人、近畿55.24人で、毎年同様の傾向である。

年齢分布は、0歳9.8%、1歳17.4%、2歳17.1%、3歳18.0%、4歳15.9%、5－9歳19.1%、10－14歳1.7%、15歳以上1.1%であり変わらない。

図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of chickenpox per reporting clinic, by geographical area, 1995.

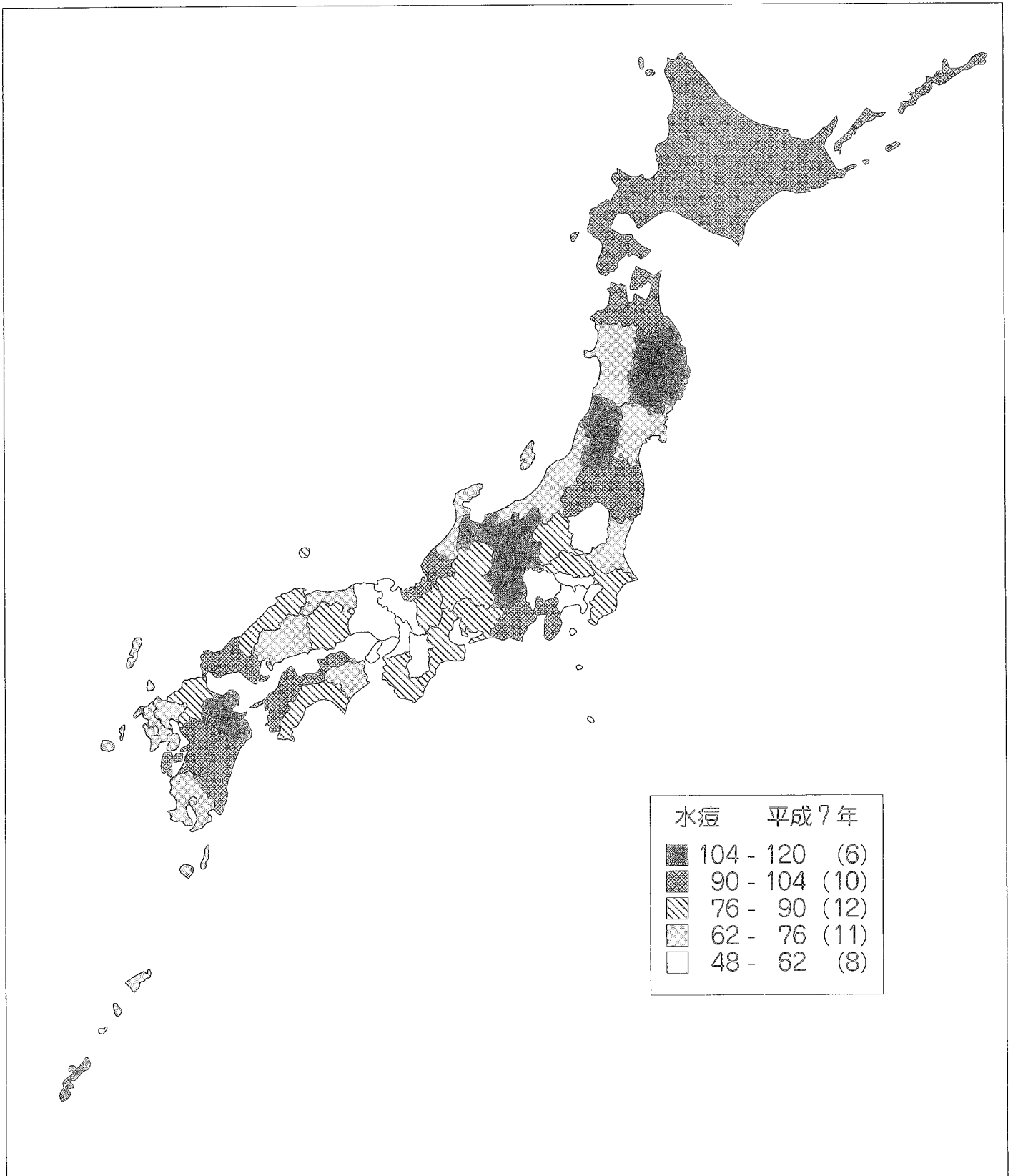
水 痘



MAX=3.87

平成7年

図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of chickenpox per reporting clinic, by prefecture, 1995.



4. 流行性耳下腺炎

数年の周期で増減している。1986年、1989年、1994年に大きな山を作ったが、1994年の山は前回の約2分の1で、MMRワクチンの影響が考えられた。1995年のピークは、第26週0.75人で、1994年のピークの約2分の1であった。その後減少の傾向がみられたが、再び増加に転じ、年末には0.74人にまで上昇した。

県別発生状況をみると、高知県が定点当たり年間報告数118.55人と特に多く、全国平均29.07人の約4倍に達している。その他、愛媛県75.24人、山形県69.81人、鳥取県69.13人、岡山県64.94人、大分県62.48人、和歌山県60.73人が全国平均の2倍以上であった。

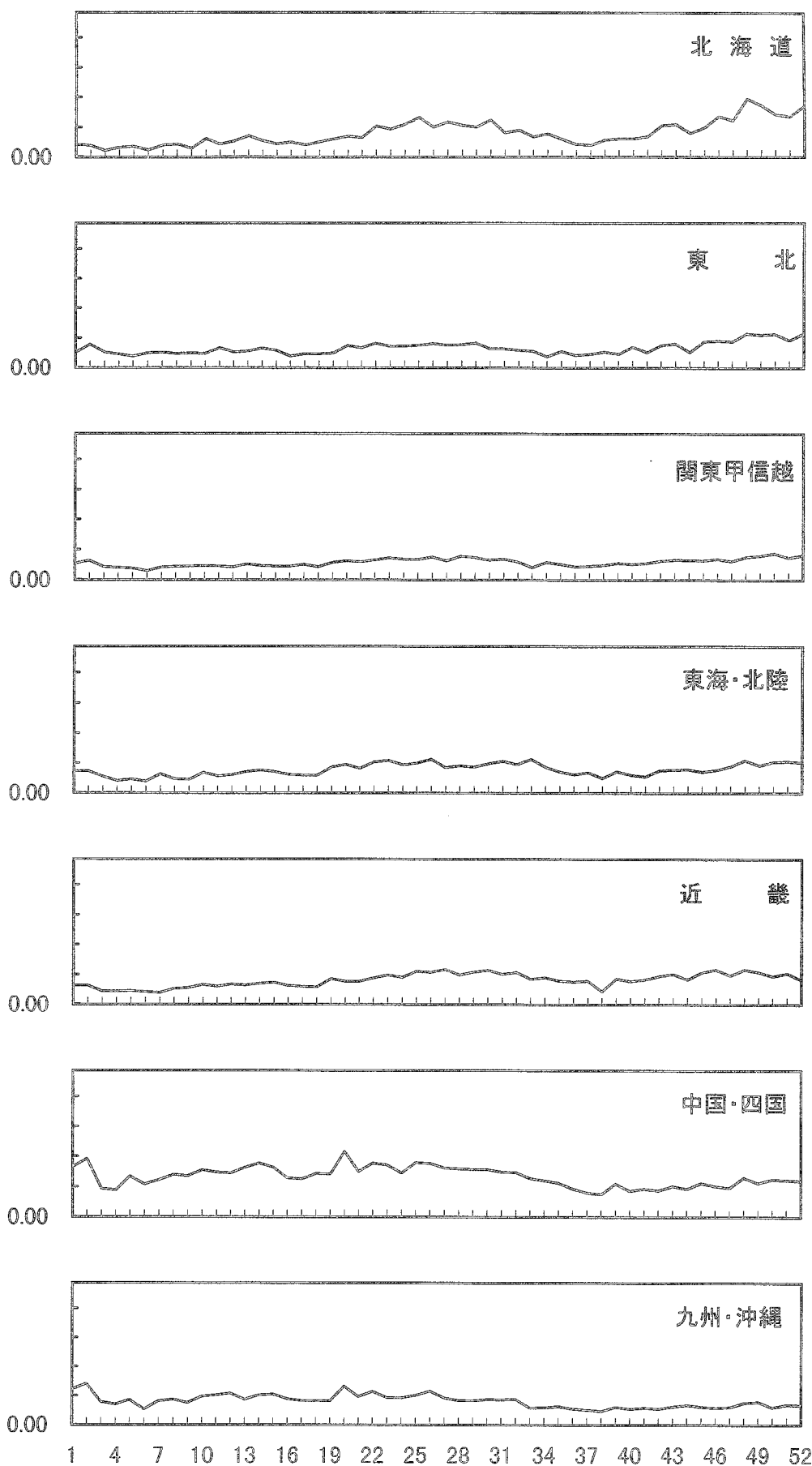
ブロック別では、中国・四国49.71人が多く、近畿30.34人、九州・沖縄30.26人、北海道29.49人、東海・北陸28.68人は全国平均並みで、東北24.37人、関東・甲信越21.37人がやや少なかった。

年齢分布は0歳0.5%、1歳4.0%、2歳8.1%、3歳13.8%、4歳18.3%、5－9歳45.9%、10－14歳7.2%、15歳以上2.2%であった。1－4歳の比率は1990年以前は45%を越えていた。MMRワクチン導入後1992年、1993年は40%台に下がったが、本年は44.2%と戻ってきている。

図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of mumps per reporting clinic, by geographical area, 1995.

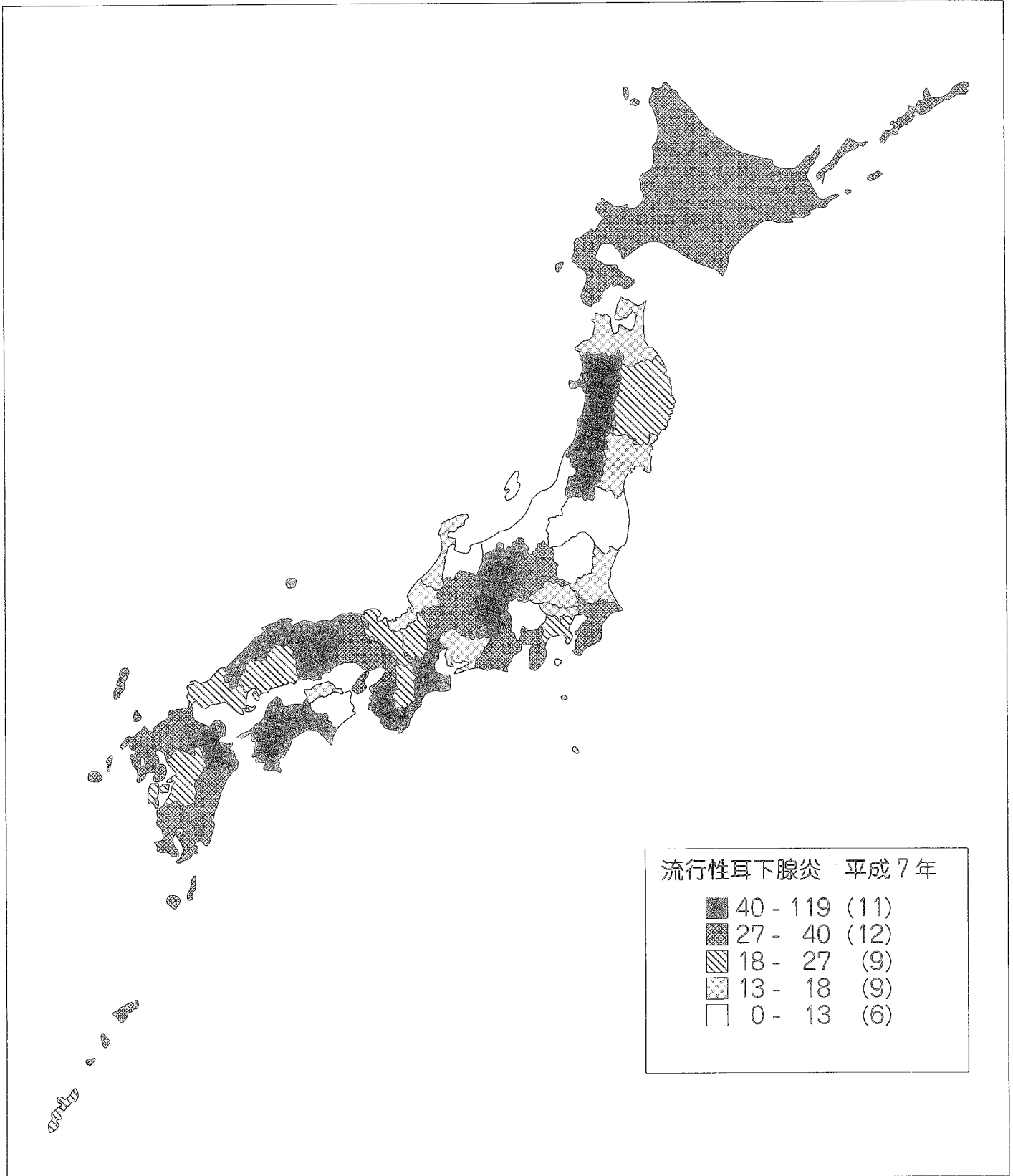
流行性耳下腺炎



MAX=1.56

平成7年

図4-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of mumps per reporting clinic, by prefecture, 1995.



5. 百日せき様疾患

3－4年毎に増減しつつ、次第に減少を続けている。1993年は最低の報告数で、定点当たり年間報告数1.51人であったが、1994年1.85人、1995年2.32人と増加した。1995年は、はじめは1993年並みの最低の発生カーブであったが、第2－第3四半期にかけて増加し、第1四半期の2ないし3倍の高さが続き、年間報告数は前年の約1.25倍となった。

県別の定点当たり年間報告数は、山形県7.63人、福井県6.00人、岐阜県6.42人、宮崎県6.38人、鹿児島県9.00人、北九州市6.82人が多かった。

ブロック別では、九州・沖縄3.87人、東海・北陸3.25人、中国・四国3.03人、東北2.38人の順で、近畿2.17人、関東・甲信越1.32人、北海道1.14人は全国平均以下であった。

年齢分布は0歳28.5%、1歳24.4%、2歳11.9%、3歳8.6%、4歳6.6%、5－9歳13.8%、10－14歳3.7%、15歳以上2.5%で、昨年に比べて患者増加につれて0歳、1歳の比率は47.1%から本年は52.9%に増加した。

図5-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pertussis per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

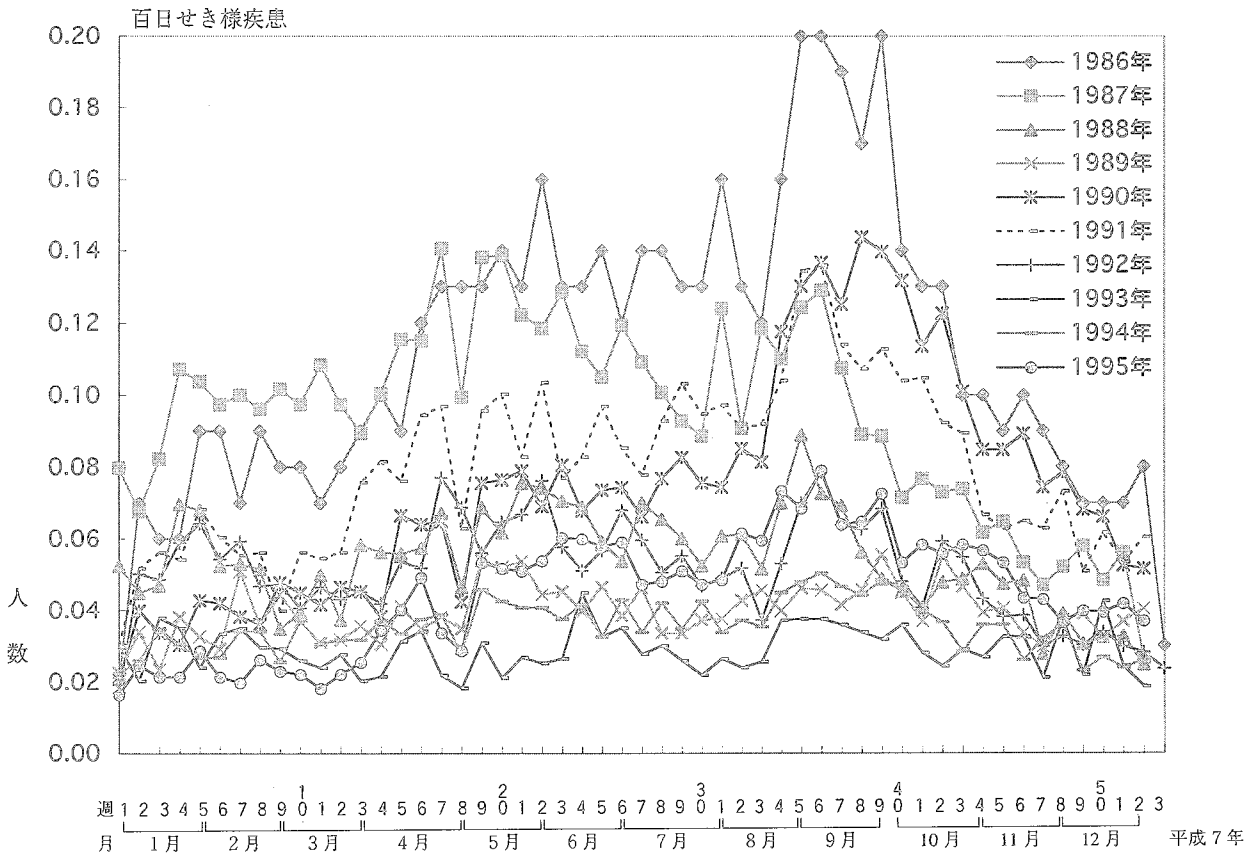


図5-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of pertussis, Japan, 1994-1995.

百日せき様疾患

(%)

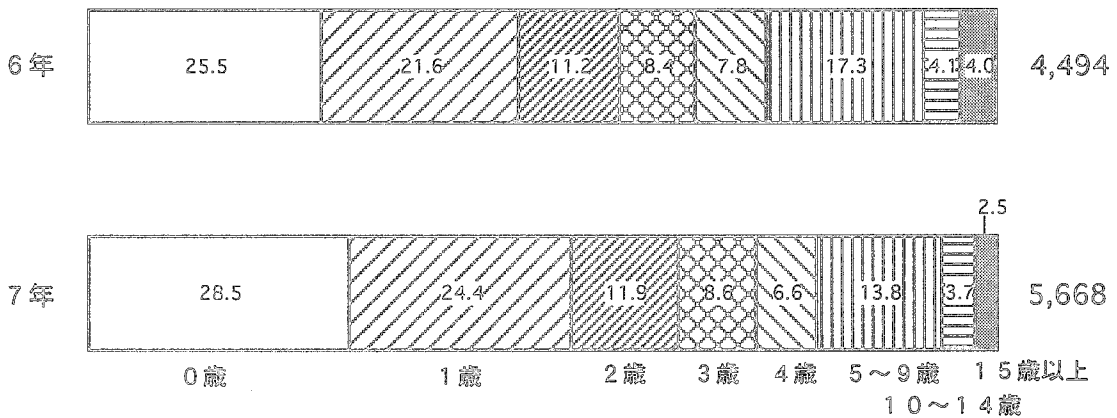


図5-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pertussis per reporting clinic, by geographical area, 1995.

百日せき様疾患

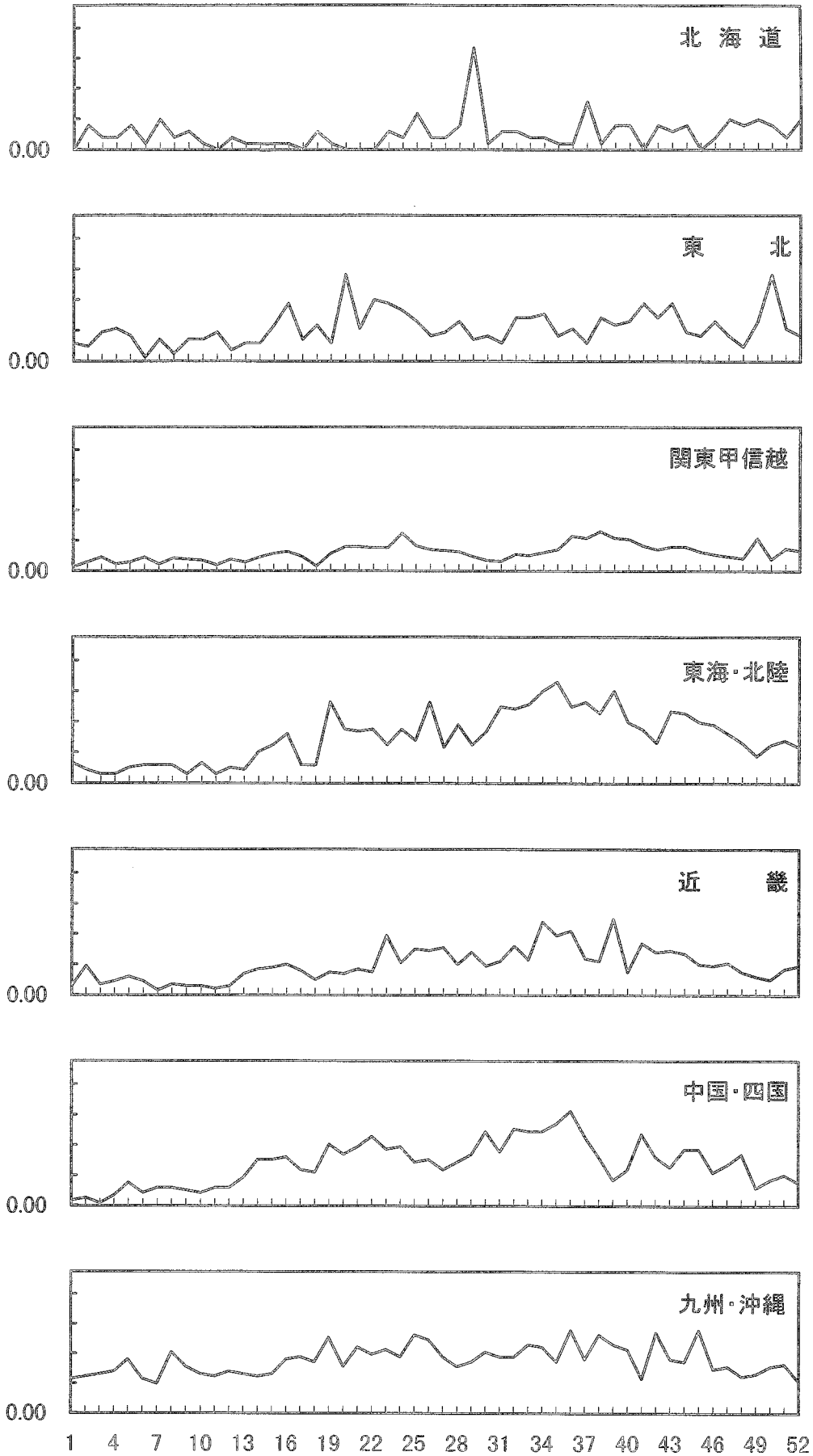
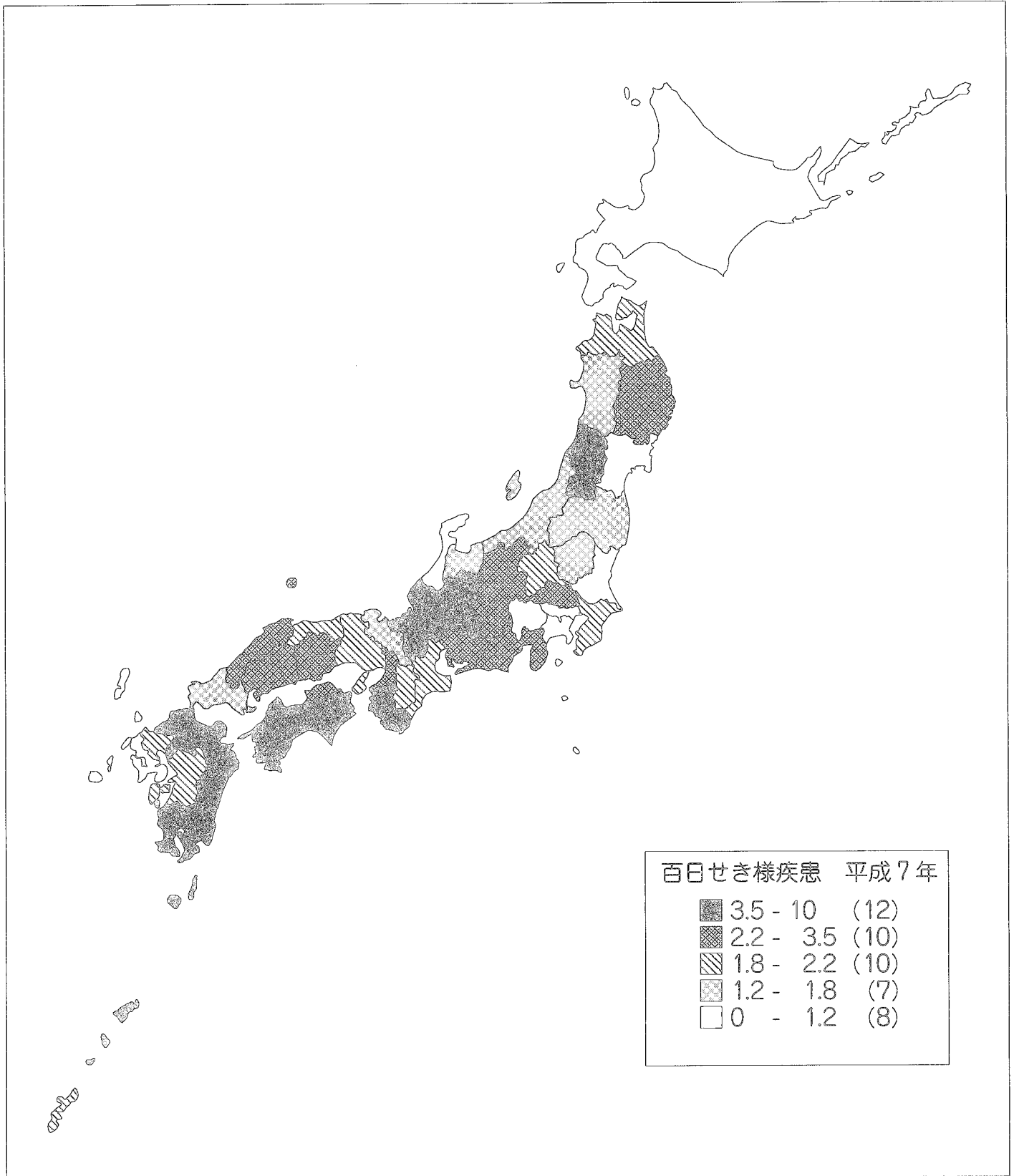


図5-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of pertussis per reporting clinic, by prefecture, 1995.



6. 溶連菌感染症

1993-1994年は最大の流行であったが、1994年秋以降減少し、例年の中程度の発生が続いている。定点当たり年間報告数は1995年は24.59人で、1994年の約4分の3に減少した。

ブロック別では、北海道が60.26人で、全国平均の約2倍、東北は36.94人で約1.5倍の発生で、他は中国・四国28.74人、東海・北陸24.26人、関東・甲信越23.11人、九州・沖縄22.01人、近畿11.96人で、全国平均並みか、それ以下である。

県別では、北海道60.26人、札幌市51.90人、山形県36.63人、富山県52.95人、高知県68.45人が多い。

年齢分布は0歳0.5%、1歳2.2%、2歳4.9%、3歳10.2%、4歳17.7%、5-9歳52.4%、10-14歳7.8%、15歳以上4.3%で、例年と特に変わりはない。

図6-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of streptococcal infection per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

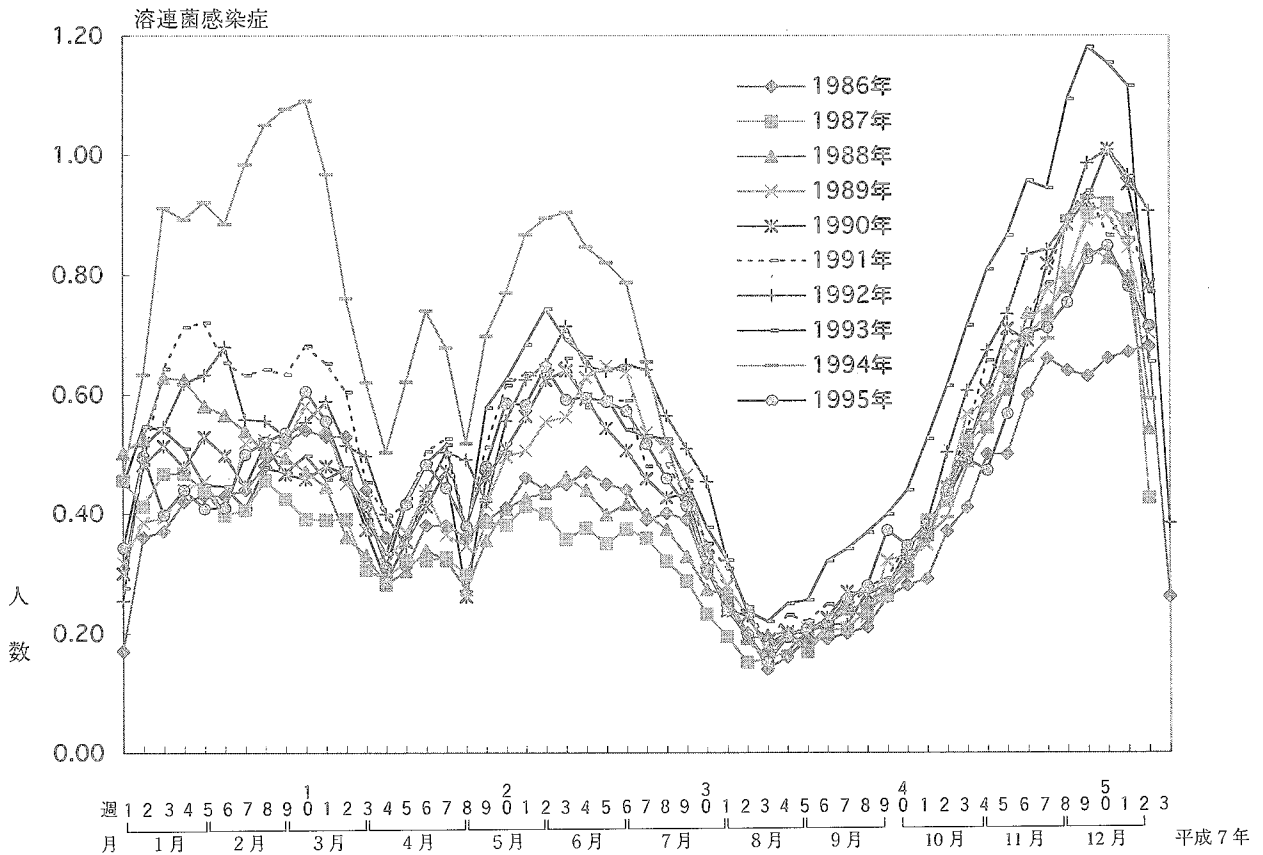


図6-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of streptococcal infection, Japan, 1994-1995.

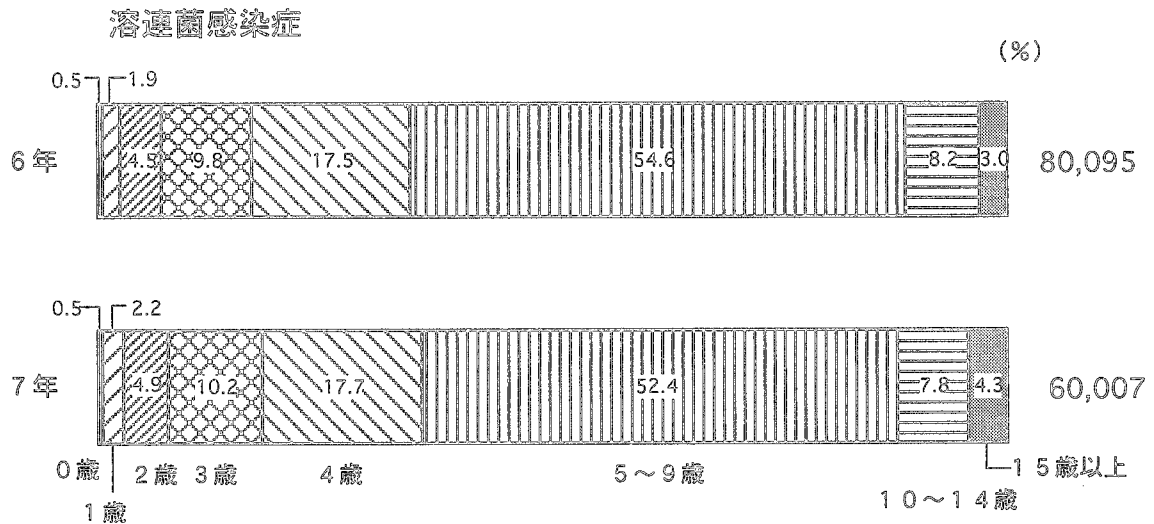


図6-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of streptococcal infection per reporting clinic, by geographical area, 1995.

溶連菌感染症

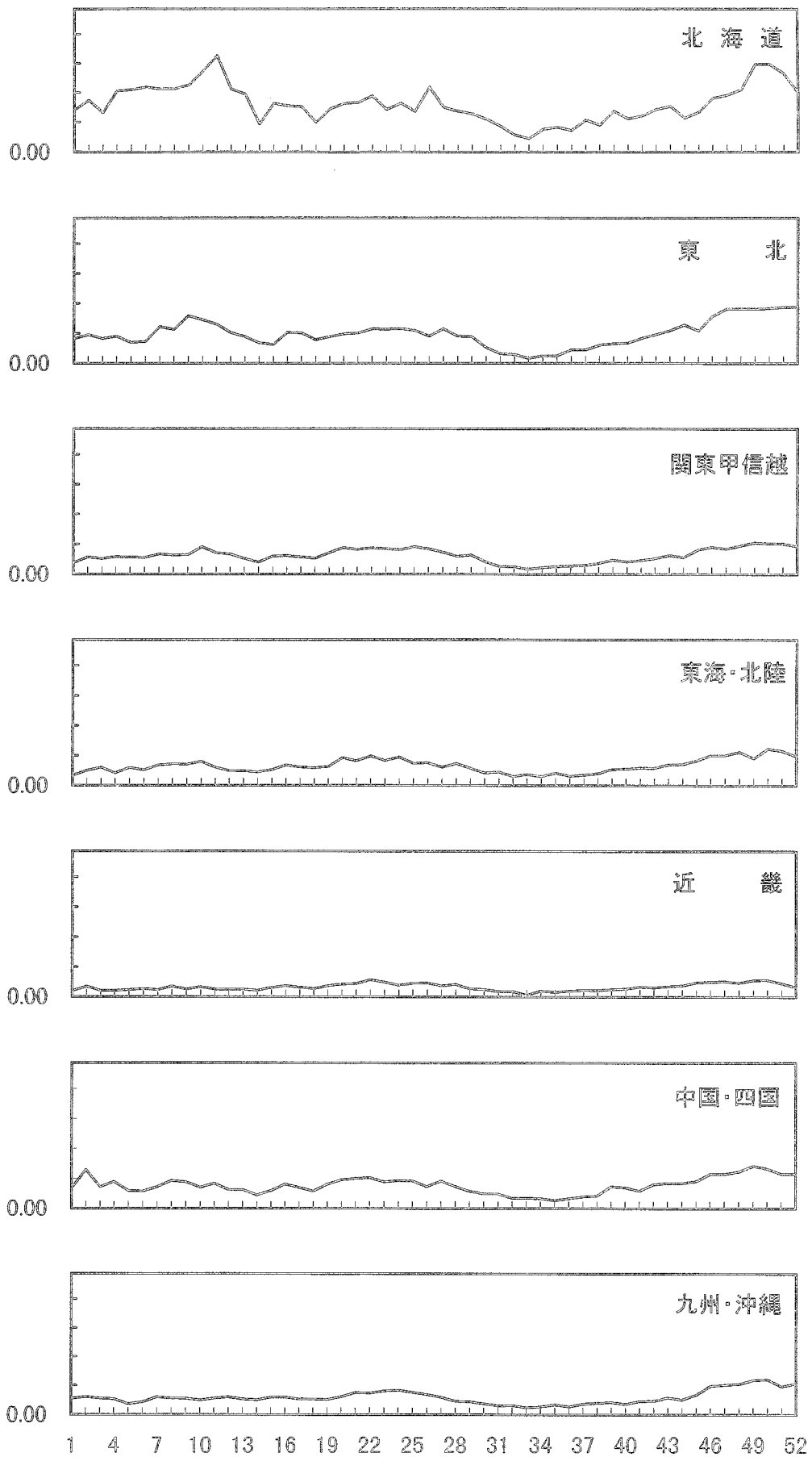


図6-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of streptococcal infection per reporting clinic, by prefecture, 1995.

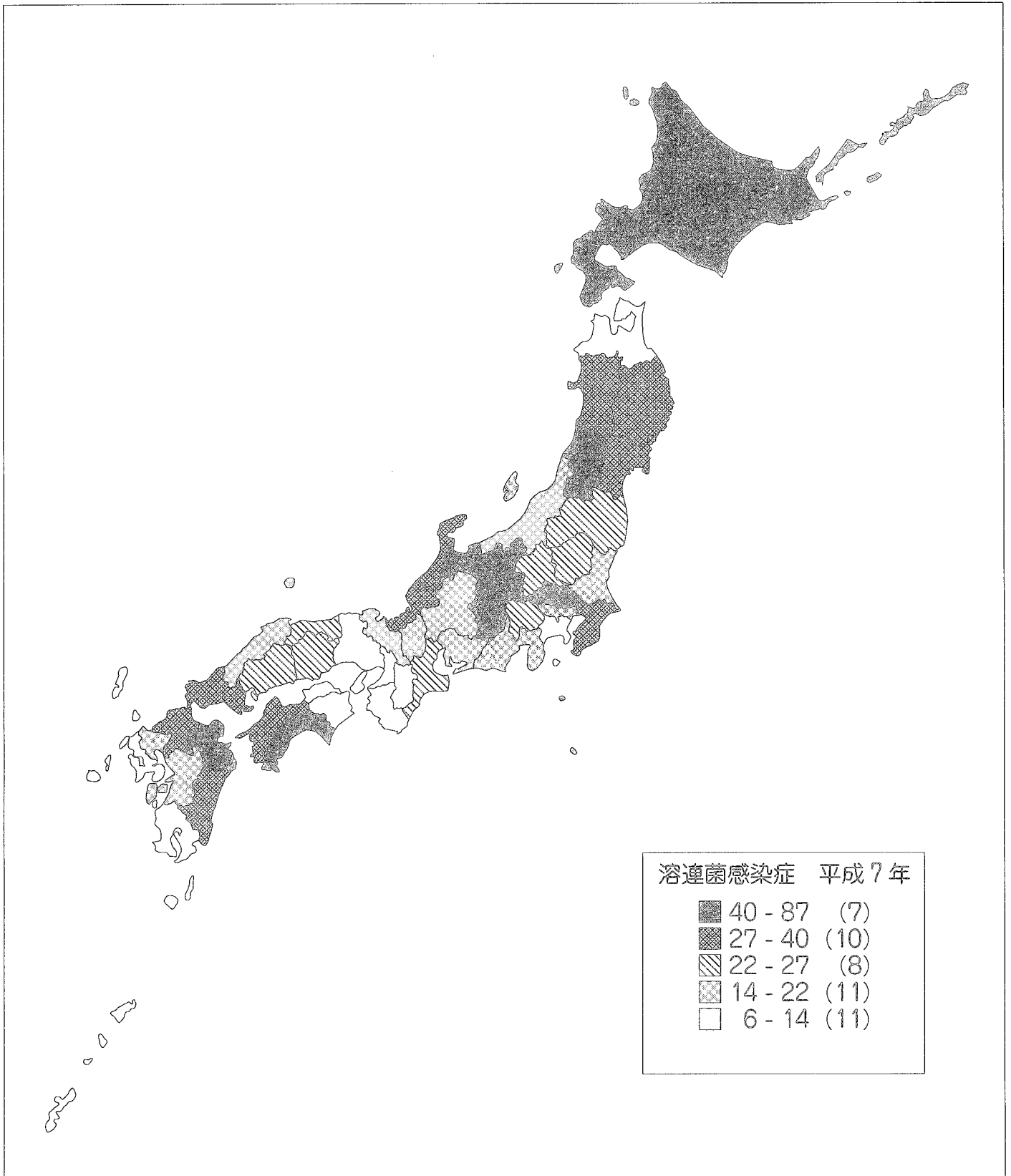
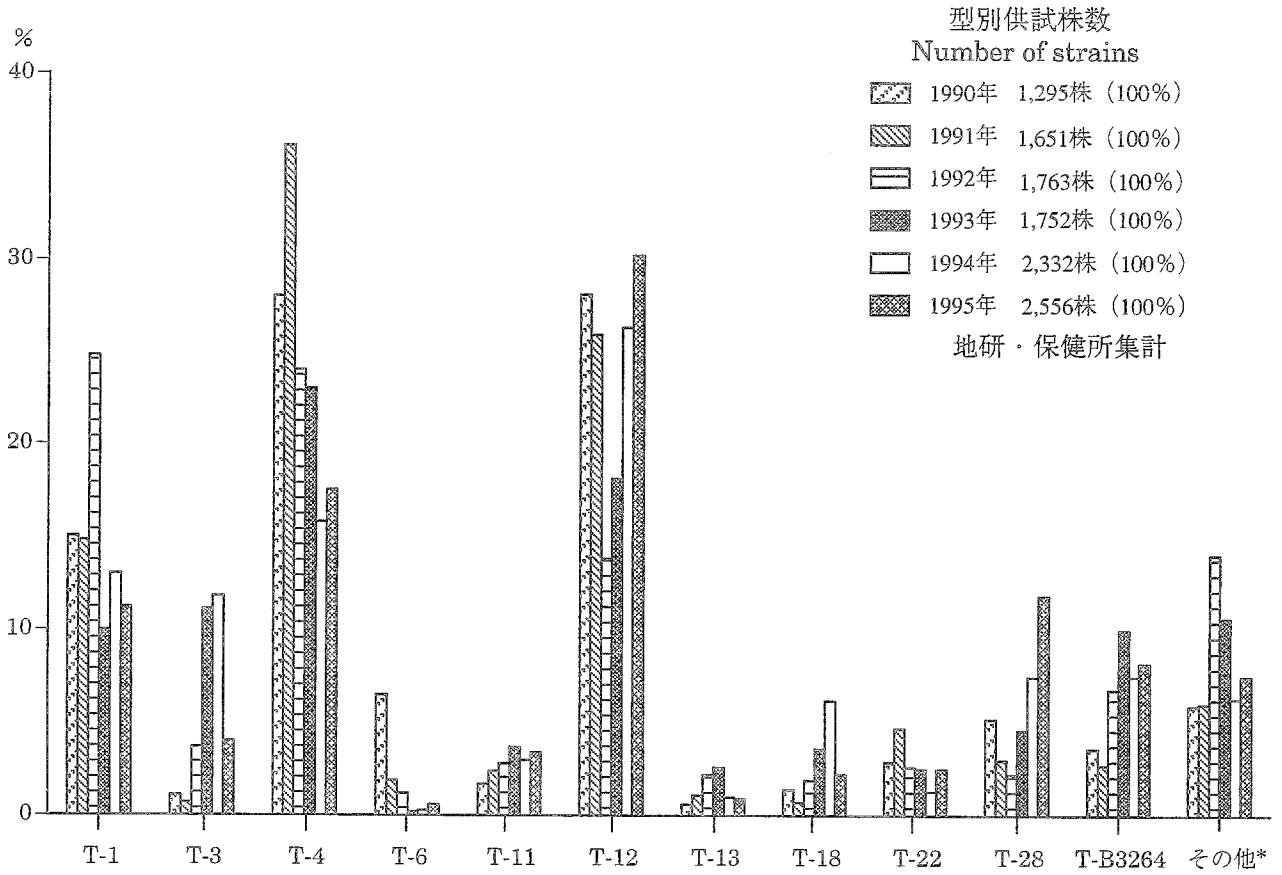


図6-5 A群レンサ球菌T型別分布、1990-1995年

Percentage distribution of group A *Streptococcus* T serotypes, Japan, 1990-1995.



(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

*型別不能を含む
*Other types including untypable strains

7. 異型肺炎

1984年は累積報告数定点当たり28.13人、1988年は20.95人と大きな流行の山を認めたが、それから4年目の1992年は15.08人とやや多い程度の発生に終わった。その後1993年、1994年と低下し、1995年の前半は最低の発生カーブとなったが、第40週以降やや増加した。1995年の累積報告数は定点当たり9.53人で、去年の8.89人よりわずかに増加をみた。

全般的には流行の谷間であるが、県別の定点当たり年間報告数では、香川県20.67人、福岡県22.27人、大分県22.41人が多く、指定都市では札幌市28.45人、北九州市16.09人、福岡市23.06人が多かった。

ブロック別年間報告数は、東海・北陸13.26人、北海道12.39人、九州・沖縄11.74人、東北10.60人、中国・四国8.72人、近畿8.38人、関東・甲信越7.32人の順であったが、第40週以後に北海道、東北で増加した。

年齢分布は0歳1.9%、1歳5.3%、2歳6.8%、3歳10.5%、4歳13.3%、5-9歳36.8%、10-14歳13.4%、15歳以上12.0%で、流行が小さいのを反映して、4歳、5-9歳の比率が低くなっている。

図7-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of atypical pneumonia per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

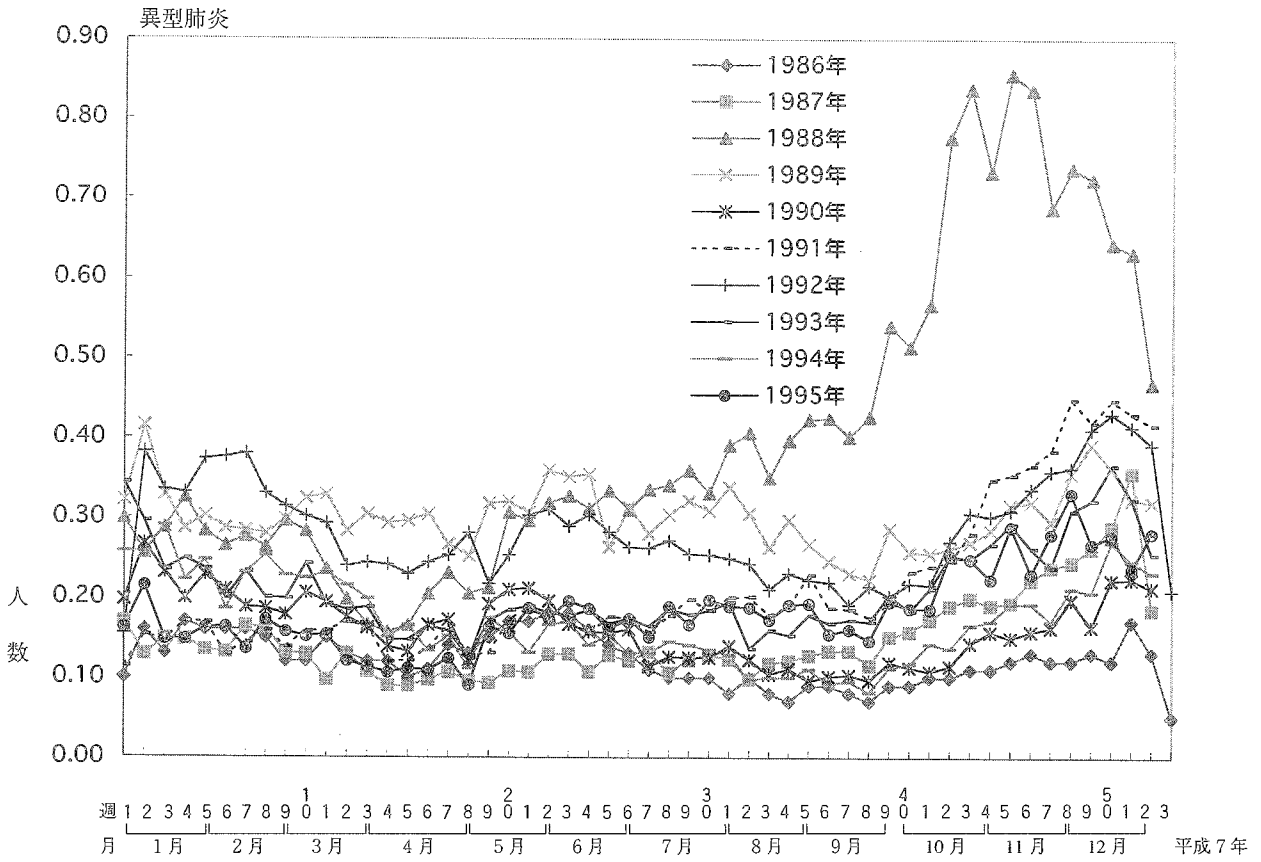


図7-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of atypical pneumonia, Japan, 1994-1995.

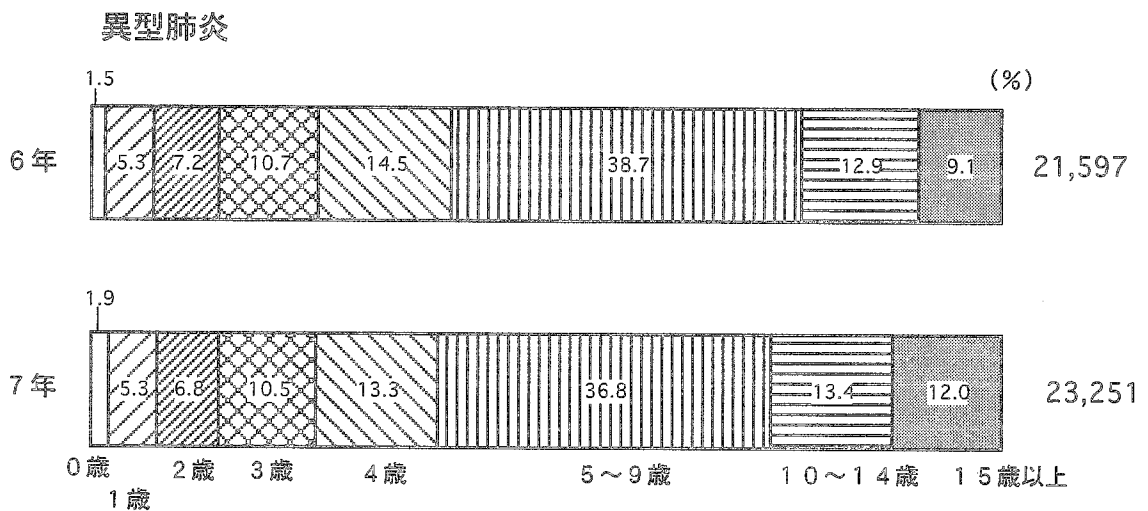
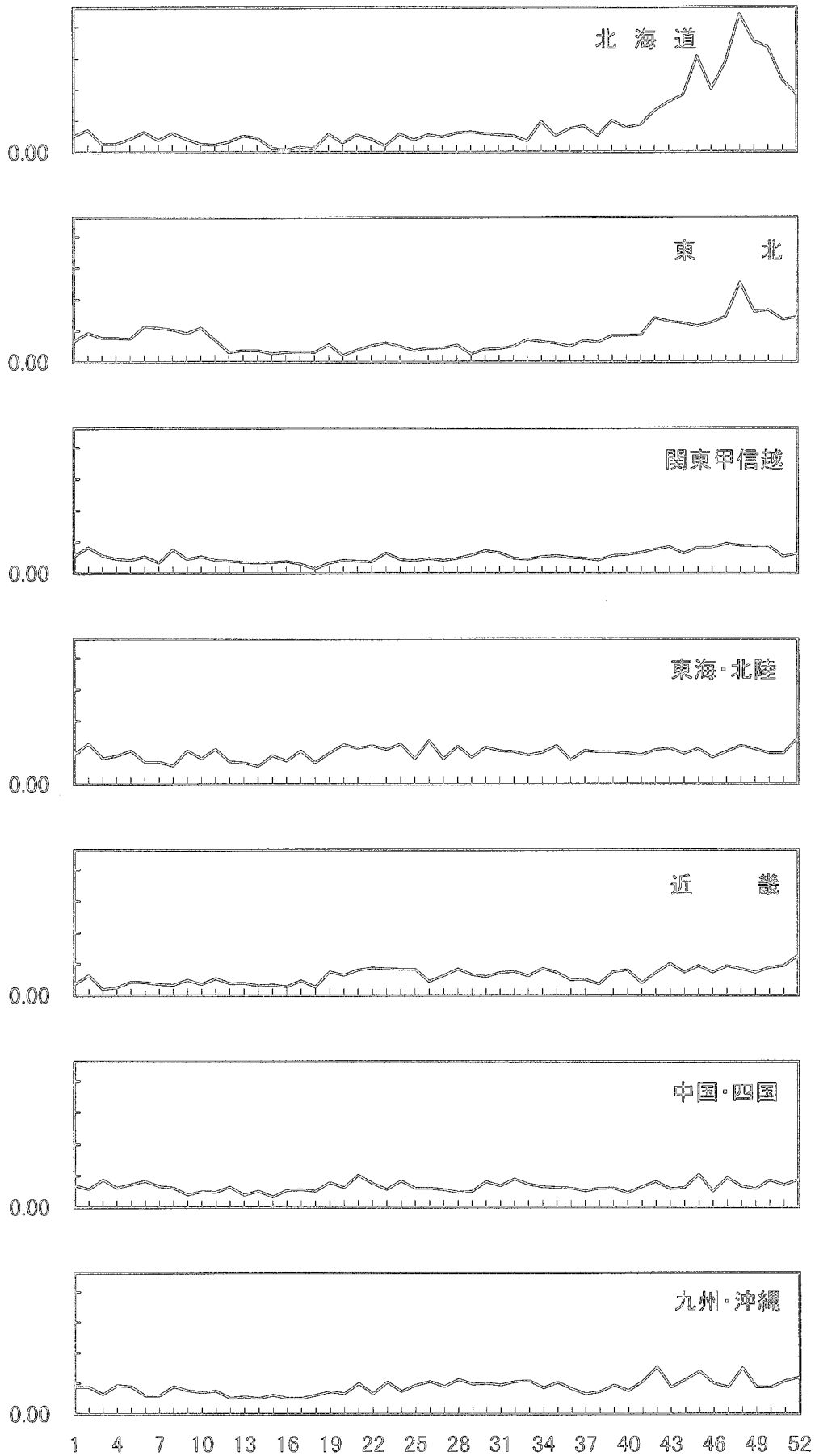


図7-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of atypical pneumonia per reporting clinic, by geographical area, 1995.

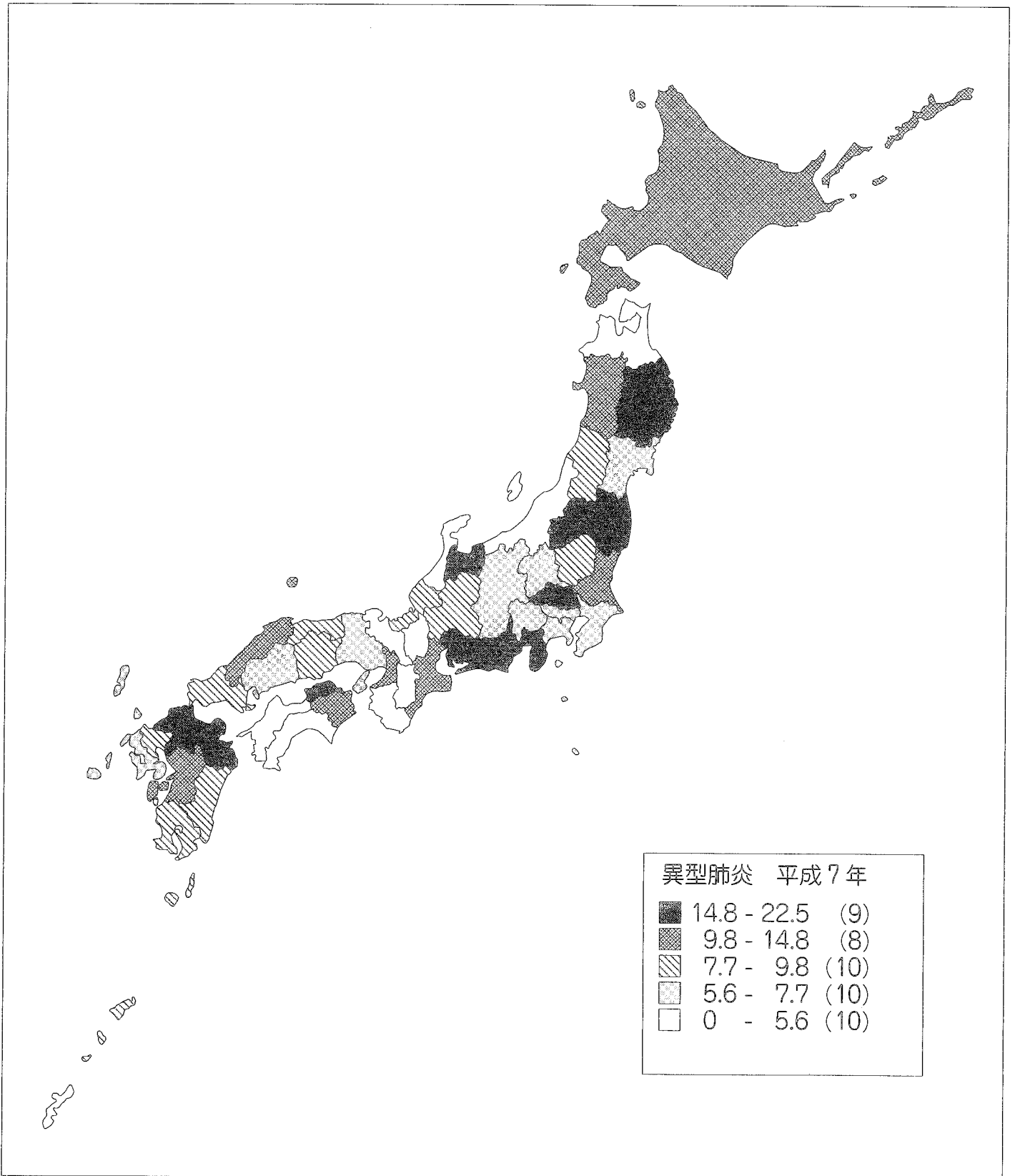
異型肺炎



MAX=1.14

平成7年

図7-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
Incidence of atypical pneumonia per reporting clinic, by prefecture, 1995.



8. 感染性胃腸炎

本年の定点当たりの報告数は193.28人であったが、例年と少し流行状況が異なり、例年第6週と第50週前後にみられたピークが、前半は第9週、後半は第48週に認められた。また、第48週のピークは1983年以来最高値を示し、定点当たり10.24人であった。

県別発生状況は山形県が最高で定点当たり350.85人、次いで三重県341.00人、京都府330.09人の順であった。特に報告が少ないのは沖縄県で定点当たり38.72人、次いで佐賀県44.28人、青森県56.23人の順であった。

ブロック別では中国・四国が定点当たり217.95人、東海・北陸が214.06人、関東・甲信越206.87人で平均値以上の人数が報告された。北海道は63.87人で平均値の1/3以下であった。

年齢別では、4歳代をピークとして1～9歳が流行の中心となり、15歳以上でも定点当たり27.45人が報告された。

図8-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infectious gastroenteritis per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

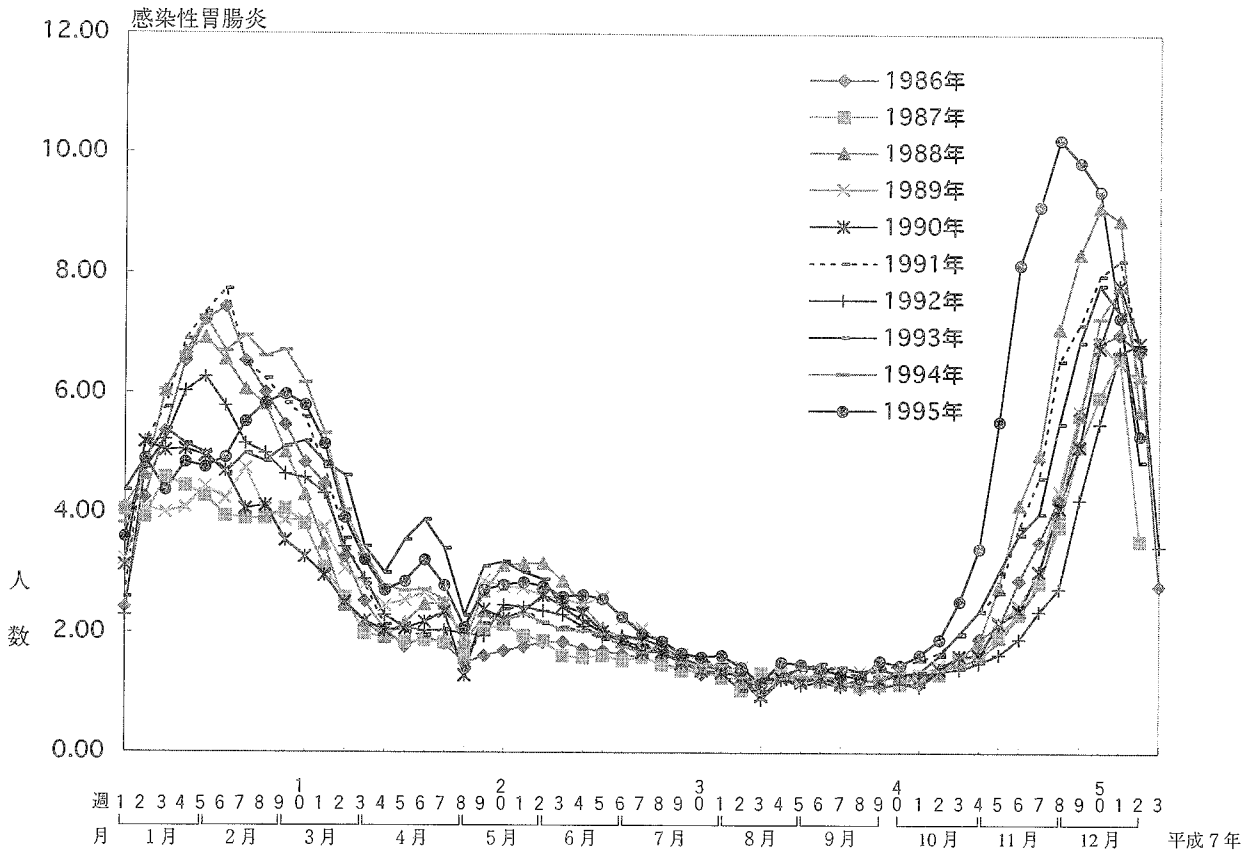


図8-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of infectious gastroenteritis, Japan, 1994-1995.

感染性胃腸炎

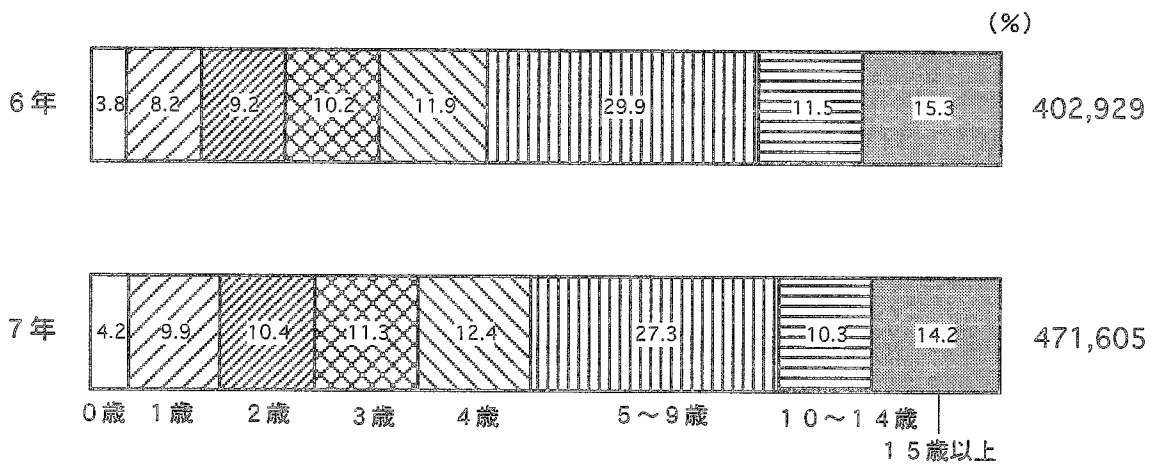
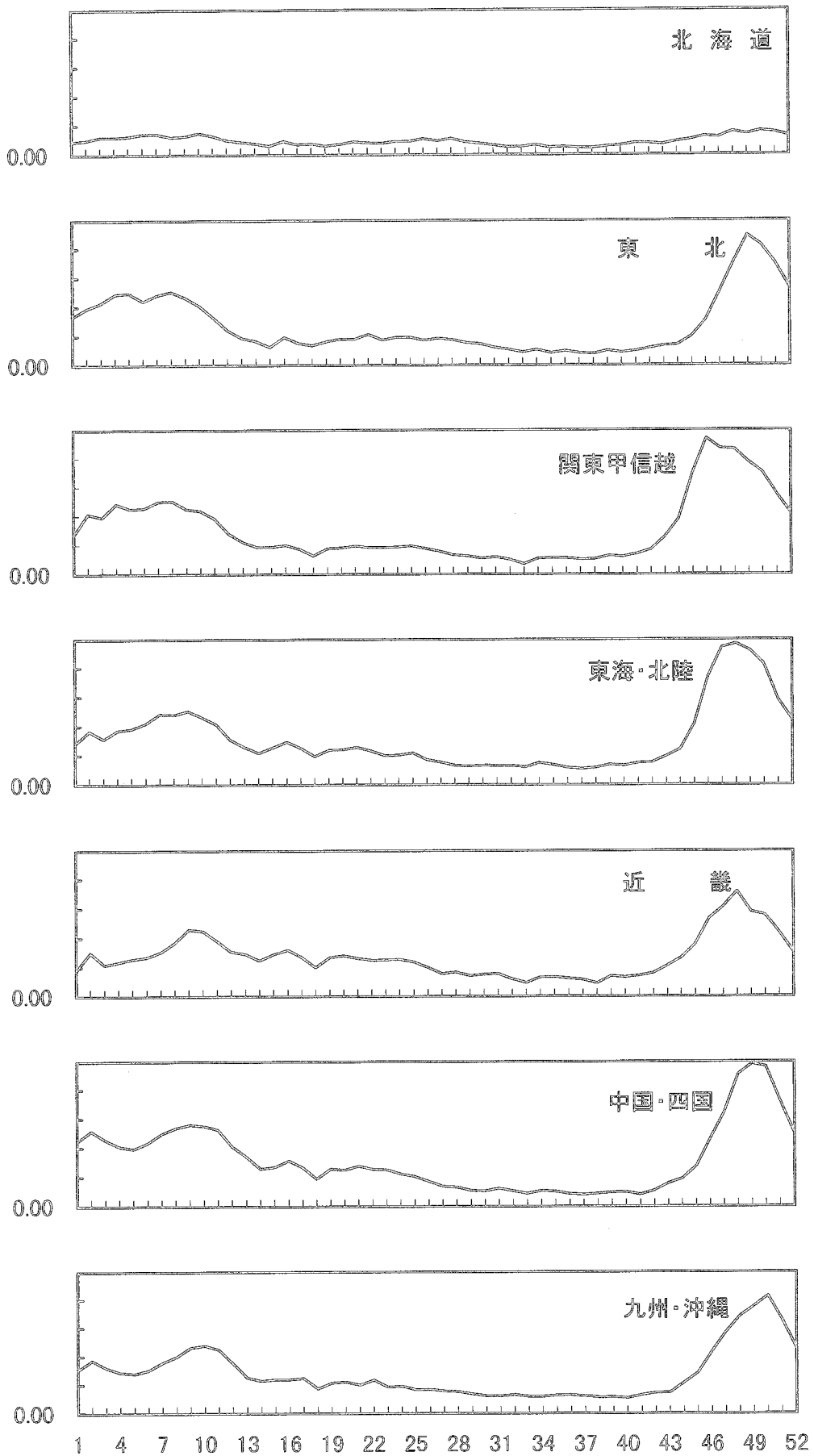


図8-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infectious gastroenteritis per reporting clinic, by geographical area, 1995.

感染性胃腸炎



MAX=12.79 平成7年

図8-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of infectious gastroenteritis per reporting clinic, by prefecture, 1995.

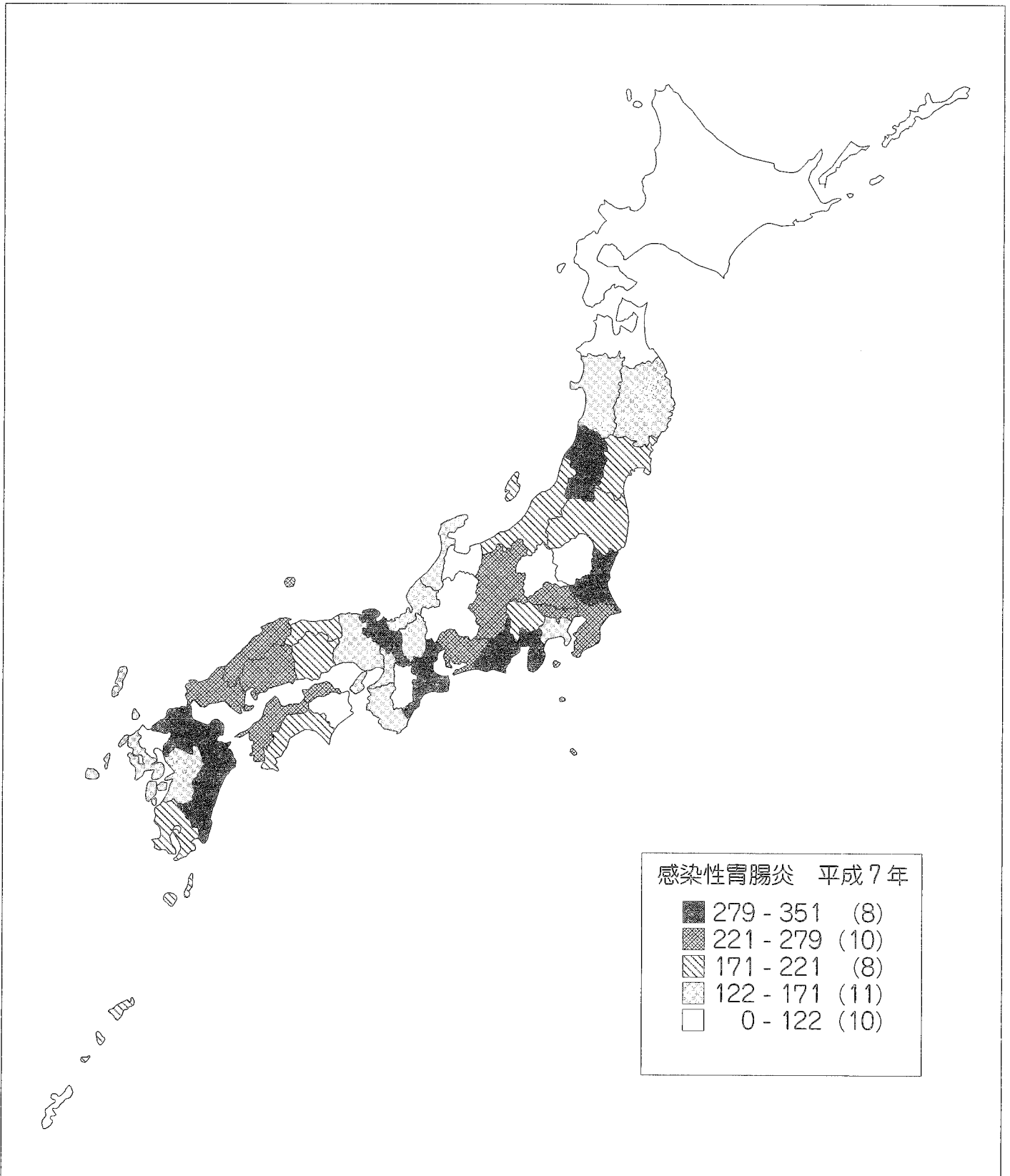
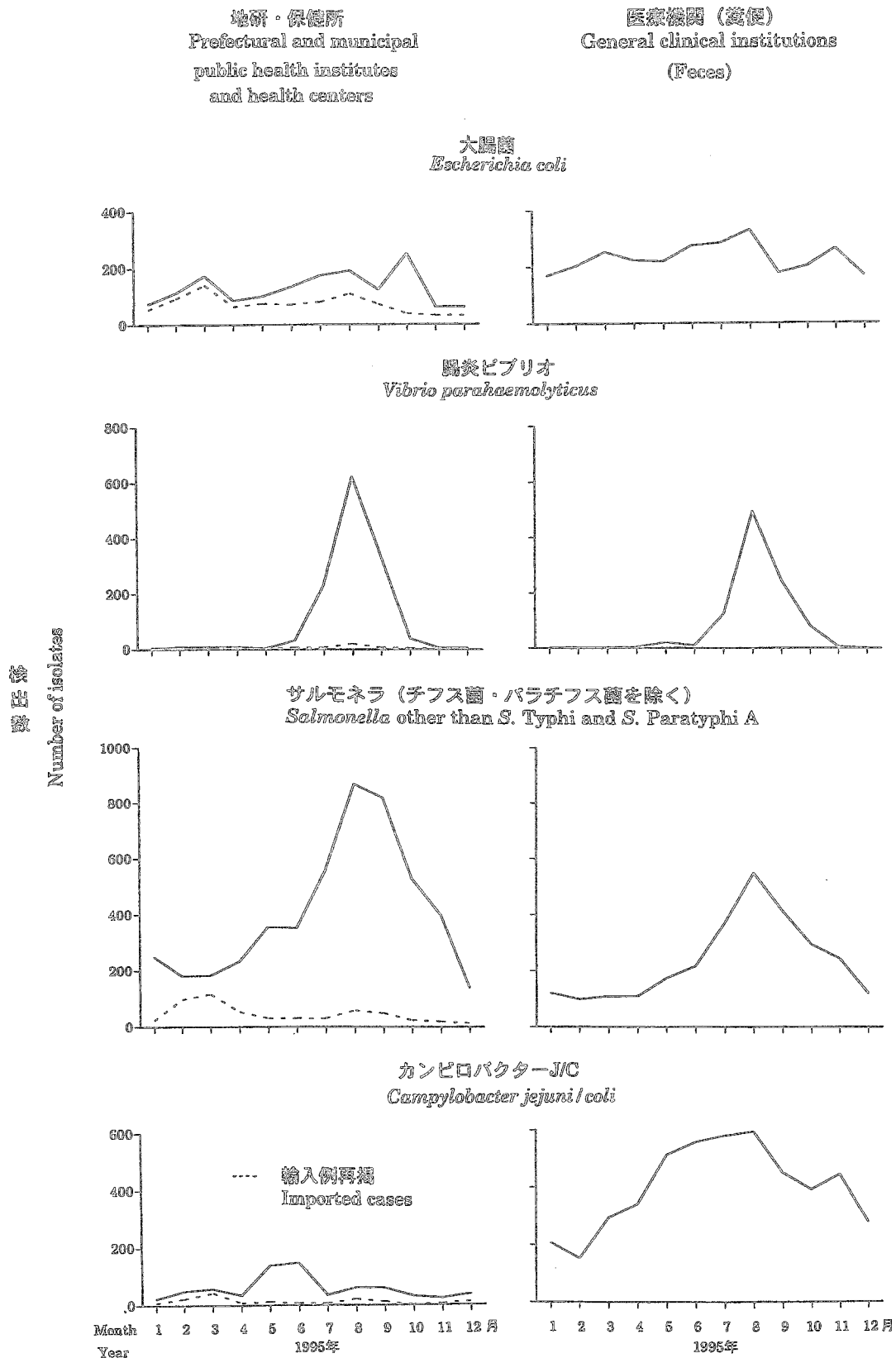


図8-5 主な胃腸炎関連病原菌の月別分離状況、1995年

Monthly reports of isolation of major enteropathogenic bacteria, Japan, 1995.



(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

9. 乳児嘔吐下痢症

本症は定点当たり47.21人が報告された。感染性胃腸炎同様、本年はピークが例年と異なり、前半は第10週、後半は第48週にみられ、後ピーク時の報告数は定点当たり3.14人であった。例年のピークが第5週前後、後半51週付近と比べて異なった動きとなった。

県別の動向では西高東低型で、福岡県は定点当たり150.00人、次いで宮崎県145.43人、大分県138.56人であり、少ない県は山梨県9.66人、奈良県12.67人、石川県14.73人であった。

ブロック別では、九州・沖縄の92.96人に対して、北海道20.51人で北海道が少ない傾向は明白であった。

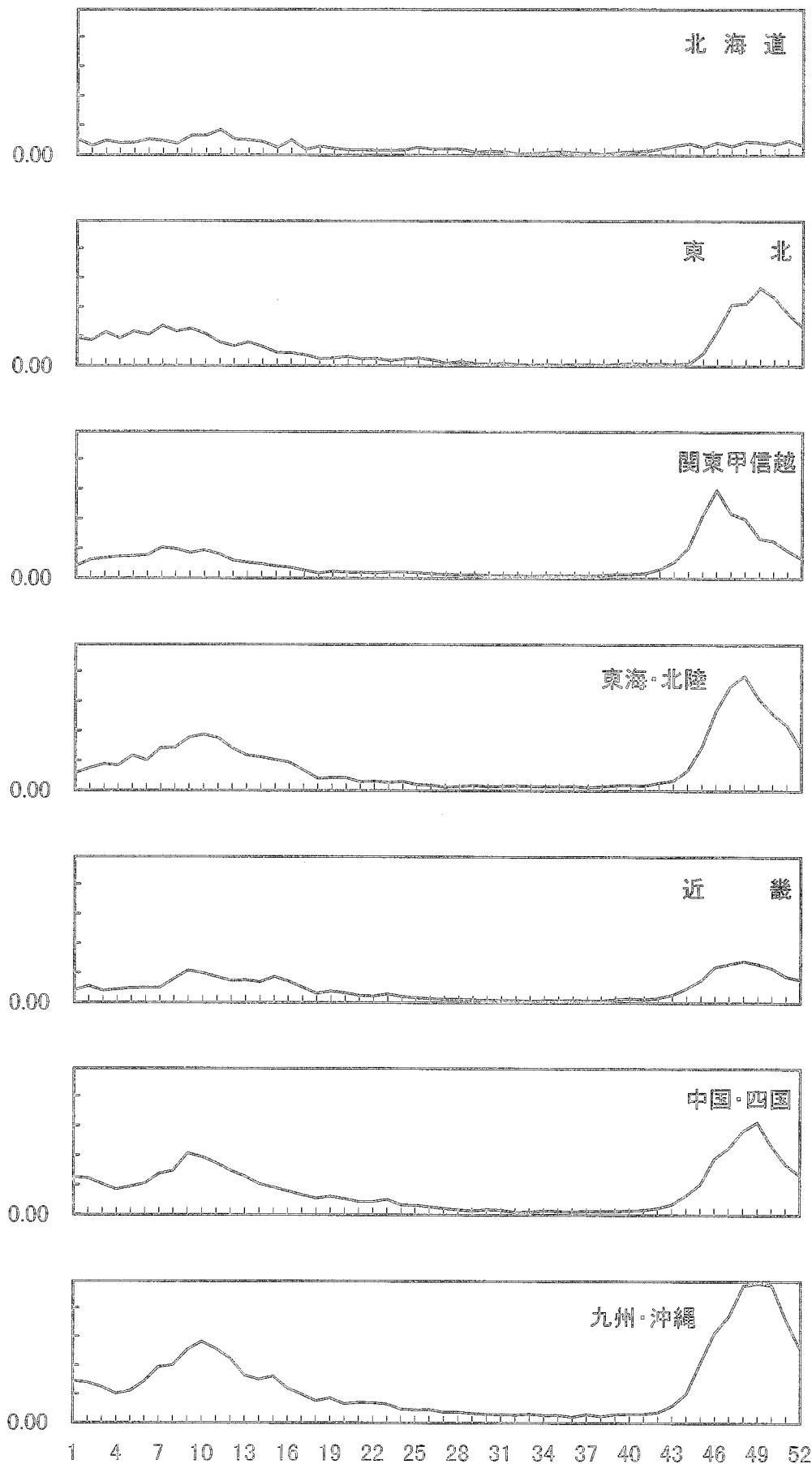
また、年齢層については、疾患名から3歳以下に集まっているが、1歳18.48人(39.1%)、0歳17.93人(38.0%)となっていた。

流行状況は感染性胃腸炎とよく似ており、同一病原体による感染が含まれている可能性が高い。

図9-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, by geographical area, 1995.

乳児嘔吐下痢症



MAX=6.42

平成7年

図9-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, by prefecture, 1995.

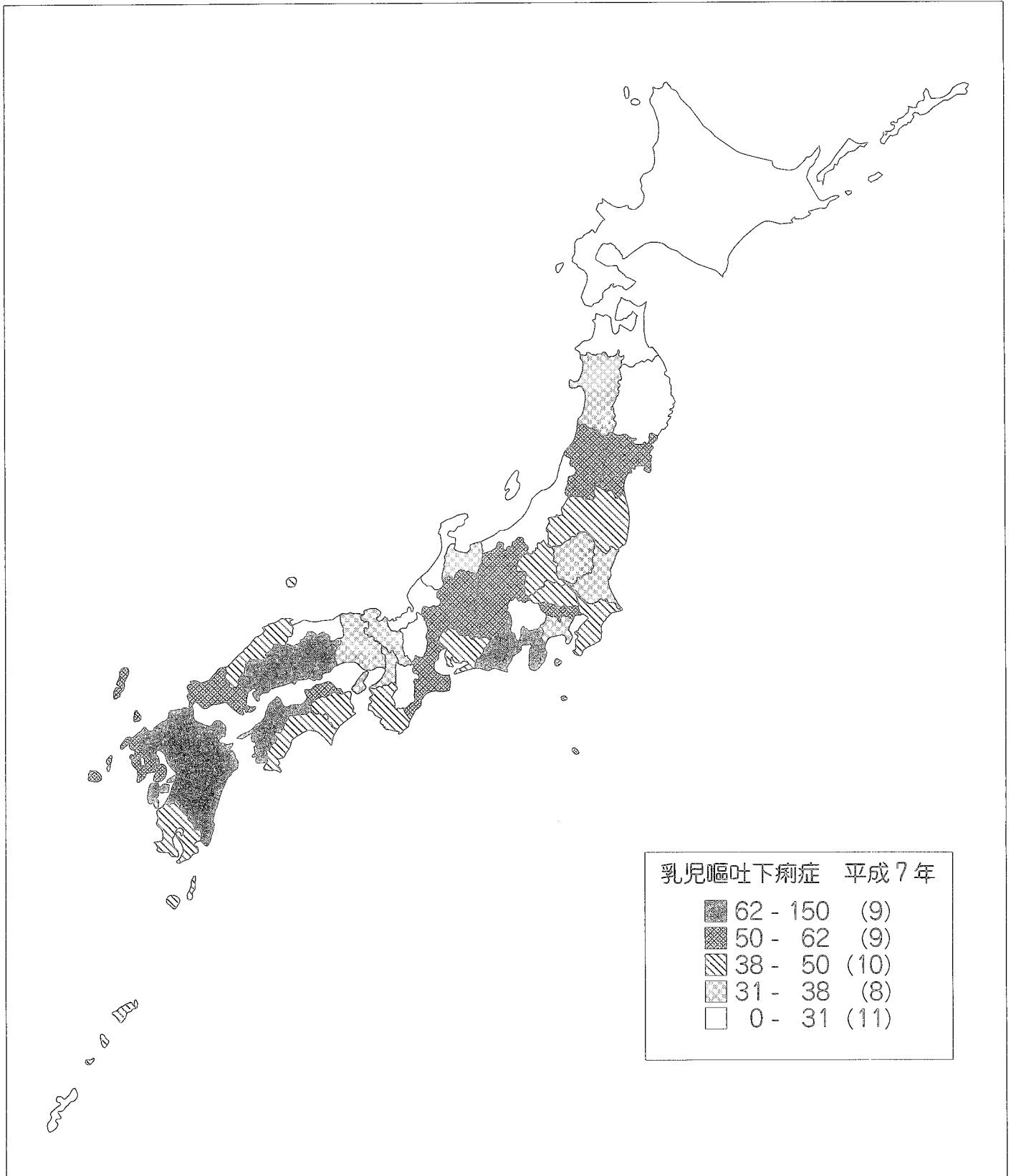
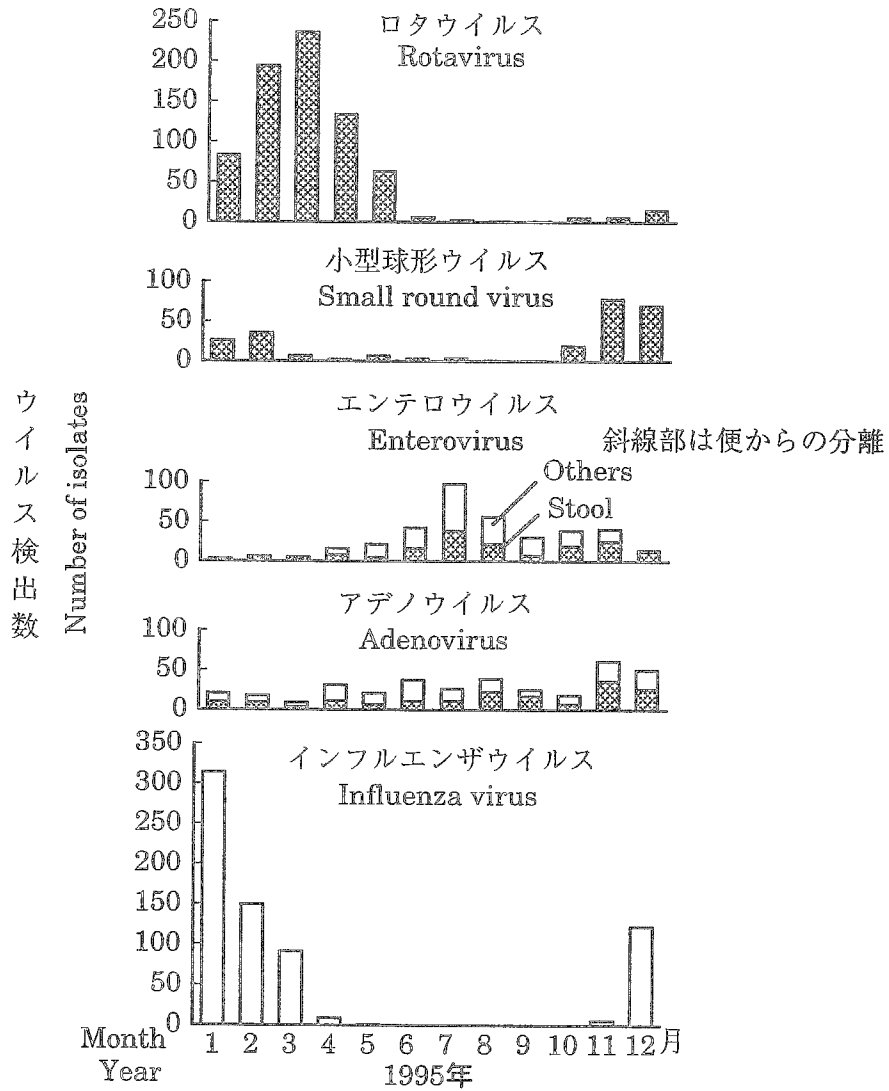
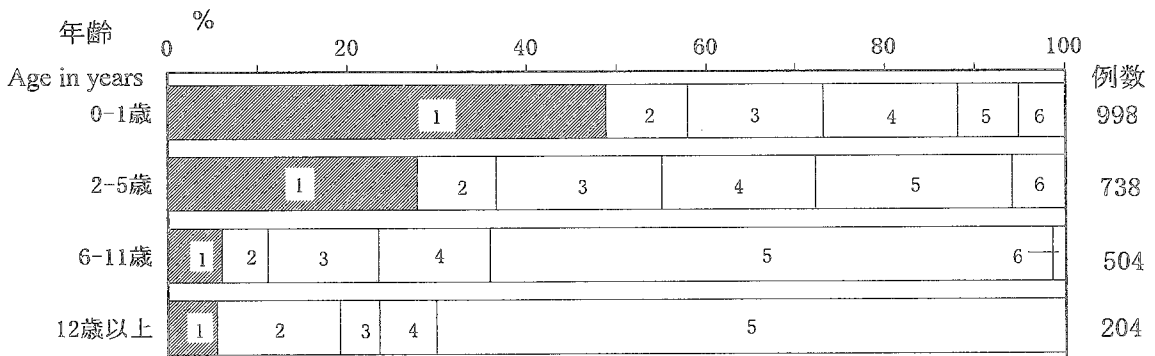
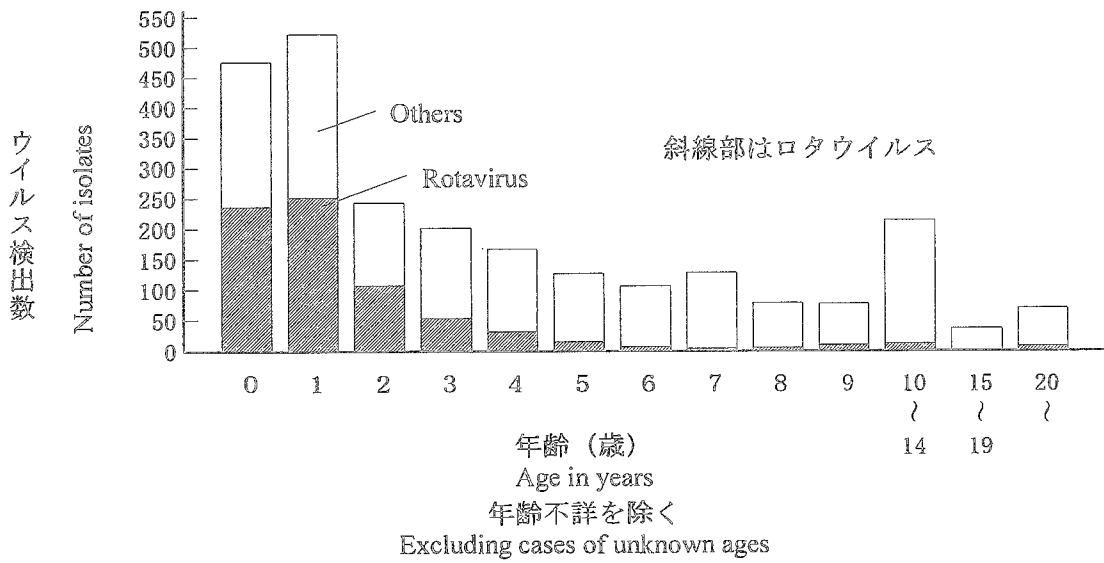


図9-5 胃腸炎症状のあった例からの月別ウイルス検出状況、1995年
 Monthly reports of isolation of viruses from gastroenteritis cases, Japan, 1995.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

図9-6 胃腸炎症状のあった例からの年齢別ウイルス検出状況、1995年
 Detection of viruses from gastroenteritis cases, by age, Japan, 1995.



- | | | |
|----|-------------|-------------------|
| 1. | ロタウイルス | Rotavirus |
| 2. | 小型球形ウイルス | Small round virus |
| 3. | エンテロウイルス | Enterovirus |
| 4. | アデノウイルス | Adenovirus |
| 5. | インフルエンザウイルス | Influenza virus |
| 6. | その他のウイルス | Others |

(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

表9-1 胃腸炎症状のあった例からのウイルス検出状況、1995年

Detection of viruses from gastroenteritis cases, Japan, 1995.

	検出総数 Total reported (%)	胃腸炎症状の記載による集計 Detection from (%)		臨床診断名による集計 Clinical diagnosis (%)	
		胃腸炎症状のあった例からの検出数 Cases with gastroenteritis	胃腸炎症状のあった例の便からの検出数 Feces from Cases with gastroenteritis	「乳児嘔吐下痢症」患者からの検出数 Infantile vomiting & diarrhea	「感染性胃腸炎」患者からの検出数 Infectious gastroenteritis
ロタ (Rota)	785 (5.8)	746 (29.6)	746 (56.0)	366 (78.3)	288 (49.6)
小型球形ウイルス (SRV)	266 (2.0)	253 (10.0)	253 (19.0)	31 (6.6)	90 (15.5)
エンテロ (Enteroc)	2,898 (21.5)	368 (14.6)	157 (11.8)	29 (6.2)	90 (15.5)
アデノ (Adeno)	1,768 (13.1)	359 (14.2)	175 (13.1)	35 (7.5)	88 (15.1)
インフルエンザ (Influenza)	6,633 (49.3)	692 (27.4)	- (0.0)	4 (0.9)	17 (2.9)
その他のウイルス (Others)	1,105 (8.2)	104 (4.1)	1 (0.1)	2 (0.4)	8 (1.4)
合計 (Total)	13,455 (100.0)	2,522 (100.0)	1,332 (100.0)	467 (100.0)	581 (100.0)

(病原微生物検出情報)

(Infectious Agents Surveillance Report)

表9-2 ロタと小型球形ウイルス検出例の年齢分布、1995年

Age distribution of cases yielding rotavirus or small round virus, Japan, 1995.

年 齢 Age in years	ロ タ Rota (%)	小型球形ウイルス SRV (%)
0 歳	236 (32.2)	41 (19.5)
1	251 (34.2)	50 (23.8)
2	107 (14.6)	23 (11.0)
3	53 (7.2)	29 (13.8)
4	31 (4.2)	7 (3.3)
5~9	37 (5.0)	23 (11.0)
10~19	11 (1.5)	18 (8.6)
20~29	- (0.0)	9 (4.3)
30~	7 (1.0)	10 (4.8)
合計 (Total)	733 (100.0)	210 (100.0)

年齢不詳を除く

Excluding cases of unknown ages

(病原微生物検出情報)

(Infectious Agents Surveillance Report)

10. 手足口病

本年は過去1983年以来の最大の流行がみられ、定点当たり65.03人の報告があった。流行状況は例年とよく類似し、第28週がピークで定点当たり7.69人が報告された。1987年のように第35週以後も流行が続いた年もあったが、本年は第34週に定点当たり1.0人を切って以来漸減を示し、第4四半期は特に問題はなかった。

県別では静岡県が報告が多く、定点当たり165.67人と平均の1.7倍強であった。次いで山形県、富山県、大分県、三重県、福岡県、鳥取県、島根県が定点当たり100人以上であった。また、ほとんど流行がなかった所は、青森県の17.77人を筆頭に高知県、新潟県が少なかった。

ブロック別では、東海・北陸は定点当たり100.22人で特に多く、次いで九州・沖縄の71.87人であった。

年齢別では1歳代から4歳代に広く分布していた。

図10-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

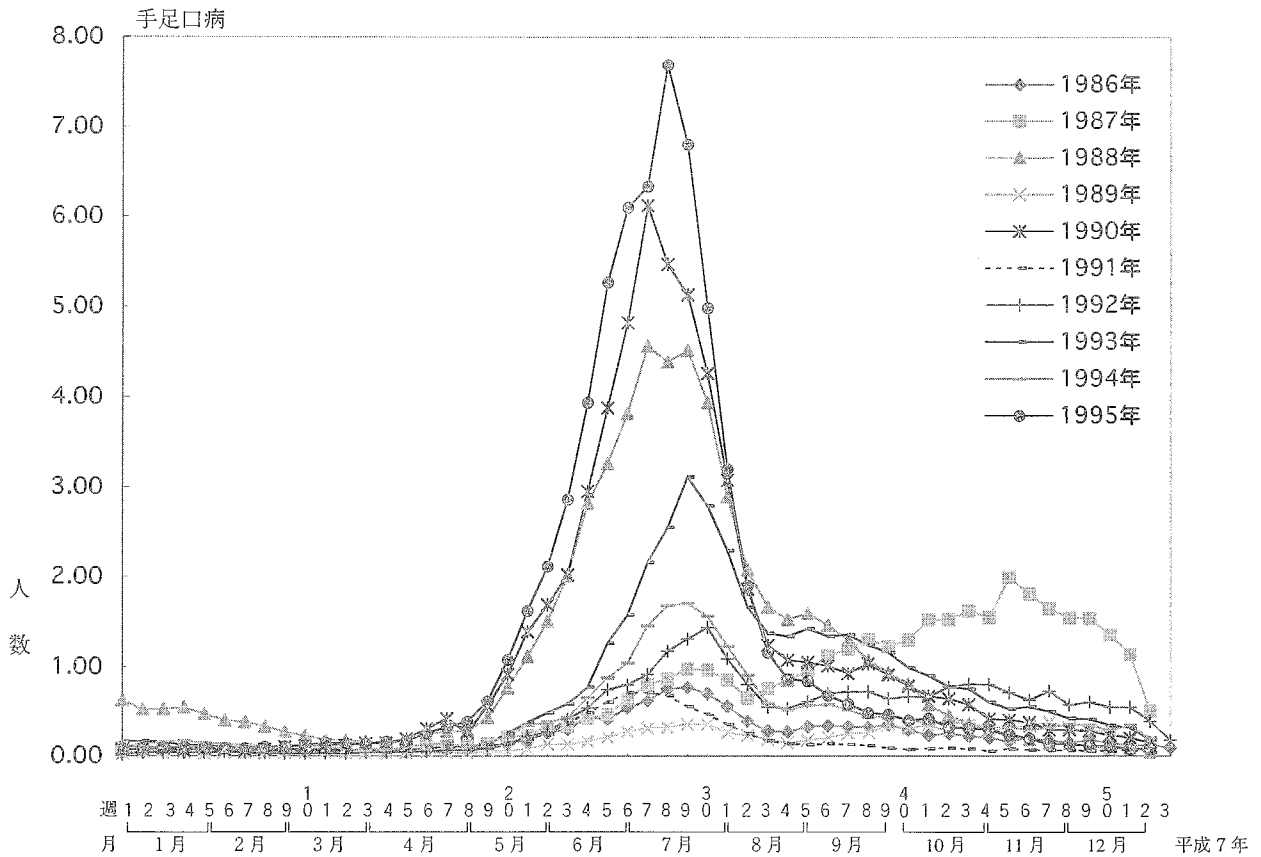


図10-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of hand-foot-and-mouth disease, Japan, 1994-1995.

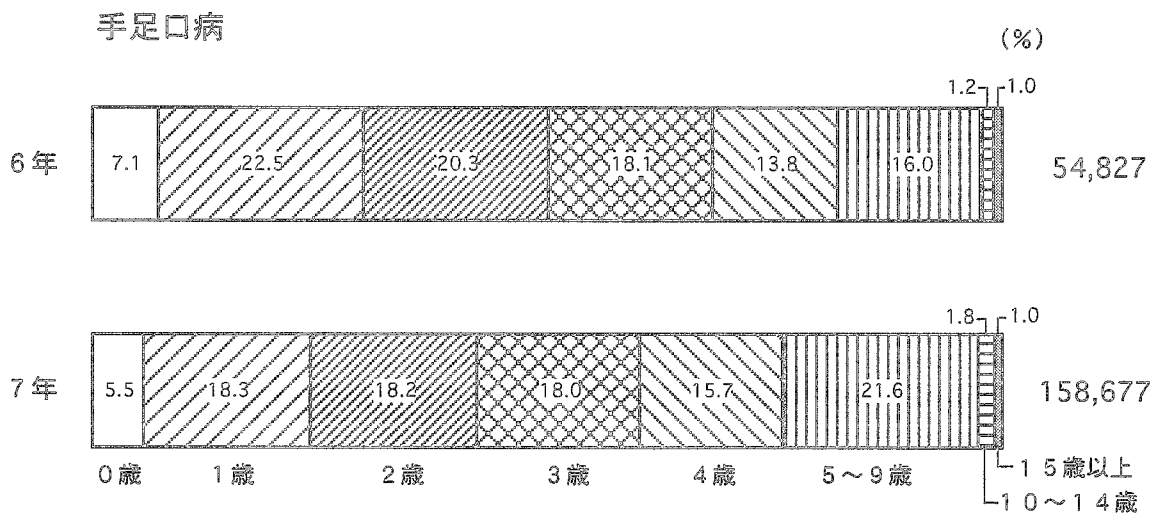
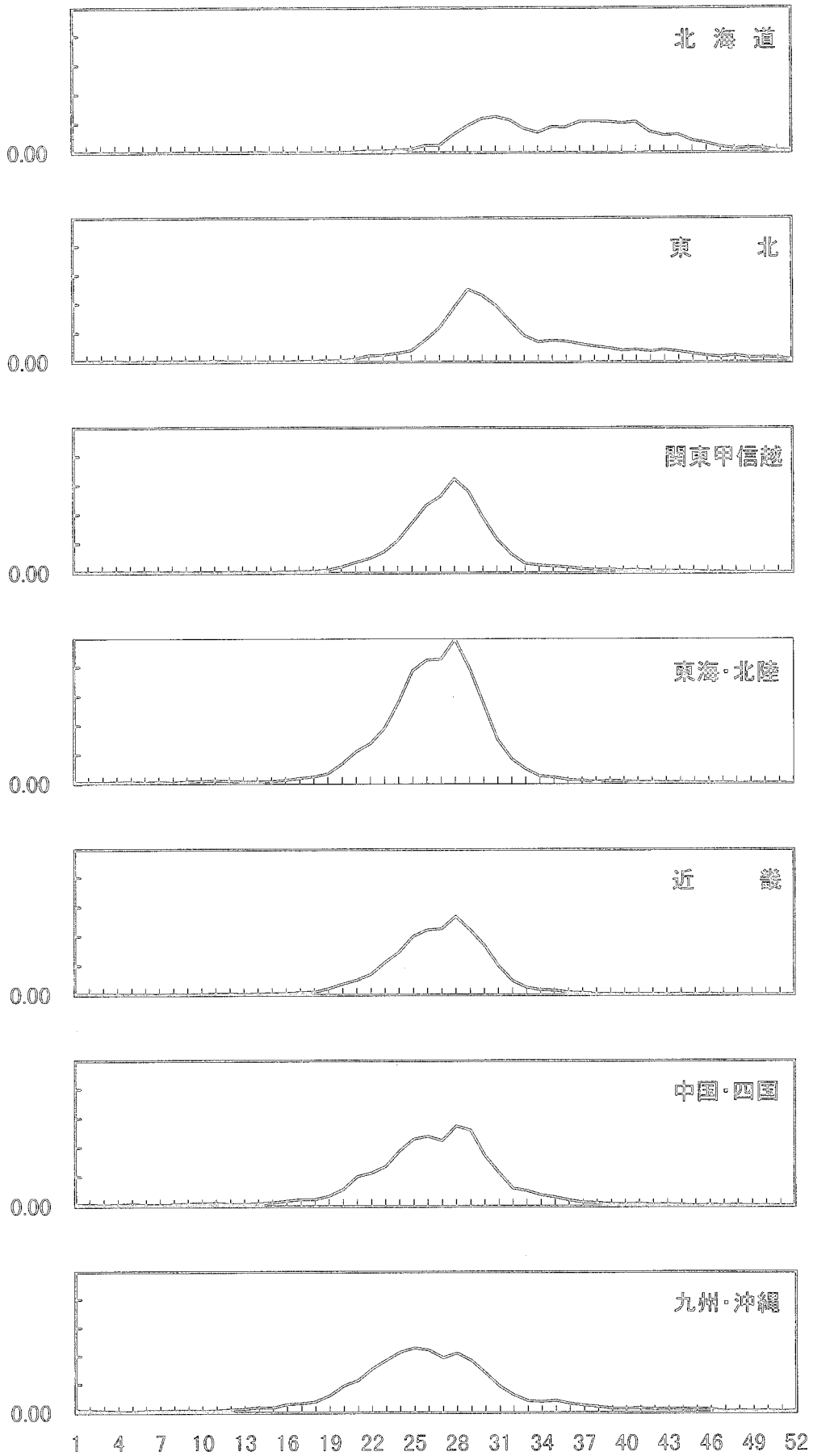


図10-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, by geographical area, 1995.

手足口病



MAX=13.06 平成7年

图10-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, by prefecture, 1995.

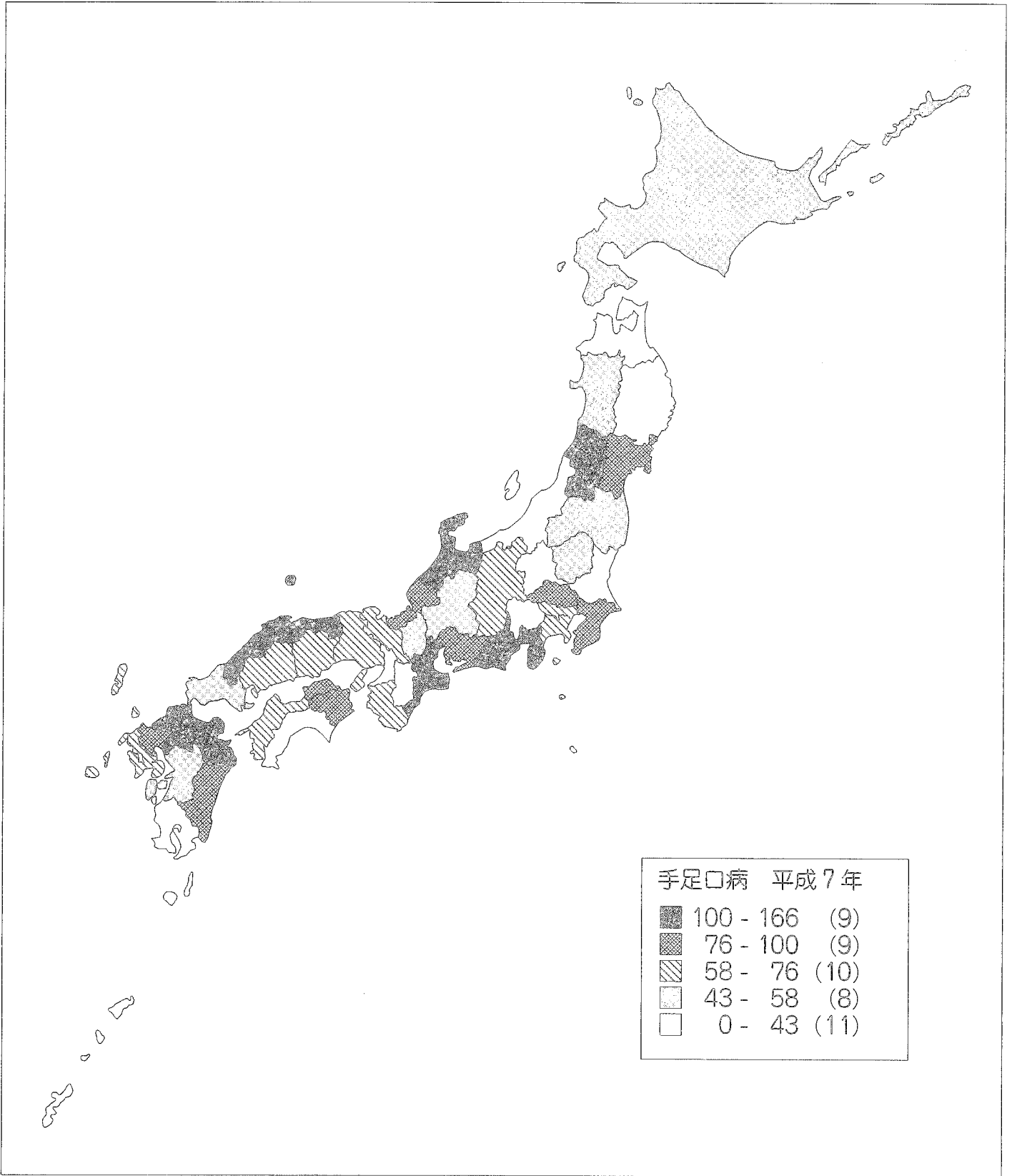
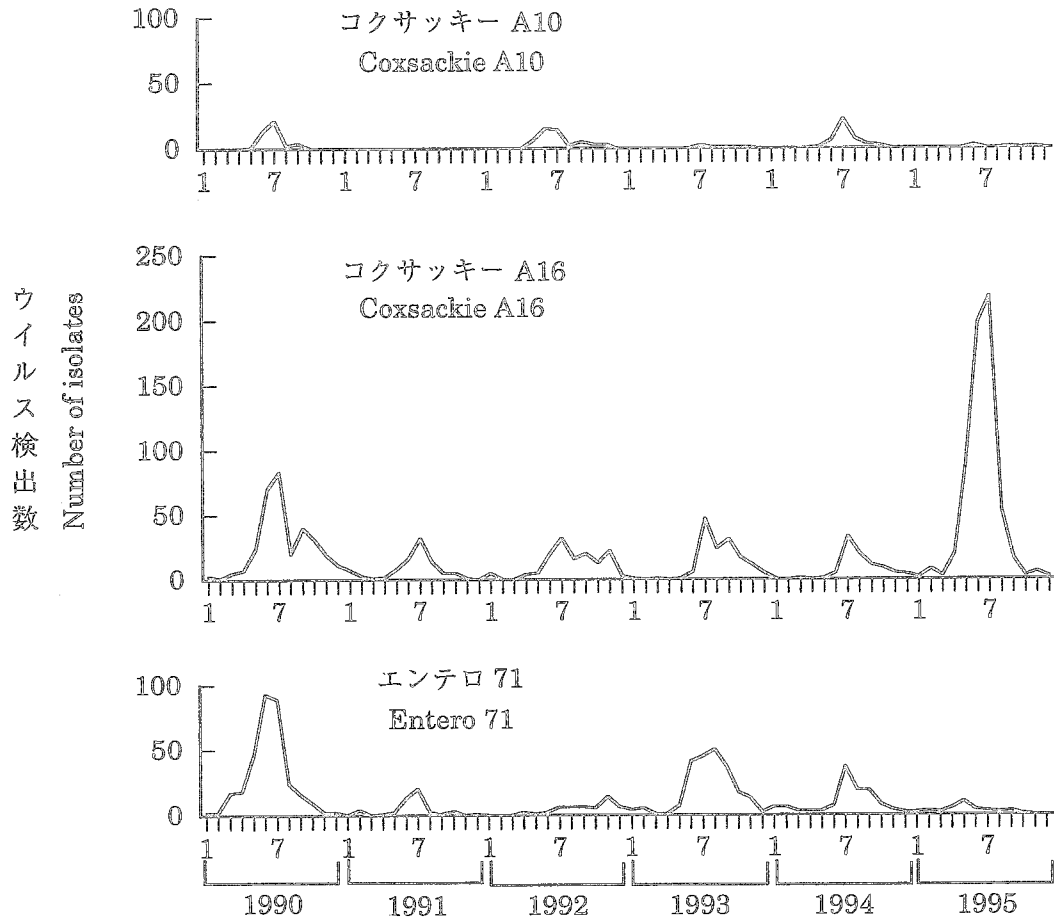


図10-5 手足口病からの月別ウイルス検出状況、1990年-1995年

Monthly reports of isolation of viruses from cases of hand-foot-and-mouth disease, Japan, 1990-1995.



(病原微生物検出情報)

(Infectious Agents Surveillance Report)

11. 伝染性紅斑

本年は流行年でなく、定点当たりの報告数は5.70人であった。

県別にみると地域差がみられ、北海道19.21人、山形県15.19人、福岡県14.94人、埼玉県12.77人の報告がみられた。

ブロック別にみると北海道地区で平均の約4倍、東北、関東・甲信越で各1.5倍の報告が認められた。

図11-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of erythema infectiosum per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

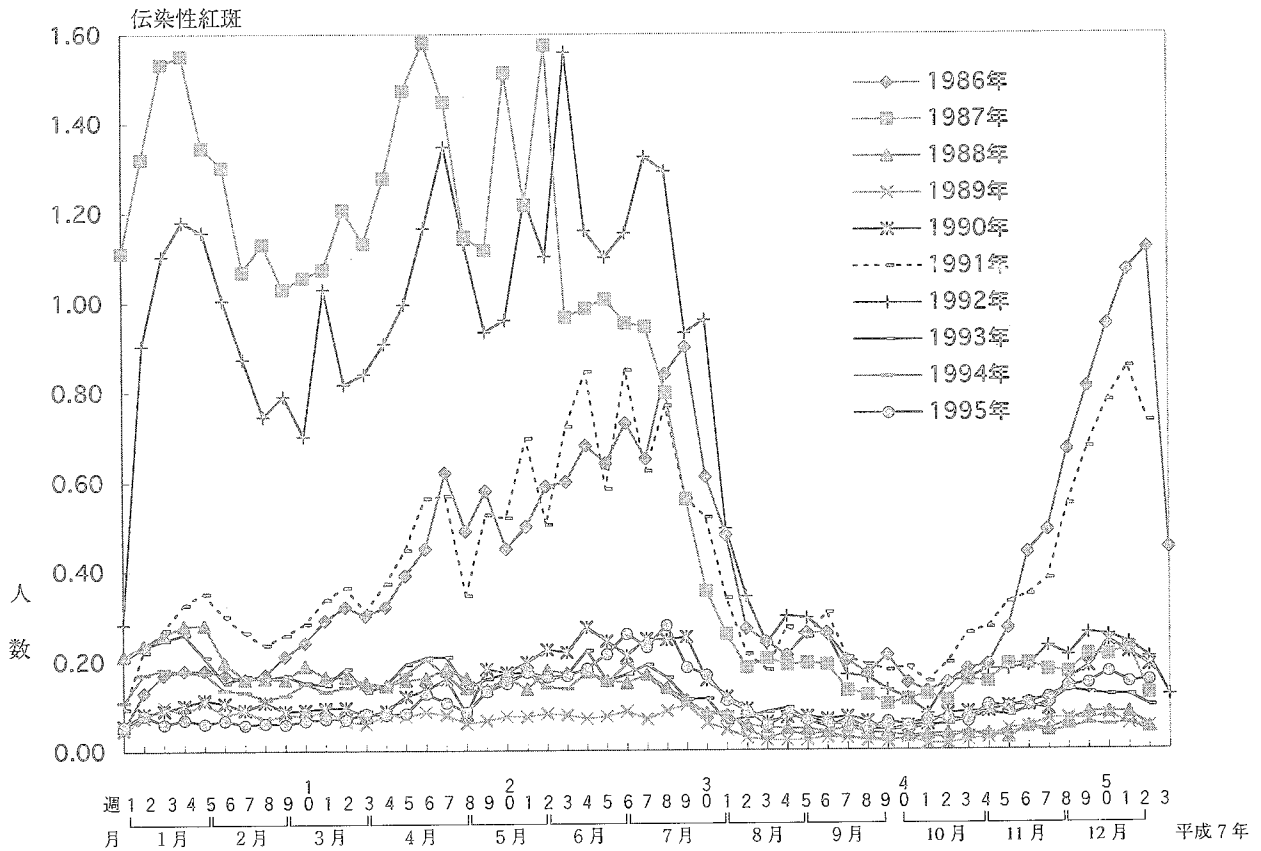


図11-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of erythema infectiosum, Japan, 1994-1995.

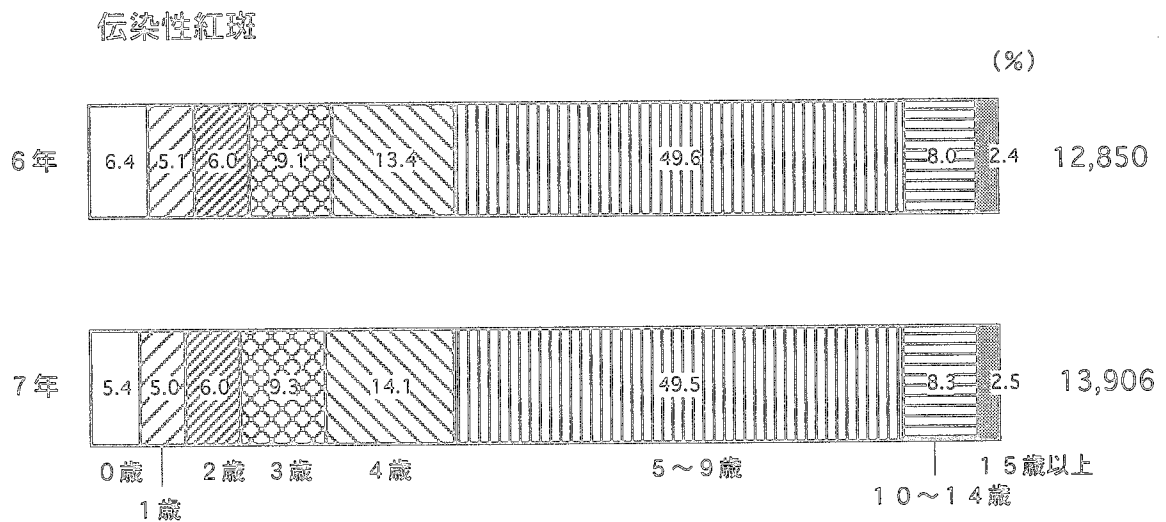


図11-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of erythema infectiosum per reporting clinic, by geographical area, 1995.

伝染性紅斑

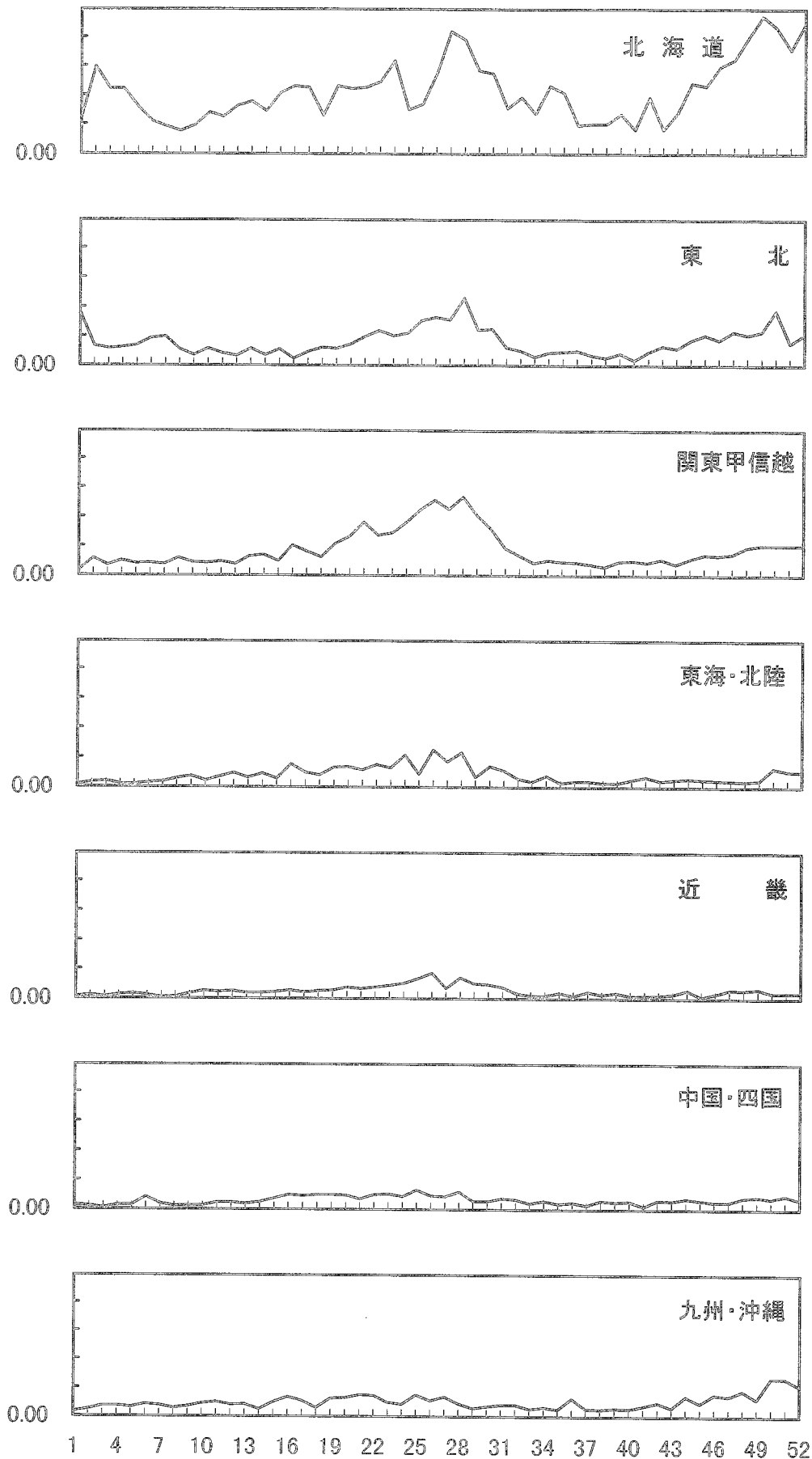
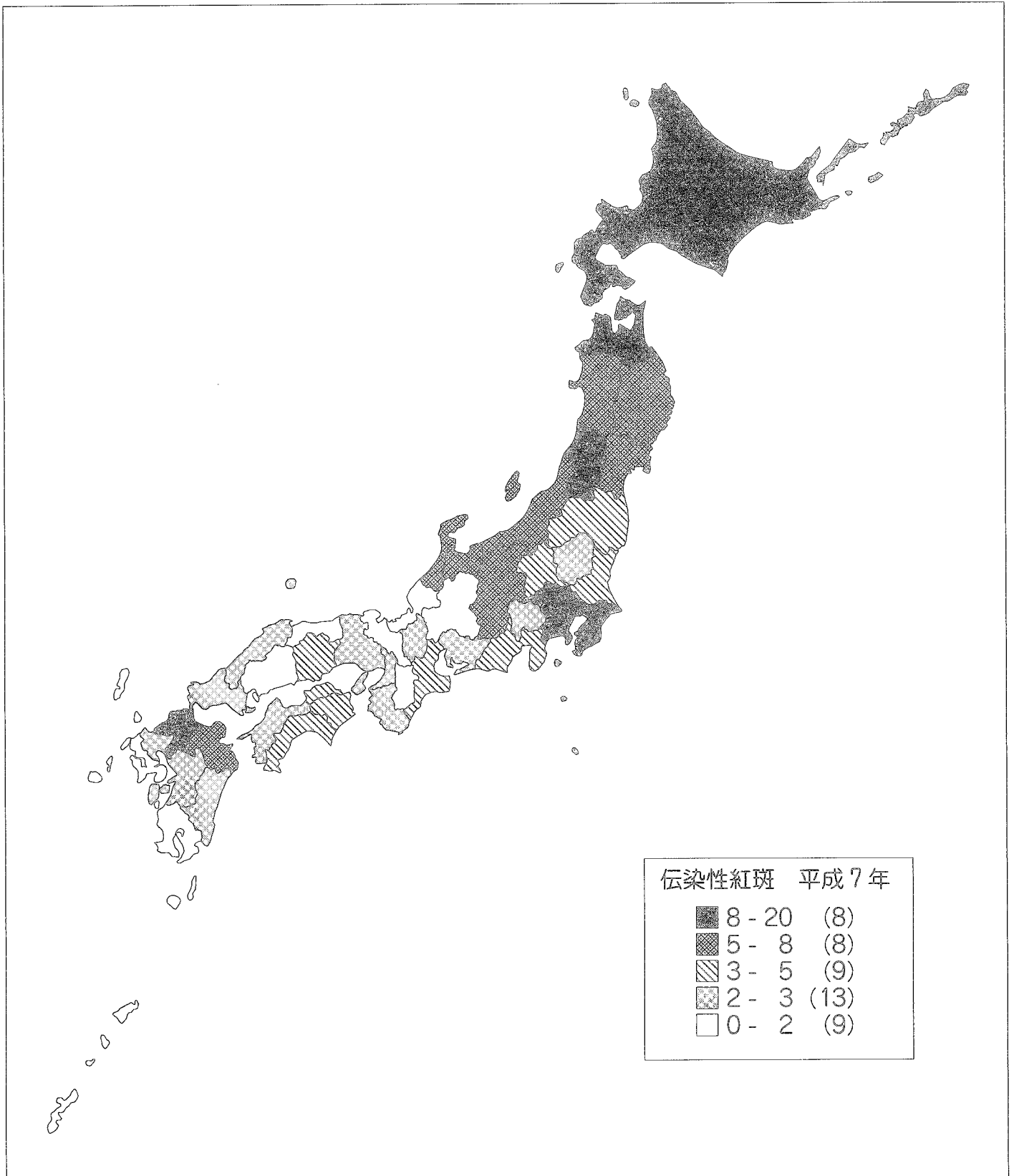


図11-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of erythema infectiosum per reporting clinic, by prefecture, 1995.



12. 突発性発しん

本年の定点当たりの報告数は35.05人であり、過去12年間で最低値であった。流行の動向は例年と同じ傾向であった。

理由は明らかではないが、山梨県、奈良県、沖縄県からの報告は定点当たり20人以下で、他の県より特に少ない傾向がみられた。

ブロック差は認められなかった。

年齢は0歳代に集中した従来の傾向であった。

図12-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of exanthem subitum per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

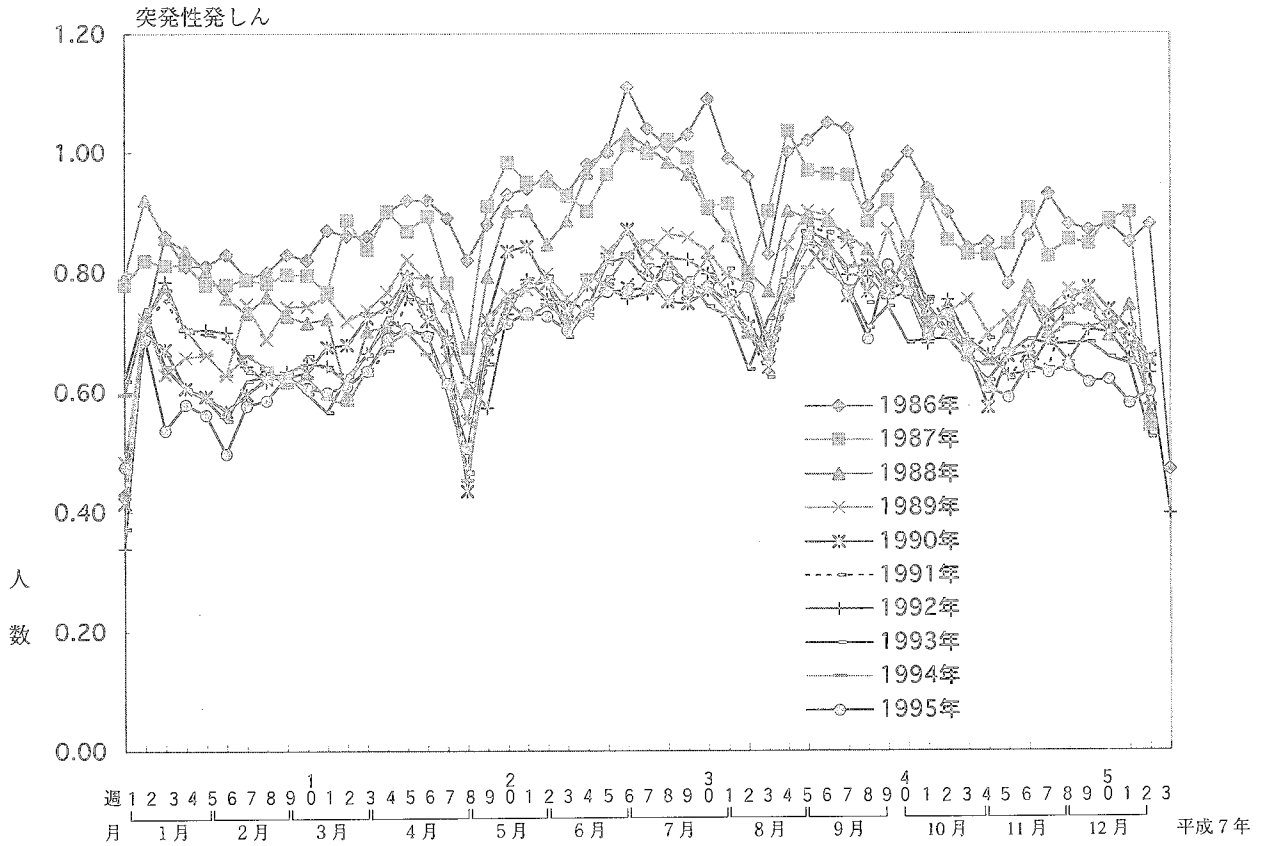


図12-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of exanthem subitum, Japan, 1994-1995.

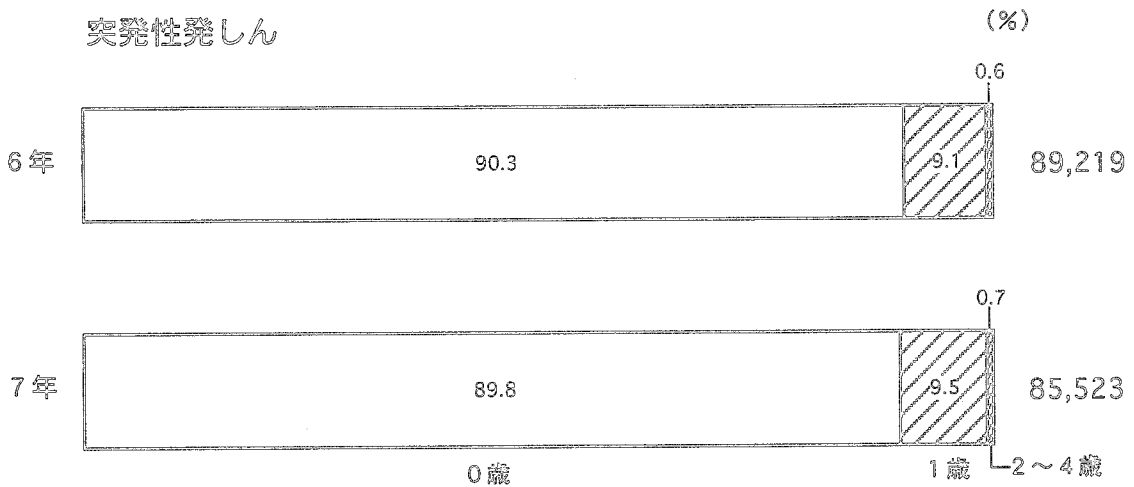
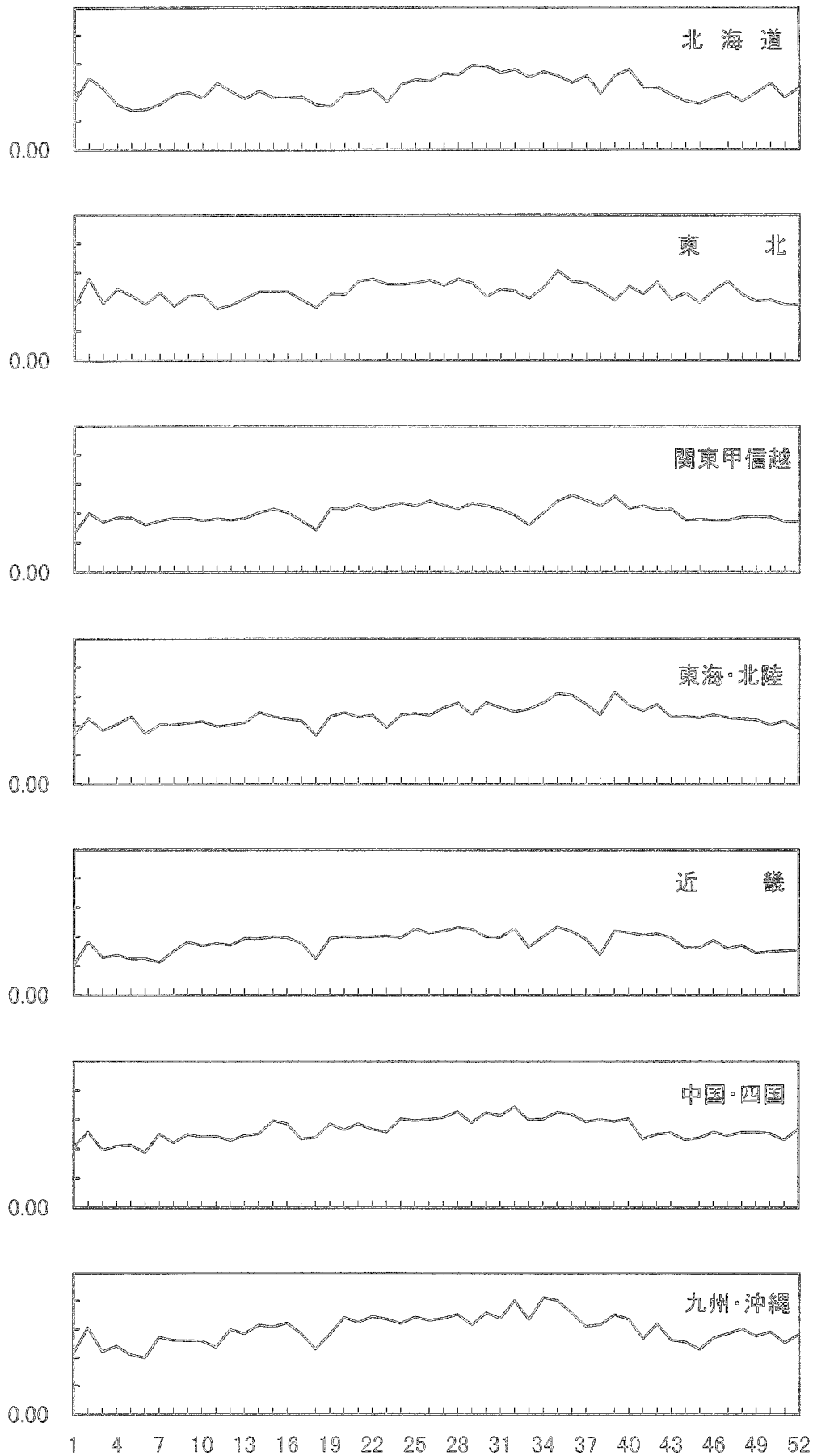


図12-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of exanthem subitum per reporting clinic, by geographical area, 1995.

突発性発しん

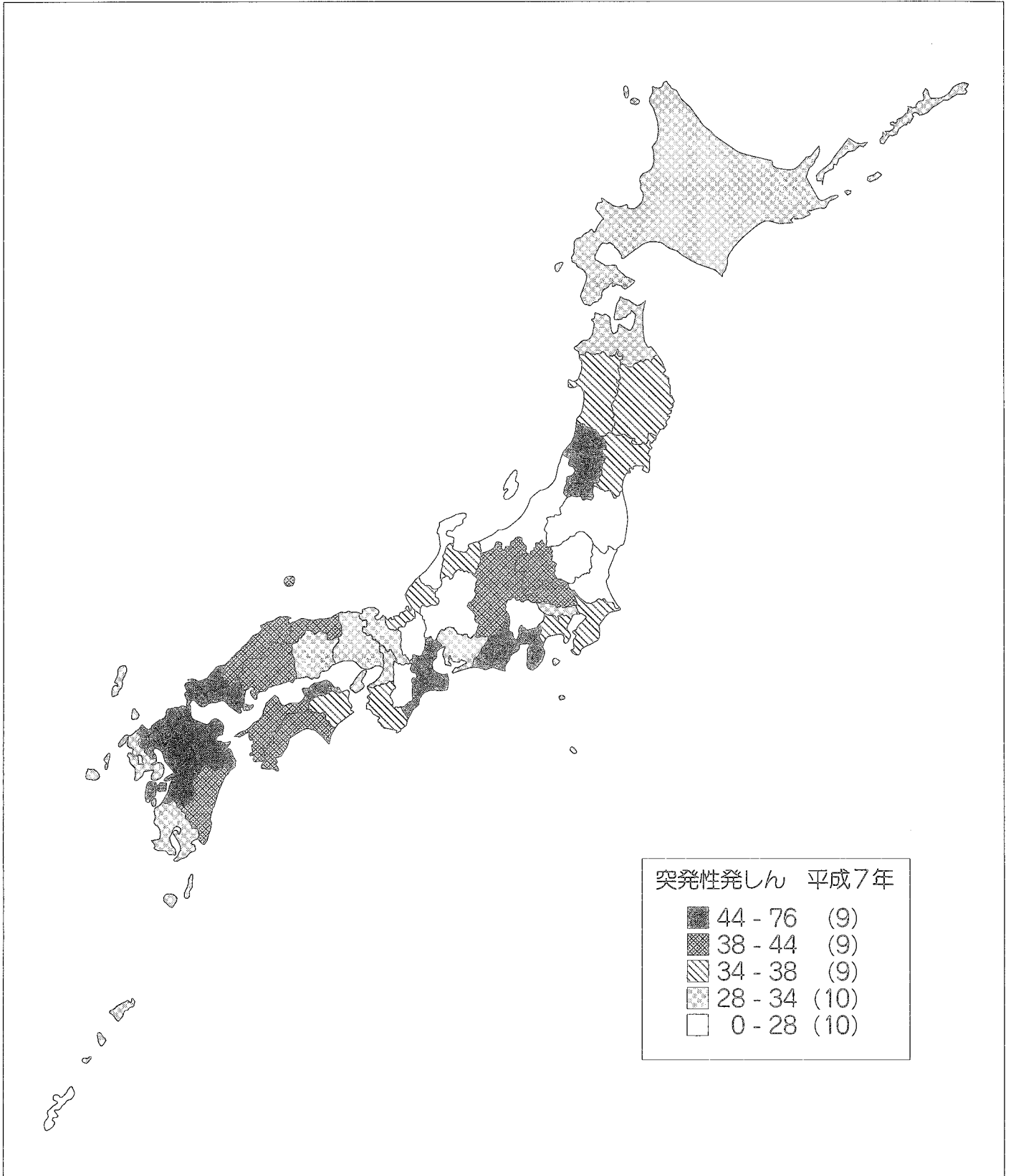


MAX=1.24

平成7年

図12-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of exanthem subitum per reporting clinic, by prefecture, 1995.



13. ヘルパンギーナ

定点当たり32.59人の報告がみられたが、例年に比して本年は低位であった。

ブロック別では北高南低傾向で、北海道ブロックは定点当たり45.87人、九州・沖縄地区は29.39人であった。県別では沖縄県が定点当たり4.28人と特別に低かった。

図13-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of herpangina per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

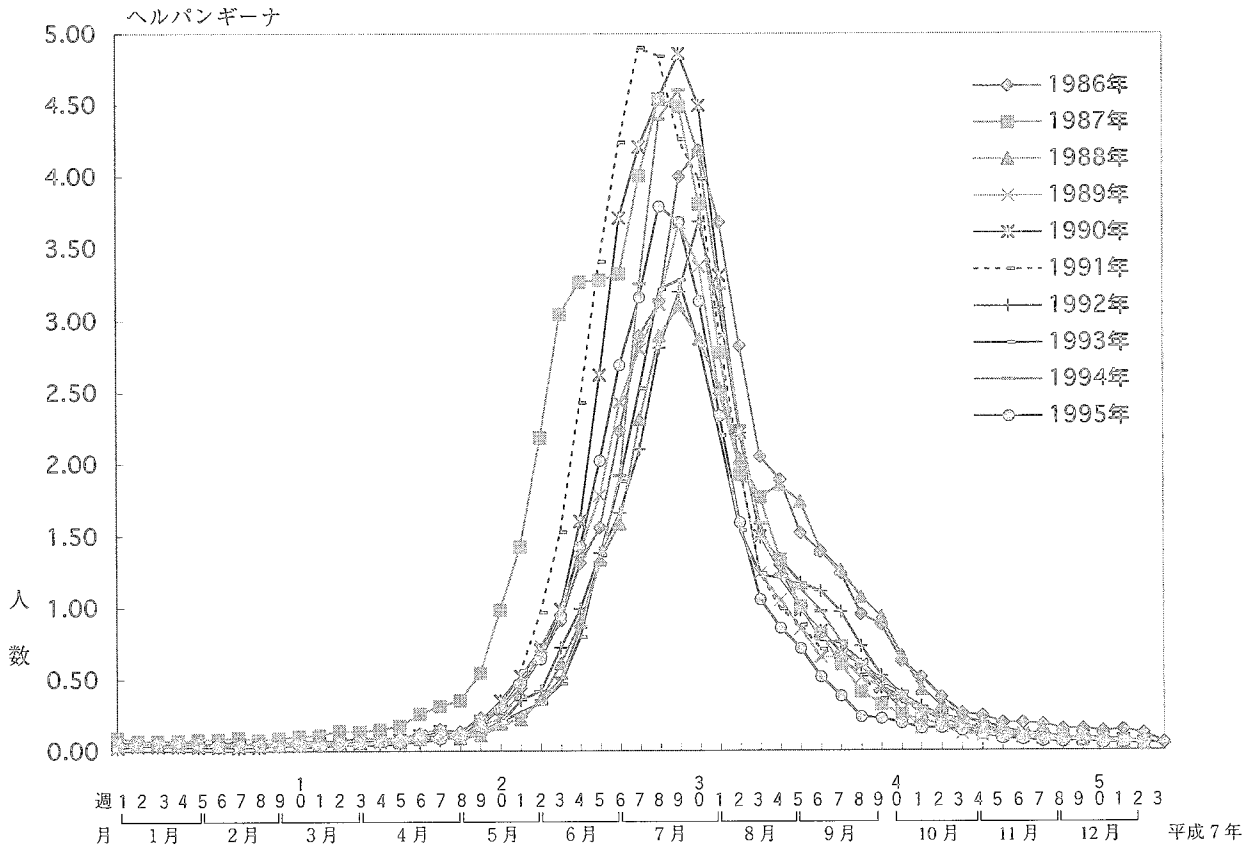


図13-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of herpangina, Japan, 1994-1995.

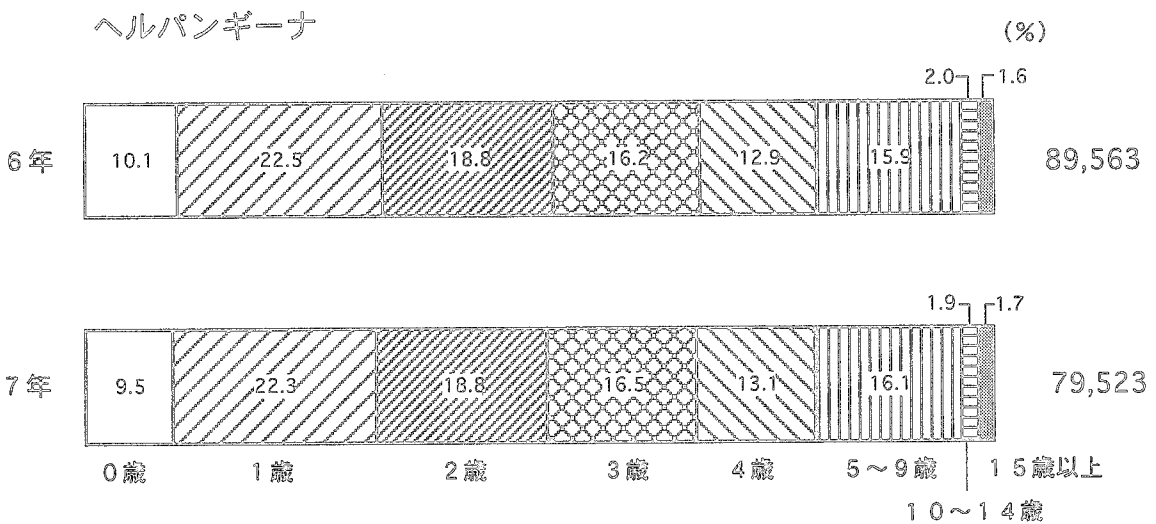


図13-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of herpangina per reporting clinic, by geographical area, 1995.

ヘルパンギーナ

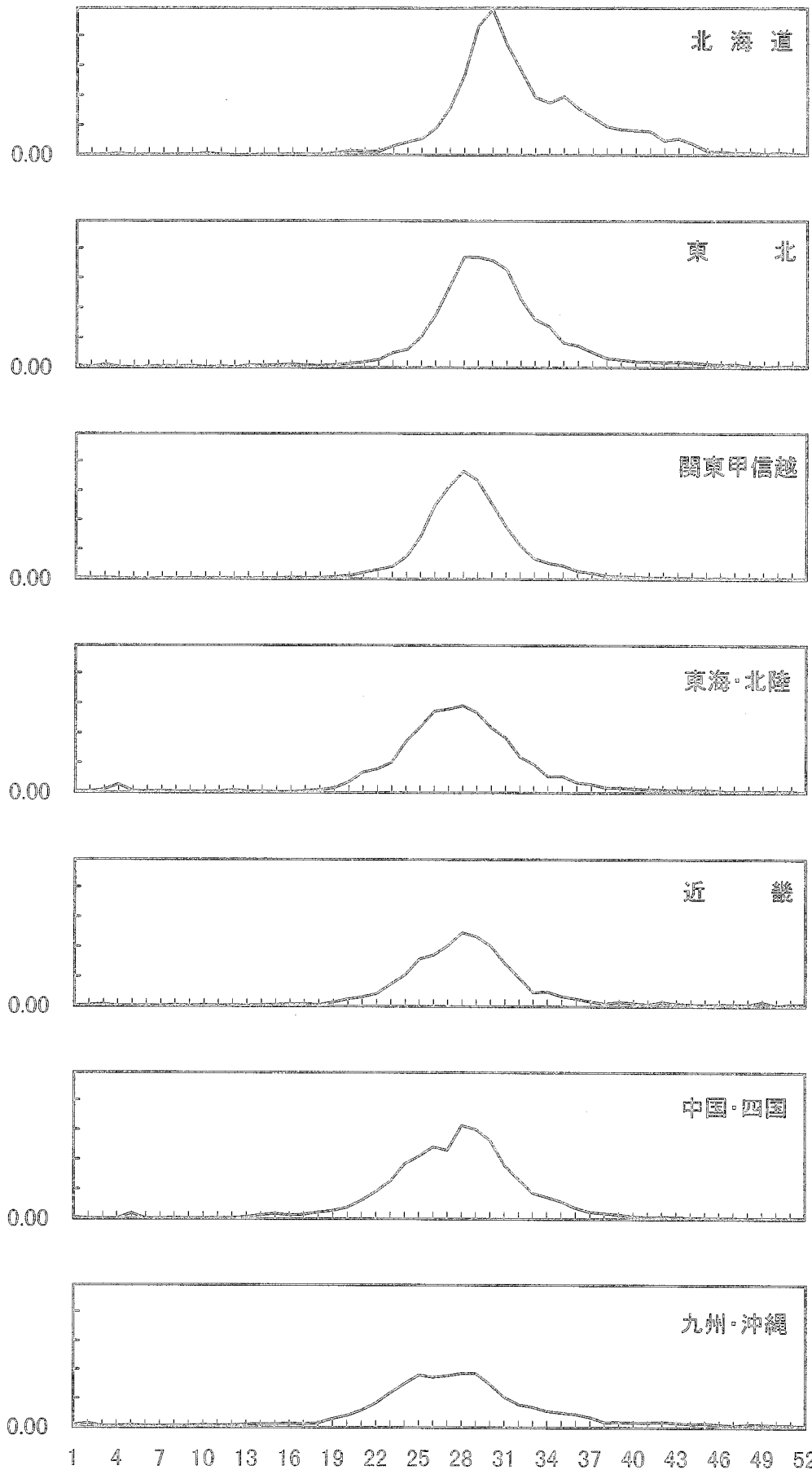


図13-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of herpangina per reporting clinic, by prefecture, 1995.

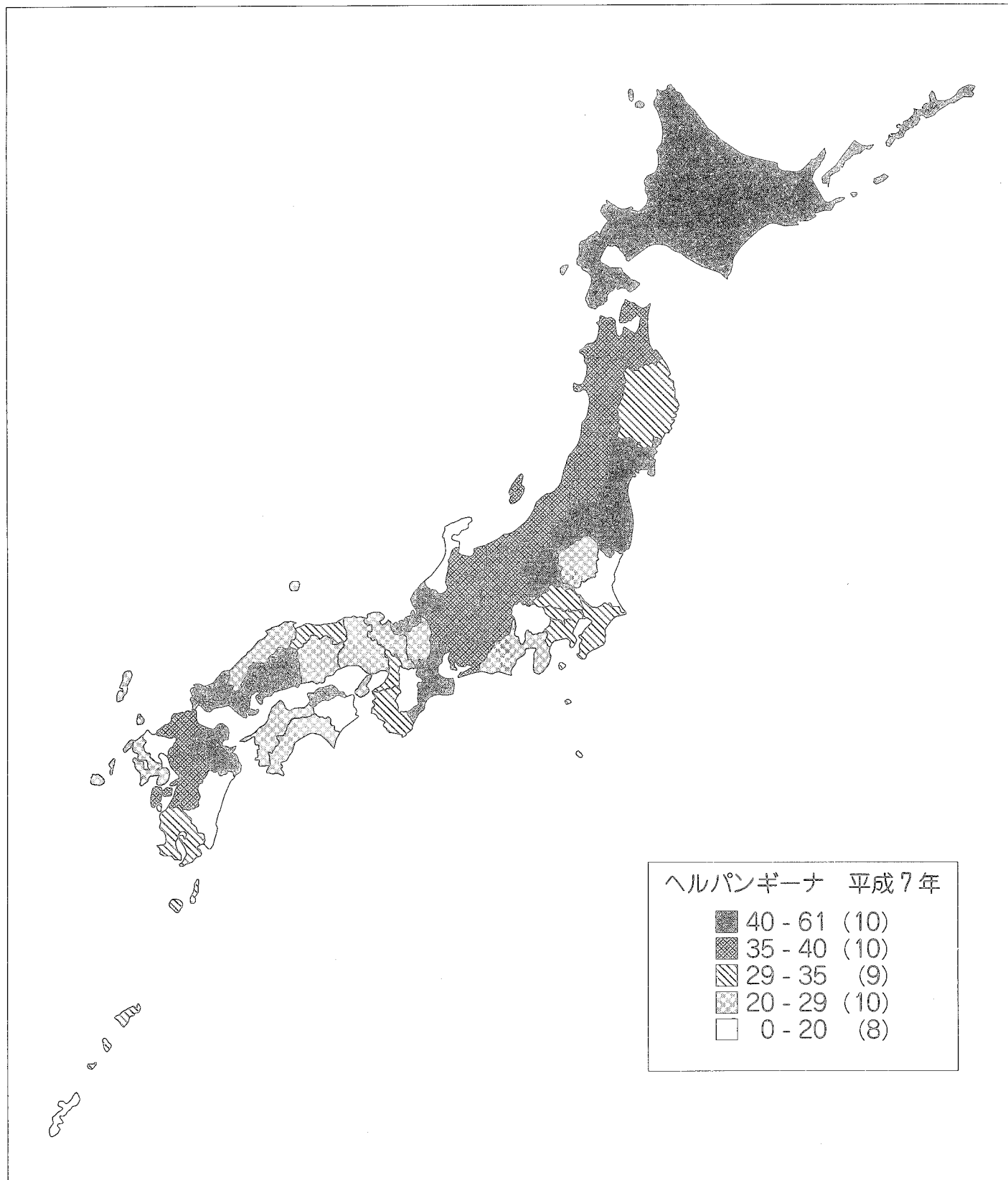
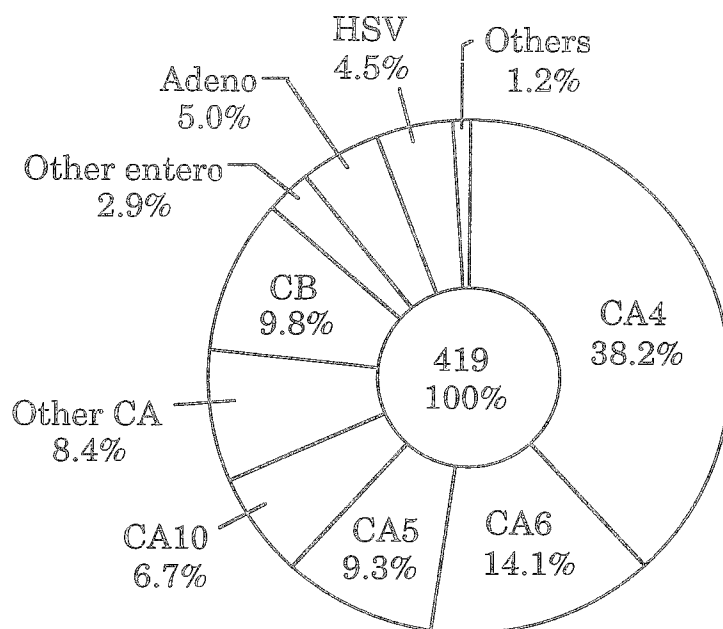


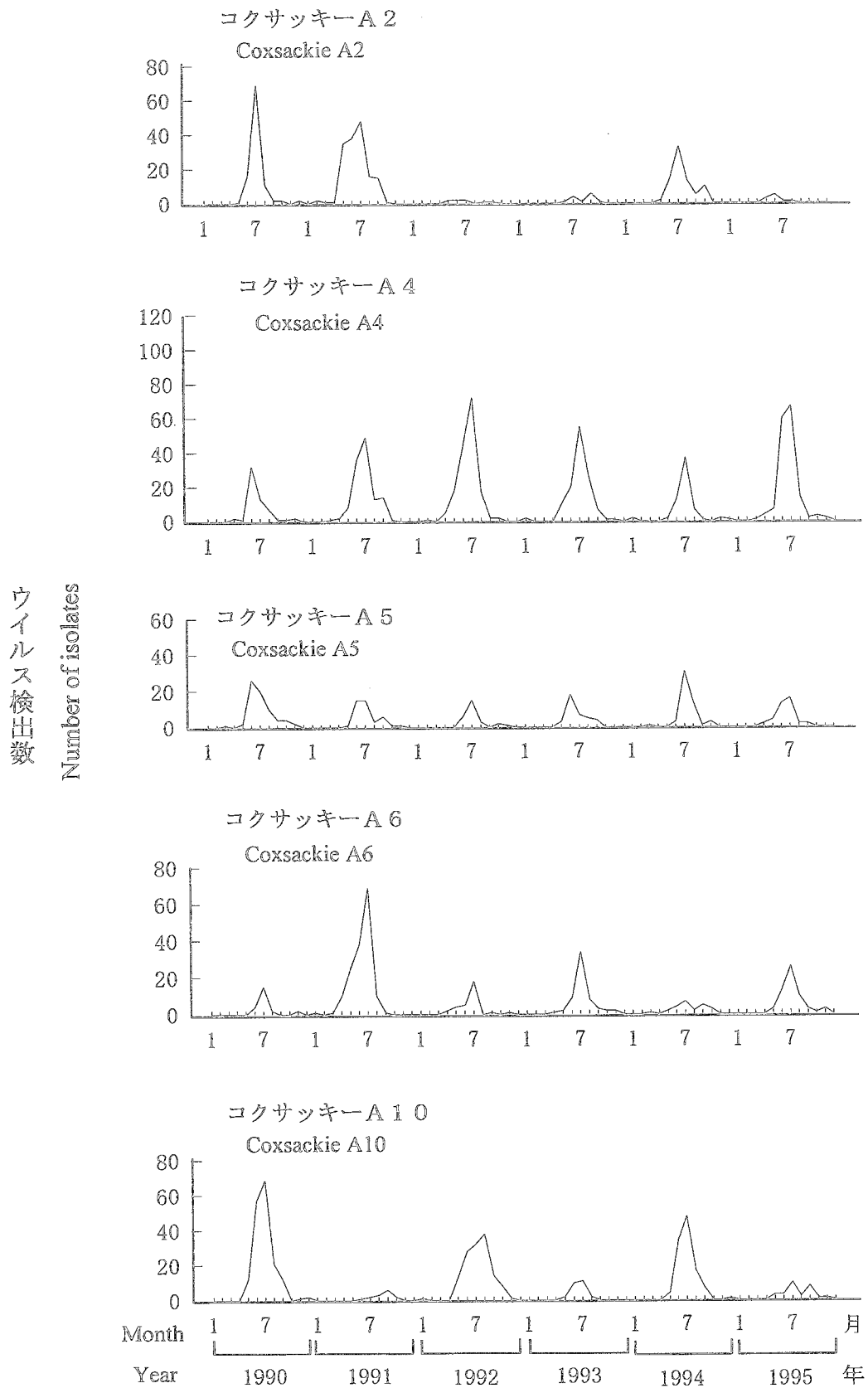
図13-5 ヘルパンギーナ患者からのウイルス検出状況、1995年
Isolation of viruses from herpangina cases, Japan, 1995.



(CA:コクサッキーA;CB:コクサッキーB;HSV:単純ヘルペス)
Coxsackie A Coxsackie B Herpes simplex

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

図13-6 ヘルパンギーナ患者からの月別ウイルス検出状況、1990年-1995年
 Monthly reports of isolation of viruses from herpangina cases, Japan, 1990-1995.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

14. インフルエンザ様疾患

1983年以来最大の流行が第4週をピークに認められた。後半では第49週から急増し、52週は9.27人の報告がみられた。

県別で見ると地域差があり、大分県は定点当たり832.15人が報告された。次いで宮崎県551.70人、鹿児島県512.39人であった。

ブロック別では九州・沖縄地区の463.02人、次いで中国・四国地区の362.79人の順であった。

年齢別では、4歳代を中心に上下に分散して報告されている。

図14-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of influenza per reporting clinic, Japan, 1988-1995.

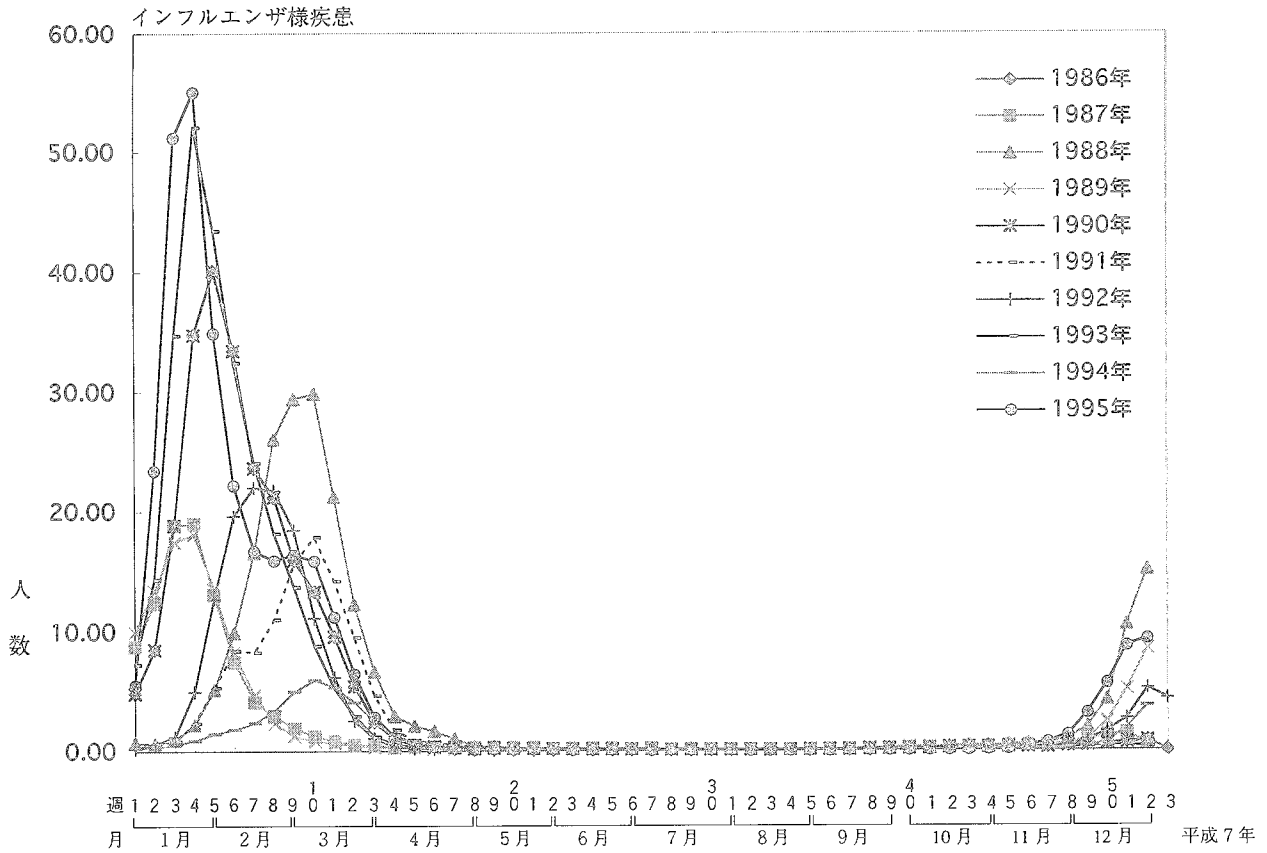


図14-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of influenza, Japan, 1994-1995.

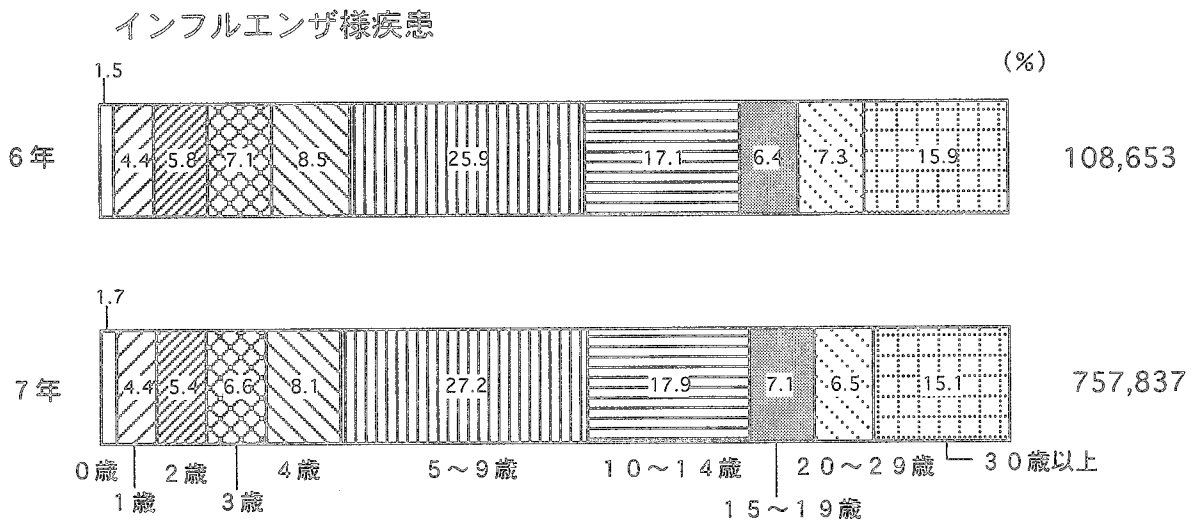
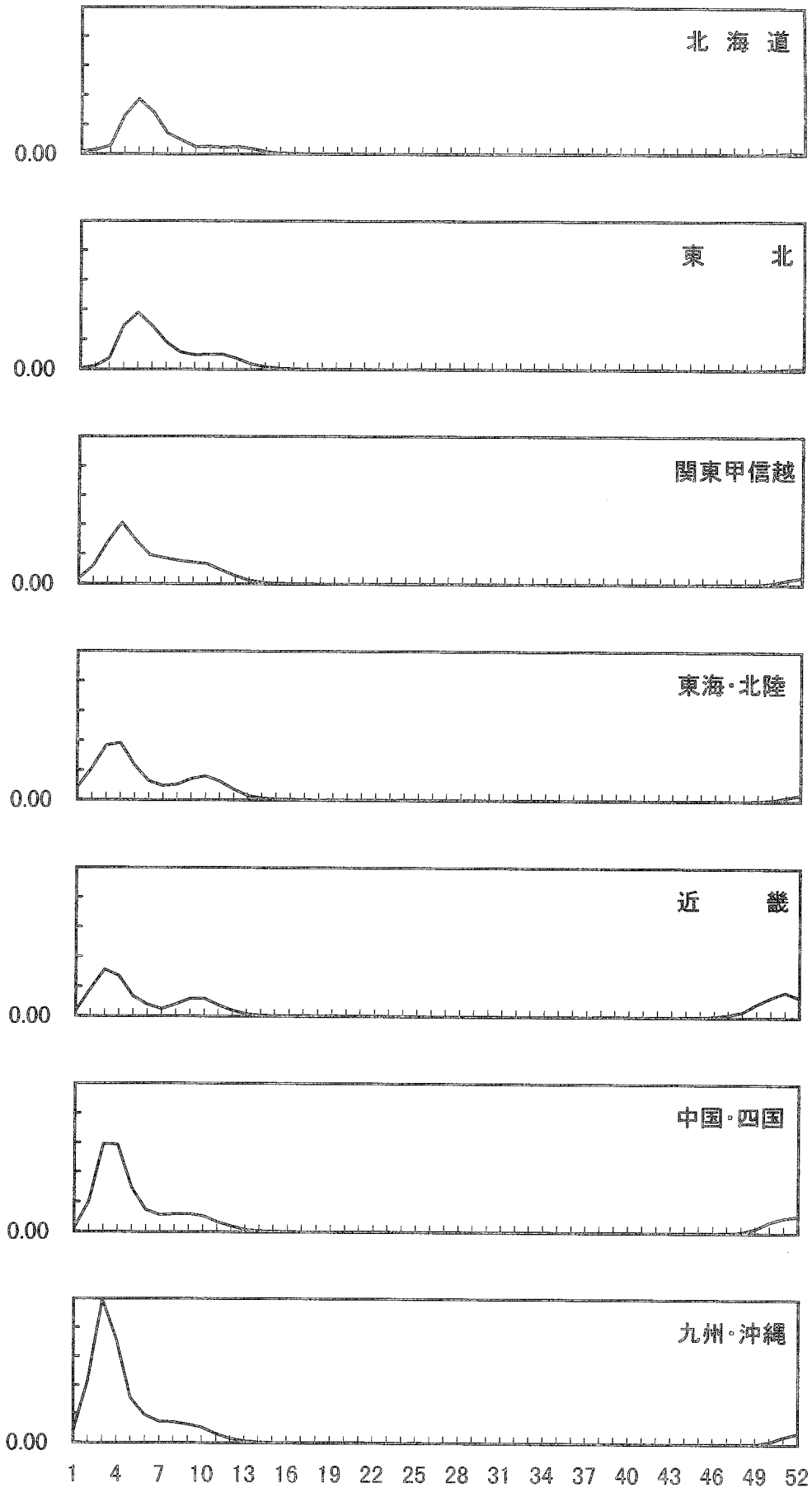


図14-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

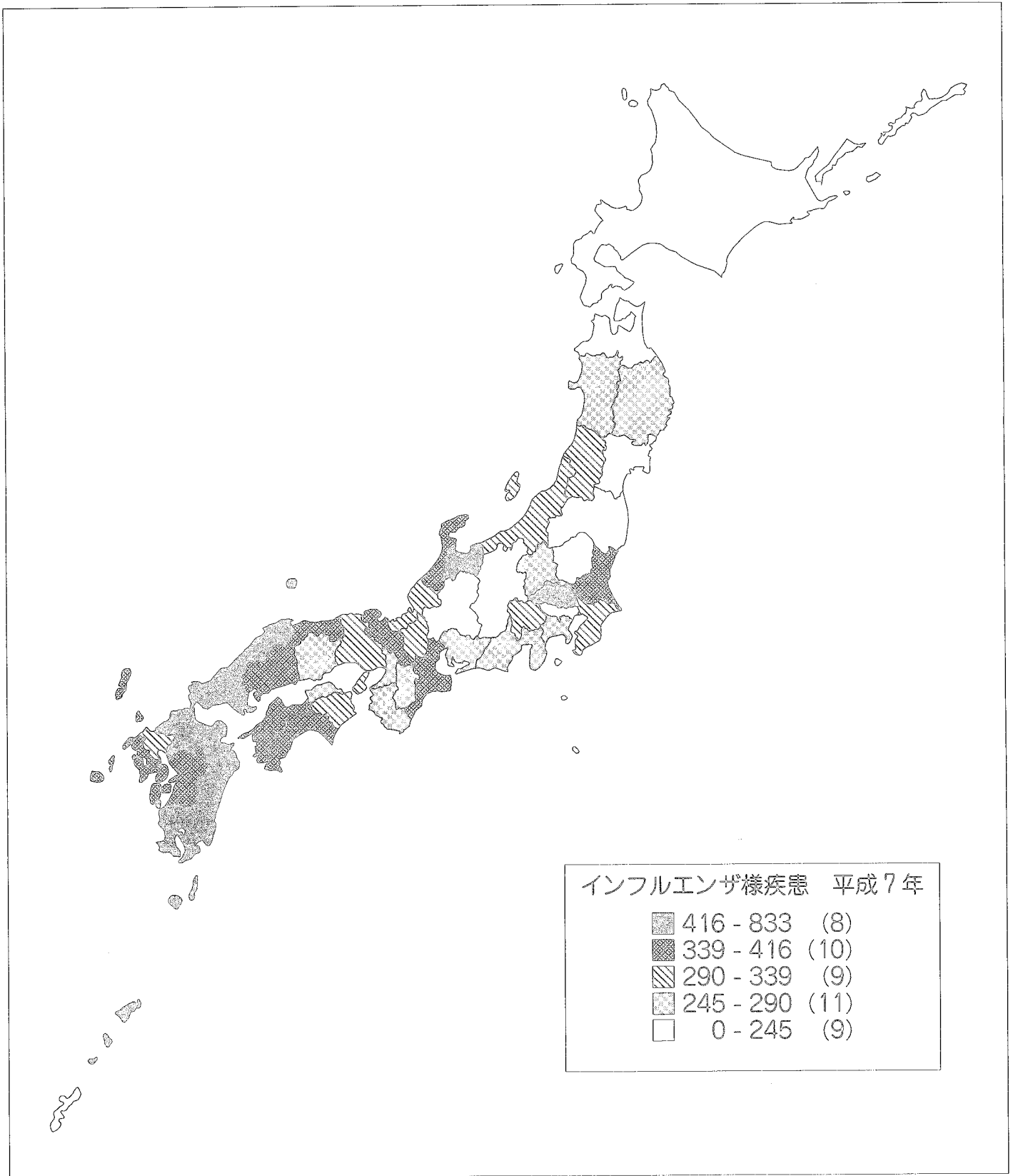
Weekly reported cases of influenza per reporting clinic, by geographical area, 1995.

インフルエンザ様疾患



MAX=130.16 平成7年

図14-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of influenza per reporting clinic, by prefecture, 1995.



15. MCLS(川崎病)

小児科・内科定点、病院定点の報告があるが、前者は1,340人定点当たり0.55人の報告であった。病院定点でみると1,841人定点当たり3.57人となっており、入院する症例が多く把握されている。

県別では静岡県1.86人、徳島県1.73人、三重県1.23人、岐阜県1.11人、大分県1.11人であった。

病院定点からの報告は群馬県12.00人、千葉県11.63人が多く、小児科・内科定点と一致していない。

图15-3 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of MCLS (Kawasaki disease), Japan, 1994-1995.

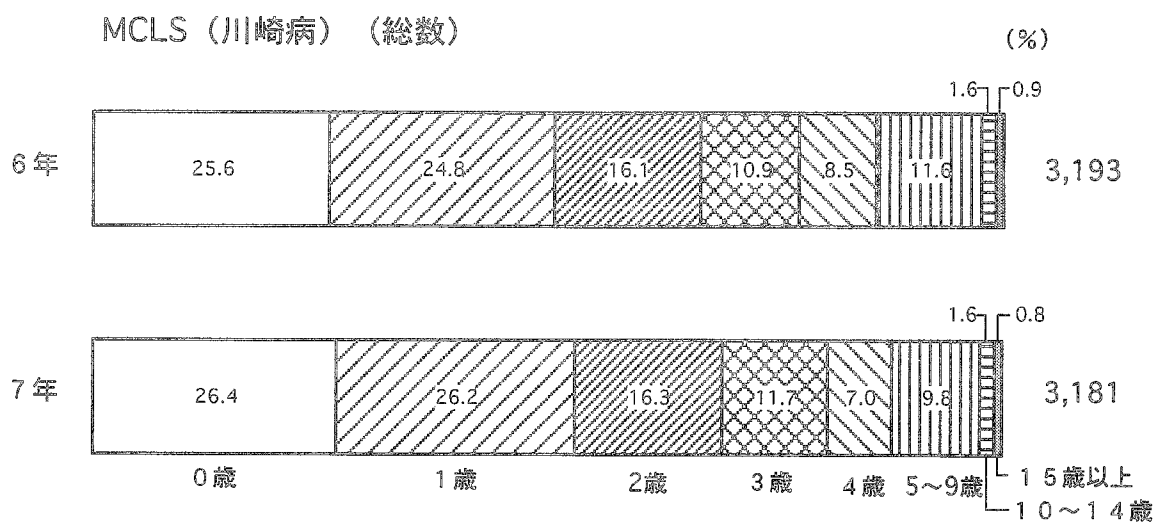


图15-4 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of MCLS (Kawasaki disease), Japan, 1994-1995.

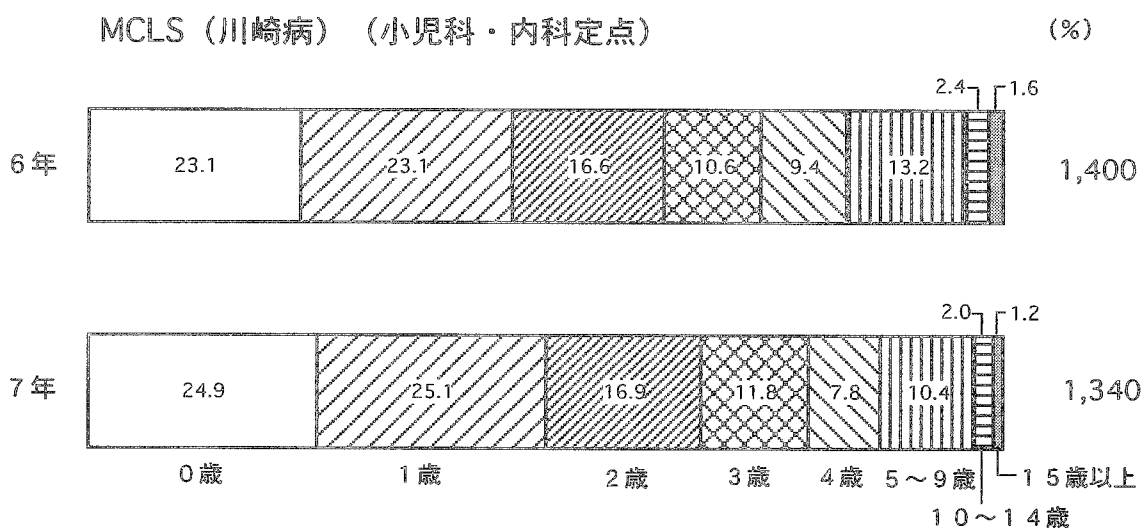


图15-5 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of MCLS (Kawasaki disease), Japan, 1994-1995.

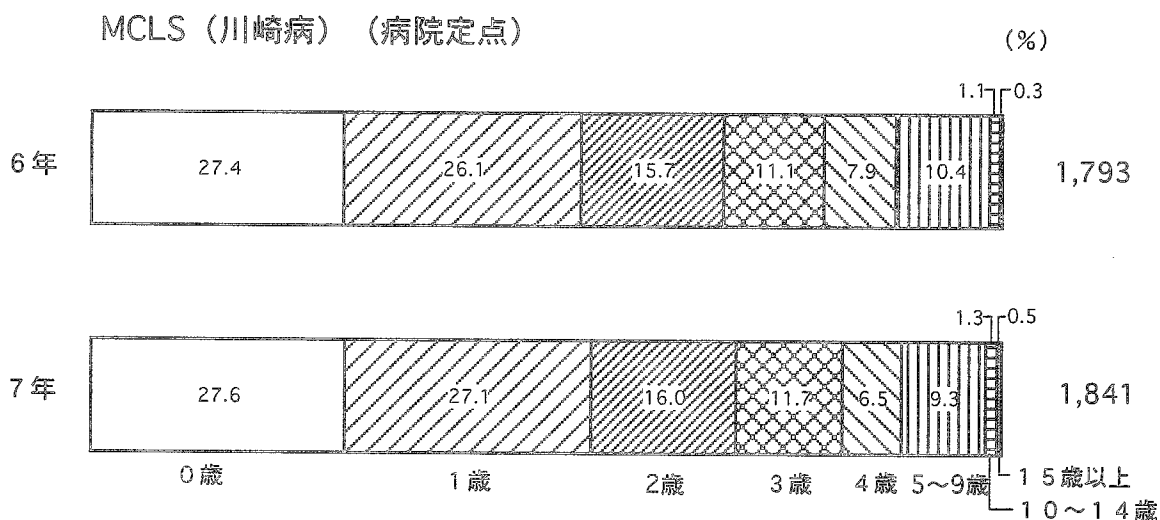
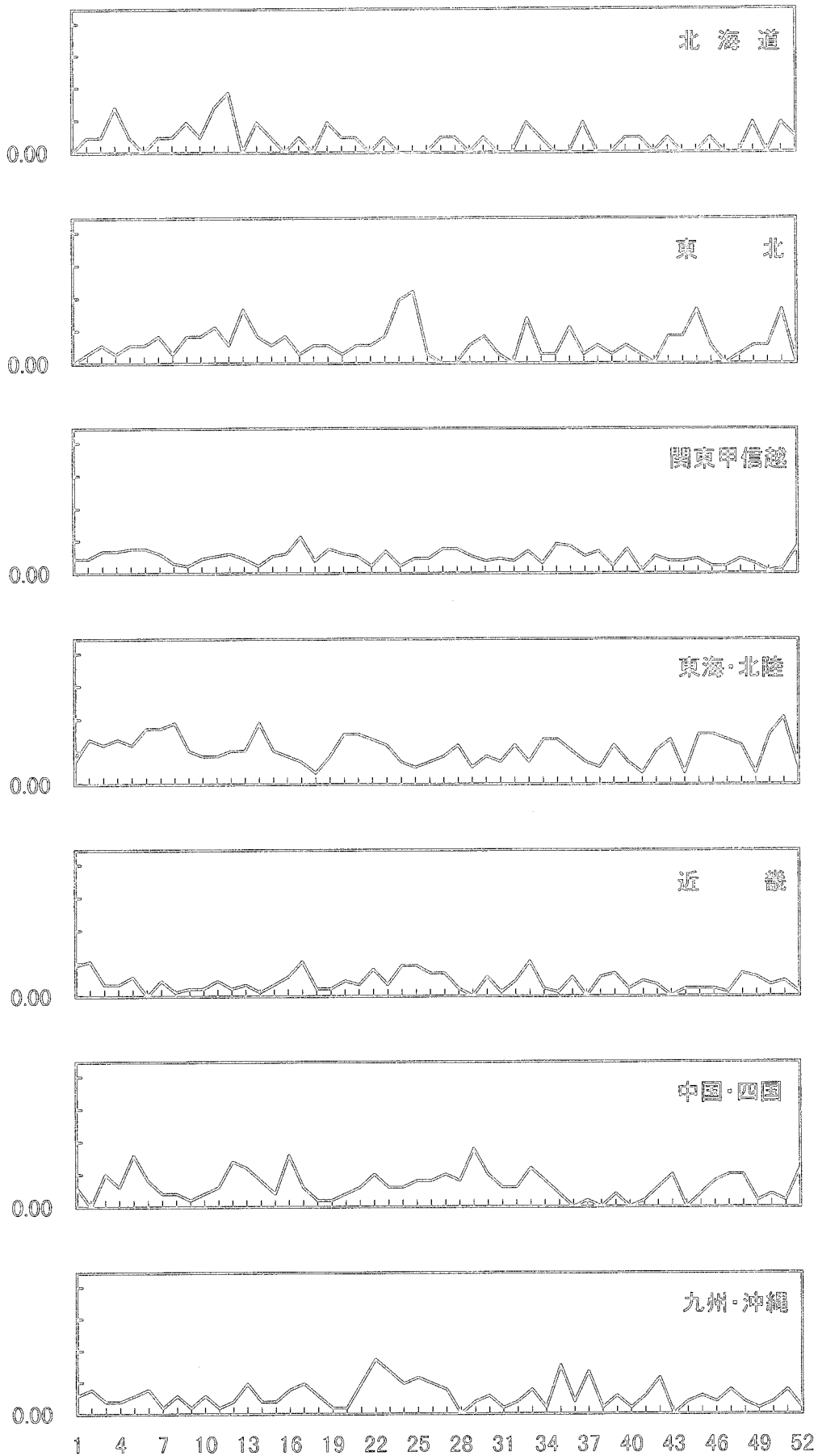


図15-6 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of MCLS (Kawasaki disease) per reporting clinic, by geographical area, 1995.

MCLS(川崎病) (小児科・内科定点)



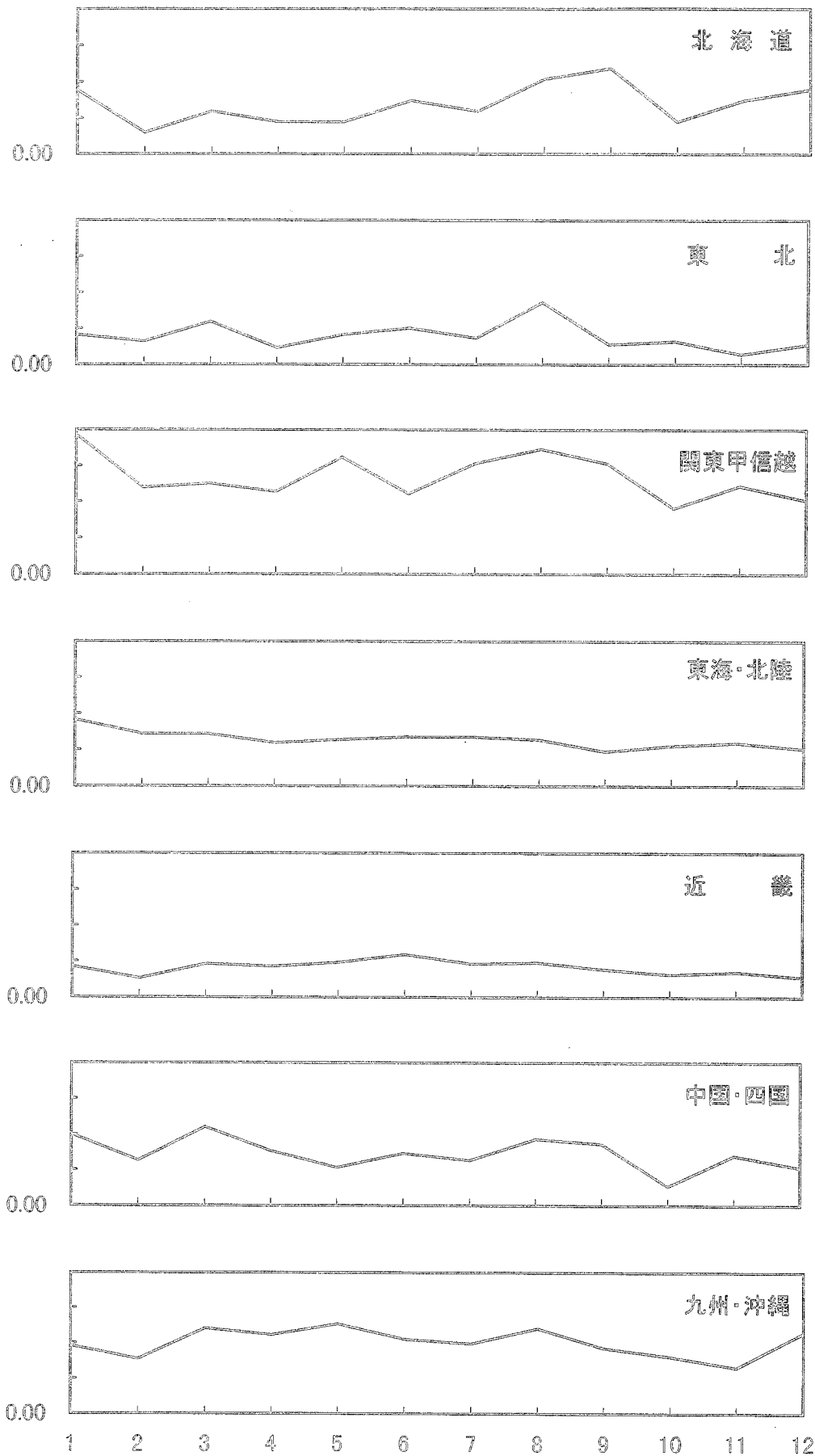
MAX=0.04

平成7年

図15-7 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of MCLS (Kawasaki disease) per reporting hospital, by geographical area, 1995.

MCLS(川崎病) (病院定点)



MAX=0.77

平成7年

図15-8 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of MCLS (Kawasaki disease) per reporting clinic, by prefecture, 1995.

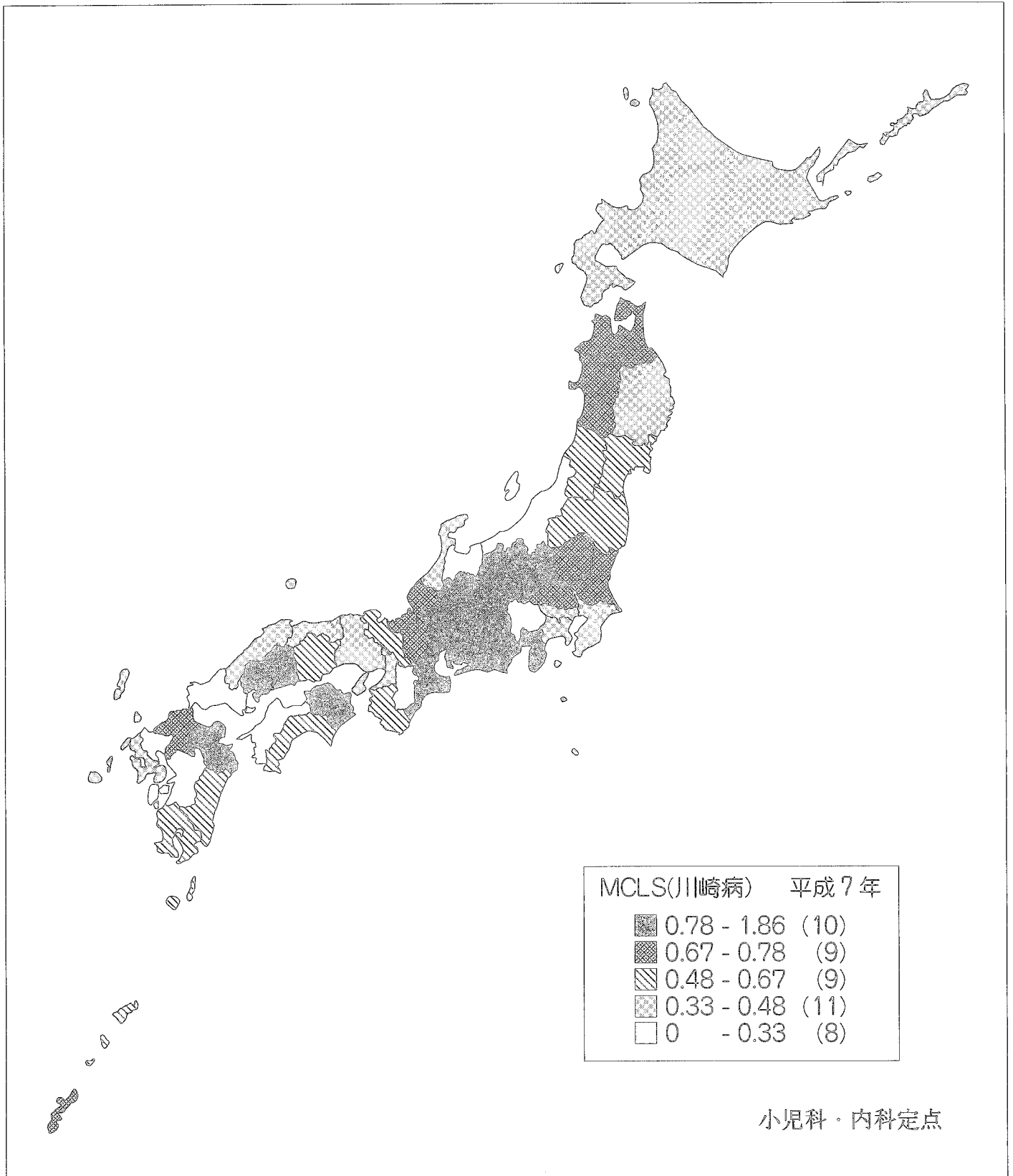
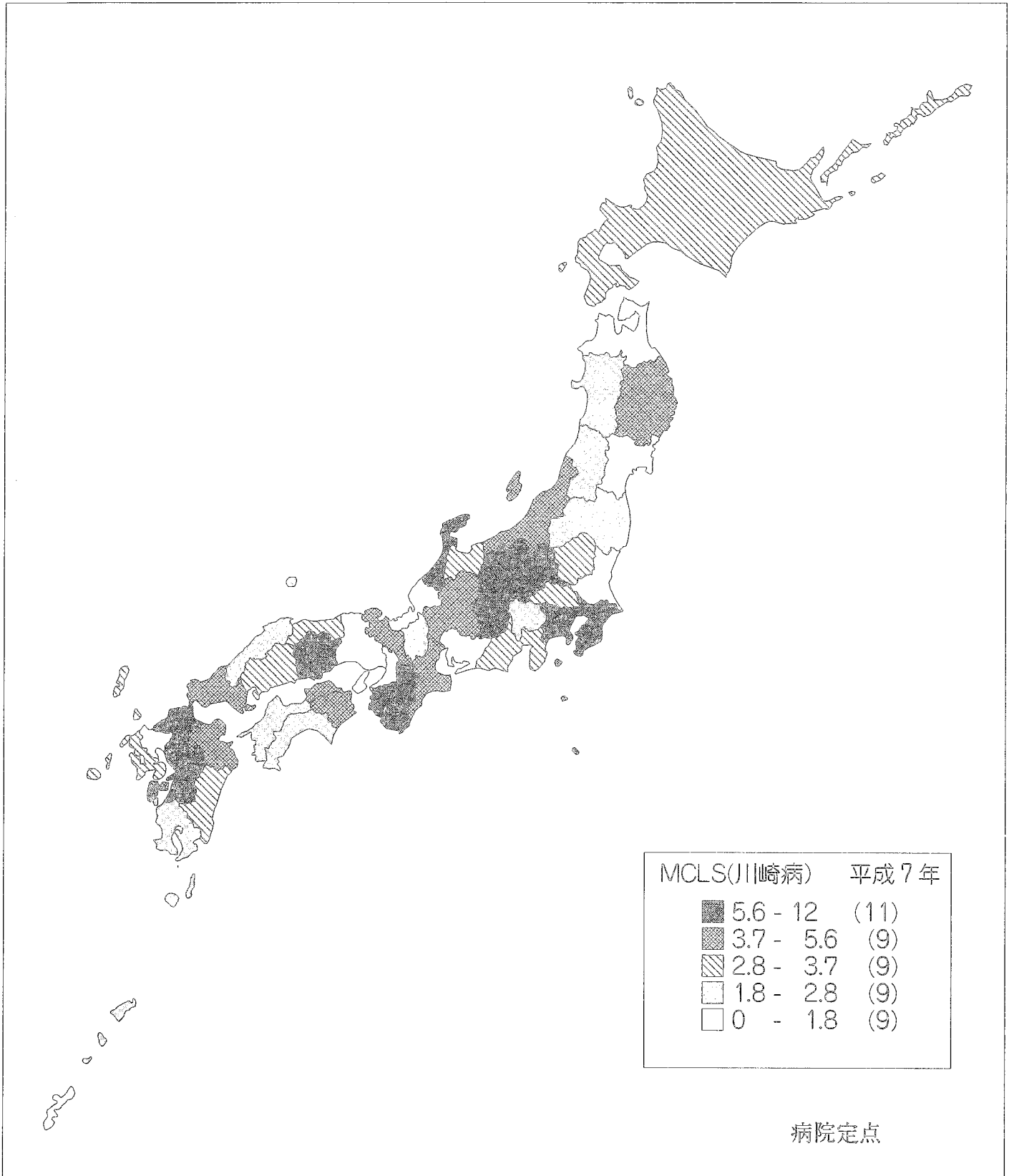


図15-9 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of MCLS (Kawasaki disease) per reporting hospital, by prefecture, 1995.



16. 感染性髄膜炎

本年は1987年以来報告数は最低で、3.62人であった。なかでも細菌性髄膜炎は総報告件数245件で定点当たり0.48人、平年並みの流行であった。

起炎菌では *H. influenzae* 35件、*S. pneumoniae* 14件であったが、相変わらず不詳171件であった。

無菌性髄膜炎は1,619件で昨年の59%程度であり、定点当たり3.14人であった。

起因ウイルスとして明確なのはMumps 132件、Coxsackievirus A16、Coxsackievirus B3、VZV等が数件報告された。

図16-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of meningitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

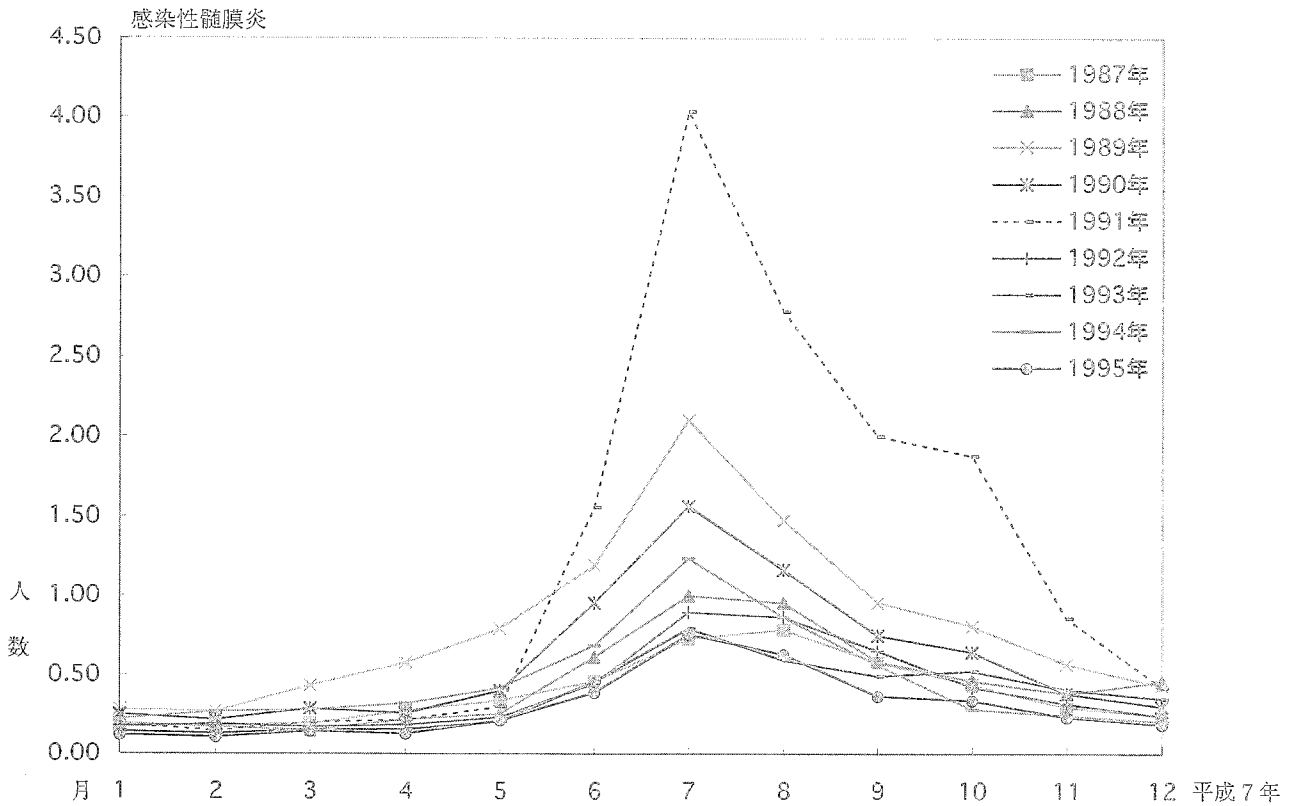


図16-2 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of septic meningitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

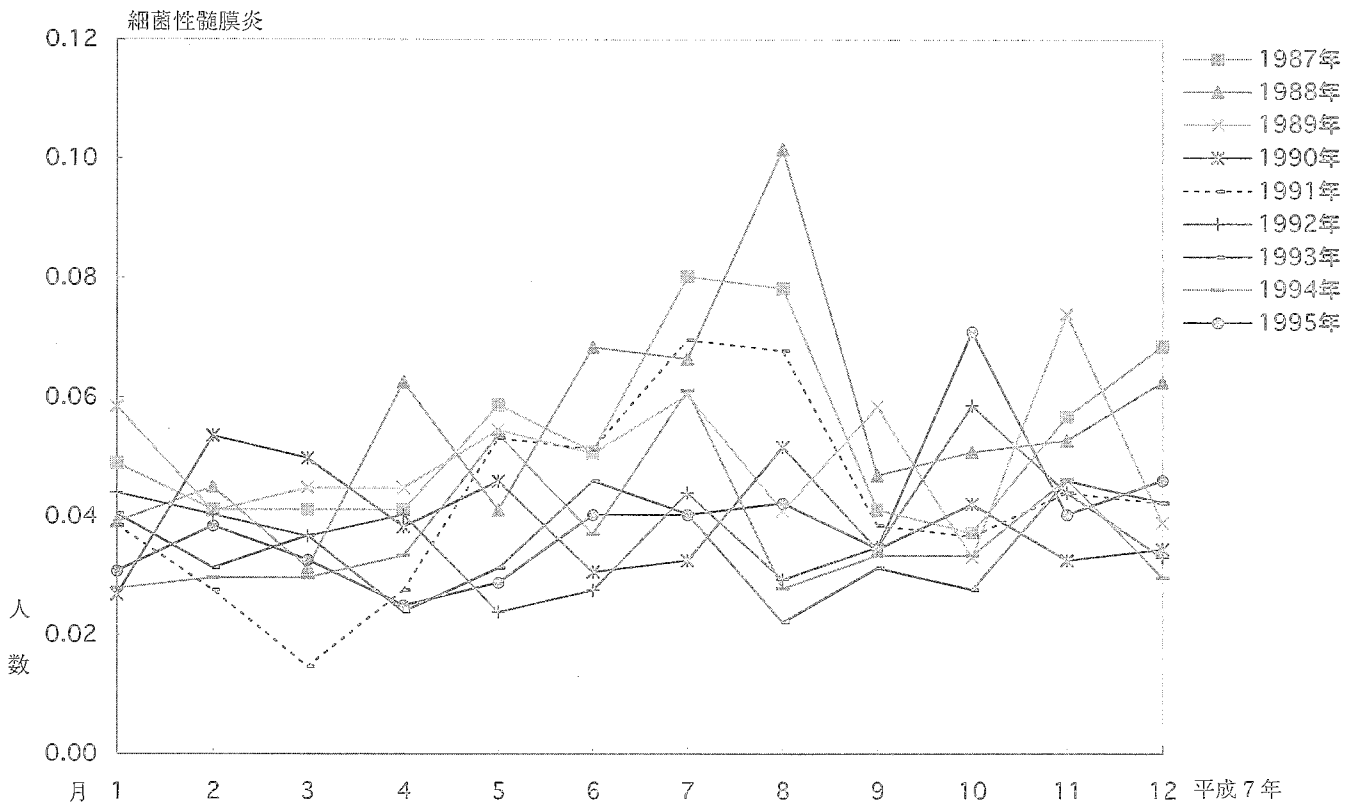


図16-3 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of aseptic meningitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

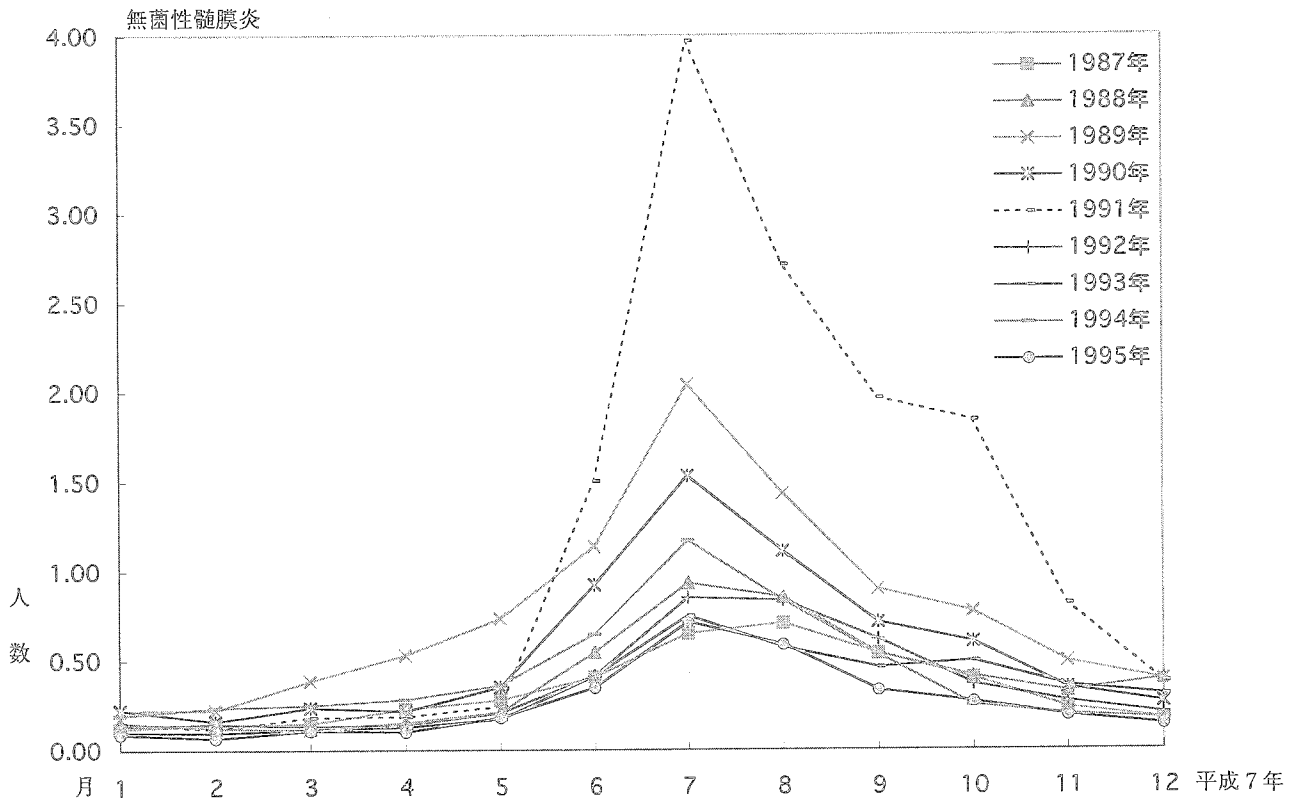


図16-4 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of meningitis, Japan, 1994-1995.

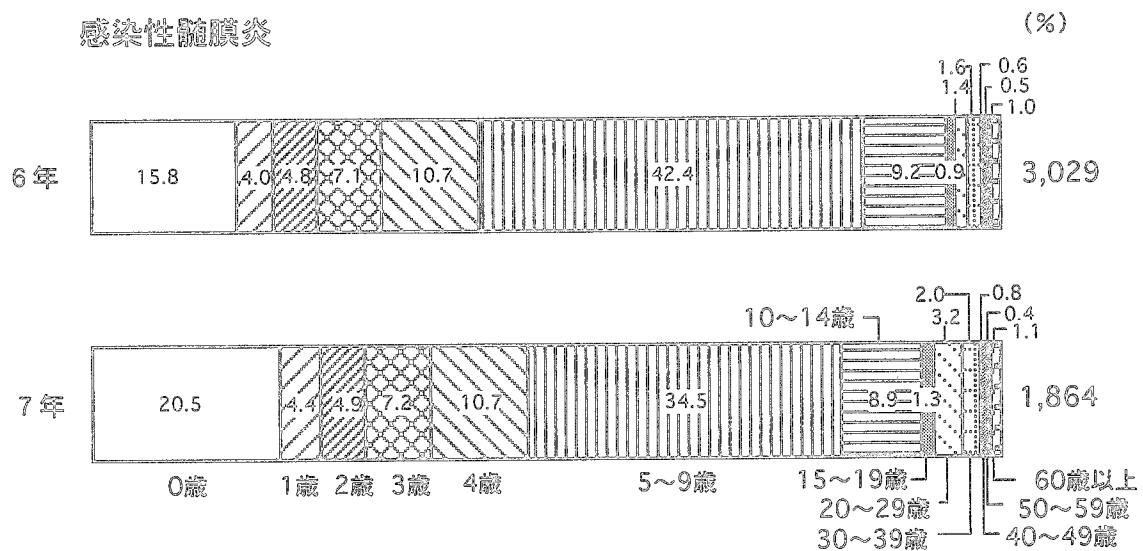


図16-5 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of septic meningitis, Japan, 1994-1995.

細菌性髄膜炎

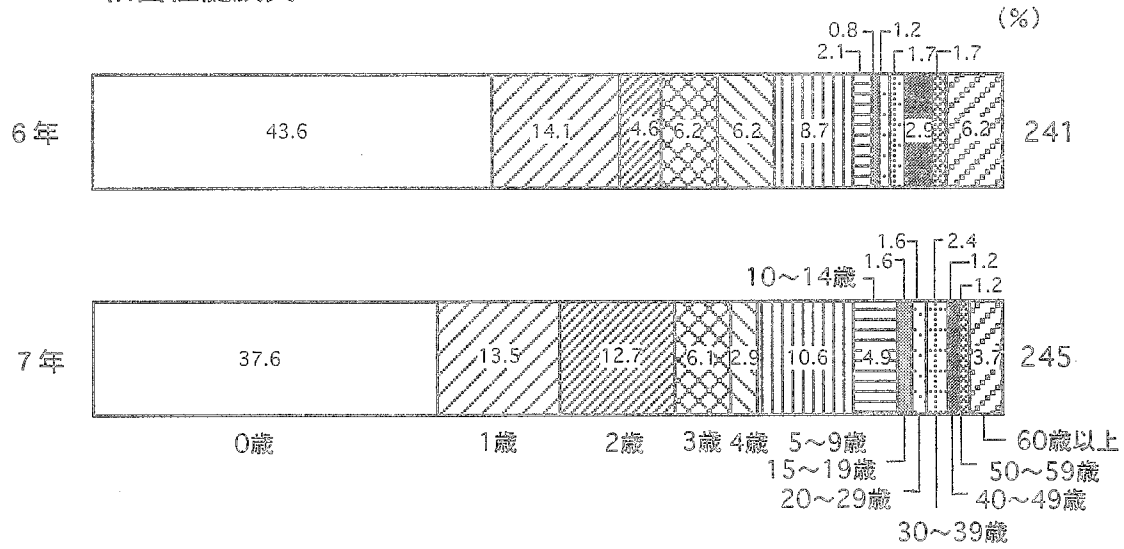


図16-6 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of aseptic meningitis, Japan, 1994-1995.

無菌性髄膜炎

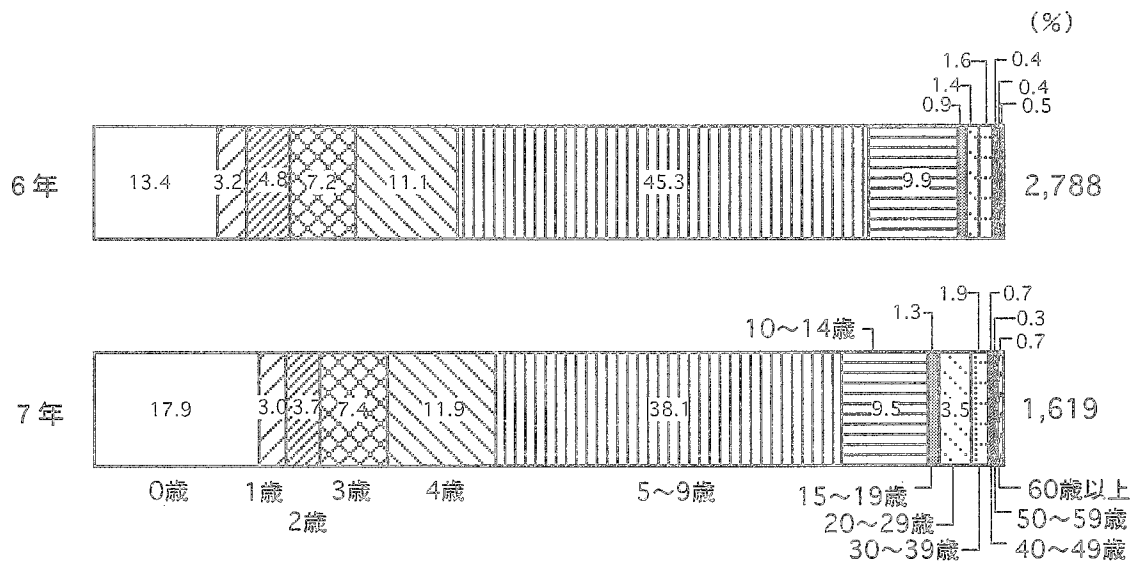
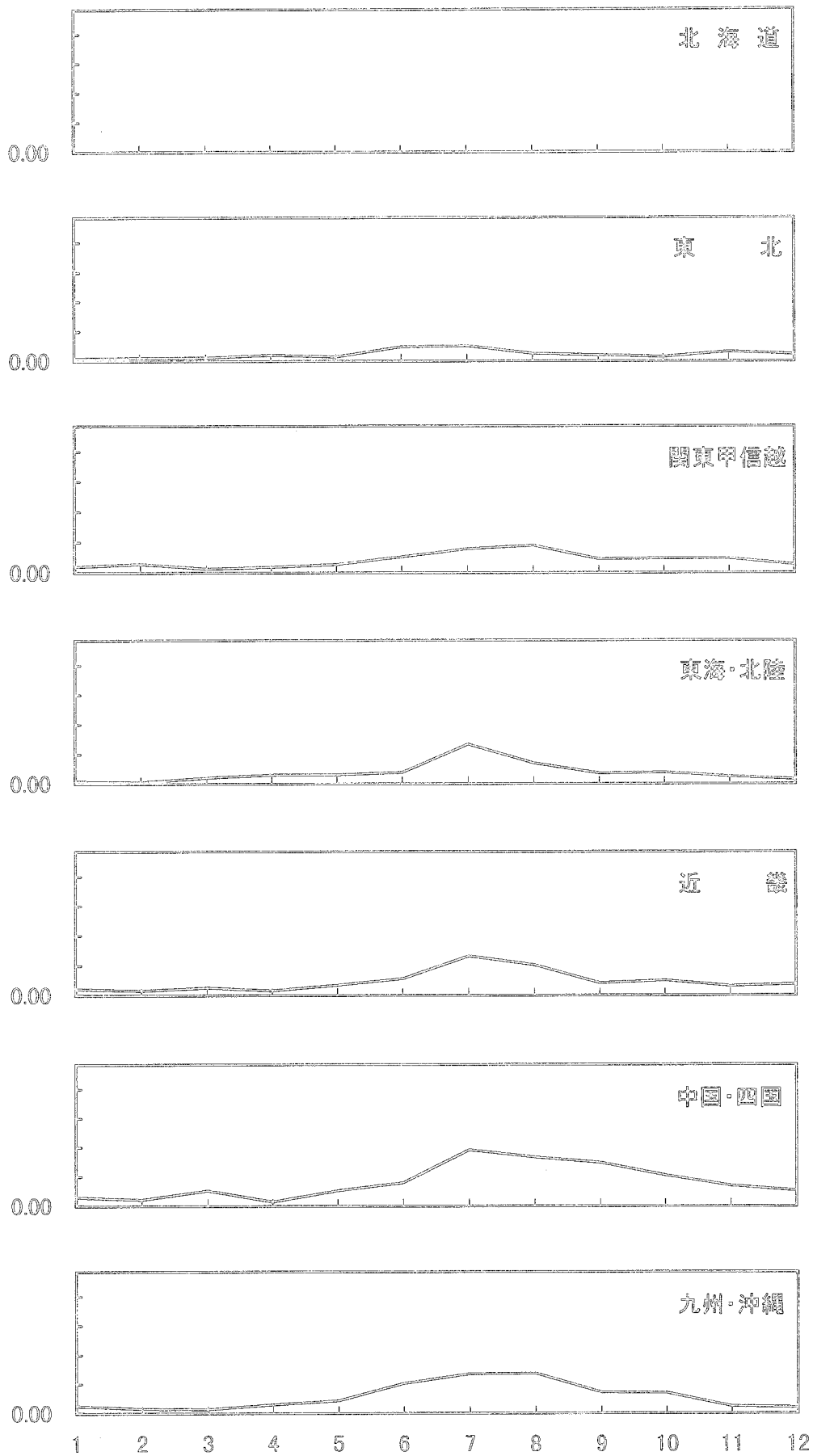


図16-7 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of meningitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

感染性髄膜炎



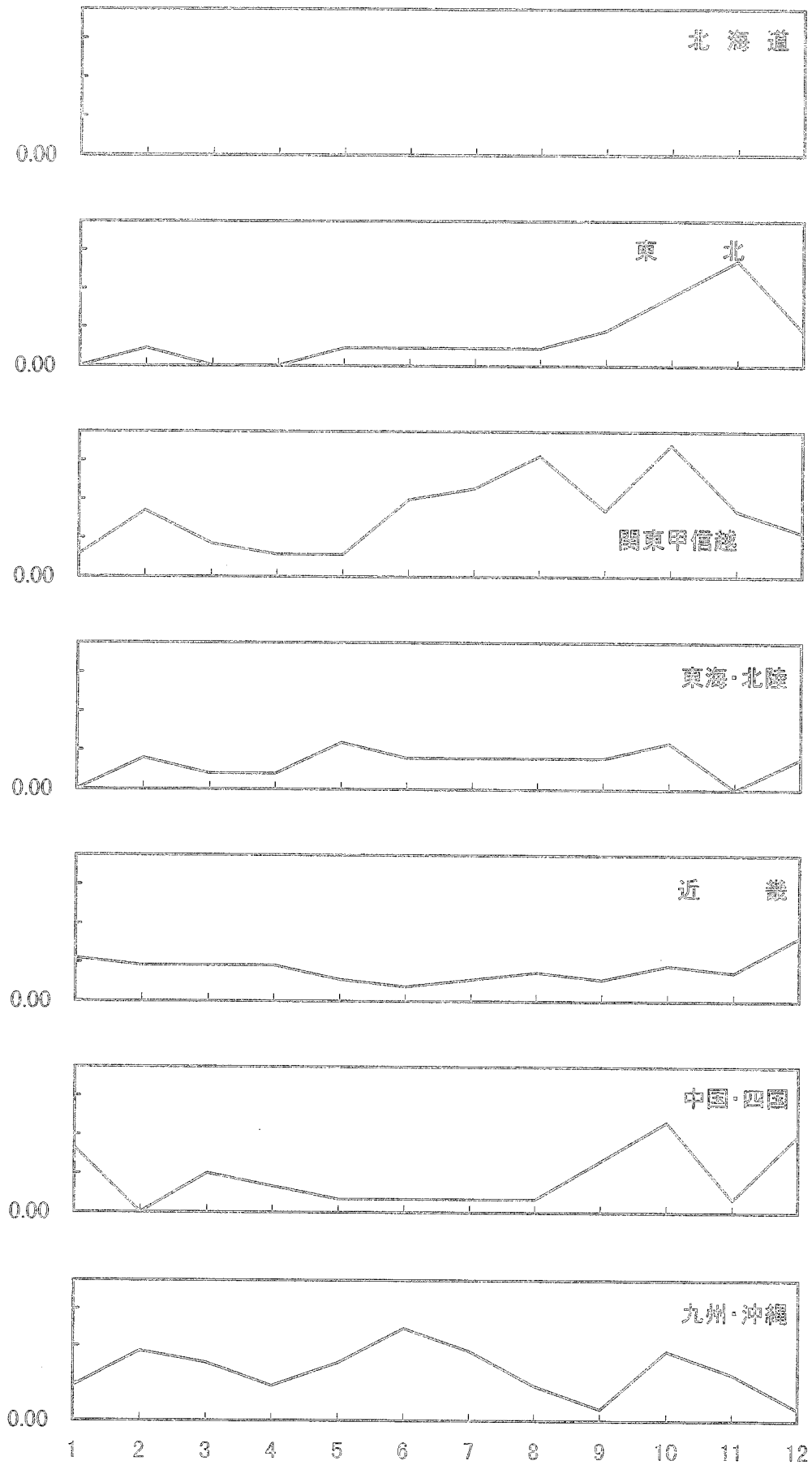
MAX=1.23

平成7年

図16-8 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of septic meningitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

細菌性髄膜炎



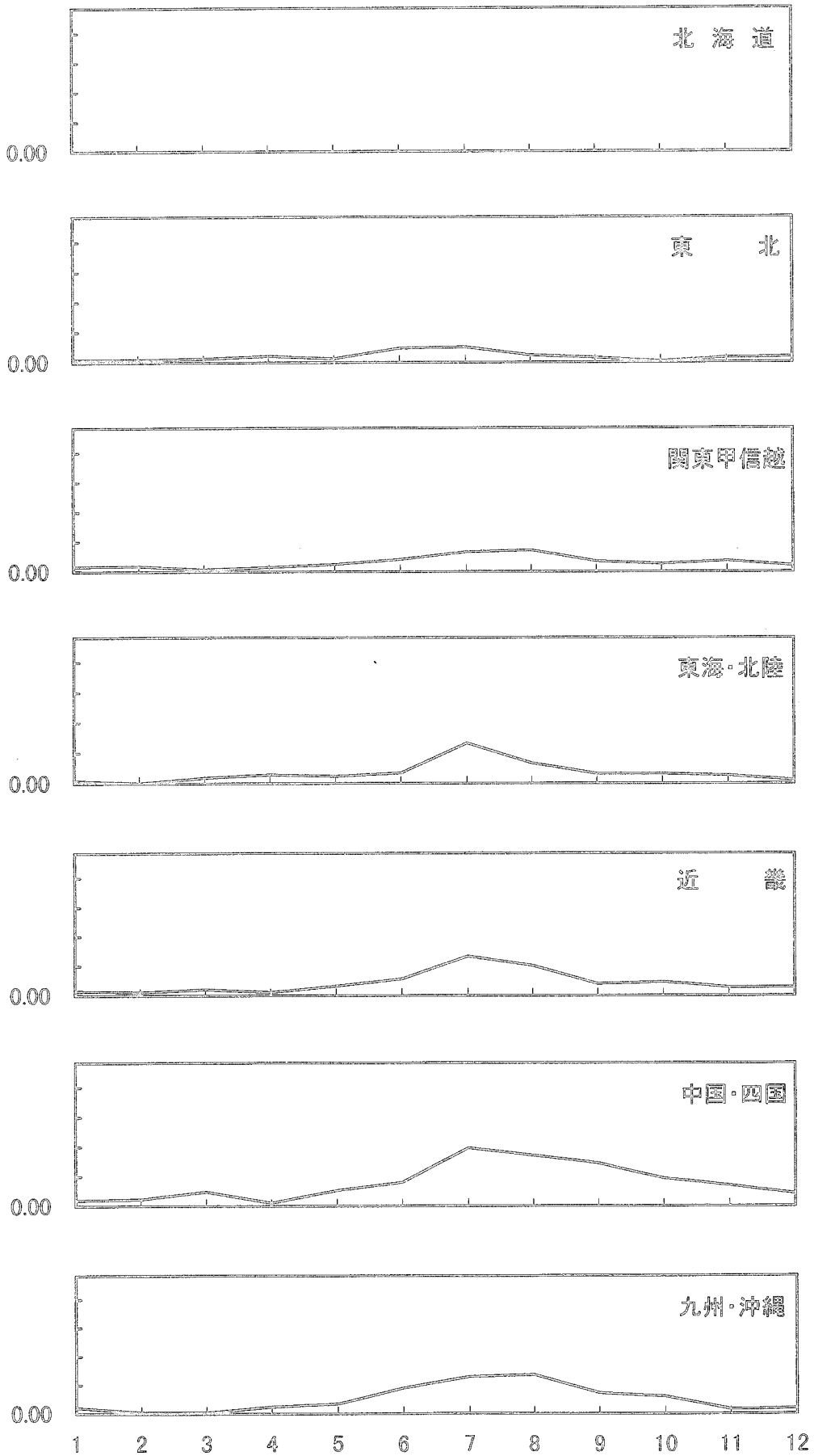
MAX=0.14

平成7年

図16-9 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of aseptic meningitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

無菌性髄膜炎



MAX=1.21

平成7年

図16-10 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of meningitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.

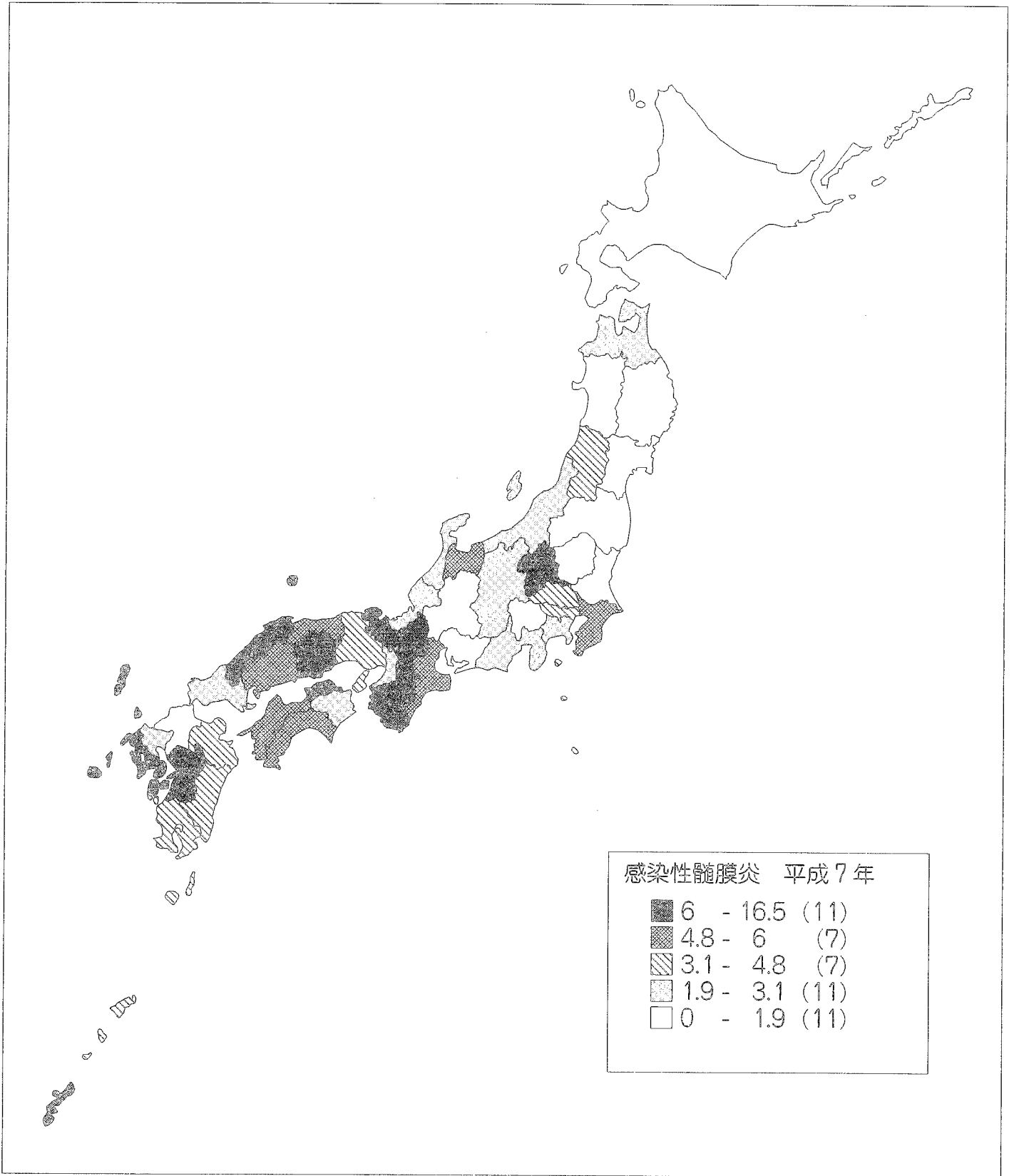


図16-11 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of septic meningitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.

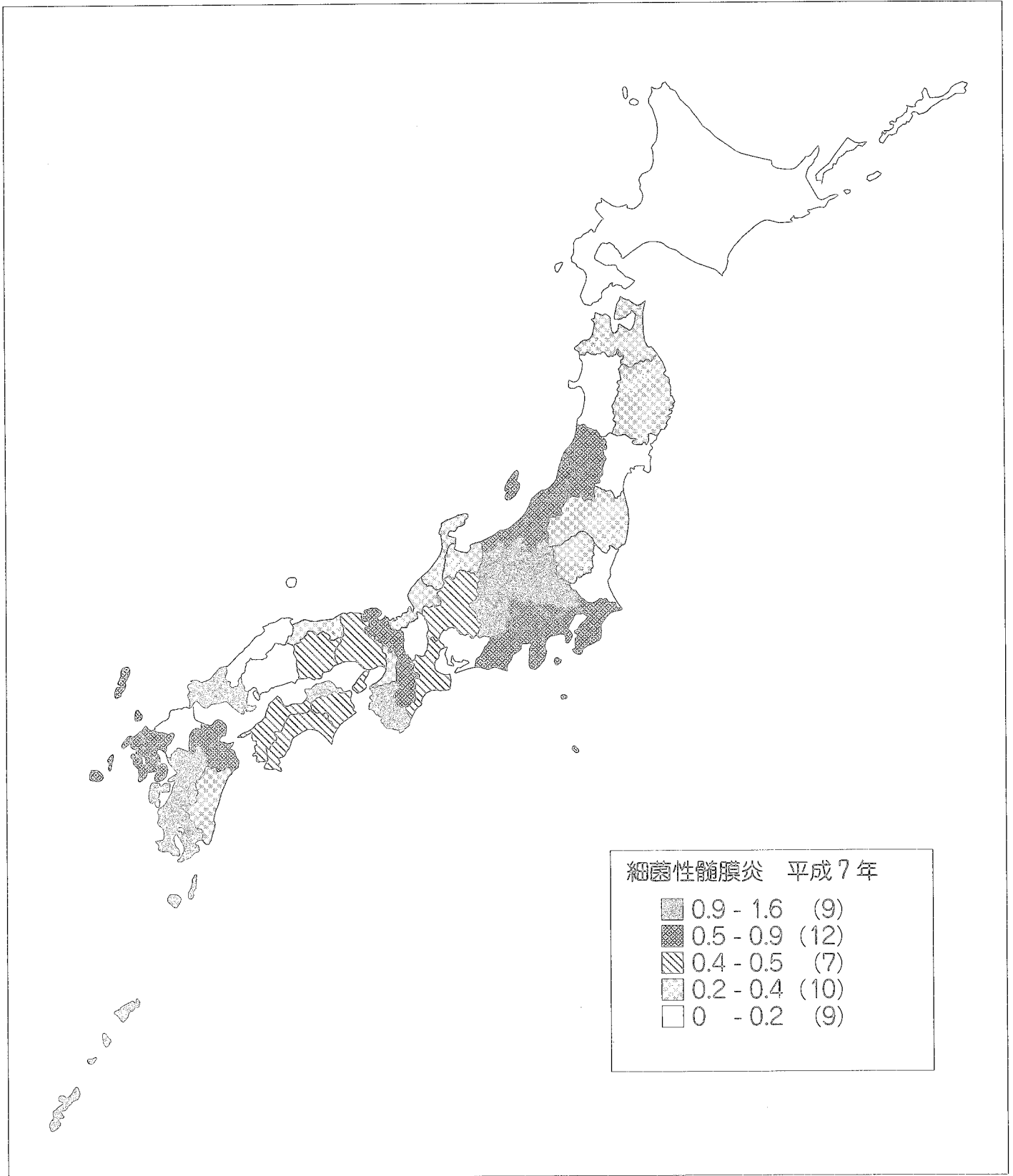


図16-12 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of aseptic meningitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.

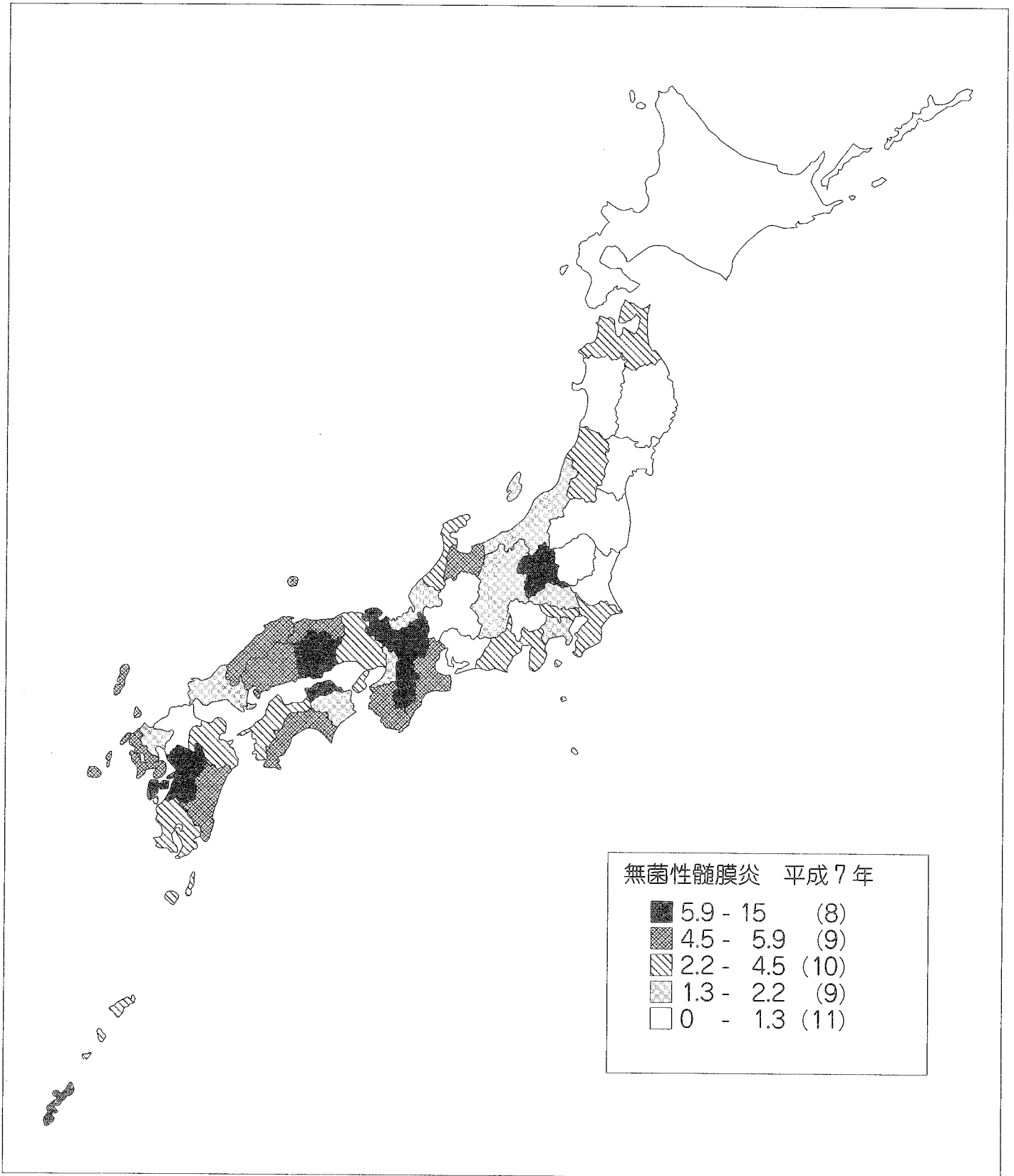
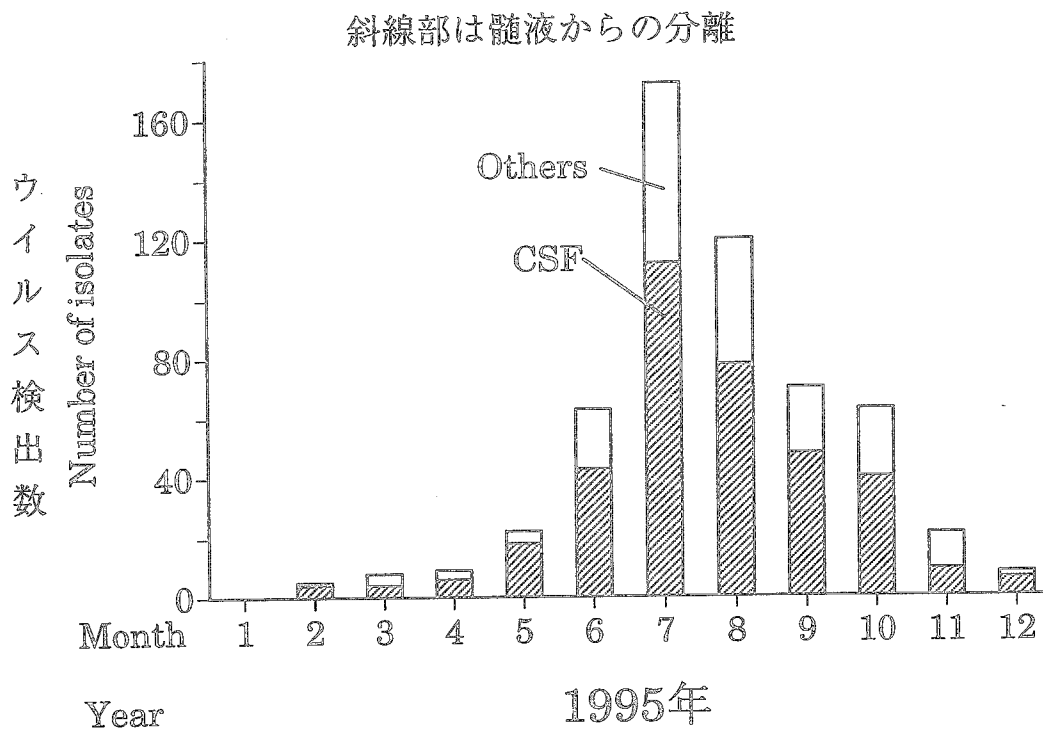
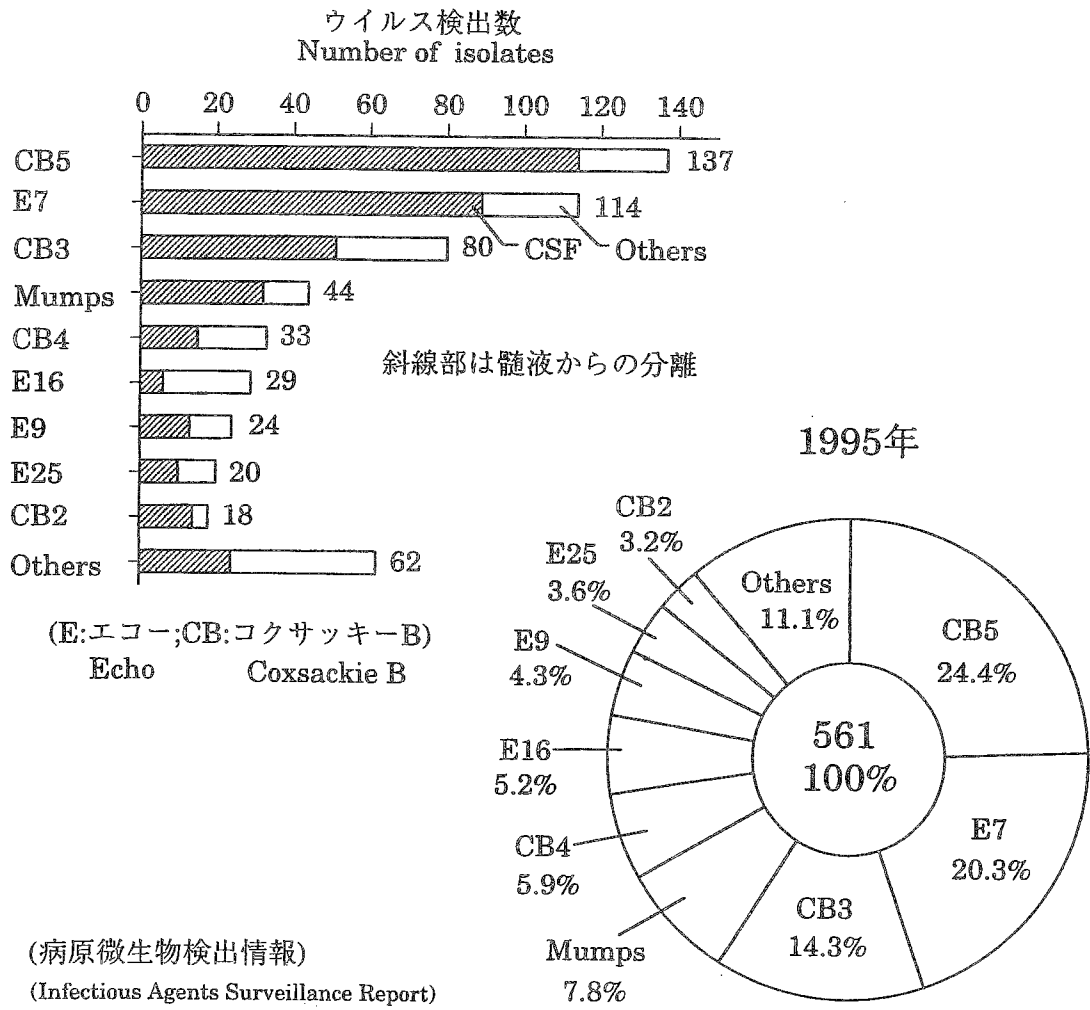


図16-13 無菌性髄膜炎患者からの月別ウイルス検出状況、1995年
 Monthly reports of isolation of viruses from cases of aseptic meningitis, Japan, 1995.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

図16-14 無菌性髄膜炎患者からのウイルス検出状況、1995年
Isolation of viruses from cases of aseptic meningitis, Japan, 1995.



17. 脳・脊髄炎

本年は1987年以来の低位であり、総報告数184人、定点当たり0.36人であった。

脳炎は103人で定点当たり0.20人、脳症は68人で定点当たり0.13人、ライ症候群は6人、脊髄炎7人であった。

起因ウイルスについては、検索方法の検討がさらに必要であると思われた。

図17-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalomyelitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

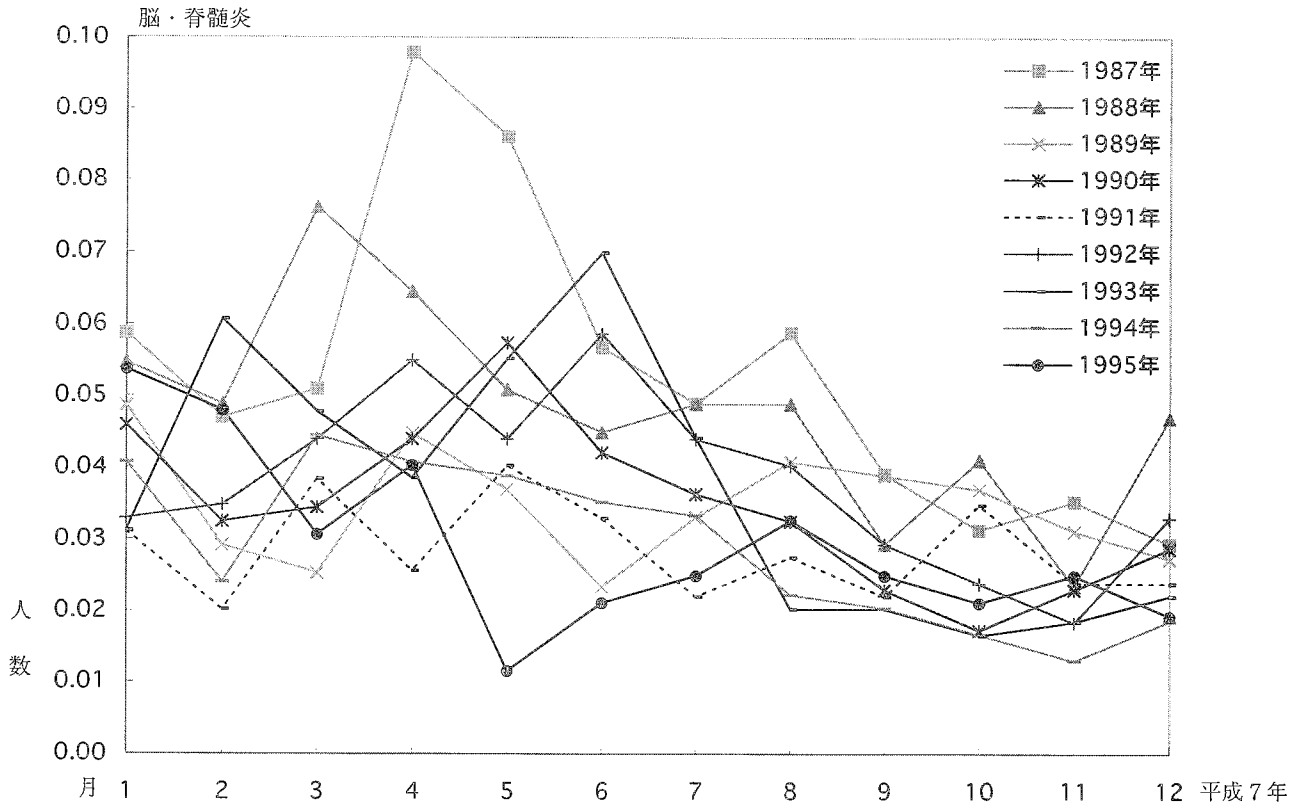


図17-2 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

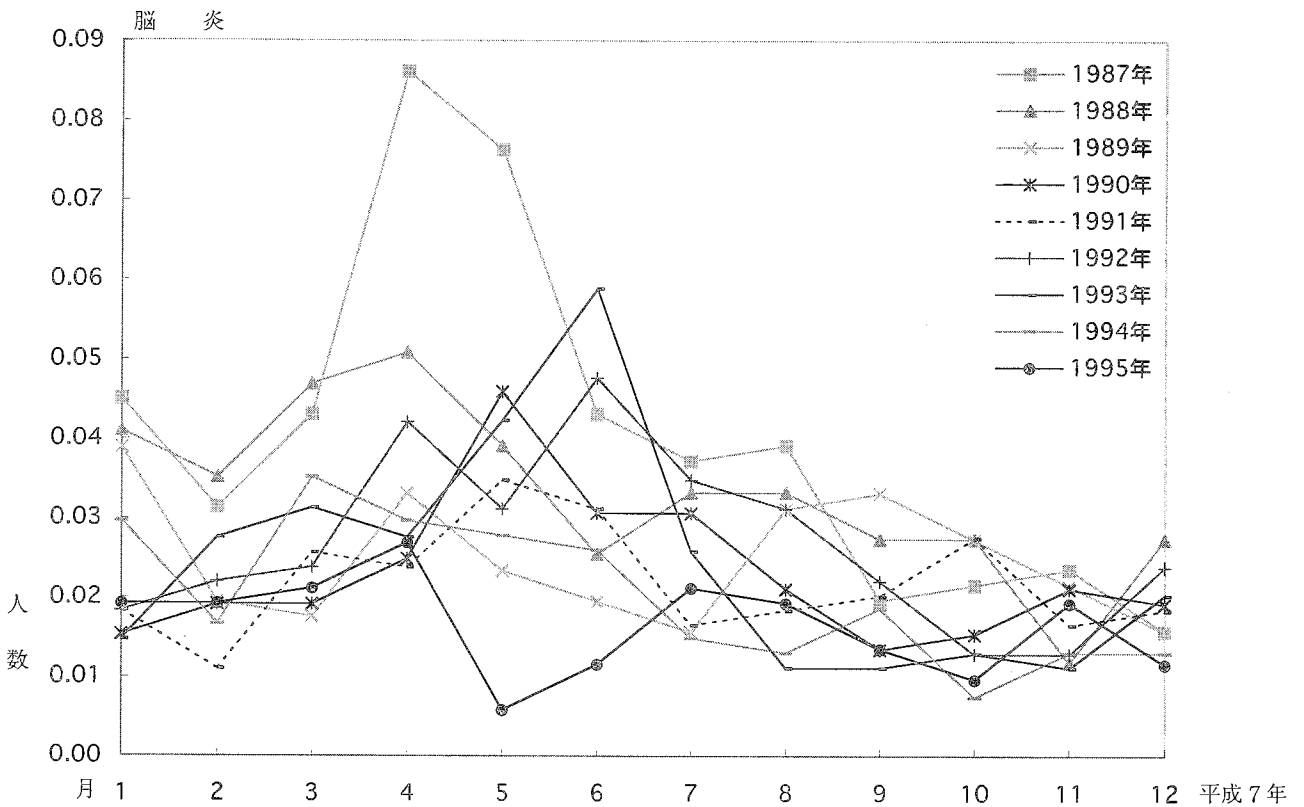


図17-3 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalopathy per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

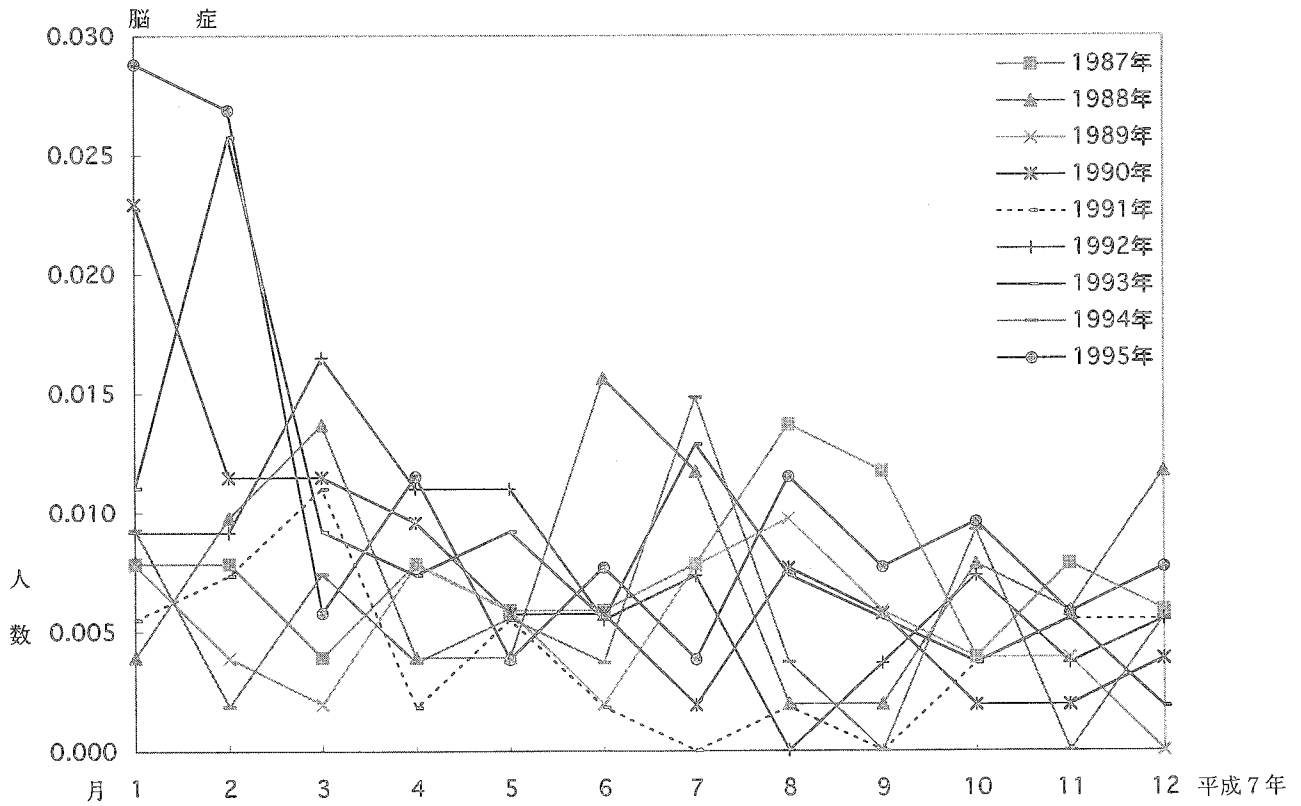


図17-4 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of Reye syndrome per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

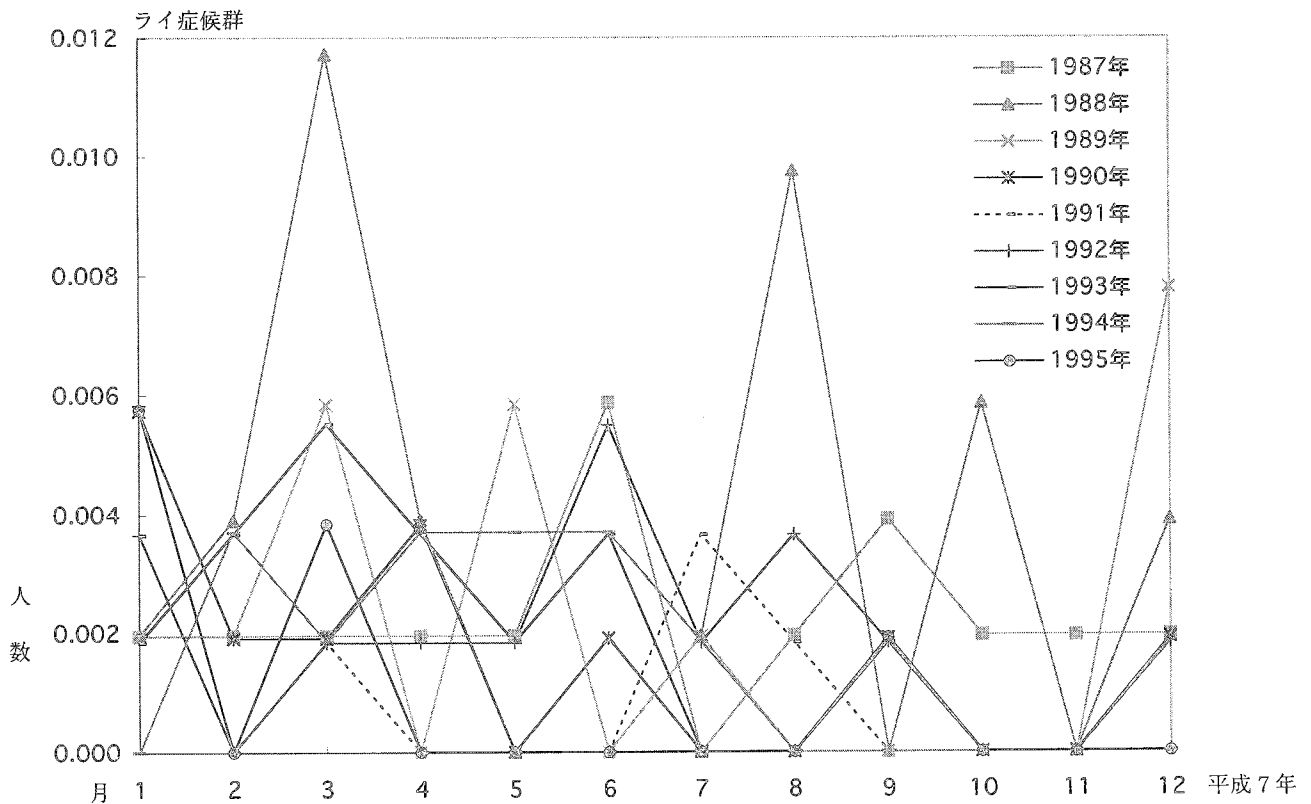


図17-5 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of myelitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

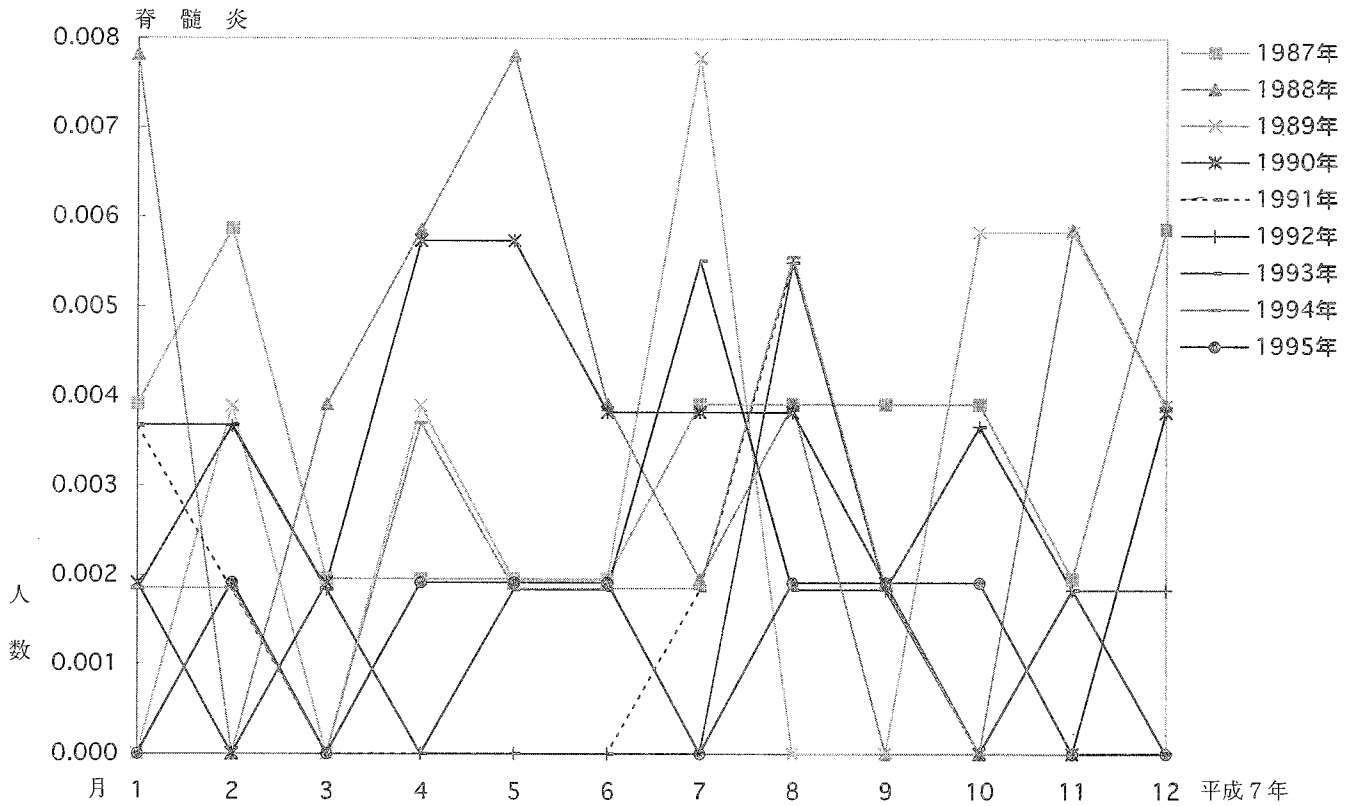


図17-6 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalomyelitis, Japan, 1994-1995.

脳・脊髄炎

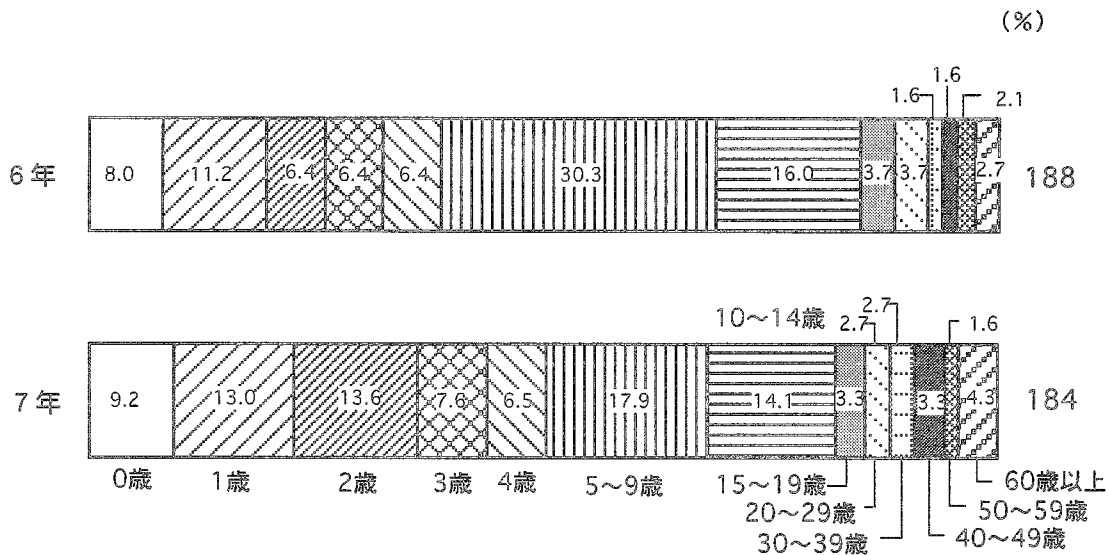


图 17-7 年齡区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalitis, Japan, 1994-1995.

脳炎

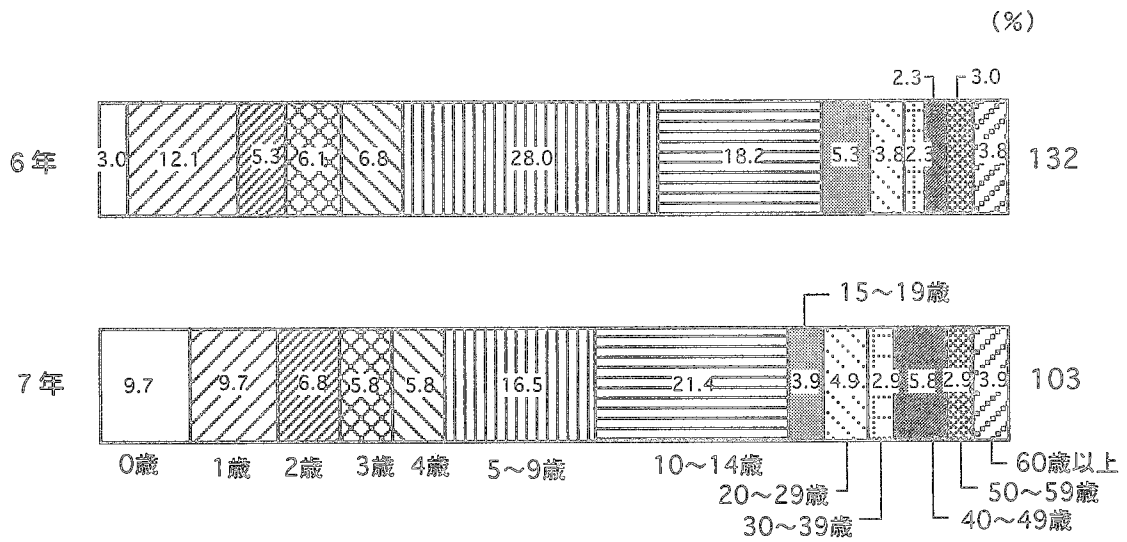


图 17-8 年齡区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalopathy, Japan, 1994-1995.

脳症

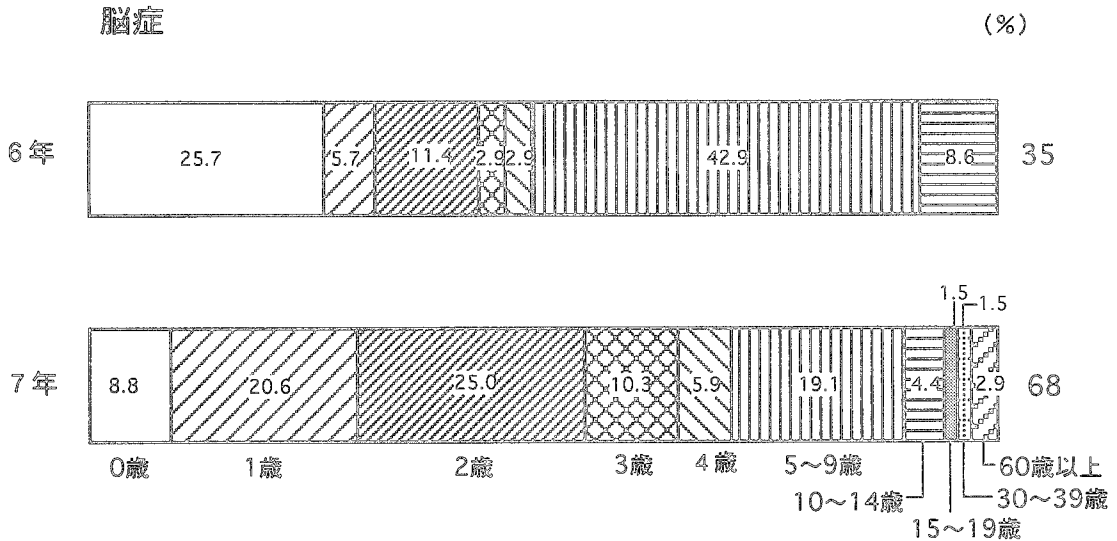


图 17-9 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of Reye syndrome, Japan, 1994-1995.

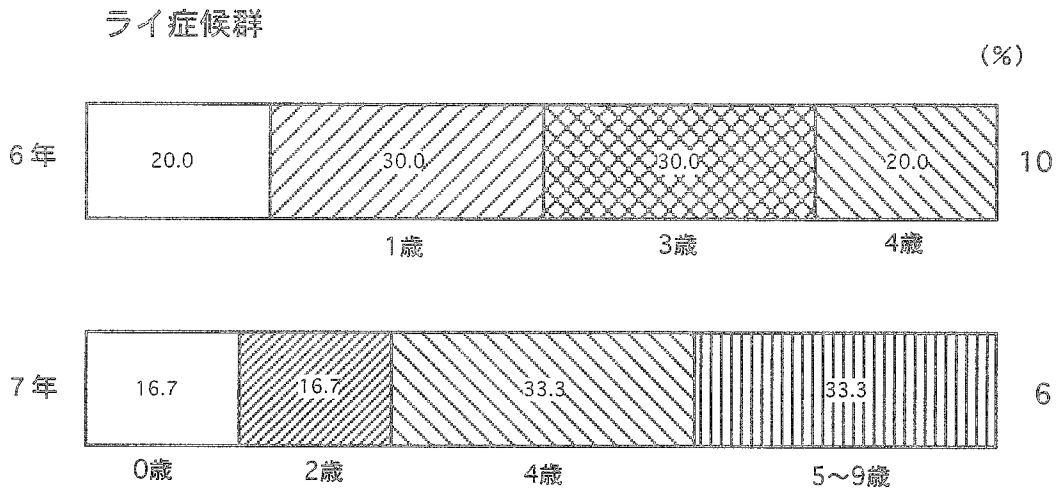


图 17-10 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of myelitis, Japan, 1994-1995.

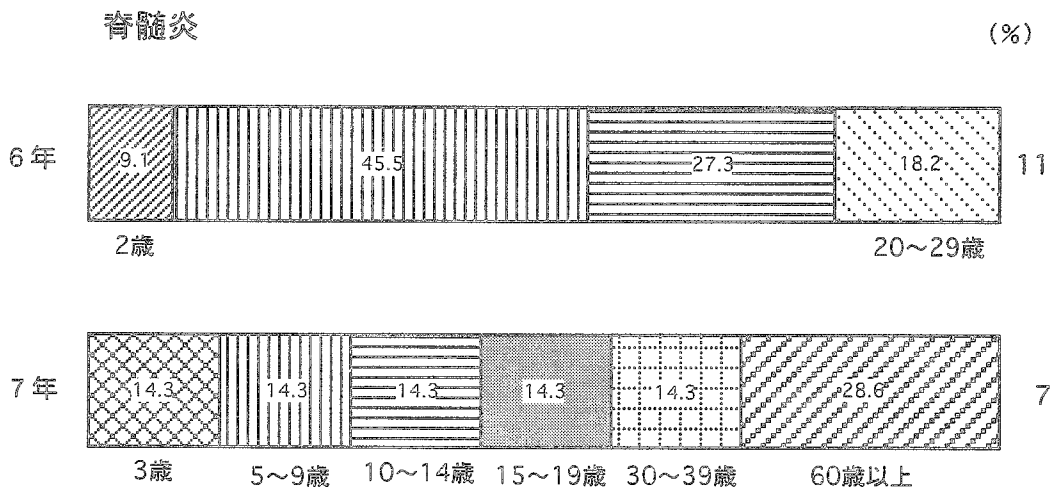
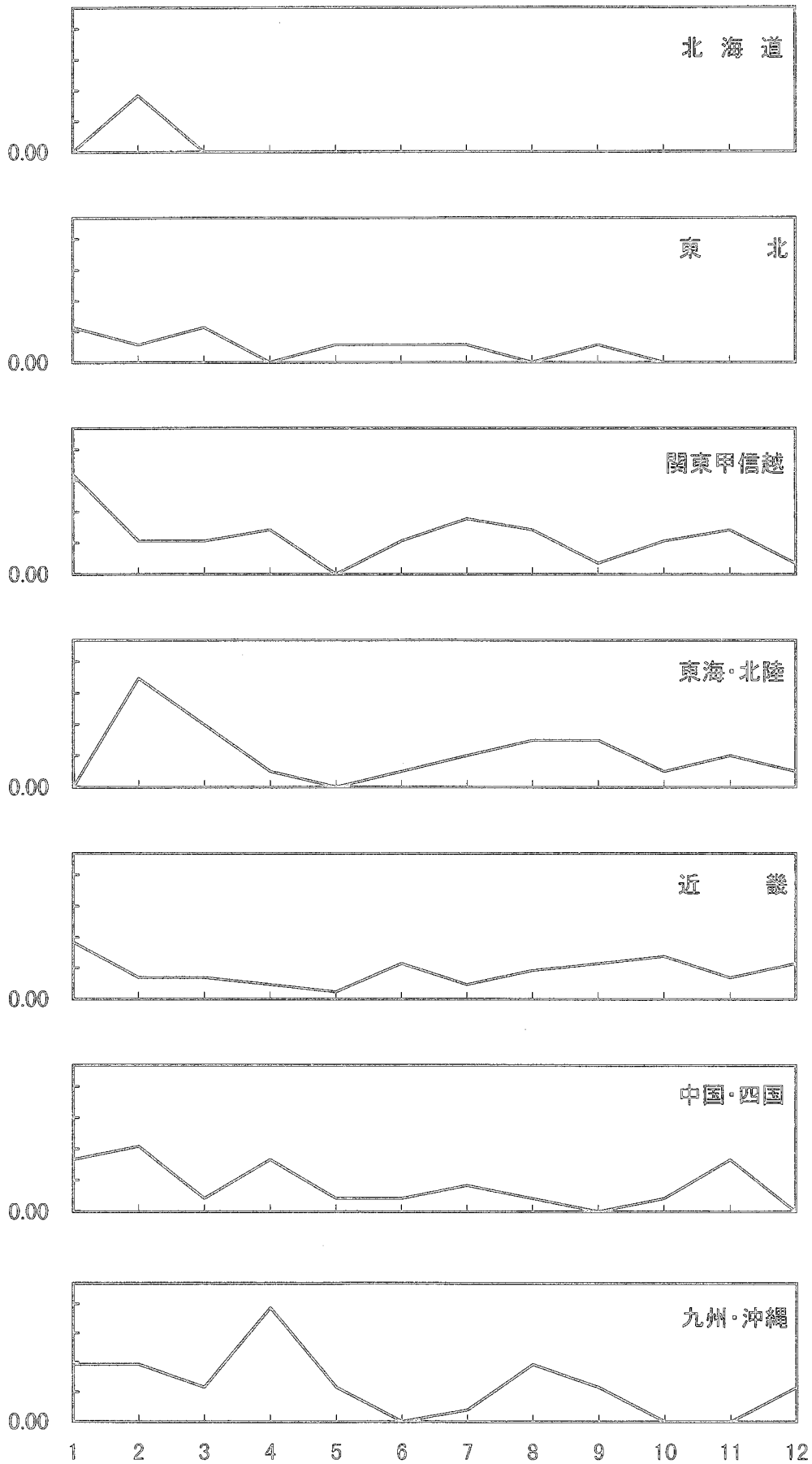


図17-11 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalomyelitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

脳・脊髄炎

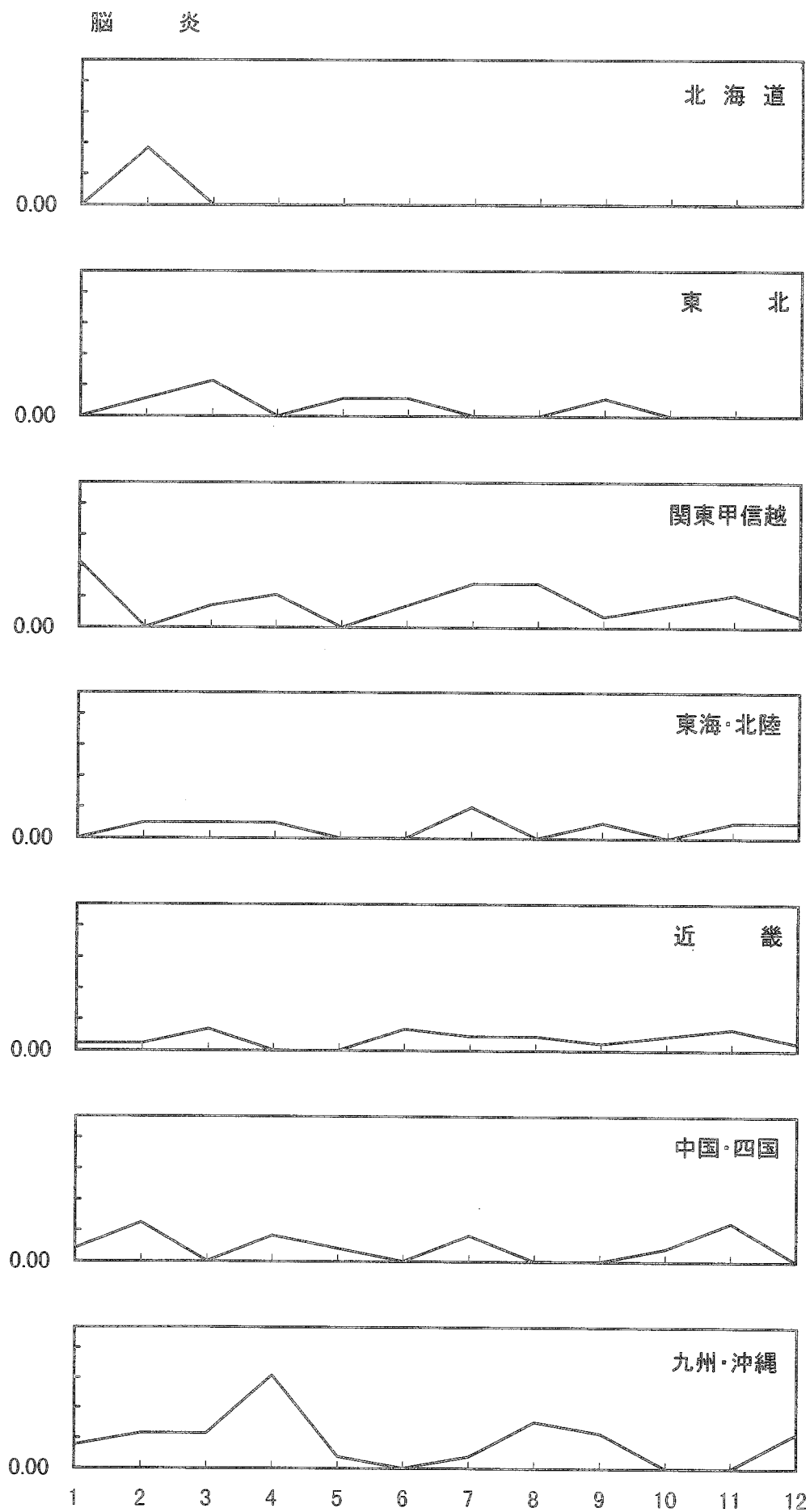


MAX=0.12

平成7年

図17-12 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

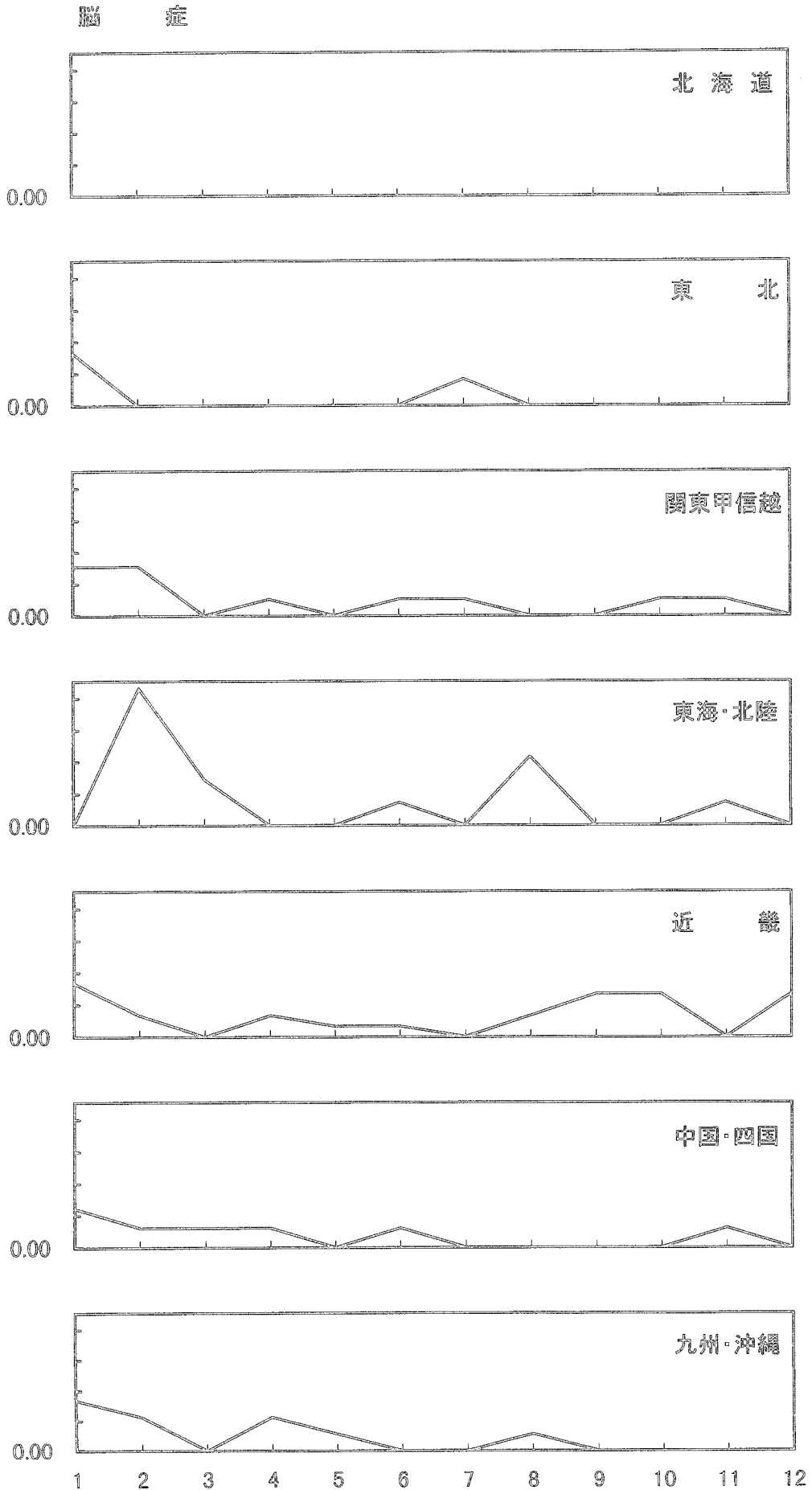


MAX=0.10

平成7年

図17-13 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalopathy per reporting hospital, by geographical area, 1995.



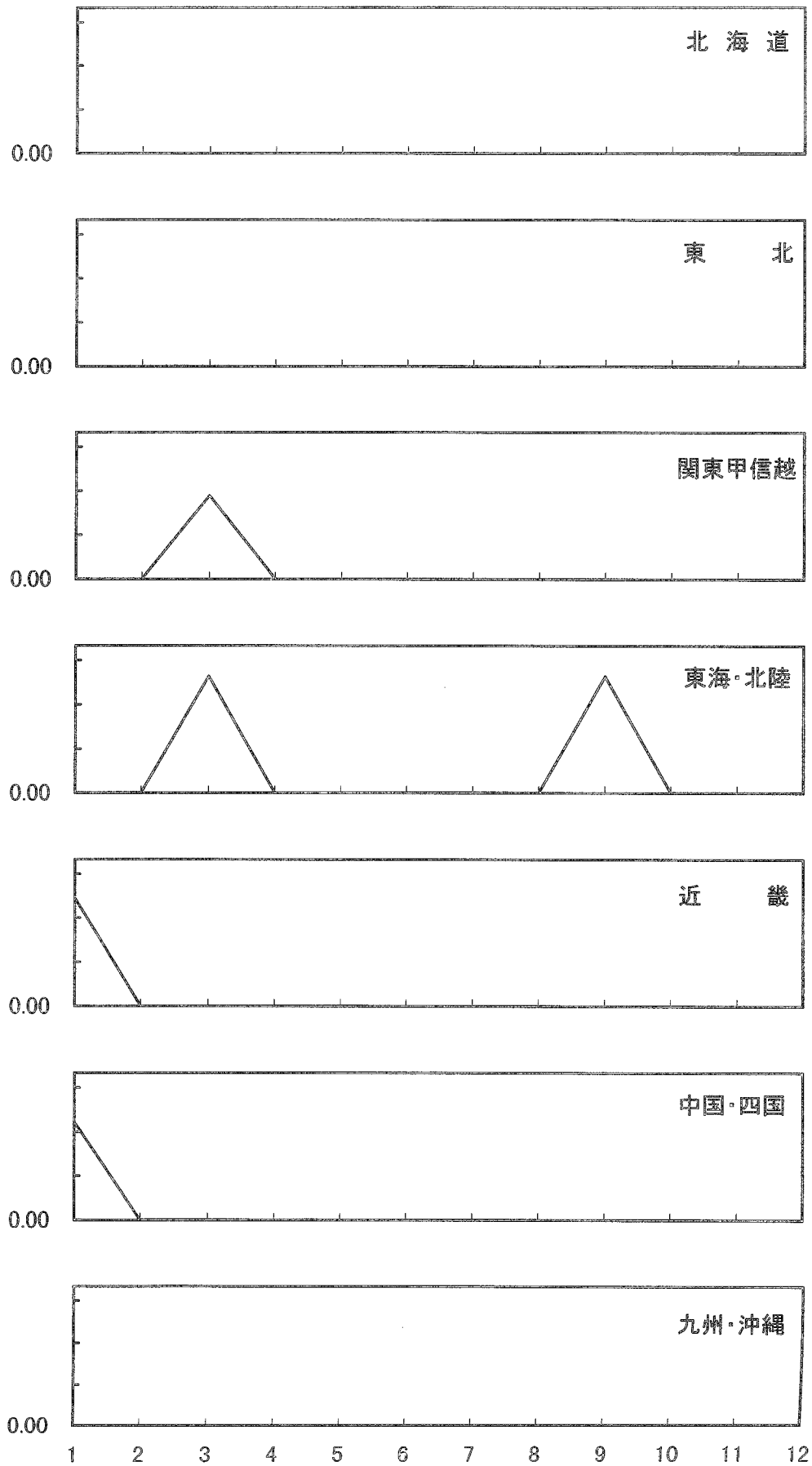
MAX=0.10

平成7年

図17-14 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of Reye syndrome per reporting hospital, by geographical area, 1995.

ライ症候群



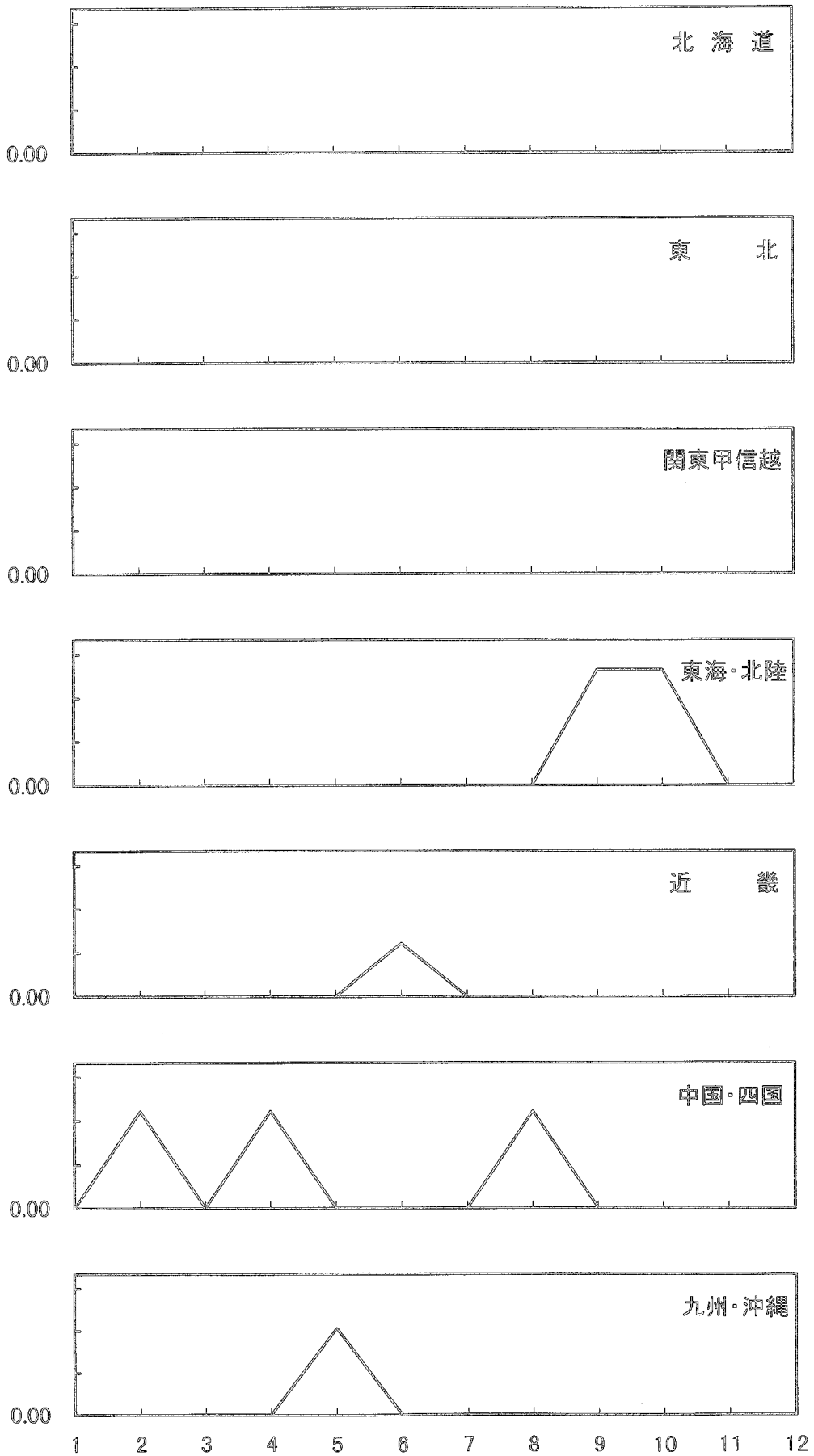
MAX=0.02

平成7年

図17-15 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of myelitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

脊 髄 炎



MAX=0.02

平成7年

図17-16 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of encephalomyelitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.

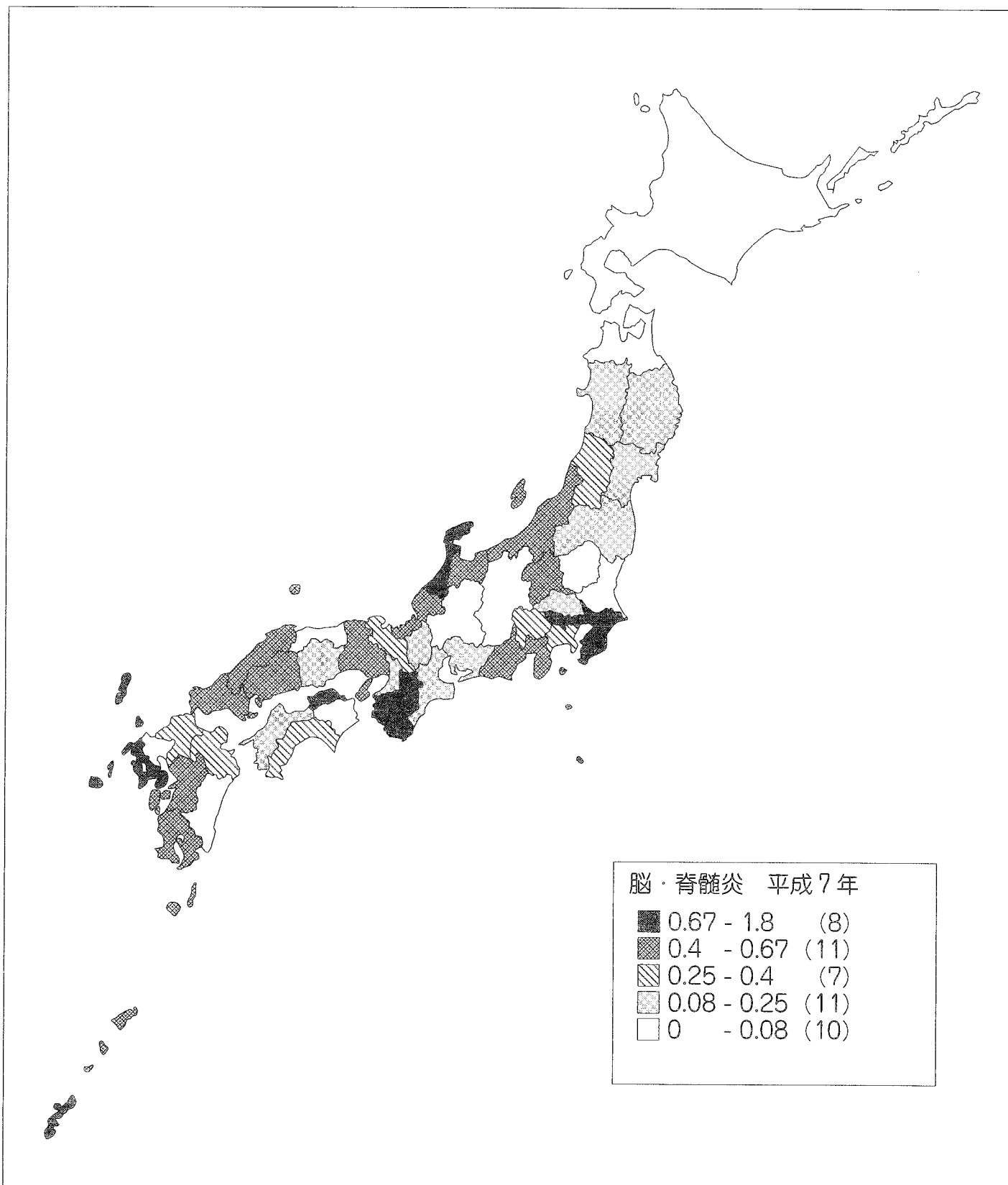


図17-17 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of encephalitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.

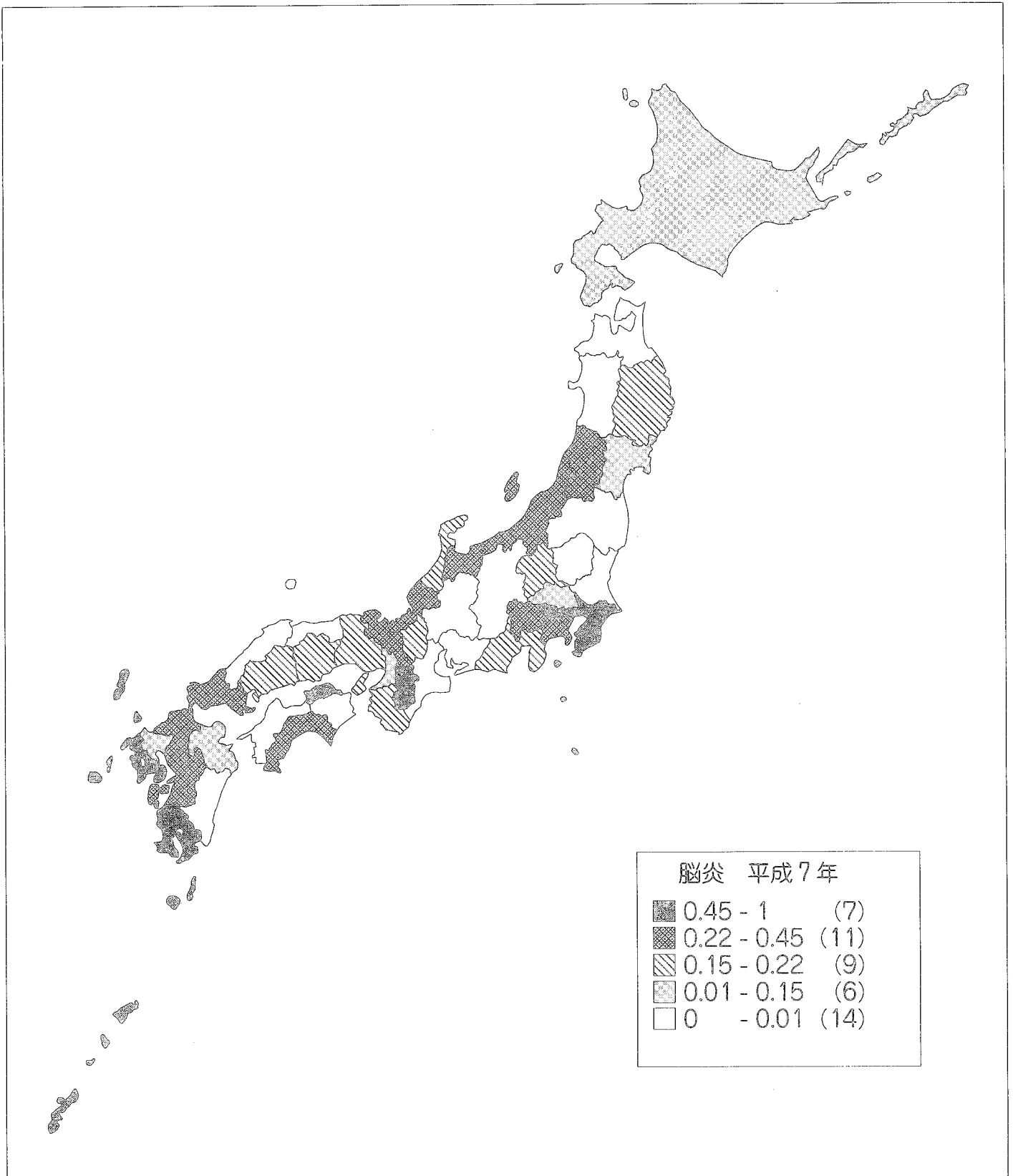


図17-18 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of encephalopathy per reporting hospital, by prefecture, 1995.

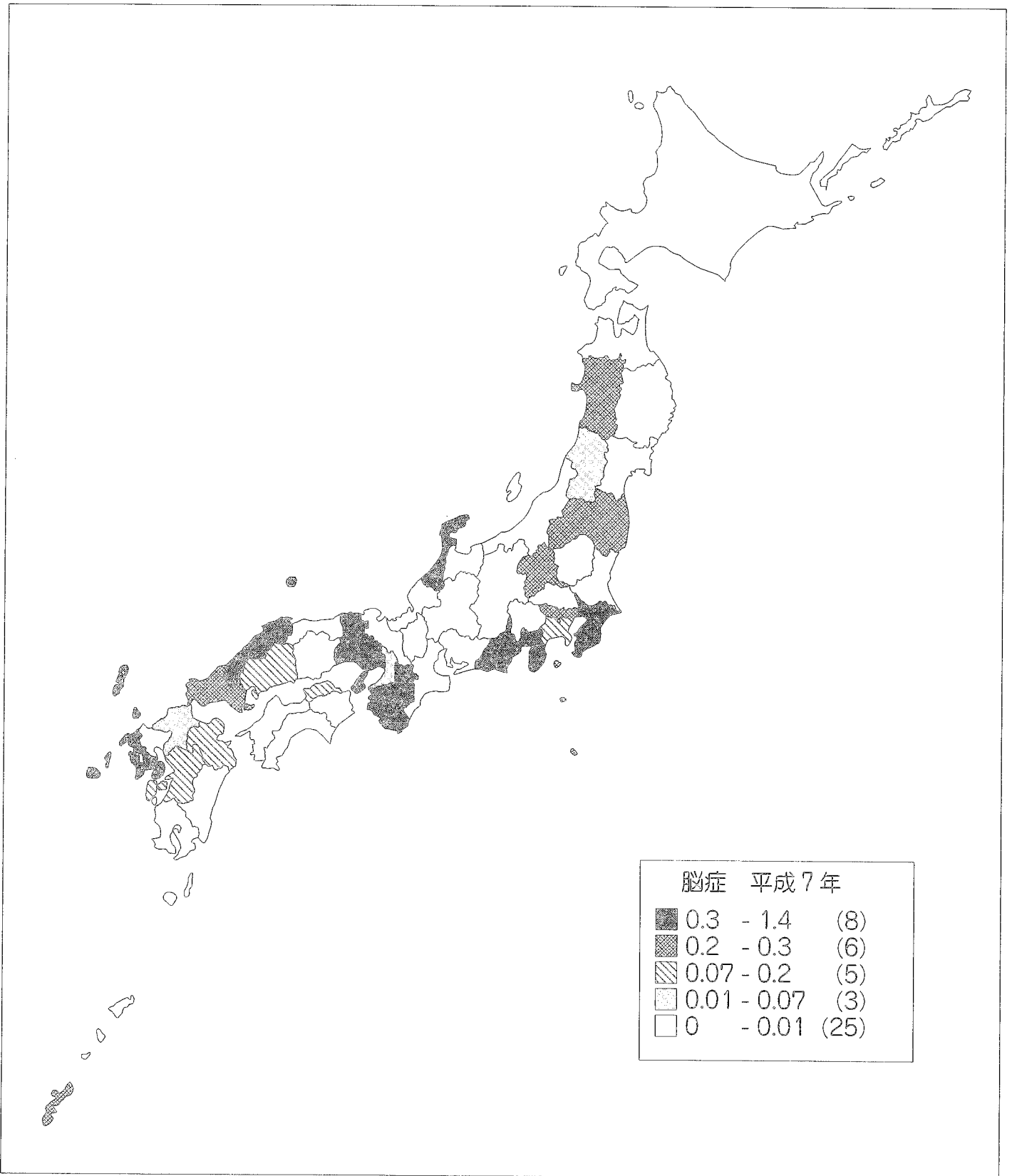


図17-19 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of Reye syndrome per reporting hospital, by prefecture, 1995.

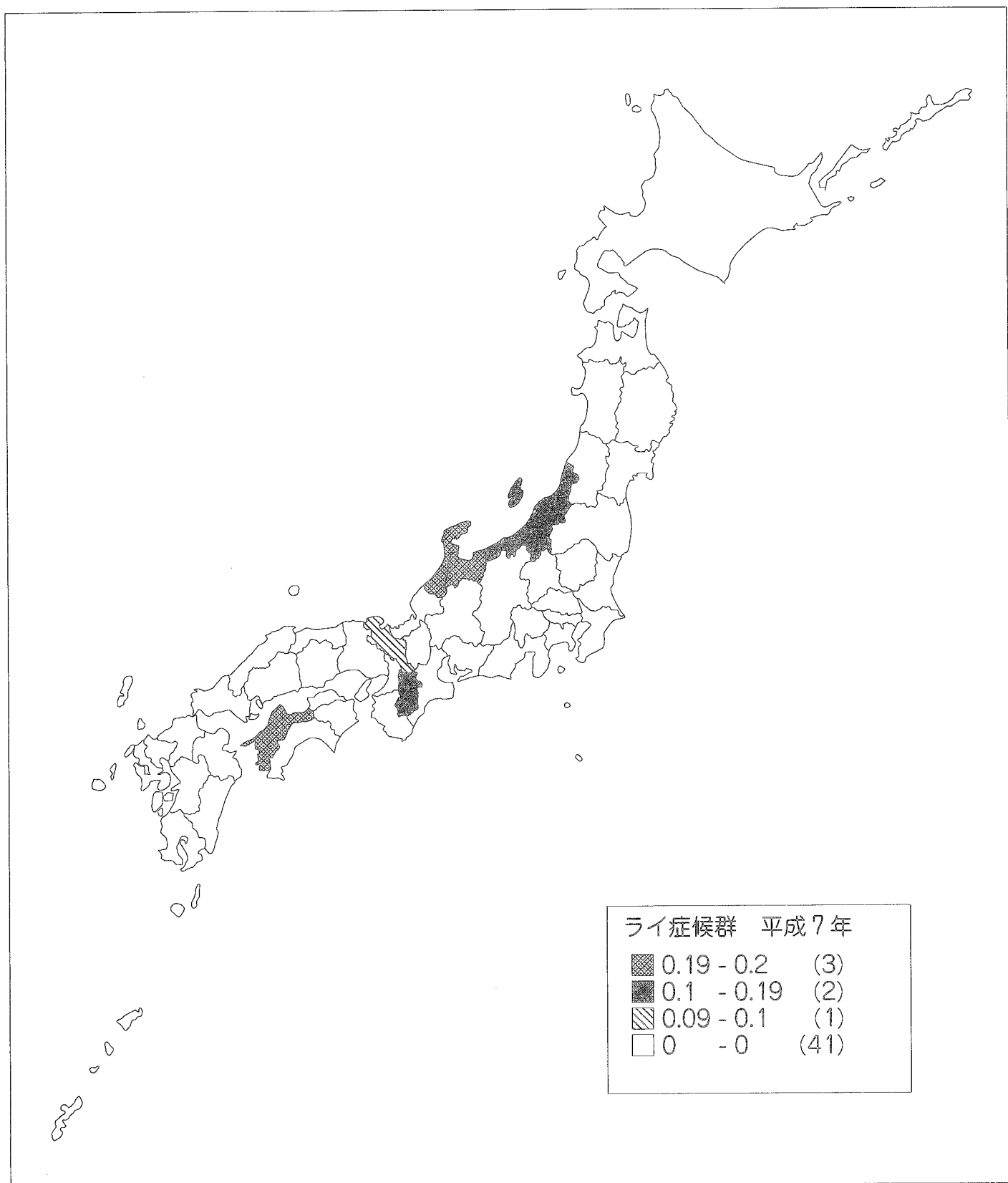
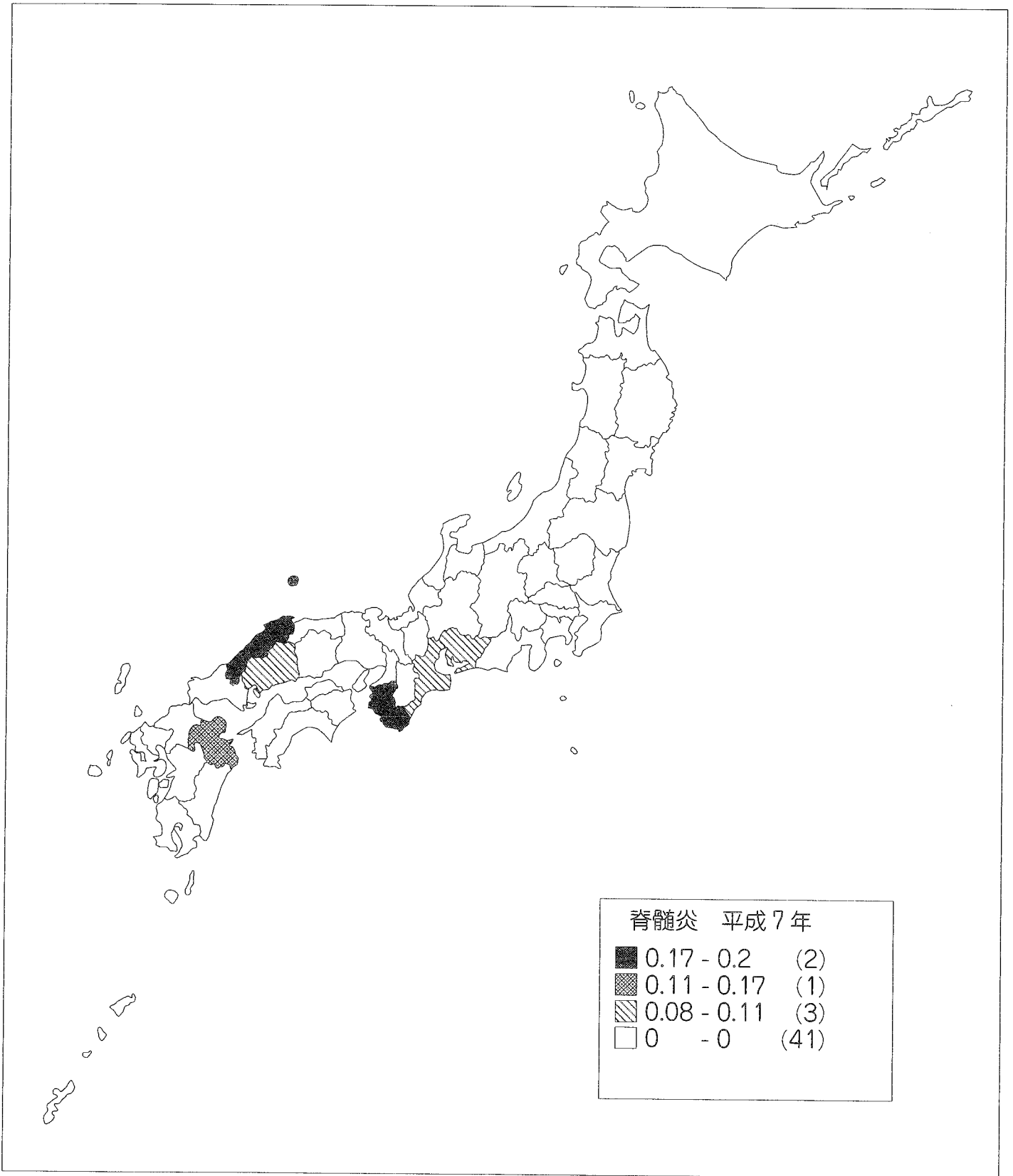


図17-20 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of myelitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.



II. 眼感染症

1. 咽頭結膜熱(PCF)

小児科・内科定点におけるPCFの報告数は、1995年は8,292人で各四半期別の頻度は548(6.6%)、1,350(16.3%)、5,374(64.8%)、1,020(12.3%)と第3四半期がピークを示していた。一方眼科定点においては782人の報告があり、93(11.9%)、132(16.9%)、376(48.1%)、181(23.1%)と同じ傾向が見られた。小児科・内科定点に比べ第4四半期が多く報告されている。多発した県は眼科定点と小児科・内科定点で一致した県は見られなかった。

2. 流行性角結膜炎(EKC)

1995年は22,134人の報告があり、各四半期は3,074(13.9%)、4,050(18.3%)、7,162(32.4%)、7,848(35.5%)であった。多発した県では沖縄県が3,997名(18.1%)で各四半期の頻度339(11.2%)、323(8.0%)、280(3.9%)、3,055(39.0%)であった。

本年のEKCが例年と異なり34週前後のピークより遅く、第4四半期に多発したのは沖縄における流行によっていた。すなわち沖縄では1995年は第4四半期がEKCの多発が目立ち、一年間の発生の76%を占めていた。佐賀県は557名(2.5%)で各四半期の頻度は135(24.2%)、232(41.7%)、96(17.2%)、94(16.9%)で第2四半期が多発していた。福島県は596名(2.7%)で各四半期の頻度は171(28.7%)、147(24.7%)、183(30.8%)、94(15.0%)で第1四半期から第3四半期までつづいていた。

3. 急性出血性結膜炎(AHC)

1995年は1,143人の報告があり、各四半期は304(26.6%)、432(37.8%)、296(25.9%)、111(9.7%)であった。沖縄においては216、294、175、32名で合計717人と全体の62%は沖縄で発生しており、1994年下半期のAHCの流行が1995年の上半期に引き続いていた。なおこれらの沖縄の発生に関連して日本における各地の報告が例年よりも増加している傾向があった。

図1-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

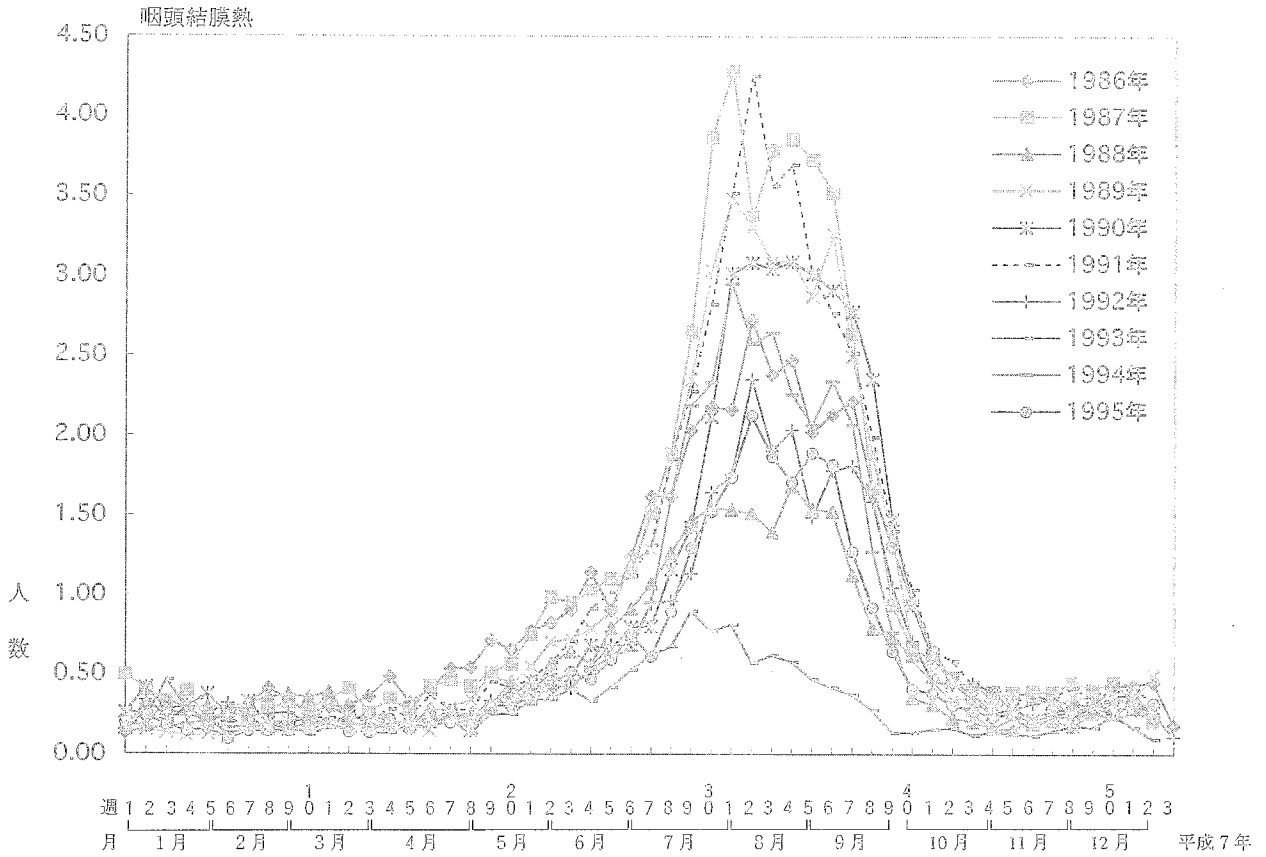


図1-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of pharyngo-conjunctival fever, Japan, 1994-1995.

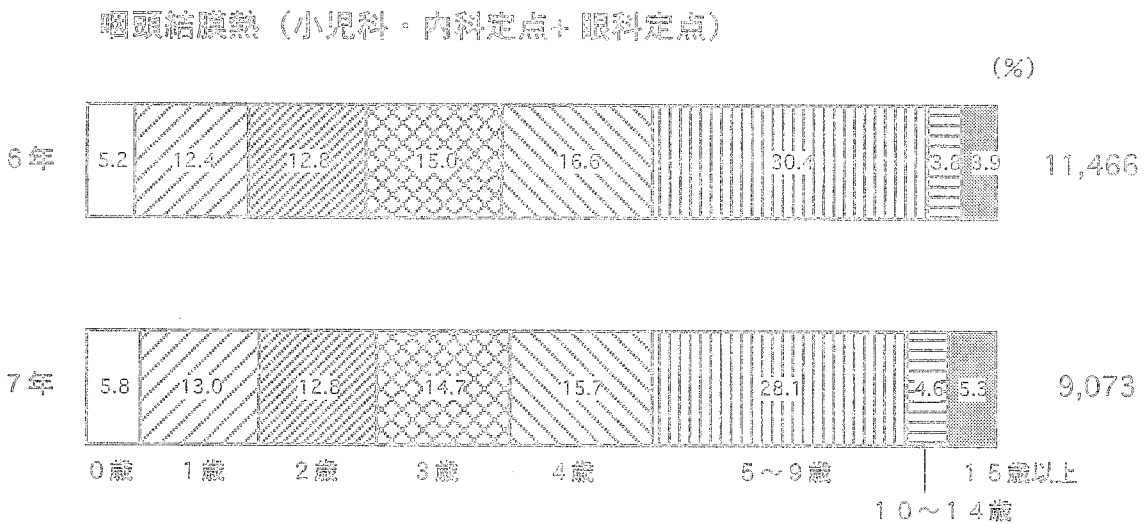


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, by geographical area, 1995.

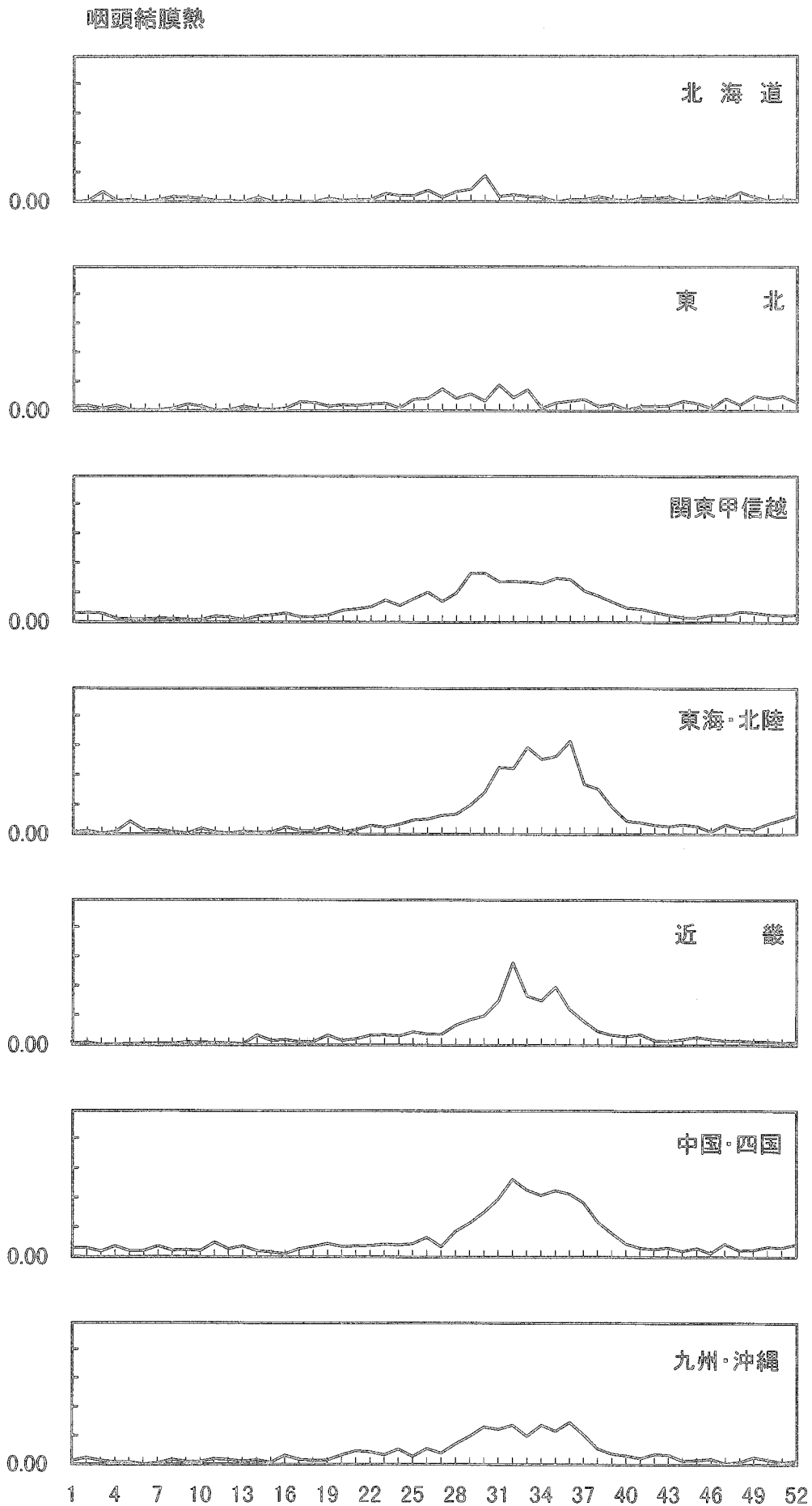


図1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, by prefecture, 1995.

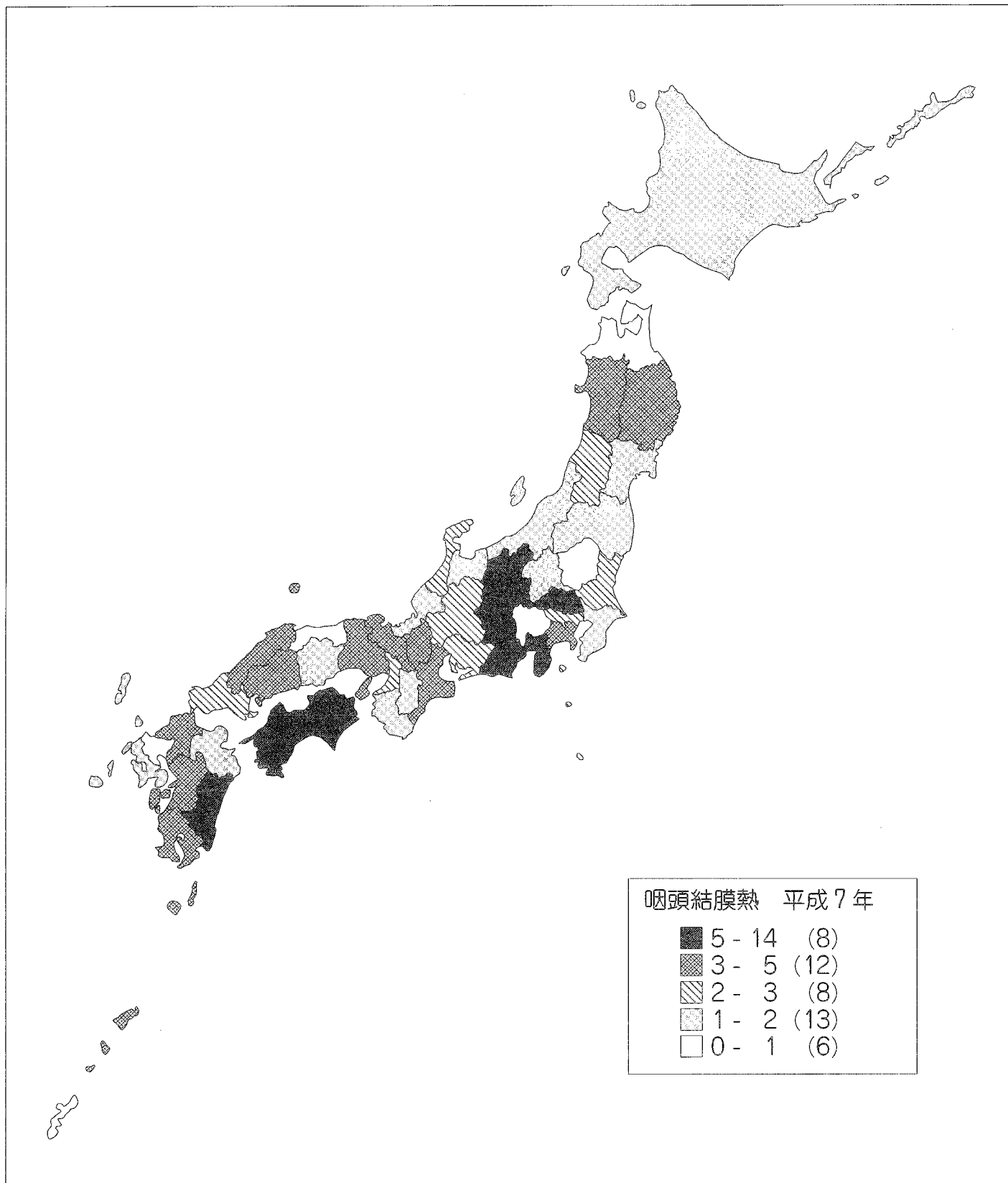


図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

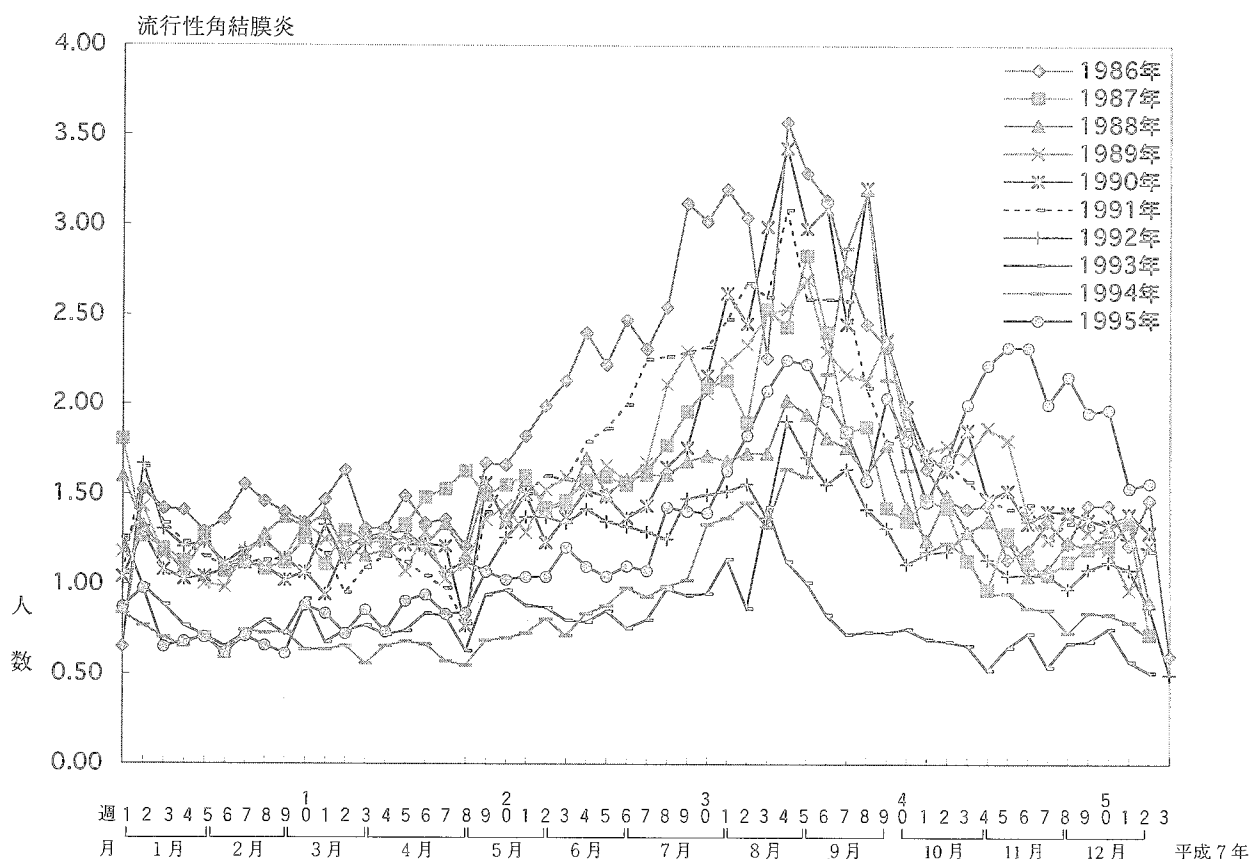


図2-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of epidemic keratoconjunctivitis, Japan, 1994-1995.

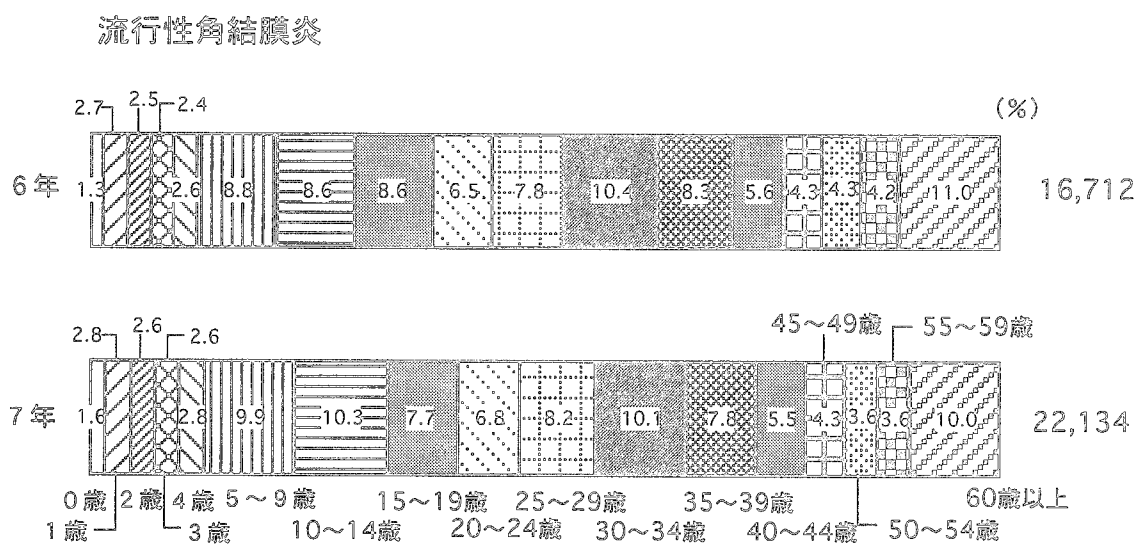
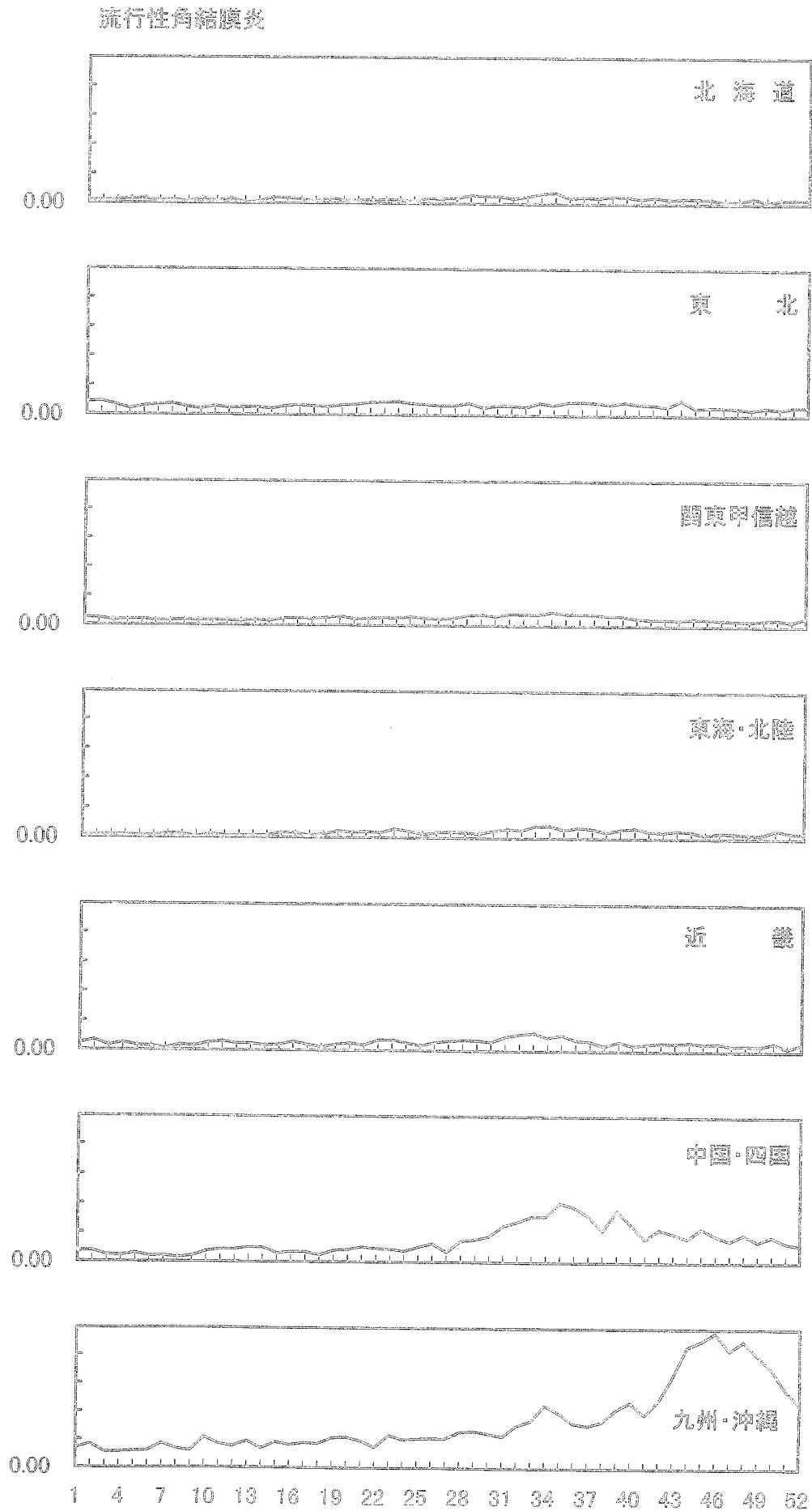


図2-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, by geographical area, 1995.



MAX=11.70 平成7年

図2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, by prefecture, 1995.

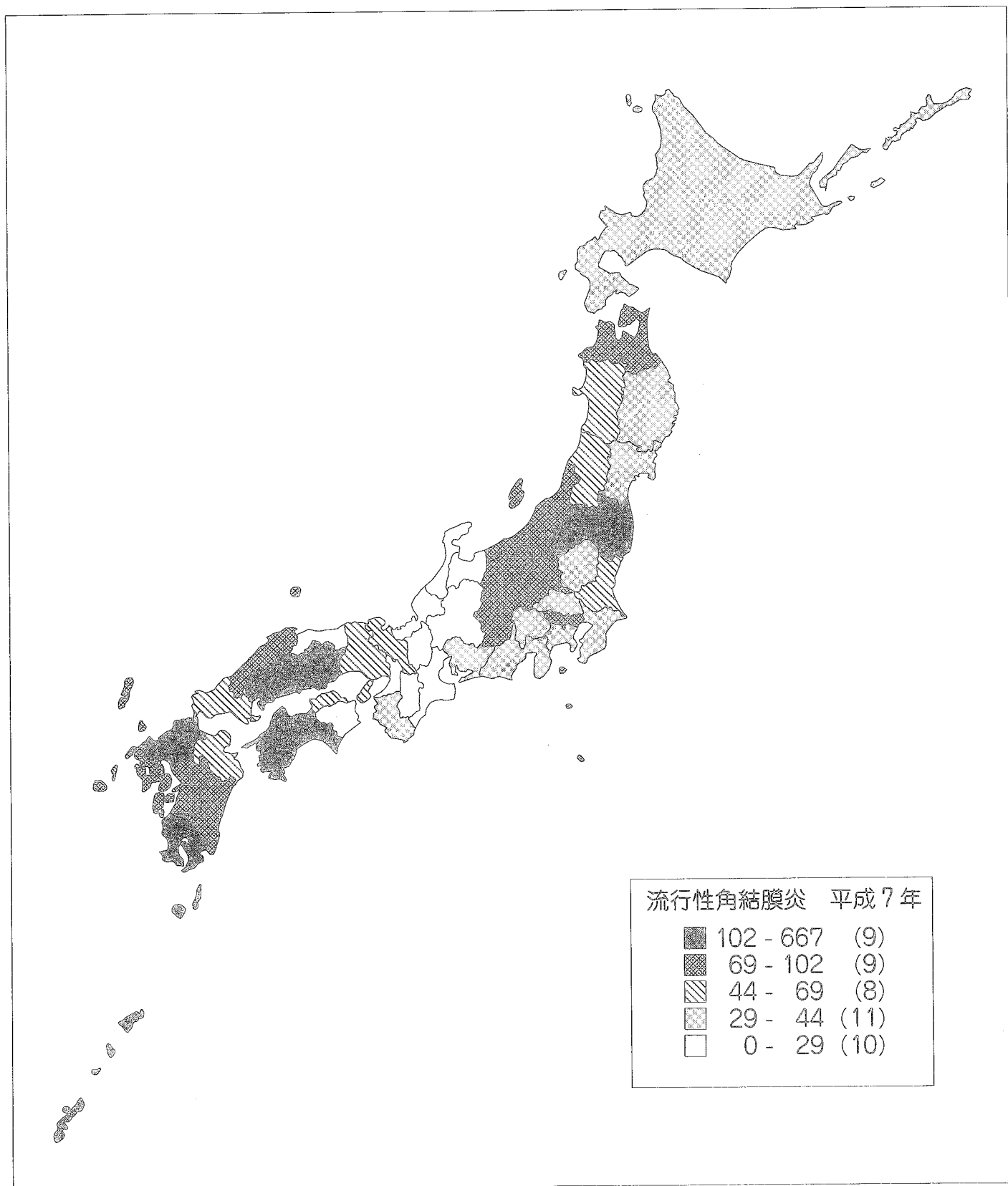


図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic, Japan, 1986-1995.

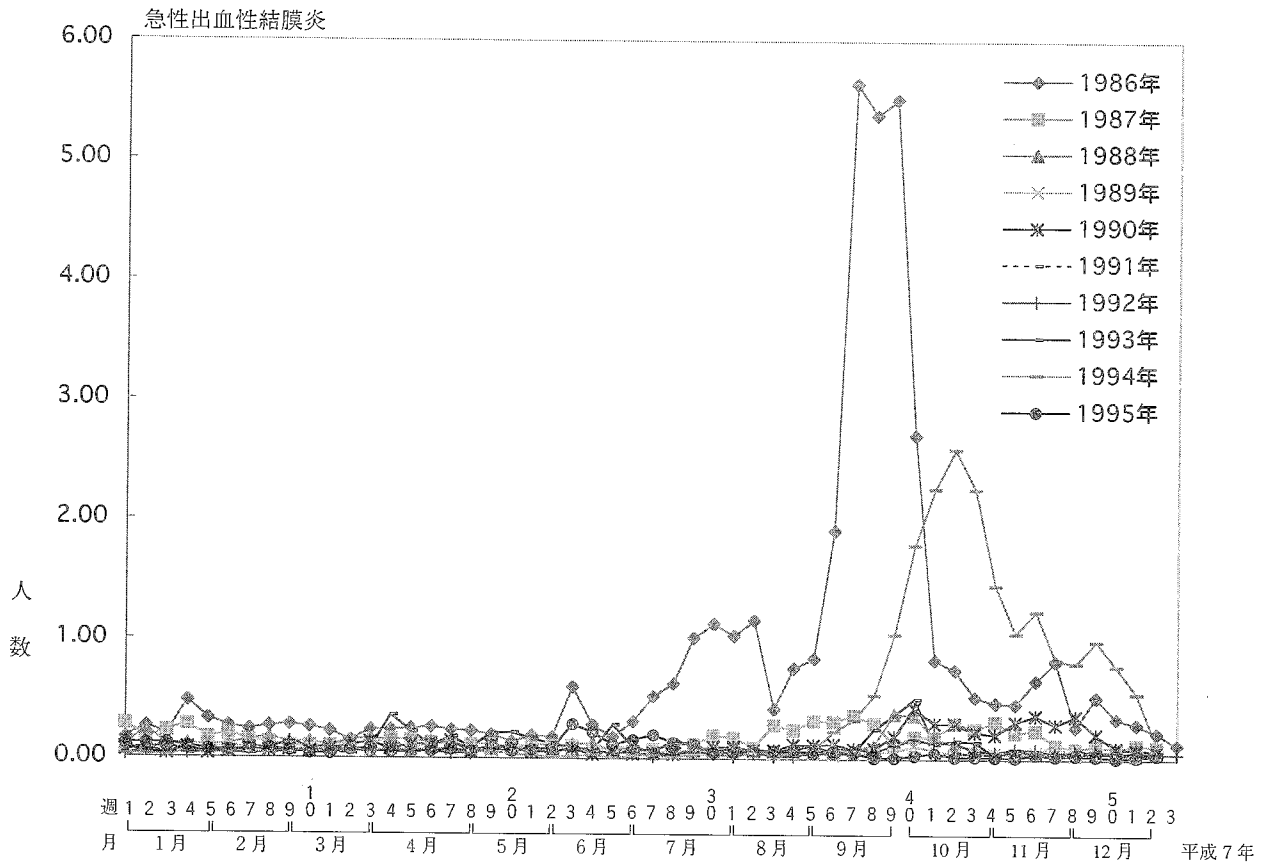


図3-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis, Japan, 1994-1995.

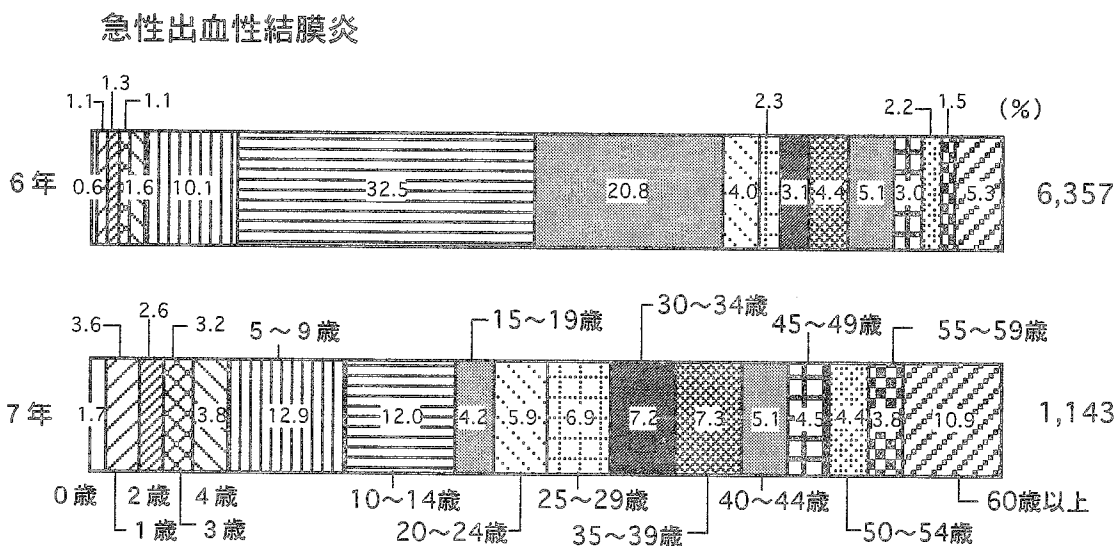
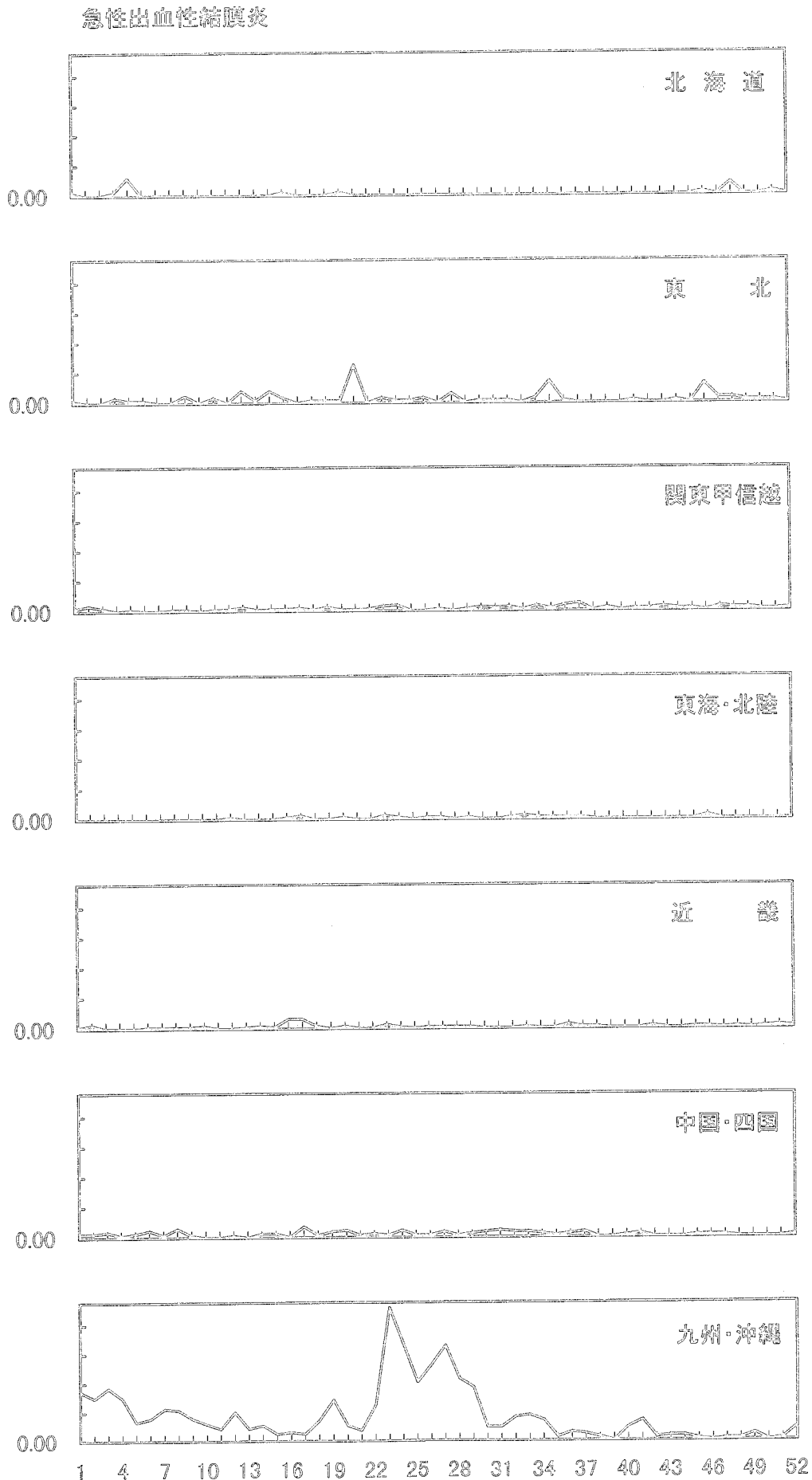


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic, by geographical area, 1995.



MAX=1.93

平成7年

圖3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic, by prefecture, 1995.

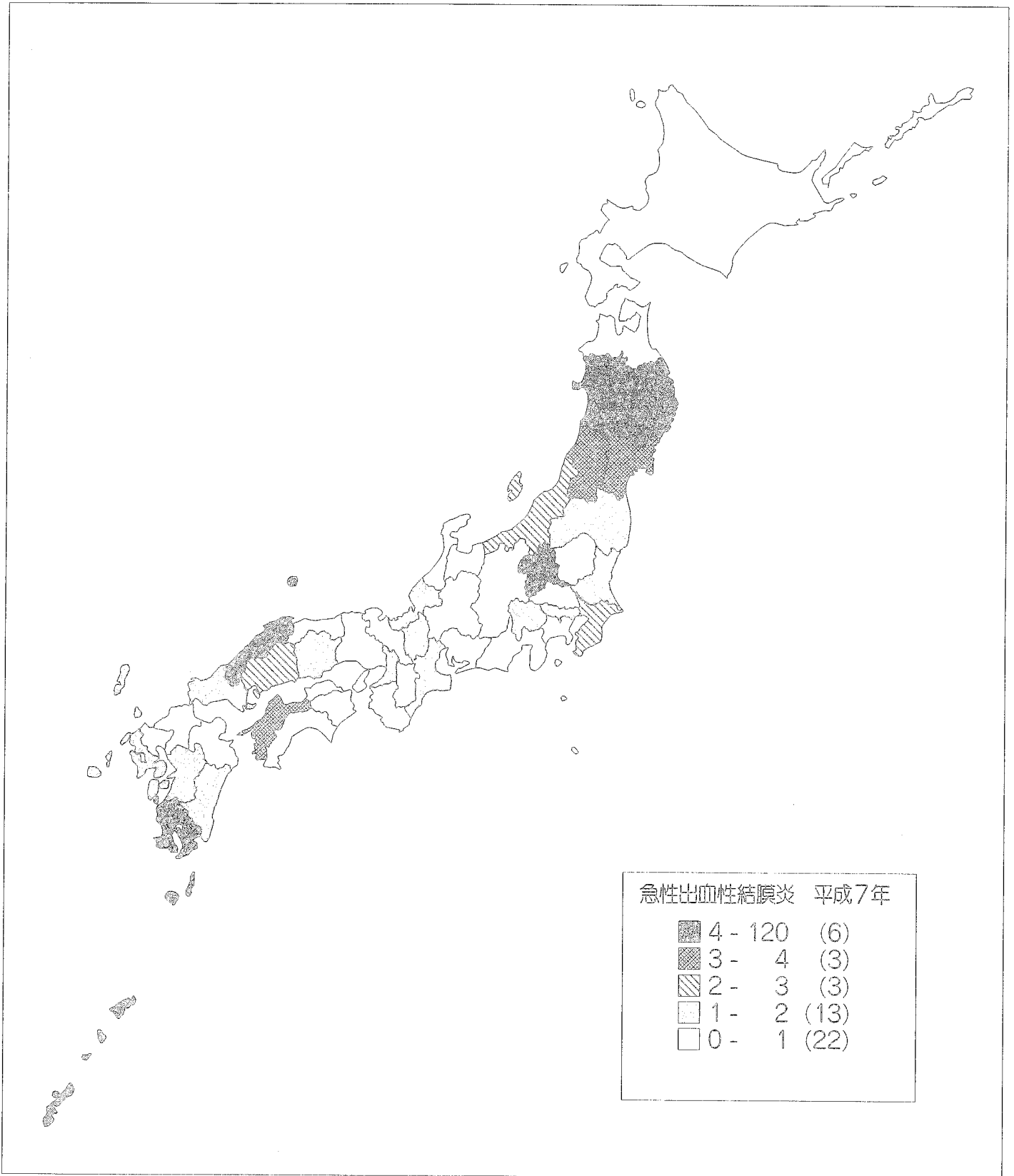
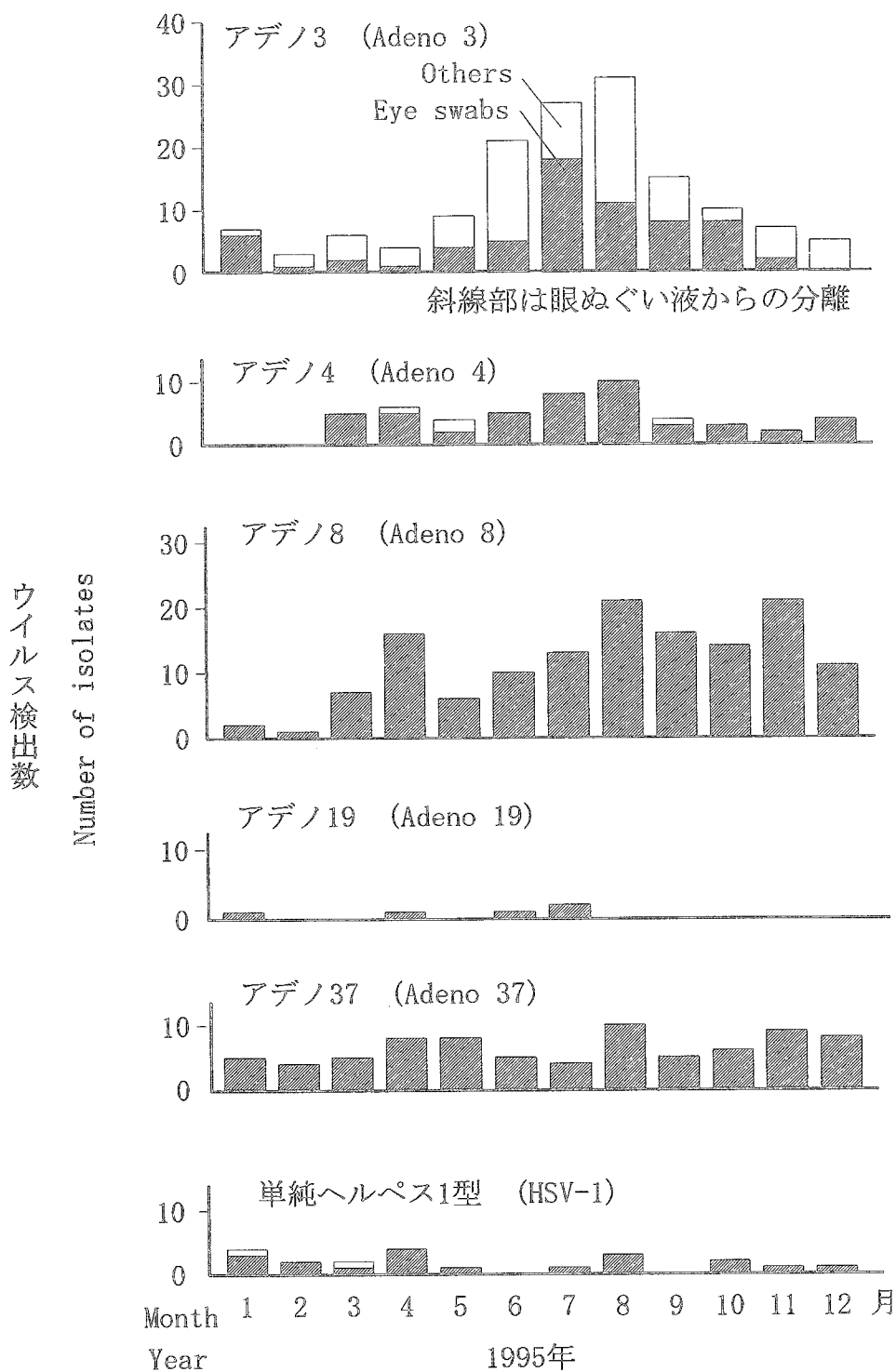


図4 角膜炎・結膜炎の症状のあった例からの主なウイルス検出状況、1995年
 Monthly reports of isolation of viruses from cases of keratitis/conjunctivitis, Japan, 1995.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

Ⅲ. ウイルス肝炎

ウイルス肝炎全体としてみた場合、定点当たりの報告数は過去最低を記録した。これは全てのウイルス肝炎が最低を示したことによる（図1-1）。

1. A型肝炎

A型肝炎は3～4月に小さな山を作ったのみで経過し（図2-1）、結果として、1990年を最高に以後減少してきたことになる。昨年の約半数にとどまった。年齢別にみると、例年通りの2峰性の山がみられたが、特徴は小児の山が低下したこと、及び成人の山が例年のように高年者側へ拡大して幅広い山となったことである（図2-2）。

地域別にみると、長く続いた東海・北陸地区の流行は終息に向かっており、代わって関東地区で増加がみられている。県別では、福井県、福島県、富山県、埼玉県、三重県、川崎市の順に報告が多かった。

2. B型肝炎

B型肝炎は年初これまでの最低の定点当たり0.05の報告数から出発したが、5月以降やや増加に転じ、12月には定点当たり0.10と増加した（図3-1）。年齢別には例年通りに10代後半から増加し、成人で幅広い山を作っているが、40～49歳の山については理由が不明である。しかし、キャリアの報告ではないかと推測される（図3-2）。

地域別にみた場合に、県によって報告数に大きな差がみられる。特に多いのは埼玉県、川崎市であり、次いで、青森県、宮崎県などである。

3. その他のウイルス肝炎

その他のウイルス肝炎では全体として減少してきたが、C型肝炎が診断できなかった時代までは減少していない。12月に報告数が増加した（図4-1）。年齢別には相変わらず、45歳以降の世代での報告が多い（図4-2）。この場合も報告数の県別の差が大である。特に多いのは埼玉県、茨城県、川崎市であり、千葉県、東京都、長野県、愛知県、広島県などが続いている。

輸血後肝炎は岐阜県、大阪市、山口県から各1例、計3例（男1例、女2例）。

図1-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of viral hepatitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

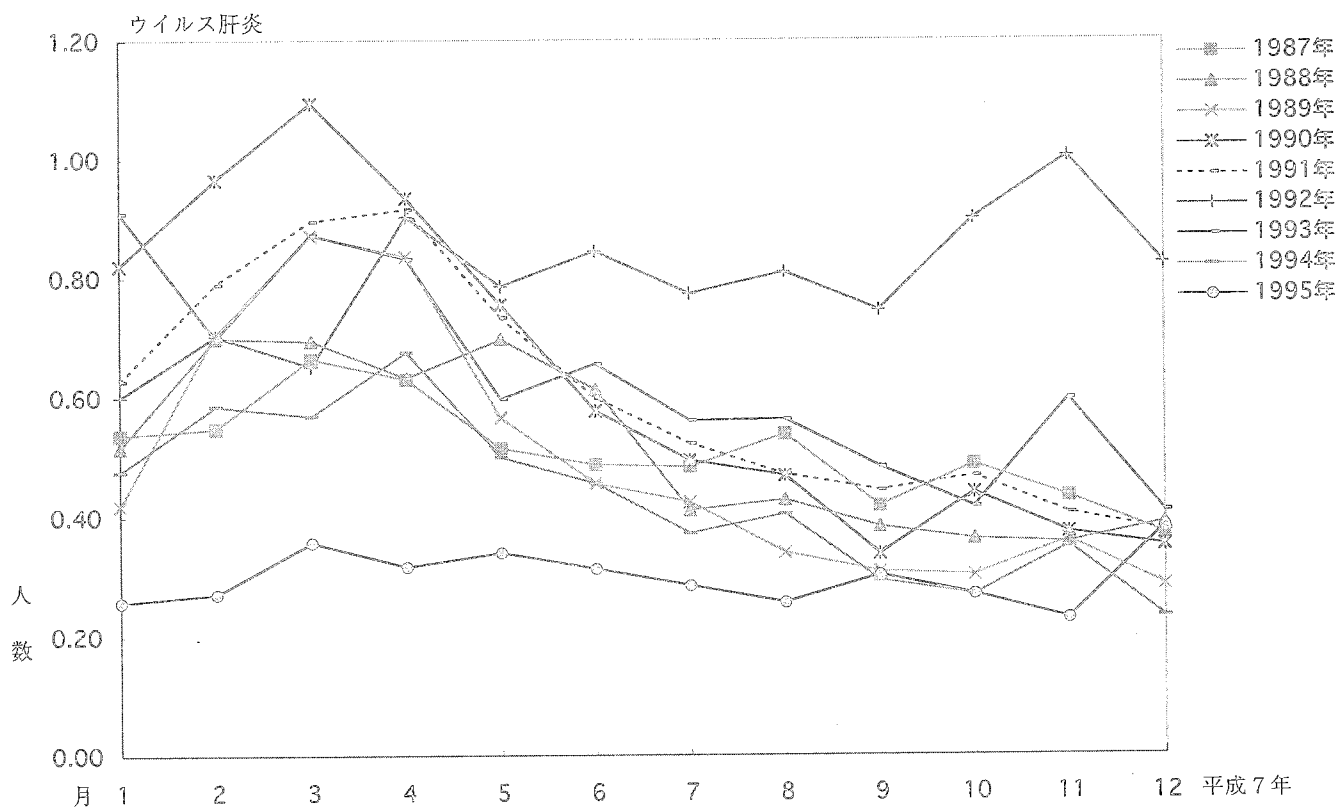


図1-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of viral hepatitis, Japan, 1994-1995.

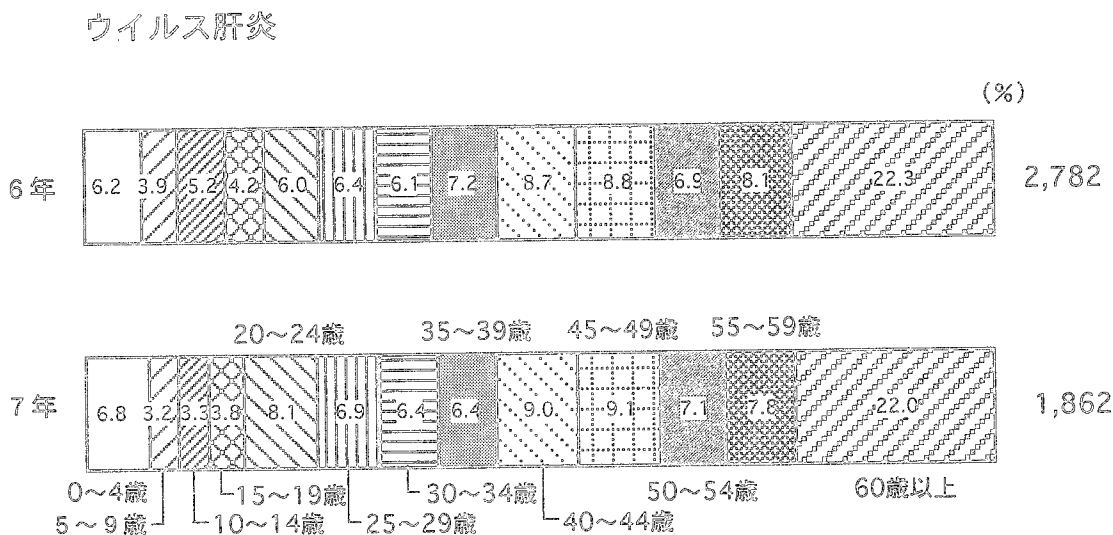
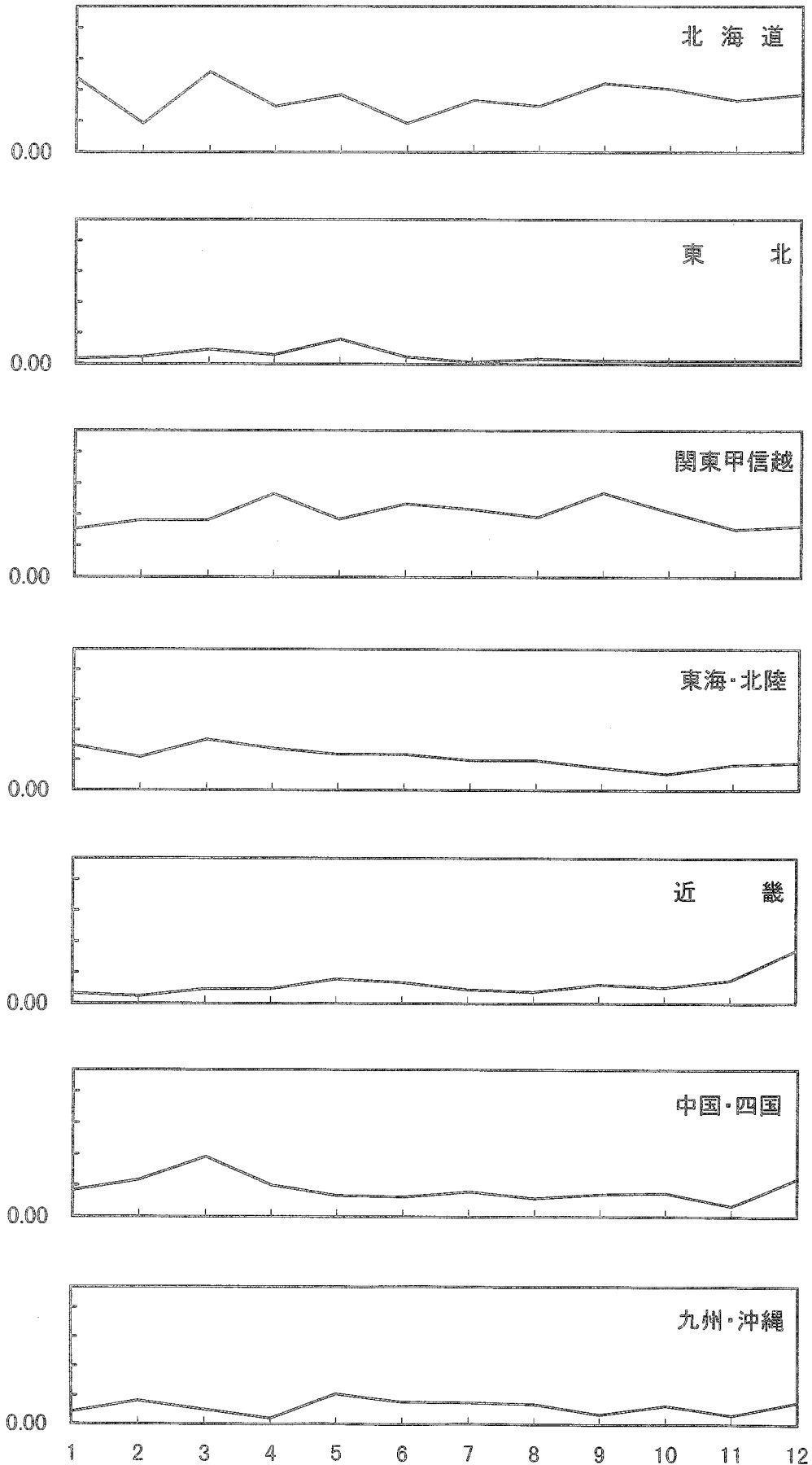


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of viral hepatitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

ウイルス肝炎



MAX=0.86

平成7年

図1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
Incidence of viral hepatitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.

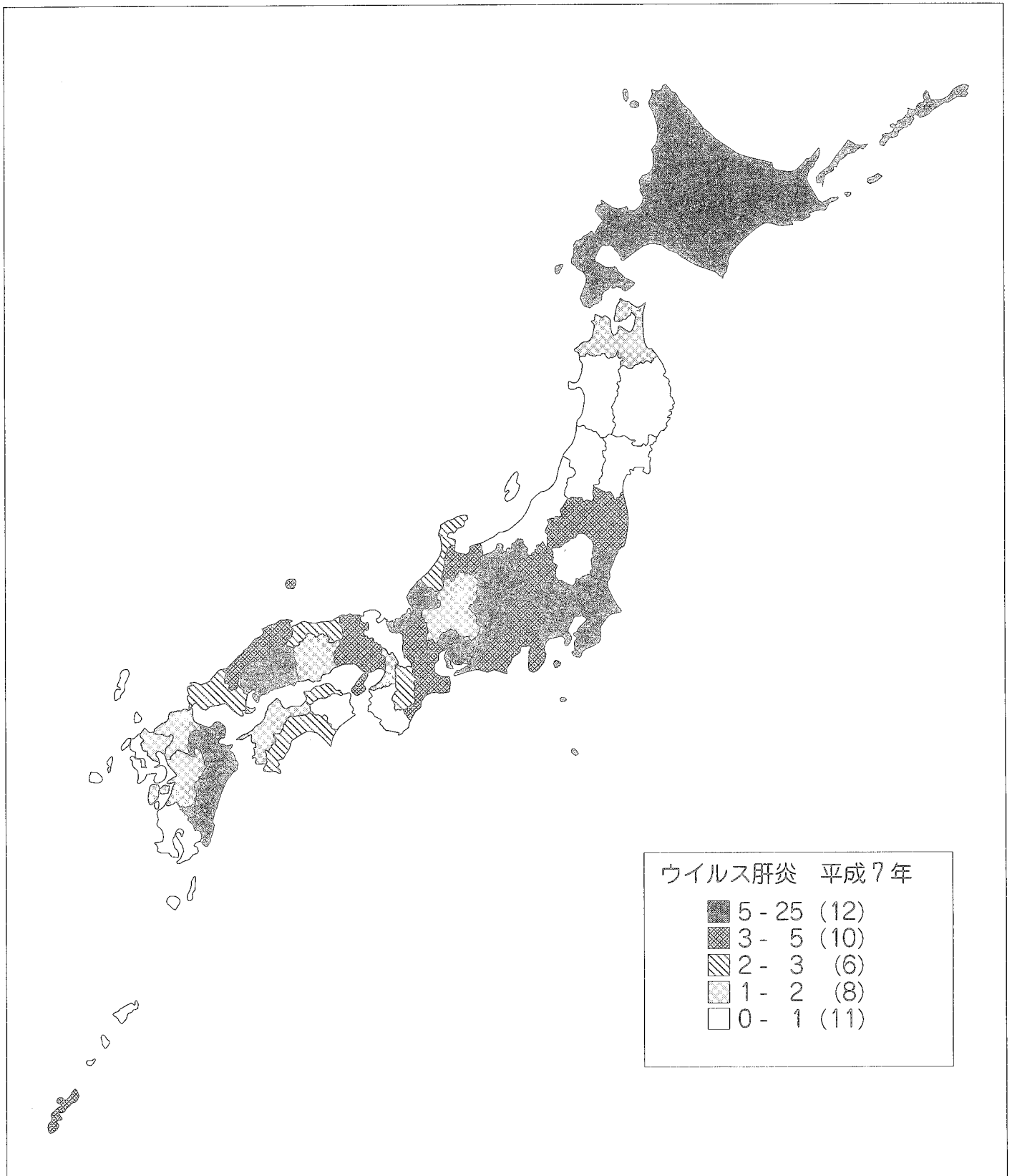


図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis A per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

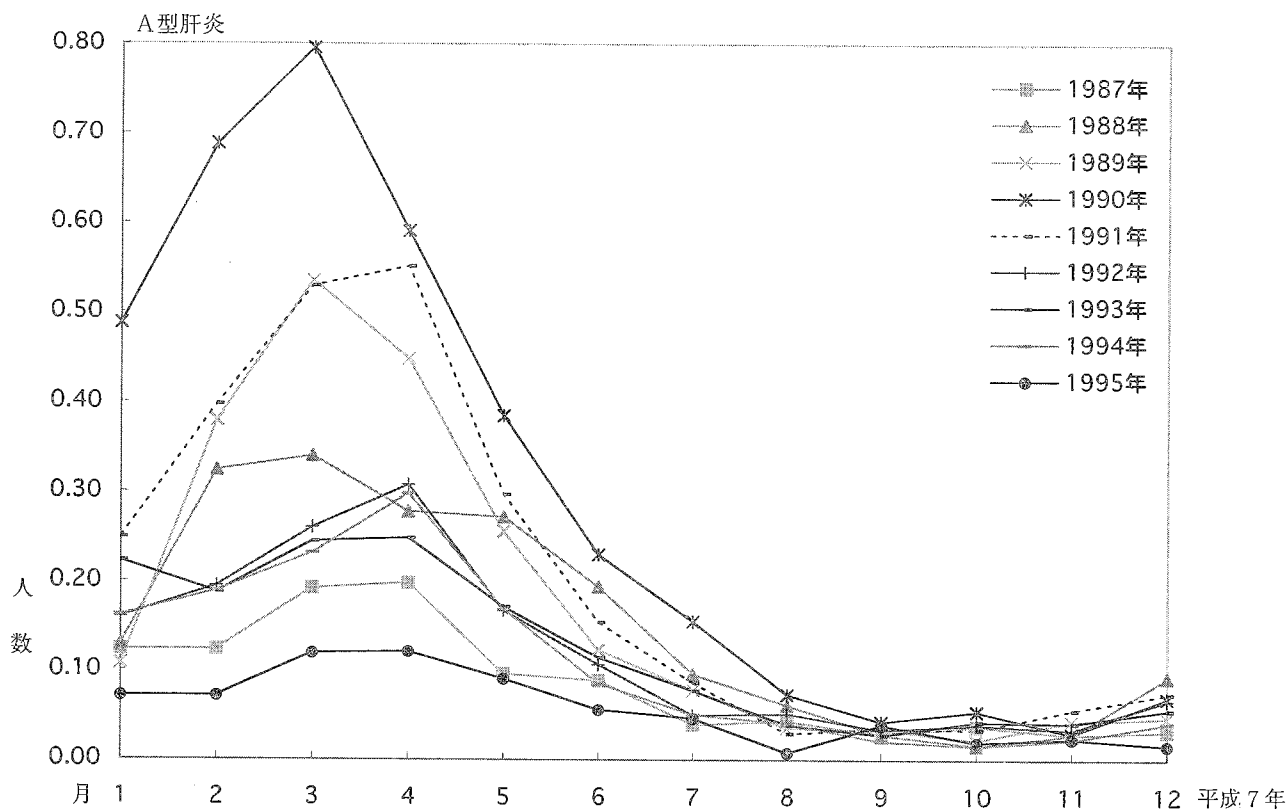


図2-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of hepatitis A, Japan, 1994-1995.

A型肝炎

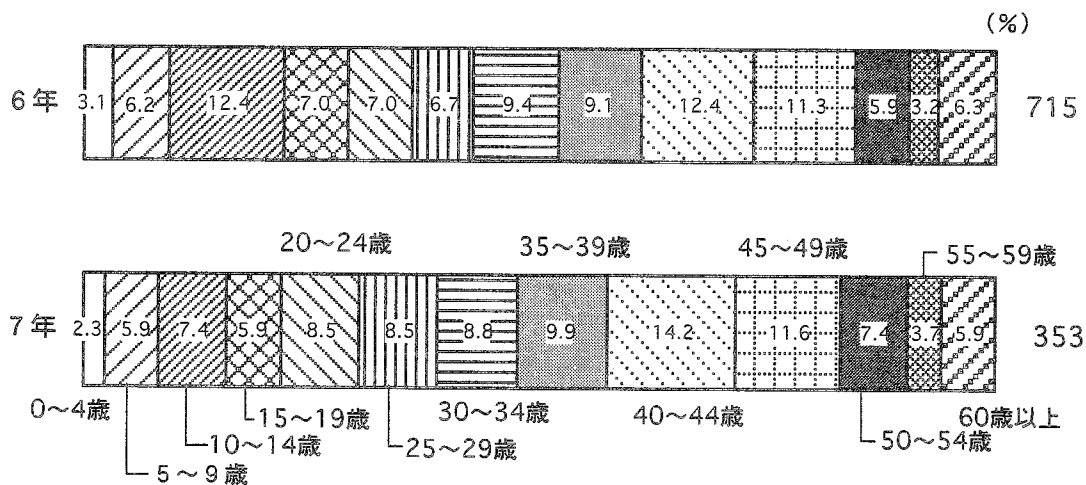
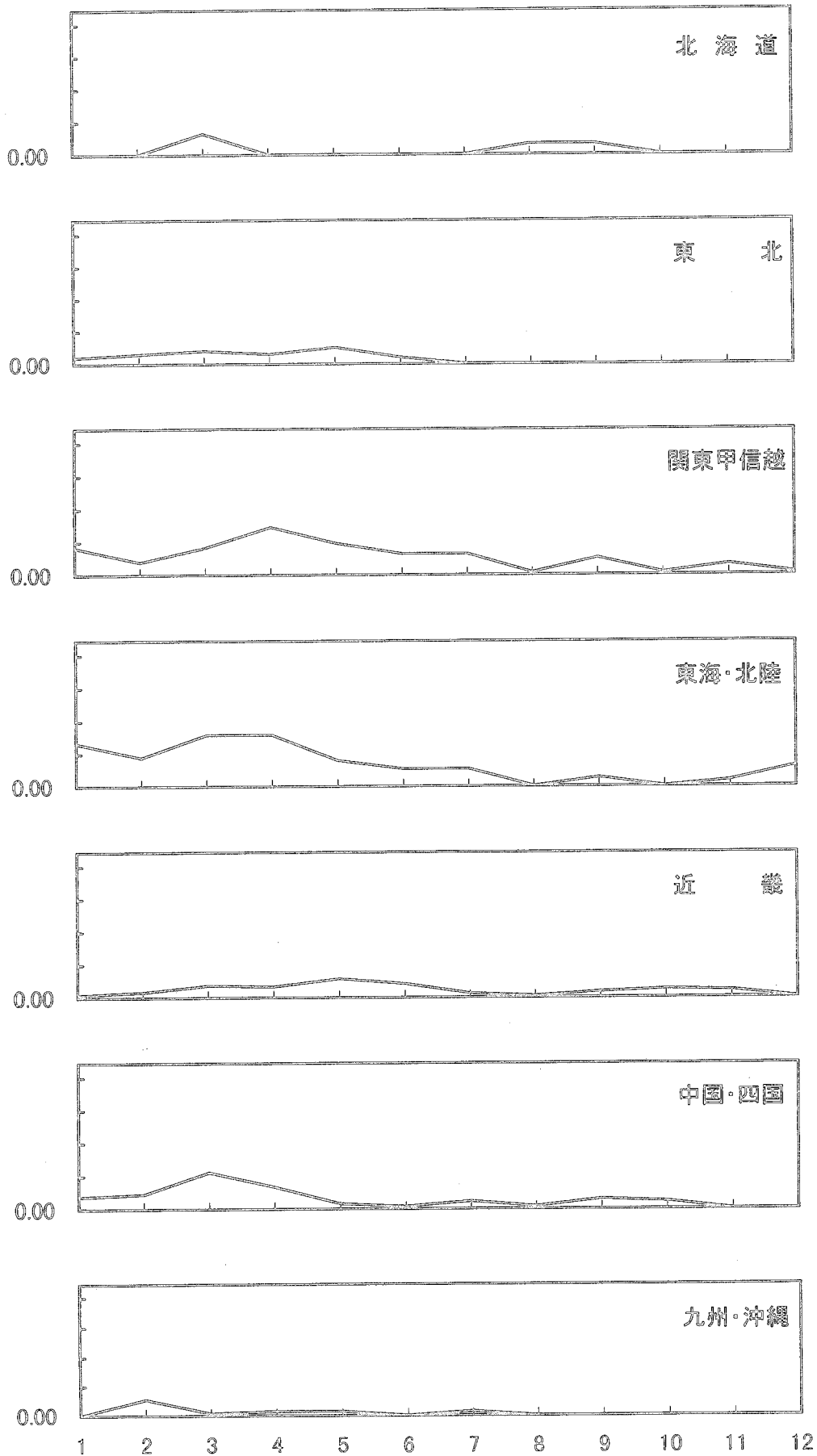


図2-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis A per reporting clinic, by geographical area, 1995.

A型肝炎



MAX=0.29

平成7年

図2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
Incidence of hepatitis A per reporting hospital, by prefecture, 1995.

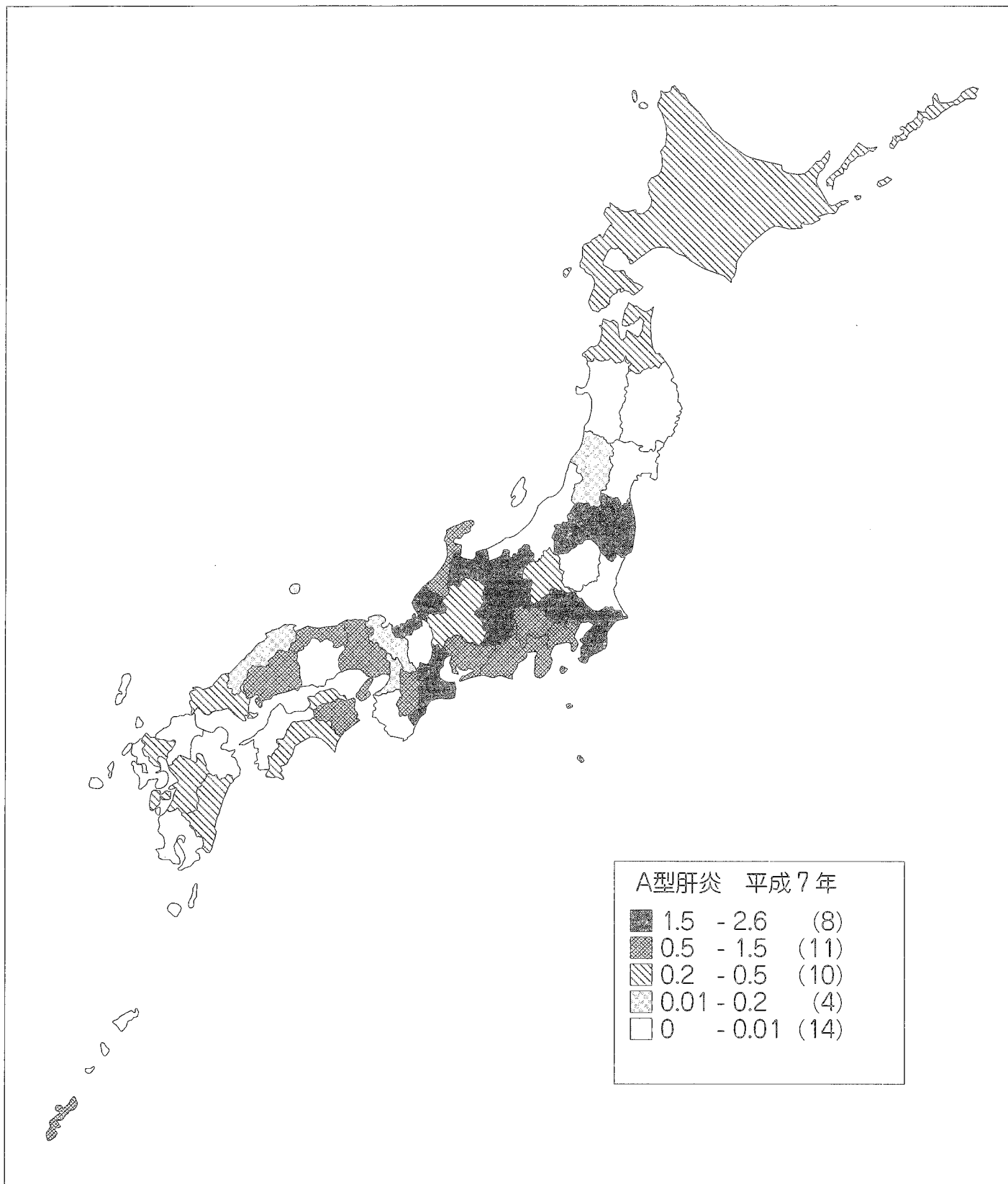


図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis B per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

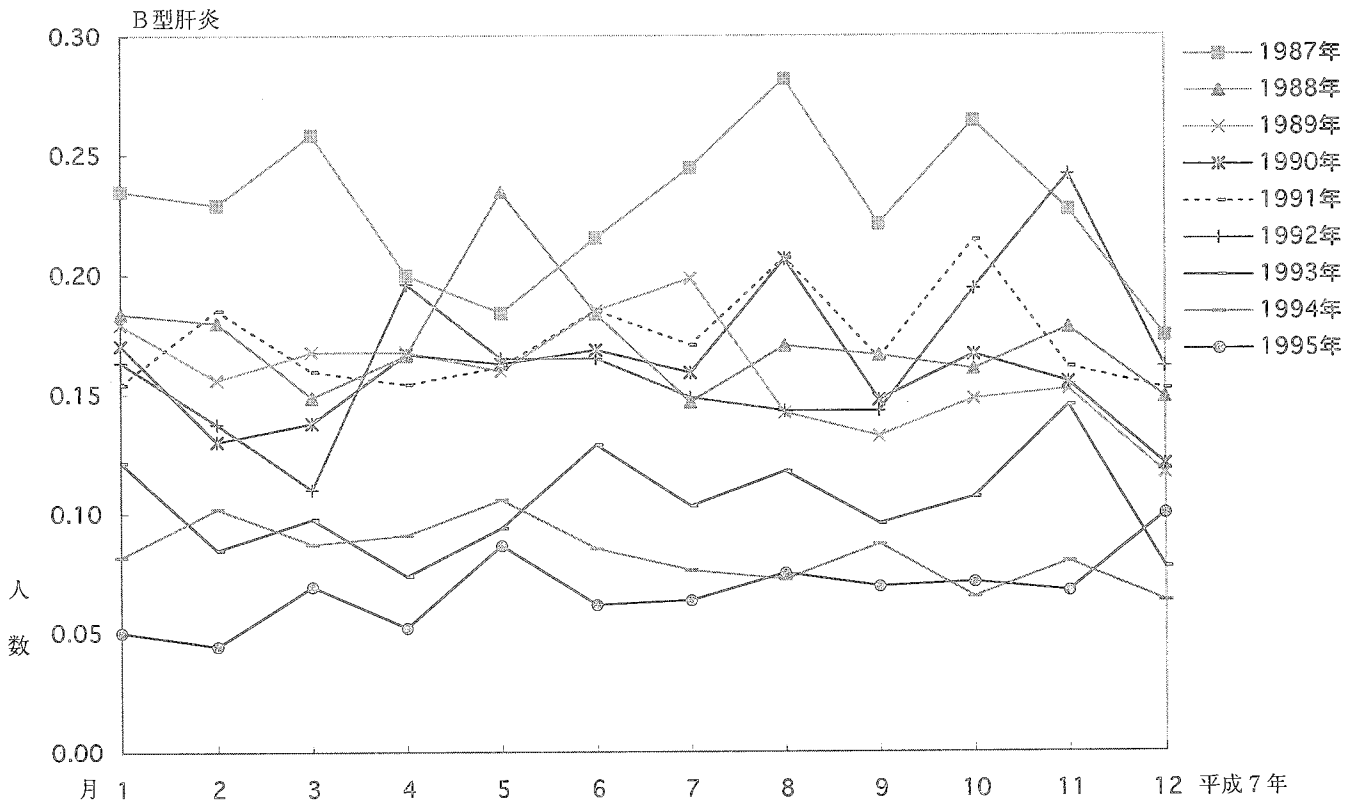


図3-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of hepatitis B, Japan, 1994-1995.

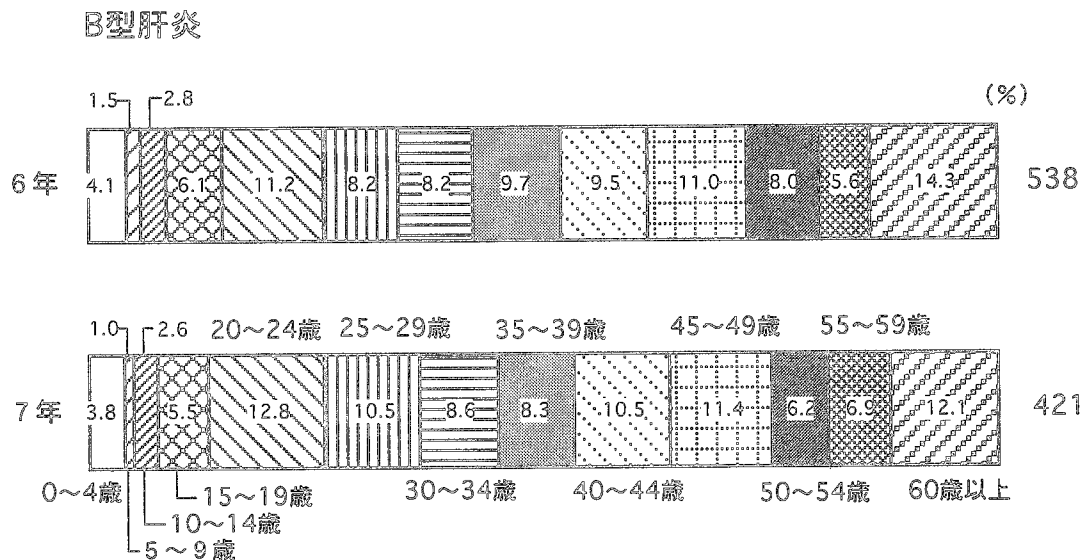


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis B per reporting clinic, by geographical area, 1995.

B型肝炎

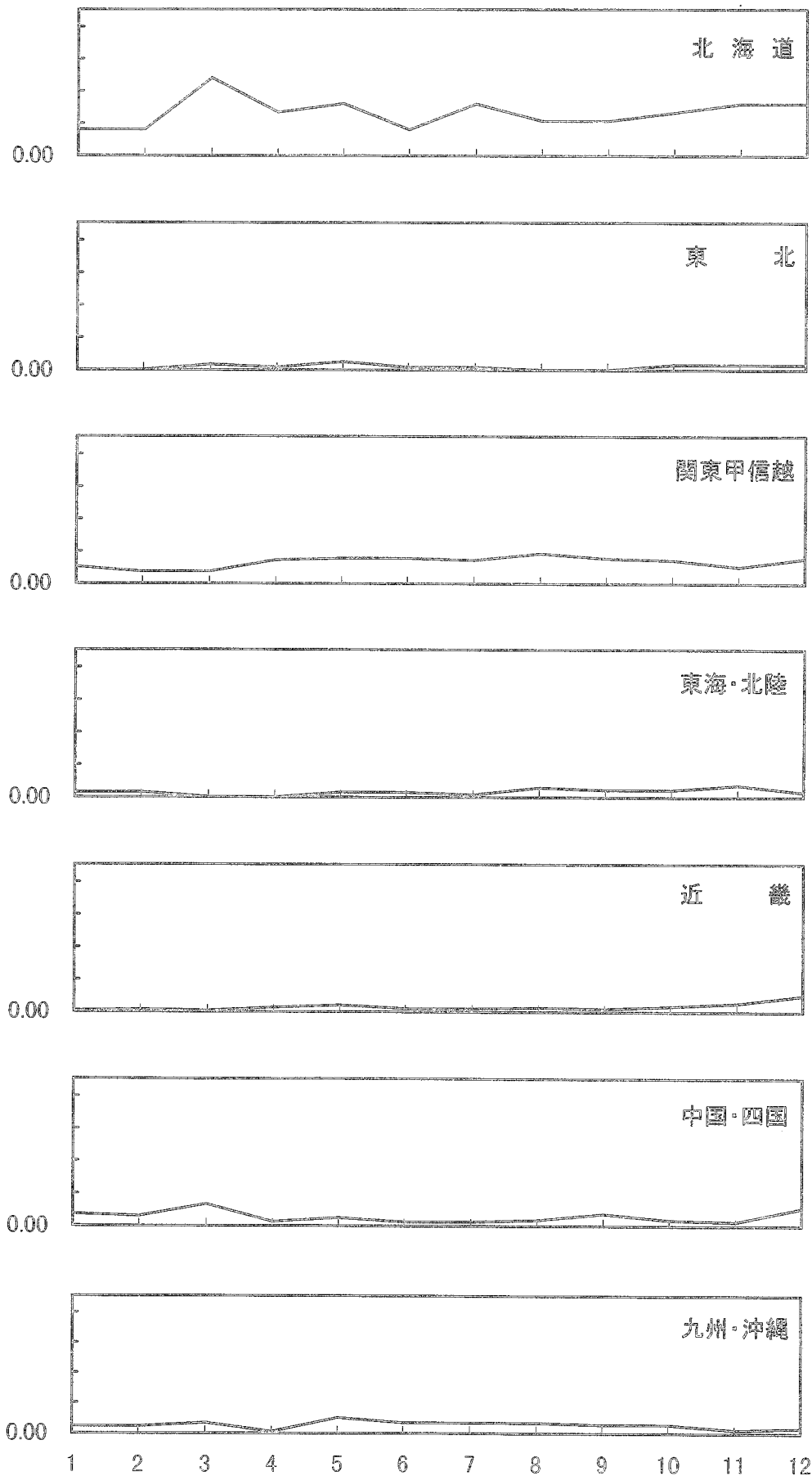


図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of hepatitis B per reporting hospital, by prefecture, 1995.

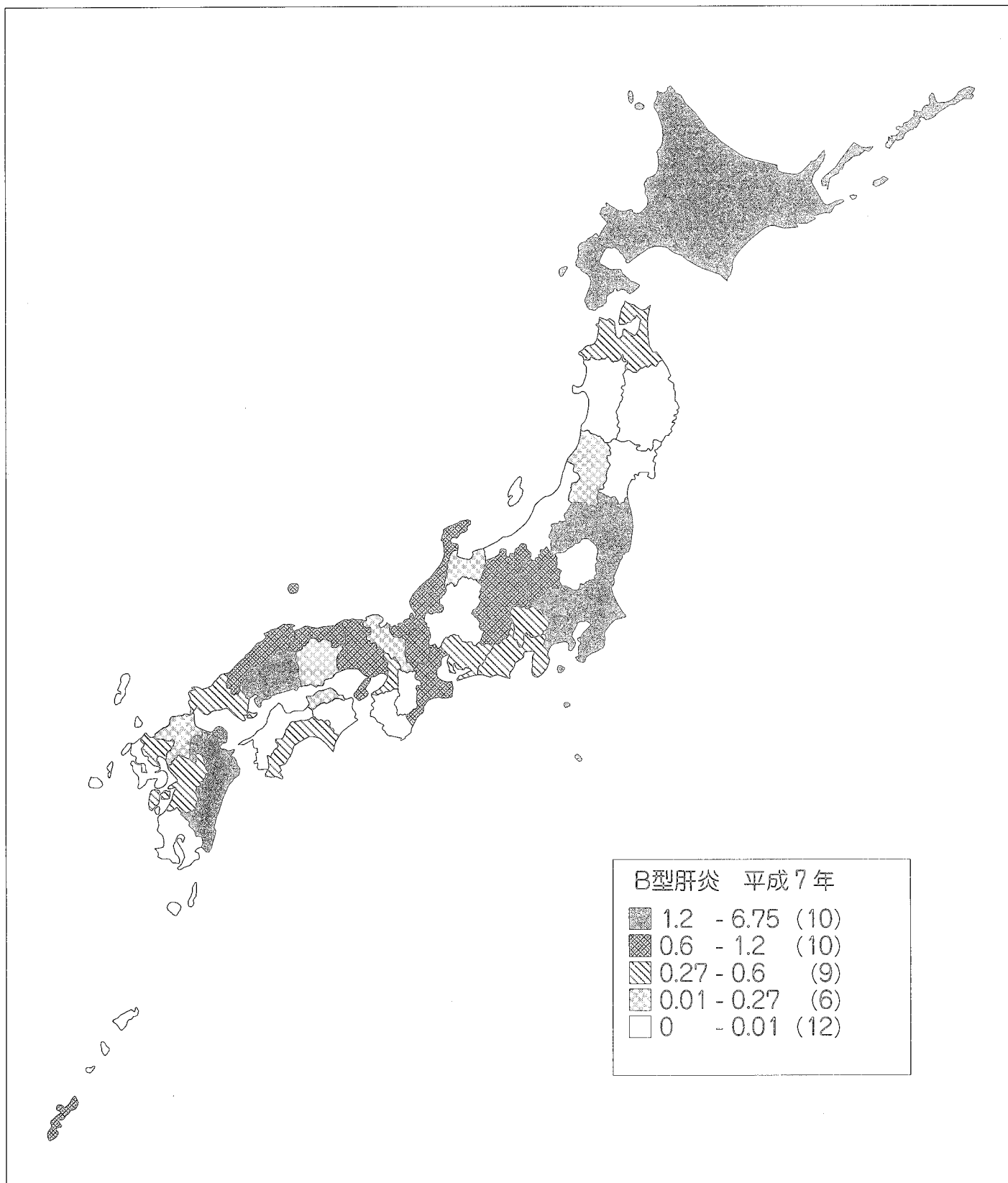


図4-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of non-A, non-B hepatitis per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

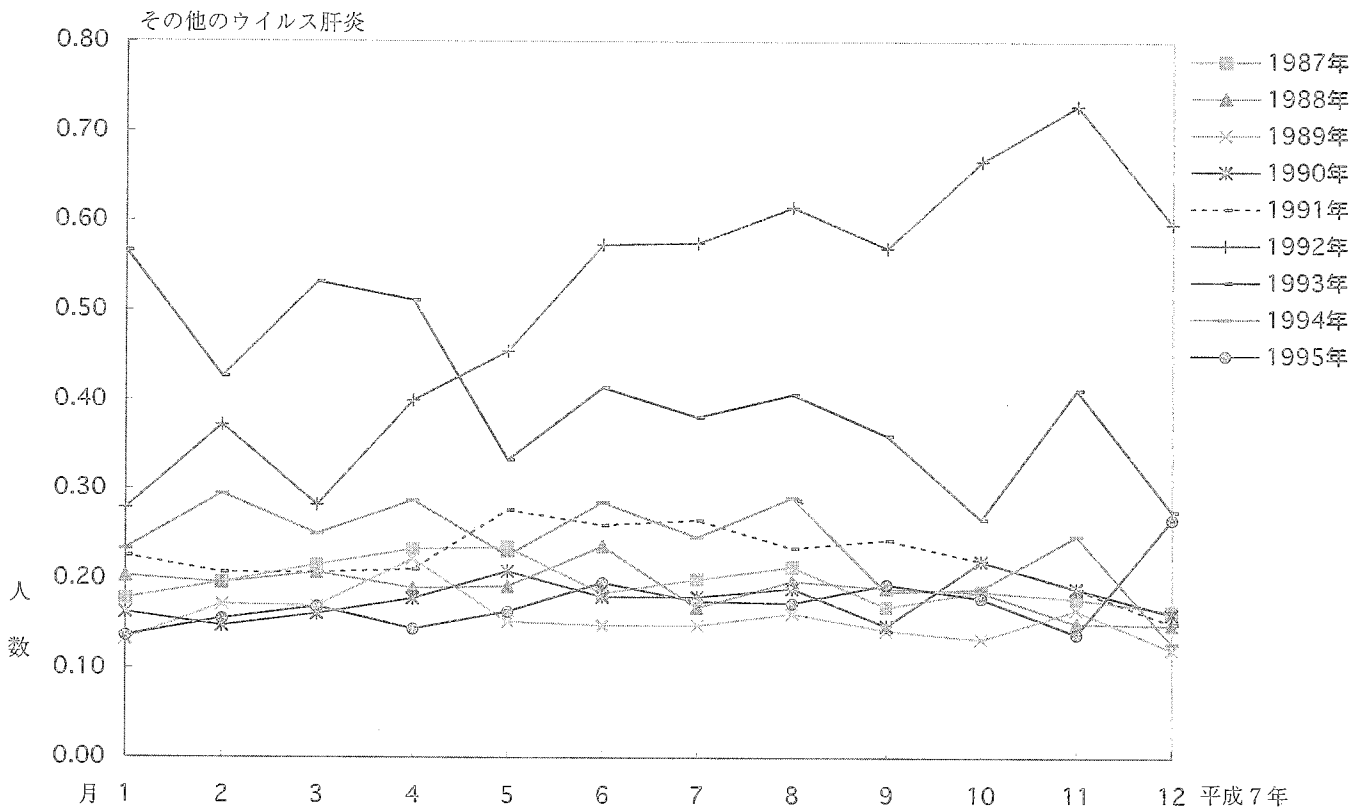


図4-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of non-A, non-B hepatitis, Japan, 1994-1995.

その他のウイルス肝炎

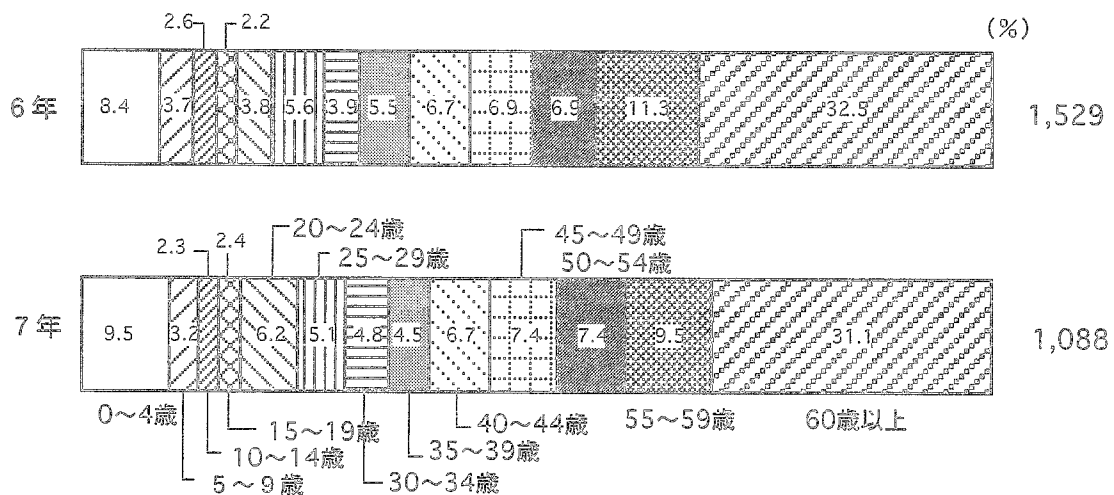
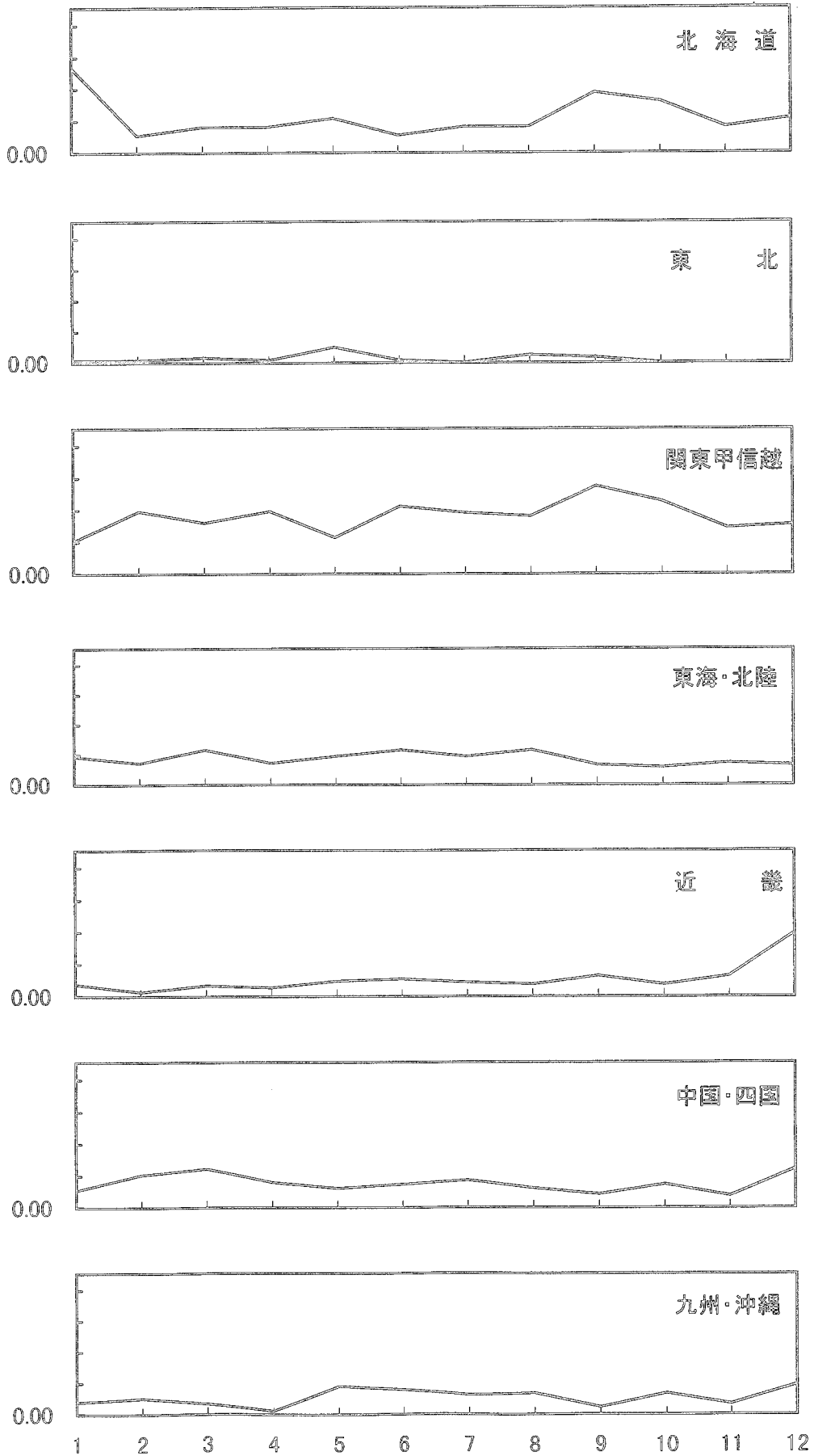


図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of non-A, non-B hepatitis per reporting hospital, by geographical area, 1995.

その他のウイルス肝炎

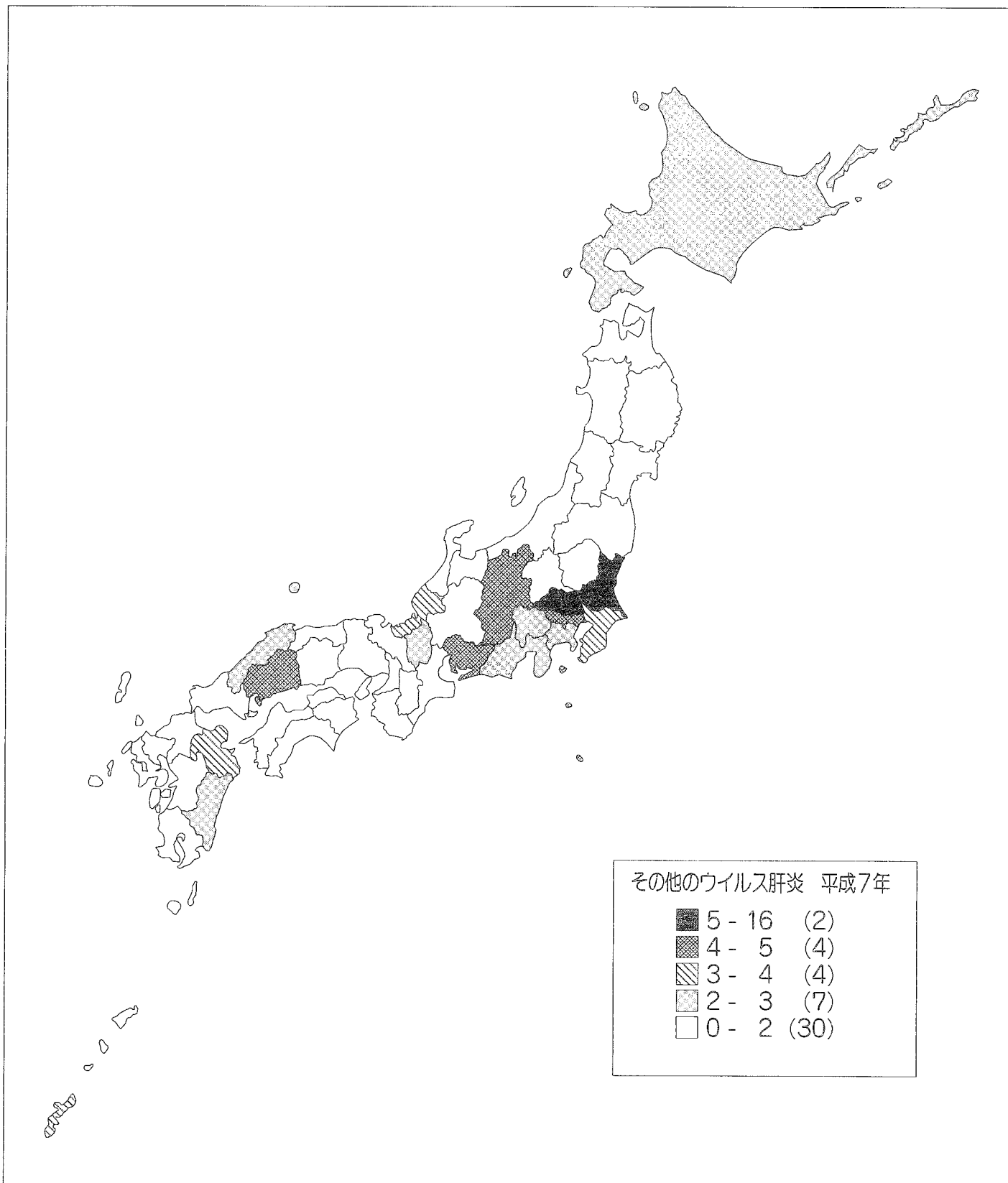


MAX=0.60

平成7年

図4-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of non-A, non-B hepatitis per reporting hospital, by prefecture, 1995.



IV. 性感染症

1. 淋病様疾患

(男性)

1992年に下降をみたあと、1993年、1994年、1995年前半迄は定点あたりの症例数は殆ど変わらなかったが、1995年後半からやや軽度の増加傾向をみせ始めており、今後の推移が注目される。

その傾向は、全国平均より症例数の多い大都市（特に福岡・札幌）においてより顕著になって来ている。

(女性)

男性に比して定点あたりの症例数は少ないが、それなりに男性におけると同様な症例数推移をみせている。ただ、男性に見られた1995年後半の軽度上昇傾向は認められていない。

また症例数の多い大都市でも1995年後半に増加する傾向はなかった。

2. 陰部クラミジア感染症

(男性)

1992年には淋病様疾患ほど顕著ではないにしろ下降傾向を示し、その後1993年から1995年まで同じ症例数レベルを維持している。

ただ、症例数の多い大部分（特に福岡・札幌）では全国平均にみられた1992年の下降もなく、高いレベルでの症例数を維持している。

(女性)

男性にみられた1992年の下降減少は女性では認められず、ただそれまで症例数漸増傾向が止まったという程度の増加抑制が示されている。そして、その後は1993年から1995年までその症例数レベルを維持している。

大都市は札幌を除いて全国平均に比してやはり高いレベルを維持している所が多い。

3. 陰部ヘルペス

(男性)

1988年以来殆ど症例数の変動なし。

(女性)

1988年以来、極めて僅かずつではあるが、やや増加傾向にある。

4. 尖圭コンジローム

(男性)

1992年の下降後も毎年症例数の漸減傾向が続いている。

(女性)

症例数が少ないこともあり、1988年以来症例数の減少傾向は殆ど認められていない。

5. トリコモナス症

男女とも年々低下傾向を示し、ことに症例数の多い女性でその傾向は顕著である。

《参考資料》

厚生省HIV疫学研究班のハイリスクグループでのSTD関連抗体の血清疫学調査資料（1995年度分）を参考のために提示する。

STD感染リスクの低い健康男子群、及び既婚妊婦群に比して、男女STD症例群及びcommercial sex worker（女性）においては、*Chlamydia trachomatis*抗体（IgA及びIgG）、*Syphilis*抗体並びに肝炎関連抗体（HBs, HBc, HCV）すべて陽性率が高いことが明らかである。そしてそれら高い陽性率が、性的交渉で感染したと考えられるAIDS症例群（男女とも）でのSTD関連抗体陽性率とほぼ同じレベルであることが示されている。

またタイ・チェンマイでの徴兵軍人群（20才男性）でのHIV抗体陽性群での所見とも類似した陽性率となっている。

これらの資料はHIV感染が各種STDが感染する“場”と同じ“場”で伝播していることを示唆しているものと考えられる。それは取りも直さず今後のHIV感染予防対策としてSTD予防対策が極めて重要な意味を持つことを明らかにしていると言えよう。

図1 全国淋病様疾患に対する性感染症発生比率

Ratio of sexually transmitted disease cases to gonorrhoea cases, Japan, 1995.

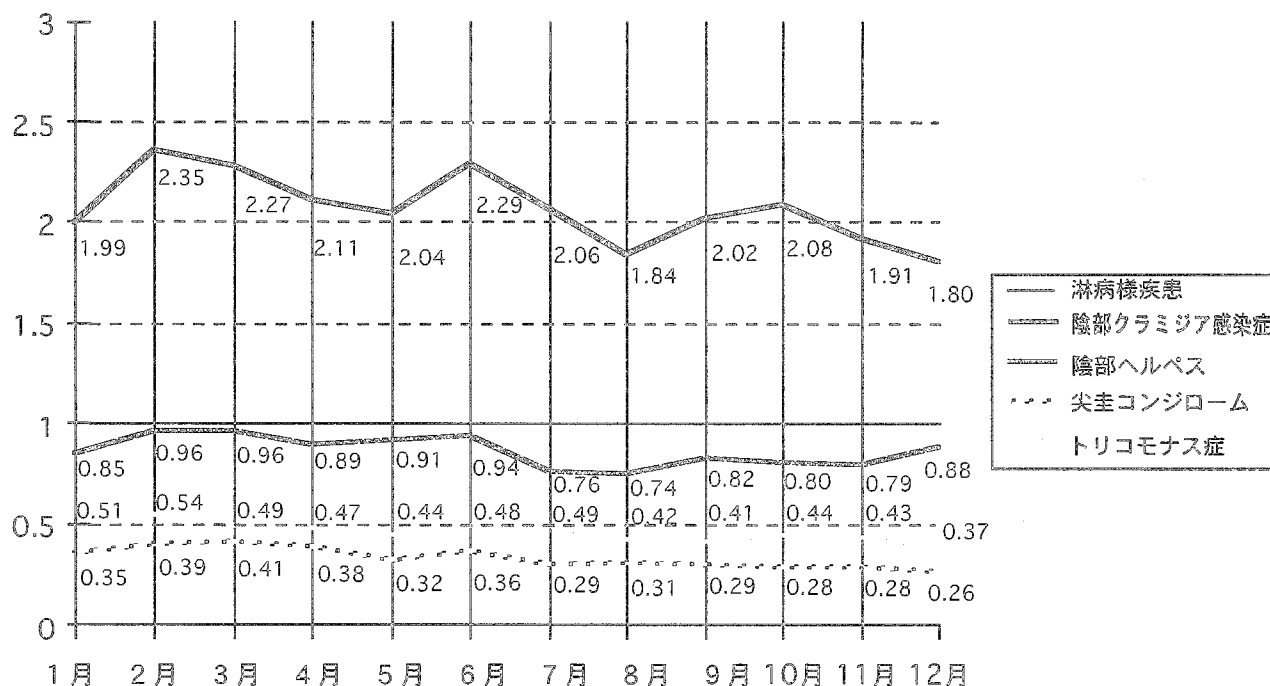
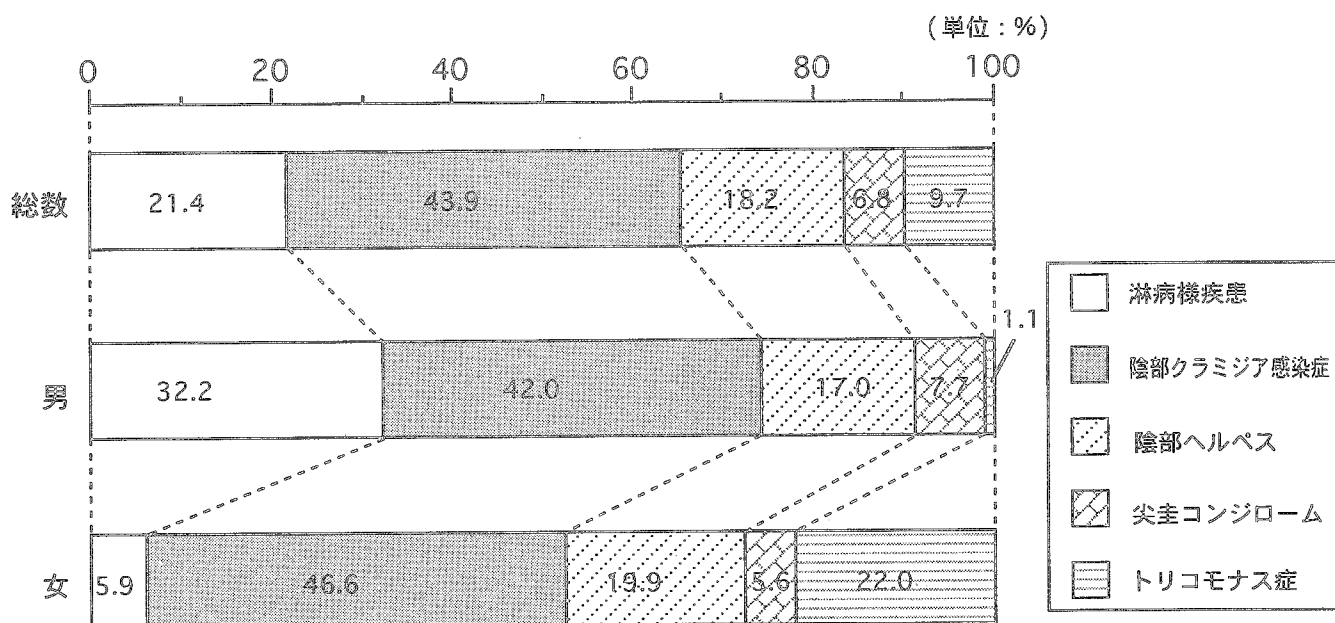


図2 平成7年、全国性別疾患発生割合

Proportion of reported cases of sexually transmitted disease, Japan, 1995.



	総数	男	女
淋病様疾患	6,720	5,953	767
陰部クラミジア感染症	13,771	7,762	6,009
陰部ヘルペス	5,715	3,152	2,563
尖圭コンジローム	2,147	1,421	726
トリコモナス症	3,041	207	2,834

図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of gonorrhoea per reporting clinic, Japan, 1987-1995.

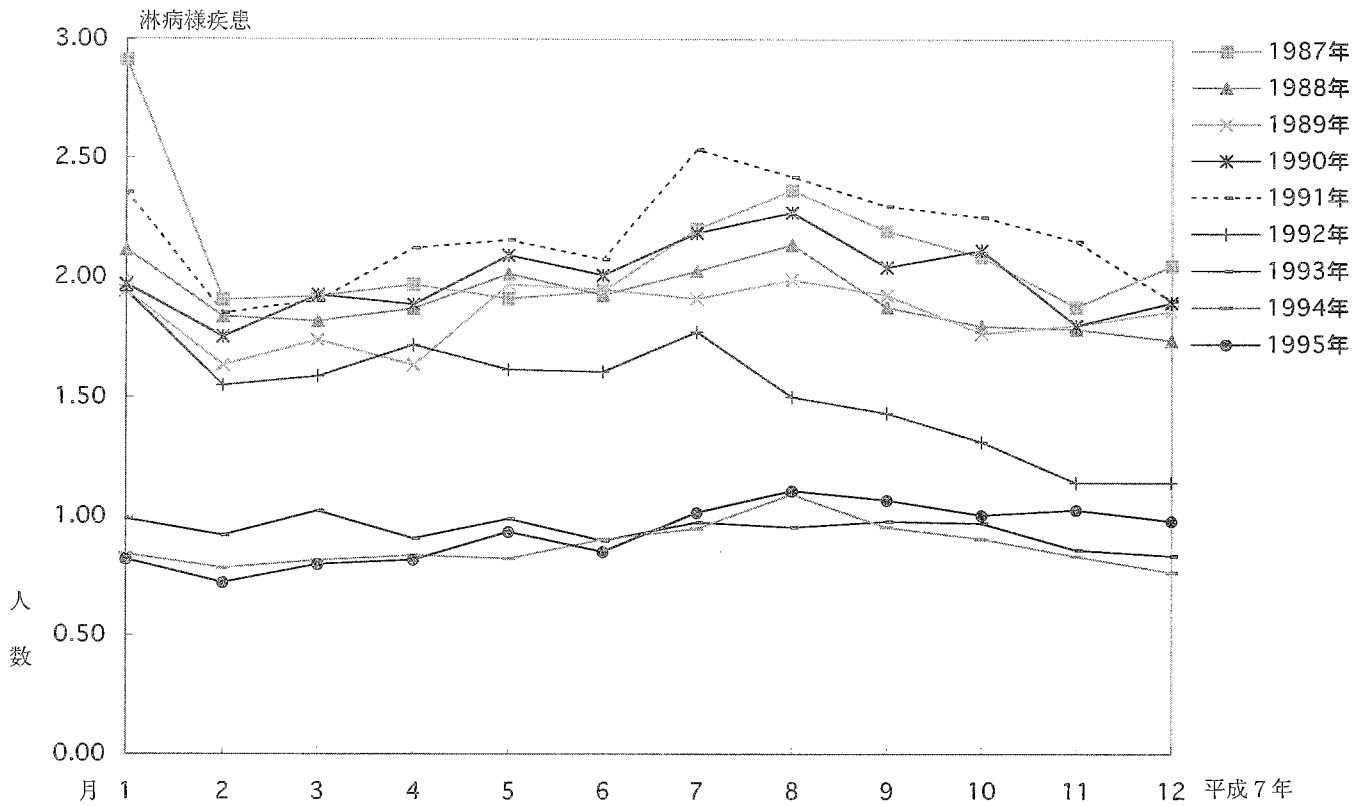


図3-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of gonorrhoea, Japan, 1994-1995.

淋病様疾患

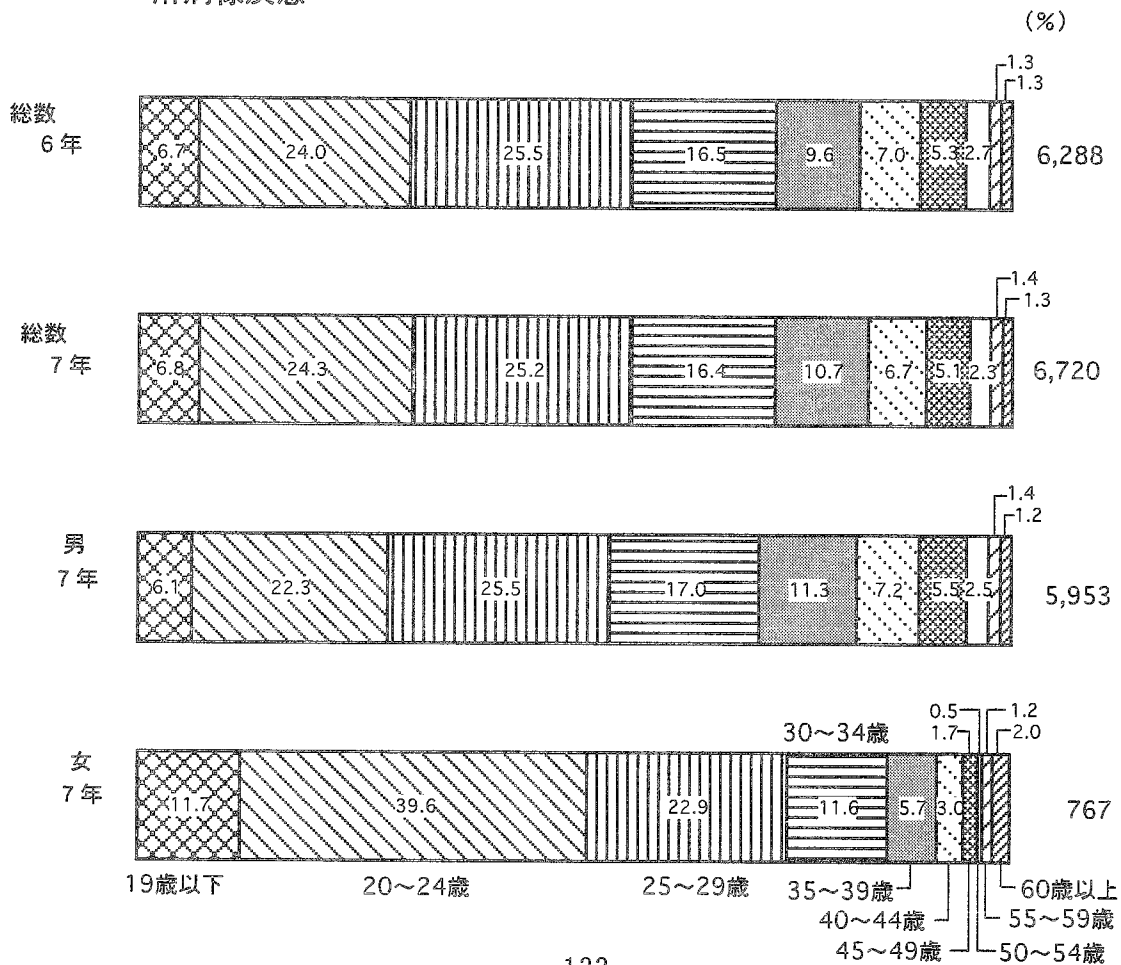
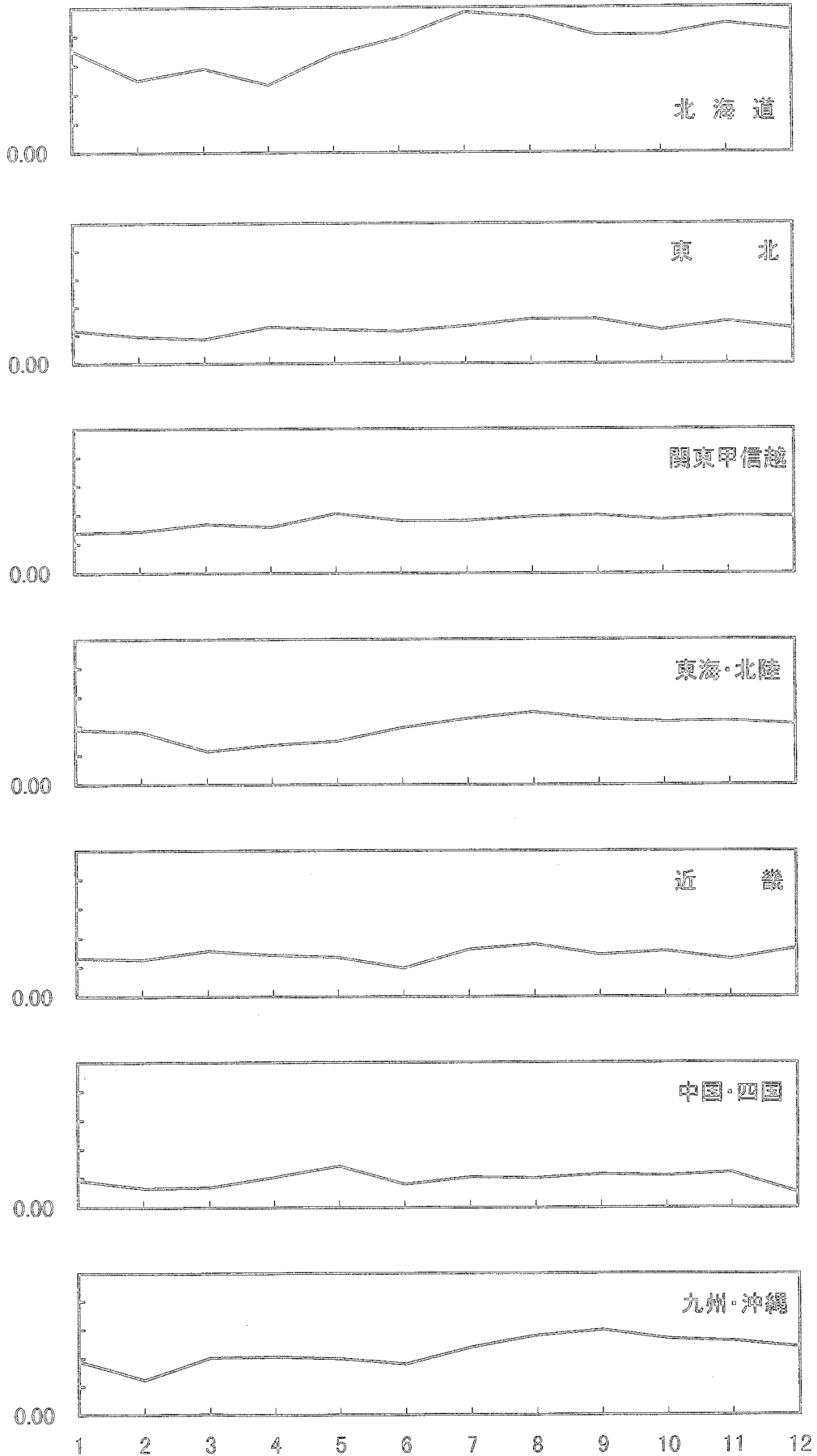


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of gonorrhoea per reporting clinic, by geographical area, 1995.

淋病様疾患



MAX=2.61

平成7年

図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
Incidence of gonorrhoea per reporting clinic, by prefecture, 1995.

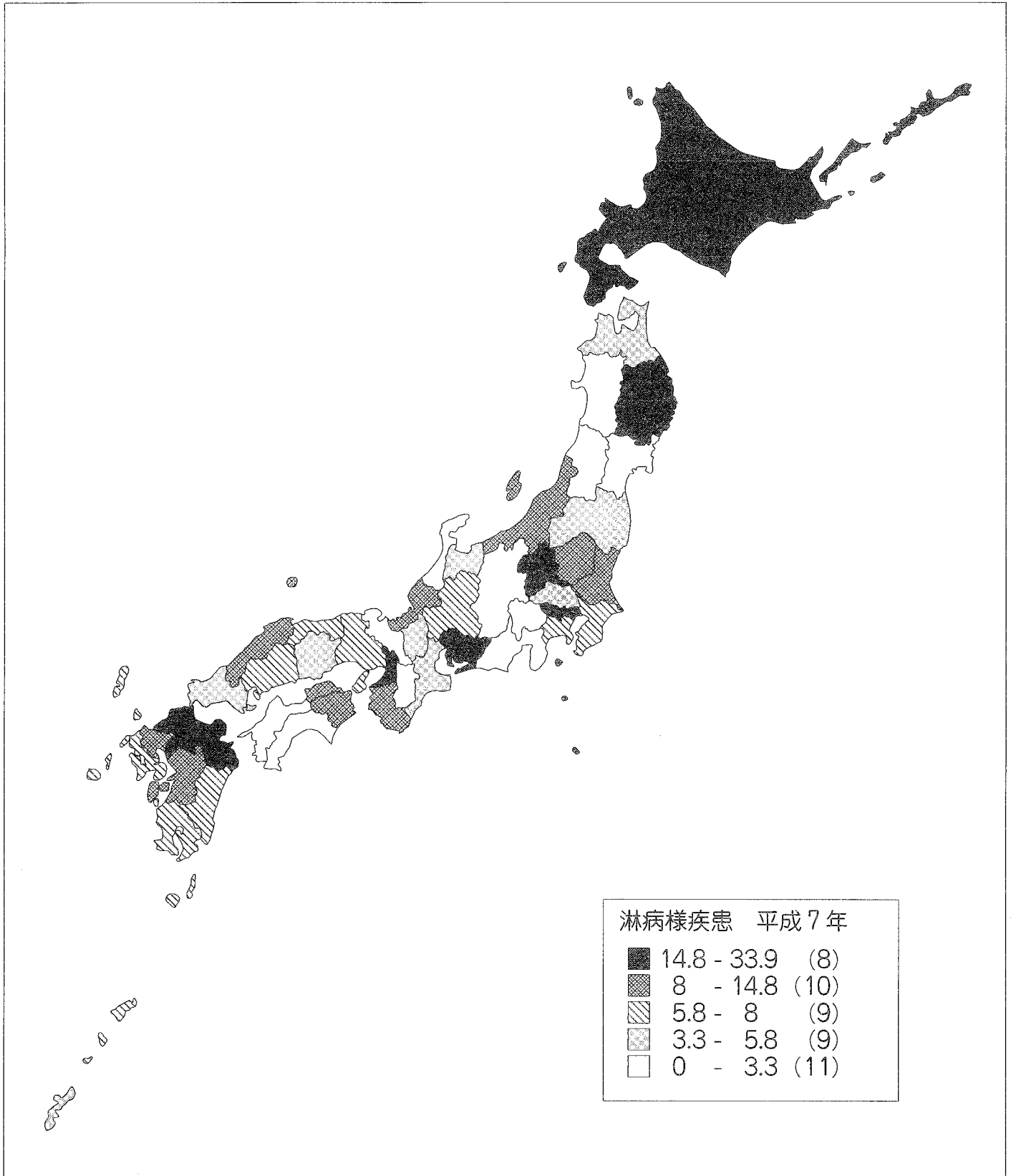


図4-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital chlamydial infection per reporting clinic, Japan, 1987-1995.

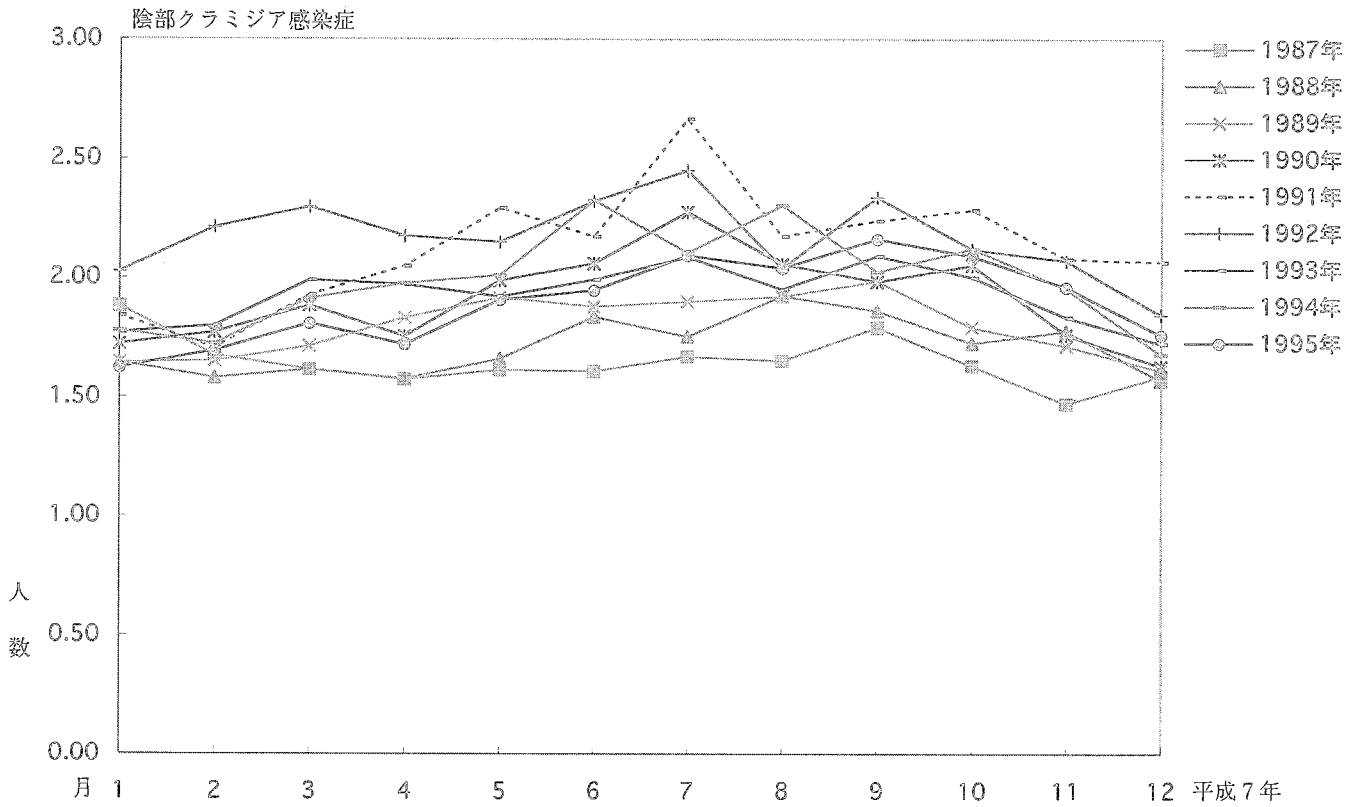


図4-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of genital chlamydial infection, Japan, 1994-1995.

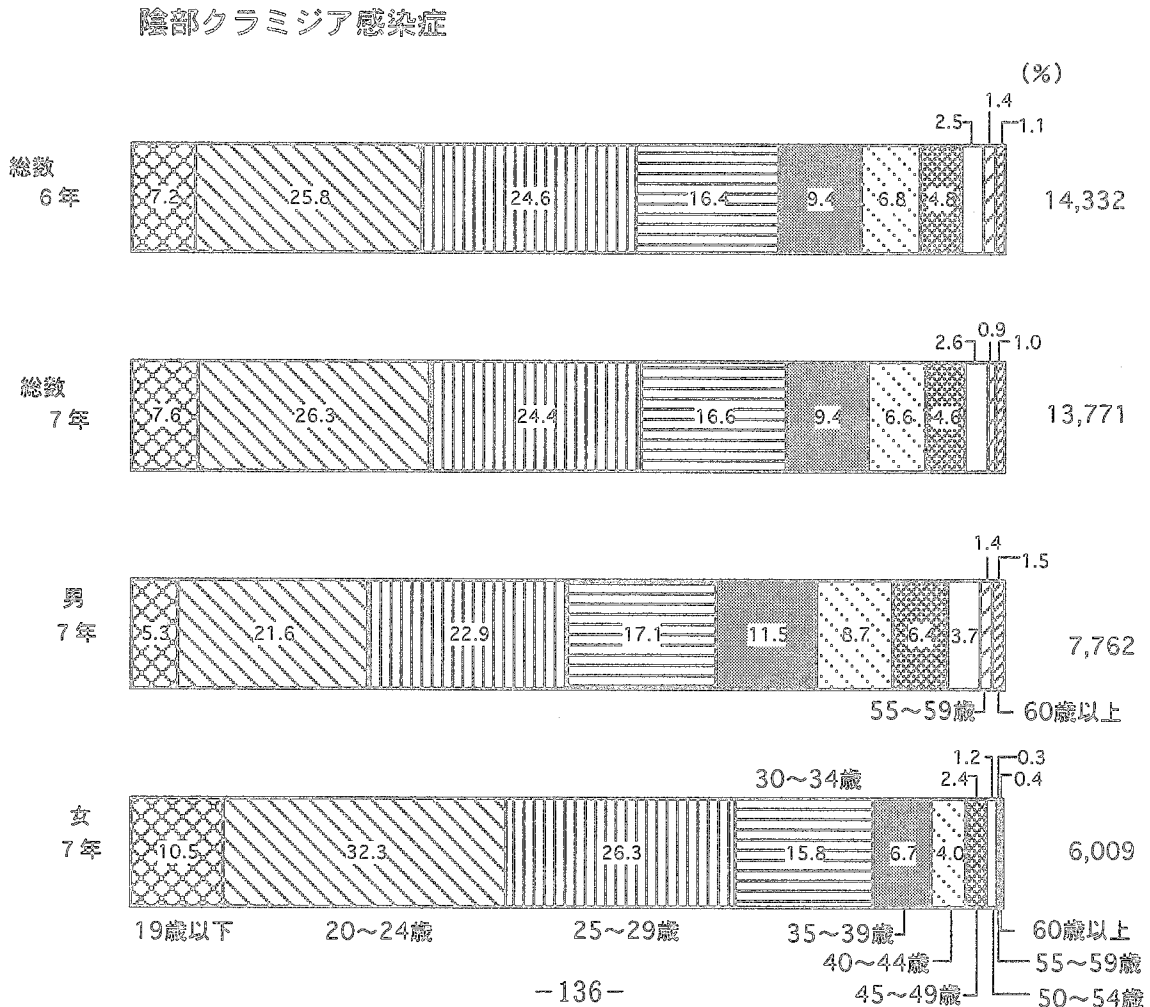
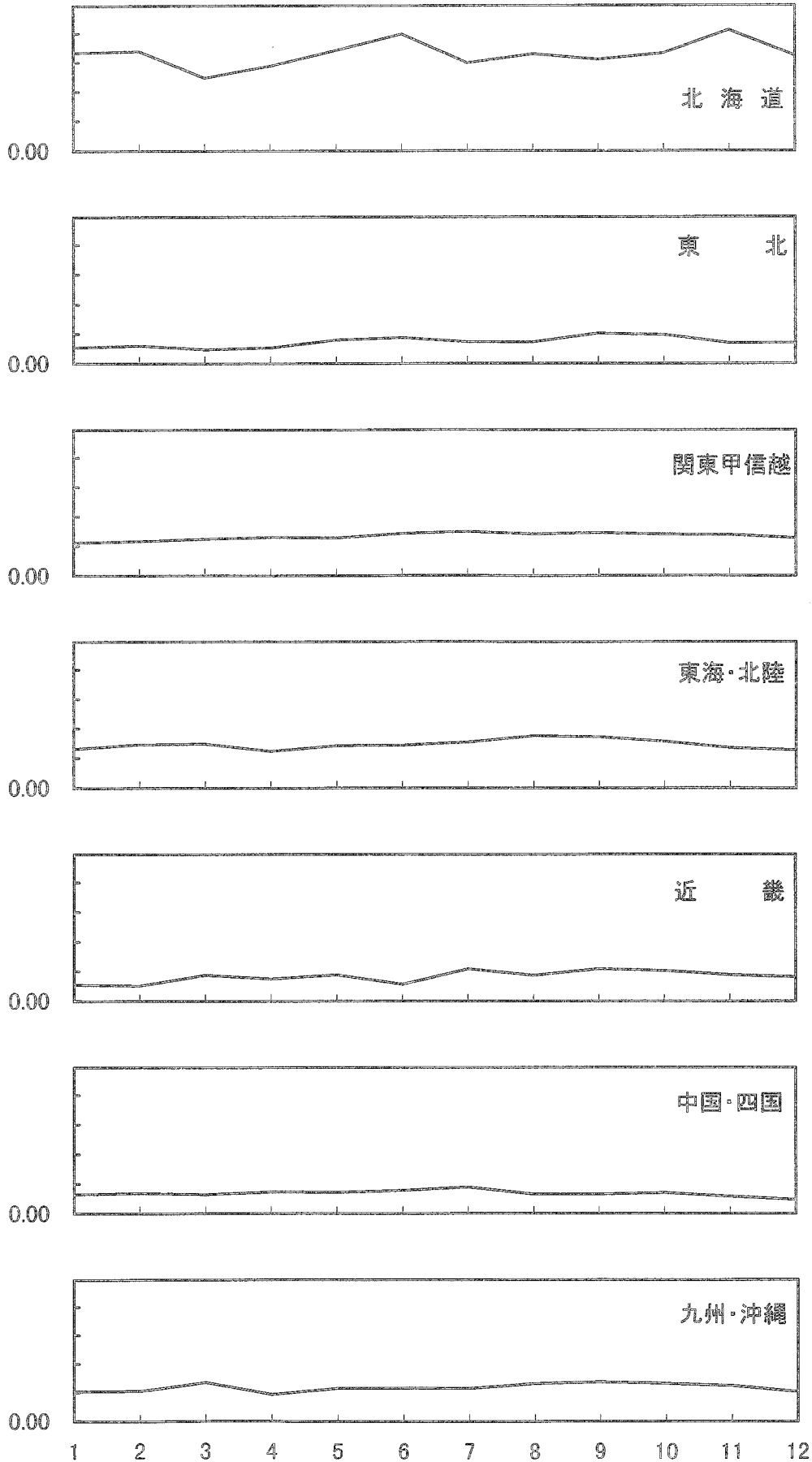


図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital chlamydial infection per reporting clinic, by geographical area, 1995.

陰部クラミジア感染症



MAX=6.65

平成7年

図4-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of genital chlamydial infection per reporting clinic, by prefecture, 1995.

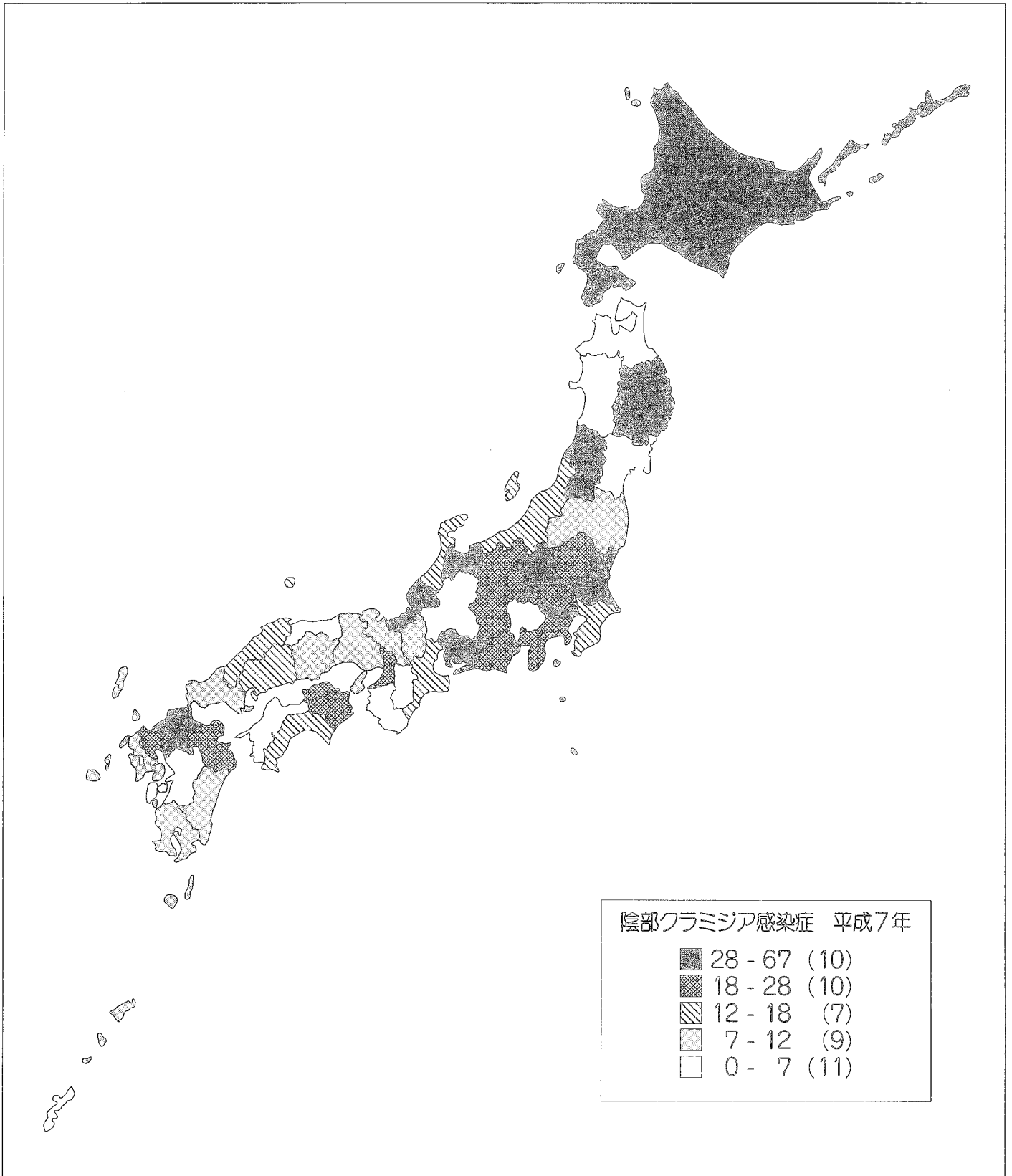
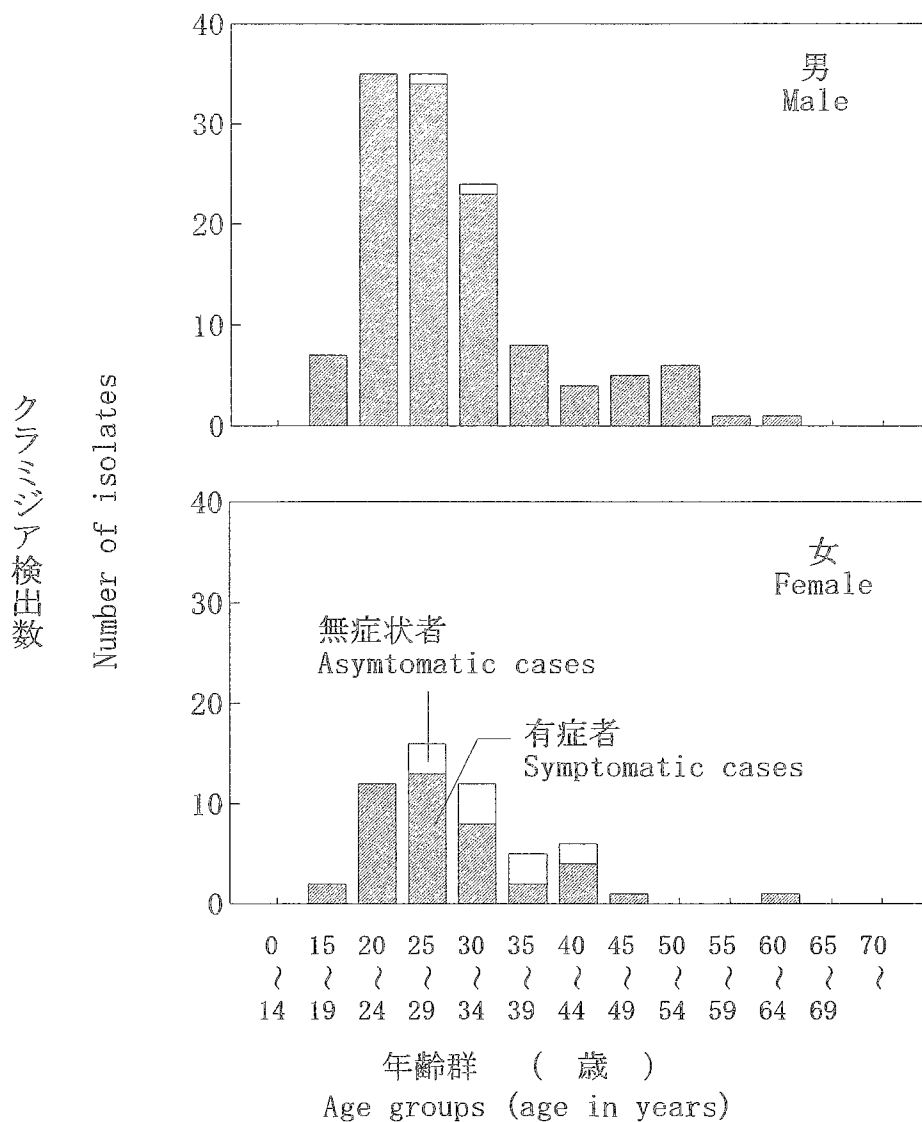


図4-5 泌尿生殖器由来の性別年齢別クラミジア検出状況、1995年

Detection of chlamydiae from genitourinary sources, by age and sex of cases, Japan, 1995.



注) 検体が泌尿生殖器由来の例を集計した
年齢不詳を除く
Chlamydia isolation from genitourinary sources
Excluding cases of unknown ages

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

図5-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital herpes per reporting clinic, Japan, 1987-1995.

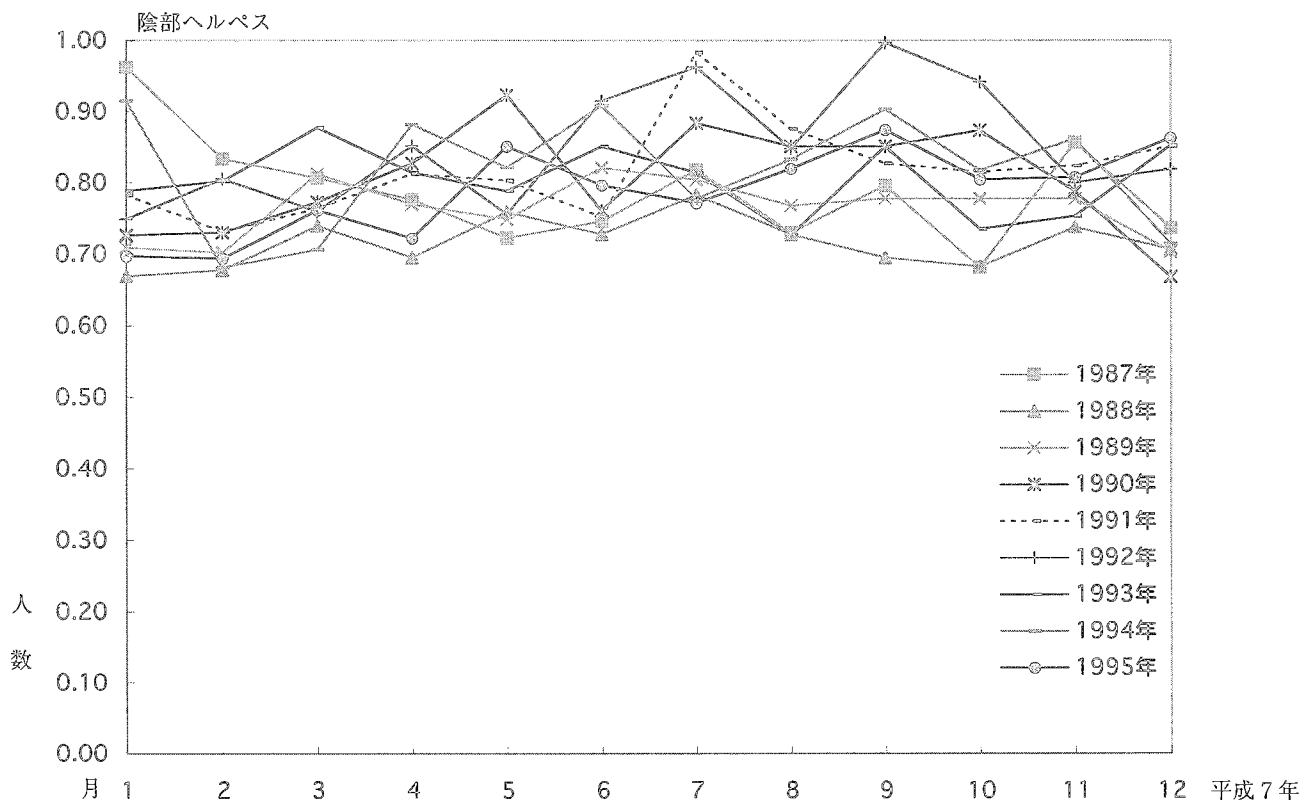


図5-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of genital herpes, Japan, 1994-1995.

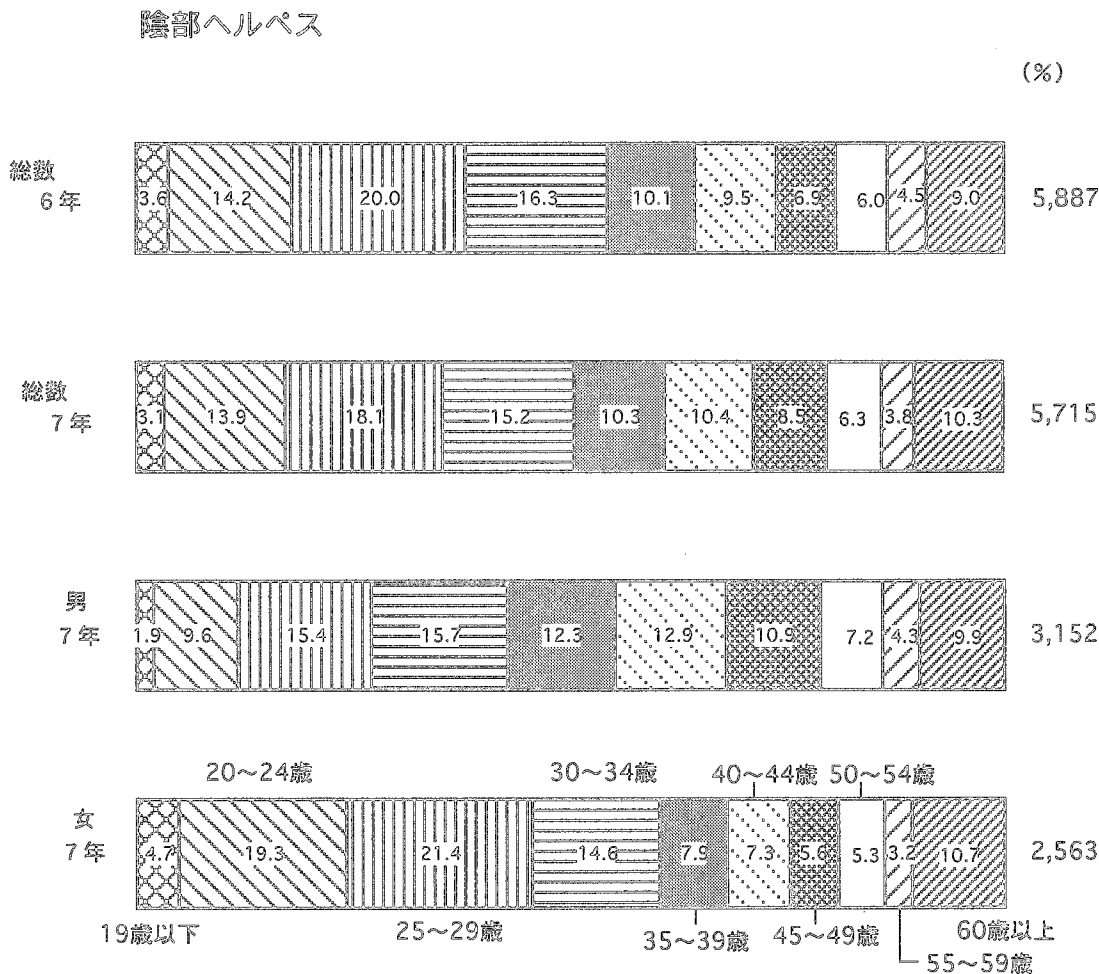
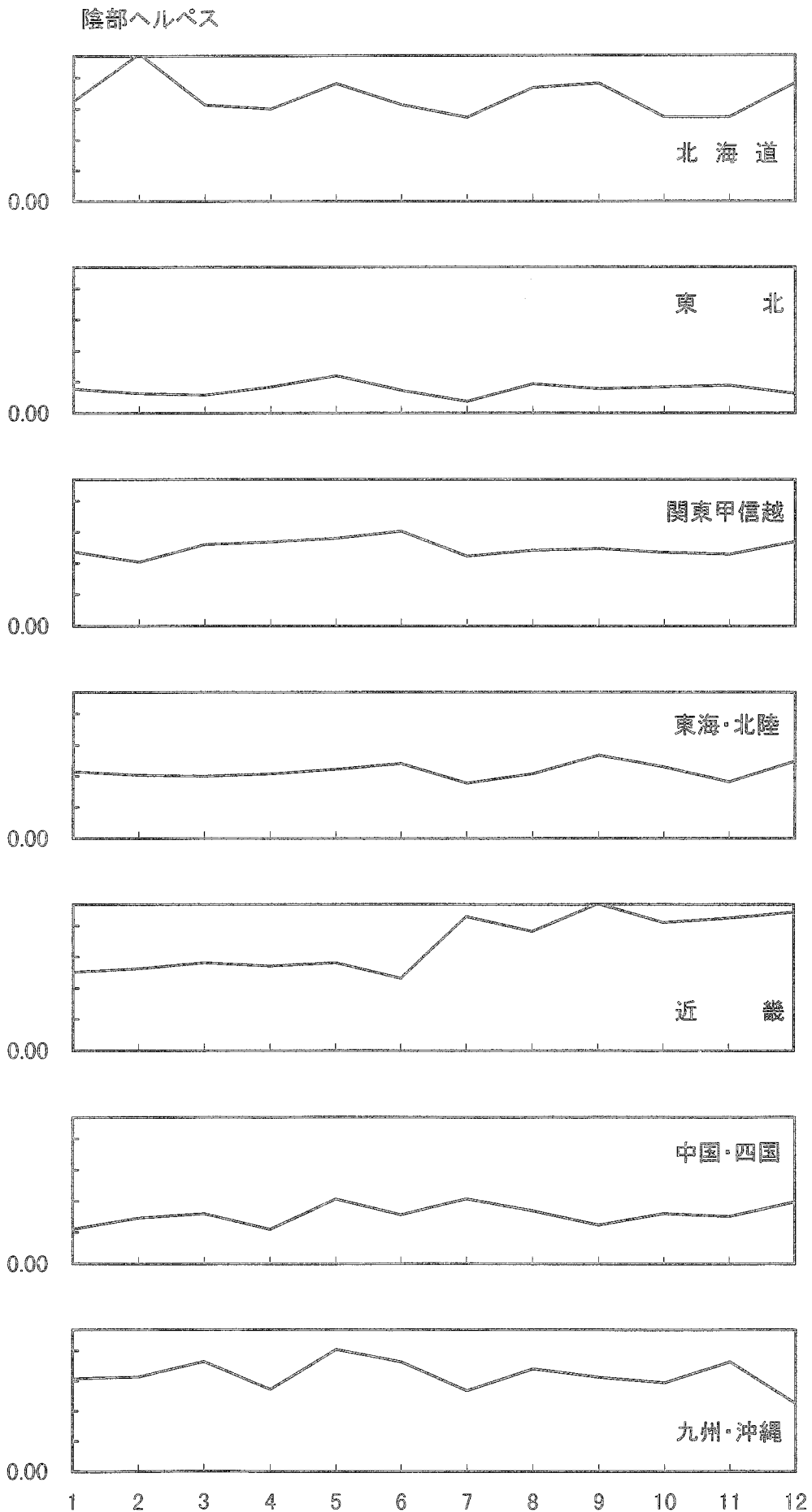


図5-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital herpes per reporting clinic, by geographical area, 1995.



MAX=1.52

平成7年

図5-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of genital herpes per reporting clinic, by prefecture, 1995.

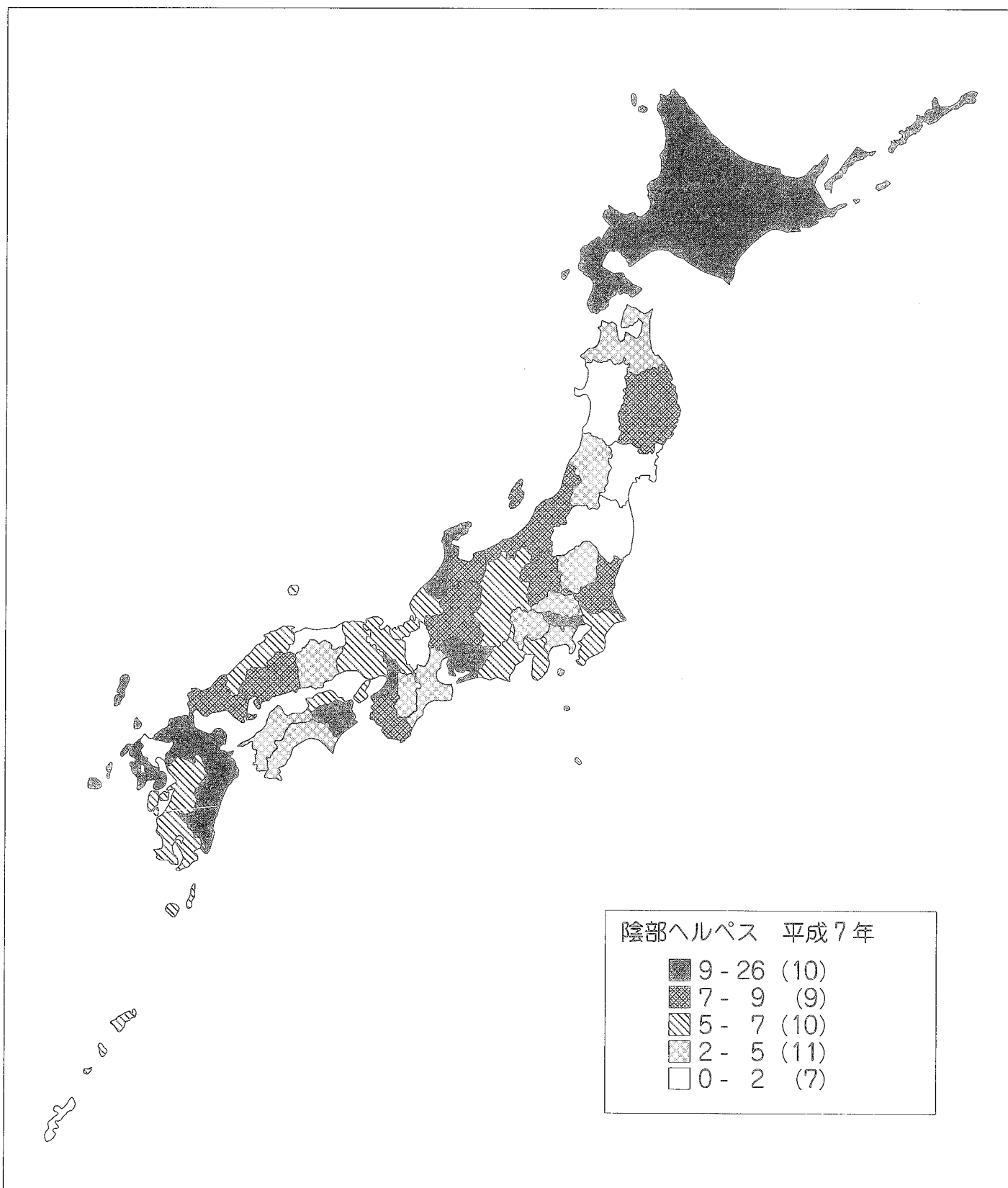
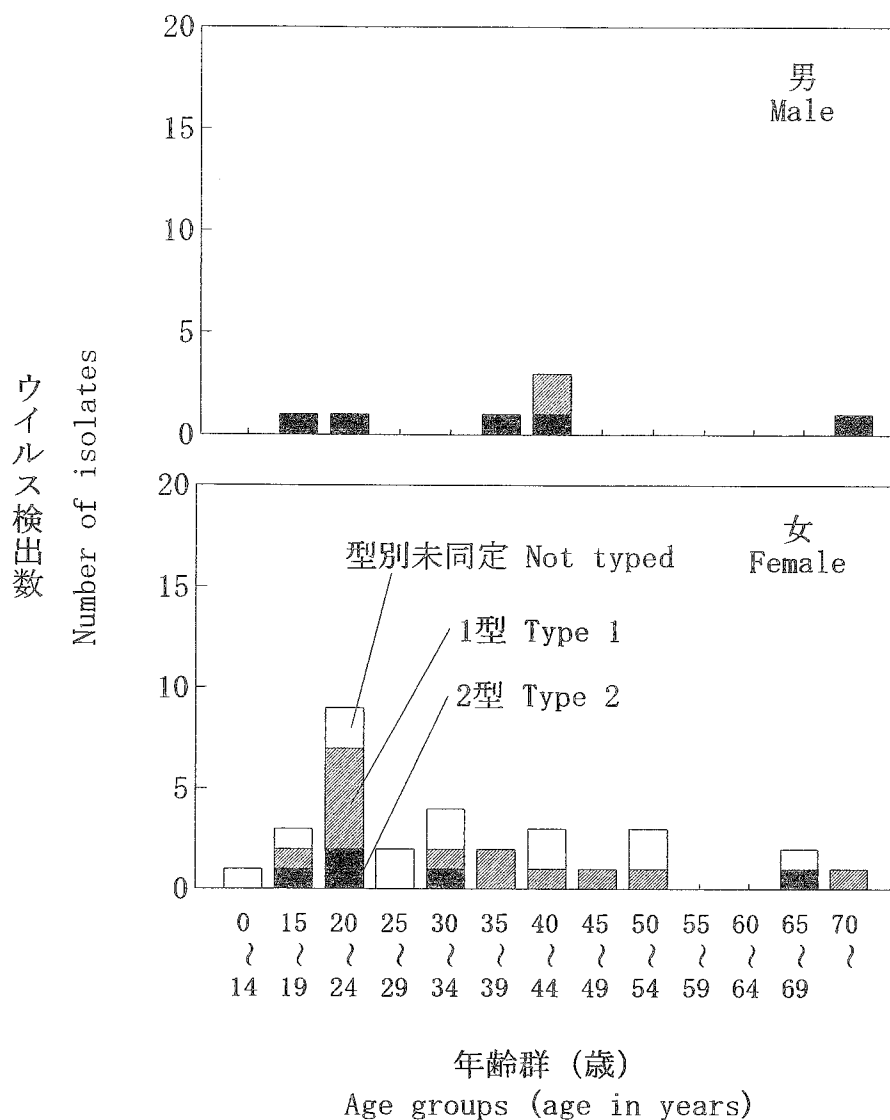


図5-5 泌尿生殖器由来の性別年齢別ヘルペスウイルス検出状況、1995年

Detection of herpes simplex viruses from genitourinary sources, by age and sex of cases, Japan, 1995.



注) 検体が陰部尿道頸管擦過 (分泌) 物の例を集計した
年齢不詳を除く
HSV isolation from genitourinary sources.
Excluding cases of unknown ages

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

図6-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of condyloma acuminatum per reporting clinic, Japan, 1987-1995.

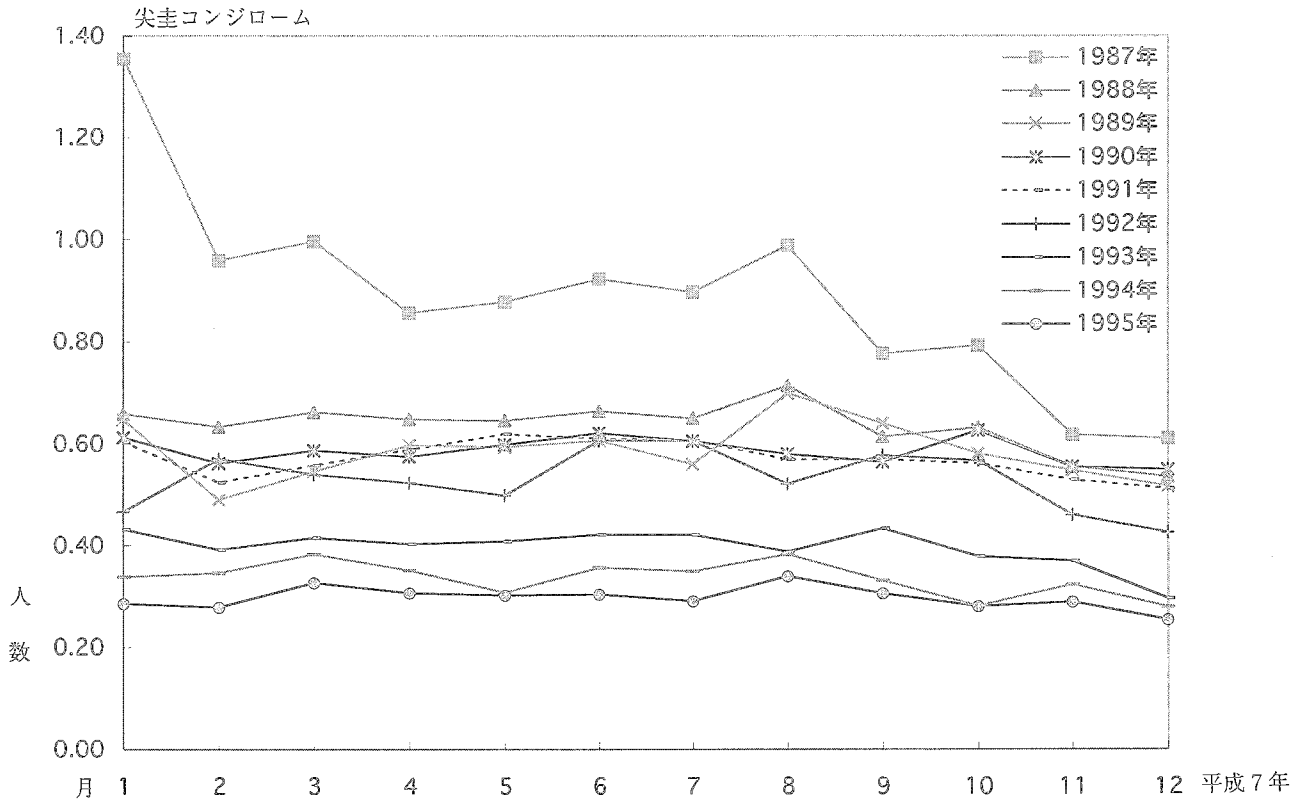


図6-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of condyloma acuminatum, Japan, 1994-1995.

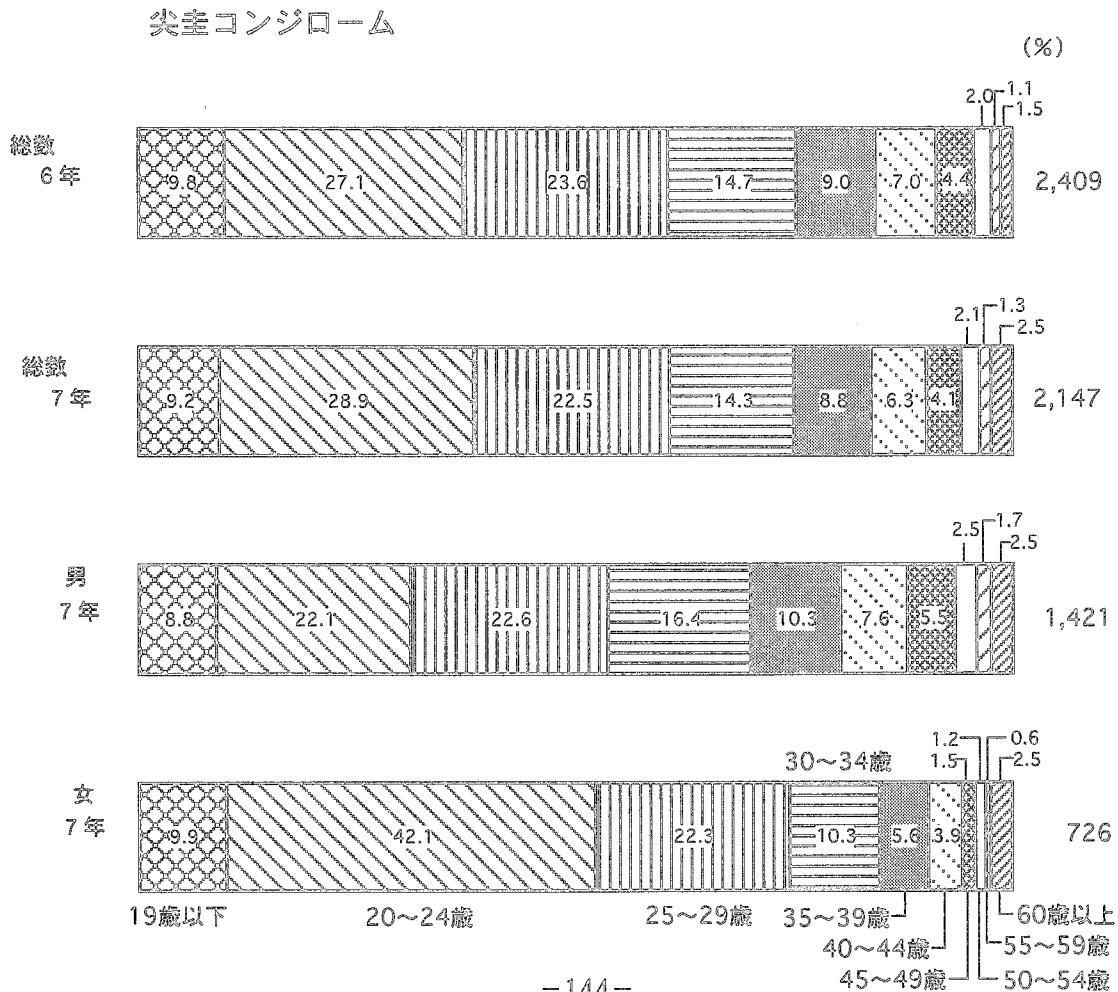
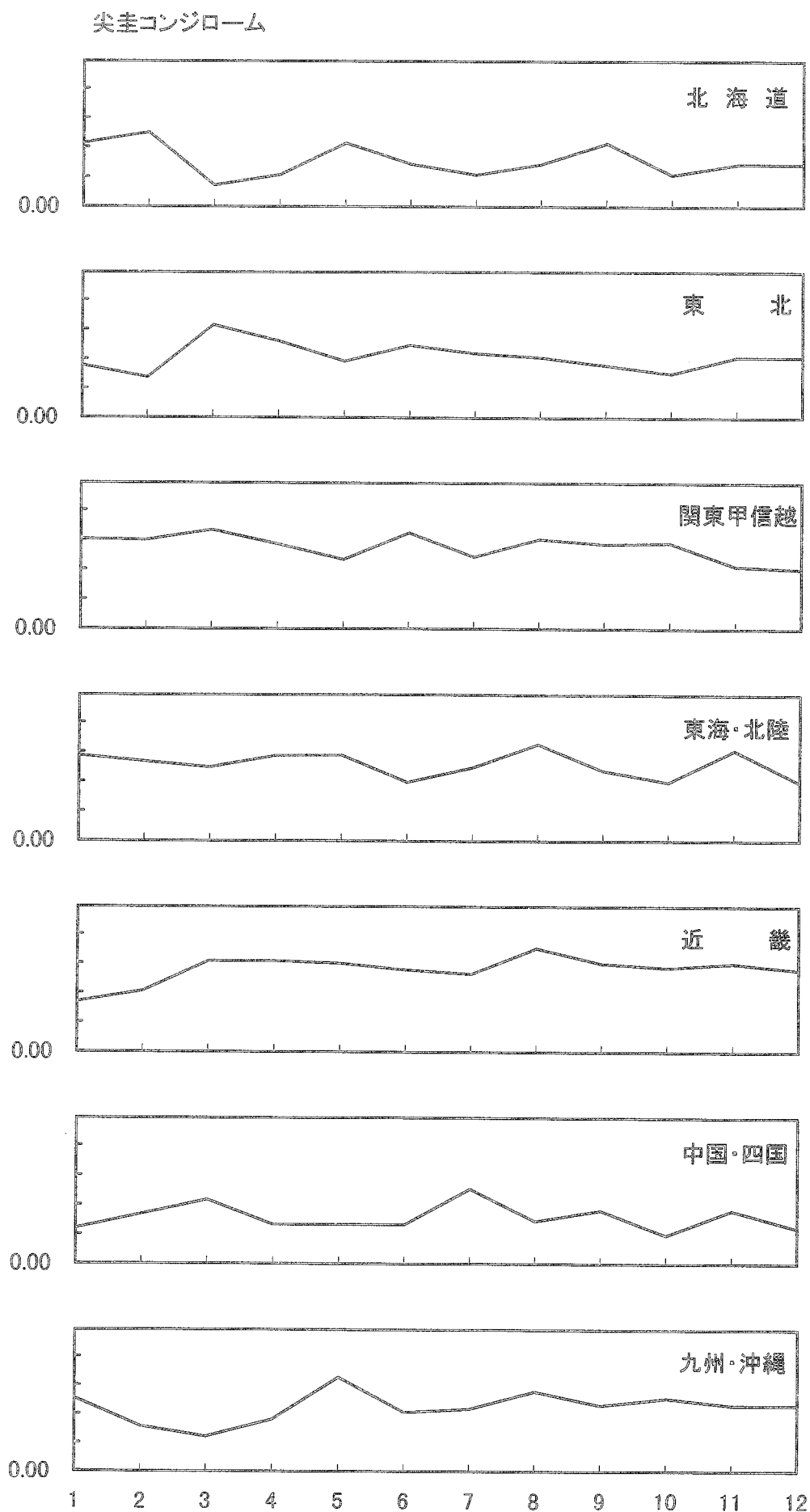


図6-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of condyloma acuminatum per reporting clinic, by geographical area, 1995.



MAX=0.43

平成7年

図6-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of condyloma acuminatum per reporting clinic, by prefecture, 1995.

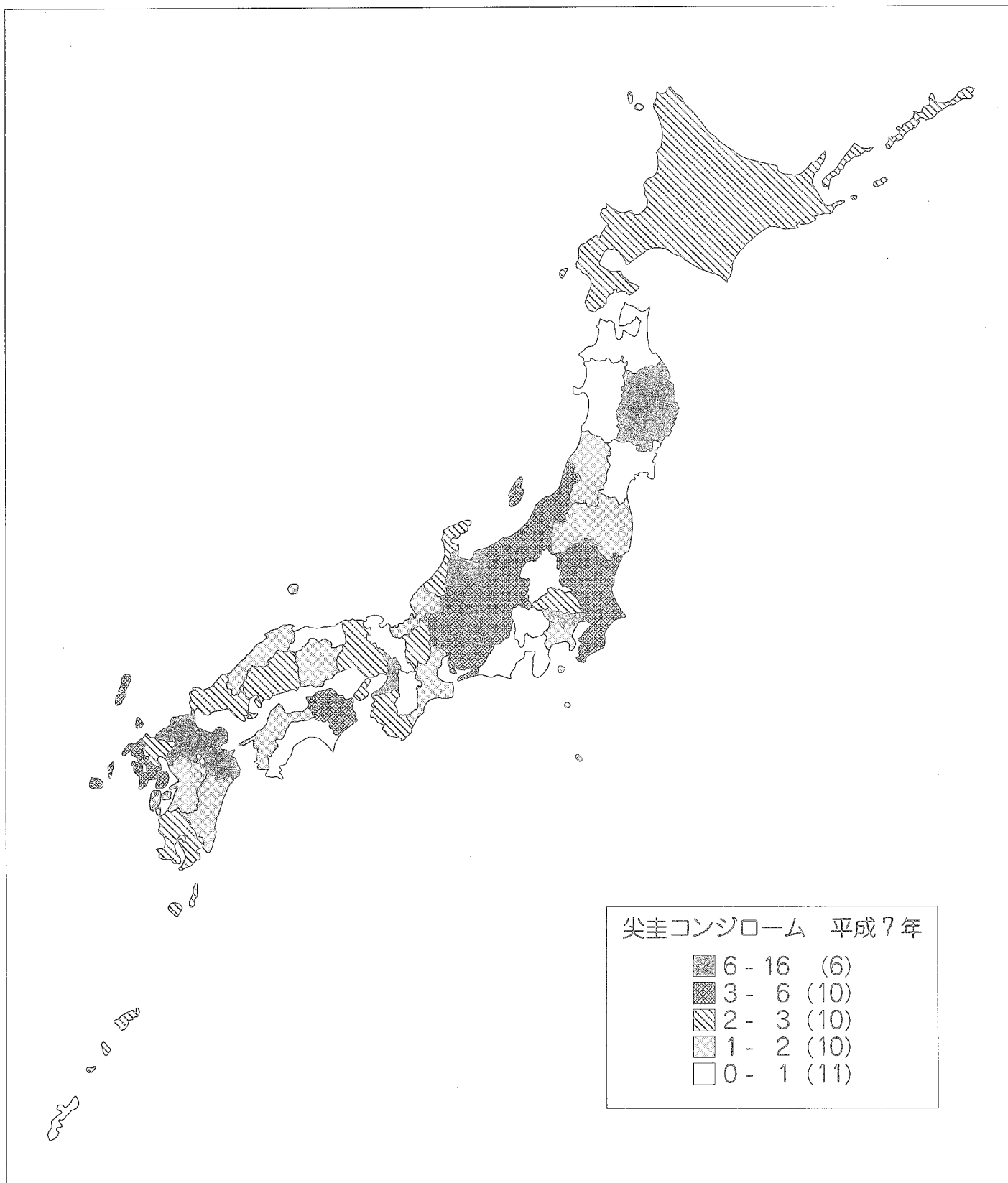


図7-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of trichomoniasis per reporting clinic, Japan, 1987-1995.

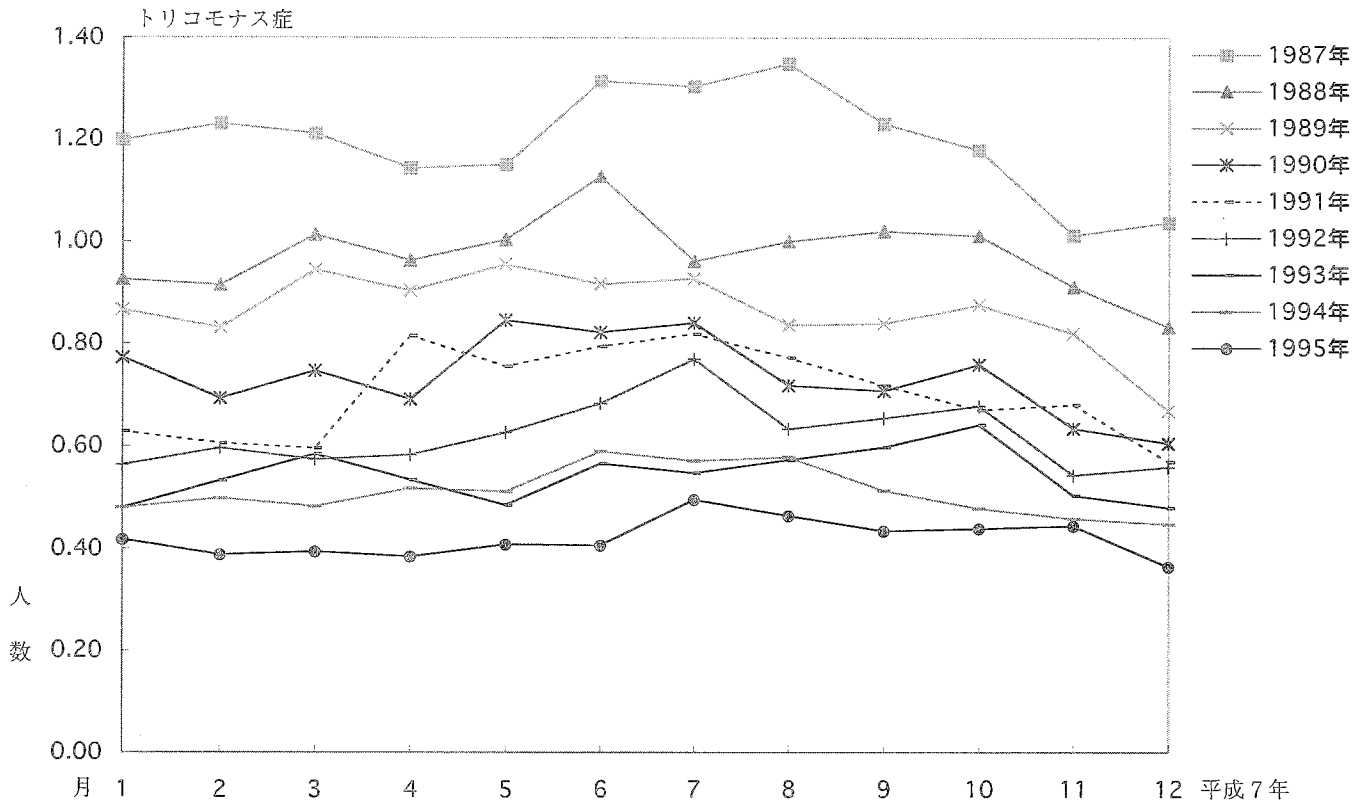


図7-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of trichomoniasis, Japan, 1994-1995.

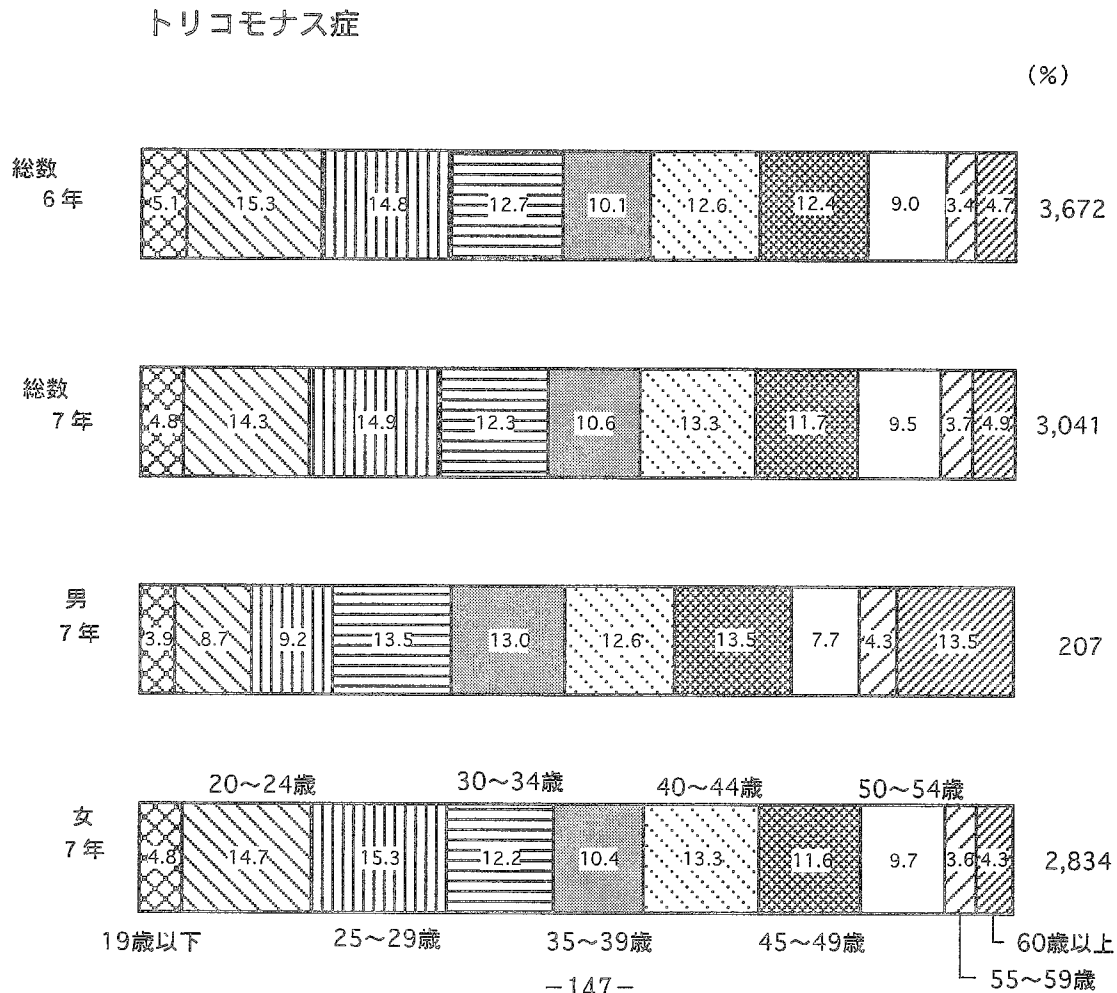
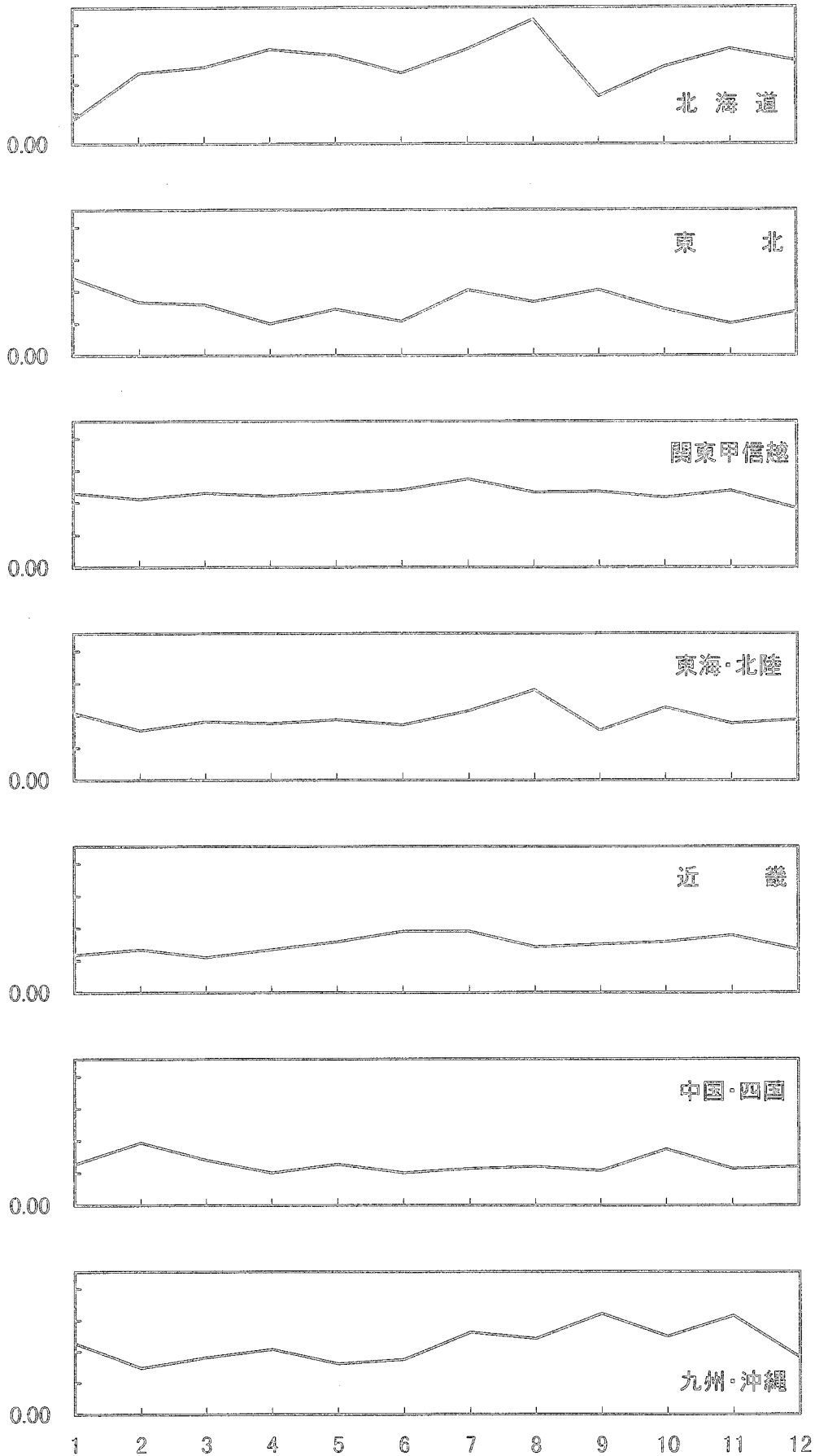


図7-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of trichomoniasis per reporting clinic, by geographical area, 1995.

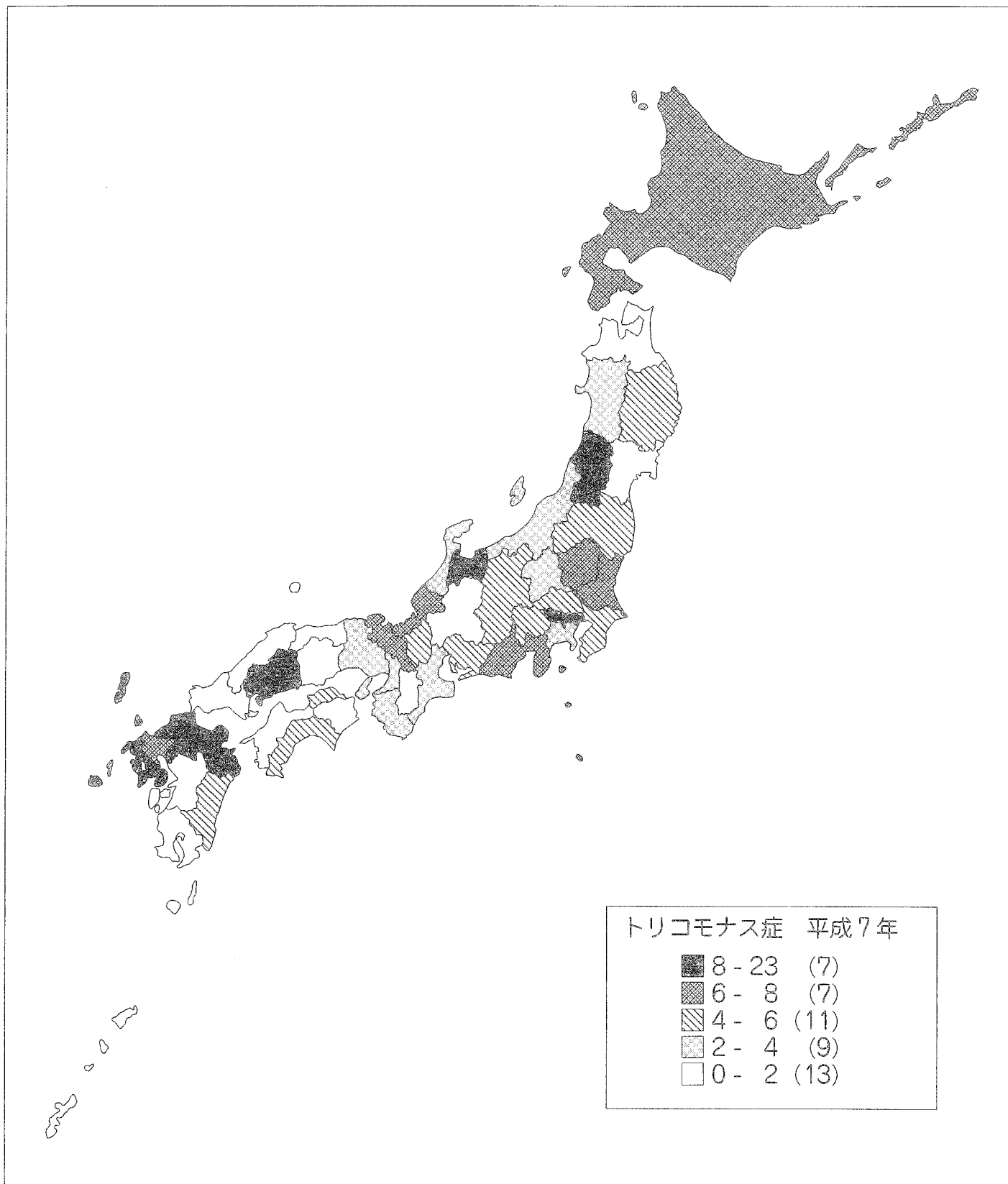
トリコモナス症



MAX=0.91

平成7年

図7-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of trichomoniasis per reporting clinic, by prefecture, 1995.



第2章 病原体情報について

1. 情報収集還元システム

本報告書に掲載された病原体情報は「微生物検査情報のシステム化に関する研究」班（1979～1982、班長：井上裕正・愛知県衛生研究所長・当時）によって確立されたシステムにより収集されたものである。本システムは、感染症サーベイランス事業の発足にあたって本事業の検査情報を受けもつ部門として位置づけられた。一般に検査情報の報告は患者発生情報より遅れるのがふつうで、またその収集のためには技術的および専門的な対応が要求される。このため、本システムは患者情報とは別に、二つの運営委員会、すなわち、国立予防衛生研究所（予研）・病原体情報委員会と衛生微生物技術協議会・検査情報委員会のもとで運営され、情報センター業務は予研・感染症情報センター内に置かれた病原微生物検出情報事務局（予研・事務局）が平常業務として担当している。本報告書は予研・事務局において集計、作表され、上記予研・病原体情報委員会の下部組織である編集小委員会において編集されたものである。

情報の内容と収集

検査情報が報告される病原体は、ウイルス、リケッチア、クラミジア、細菌、真菌、スピロヘータ、原虫である。集計は便宜上、病原細菌（真菌、クラミジア、スピロヘータ、原虫を含む）とウイルス（リケッチア、クラミジア、マイコプラズマを含む）の2群に大きく分けて取り扱っている。

病原細菌については4系統の機関から検査情報が収集され、別々に集計されている。すなわち、1. 地方衛生研究所（地研）および保健所、2. 一般医療機関、3. 検疫所、4. 伝染病院である。それぞれの機関は独自の検査目的をもつために、検査対象とする病原細菌の種類が異なる。

地研・保健所からは公衆衛生の立場から、伝染病流行や集団食中毒発生時の調査、食品の安全性検査、環境汚染調査、サーベイランス事業の病原体検査など、行政目的をもって実施される検査の成績が主として報告される。これに対し、一般医療機関からは疾病の診断および治療を目的とした検査の成績が報告される。

地研は地域の検査情報センターとしての役割を担当し、地研で行った検査の成績だけではなく地区内の保健所および協力医療機関で行った病原細菌検査の成績を収集し、地研・保健所集計（病原微生物検出報告書書式3A、322～323ページ様式6）および医療機関集計（書式3B、324～325ページ様式7）にまとめて月ごとに予研に送付している。サルモネラとA群レンサ球菌についてはさらに血清型別の成績を年ごとにまとめて集計し送付している。地研・保健所集計用の書式3Aでは菌別検出数だけでなく、流行・集団発生情報、食品検査情報、環境汚染調査情報、EHEC/VTEC情報、*Vibrio cholerae* 0139 情報、重要と思われる症例・まれな症例に関する情報、その他の情報も報告している。医療機関集計用の書式3Bでは1990年から報告を分離材料別に区分し、各分離材料において、病因である可能性の高い病原細菌に限定して検出数を集計し報告している。また、重要と思われる症例・まれな症例に関する個別の情報、EHEC/VTEC情報、*Vibrio cholerae* 0139情報、検出された*S. aureus*のメチシリン感受性の内訳も報告している。

検疫所からは海外旅行者（輸入例）の法定伝染病、とくに腸管感染症を対象とした検査の成績と、さらに*Vibrio cholerae* 0139情報、EHEC/VTEC情報も報告される。厚生省生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室が各検疫所の検出数を収集し、月ごとに予研に送付している。

伝染病院からは感染性腸炎で入院した保菌者を含むすべての症例の病原診断を目的とした検査の成績が、年齢、臨床症状、推定感染地、薬剤感受性試験成績などの詳細な情報とともに報告される。各症例の検出病原体ごとに1枚の個票が作成され、月ごとに各病院から直接予研に送付される。

さらに腸チフス・パラチフスA菌に関しては上記4系統の検出報告とは別に、厚生省公衆衛生局長通知「腸チフス対策の推進について」（衛発第788号、1966年11月16日）によって、発生情報が収集され、これにもとずいて各機関から提出された分離菌株のファージ型別試験が予研・細菌部外来性細菌室で実施され、その成績が報告されている。

ウイルスについては地研から、病原診断を目的とした検査（感染症サーベイランス事業による病原体検査を含む）、伝染病流行予測事業、地研独自の定点観測調査・特定研究などによる検査の成績が報告される。これ以外に一部の国立病院および民間検査所からも病原診断を目的とした検査の成績が報告される。分離・検出されたウイルスごとに1枚の個票（病原微生物検出報告書書式1、326ページ様式8）を作成し、検査終了次第随時、各機関から直接予研に送付される。書式1では、検体提供者の居住地、年齢、臨床症状、検体採取年月日、検査材料の種類、検査方法などが報告される。

情報提供機関

本システムでは全国47都道府県の地研および24の政令市の地研が検査情報を提供している。1995年中に、病原細菌検出報告には地研の他に32都道県市における合計371保健所、34都府県市における合計233の医療機関、16検疫所、13都市における合計16の伝染病院の協力があつた。協力医療機関数は県または市によって異なるが致機関の地域が多い。さらに1995年は、地研の他に2国立病院と2民間検査所からウイルス検出報告が提供された。各協力機関名は154～159ページに記載した。

情報の還元と利用

収集された病原体情報は予研・事務局において集計、作表された上、「病原微生物検出情報・月報（IASR）」に掲載され、関係各方面に配布されている。また病原体情報と感染症サーベイランス事業の患者発生情報を併せて解析した特集記事が、上記IASRに毎月掲載されている（160ページ～183ページ参照）。1979～1982年の4年間は各年の情報が「病原微生物検出情報年報」（病原微生物検出情報のシステム化に関する研究班）として発行された。1983年以降は本感染症サーベイランス事業年報に毎年掲載されると共に、Japanese Journal of Medical Science and Biology, Supplementとして英語版の年報が発行されている。

さらにウイルス検出報告のうち、インフルエンザウイルスの情報は、必要に応じて、WHO インフルエンザ協カセンター（予研・ウイルス第一部）を通じてWHO Influenza Centerに報告されている。

病原体情報の利用上の注意

本報告書の病原体情報は、主に病原診断あるいは公衆衛生上の目的で実施された病原微生物検査によって検出された病原体に関する集計である。本報告書に掲載された病原体情報の解析、引用にあたっては、下記の点を考慮する必要がある。

（1）陽性例のみの報告である。

本システムでは検出陽性例についての報告のみが収集されており、実施された検査件数、または陰性例に関する情報は収集されていない。報告された検出数は実施された検査の総数を反映している場合とそうでない場合がある。地域別の比較などを行う場合、このことを考慮する必要がある。

（2）疾病、臨床症状との関連が特定できない場合がある。

検査室診断の一般的問題として、疾病または病原体によっては、検出された病原体が疾病または臨床症状の直接の原因であると特定できない場合がある。一般に、髄液、血液、水疱、生検、剖検材料など、病巣材料から病原体が検出されたときは疾病との関連がほぼ確定的であるが、糞便、咽頭ぬぐい液、尿などからの検出の場合、しばしば当該疾患と直接関係のない潜在感染、不顕性感染、あるいはたまたま居合わせた病原体が検出される場合がある。したがって、検出病原体と疾病または臨床症状との関連は、流行状況、検査材料、検出方法など、その他の検査成績と照合の上、個別に検討を要する場合がある。

（3）同一人からの検出が複数機関から重複して報告される場合がある。

各機関から提出される検査報告のうち、とくに法定伝染病に関しては、同一人からの病原体検出が複数の機関から重複して報告される場合があり、この重複を除外する作業は行っていない。したがっ

てこれらの病原体については、それぞれの機関からの報告数を合計することは意味がない。

(4) 過去の年の検出数は「年報」の数字によっている。

本章の記載において、過去の年の検出数が引用される場合は各年に発行された「年報」の数字によった。一方、予研・事務局の集計ファイルは過去の年についても追加情報によって逐次更新されているので、本章中の集計数は最新ファイルのそれと一致しないことがある。この不一致は病原細菌検出報告では例外的であるが、ウイルス検出報告についてはほとんどの年の場合にみられている。ただし、全体の動向に影響を与えるほど大きい変更に至ってはいない。参考資料として1996年9月末日における1990～1995年の検出報告数を、281～289および306～307ページに掲載した。

協力地方衛生研究所

List of prefectural and municipal public health institutes participating in the reporting system, 1995

Code number	県・市	Prefecture /city	地方衛生研究所	Institute
011	北海道	Hokkaido P.	北海道立衛生研究所	Hokkaido Institute of Public Health
012	札幌市	Sapporo C.	札幌市衛生研究所	Sapporo City Institute of Public Health
013	函館市	Hakodate C.	函館市衛生試験所	Hakodate City Institute of Public Health Research
021	青森県	Aomori P.	青森県環境保健センター	Aomori Prefectural Institute of Public Health
031	岩手県	Iwate P.	岩手県衛生研究所	Iwate Prefectural Institute of Public Health
041	宮城県	Miyagi P.	宮城県保健環境センター	Miyagi Prefectural Institute of Public Health and Environment
042	仙台市	Sendai C.	仙台市衛生研究所	Sendai Municipal Institute of Public Health
051	秋田県	Akita P.	秋田県衛生科学研究所	Akita Prefectural Institute of Public Health
061	山形県	Yamagata P.	山形県衛生研究所	Yamagata Prefectural Institute of Public Health
071	福島県	Fukushima P.	福島県衛生公害研究所	Fukushima Institute of Health
081	茨城県	Ibaraki P.	茨城県衛生研究所	Ibaraki Prefectural Institute of Health
091	栃木県	Tochigi P.	栃木県保健環境センター	Tochigi Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
101	群馬県	Gunma P.	群馬県衛生環境研究所	Gunma Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences
111	埼玉県	Saitama P.	埼玉県衛生研究所	Saitama Institute of Public Health
121	千葉県	Chiba P.	千葉県衛生研究所	Public Health Laboratory of Chiba Prefecture
122	千葉市	Chiba C.	千葉市環境保健研究所	Chiba City Institute of Health
131	東京都	Tokyo M.	東京都立衛生研究所	Tokyo Metropolitan Research Laboratory of Public Health
141	神奈川県	Kanagawa P.	神奈川県衛生研究所	Kanagawa Prefectural Public Health Laboratory
142	横浜市	Yokohama C.	横浜市衛生研究所	Yokohama City Institute of Health
143	川崎市	Kawasaki C.	川崎市衛生研究所	Public Health Research Institute of The City of Kawasaki
144	横須賀市	Yokosuka C.	横須賀市衛生試験所	Yokosuka City Institute of Public Health
151	新潟県	Niigata P.	新潟県保健環境科学研究所	Niigata Prefectural Research Laboratory for Health and Environment
152	新潟市	Niigata C.	新潟市衛生試験所	Niigata City Institute of Public Health
161	富山県	Toyama P.	富山県衛生研究所	Toyama Institute of Health
171	石川県	Ishikawa P.	石川県保健環境センター	Ishikawa Research Laboratory for Public Health and Environment
181	福井県	Fukui P.	福井県衛生研究所	Fukui Prefectural Institute of Public Health
191	山梨県	Yamanashi P.	山梨県衛生公害研究所	Yamanashi Institute for Public Health
201	長野県	Nagano P.	長野県衛生公害研究所	Nagano Research Institute for Health and Pollution
211	岐阜県	Gifu P.	岐阜県保健環境研究所	Gifu Prefectural Health and Environmental Research Center
212	岐阜市	Gifu C.	岐阜市衛生試験所	Hygienic Laboratory of Gifu City
221	静岡県	Shizuoka P.	静岡県環境衛生科学研究所	Shizuoka Institute of Environment and Hygiene
222	静岡市	Shizuoka C.	静岡市衛生試験所	Shizuoka City Institute of Public Health
223	浜松市	Hamamatsu C.	浜松市衛生試験所	Hamamatsu City Institute of Public Health
231	愛知県	Aichi P.	愛知県衛生研究所	Aichi Prefectural Institute of Public Health
232	名古屋市	Nagoya C.	名古屋市衛生研究所	Nagoya City Health Research Institute
241	三重県	Mie P.	三重県科学技術振興センター 衛生研究所	Institute of Public Health, Mie Prefectural Science and Technology Promotion Center
251	滋賀県	Shiga P.	滋賀県立衛生環境センター	Shiga Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

261	京都府	Kyoto P.	京都府保健環境研究所	Kyoto Prefectural Institute of Hygienic and Environmental Sciences
262	京都市	Kyoto C.	京都市衛生公害研究所	Kyoto City Institute of Health and Environmental Sciences
271	大阪府	Osaka P.	大阪府立公衆衛生研究所	Osaka Prefectural Institute of Public Health
272	大阪市	Osaka C.	大阪市立環境科学研究所	Osaka City Institute of Public Health and Environmental Sciences
273	堺市	Sakai C.	堺市衛生研究所	Sakai City Institute of Public Health
281	兵庫県	Hyogo P.	兵庫県立衛生研究所	Public Health Institute of Hyogo Prefecture
282	神戸市	Kobe C.	神戸市環境保健研究所	Public Health Research Institute of Kobe City
283	姫路市	Himeji C.	姫路市環境衛生研究所	Himeji City Research Institute of Public Health
284	尼崎市	Amagasaki C.	尼崎市立衛生研究所	Amagasaki City Institute of Public Health
291	奈良県	Nara P.	奈良県衛生研究所	Nara Prefectural Institute of Public Health
301	和歌山県	Wakayama P.	和歌山県衛生公害研究センター	Wakayama Prefectural Research Center of Environment and Public Health
302	和歌山市	Wakayama C.	和歌山市衛生研究所	Wakayama City Institute of Public Health
311	鳥取県	Tottori P.	鳥取県衛生研究所	Tottori Prefectural Public Health Laboratory
321	島根県	Shimane P.	島根県衛生公害研究所	Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
331	岡山県	Okayama P.	岡山県環境保健センター	Okayama Prefectural Institute for Environmental Science and Public Health
341	広島県	Hiroshima P.	広島県保健環境センター	Hiroshima Prefectural Health and Environmental Center
342	広島市	Hiroshima C.	広島市衛生研究所	Hiroshima City Institute of Public Health
351	山口県	Yamaguchi P.	山口県衛生公害研究センター	Yamaguchi Prefectural Research Institute of Health
361	徳島県	Tokushima P.	徳島県保健環境センター	Tokushima Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences
371	香川県	Kagawa P.	香川県衛生研究所	Kagawa Prefectural Institute of Public Health
381	愛媛県	Ehime P.	愛媛県立衛生研究所	Ehime Prefectural Institute of Public Health
391	高知県	Kochi P.	高知県衛生研究所	Public Health Institute of Kochi Prefecture
401	福岡県	Fukuoka P.	福岡県保健環境研究所	Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences
402	福岡市	Fukuoka C.	福岡市保健環境研究所	Fukuoka City Institute of Public Health
403	北九州市	Kitakyushu C.	北九州市環境科学研究所	Kitakyushu City Institute of Environmental Sciences
411	佐賀県	Saga P.	佐賀県衛生研究所	Saga Prefectural Institute of Public Health
421	長崎県	Nagasaki P.	長崎県衛生公害研究所	Nagasaki Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
422	長崎市	Nagasaki C.	長崎市保健環境試験所	Nagasaki Municipal Public Health and Environment Laboratory
431	熊本県	Kumamoto P.	熊本県保健環境科学研究所	Kumamoto Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
432	熊本市	Kumamoto C.	熊本市環境総合研究所	Kumamoto City Environmental Research Institute
441	大分県	Oita P.	大分県衛生環境研究センター	Oita Prefectural Institute of Health and Environment
451	宮崎県	Miyazaki P.	宮崎県衛生環境研究所	Miyazaki Prefectural Institute for Public Health and Environment
461	鹿児島県	Kagoshima P.	鹿児島県衛生研究所	Kagoshima Prefectural Institute of Public Health
471	沖縄県	Okinawa P.	沖縄県衛生環境研究所	Okinawa Prefectural Institute of Health and Environment

P. : Prefecture C. : City M. : Metropolitan

協力検疫所

List of quarantine stations participating in the reporting system, 1995

018	小樽検疫所千歳空港出張所	Chitose Airport Detached Office, Otaru Quarantine Station
026	小樽検疫所函館支所函館空港出張所	Hakodate Airport Detached Office, Otaru Quarantine Station
041	仙台検疫所仙台空港出張所	Sendai Airport Detached Office, Sendai Quarantine Station

1 2 1	成田空港検疫所	Narita Airport Quarantine Station
1 3 1	東京検疫所東京空港支所	Tokyo Airport Branch Office, Tokyo Quarantine Station
1 7 2	新潟検疫所伏木富山支所 小松空港出張所	Komatsu Airport Detached Office, Niigata Quarantine Station
2 3 4	名古屋検疫所名古屋空港出張所	Nagoya Airport Detached Office, Nagoya Quarantine Station
2 7 3	関西空港検疫所	Kansai Airport Quarantine Station
3 3 2	神戸検疫所水島支所岡山空港出張所	Okayama Airport Detached Office, Kobe Quarantine Station
3 4 4	広島検疫所広島空港出張所	Hiroshima Airport Detached Office, Hiroshima Quarantine Station
3 5 3	広島検疫所徳山下松支所 宇部出張所	Ube Detached Office, Hiroshima Quarantine Station
3 7 2	広島検疫所高松空港出張所	Takamatsu Airport Detached Office, Hiroshima Quarantine Station
4 0 3	福岡検疫所福岡空港出張所	Fukuoka Airport Detached Office, Fukuoka Quarantine Station
4 2 4	福岡検疫所長崎空港出張所	Nagasaki Airport Detached Office, Fukuoka Quarantine Station
4 4 1	福岡検疫所大分佐賀関支所	Oita Saganoseki Branch Office, Fukuoka Quarantine Station
4 7 2	那覇検疫所那覇空港支所	Naha Airport Branch Office, Naha Quarantine Station

病院。大学。民間検査所

List of participating laboratories other than prefectural and municipal public health institutes in the virus reporting system, 1995

6 0 2	国立京都病院	Kyoto National Hospital Virus Research Center
6 0 7	国立仙台病院	Sendai National Hospital Virus Research Center
6 0 4	エスアールエル	SRL, Inc.
6 1 1	三菱化学ビーシーエル	Mitsubishi Kagaku Bio-Clinical Laboratories, Inc.

協力都市立伝染病院

List of Infectious Diseases Hospitals participating in the reporting system, 1995

市立札幌病院南ヶ丘分院	Minamigaoka Branch of Sapporo City General Hospital
仙台市立病院	The Sendai City Hospital
千葉市立病院	Chiba Municipal Hospital
東京都立豊島病院	Tokyo Metropolitan Toshima General Hospital
東京都立駒込病院	Tokyo Metropolitan Komagome General Hospital
東京都立墨東病院	Tokyo Metropolitan Bokuto General Hospital
東京都立荏原病院	Tokyo Metropolitan Ebara General Hospital
川崎市立川崎病院	Kawasaki Municipal Hospital
横浜市立市民病院	Yokohama Municipal Citizen's Hospital
名古屋市立東市民病院	Nagoya City Higashi General Hospital
京都市立病院	Kyoto City Hospital
大阪市立総合医療センター。感染症センター	Infectious Disease Center of Osaka City General Hospital
神戸市立中央市民病院	Kobe Municipal Central Hospital
広島市立舟入病院	Hiroshima City Funairi Hospital
北九州市立医療センター	Kitakyushu Municipal Medical Center
福岡市立こども病院感染症センター	Medical Center for Sick Children and Infectious Disease Fukuoka City

協力医療機関

札幌医科大学附属病院、北海道大学医学部附属病院、国立札幌病院、市立札幌病院、札幌臨床検査センター、動医協中央病院、N T T札幌病院、大給臨床検査所、五所川原市立西北中央病院、むつ総合病院、八戸市立市民病院、弘前市医師会成人病検診センター、青森県立中央病院、平鹿総合病院、山本組合総合病院、鶴岡市立荘内病院、山形県立新庄病院、北村山公立病院、山形県立中央病院、篠田総合病院、至誠堂総合病院、小白川至誠堂病院、東北中央病院、山形市立病院済生館、山形市医師会市民保健センター、山形大学医学部附属病院、山形県立河北病院、米沢市立病院、長井市立総合病院、南陽市立総合病院、公立高島病院、三友堂病院、済生会宇都宮病院、栃木県南総合病院、珪肺労災病院、がんセンター東毛病院、館林厚生病院、伊勢崎市民病院、前橋赤十字病院、群馬中央総合病院、国立高崎病院、原町赤十字病院、富岡厚生病院、川口市民病院、防衛医科大学病院、亀田総合病院、千葉市立病院、頸南病院、長岡赤十字病院、県立ガンセンター新潟病院、新潟市市民病院、黒部市民病院、上市厚生病院、県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、富山医薬大附属病院、新湊市民病院、高岡市民病院、厚生連高岡病院、市立砺波総合病院、北陸中央病院、金沢医科大学病院、社会保険鳴和総合病院、石川県立中央病院、金沢市立病院、金沢赤十字病院、市立輪島病院、石川県医師会臨床検査センター、石川県予防医学協会、石丸研究所微生物検査センター、エスアールエル北陸、松任石川中央医療施設組合公立松任石川中央病院、国民健康保険小松市民病院、加賀山中医薬施設組合公立加賀中央病院、北陸メディカルサイエンス、ファルコバイオシステムズ、福井県立病院、福井市医師会臨床検査センター、福井赤十字病院、公立小浜病院、山梨県立中央病院、甲府市立甲府病院、甲府共立病院、巨摩共立病院、山梨厚生病院、富士吉田市立病院、沼津市立病院、国立東静岡病院、富士中央病院、富士宮市立病院、総合病院清水厚生病院、共立蒲原総合病院、県立総合病院、県立こども病院、静岡赤十字病院、焼津市立総合病院、市立島田市民病院、榛原総合病院、共立菊川病院、磐田市立総合病院、浜松赤十字病院、遠州総合病院、聖隷浜松病院、寺村小児科病院、静岡厚生病院、藤枝市立志太総合病院、祖父江内科医院、静岡済生会総合病院、社会保険桜ヶ丘総合病院、静岡市立静岡病院、豊橋市民病院、愛知県厚生農業協同組合連合会更生病院、市立岡崎病院、名古屋市立東市民病院、名古屋市立城北病院、名古屋市立城西病院、名古屋市立緑市民病院、名古屋市立守山市民病院、名古屋市立大学病院、大津市民病院、公立甲賀病院、近江八幡市民病院、長浜赤十字病院、大阪府立羽曳野病院、市立泉佐野病院、松下記念病院、箕面市立病院、市立吹田市民病院、市立堺病院、ちぬが丘診療所、加納医院、山手医院、佐道医院、八木医院、梅沢医院、広永医院、山口医院、天川医院、かわの医院、吉村医院、岸田医院、貴田医院、溝口医院、岡藤小児科、吉川産婦人科医院、森脇医院、播磨病院、姫路赤十字病院、甲南病院、兵庫県予防医学協会、神戸海星病院、神綱病院、神戸労災病院、神戸大学医学部附属病院、社会保険神戸中央病院、神戸市医師会医療センター、川崎病院、三菱神戸病院、市立西市民病院、県立こども病院、須磨赤十字病院、国立神戸病院、姫路市立御立病院、上原口医院、伊藤医院、野沢医院、野村医院、多米医院、浜本医院、近藤医院、深江医院、北中医院、前田医院、南川医院、西田医院、瀬尾医院、安室医院、横田医院、柳井医院、白井医院、田中医院、森川医院、河本医院、人羅医院、岩崎医院、中村医院、高島医院、戸堂医院、県立奈良病院、県立五条病院、土庫病院、県立奈良医大附属病院、天理よろず相談所病院、吉田病院、奈良市医師会検査センター、大和高田市立病院、国立奈良病院、県立三室病院、社会保険紀南総合病院、鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、博愛病院、鳥根県立中央病院、松江赤十字病院、倉敷中央病院、岡山済生会病院、総合病院岡山赤十字病院、津山中央病院、広島市立舟入病院、国立呉病院、国立福山病院、広島大学医学部中央検査部、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院、広島市民病院、広島市立安佐市民病院、広島総合病院、府中総合病院、広島共立病院、マツダ病院、日本鋼管福山病院、広島市医師会臨床検査センター、福山市医師会臨床検査センター、福山市民病院、中国中央病院、三原赤十字病院、国立療養所広島病院、呉市医師会臨床検査センター、尾道総合病院、中国労災病院、双三中央病院、安芸地区医師会臨床検査センター、三原市医師会臨床検査センター、公立みつぎ病院、尾道市民病院、山口県立中央病院、香川県立中央病院、高松赤十字病院、高松市民病院、社会保険栗林病院、香川県厚生農業協同組合連合会屋島総合病院、国立善通寺病院、佐賀県立病院好生館、社会保険佐賀病院、国立佐賀病院、国立療養所東佐賀病院、唐津赤十字病院、国立嬉野病院、佐賀県医師会成人病予防センター、長崎大学医学部附属病院、長崎市立病院成人病センター、大村市立病院、佐世保共済病院、佐世保総合病院、国立熊本病院、熊本市市民病院、大分医科大学附属病院、大分県立病院、大分県立三重病院、大分県厚生連鶴見病院、大分赤十字病院、沖縄県立名護病院、沖縄県立那覇病院、

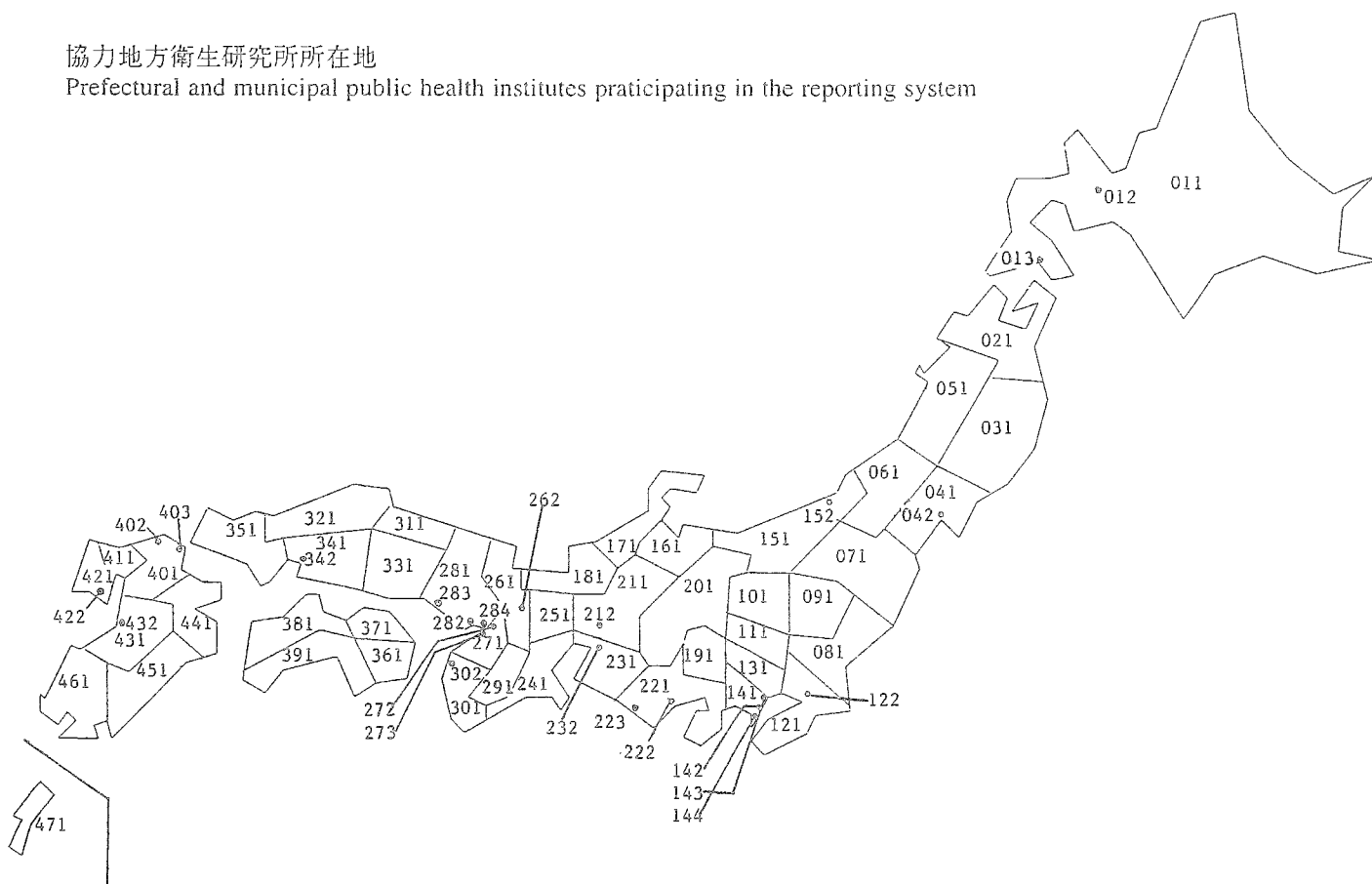
協力保健所

江別保健所、千歳保健所、当別保健所、濱島保健所、木古内保健所、森保健所、八雲保健所、江差保健所、今金保健所、俱知安保健所、岩内保健所、余市保健所、夕張保健所、由仁保健所、美唄保健所、滝川保健所、岩見沢保健所、芦別保健所、砂川保健所、深川保健所、旭川保健所、名寄保健所、士別保健所、天塩保健所、富良野保健所、留萌保健所、稚内保健所、遠軽保健所、紋別保健所、北見保健所、美瑛保健所、網走保健所、室蘭保健所、苫小牧保健所、浦河保健所、静内保健所、帯広保健所、広尾保健所、新得保健所、油田保健所、本別保健所、銅路保健所、標茶保健所、根室保健所、中標津保健所、函館保健所、青森保健所、弘前保健所、八戸保健所、十和田保健所、五所川原保健所、三沢保健所、むつ保健所、黒石保健所、七戸保健所、三戸保健所、鯉ヶ沢保健所、仙南保健所、塩竈保健所、大崎保健所、栗原保健所、石巻保健所、気仙沼保健所、山形保健所、寒河江保健所、村山保健所、新庄保健所、米沢保健所、長井保健所、鶴岡保健所、酒田保健所、宇都宮保健所、鹿沼保健所、今市保健所、真岡保健所、栃木保健所、小山保健所、矢板保健所、大田原保健所、烏山保健所、佐野保健所、足利保健所、中央保健所、戸田、藤保健所、川口保健所、大宮保健所、朝霞保健所、鴻巣保健所、草加保健所、川越保健所、所沢保健所、飯館保健所、東松山保健所、秩父保健所、本庄保健所、熊谷保健所、深谷保健所、寄居保健所、行田保健所、加須保健所、春日部保健所、越谷保健所、幸手保健所、吉川保健所、狭山保健所、習志野保健所、船橋保健所、市川保健所、松戸保健所、柏保健所、野田保健所、佐倉保健所、佐原保健所、鯉子保健所、八日市場保健所、松尾保健所、東金保健所、茂原保健所、勝浦保健所、鴨川保健所、館山保健所、木更津保健所、市原保健所、千葉市保健所、千代田区神田保健所、中央区中央保健所、港区芝保健所、新宿区四谷保健所、文京区衛生試験所、台東区下谷保健所、墨田区向島保健所、江東区城東保健所、江東区深川保健所、品川区衛生試験所、目黒区衛生試験所、大田区衛生試験所、世田谷区世田谷保健所、渋谷区渋谷保健所、中野区衛生試験所、杉並区衛生試験所、豊島区池袋保健所、豊島区長崎保健所、北区衛生試験所、荒川区荒川保健所、板橋区検査センター、練馬区衛生試験所、足立区衛生試験所、葛飾区葛飾北保健所、江戸川区江戸川保健所、三鷹保健所、八王子保健所、田無保健所、奥し。保健所大島出張所、三宅出張所、八丈出張所、小笠原出張所、鶴見保健所、神奈川保健所、西保健所、中保健所、南保健所、港南保健所、保土ヶ谷保健所、旭保健所、鶴子保健所、金沢保健所、港北保健所、緑保健所、栄保健所、泉保健所、瀬谷保健所、新栄田保健所、長岡保健所、三奈保健所、六日町保健所、上越保健所、新津保健所、相川保健所、黒部保健所、魚津保健所、上市保健所、室山保健所、八尾保健所、小杉保健所、高岡保健所、氷見保健所、福野保健所、小矢部保健所、小松保健所、七尾保健所、輪島保健所、金沢市保健公署衛生検査課、甲府保健所、日下部保健所、石和保健所、身延保健所、小笠原保健所、韭崎保健所、吉田保健所、六月保健所、佐久保健所、小諸保健所、上田保健所、諏訪保健所、岡谷保健所、伊那保健所、飯田保健所、木曾保健所、松本保健所、豊科保健所、大町保健所、篠ノ井保健所、更埴保健所、須坂保健所、中野保健所、長野保健所、飯山保健所、下田保健所、島田保健所、熱海保健所、樹川保健所、修善寺保健所、鎌田保健所、沼津保健所、天竜保健所、富士保健所、三ヶ日保健所、富士宮保健所、浜名保健所、清水保健所、藤枝保健所、静岡市中央保健所、静岡市南保健所、浜松市保健所、豊橋保健所、岡崎保健所、一宮保健所、瀬戸保健所、半田保健所、春日井保健所、豊川保健所、津島保健所、幡豆保健所、刈谷保健所、豊田保健所、安城保健所、西尾保健所、蒲郡保健所、江南保健所、尾西保健所、小牧保健所、蒲沢保健所、新城保健所、知多保健所、師勝保健所、美浜保健所、足助保健所、設楽保健所、田原保健所、大冢保健所、草津保健所、水口保健所、八日市保健所、八幡保健所、彦根保健所、長浜保健所、木之本保健所、今津保健所、宿院保健所、金岡保健所、泉北保健所、鳳保健所、西宮保健所、高砂保健所、和田山保健所、芦屋保健所、加西保健所、柏原保健所、伊丹保健所、社保健所、篠山保健所、宝塚保健所、龍野保健所、洲本保健所、川西保健所、赤穂保健所、津名保健所、三田保健所、福崎保健所、三原保健所、明石保健所、佐用保健所、加古川保健所、山崎保健所、西脇保健所、豊岡保健所、三木保健所、浜坂保健所、姫路市中央保健所、姫路市西保健所、尼崎市中央保健所、尼崎市東保健所、尼崎市西保健所、尼崎市北保健所、鳥取保健所、倉吉保健所、米子保健所、海田保健所、可部保健所、廿日市保健所、東広島保健所、竹原保健所、三原保健所、尾道保健所、福山保健所、府中保健所、三次保健所、庄原保健所、北九州

市門司保健所、北九州市小倉北保健所、北九州市小倉南保健所、北九州市戸畑保健所、北九州市八幡東保健所、北九州市八幡西保健所、北九州市若松保健所、佐賀保健所、神埼保健所、鳥栖保健所、小城保健所、唐津保健所、伊万里保健所、武雄保健所、鹿島保健所、長崎保健所、諫早保健所、大村保健所、島原保健所、小浜保健所、大瀬戸保健所、吉井保健所、松浦保健所、平戸保健所、福江保健所、有川保健所、杵岐保健所、厳原保健所、長崎市中央保健所、長崎市北保健所、佐世保市保健所、熊本中央保健所、宇土保健所、玉名保健所、八代保健所、荒尾保健所、水俣保健所、山鹿保健所、人吉保健所、菊池保健所、本渡保健所、阿蘇保健所、牛深保健所、御船保健所、松橋保健所、名護保健所、石川保健所、コサ保健所、沖縄中央保健所、南部保健所、宮古保健所、八重山保健所

協力地方衛生研究所所在地

Prefectural and municipal public health institutes participating in the reporting system



病原微生物検出情報

月報

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

Vol.17 No.1 (No.191)
1996年1月発行

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

VTEC O157: H7 親族内集発: 奈良県 3, VTEC O157: H7 感染による死亡例: 北海道 4, インフルエンザウイルス分離速報: 神戸市 4, 大阪府 5, SRSV による急性胃腸炎集発: 千葉県 6, 東京都 7, インフルエンザ国際会議報告 7, VTEC の検査材料: 英国 9, 腸管感染症対策のための指針: 英国 9, インフルエンザ速報: 世界 9, 米国 & 英国 9, RSV 速報: 米国 10, 黄熱: リベリア 10, 急性熱性疾患および肺出血の発生: ニカラグア 10

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> Vero 毒素産生性大腸菌 1991.1~1995.11

Vero 毒素産生性大腸菌 (VTEC) は、激しい腹痛と血性下痢を主徴とする出血性大腸炎の起原菌で、溶血性尿毒症症候群 (HUS) を併発する。わ

が国では1991年以降、“Vero 毒素産生性あるいは Vero 毒素遺伝子” (VT) を指標とした VTEC の検出情報を収集してきた。本報告は1991年1月~

表1. 年別病原大腸菌分離数の内訳 1991年~1995年 (地研・保健所集計)

	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年*
EIEC	82(67)	18(11)	69(60)	28(7)	48(37)
ETEC	746(298)	651(402)	741(370)	843(462)	713(367)
EPEC	378(148)	385(108)	387(117)	473(162)	329(142)
その他・不明	125(47)	115(32)	153(42)	71(57)	77(66)
VTEC					
地研・保健所	51	37(1)	103(1)	134(1)	26(1)
医療機関	41	28	22	14	9

() : 輸入例両掲

* 1995年は1~11月までの暫定数

図1. Vero毒素産生性大腸菌月別検出状況, 1991年1月~1995年10月

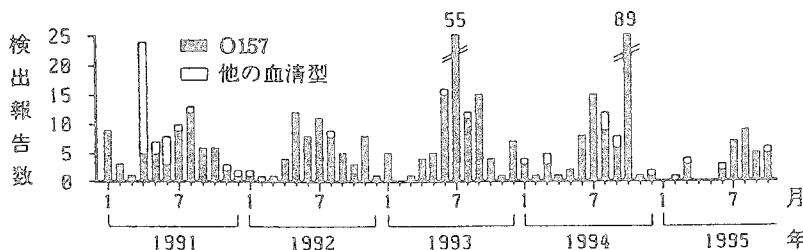


表2. Vero毒素産生性大腸菌の血清型と毒素型

血清型	毒素型 (1991~1994年)				1991	1992	1993	1994	1995年*
	VT1	VT2	VT1+VT2	型別せず					
O157:H7	3	55	281	14	52	60	112	129	26
O157:H-	-	5	10	1	9	1	4	2	3
O157:HNT	-	4	8	5	1	1	7	8	2
O1:H20	1	-	-	-	-	-	-	1	-
O18:H-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
O26:H11	4	-	-	-	2	-	-	2	4
O26:H-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
O26:HNT	2	-	-	-	-	-	-	2	-
O111:H-	3	3	15	1	22	-	-	-	-
O114:H19	-	1	-	-	-	-	-	1	-
O115:H10	1	-	-	-	-	-	1	-	-
O119:HNT	1	-	-	-	-	-	-	1	-
O128:H2	2	-	1	-	2	-	1	-	-
OUT:H19	-	4	-	-	4	-	-	-	-
OUT:H-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
OUT:HNT	2	-	-	-	-	-	-	2	-
	21	72	316	21	92	65	125	148	35

* 1995年12月25日現在報告数

1995年12月末日までに病原微生物検出情報事務局に報告された VTEC 発生状況のまとめである。

1991年1月~1995年11月に全国の地方衛生研究所で検出された VTEC は351であった。これは、同期間に報告された病原大腸菌検出総数6,783の5.2%である。また、同期間に医療機関で検出された VTEC は114であった (表1)。

VTEC の月別検出状況によると、本菌による下痢症は7~8月にピークをもつ夏季多発のパターンを示す。1993年7月および1994年10月の多発は、それぞれ東京都および奈良県における集団発生の影響である (図1)。

検出された VTEC の血清型および毒素型を表2に示した。1991年1月~1995年11月までに検出された VTEC のO血清型は10種類であった。最も多く検出されたのはO157:H7で、82% (379) を占めた。1991~1994年に検出された VTEC 430株は、VT1 およびVT2産生株316 (73%), VT2産生株72 (17%), VT1産生株21 (4.9%) であった。血清型O26は1995年の4株を含む11株すべてがVT1単独産生株であった。

1991～1994年のVTEC検出症例430の年齢分布によると(表3),若年層で多発傾向がみられ,1歳以下40例(9.3%),2～5歳96例(22%),6～15歳223例(52%)であった。最年少は5カ月,最年長は85歳であった。性比は1.02で男性がやや多かった。

VTEC検出症例の臨床症状をみると(表3),HUSは29例(6.7%)で,15名(52%)が5歳以下であった。他に6～15歳が9名,16歳以上で4名が報告された。1995年には死亡例1を含む3例のHUSが報告された。死亡例の報告(本号4ページ参照)は1991年に本集計を開始して以来初めてである。HUS患者から検出されたVTECはすべてO157であった。VTEC O157が検出された症例では血便は32%,下痢は32%,腹痛は35%,発熱は13%にみられ,血清型O157以外のVTEC検出症例ではそれぞれ16%,70%,61%,6.8%にみられた。

1991～94年に報告された430株のVTの検出方法を表4に示した。現在わが国ではPCR法およびRPLA法が汎用されており,1994年にはそれぞれ85%,90%を占めた。RPLA法はキットの市販

表4. Vero毒素産生性およびVero毒素遺伝子検出方法, 1991～1994年

毒素検出法	計	1991	1992	1993	1994年
Vero細胞CPE	227	66	47	95	19
ポリメラーゼ連鎖反応法(PCR)	356	58	59	113	126
逆受身ラテックス凝集反応法(RPLA)	243	13	6	91	133
酵素抗体法(ELISA)	29	28	1	-	-
検出例数	430	92	65	125	148

表5. Vero毒素産生性大腸菌による集団発生 1993年～1995年 (1995年12月25日現在報告数)

No	報告地 地名	検体採取年 月	血清型 (株数)	VT型	主要臨床症状	発生場所 (菌陽性者の年齢)	備考
1	名古屋	93. 4	O157:H7(2)	1 & 2	血便1、保菌者1	乳児園(1, 2歳)	
2	東京都	93. 6-7	O157:H7(52)	1 & 2	血便2、下痢22、保菌者4	小学校(学童47、乳幼児4、成人1)	二次感染有
3	大阪市	93. 8	O157:H7(2)	1 & 2	血便1、保菌者1	家族内: 姉弟(1, 8歳)	
4	東京都	93. 9	O157:H7(9)	2	下痢、一部血便	保育園(園児、家族)	二次感染有
5	熊本県	93. 9	O157:H7(3)	2	下痢1、HUS1、保菌者1、軟便1	家族内: 兄弟(3, 6, 7歳)	
6	山形県	93. 12	O157:H7(6)	1 & 2	血便2、下痢3、HUS2、保菌者3	家族内(2歳1, 成人5)	
7	北海道	94. 3	O157:H7(3)	2	下痢1	家族内: 兄弟(2.5, 8歳)	
8	広島市	94. 7	O157:H7(2)	2	下痢1、保菌者1	家族内: 姉妹(9, 17歳)	
9	福岡県	94. 9	O157:H7(2)	1	下痢1、保菌者1	家族内: 兄弟(0, 3歳)	
10	奈良県	94. 10	O157:H7(87)	1 & 2	腹痛52、下痢24、血便6、保菌者34等	小学校(学童全学年83、教員3、幼稚園児1)	二次感染有
11	浜松市	95. 9	O157:H7(2)	1 & 2	下痢1、軟便1	家族内: 姉弟(3, 11歳)	
12	奈良県	95. 10	O157:H7(2)	1 & 2	下痢2、血便1	親族内: 父子(5, 41歳)	二次感染有

事例2: IASR Vol. 15 No. 6参照、事例4: IASR Vol. 15 No. 8 & Vol. 16 No. 4参照
事例10: IASR Vol. 16 No. 1参照、事例12: 本号3ページ参照

表3. Vero毒素産生性大腸菌検出例の年齢と臨床症状, 1991～1994年

	年齢(歳)						計
	≤1	2-5	6-15	16-39	≥40	不明	
検出例数	40	96	223	32	27	12	430
VTEC O157	35	90	197	30	23	11	386
HUS	4	11	9	2	2	1	29
血便	17	43	37	14	11	3	125
下痢	10	21	72	9	8	2	122
腹痛	1	27	92	7	9	1	137
発熱	7	11	22	4	6	-	50
無症状	5	14	40	5	3	5	72
不詳	2	5	16	-	-	1	24
他の血清型	5	6	26	2	4	1	44
HUS	-	-	-	-	-	-	-
血便	-	3	3	1	-	-	7
下痢	5	2	21	1	2	-	31
腹痛	1	-	25	-	1	-	27
発熱	-	2	1	-	-	-	3
無症状	-	-	1	-	2	-	3
不詳	-	-	-	-	-	1	1

以降急速に普及したが,手技がやや煩雑なELISA法は1993年以降用いられていない。325株(76%)では複数の方法が用いられ,うち123株(29%)はPCRとRPLA, 93株(22%)はPCR, RPLAおよびVero細胞CPEの組合せであった。

VTECによる集団発生は1991年は12例(本月報Vol. 13, No. 7参照), 1992年は5例(本月報Vol. 14, No. 10参照)が報告された。これら17例中11例(65%)が家族内, 4例(24%)が保育園, 2例(12%)が小学校での発生であった。1993～1995年12月末までには12例が報告された(表5)。家族内発生が8例, 保育園あるいは小学校での発生が各2例で, 原因菌は全例VTEC O157:H7

であった。事例2(本月報Vol. 15, No. 6参照)および事例10(本月報Vol. 16, No. 1参照)は小学校で発生し, 二次感染患者も報告された。わが国におけるVTEC集団発生は, 施設内での発生より家族内発生が多い。事例12でも親族内の人から人への感染が強く示唆された(本号3ページ参照)。

わが国ではまた, 散发, 集発を問わずほとんどの事例で感染源の特定がなされていない。今後はVTECによる集団発生においては, 食中毒としての対応のみならず, 感染症としての対策が強く望まれる。

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.2 (No.192)
1996年2月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

SRSV 胃腸炎流行速報：東京都3, 伊勢原市4, ウイルス性胃腸炎事例における RT-PCR 法と電顕法の比較：福岡県5, 貝類からの SRSV 検出：静岡県6, ウイルス性胃腸炎集団発生全国実態調査7, インフルエンザ最新情報：米国8, CMV 感染：英国9, 創傷ボツリヌス：米国9, S. Typhimurium 急性胃腸炎集発：米国9, メリオイドーシス：シンガポール10, 先天性梅毒サーベイランスシステム：米国10, メジナ虫症撲滅へ向けての前進10, AIDS 患者50万人突破：米国11, 世界の HIV/AIDS 流行11, 世界の AIDS 患者数12, 日本の HIV 感染者等の状況12

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> ウイルス性胃腸炎, 1995年10~12月

図1. 感染性胃腸炎と乳児嘔吐下痢症患者報告数の推移 (感染症サーベイランス情報)

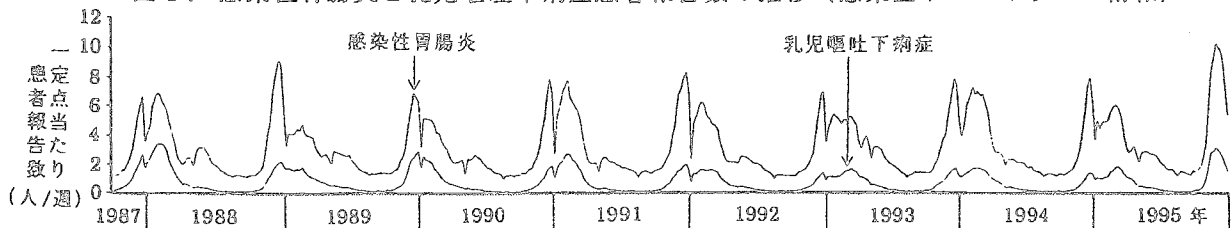


図2. 胃腸炎患者発生報告数の推移, 第4四半期 (感染症サーベイランス情報)

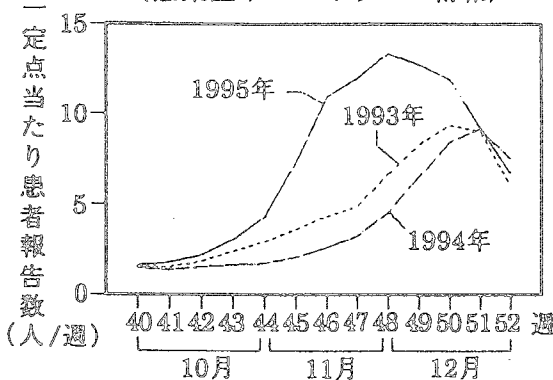
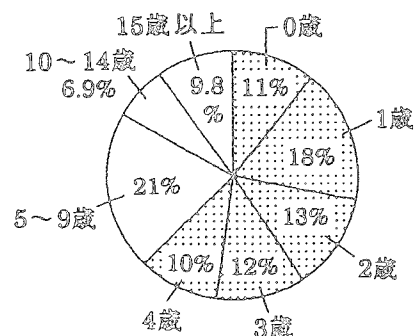


図4. 胃腸炎患者の年齢分布, 1995年第4四半期 (感染症サーベイランス情報)



感染症サーベイランスでは小児科・内科定点の医療機関が胃腸炎患者の発生数を「感染性胃腸炎」と「乳児嘔吐下痢症」に分けて報告している。1987年以降、「乳児嘔吐下痢症」は0~3歳の臨床的にロタウイルス感染を疑う胃腸炎, それ以外の胃腸炎は「感染性胃腸炎」として報告されている。この2疾患は毎年冬季に大きく増加している(図1)。冬季には胃腸炎患者からのロタウイルス, SRSV などの胃腸炎ウイルスの検出報告が増加する(本月報 Vol. 10, No. 4, Vol. 12, No. 5, Vol. 14, No. 3, Vol. 16, No. 2 参照)。本特集ではこの2疾患の患者報告を胃腸炎患者報告としてまとめて解析した。

1995/96 シーズンはこれまでより早い時期に胃腸炎患者報告が増加し始め(図2), 第48週には

1981年の集計開始以来最高に達した。1995年10~12月(第4四半期)の患者報告数は過去の同期を大きく上回った。

1995年第4四半期の都道府県別胃腸炎患者発生状況の推移を次ページ図3に示した。第43週に埼玉, 大分, 第44週に東京, 京都で一定点当たり8人以上に増加し, その後北海道, 沖縄を除く広い範囲に流行が拡大している。ブロック別の患者発生のピークは関東甲信越が第46週, 東海・北陸, 近畿が第48週, 中国・四国, 東北が第49週, 九州・沖縄が第50週であった。患者の年齢は0~4歳が63%を占めた(図4)。

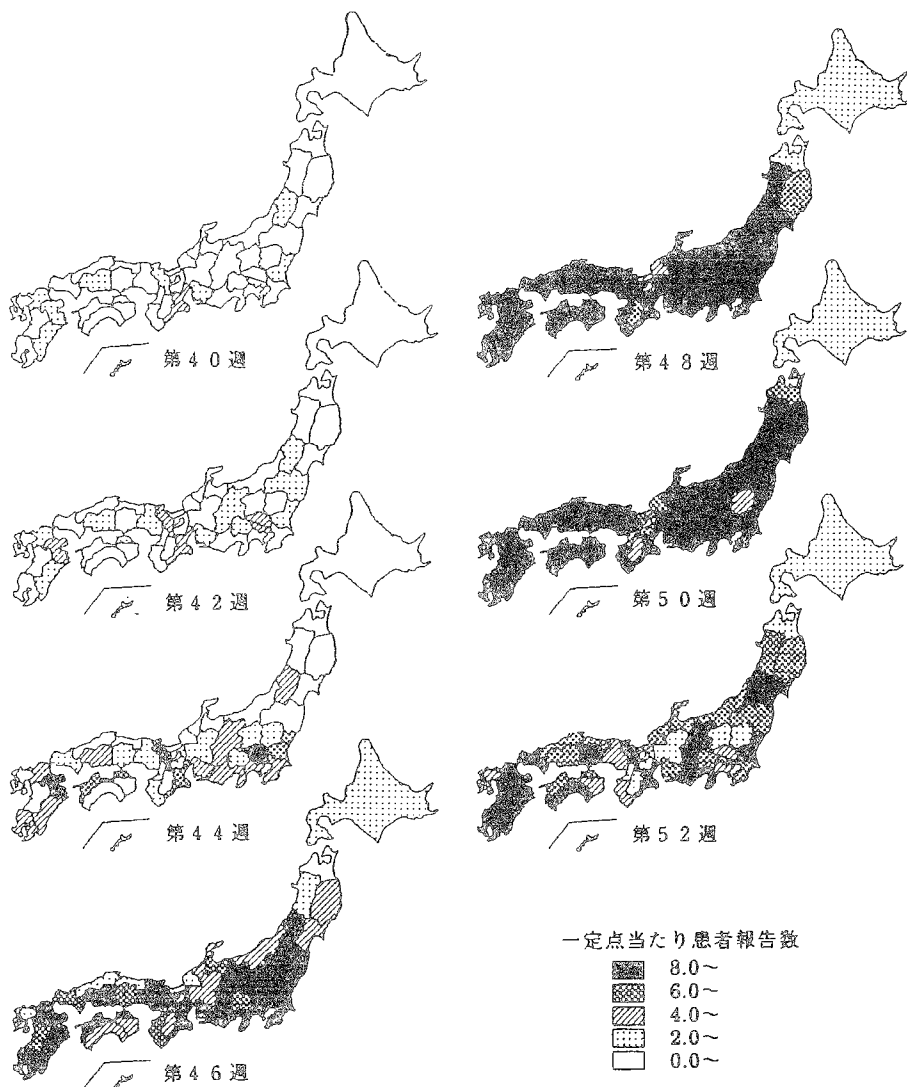
ウイルス検出報告速報: これまでの胃腸炎流行では患者発生の増加に呼応して病原微生物検出情報へのロタウイルス検出報告が増加していたが,

1995年第4四半期の流行ではロタウイルスの検出がほとんど報告されていないことが注目される(表1)。今後ウイルス検出報告は追加されることが見込まれるが、1996年1月22日現在、ロタウイルスは10月に2例、11月に1例から検出されたのみである。

これに対し、1995年10～12月に、埼玉、大阪、広島市、福岡市で小児27例(0歳3例、1歳11例、2歳2例、3歳9例、6歳1例、7歳1例)、成人2例(28歳、31歳)の散発患者から電頭でSRSVが検出されており(本号24ページ参照)、今期の流行はSRSVによるものと思われる。SRSVは食中毒様集団発生を起こすことが知られているが、これまで広域のSRSV胃腸炎患者多発の報告はない。

さらに、千葉(本月報Vol.17, No.1参照)、東京(本号3ページ参照)、神奈川(本号4ページ参照)でも今期の小児の散発患者から電頭やRT-PCRでSRSVが検出された(ロタウイルスは検出されなかった)。患者の臨床症状は回数は少ないが激しい嘔吐が主で下痢に先行してみられたことが報告されている。東京の例では便のみならず吐物からもRT-PCRでSRSVが検出された。

図3. 都道府県別胃腸炎患者発生状況, 1995年第4四半期 (感染症サーベイランス情報)



胃腸炎患者から病原細菌、ロタウイルスやアデノウイルスが検出されない場合、SRSVやアストロウイルスの検索を行うことが必要である。しかし、現時点では電頭に代わる簡便な検査法はまだ確立されていない。

表1. 便からの月別胃腸炎ウイルス検出報告数の推移, 1994年10月～1995年12月(速報)

ウイルス	月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ロタウイルス		6	6	20	81	192	234	136	48	6	2	1	1	2	1	-
SRSV		-	7	29	13	10	3	2	4	3	1	1	1	10	17	2
アストロウイルス		1	1	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
アデノウイルス 40/41型		-	-	1	2	2	-	1	1	-	-	4	1	2	8	-
集団発生例からの検出報告数(別掲)																
ロタウイルス		-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-
SRSV		10	9	22	15	23	4	-	11	-	2	-	-	5	1	-
アデノウイルス 40/41型		-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		17	23	78	112	228	241	139	78	9	5	6	3	19	25	2

(1996年1月22日現在報告数)
 注: 病原微生物検出情報では病原体陽性例のみを収録しており、陰性例の情報は報告されない。

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.3 (No.193)
1996年3月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

エコーウイルス7型の流行：鳥取県3, 1995年のムンプスウイルス検出状況：秋田県4, A型肝炎の集団発生：千葉県5, fluoroquinolone 耐性赤痢国内例6, HIV感染状況(1995年末現在)：日本7, 血液製剤によるA型肝炎：米国10, 患者と供血者のHCVの遺伝子型：カナダ10, 麻疹・風疹：英国10, 小児のワクチン接種率：米国11, 予防接種スケジュール：ヨーロッパ11, 男性薬物依存者のHIV感染リスク行為：米国11, 結核とAIDS同時罹患率：米国12, 髄膜炎菌性髄膜炎：英国12, 毒蕈非産生性ジフテリア菌感染：英国12

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

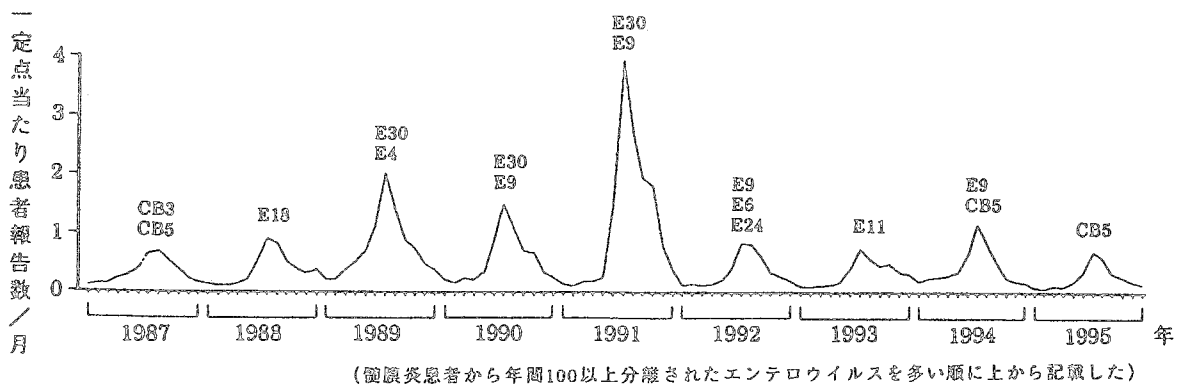
事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

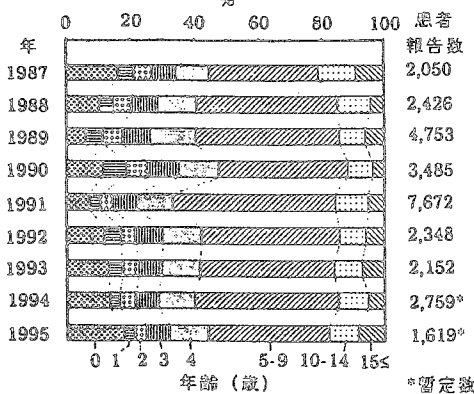
<特集> 無菌性髄膜炎と関連ウイルスの動向 1995

図1. 無菌性髄膜炎患者報告数の推移, 1987~1995年 (感染症サーベイランス情報)



(髄膜炎患者から年間100以上分離されたエンテロウイルスを多い順に上から記載した)

図2. 無菌性髄膜炎患者の年齢, 1987~1995年 (感染症サーベイランス情報)



無菌性髄膜炎はエコー (E), コクサッキー B 群 (CB) のエンテロウイルス, ムンプスウイルスが主な病原体である。日本では例年夏を中心にエンテロウイルスによる無菌性髄膜炎の患者が増加する (図1)。

感染症サーベイランス情報による1995年の無菌性髄膜炎患者報告数は1,619人 (一定点医療機関当たり3.10人) で, 過去最低であった。患者の年齢は0~4歳44%, 5~9歳38%, 10~14歳9.5%, 15歳以上8.5%で, 0歳の割合 (18%) が1987

表1. 髄膜炎患者からのウイルス分離報告 1995年: 速報

ウイルス	髄膜炎患者からの分離報告数	報告総数
CB5	113 (92)	219
E7	75 (58)	217
CB3	69 (46)	375
ムンプス	34 (27)	93
CB4	29 (12)	79
E16	29 (6)	68
E25	20 (10)	76
その他のエンテロ	59 (29)	1,099
その他	12 (1)	8,699
合計	440 (281)	10,925

(): 髄液からの分離再掲
1996年2月20日現在報告数

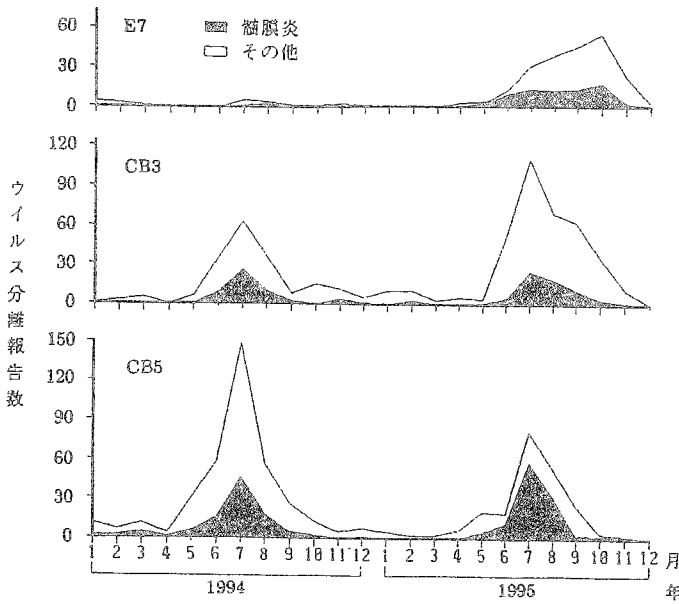
年のサーベイランス開始以来最大であった (図2)。

1995年には, 病原微生物検出情報へ髄膜炎患者440例からのウイルス分離が報告された (1996年2月20日現在報告数)。このうちCB5が113 (26%), E7が75 (17%), CB3が

69 (16%) で, 髄液からの分離はそれぞれ92, 58, 46であった (表1)。1990~1994年に髄膜炎患者からの分離報告が多かったE9は大きく減少した (1994年311→9, 本月報 Vol.16, No.3 参照)。

図3に1995年に髄膜炎患者からの分離報告が多かったCB5, E7, CB3の月別分離報告数を1994年と1995年の2年間について示した。CB3とCB5はともに1994年 (本月報 Vol.16, No.8 参照) に引き続いて1995年も毎月分離が報告され, 報告数のピークは7月であった。1995年にCB3は全国

図3. 月別E7, CB3, CB5ウイルス分離報告数の推移
1994年1月～1995年12月



各地の37機関から375、CB5は25機関から219（うち香川から108）の分離が報告された。E7は1995年4月以降毎月分離が報告され、夏以降も、報告が増加している。鳥取（本号3ページ参照）、福島、鳥根など22機関から217の分離報告があった。

エンテロウイルスの流行季を過ぎてもなお分離報告が続いているE7

の過去の報告機関別分離報告をみると（表2）、1986年に大きな流行があり（本月報 Vol. 8, No. 1参照）、愛知、岐阜などを中心に多数分離された。1987～1992年の報告は全国的に少なかった。1993年には局地的な流行があったが（本月報 Vol. 14, No. 8参照）、1994年の報告は少なかった。

1995年にCB5、E7、CB3が分離された例およびそのうち髄膜炎が報告された例の年齢を図4に示した。CB3、CB5分離例はいずれも0歳が最も多い。また0歳では髄膜炎の報告が多いのに比べ

図4. E7, CB3, CB5ウイルス分離例の年齢, 1995年

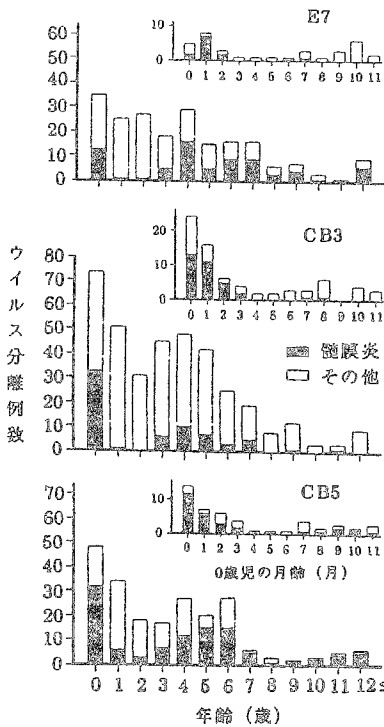


表2. 年別報告機関別E7分離報告数, 1986～1995年

報告機関	1986	1987-92	1993	1994	1995
北海道PHI	-	-	10	-	-
仙台市PHI	1	1	1	-	-
山形県PHI	7	-	-	-	-
福島県PHI	39	1	37	6	29
群馬県PHI	-	1	11	-	-
埼玉県PHI	9	-	-	-	-
千葉県PHI	5	3	-	-	-
東京都PHI	9	-	1	1	-
神奈川県PHI	21	-	-	-	-
横浜市PHI	20	-	-	-	2
川崎市PHI	-	-	-	-	1
新潟県PHI	19	2	-	-	4
富山県PHI	39	-	6	-	-
石川県PHI	76	-	1	-	-
福井県PHI	33	-	-	-	-
山梨県PHI	8	-	-	-	-
長野県PHI	19	-	-	-	-
岐阜県PHI	136	-	-	-	-
静岡県PHI	37	-	-	-	-
愛知県PHI	207	2	-	1	-
名古屋市PHI	107	-	4	-	-
三重県PHI	31	-	-	-	-
滋賀県PHI	93	-	-	-	-
京都府PHI	2	-	-	2	-
京都市PHI	17	-	-	3	4
大阪府PHI	15	-	3	-	-
大阪市PHI	34	-	-	-	3
兵庫県PHI	-	-	-	2	5
奈良県PHI	55	1	-	-	3
鳥取県PHI	100	1	1	-	69
島根県PHI	9	-	1	-	29
岡山県PHI	20	-	-	1	-
広島県PHI	10	-	-	-	7
広島市PHI	40	-	-	1	19
徳島県PHI	16	-	-	-	1
香川県PHI	45	4	-	-	-
愛媛県PHI	75	1	-	-	7
高知県PHI	-	3	-	-	-
福岡県PHI	-	-	-	-	3
福岡市PHI	-	-	-	-	3
北九州市PHI	1	-	-	-	1
佐賀県PHI	-	-	-	-	2
長崎県PHI	107	-	-	-	-
熊本県PHI	4	-	23	2	6
大分県PHI	19	2	-	-	11
鹿児島県PHI	-	-	1	2	-
国立京都病院	1	-	-	-	-
国立仙台病院	48	-	25	-	2
エスアールエル	186	1	2	1	-
三菱化学BCL	-	6	-	-	6
合計	1,720	29	127	22	217

PHI：地方衛生研究所（1996年2月20日現在報告数）

1～2歳では少なく、3歳以上で再び増加している（本月報 Vol. 16, No. 8参照）。E7分離例もCBと同様に0歳では髄膜炎の報告が多いが、1～2歳では少なかった。0歳の髄膜炎患者について月齢を詳しくみると、0～2カ月の割合がE7分離例では85%（11/13）、CB3では88%（29/33）、CB5では66%（21/32）を占め、3カ月以上の占める割合は少なかった。

秋から冬にかけてのウイルス分離についてはまだ速報であり、これから報告が追加されると思われる。1995年夏以降に分離報告が増加しているE7の今後の動向が注目される。

病原微生物検出情報

月報

Vol. 17 No. 4 (No. 194)
1996年4月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

V. cholerae O139 抗血清に凝集を示す *V. metschnikovii* 3, 海外渡航者の *S. boydii* による赤痢: 山形県 3, 輸入感染症と思われるレプトスピラ症: 沖縄県 4, 山梨県における日本住血吸虫流行終息宣言 4, 平成 7 年国内におけるコレラ発生状況 7, 輸入コレラ: 英国 12, 狂牛病: 英国 12, エボラ出血熱: ガボン 12, 1996/97 シーズン用インフルエンザワクチン推奨株: WHO 13, 日本のエイズ患者・HIV 感染者の状況 13

(禁、無断転載)

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> コレラ 1994~1995年

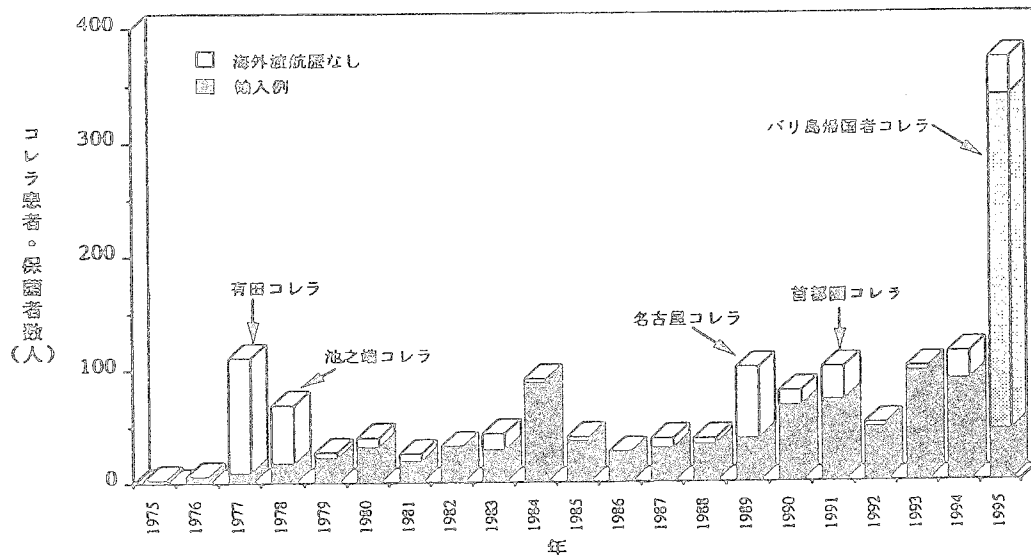


図1 わが国におけるコレラ発生事例 (厚生省エイズ結核感染症課)

1961年頃から、スラウェシ(旧セレベス)島に起源をもつエルトールコレラが近隣諸国へと蔓延しだし、瞬く間にタイ、バングラデシュ、インドへと広がった。これがコレラの第7次パンデミーの始まりである。その後このエルトールコレラは東南アジア全域、アジア、中近東、アフリカ、欧米さらに中南米へと拡大し、この流行が始まってから35年にもなるが、いまだ終息する兆しが見られない。

わが国におけるコレラの発生は1976年以前には東南アジアやインドなどのコレラ流行地からの帰国者にほとんど限られていたが、1977年以降には海外渡航歴の全くない人びとにもその発生が見られるようになった(図1)。

コレラの国内集団発生で話題となった事例としては、1977年にコレラ汚染地からの帰国者がその原因とされたコレラ集団発生が和歌山県有田市に起こり、翌1978年には東京の結婚式場に出された

ロブスターが原因食となったコレラ流行を経験した。1989年には名古屋市を中心とした集団発生があり、患者は愛知県、愛媛県、京都市、東京都、静岡県、群馬県、新潟県と広範囲にまたがった。1991年には首都圏コレラ事件が発生し、東京湾で捕れたアオヤギがその発生源としてマスコミで騒がれ、コレラパニックを起こした。

1994年に発生したコレラ事例数は114で、輸入例90(79%)、海外渡航歴のない国内発生事例24(21%)であった。その発生数は前年(102)をやや上回ったが、特に国内散发事例の増加が目立った(1993年3名;1994年24名)。

1995年には、その総発生事例数が372と異常な増加を示した。これらのうち、輸入例は341(92%)、国内発生例31(8%)であった(本号7ページ参照)。この発生数は、わが国がエルトールコレラの侵入をうけて以来、最高の数値である。

従来から、エルトールコレラの発祥の地である

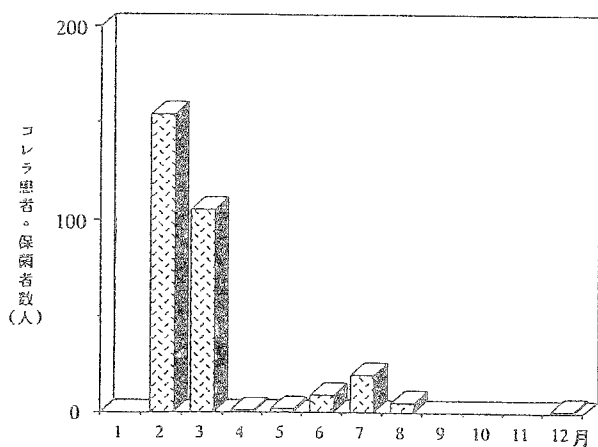


図2 バリ島帰国者コレラの月別発生状況(1995年)
(厚生省エイズ結核感染症課)

インドネシアからの帰国者の間では、コレラ患者の発生がしばしば見られており、1985年20名、その後1991年39名、1992年8名、1993年16名、1994年25名と毎年コレラ患者が頻発していた。

ところが、1995年2月以降バリ島への観光ツアー帰国者の間にコレラ患者が爆発的に発生し、12月末までに患者(278名)および保菌者(18名)を併せて296名にも達し、その発生は37都道府県に及んだ。特に2月(154事例)および3月(105事例)の2カ月の間に、バリ島帰国者コレラの88%(259事例)が集中的に発生した(図2)。しかしながら、4、5月にはこのバリ島由来のコレラ事例は激減した。その後6月9事例、7月19事例、8月5事例と再びやや増加の傾向を示したものの、9月以降の発生は1事例のみであった。このバリ島帰国者コレラは1995年の全コレラ罹患患者(372名)の80%を占めた。

なお、オーストラリアでもバリ島で罹患したコレラ患者(3名)の報告があり(本月報 Vol. 16, No. 10, 1995参照)、バリ島では1995年当初よりコレラが潜在的に蔓延していたものと推察される。

一方、海外渡航歴の無い国内散发事例は、前年から増加の傾向にあったものが、1995年にはさらに増加した(31事例)。1995年の検疫所で実施された魚介類のコレラ菌検査(17,001件)で、2検体(いずれもインド産のエビ)からコレラ毒素産生性コレラ菌が検出されており、検疫の目をくぐり抜けたコレラ菌の汚染を受けた輸入魚介類がこれらの散发事例に関与している可能性は否定できないであろう。また、散发事例の増加はコレラ集団発生を引き金になることは十分予測され、今後これらの動態についてはさらなる監視が必要である。

わが国における *Vibrio cholerae* O139 の発生状況: 1992年後半にインドで発生した *V. cholerae* O139による新型コレラの大流行は、瞬く間に近隣諸国へ波及し、早くも翌1993年には東南アジアへと拡大して行った。

1993年、わが国でもインド亜大陸からの帰国者(2名)および来訪者(1名)の下痢症から *V. cholerae* O139 が分離された。翌1994年には8事例が認められ、それらのうちの2事例はインド、1事例はバングラデシュからの帰国者、4事例はタイ、また残りの1事例は中国への旅行者から分離された。しかしながら、1995年に入ってから全くその発生を見ていない。表1は1994年5月以降に報告された4事例の要約を示した(なお、それ以前の事例については本月報 Vol. 15, No. 6, 1994に掲載されている)。

現在インド亜大陸では、*V. cholerae* O139によるコレラは減少傾向にあるが、タイを始めとする東南アジア諸国や中国などではその流行が拡大しているものと考えられることから、今後ともその発生の動向については十分な監視が必要であろう。

表1. わが国で検出された *Vibrio cholerae* O139* (1994年5月~1995年12月)

報告機関名	検体採取年月日	CT産生性(検出方法)	年齢・性別	臨床症状	海外渡航先
川崎市衛研	94. 8. 5	+ (RPLA)	23歳・女	水様性下痢	インド
栃木県衛研	94. 8. 6	+ (RPLA)	64歳・男	嘔吐、下痢	バングラデシュ
東京都衛研**	94.10.11	+ (PCR)	28歳・男	下痢、頭痛	インド
成田空港検疫所	94.10.21	+ (RPLA)	60歳・男	水様性下痢	中国

* いずれも散发事例

** *Shigella sonnei* およびカンピロバクターも同時検出

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.5 (No.195)
1996年5月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

アデノウイルス7型による急性呼吸器疾患の集団発生：山梨県3, アデノウイルス7型の分離：札幌市4, アデノウイルス7型の分子疫学：広島市4, アデノウイルス7型による死亡例について6, 髄液からのインフルエンザウイルスAソ連型の分離：奈良県6, エコーウイルス33型による細菌性髄膜炎：群馬県7, 鶏卵が汚染源とみられる S. Enteritidis 大規模集団食中毒：青森県8, レプトスピラ症患者の血清型：沖縄県9, BSEとV-CJD:WHO10, 供血者の HIV-1 抗原試験とカウンセリングに対する指針：米国11, 髄膜炎細菌性髄膜炎：アフリカ11

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検査所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> アデノウイルス7型の出現, 1995

日本では1994年までわずかであったアデノウイルス7型 (Ad7) の分離報告が、1995年以降全国各地から相次いでいる。Ad7は3型 (Ad3) と同じB亜属アデノウイルスで、Ad3と同様に結膜、咽頭、肺、腸管など多臓器で増殖するため多彩な症状を起こす。特に心臓、肺に基礎疾患のある小児に致命的な呼吸器疾患を起こす (CDC, MMWR, Vol. 32, No. 19, 1983; その抄訳は本月報第44号, 1983)。英国では1971年以前には稀であったAd7の分離が1972年に増加し始め、1973~74年に大流行し、その後3~4年毎に繰り返し流行したと報じられている (CDSC, CDR, 84/23, 1984; その抄訳は本月報第54号, 1984)。

本特集では病原微生物検出情報に報告されたAd7分離例をまとめ、臨床症状と年齢分布を近縁ウイルスであるAd3分離例と比較した。

日本ではアデノウイルス分離が毎年多数報告され、Ad3がその約3分の1を占めている (本月報 Vol. 15, No. 5 参照)。1980~1993

年の14年間にAd3の分離報告は7,187であるのに対し、Ad7はわずか30例で、1992年に愛知衛研から12例が報告されたのが最高数であった (表1) (本月報 Vol. 16, No. 1 参照)。

Ad7は1994年には全く分離報告がなかったが、1995年に入って、5月に広島市で分離されたことが始めに報告された (本月報 Vol. 16, No. 11 参照)。6月には山梨から高熱を伴うインフルエンザ様疾患の寄宿舍内集団発生が初めて報告された (在寮者202名中発症者145, 入院患者31) (本号3ページ参照)。1995年7月以降も毎月Ad7の分離報告

表2. 月別報告機関別アデノウイルス7型分離報告数, 1995年4月~1996年2月

報告機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
札幌市PHI	-	-	-	-	-	-	1	2	5	1	6	15
秋田県PHI	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県PHI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
横浜市PHI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県PHI	-	-	11*	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府PHI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県PHI	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	5
岡山県PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
広島市PHI	-	1	1	4	3	8	5	9	12	6	1	50
エスアールエル	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	4
合計	1	1	15	5	9	9	7	11	17	7	8	90

PHI: 地方衛生研究所 * 集団発生日 (1996年4月23日現在報告数)

表1. 年別報告機関別アデノウイルス7型分離報告数, 1980~1996年

報告機関	年																	合計
	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	
札幌市PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	7	15
秋田県PHI	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
神奈川県PHI	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
横浜市PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山梨県PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11*	-	11
長野県PHI	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	12
名古屋市PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
京都府PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	4
京都市PHI	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
奈良県PHI	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	5	-	-	7
岡山県PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
広島市PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	7	50	
北九州市PHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
国立京都病院	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
エスアールエル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4
合計	1	1	1	1	-	1	1	4	2	-	-	15	3	-	75	15	120	
アデノ3型合計	96	476	147	468	720	154	413	932	284	482	652	697	567	462	647	429	18	7,634

PHI: 地方衛生研究所 * 集団発生日 (1996年4月23日現在報告数)

表3. アデノウイルス7型・3型分離例の臨床症状
1995年4月～1996年2月

	7型	3型
例数* (%)	86 (100.0)	379 (100.0)
発熱	75 (87.2)	323 (85.2)
角膜炎・結膜炎	16 (18.6)	109 (28.8)
上気道炎	59 (68.6)	262 (69.1)
下気道炎 (肺炎を含む)	12 (14.0)	42 (11.1)
胃腸炎	23 (26.7)	71 (18.7)
関節・筋肉痛	8 (9.3)	3 (0.8)
リンパ節腫脹	1 (1.2)	10 (2.6)
発疹	2 (2.3)	12 (3.2)
髄膜炎	-	5 (1.3)
その他	12 (14.0)	63 (16.6)

*臨床症状不詳を除く。2つ以上の臨床症状が報告された例を含む。1996年4月23日現在

があり、これまでに10機関から計90例が報告されている(表2:1996年4月23日現在報告数)。

Ad7が分離された90例中臨床診断名が報告されたのは76例であった。うち64例(84%)が呼吸器に関連した疾患で(インフルエンザ様疾患24, かぜ症候群20, 咽頭結膜熱9, 気管支炎5, 肺炎4, 異型肺炎1, ヘルパンギーナ1), その他は流行性角結膜炎4, 結膜炎2, 感染性胃腸炎4, 腸重積1, 筋炎1であった。

Ad7分離例90例中臨床症状が報告された86例と同期間のAd3分離報告379例を表3に示した。Ad7分離例では発熱が87%, 上気道炎が69%, 下気道炎が14%にみられ, Ad3分離例と同様の割合であった。しかし, 最高体温を比較すると(図1), Ad7分離例の方が高熱を呈したものが多く, 40℃以上が38%を占めた(Ad3分離例は25%)。

臨床診断名および臨床症状の記載より下気道炎があった例を第1のグループ, 下気道炎はなかったが上気道炎があった例を第2のグループ, 上気道・下気道炎はなく結膜炎があった例を第3のグループ, 胃腸炎のみがあった例を第4のグループとしてAd7とAd3分離例の年齢分布を比較した(図2)。下気道炎グループのAd7分離例は5歳以下に分布しておりAd3分離例と同様の傾向である。結膜炎グループのAd7分離例は10歳以上に分布しており, Ad3分離例と同様に幅広い年齢の成人も含まれている(本号4ページ参照)。上気道炎グループはAd3分離例が4歳をピークに1峰性に分布しているのに対し, Ad7分離例は2峰性の分布を示した。この中には山梨の集団発生例(15~24歳11例)が含まれている。

Ad7が分離された検体の種類は鼻咽喉ぬぐい液64, 鼻咽喉ぬぐい液+便13, 眼ぬぐい液9, 便2, 鼻咽喉ぬぐい液+眼ぬぐい液1, 鼻咽喉ぬぐい液

図1. アデノウイルス7型・3型分離例の最高体温の分布
1995年4月～1996年2月

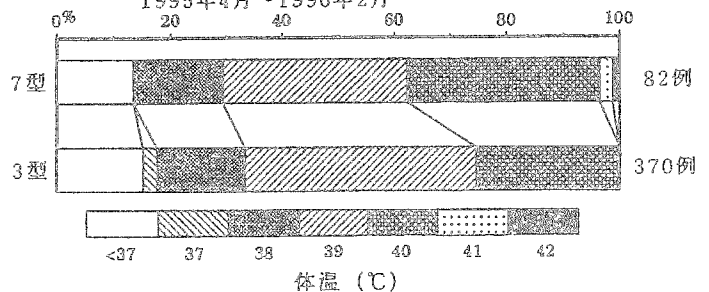
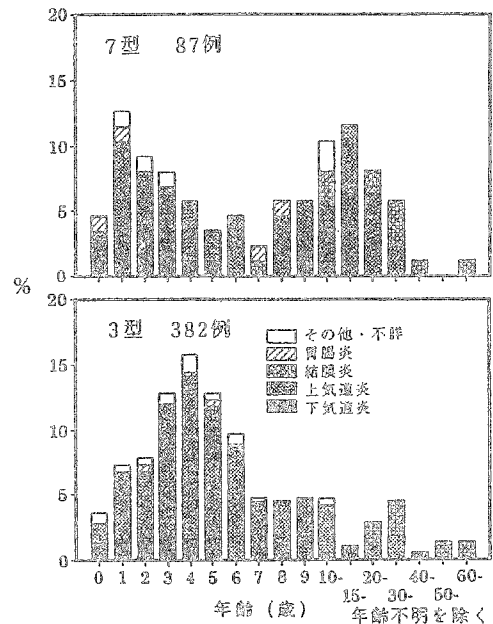


図2. アデノウイルス7型・3型分離例の年齢
1995年4月～1996年2月



+便+尿1であった。

アデノウイルスは便中に長期間排泄されるので, 他人への感染源となりうる。このため迅速診断が必要で, 迅速診断には市販 ELISA キットで便および咽頭ぬぐい液中のアデノウイルス抗原の直接検出が可能である(広島市衛研による)。分離されたアデノウイルスの型同定用の抗血清はデンカ生研から市販されている。

編集委員会註: 昨年5月のAd7分離報告以来このウイルスの動向に注目してきたところ, 本年3月に当情報事務局に千葉県 の病院から, 2人の死亡した乳幼児からAd7が分離されたとの報告があった(分離同定は民間検査所で実施)。厚生省エイズ結核感染症課は4月8日付で都道府県・指定都市にAd7に対する注意を喚起するよう文書で連絡した(本号6ページ参照)。

アデノウイルスの消毒: 次亜塩素酸ソーダで不活化されるが, 逆性石鹼には抵抗性である。70%よりも90%エタノールの方が消毒効果が高い。イソプロパノールは無効。

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.6 (No.196)
1996年6月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

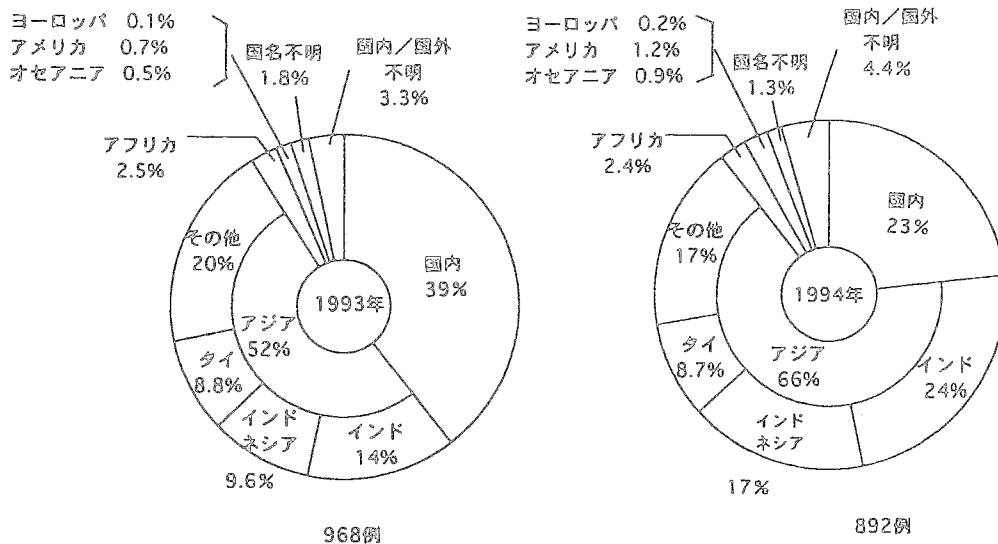
(禁、無断転載)

*S. flexneri*新血清型88-893による赤痢:山形県3, わが国における新血清型赤痢菌検出例4, 1996年冬期に大流行したエコー4による無菌性髄膜炎:大阪府4, SRSV胃腸炎集団発生と二次感染:北海道5, 海外旅行者から検出されたメニール鞭毛虫6, BSEとV-CJD 6, 飲料水の汚染によるソネネ赤痢菌の発生:米国9, *S. Enteritidis* PT21b:英国9, ジフテリアの流行:タイ9, パンコマイシン耐性腸球菌:米国10, エボラ出血熱終息宣言:ガボン10, HIV-1/HIV-2抗体の再検査:英国10, ヒトの狂犬病:米国10, 旋毛虫症の発生:米国11, 日本のエイズ患者・HIV感染者の状況11

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> 細菌性赤痢 1993~1995

図1 感染地別細菌性赤痢患者数 1993年、1994年



厚生省大臣官房統計情報部の伝染病統計によると、1993年および1994年の2年間に伝染病予防法に基づいて届けられた赤痢患者は、1993年は総数1,120人で、細菌性赤痢968(86%)、アメーバ性赤痢152(14%);1994年は総数1,042人で、細菌性赤痢892(86%)、アメーバ性赤痢150(14%)であった。

図1は細菌性赤痢の感染地別患者数を示したものである。1993年および1994年の国内感染例はそれぞれ39%および23%であった。輸入感染地別ではアジア地区がそれぞれ52%および66%で、アジア地区からの輸入例がその大半を占めたのは例年どおりであった。両年ともインド、インドネシアおよびタイの順で上位を占めたが、この順位はそれ以前までとはかならずしも同じではなかった(平成2年伝染病統計参照)。

細菌性赤痢患者の年齢分布では、両年とも20~

29歳が最も多く、全体の約半数を占め、次いで30~39歳および0~9歳がそれぞれ10%前後で続いた。

1994年および1995年における病原微生物検出情報(地研・保健所集計)の赤痢菌の月別検出状況によると、その検出ピークは1994年は4月および12月、1995年は11月であった。また、そのピークはソネネ菌(*Shigella sonnei*)の検出とよく一致した(図2)。

1994年および1995年に病原微生物検出情報に報告された細菌性赤痢集団発生事例によると、この期間に発生した10事例中5事例は*S. sonnei*がその原因であった(表1)。

都市立伝染病院に入院した細菌性赤痢患者の主な臨床症状を、国内例、輸入例別に表2に示した。いずれも主症状は腹痛と水様便であった。

図1にみられるように、わが国における細菌性

赤痢の多くは、国外からの輸入感染によることが示唆された。

1994年および1995年の2年間に病原微生物検出情報に細菌性赤痢の事例報告として掲載されたものは次のとおりである。

(1) ペット用サルに起因した赤痢のヒトへの感染事例で、その疫学調査、薬剤感受性および病原性因子の解明により、サルからヒトへの感染が証明された(本月報 Vol. 15, No. 1 参照)。

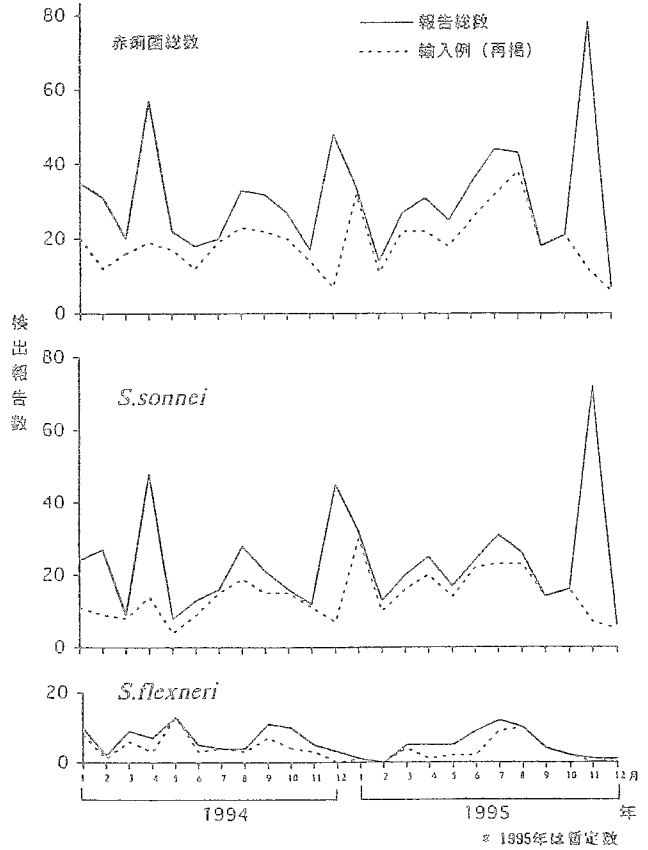
(2) 家族内感染事例で、初発患者は女兒(7歳)で、敗血症性ショックと診断され、2病日の便から *S. flexneri* 2a が分離された。その後の疫学調査で、母親、祖母も発病し、両者からも同一菌が分離された。しかしながら、感染源の特定はできなかった(本月報 Vol. 15, No. 6 参照)。

(3) 千葉、埼玉および茨城の3県にまたがる赤痢の国内感染例で、真性赤痢41人、疑似赤痢15人、合計56人が発症し、原因菌は *S. sonnei* が検出された。本事例は複数の県にまたがったの発生例で、その後の疫学調査の困難さが指摘された(本月報 Vol. 16, No. 4 参照)。

(4) わが国における最初の fluoroquinolone 耐性赤痢菌による散発事例報告で、今後の当該菌の監視と全国的な疫学調査の必要性が指摘されている(本月報 Vol. 17, No. 3 参照)。

(5) *S. boydii* による海外渡航者の集団事例で、

図2 月別赤痢菌検出状況(地研・保健所集計)



ツアー同行者18名中5名に発症がみられたが、家族内での二次感染は認められなかった。近年の海外旅行の増加にともなう輸入感染症に対して、改めて関係者の衛生教育・指導の強化を指摘している(表1事例9および本月報 Vol. 17, No. 4 参照)。

表1. 細菌性赤痢集団事例 1994年, 1995年

事例	原因菌	発生期間	報告機関	発生施設	患者数	菌陽性者数		備考
						患者数	被験者数	
1	<i>S. sonnei</i>	94.1.14-19	千葉県	精薄施設	5	5/	105	
2	<i>S. sonnei</i>	1.19-28	福岡県	不明	5	5/	?	コリシン6型
3	<i>S. sonnei</i>	1.24-29	横浜市	幼稚園	14	14/	291	コリシン6型
4	<i>S. flexneri</i> 2a	8月下旬-9月	岩手県	不明	6	4/	236	
5	<i>S. sonnei</i>	12.14	山形県	家庭	9	4/	8	
6	<i>S. flexneri</i> 3a	95.3.31	佐賀県	不明	4	2/	27	
7	<i>S. flexneri</i> var. X	5.20	福島県	不明	6	3/	35	
8	<i>S. sonnei</i>	11.13	岩手県	不明	79	68/	4,104	
9	<i>S. boydii</i>	11.29	山形県	不明	不明	4/	61	インドネシアツアー
10	<i>S. flexneri</i> 2a	12.2	山形県	不明	1	1/	4	

表2. 細菌性赤痢の臨床症状(都市立伝染病院, 1994年, 1995年)

	由来	例数	腹痛	悪心	嘔吐	便回数 (平均)	便性状					
							軟便	泥状	水様	血液	膿	粘液
1994年	国内例	60	75%	31%	20%	10.8	8%	18%	71%	36%	8%	18%
	輸入例	265	63%	28%	18%	8.8	7%	14%	80%	16%	2%	13%
1995年	国内例	33	65%	34%	25%	11.2	9%	16%	75%	44%	0%	13%
	輸入例	243	57%	23%	13%	8.9	4%	14%	82%	16%	2%	12%

病原微生物検出情報

月報

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

病原性大腸菌 O157 による食中毒等の発生状況 (速報) 3, 病原性大腸菌 O157 による集団発生速報: 広島県 5, 岐阜市, 愛知県 29, O157 に関する厚生省の通知 5~7, 食品衛生調査会食中毒部会資料 7, 鶏卵調理食品による S. Enteritidis 食中毒: 青森県 9, 海外渡航者のチフス等集発: 静岡県 10, ゴケグモ: わが国の状況と対策 11, 毒性分析 12, 大腸菌 O157 の流行: 米國 13, 濁水園大腸菌 O157 の流行: 米國 14, ラッサ熱の流行: シエラレオネ 14, 事務局からのお知らせ 14

Vol.17 No.7 (No.197)
1996年7月発行

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山 1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> 腸炎ビブリオ 1994~1995

かつては細菌性食中毒の半数近くを占め、常に首位の座に君臨していた腸炎ビブリオが、1992年~1993年にかけて激減し、その事例数および患者数がともにサルモネラに追い抜かれた。これは、サ

ルモネラ・エンテリティディスに汚染した輸入ヒナに起因する卵によるサルモネラ食中毒の患者数の激増によるものである。

1994年、再び腸炎ビブリオが事例数においてサルモネラをやや上回り、翌1995年にはさらなる増加の傾向が見られた。しかしながら、患者数においては、依然としてサルモネラによるものが群を抜いている(図1, 2; 厚生省大臣官房統計情報部「食中毒統計」による)。このことは、最近のサルモネラ食中毒の発生規模が極めて大型化する傾向にあることを示している。

「食中毒統計」によると、1994年の食中毒発生事例総数は830件(対前年比151%)、患者総数は35,735人(対前年比139%)、死者2人(2例とも自然毒による; 対前年比20%)であった。これらのうち、原因物質が判明した事例数は709件、患者数は29,894人であった。そのうちで、腸炎ビブリオによる事例数は224件(32%)で、次いでサルモネラによるものが205件(29%)であった。しかしながら、患者数では腸炎ビブリオに起因したものが5,849人(20%)であったのに対し、サルモネラによる患者数は14,410人(48%)と、腸炎ビブリオによるものを大きく引き離している。

図1 主な細菌別みた事例数の年次推移(1985-1995)
(統計情報部「食中毒統計」)

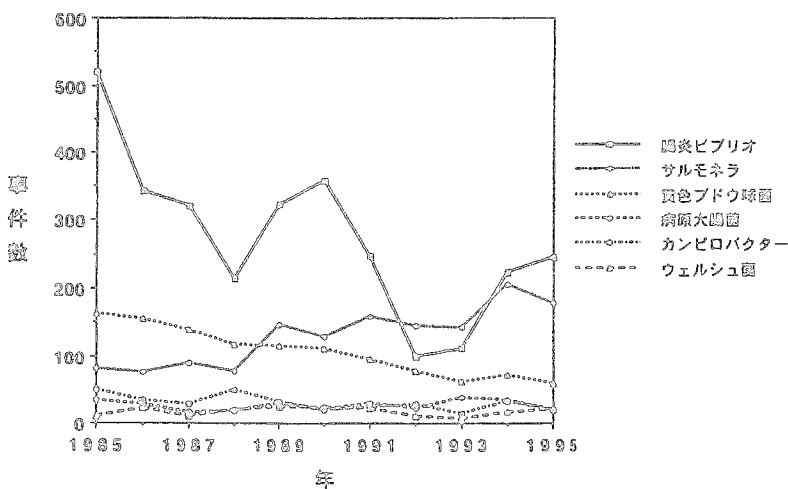
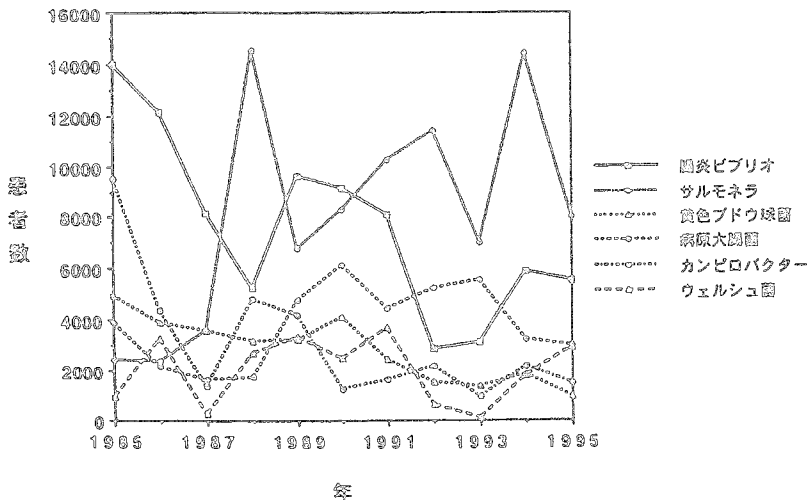


図2 主な細菌別みた患者数の年次推移(1985-1995)
(統計情報部「食中毒統計」)

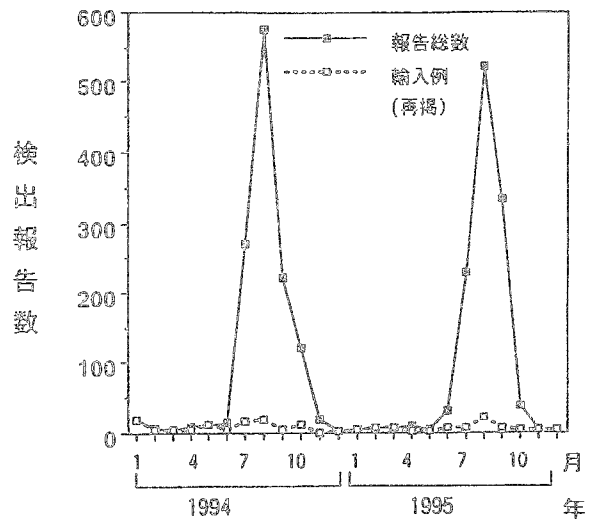


翌1995年は、食中毒発生事例総数699件（対前年比84%）、患者総数26,325人（対前年比74%）、死者5人（3例は自然毒、2例はそれぞれサルモネラおよび黄色ブドウ球菌による；対前年比250%）で、事例数および患者数ともに減少した。原因物質の判明した事例は627件で、それらの患者数は22,660人であった。そのうちで、腸炎ビブリオによる事例は245件（39%）、患者数は5,515人（24%）であり、またサルモネラの事例数は179件（29%）、患者数は7,996人（35%）であった。前年と同様、腸炎ビブリオは事例数ではサルモネラをかなり上回ったものの、患者数においては前年ほどではないが、かなり水をあけられている。

1994年および1995年に地研・保健所から報告されたヒト由来腸炎ビブリオの総数は、それぞれ1,280（内輸入例108）、1,304（内輸入例85）であった。さらに、1994年に検出された腸炎ビブリオの月別報告数をみると、7月（271；21%）、8月（577；45%）、9月（222；17%）に多発し、また1995年においても7月（230；18%）、8月（624；48%）、9月（335；26%）に多くの報告がみられ、両年とも従来（本月報 Vol. 15, No. 8, 1994参照）同様、8月にピークを持つ夏季多発の傾向を示している（図3）。

1994年および1995年の2年間に、病原微生物検出情報に報告された腸炎ビブリオ集団発生のうちで、患者数が10人以上の事件について、その規模別の発生状況を表1に示した。この2年間の当該事件数は1994年79件、1995年78件、計157件で、それらのうち121件（77%）は患者数が10～49人の小規模事例であった。一方、前回の特集・腸炎ビブリオ（本月報 Vol. 15, No. 8, 1994）によれば、1987～1993年の7年間に発生した患者数10人を超した集団発生事例（533件）のうち、患者数が10～49人の小規模事例の占めた割合は82%であった。これは、今回のここ2年間の傾向とそれ

図3 月別腸炎ビブリオ検出状況(1994-1995)



ほどの変動は見られなかった。一方、患者数101～400人の大規模事例が11件報告されているものの、500人以上の超大型の事例は見られなかった。

一方、わが国における最近の食中毒は、患者数が500人あるいは1,000人を超える超大規模事例がしばしば発生し、大型化の傾向にある。また、これらの大規模事例の過半数は学校給食がその原因となっているが、近年腸炎ビブリオによる学校給食での食中毒事例の報告は全く見られていない。わが国の腸炎ビブリオ食中毒は比較的小規模な発生に限局する傾向にある。

患者数10人以上の集団発生事例に係わった腸炎ビブリオ分離菌株の血清型のうち、O4:K8が1994年には38件（48%）から、また1995年では19件（24%）からと、いずれの年も極めて高頻度に分離されている。このことは、前報（1987～1993年）の当該事例におけるO4:K8の分離状況（26%）と同様の傾向にあり、血清型O4:K8がわが国の腸炎ビブリオ食中毒の最も重要な血清型であることを示唆している。

表1. 腸炎ビブリオ食中毒の規模別事件数、1994～1995年

年 \ 患者数	400-101	100-50	49-10	合計
1994	8	11	60	79
1995	3	14	61	78
合計	11 (7%)	25 (16%)	121 (77%)	157 (100%)

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.8 (No.198)
1996年8月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

O157 集団発生: 堺市 (遠報) 3, O157 による食中毒等の発生状況 3, 腸管出血性大腸菌に関する研究の概要 11, S. Thompson 食中毒事例: 群馬県 12, プタ綱虫による幼虫移行症: 九州 12, 小児科病棟入院患者の RSV 抗原検出: 神戸市 13, クリプトスポリジウム症: 米国 14, 世界の HIV/AIDS 流行の現状 15, ヨーロッパパッケージ旅行協同会とレジオネラ 15, AIDS 世界の情勢 16, 日本のエイズ患者・HIV 感染者の状況 16, 事務局からのお知らせ 15

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山 1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検査所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<遠報> 腸管出血性大腸菌 O157:H7 の集団発生, 1996

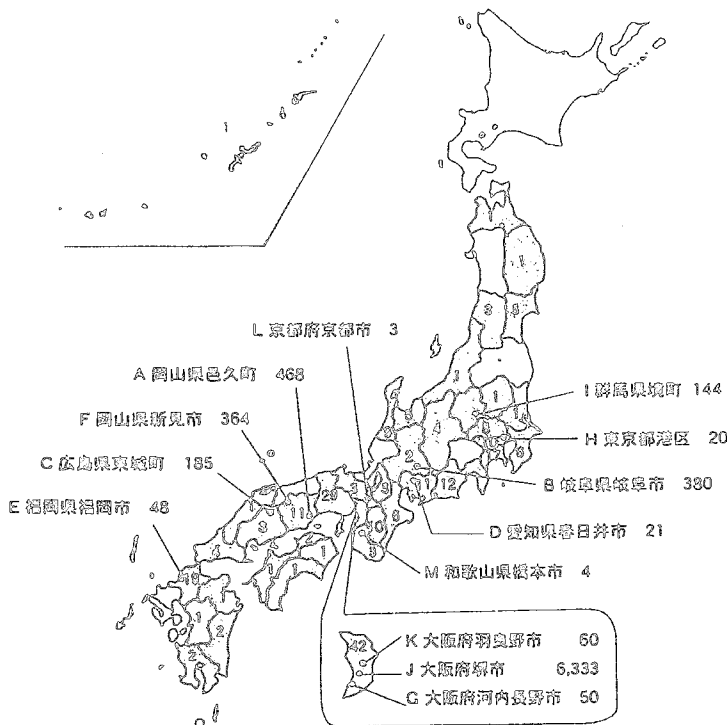
Vero 毒素を産生する大腸菌を一括して Vero 毒素産生性大腸菌 (Verotoxin-producing *E. coli*; VTEC) と総称し、このうちで出血性大腸炎を起こすカテゴリーのものを腸管出血性大腸菌 (Enterohemorrhagic *E. coli*; EHEC) という。出血性大腸炎 (Hemorrhagic colitis) やそれに続発する溶血性尿毒症症候群 (Hemolytic Uremic Syndrome; HUS) を引き起こす原因物質としては、EHEC が産生する Vero 毒素 (Verotoxin; VT) が最も重要である。なお、EHEC に含まれる血清型は O157:H7 だけではなく、それ以外の血清型、例えば O26:H11, O91:H21, O111:H-, O113:H21, O145:H-

などがある。

本年5月28日、岡山県邑久町の小学校において腸管出血性大腸菌 O157:H7 による患者数468人の集団食中毒が発生し、そのうち2名の児童が HUS を併発し死亡した。この事件に引き続き、広島県、岐阜県、愛知県等でも該菌による集団食中毒が続発し、マスコミも連日のように大きく取り上げ、広く一般の人びとの関心を集めていた。その後、それらの事件もどうにか収まりかけていた矢先、7月13日大阪府堺市の小学校で O157:H7 による今までに類を見ない極めて大規模な学校集団食中毒が発生し、7月22日現在、患者学童は6,176名、学童の重症者77名、うち19名が重体、2名が危篤状態となる深刻な事態に陥っている。

腸管出血性大腸菌 O157:H7 は、1982年～1983年に、米国およびカナダで発生した下痢便中に明らかな血液の混在が見られた食中毒の際に、初めて発見された下痢原性大腸菌であり、それ以来現在までに米国とカナダで20件以上の集団発生が確認されているが、その事例のほとんどがハンバーガーまたは牛挽肉が原因食であった。一方、わが国においても1990年10月、埼玉県浦和市の幼稚園で O157:H7 に汚染された井戸水が原因となった集団下痢症が発生し、2名の園児が HUS で死亡した。今までに、わが国で O157:H7 による事例は、集団および散発を含め、多くの事例が報告されている (本月報 Vol. 14, No. 10, 1993; Vol. 17, No. 1, 1996 参照)。今や腸管出血性大腸菌 O157:H7 による感染症は、わが国においてはそれほど稀な疾病ではないものと認識しなければならぬであろう。

図1. 腸管出血性大腸菌 O157 による食中毒等の発生状況 (1996年7月22日18時現在) 厚生省生活衛生局食品保健課



○ 地図中の数字は発生患者数
□ 集団発生例についているアルファベットは図1と対応

岡山県邑久町の集団発生事例以降の腸管出血性大腸菌O157による食中毒等の発生は、1都2府36県から報告があり(図1)、有症者累計8,314名で、現在入院中565名、5名が死亡した。その内訳は以下のとおりである(1996年7月22日現在、厚生省生活衛生局食品保健課)。

(1) 都道府県等から厚生省に食中毒として報告のあったもの: 1都2府13県から報告があった。有症者累計は8,004名で、現在496名が入院中であり、4名が死亡した。集団発生13事例の要約を表1に示した。5月28日に岡山県邑久町に端を発した腸管出血性大腸菌O157:H7による食中毒は、その後他地域でも発生、特に7月13日に大阪府堺市に発生した事例は、これまでに類を見ない、世界的にも極めて超大型の食中毒発生事件となった。

(2) 都道府県等から厚生省に食中毒の疑いとして報告があったもの: 1府7県から報告があった。有症者累計は69名、現在1名が入院中である。

(3) その他(散発事例等): 1都2府28県から報告があった。有症者累計は241名で、現在入院中68名、死亡者は1名である。

なお、6月10日に発生した岐阜市の小学校の集

団事例において、給食メニュー中のおかかサラダから腸管出血性大腸菌O157:H7が検出され、また6月18日の神奈川県三浦市の散発事例における追跡調査では、原因食と推定された牛レバー等からO157:H7が分離されている。しかしながら、これらの2事例以外に原因食品等が特定された事例は、残念ながら皆無である。

腸管出血性大腸菌O157:H7による感染症は、その潜伏期間が一般の食中毒菌よりかなり長いので(4~9日)、その感染源の特定が困難なことが多い。しかしながら、今までの欧米での疫学調査から、その汚染源は家畜、特に牛の糞便であり、食肉を処理する施設までの過程で汚染を受ける。稀に他の食品や飲料水が原因とされた事例もあるが、これらは糞便または肉からの二次汚染と推察される。一方、人から人への二次感染を疑われる事例が、わが国においてもかなり認められており、腸管出血性大腸菌O157:H7による感染症は、赤痢と同様に少数菌による感染が成立し、従来の食中毒菌とはその様相がかなり異なる。従って、本菌感染症の予防対策は、このことに十分に留意した上で、対応しなければならない。

表1. 腸管出血性大腸菌O157:H7による集団発生例(平成8年7月22日18時現在)

厚生省生活衛生局食品保健課

場所(届出月日)	患者発生状況	備考
A 岡山県邑久町(5月28日)	有症者累計 468名、死者累計 2名 現在入院中 1名(入院者累計26名)	小学校・幼稚園で発生。死者はいずれも8歳女子、6月1日、6日に死亡。入院患者便からO157:H7検出
B 岐阜県岐阜市(6月10日)	有症者累計 380名、現在入院中 3名 (入院者累計 24名)	小学校で発生。入院患者、有症者便、おかかサラダからO157:H7検出。児童家族や校区外の4歳男子からもO157:H7検出、IASR Vol.17、他7参照
C 広島県東城町(6月11日)	有症者累計 185名、入院者累計 6名	小学校で発生。47名の患者便からO157:H7検出。7月11日終息宣言。IASR Vol.17、他7参照
D 愛知県春日井市(6月12日)	有症者累計 21名、現在入院中 1名 (入院者累計 7名)	中学校で発生。6月4~6日に林間学校が岐阜県のキャンプ場で行われ、7日から腹痛等の症状を呈した。学校給食は無関係か。有症者以外の生徒からもO157:H7検出。IASR Vol.17、他7参照
E 福岡県福岡市(6月13日)	有症者累計 48名、入院者累計 4名	保育園で発生。有症者15名、無症者12名からO157:H7検出
F 岡山県新見市(6月16日)	有症者累計 364名、現在入院中 1名 (入院者累計 64名)	小学校・中学校で発生。有症者からO157:H7検出。原因食は6月6、7、10、11日の給食とほぼ特定した
G 大阪府河内長野市(6月17日)	有症者累計 50名、入院者累計 3名	保育園で発生。有症者からO157:H7検出
H 東京都港区(6月23日)	有症者累計 20名、現在入院中 1名 (入院者累計 3名)	発症日時6月18日~21日。原因施設(仕出し弁当屋)は営業自衛有症者便からO157:H7検出
I 群馬県境町(7月5日)	有症者累計 144名、現在入院中 1名	小学校で発生。7月1日発症。有症者82名からO157:H7検出
J 大阪府堺市(7月13日)	有症者累計 6,333名(学童 6,176名内 現在入院中 478名、教職員76名、 学童以外の患者数: 二次感染者81名 入院者累計 710名)	発生小学校81校。有症者便 542検体中 287検体からO157:H7検出 学童の重症者77名、うち重症19名、乳幼児の重症者 3名、中学生以上の重症者 1名。原因食品など調査中。本号3ページ参照
K 大阪府羽曳野市(7月15日)	有症者 60名、現在入院中13名	老人ホームで発生。13名の患者便からO157:H7検出。快方に向う
L 京都府京都市(7月18日)	有症者 3名、入院中 1名	会社で発生。有症者 1名からO157:H7検出
M 和歌山県橋本市(7月20日)	有症者 4名、現在入院中 3名	老人ホームで発生。O157:H7検出。保存食は陰性

※家族内感染例を除く

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.9 (No.199)
1996年9月発行

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

生レバー等からの腸管出血性大腸菌の検出：神奈川県3，福岡市4，海外旅行者から検出された *S. dysenteriae* E16553：関西空港検疫所5，汚染水道水によるクリプトスポリジウム症発生：埼玉県6，ヒト肝臓症の多発：九州7，Adeno 7による家族内感染：千葉県7，ワクチン未接種の成人ポリオ疑似症例8，腸チフス：タジキスタン9，コレラ：モンゴル9，世界（1995）9，*S. Typhimurium* 感染：英国9，結核罹患率：米国9，HIV 病棟の多剤耐性結核菌院内感染：スペイン10，EPI：WHO 西太平洋地域10，日本脳炎：オーストラリア10

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> ヘルパンギーナ 1995~1996

図1. ヘルパンギーナ患者報告数の推移, 1995-1996年 (感染症サーベイランス情報)

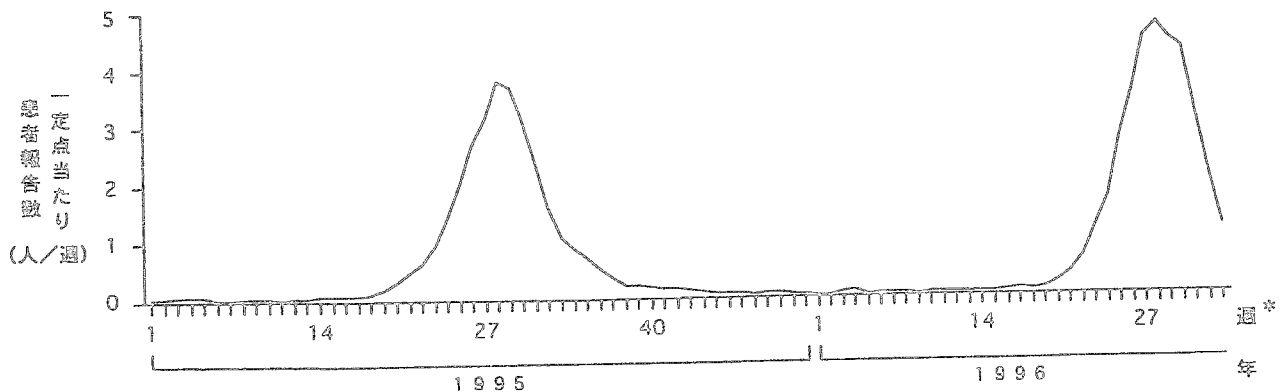
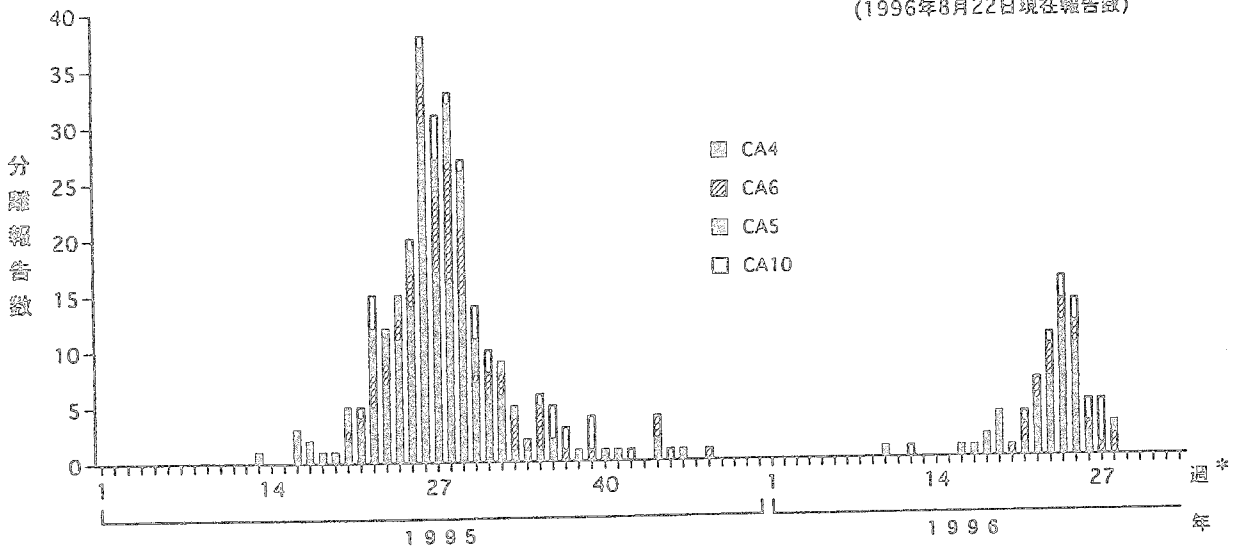


図3. ヘルパンギーナ患者からの週別CAウイルス分離報告数の推移, 1995-1996年

(1996年8月22日現在報告数)



* 各四半期の最初の週を示す

ヘルパンギーナは毎年夏季に流行する急性熱性疾患で、咽頭から軟口蓋にかけての小水疱が特徴である。患者は4歳以下の小児が大部分で1歳がもっとも多い。コクサッキーA群(CA)ウイルスが主な病原体である。本特集では患者報告については1996年の発生状況を中心に述べる。病原体

報告については1995年のウイルス分離状況を中心に述べ、1996年の分離報告(速報)にも触れる。

感染症サーベイランス情報による1996年のヘルパンギーナ患者週別報告数は1995年と同じく5月末から増加し、第28週(7月7~13日)にピーク(一定点当たり4.65人)となった(図1)。1996年

第33週（8月11～17日）までの患者報告数は84,912人（一定点当たり35.20人）で、1995年の年間患者報告数79,573人（一定点当たり32.61人）をすでに上回っている。しかし、北海道の第33週までの患者報告数（一定点当たり17.63人）は1995年を大きく下回っている。

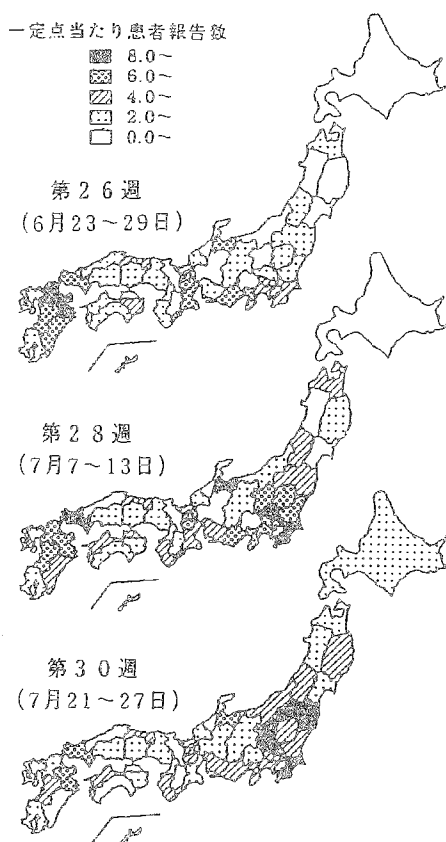
1996年第26, 28, 30週の患者発生状況を都道府県別に図2に示す。例年同様、流行は西から東に推移している。

次に病原微生物検出情報へのウイルス分離報告にもとづき起因病原体について述べる。1995年1月～1996年7月にヘルパンギーナ患者から分離されたCAウイルスの週別報告数の推移を図3に示す。1995年にはCA4が最も多く分離され、次いでCA6とCA5が分離された。CA4の報告のピークは第26週（6月25日～7月1日）であった。ウイルス分離同定には時日を要するため、1996年については現在のところ、流行が先行した西日本から検査が終了したものが報告されている。第16週（4月14～20日）以後報告が増加しており、1995年に引き続きCA4が主に分離されているが、CA6とCA10も少数分離されている。

1995年のCA4の報告総数は201（うちヘルパンギーナ患者からは153）で、島根、神奈川、長野など22地研で分離された。また、CA6の報告総数は72（同58）で秋田、長野など14地研で分離された。CA5の報告総数は55（同39）で15地研で分離された。

1996年に入ってから第28週までにCA4は大分46をはじめ、福岡市、島根、奈良、佐賀、岡山、大阪から計58（ヘルパンギーナ患者からは46）、CA6は島根28をはじめ、広島市、大分、岡山、奈良、京都市から計42（同16）、CA10は奈良10をはじめ、佐賀、大分、福岡市、京都市から計18（同13）の分離が報告されている（1996年8月22日現在報告数）。

図2. 都道府県別ヘルパンギーナ患者発生状況, 1996年（感染症サーベイランス情報）



ヘルパンギーナの病因となっている主なCAウイルス血清型の消長を明らかにするため、感染症サーベイランス開始以後ヘルパンギーナ患者から分離されたCAウイルスについて集計した（表1）。1982～1995年の14年間には、CA2, 4, 5, 6, 10の5つの型が主に分離された。CA3は1982年のみに報告数が多かった。上記14年間に最も多く報告されたのはCA4（1,712）で、次はCA10（1,218）であった。CA4とCA10の報告総数の70%, 64%がヘルパンギーナ患者からの分離であった。CA10は1984年に大きく増加し、1988年以後1年おきに増加と減少を繰り返しているのに対し、CA4は毎年コンスタントに分離されている。

表1. ヘルパンギーナ患者からの主要血清型別CAウイルス分離報告数、1982～1995年（1996年8月22日現在報告数）

血清型	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	合計	報告総数*(%)	1996
CA2	6	76	10	51	29	3	117	1	103	157	8	13	77	9	660	962 (69%)	-
CA3	76	-	4	9	-	1	1	15	8	-	3	8	1	1	127	228 (56%)	-
CA4	79	39	89	154	58	277	75	256	59	124	161	123	65	153	1,712	2,438 (70%)	46
CA5	20	29	99	37	82	99	20	27	69	42	27	37	54	39	681	980 (69%)	1
CA6	23	84	13	16	156	3	18	44	23	155	31	61	24	58	709	1,102 (64%)	16
CA10	17	9	472	11	21	33	139	29	174	14	135	25	111	28	1,218	1,905 (64%)	13

*1982～1995年の分離報告総数

() 内はヘルパンギーナ患者からの分離報告数の占める割合

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.10 (No.200)
1996年10月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

中学校における腸管出血性大腸菌 O118: H2 集団下痢症: 石川県 3, 乳児ボツリヌス症: 東京都 4, サイクロスポーラ症の本邦第 1 例 4, 2 つの小学校で同時発生した SRSV 胃腸炎発症: 福岡県 5, クロイツフェルト・ヤコブ病のサーベイランス: 英国 6, 米国 6, スイス 6, ポリオ流行: アルバニア 7, 学童の麻疹流行: 米国 7, A 型肝炎サーベイランス: 台湾 7, *Cyclospora* 感染者発生: 米国 7, クリプトスポリジウム関連食品懸介下痢症: 米国 8, 18~44 歳女性の HIV 検査: 米国 8, 日本のエイズ患者・HIV 感染者の状況 8

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検査所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> 陰部クラミジア感染症 1993~1995

表 1. 年別性感染症患者発生状況 (厚生省感染症サーベイランス情報)

定点数	1993年			1994年*			1995年*		
	患者数	(%)	比**	患者数	(%)	比**	患者数	(%)	比**
淋病様疾患	6,723	(20.4)	1.00	6,274	(19.3)	1.00	6,678	(21.4)	1.00
陰部クラミジア感染症	13,787	(41.8)	2.05	14,319	(44.0)	2.28	13,737	(43.9)	2.06
陰部ヘルペス	5,753	(17.4)	0.86	5,883	(18.1)	0.94	5,700	(18.2)	0.85
尖圭コンジローム	2,832	(8.6)	0.42	2,409	(7.4)	0.38	2,147	(6.9)	0.32
トリコモナス症	3,886	(11.8)	0.58	3,665	(11.3)	0.58	3,012	(9.6)	0.45
総 数	32,981	(100.0)		32,550	(100.0)		31,274	(100.0)	

*暫定数 **淋病様疾患を1とした比

厚生省感染症サーベイランス (NESID) による性感染症 (STD) 患者情報は全国都道府県および指定都市に設けられた約 600 の定点から収集される。定点の診療科目は、泌尿器・性病科 57%, 産・婦人科 31%, 皮膚科 10%, その他 1.2% となっているが、地域によっては定点に産・婦人科が含まれていない (1990 年 3 月現在)。STD の対象疾患は 5 種 (表 1 参照) で、それらの患者総数は情報収集が開始された 1987 年以降、1988~89 年に減少、1990~91 年に増加が見られ

たが、再び 1992 年から減少傾向にある。しかしこのうち、陰部クラミジア患者数は 1987 年以降 92 年まで増加傾向にあり、この間の患者数の増加は女で著しい (本月報 Vol. 11, No. 9, 1990, Vol. 14, No. 8, 1993 参照)。

STD 患者の報告総数は 1993~95 年も引き続き減少傾向にある (表 1)。陰部クラミジア患者数は 1993 年に一旦減少したものの 94 年には再び増

表 2. 性・年齢別陰部クラミジア感染症患者発生状況, 1993~1995 年 (厚生省感染症サーベイランス情報)

年齢群 (歳)	一定点当たり年間患者数						性 比		
	男			女			(男/女)		
	1993	1994*	1995*	1993	1994*	1995*	1993	1994*	1995*
0~14	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	-	-	-
15~19	0.67	0.65	0.67	1.00	1.05	1.04	0.67	0.62	0.64
20~24	2.62	2.73	2.77	3.40	3.44	3.20	0.77	0.79	0.87
25~29	2.79	3.07	2.94	2.78	2.81	2.61	1.00	1.09	1.13
30~34	2.05	2.28	2.19	1.40	1.65	1.57	1.46	1.38	1.39
35~39	1.57	1.52	1.48	0.73	0.72	0.67	2.15	2.11	2.21
40~44	1.45	1.19	1.12	0.45	0.44	0.39	3.22	2.70	2.87
45~49	0.80	0.94	0.82	0.19	0.21	0.24	4.21	4.48	3.42
50~54	0.51	0.44	0.47	0.14	0.15	0.12	3.64	2.93	3.92
55~59	0.27	0.29	0.17	0.03	0.04	0.03	9.00	7.25	5.67
60~	0.20	0.20	0.19	0.05	0.06	0.04	4.00	3.33	4.75
総 数	12.94	13.33	12.83	10.18	10.59	9.92	1.27	1.26	1.29

*暫定数

加したのに対し、1994 年に淋病様疾患患者が大幅に減少した。このため、全 STD 患者に占める陰部クラミジア患者の割合は 1992 年の 38% から 94 年には 44% に上昇した。1995 年には陰部クラミジア患者はやや減少したが、淋病様疾患患者が増加したため、全 STD 患者に占める陰部クラミジア患者の割合はやや低下した。

淋病様疾患患者数に対する陰部クラミジア患者

数の比をとると、1994年までは1990～92年に引き続いて大きくなる傾向にあったが、1995年には小さくなった（表1）。

1993～95年の陰部クラミジア患者の性・年齢別発生状況を一定点当たりの年間患者数からみた。患者発生のピークは1990～92年と同様に、男25～29歳、女20～24歳であった。また、この年齢群（20～24歳）の女の患者数は1992年以降男の患者数を上回る傾向にある。全年齢での性比は1992年の1.45から1.26～1.29に低下した（表2）。

病原微生物検出情報ではNESIDとは別に全国の協力医療機関から検査材料別の病原菌検出数を集計表の形で収集している（性・年齢は不明）。1993～95年の陰部尿道頸管擦過物からの *Chlamydia trachomatis* 検出数は1,747～1,871で、1992年の1,984よりやや少ない。一方、淋菌の検出数は1992年以降減少傾向がみられたが、1995年には増加しており、NESIDの傾向を反映している（表3）。

1993～95年に地研等11機関から病原微生物検

表3. 医療機関で陰部尿道頸管擦過（分泌）物から検出されたクラミジア、淋菌報告数, 1993～1995年

	<i>C. trachomatis</i>	<i>N. gonorrhoeae</i>	C/N比*
1993	1,871	491	3.8
1994	1,747	463	3.8
1995	1,866	766	2.4

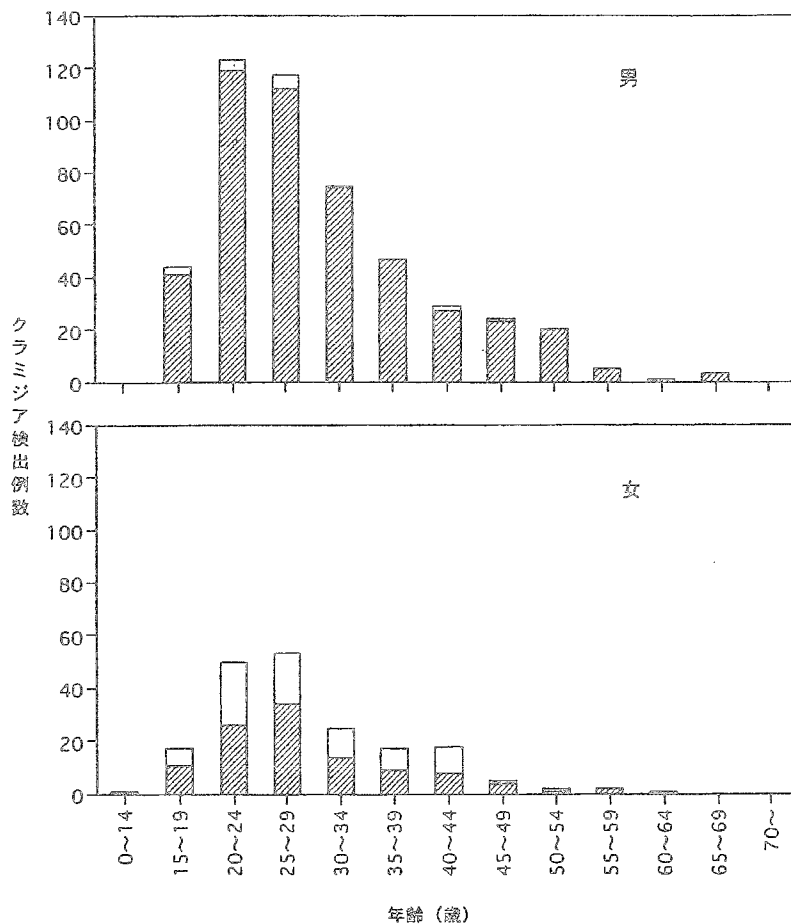
* *C. trachomatis* 検出数 / *N. gonorrhoeae* 検出数

出情報へ報告された個票によるクラミジア検出例は706であった。検体別では泌尿生殖器683, 眼ぬぐい液23で、検出法は細胞培養207, 蛍光抗体382, 酵素抗体174であった（複数の方法による検出例を含む）。泌尿生殖器からのクラミジア検出例について、年齢不詳4を除き、臨床診断名の記載があり症状ありと報告されたもの（有症者）582, 症状のないものおよび検査希望（無症者）97の計679について、患者の性・年齢別分布をみた（図1）。男では20～29歳が多く、いずれの年齢群においても、無症者の比率は6.9%以下であった。女も20～29歳が多いが、無症者の比率は36～48%と高く、30～44歳でも44～56%は無症者であった。

また、眼ぬぐい液からのクラミジア検出が2地研から23例報告された。18例で診断名が記載されているが、いずれも角結膜炎で、患者の性・年齢別分布をみると、男では25～29歳、女では15～19歳の低年齢に多い（図2）。

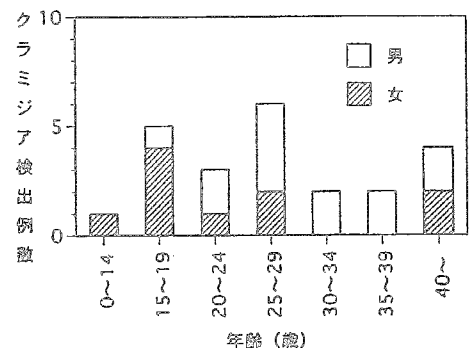
1996年は、NESIDの第2四半期までの情報によれば、STD患者は全体として増加の傾向にあること、特に淋病様疾患の増加が目立っており、陰部クラミジア感染症は大都市で増加していると報告されている。

図1. 泌尿生殖器からの性別年齢別クラミジア検出状況, 1993～1995年



斜線部は有症者：臨床診断名は陰部クラミジア感染症、淋病様疾患、非淋菌性尿道炎

図2. 眼ぬぐい液からの性別年齢別クラミジア検出状況 1993～1995年



病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.11 (No.201)
1996年11月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

インフルエンザ分離速報 (9月): 仙台市3, 集団発生 (5月): 埼玉県3, 1996/97シーズンワクチン株3, エコー7型小流行: 神戸市4, エコーウイルス固定用血清5, EHEC O26:H11集団感染: 富山県5, S. Enteritidis 食中毒死亡例: 東京都6, 動物寄生性オノセルカの人体寄生7, 世界のインフルエンザ7, ポリオ流行: アルバニア8, SRSV サーベイランス: 英国8, 鶏卵起因 S. Enteritidis 感染: 米国8, 生カキ喫食 V. vulnificus 感染: 米国9, コレラ: フィリピン9, S. iniae 感染: カナダ9, ライム病: 米国10, Cyclospora 感染: 米国・カナダ10

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> インフルエンザ 1995/96

図1. インフルエンザ様疾患患者報告数の推移, 1994年第4四半期~1996年第3四半期

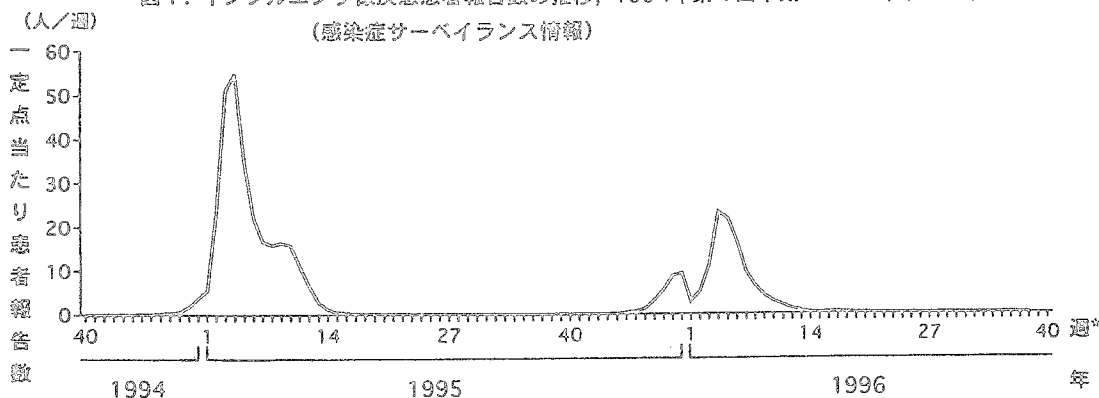
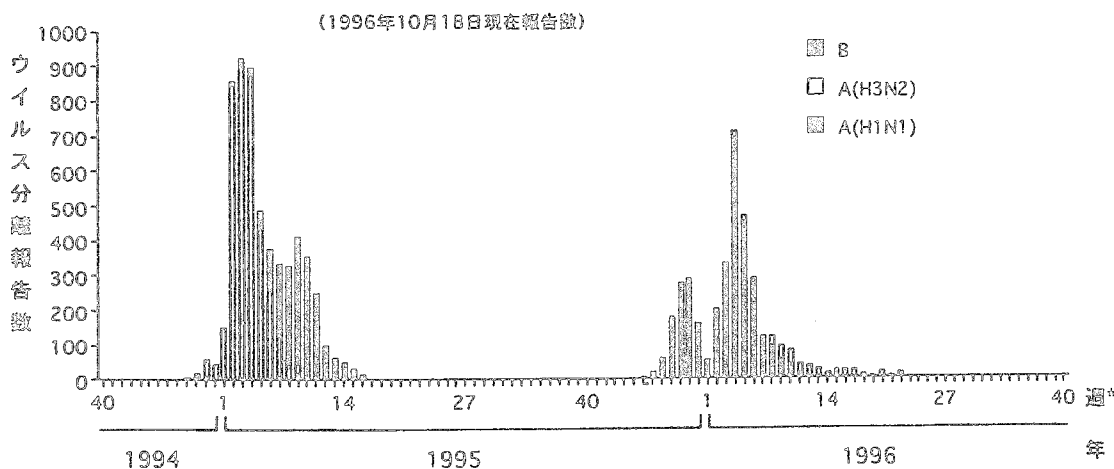


図2. 週別インフルエンザウイルス分離報告数の推移, 1994年第4四半期~1996年第3四半期



*各四半期の最初の週を示す

1995/96シーズンに分離されたインフルエンザウイルスの大部分はAソ連(H1N1)型で、1994/95シーズンに引き続いて脳炎などの重症例の報告が目立った。一方、1996/97インフルエンザシーズンに入り、病原微生物検出情報(IASR)には3機関から計4株のA香港(H3N2)型ウイルス分離の報告が届いている。本特集では1995/96シーズンの患者発生状況およびインフルエンザウイルスの最近の動向をまとめた。

感染症サーベイランス情報による1995/96シ

ズンのインフルエンザ様疾患患者報告数は、前シーズンより3週早い1995年第48週(11月26日~12月2日)から立上がり、1996年第4週にピークとなった(図1)。1995年第35週~1996年第34週の累計患者数は一定点当たり139.13人で前シーズンの約半分であった(本月報Vol.16, No.12参照)。

IASRへの1995/96シーズンのインフルエンザウイルス分離報告数(表1)は合計3,735で、前シーズンに少数分離されていたAソ連型が全国の55機関で3,303分離され、過去最高の報告数であっ

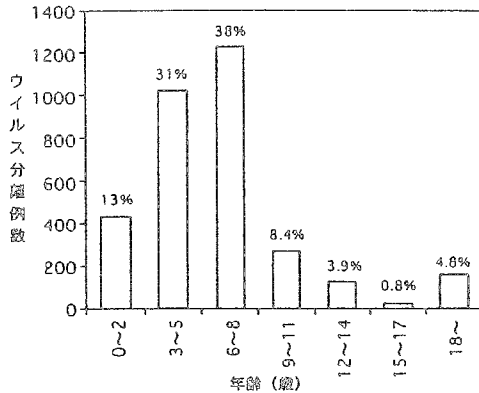
表1. インフルエンザウイルス分離報告数, 1982/83シーズン～1995/96シーズン

型	82/83	83/84	84/85	85/86	86/87	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92	92/93	93/94	94/95	95/96
A(H1N1)	22	1,015	2	181	1,122	6	1,499	-	248	2,017	-	2	115	3,303
A(H3N2)	1,927	-	50	1,639	1	705	46	2,035	2,045	866	2,382	1,765	3,752	407
B	2	31	1,940	-	16	1,098	33	1,586	579	48	2,464	189	1,920	11
A HN 未同定	-	-	-	-	36	-	9	-	1	10	9	-	-	9
C	2	-	3	1	-	1	6	-	5	-	6	-	-	5
合計	1,953	1,046	1,995	1,821	1,175	1,810	1,593	3,621	2,878	2,941	4,861	1,956	5,787	3,735

各シーズン9月～翌年8月の報告数

1996年 10月18日現在報告数

図3. インフルエンザウイルスA(H1N1)型分離例の年齢, 1995/96シーズン



た。A 香港型は東日本を中心に34機関から407, B型は6機関から11と報告数が大きく減少した。

1995/96シーズンのインフルエンザウイルスの週別分離数をみると(図2), Aソ連型が1995年第45週(11月5～11日)から分離され始め, 第51週と1996年第4週をピークに第13週まで毎週分離された。第34週(8月18～24日)にも横浜市で1分離されている。A香港型はこれに遅れて第9～10週に小さなピークとなったが4月以降も分離が続いており, 埼玉県では5月に集団発生が報告された(本号3ページ参照)。さらに第29週(7月14～20日)には仙台市と福島県で各1分離された。B型は, 1995年第51週, 1996年第1, 5週に各1, 4月以降の第15～20週に8分離された。

1995/96シーズンのAソ連型分離例は小学校低学年の小児(6～8歳)が最も多く38%(1,232例), 次いで3～5歳が31%(1,021例)であった(図3)。

これまでにIASRに報告されたインフルエンザウイルス分離例のうち, 脳炎, 脳症, 循環器障害などの重症例を表2に挙げた。1993/94シーズンまでは重症例の報告は稀であったが, 1994/95シーズンにはA香港型12例, B型3例の報告があった。さらに1995/96シーズンはAソ連型10例, A香港型1例, B型1例が報告され, このうちAソ連型1例は髄液からウイルスが分離された(本号Vol.17, No.5参照)。2シーズン続いて重症例が多かったこと, および過去に1例のみであったA

表2. 脳炎, 脳症, 循環器障害などが報告されたインフルエンザウイルス分離例, 1982/83～1995/96シーズン

検体採取年月	型	検体	診断名/症状	年齢(歳)
1983.	2 A(H3N2)	鼻咽喉	麻痺	1
	3 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症, 麻痺	1
	3 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症, 麻痺	1
1984.	11 A(H3N2)	鼻咽喉	循環器障害	7
1985.	3 B	鼻咽喉	麻痺	4
1989.	12 A(H3N2)	肺・気管支	ライ症候群(死亡)	1
1990.	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	2
1991.	1 A(H3N2)	鼻咽喉	ライ症候群	12
	3 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	15
1992.	2 A(H1N1)	鼻咽喉	脳・脊髄炎	1
1993.	1 A(H3N2)	鼻咽喉	麻痺	4
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎, 麻痺	4
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	1
	2 B	鼻咽喉	脳・脊髄炎	12
	3 B	鼻咽喉	ライ症候群	2
	3 B	鼻咽喉	脳症	0
1994.	3 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	4
1995.	1 A(H3N2)	鼻咽喉	麻痺	2
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	1
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	2
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	不明
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎, 脊髄炎	7
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症, 心不全(死亡)	1
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症, 心不全(死亡)	3
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	心筋炎	0
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	12
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	4
	2 A(H3N2)	肺・気管支	心筋炎, 腎不全	10
	2 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	4
	2 B	鼻咽喉	脳炎	6
	2 B	鼻咽喉	脳炎, 脳症	5
	3 B	鼻咽喉	小脳失調症	2
	12 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎, 麻痺	不明
	12 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎, 半昏睡	4
1996.	1 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎	7
	1 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎	3
	1 A(H1N1)	髄液	脳炎	2
	1 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎	10
	1 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎	1
	2 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎	2
	2 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎, 麻痺	7
	3 A(H1N1)	鼻咽喉	脳炎, 脳症	2
	3 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	13
	4 B	鼻咽喉	心筋炎	0

ソ連型の重症例が多かったことが注目される。この他1995/96シーズンには, Aソ連型分離例で肝炎3例, 腎炎1例, 髄膜炎2例の報告があった。

1996年1月以降に中国等で分離されたA香港型ウイルスには抗原性の変異が起こっており(本号Vol.17, No.4および本号7ページ参照), 1996/97シーズン用のA香港型のワクチン株はWHO推奨のA/武漢/359/95株に変更されている(本号3ページ参照)。

1996/97シーズン分離速報(11月6日現在)

A香港型: 兵庫県衛研9月4日1株, 国立仙台病院9月17日2株(本号3ページ参照), 福島県衛研10月7日1株。

病原微生物検出情報

月報

Vol.17 No.12 (No.202)
1996年12月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
TEL.03(5285)1111 FAX.03(5285)1177

(禁、無断転載)

チフス菌・パラチフス菌のフェージ型別成績1996年遠隔3, 特定地域に発生した EHEC O157 発生事例: 香川県4, C 群ロタウイルスによる集団下痢症: 千葉県4, マンソン裂頭条虫成虫の人体寄生5, インフルエンザ世界の情勢6, 米国・メキシコ国境のデング熱6, 輸入デング熱: 米国6, デング/デング出血熱: インド7, バンコマイシン耐性腸球菌: 英国7, 薬剤耐性結核菌監視グローバルプロジェクト7, リファンピシんで治療している HIV 感染結核患者へのプロテアーゼ阻害剤投与の影響7, 台湾の AIDS 統計8, 日本のエイズ患者・HIV 感染者の状況8

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> 腸チフス・パラチフス 1994.1~1996.9

図1. 月別チフス菌・パラチフス菌検出状況, 1987年1月~1996年9月

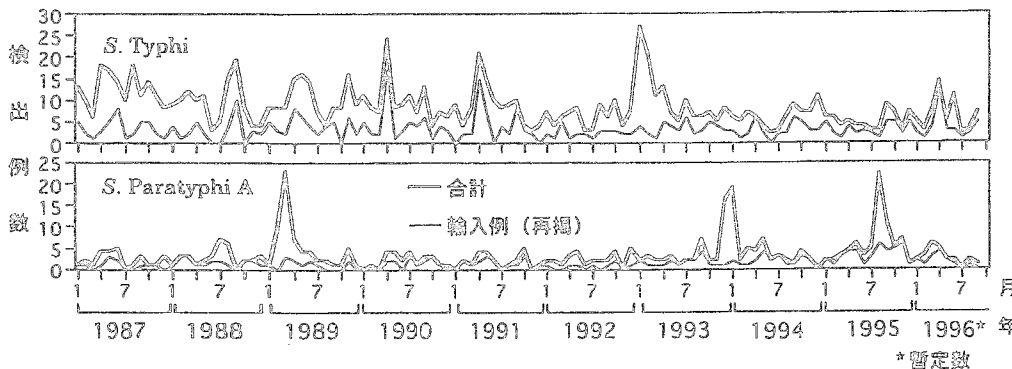


表1. わが国の腸チフス・パラチフス発生状況 (1976~1996年)

年	腸チフス		パラチフス	
	発生数	%	発生数	%
1976	435 (47)	10.8	50 (6)	12.0
1977	384 (28)	7.3	34 (8)	23.5
1978	437 (31)	7.1	58 (24)	41.4
1979	499 (41)	8.2	54 (22)	40.7
1980	371 (26)	7.0	40 (7)	17.5
1981	363 (32)	8.8	41 (18)	43.9
1982	313 (28)	8.9	54 (28)	51.9
1983	329 (37)	11.2	39 (10)	25.6
1984	228 (47)	20.6	29 (15)	51.7
1985	253 (42)	16.6	47 (29)	61.7
1986	208 (46)	22.1	32 (11)	34.4
1987	151 (41)	27.2	27 (13)	48.1
1988	110 (33)	30.0	33 (19)	57.6
1989	123 (47)	38.2	61 (12)	19.7
1990	116 (54)	46.6	24 (14)	58.3
1991	106 (45)	42.5	22 (16)	72.7
1992	76 (28)	36.8	29 (8)	27.6
1993	126 (42)	33.3	44 (19)	43.2
1994	74 (35)	47.3	51 (21)	41.2
1995	61 (37)	60.7	71 (40)	56.3
1996*	57 (33)	57.9	23 (14)	60.9
計	4,820 (800)	16.6	863 (354)	41.0

発生数: 患者・保菌者の合計, (): 輸入例再掲
%: 発生数に占める輸入例の割合, *1~9月

腸チフスおよびパラチフスに関しては、都道府県衛生部が厚生省に発生を報告し、患者および保菌者から分離された菌は国立予防衛生研究所（予研）に送付される。予研細菌部外来性細菌室ではフェージ型（PT）・薬剤感受性等を検査し、結果を都道府県へ還元している。本報告では菌送付書および送付菌株から得た情報等をもとに1994~96

年9月までの発生状況を解析した。

腸チフス発生数（患者・保菌者の合計）は1994年74、95年61であり、1993年を除き減少傾向が継続している（表1）。一方パラチフス発生数は、1993年12月~

1994年1月にかけて冬季流行があった1994年は51となった。さらに1995年は8~9月にかけて流行があり71で、わが国では初めてパラチフス発生数が腸チフス発生数を上回った（図1、表1）。両疾患とも輸入例の割合が高い傾向が続いている。

前回の特集で報告した、三重県志摩地方での1993~94年冬季のパラチフスA菌PT1および2による流行は（本月報Vol.15, No.4参照）、その後の食品検査・環境調査・疫学調査等により、何らかの原因で漁港を汚染した菌が、民宿や漁業者がこの漁港に係留した生ガキまたは魚介類に取り込まれ、それを喫食した人が感染したものと考えられた（衛生微生物技術協議会第17回研究会報告）。1995年には広域のパラチフスA菌PT3による流行が観察された。7~11月にかけて24例（7月1、8月16、9月6、11月1）の発生があり、発生地域は1都13県にまたがっていた。同一時期の発生であること、わが国ではPT3によるパラチフスの発生は少なく、1990~94年の5年間で3例のみであること、分離株のパルスフィールド電気泳動法によるDNA型が同一であることから、広域流行であることが示唆された。しかし、原因は特定できなかった（本月報Vol.16, No.10参照）。1996年

表2. チフス菌のフェージ型分布(1994~1996年)

フェージ型	1994年		1995年		1996年(1~9月)				
	例数	% 輸入例	例数	% 輸入例	例数	% 輸入例			
A	6	8.1	4	6.6	14	24.6			
B1	9	12.2	4	7	11.5	5	2	3.5	1
B2	-	-	-	1	1.6	1	-	-	-
C1	1	1.4	-	2	3.3	2	1	1.8	1
D1	1	1.4	-	2	3.3	2	2	3.5	1
D2	16	21.6	2	8	13.1	5	8	14.0	3
E1	7	9.5	3	11	18.0	10	4	7.0	3
E2	-	-	-	2	3.3	1	1	1.8	-
E9	-	-	-	-	-	-	2	3.5	1
J1	1	1.4	1	-	-	-	-	-	-
J3	1	1.4	1	-	-	-	-	-	-
K1	-	-	-	1	1.6	1	-	-	-
L1	1	1.4	1	-	-	-	-	-	-
M1	10	13.5	3	5	8.2	1	8	14.0	5
M4	-	-	-	2	3.3	-	-	-	-
N	-	-	-	1	1.6	1	-	-	-
O	-	-	-	-	-	-	2	3.5	2
25	1	1.4	1	-	-	-	-	-	-
39	-	-	-	1	1.6	-	-	-	-
42	-	-	-	1	1.6	-	-	-	-
43	1	1.4	1	-	-	-	-	-	-
46	2	2.7	1	-	-	-	2	3.5	1
DVS	5	6.8	3	6	9.8	1	7	12.3	3
UVS1	12	16.2	10	7	11.5	5	3	5.3	3
Vi-	-	-	-	-	-	-	1	1.8	-
計	74	100.0	35	61	100.0	37	57	100.0	33

DVS: Degraded Vi positive strain, Vi-: Vi negative strain
UVS1: Untypable Vi strain group-1

表3. パラチフス菌のフェージ型分布(1994~1996年)

フェージ型	1994年		1995年		1996年(1~9月)				
	例数	% 輸入例	例数	% 輸入例	例数	% 輸入例			
1	30	58.8	16	30	42.3	25	18	78.3	10
2	12	23.5	-	1	1.4	-	-	-	-
3	3	5.9	1	24	33.8	1	1	4.3	1
5	3	5.9	1	2	2.8	1	-	-	-
6	1	2.0	1	2	2.8	2	-	-	-
UT	2	3.9	2	12	16.9	11	4	17.4	3
計	51	100.0	21	71	100.0	40	23	100.0	14

UT: Untypable

3月には、静岡県の大學生および引率者17名が2週間にわたりシンガポール・マレーシア・インドネシアを訪れ大学サークルの学生交流を行った際、チフス菌(PTD2, M1)およびパラチフスA菌(PT1)に感染した集団例があった。数名が軽度の下痢等の症状を呈し、帰国時に空港検疫所において細菌検査を受けたが陰性であった。その後、8名が発熱等の症状を呈したため受診して菌が発見され、隔離施設に収容されたものである。赤痢菌、サルモネラおよびランブル鞭毛虫による混合感染もみられた(本月報 Vol. 17, No. 7 参照)。

表2はチフス菌、表3はパラチフスA菌のフェージ型分布である。この間に検出されたチフス菌のPTは24種であった。国内例では15種、輸入例では21種が検出された。両者に共通にみられるD2, A, M1, E1, UVS1, B1, DVSが共に上位を占めているが、年によって多少の変動がある。1994年12, 95年7と多かったUVS1が96年は3のみで、逆に6, 4だったAが14と増えている。パラチフスA菌のPTは5種であるが、1996年は2種しか分離されず、そのほとんどがPT1であった。

図2に腸チフスおよびパラチフスの年齢別発生

図2. 腸チフス・パラチフス患者・保菌者の年齢分布 1994年1月~1996年9月

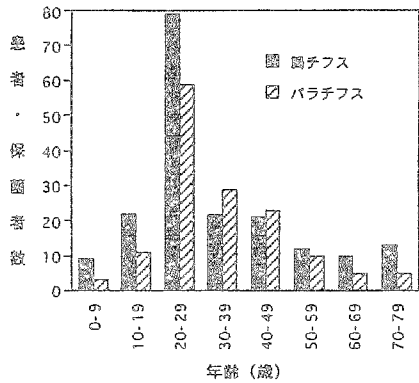


表4. 多剤耐性チフス菌の出現状況

年	耐性パターン	フェージ型	株数	発症国
1967	CP・TC・SM	H	1	国内
1972	CP・KM・ABPC	B2	1	国内
1976	CP・TC・SM・ABPC	M1	1	国内
		E1	1	国内
1980	CP・TC・ABPC	E1	1	国内
1981	CP・TC・SM	O	1	国内
1983	CP・TC・SM・ABPC	S3*	1	韓国
	CP・TC・SM	O*	1	インド
	CP・TC・SM	A*	1	ネパール
1986	CP・KM・ABPC・SXT	DVS*	1	インド
1988	CP・TC・SM・ABPC・SXT	M1*	1	パキスタン
1989	CP・TC・SM	O*	2	インド
1990	CP・TC・SM・ABPC・SXT	UVS1*	7	インド
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	M1*	2	パキスタン
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	46*	1	インド
	CP・TC・SM	A*	1	インド
1991	CP・TC・SM・ABPC・SXT	46*	1	タイ
	CP・SM・ABPC・SXT	E1	1	国内
	SM・ABPC・SXT	M1	2	国内
1992	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	4	タイ・インド亜大陸
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	UVS1*	1	インド
	CP・SM・SXT	UVS1*	1	カンボジア・ベトナム
	TC・SM・SXT	M1*	1	タイ・インド亜大陸
1993	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	2	インド
	SM・SXT	B1	1	国内
1994	CP・TC・SM・ABPC・SXT	UVS1*	1	カンボジア・ベトナム
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	1	パキスタン
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	2	カンボジア
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	M1	1	不明
1995	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	1	カンボジア
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	2	パキスタン
	CP・SM・ABPC・SXT	E1*	1	インド
1996	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E1*	1	インド・ネパール
	CP・TC・SM・ABPC・SXT	E9*	1	タイ・カンボジア
	SM・SXT	M1	2	国内

CP: クロラムフェニコール, TC: テトラサイクリン,
SM: ストレプトマイシン, KM: カナマイシン, ABPC: アンピシリン,
SXT: スルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤, *: 輸入事例

数を示した。従来通り両疾患とも20~29歳の年齢群の発生が多い。発病から診定までに要する日数は1994~96年の平均では腸チフス13.3日、パラチフス14.7日と、過去の平均診定期間と大差はなかった。6週以上かかった例が8(4.2%)および13(9.0%)あった。

薬剤耐性チフス菌検出状況を表4に示した。5剤耐性チフス菌がインド亜大陸・カンボジア・ベトナムからの帰国者から検出されており、この地域において本菌の流行が継続していることが推察される。また1996年にパラチフスA菌PT1 22中8(国内例2)がスルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤耐性を示した(本号3ページ参照)。

第3章 患者情報集計

1. 平成7年 全国、週別・疾病別報告数及び一定点当たり報告数
Reported cases from clinics and hospitals, by week and disease, 1995.

年 次	1. 麻疹 measles		2. 風しん rubella		3. 水 痘 chickenpox		4. 流行性耳下腺炎 mumps		5. 百日せき pertussis		6. 溶連菌感染症 streptococcal infection		7. 異型肺炎 atypical pneumonia		8. 感染性胃腸炎 infectious gastroenteritis	
	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence	報告数 reported cases	一定点当 incidence
1995	17852	7.32	16269	6.67	186214	76.32	70921	29.07	5668	2.32	6007	24.59	23251	9.53	471605	193.28
1週	152	0.06	143	0.06	4837	1.98	1377	0.56	40	0.02	836	0.34	396	0.16	8776	3.60
2週	162	0.07	160	0.07	4978	2.04	1359	0.54	50	0.02	1212	0.50	525	0.22	10951	4.38
3週	136	0.06	119	0.05	3664	1.50	948	0.39	62	0.02	972	0.40	361	0.15	10677	4.38
4週	230	0.09	170	0.07	4297	1.76	875	0.36	52	0.02	1074	0.44	360	0.16	11604	4.76
5週	205	0.08	169	0.07	3188	1.31	997	0.41	70	0.03	996	0.41	396	0.16	11604	4.76
6週	205	0.08	157	0.06	3638	1.49	811	0.33	52	0.02	1001	0.41	399	0.16	12017	4.92
7週	268	0.11	223	0.09	3829	1.57	1026	0.42	46	0.02	1219	0.50	391	0.14	13430	5.53
8週	291	0.12	260	0.11	4130	1.69	1085	0.44	64	0.03	1271	0.52	420	0.17	14597	5.83
9週	338	0.14	279	0.11	3995	1.64	1052	0.43	56	0.02	1307	0.54	384	0.15	14591	5.83
10週	358	0.15	345	0.14	3800	1.56	1271	0.52	54	0.02	1477	0.54	370	0.15	14146	5.80
11週	327	0.13	397	0.16	4005	1.64	1215	0.50	44	0.02	1356	0.56	375	0.15	12560	5.15
12週	428	0.18	380	0.16	3984	1.73	1333	0.54	62	0.03	1137	0.47	297	0.11	7857	3.22
13週	416	0.17	307	0.12	4366	1.79	1306	0.54	52	0.03	1056	0.41	257	0.11	7255	3.22
14週	532	0.22	508	0.21	3992	1.65	1377	0.56	84	0.03	758	0.31	259	0.11	6598	3.22
15週	471	0.19	625	0.26	4037	1.65	1324	0.54	98	0.04	1017	0.42	266	0.11	6977	3.22
16週	502	0.20	568	0.23	3539	1.45	1337	0.47	120	0.05	1177	0.48	266	0.11	7843	3.22
17週	495	0.20	568	0.23	3836	1.57	1136	0.47	82	0.03	1082	0.44	303	0.12	6816	3.22
18週	498	0.20	572	0.23	3930	1.62	1138	0.47	70	0.03	926	0.38	220	0.09	6939	3.22
19週	638	0.26	725	0.30	5450	2.23	1389	0.57	130	0.05	1170	0.48	398	0.16	6932	3.22
20週	622	0.25	809	0.33	4994	2.05	1373	0.57	126	0.05	1429	0.59	379	0.16	6932	3.22
21週	646	0.26	682	0.28	5009	2.05	1425	0.58	124	0.05	1427	0.58	456	0.19	6931	3.22
22週	656	0.27	761	0.31	5790	2.37	1697	0.70	131	0.06	1577	0.63	426	0.17	6769	3.22
23週	658	0.28	635	0.26	4721	1.94	1470	0.64	146	0.06	1444	0.59	478	0.20	6358	3.22
24週	695	0.30	743	0.31	5911	2.42	1768	0.72	141	0.06	1435	0.59	454	0.20	6417	3.22
25週	672	0.28	599	0.27	4813	1.97	1532	0.68	144	0.06	1356	0.57	393	0.16	6566	3.22
26週	576	0.23	597	0.24	5776	2.34	1837	0.76	119	0.05	1263	0.52	328	0.15	4935	3.22
27週	505	0.21	515	0.21	4491	1.86	1665	0.68	117	0.05	1206	0.46	463	0.17	4538	3.22
28週	480	0.20	385	0.16	4060	1.66	1661	0.68	124	0.05	1106	0.41	406	0.17	4049	3.22
29週	486	0.20	320	0.13	2555	1.05	1665	0.68	115	0.05	1045	0.31	482	0.20	3380	3.22
30週	416	0.17	218	0.09	2322	1.22	1602	0.66	118	0.05	581	0.24	463	0.19	3961	3.22
31週	385	0.16	178	0.07	1895	0.69	1545	0.63	150	0.06	481	0.20	463	0.19	3961	3.22
32週	354	0.15	136	0.06	1585	0.65	1306	0.54	145	0.06	371	0.15	421	0.19	2304	3.22
33週	302	0.12	109	0.04	1338	0.55	1197	0.49	179	0.07	472	0.19	421	0.19	2304	3.22
34週	222	0.09	106	0.04	1082	0.44	1030	0.42	193	0.08	528	0.22	471	0.19	2304	3.22
35週	222	0.09	97	0.04	1009	0.41	1038	0.43	156	0.06	523	0.22	392	0.16	2304	3.22
36週	142	0.06	74	0.03	1040	0.43	890	0.36	157	0.06	561	0.22	357	0.15	2304	3.22
37週	205	0.08	77	0.03	1400	0.57	1219	0.50	130	0.05	904	0.35	456	0.20	3557	3.22
38週	154	0.06	77	0.03	1500	0.61	1119	0.46	130	0.05	845	0.35	456	0.20	3557	3.22
39週	106	0.04	68	0.03	1277	0.52	1144	0.47	142	0.06	934	0.38	454	0.19	3971	3.22
40週	128	0.05	90	0.04	1939	0.79	1321	0.54	136	0.06	1039	0.43	454	0.19	3971	3.22
41週	106	0.04	92	0.04	1935	0.81	1265	0.53	136	0.06	1154	0.49	600	0.25	4621	3.22
42週	111	0.05	84	0.04	2628	1.16	1466	0.60	130	0.05	1386	0.57	600	0.25	4621	3.22
43週	169	0.07	97	0.05	2875	1.23	1520	0.62	106	0.04	1736	0.70	600	0.25	4621	3.22
44週	151	0.06	117	0.05	3752	1.54	1423	0.74	105	0.04	1739	0.71	600	0.25	4621	3.22
45週	144	0.06	155	0.06	4020	1.68	1812	0.78	89	0.04	1839	0.83	600	0.25	4621	3.22
46週	204	0.08	150	0.06	4220	1.83	1712	0.70	96	0.04	2070	0.85	600	0.25	4621	3.22
47週	204	0.08	159	0.06	5436	2.13	1701	0.70	96	0.04	2070	0.85	600	0.25	4621	3.22
48週	203	0.08	159	0.06	5436	2.13	1637	0.67	102	0.04	1904	0.78	576	0.24	4621	3.22
49週	266	0.11	199	0.09	6099	2.49	1651	0.68	90	0.04	1743	0.71	576	0.24	4621	3.22
50週	266	0.11	199	0.09	6099	2.49	1651	0.68	90	0.04	1743	0.71	576	0.24	4621	3.22

16. 咽頭結核炎(小・内)	15. MCLS(川崎病)	14. インフルエンザ	13. ヘルパンギーナ	12. 突発性発疹	11. 伝染性紅斑	10. 手足口病	9. 乳児嘔吐下痢症
acute febrile mucocutaneous lymphode syndrome	acute febrile mucocutaneous lymphode syndrome	influenza	herpangina	exanthem subitum	erythema infectiosum	hand-foot-and-mouth disease	infantile vomiting and diarrhea
報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
8292	1340	757837	795223	85523	13906	158677	115204
定点点当り	定点点当り	定点点当り	定点点当り	定点点当り	定点点当り	定点点当り	定点点当り
incidence	incidence	incidence	incidence	incidence	incidence	incidence	incidence
3.40	0.55	310.59	32.59	35.05	5.70	65.03	47.21
01	24	13543	0.05	0.48	134	0.11	0.91
02	29	127129	0.06	0.59	194	0.09	0.72
03	20	124974	0.07	0.54	194	0.09	0.72
04	38	134256	0.08	0.58	145	0.06	0.44
05	46	85188	0.03	0.50	171	0.06	0.46
06	24	54109	0.04	0.58	166	0.08	0.61
07	41	40740	0.04	0.59	142	0.10	0.74
08	37	38826	0.04	0.53	150	0.10	0.74
09	40	40008	0.04	0.61	144	0.06	0.44
10	38	38690	0.04	0.61	163	0.07	0.53
11	55	27347	0.03	0.60	173	0.07	0.53
12	40	15764	0.04	0.61	171	0.14	1.04
13	34	15975	0.05	0.63	202	0.14	1.04
14	59	2819	0.07	0.69	195	0.16	1.12
15	41	2379	0.08	0.71	201	0.17	1.21
16	67	900	0.09	0.69	310	0.25	1.81
17	47	460	0.08	0.62	260	0.38	2.74
18	52	313	0.10	0.59	321	0.38	2.74
19	83	308	0.13	0.71	365	0.61	4.35
20	83	308	0.13	0.71	365	0.61	4.35
21	105	265	0.47	0.73	425	1.62	11.62
22	151	244	0.54	0.70	400	1.16	8.34
23	125	180	0.42	0.75	407	1.18	8.44
24	175	181	0.66	0.77	442	1.62	11.62
25	215	175	0.66	0.77	532	2.06	14.70
26	256	1257	0.93	0.80	591	2.28	16.34
27	278	137	0.93	0.78	678	2.59	18.64
28	448	59	1.68	0.78	450	1.62	11.62
29	448	59	1.68	0.78	450	1.62	11.62
30	529	50	1.96	0.75	771	2.91	20.88
31	570	37	2.22	0.69	209	0.77	5.53
32	570	37	2.22	0.69	209	0.77	5.53
33	565	22	2.11	0.83	183	0.68	4.88
34	565	22	2.11	0.83	183	0.68	4.88
35	561	56	2.08	0.69	154	0.58	4.16
36	561	56	2.08	0.69	154	0.58	4.16
37	476	84	1.74	0.87	123	0.48	3.41
38	476	84	1.74	0.87	123	0.48	3.41
39	108	119	0.40	0.75	133	0.40	2.88
40	108	119	0.40	0.75	133	0.40	2.88
41	98	105	0.36	0.70	160	0.42	3.00
42	98	105	0.36	0.70	160	0.42	3.00
43	87	115	0.32	0.69	153	0.30	2.13
44	87	115	0.32	0.69	153	0.30	2.13
45	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
46	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
47	72	306	0.27	0.64	238	0.86	6.16
48	72	306	0.27	0.64	238	0.86	6.16
49	62	160	0.23	0.62	284	1.02	7.32
50	62	160	0.23	0.62	284	1.02	7.32
51	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
52	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
53	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
54	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
55	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
56	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
57	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
58	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
59	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
60	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
61	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
62	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
63	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
64	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
65	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
66	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
67	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
68	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
69	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
70	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
71	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
72	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
73	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
74	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
75	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
76	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
77	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
78	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
79	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
80	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
81	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
82	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
83	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
84	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
85	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
86	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
87	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
88	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
89	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
90	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
91	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
92	83	199	0.31	0.62	362	1.31	9.32
93	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
94	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
95	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
96	75	169	0.28	0.64	234	0.86	6.16
97	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
98	73	151	0.27	0.62	222	0.81	5.81
99	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32
100	84	171	0.31	0.62	362	1.31	9.32

17. 咽頭結膜炎(眼)		18. 流行性角結膜炎		19. 急性出血性結膜炎	
pharyngo-conjunctival fever (ophthalmology)	epidemic keratoconjunctivitis	acute hemorrhagic conjunctivitis	pharyngo-conjunctival fever (ophthalmology)	epidemic keratoconjunctivitis	acute hemorrhagic conjunctivitis
報告数 reported cases	定点点当たり incidence	報告数 reported cases	定点点当たり incidence	報告数 reported cases	定点点当たり incidence
782	2.49	22134	70.49	1143	3.64
01週	0.04	274	0.87	37	0.12
02週	0.04	307	0.98	36	0.11
03週	0.04	204	0.65	37	0.12
04週	0.02	214	0.68	29	0.09
05週	0.01	221	0.70	21	0.07
06週	0.02	194	0.62	19	0.06
07週	0.01	223	0.71	21	0.07
08週	0.03	207	0.66	25	0.08
09週	0.02	193	0.61	19	0.06
10週	0.03	277	0.88	12	0.04
11週	0.02	263	0.84	10	0.03
12週	0.01	269	0.73	21	0.07
13週	0.02	269	0.86	17	0.05
14週	0.03	285	0.74	15	0.05
15週	0.02	285	0.91	14	0.04
16週	0.03	296	0.94	19	0.06
17週	0.04	262	0.83	23	0.07
18週	0.04	295	0.84	17	0.05
19週	0.03	323	1.07	32	0.10
20週	0.03	323	1.03	19	0.06
21週	0.03	327	1.04	24	0.08
22週	0.03	327	1.21	25	0.08
23週	0.03	379	1.21	90	0.29
24週	0.01	343	1.04	69	0.22
25週	0.02	358	1.08	36	0.11
26週	0.06	356	1.10	49	0.16
27週	0.07	339	1.08	62	0.20
28週	0.08	449	1.43	42	0.13
29週	0.09	442	1.41	47	0.12
30週	0.10	43	1.40	37	0.12
31週	0.09	574	1.63	16	0.05
32週	0.09	574	1.83	23	0.07
33週	0.09	709	2.08	22	0.07
34週	0.10	699	2.23	23	0.07
35週	0.12	633	2.02	15	0.05
36週	0.13	681	1.85	17	0.05
37週	0.13	495	1.58	1	0.00
38週	0.08	450	1.34	3	0.01
39週	0.06	554	2.08	3	0.01
40週	0.06	554	1.1	3	0.01
41週	0.07	458	1.46	17	0.05
42週	0.04	629	1.69	6	0.02
43週	0.06	697	2.00	7	0.02
44週	0.03	723	2.32	6	0.02
45週	0.03	723	2.00	13	0.04
46週	0.04	677	2.00	1	0.00
47週	0.01	614	1.66	1	0.00
48週	0.01	619	1.97	1	0.00
49週	0.05	491	1.51	3	0.01
50週	0.05	491	1.51	3	0.01
51週	0.05	491	1.51	6	0.02
52週	0.05	491	1.51	12	0.04
53週	0.05	491	1.51	1	0.00

2. 平成7年 全国、疾病別・月別・性別報告数及び一定点当たり報告数(総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by month, disease and sex, 1995. (Total)

	報告数 reported cases	1995											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1.MCLS(川崎病) acute febrile mucocutaneous lymphnode syndrome	今年 1841 昨年 1782	190	127	176	145	168	160	150	196	157	107	127	129
	今年 3.57 昨年 3.30	0.37	0.25	0.34	0.28	0.33	0.31	0.31	0.38	0.30	0.24	0.25	0.25
		0.34	0.27	0.26	0.26	0.26	0.28	0.30	0.32	0.30	0.24	0.21	0.25
2.ウイルス肝炎 viral hepatitis	今年 1862 昨年 2797	134	141	186	165	177	163	148	133	157	140	119	199
	今年 3.62 昨年 5.18	0.26	0.27	0.36	0.32	0.34	0.32	0.29	0.26	0.30	0.27	0.23	0.39
		0.48	0.59	0.57	0.66	0.50	0.46	0.37	0.40	0.29	0.27	0.35	0.23
3.A型肝炎 hepatitis A	今年 353 昨年 714	37	37	62	63	47	29	24	4	20	10	12	8
	今年 0.69 昨年 1.32	0.07	0.07	0.12	0.12	0.09	0.09	0.05	0.01	0.04	0.02	0.02	0.02
		0.16	0.19	0.23	0.30	0.17	0.09	0.05	0.04	0.02	0.01	0.02	0.04
4.B型肝炎 hepatitis B	今年 421 昨年 537	26	23	36	27	45	32	33	39	36	37	35	52
	今年 0.82 昨年 0.99	0.05	0.04	0.07	0.05	0.09	0.06	0.06	0.08	0.07	0.07	0.07	0.10
		0.08	0.10	0.09	0.09	0.11	0.09	0.08	0.07	0.09	0.06	0.08	0.06
5.その他のウイルス肝炎 non-A non-B hepatitis	今年 1088 昨年 1546	71	81	88	75	85	102	91	90	101	93	72	139
	今年 2.11 昨年 2.85	0.14	0.16	0.17	0.15	0.17	0.20	0.18	0.17	0.20	0.18	0.14	0.27
		0.23	0.29	0.25	0.29	0.23	0.29	0.25	0.29	0.20	0.19	0.14	0.13
6.感染性髄膜炎 meningitis	今年 1864 昨年 2998	62	54	73	65	109	201	393	327	190	175	119	96
	今年 3.62 昨年 5.55	0.12	0.10	0.14	0.13	0.21	0.39	0.76	0.63	0.37	0.34	0.23	0.19
		0.22	0.26	0.28	0.31	0.41	0.68	1.23	0.86	0.56	0.28	0.24	0.20
7.細菌性髄膜炎 septic meningitis	今年 245 昨年 239	16	20	17	13	15	21	21	22	18	37	21	24
	今年 0.48 昨年 0.44	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.03	0.07	0.04	0.05
		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.06	0.03	0.03	0.03	0.05	0.03
8.無菌性髄膜炎 aseptic meningitis	今年 1619 昨年 2759	46	34	56	52	94	180	372	305	172	138	98	72
	今年 3.14 昨年 5.11	0.09	0.07	0.11	0.10	0.18	0.35	0.72	0.59	0.33	0.27	0.19	0.14
		0.19	0.24	0.25	0.28	0.36	0.65	1.17	0.84	0.53	0.24	0.19	0.17

9. 脳脊髄炎 encephalomyelitis	報告数 reported cases	今年 今年 昨年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			数	28	25	16	21	11	19	13	13	17	13	11
	総	184	22	13	24	22	21	19	18	12	11	9	7	10
	定点点当たり incidence	0.36	0.05	0.05	0.03	0.04	0.01	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.03	0.02
	報告数 reported cases	103	10	10	11	14	3	6	11	10	7	5	10	6
	定点点当たり incidence	0.20	0.02	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01
	報告数 reported cases	68	15	14	3	4	2	4	2	6	4	5	3	4
	定点点当たり incidence	0.13	0.03	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	報告数 reported cases	6	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	定点点当たり incidence	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	報告数 reported cases	7	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1
	定点点当たり incidence	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
	報告数 reported cases	6720	493	435	481	492	564	513	613	668	645	606	619	591
	定点点当たり incidence	11.13	0.82	0.78	0.81	0.83	0.81	0.82	0.95	1.09	1.07	0.90	1.02	0.98
	報告数 reported cases	13771	979	1022	1092	1038	1152	1176	1264	1232	1306	1263	1184	1063
	定点点当たり incidence	22.80	1.62	1.69	1.81	1.72	1.91	1.95	2.09	2.04	2.16	2.09	1.96	1.76
	報告数 reported cases	5715	421	419	460	436	514	481	466	495	528	485	488	521
	定点点当たり incidence	9.82	0.70	0.69	0.76	0.72	0.85	0.80	0.77	0.83	0.90	0.80	0.81	0.86
	報告数 reported cases	2147	172	168	197	185	182	183	175	205	184	169	174	153
	定点点当たり incidence	3.55	0.28	0.28	0.33	0.31	0.30	0.30	0.29	0.34	0.30	0.28	0.29	0.25
	報告数 reported cases	3041	252	234	238	232	246	245	299	280	262	265	268	220
	定点点当たり incidence	5.03	0.42	0.39	0.39	0.38	0.41	0.41	0.50	0.46	0.43	0.44	0.44	0.36
	報告数 reported cases	6112	448	450	448	452	492	492	500	500	492	492	497	457
	定点点当たり incidence	10.48	0.84	0.78	0.81	0.83	0.81	0.82	0.95	1.09	1.07	0.90	1.02	0.98
	報告数 reported cases	14323	1064	1032	1146	1184	1204	1392	1260	1380	1213	1271	1171	1006
	定点点当たり incidence	23.91	1.78	1.72	1.91	1.98	2.01	2.32	2.10	2.30	2.03	2.12	1.95	1.68
	報告数 reported cases	5715	421	419	460	436	514	481	466	495	528	485	488	521
	定点点当たり incidence	9.82	0.70	0.69	0.76	0.72	0.85	0.80	0.77	0.83	0.90	0.80	0.81	0.86
	報告数 reported cases	2147	172	168	197	185	182	183	175	205	184	169	174	153
	定点点当たり incidence	3.55	0.28	0.28	0.33	0.31	0.30	0.30	0.29	0.34	0.30	0.28	0.29	0.25
	報告数 reported cases	3041	252	234	238	232	246	245	299	280	262	265	268	220
	定点点当たり incidence	5.03	0.42	0.39	0.39	0.38	0.41	0.41	0.50	0.46	0.43	0.44	0.44	0.36

2. 平成7年 全国、疾病別・月別・性別報告数及び一定点当たり報告数(男)

Reported cases from clinics and hospitals, by month, disease and sex, 1995. (Male)

	報告数 reported cases	今年 昨年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			報告数 reported cases	今年 昨年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1. MCL(S) 崎病 acute febrile muco-cutaneous lymphnode syndrome	報告数 reported cases	今年 昨年	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	定点点当たり incidence	今年 昨年	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
2. ウイルス肝炎 viral hepatitis	報告数 reported cases	今年 昨年	62 136	82 176	106 156	90 202	96 156	94 145	89 123	79 134	90 87	92 84	72 122	105 70
	定点点当たり incidence	今年 昨年	0.12 0.25	0.16 0.33	0.21 0.29	0.17 0.37	0.19 0.29	0.18 0.27	0.17 0.23	0.15 0.25	0.17 0.16	0.18 0.16	0.14 0.23	0.20 0.13
3. A型肝炎 hepatitis A	報告数 reported cases	今年 昨年	15 35	20 45	32 51	32 76	24 54	14 28	15 18	3 12	11 5	6 4	9 9	3 13
	定点点当たり incidence	今年 昨年	0.36 0.65	0.04 0.08	0.06 0.09	0.06 0.14	0.05 0.10	0.03 0.05	0.03 0.03	0.01 0.02	0.02 0.01	0.01 0.01	0.02 0.02	0.01 0.02
4. B型肝炎 hepatitis B	報告数 reported cases	今年 昨年	258 321	14 33	20 29	19 30	26 28	18 32	24 23	22 22	25 26	22 25	19 26	34 18
	定点点当たり incidence	今年 昨年	0.50 0.59	0.03 0.06	0.04 0.05	0.04 0.06	0.05 0.05	0.03 0.06	0.05 0.04	0.04 0.04	0.05 0.05	0.04 0.05	0.04 0.05	0.07 0.03
5. その他のウイルス肝炎 non-A non-B hepatitis	報告数 reported cases	今年 昨年	615 920	48 98	54 76	39 96	46 74	62 85	50 82	54 100	54 56	64 55	44 87	68 39
	定点点当たり incidence	今年 昨年	1.19 1.70	0.09 0.18	0.10 0.14	0.08 0.18	0.09 0.14	0.12 0.16	0.10 0.15	0.10 0.19	0.10 0.10	0.12 0.10	0.09 0.16	0.13 0.07
6. 感染性髄膜炎 meningitis	報告数 reported cases	今年 昨年	1203 1990	42 98	46 100	42 116	73 152	149 248	257 450	212 318	112 179	113 89	67 93	60 70
	定点点当たり incidence	今年 昨年	2.34 3.69	0.08 0.14	0.09 0.19	0.08 0.21	0.14 0.28	0.29 0.46	0.50 0.83	0.41 0.59	0.23 0.33	0.22 0.16	0.13 0.17	0.12 0.13
7. 細菌性髄膜炎 septic meningitis	報告数 reported cases	今年 昨年	139 134	11 7	10 7	5 10	10 18	18 12	10 21	9 8	7 9	21 8	11 16	15 8
	定点点当たり incidence	今年 昨年	0.27 0.25	0.02 0.02	0.02 0.01	0.02 0.02	0.02 0.03	0.03 0.02	0.04 0.04	0.02 0.01	0.01 0.02	0.01 0.01	0.02 0.03	0.03 0.01
8. 無菌性髄膜炎 aseptic meningitis	報告数 reported cases	今年 昨年	1064 1856	31 70	36 93	37 106	63 134	131 236	247 429	203 310	105 170	92 81	59 77	45 62
	定点点当たり incidence	今年 昨年	2.07 3.44	0.06 0.13	0.07 0.17	0.07 0.20	0.12 0.25	0.25 0.44	0.48 0.79	0.39 0.57	0.20 0.31	0.19 0.15	0.11 0.14	0.09 0.11

2. 平成7年 全国、疾病別・月別・性別報告数及び一定点当たり報告数(女)

Reported cases from clinics and hospitals, by month, disease and sex, 1995. (Female)

報告数 reported cases	1995年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1. MCLSL(川崎病) acute febrile muco-cutaneous lymphnode syndrome	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. ウイルス肝炎 viral hepatitis	805 1206	59 140	80 151	75 163	81 114	69 101	59 78	54 84	67 71	48 61	47 67	94 55
定点当たり incidence	1.56 2.23	0.14 0.22	0.16 0.28	0.15 0.30	0.16 0.21	0.13 0.19	0.11 0.14	0.10 0.16	0.13 0.13	0.09 0.11	0.09 0.12	0.18 0.10
3. A型肝炎 hepatitis A	169 364	22 57	30 74	31 85	23 37	15 18	9 9	1 10	9 6	4 4	3 3	5 9
定点当たり incidence	0.33 0.67	0.04 0.10	0.06 0.14	0.06 0.16	0.04 0.07	0.03 0.03	0.02 0.02	0.00 0.02	0.02 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01	0.01 0.02
4. B型肝炎 hepatitis B	163 216	9 22	16 18	8 19	19 29	14 14	9 18	17 17	11 21	15 10	16 17	18 16
定点当たり incidence	0.32 0.40	0.02 0.03	0.03 0.03	0.02 0.04	0.04 0.05	0.03 0.03	0.02 0.03	0.03 0.03	0.02 0.04	0.02 0.02	0.03 0.03	0.03 0.03
5. その他のウイルス肝炎 non-A non-B hepatitis	473 626	33 61	34 59	36 59	39 48	40 69	41 51	36 57	47 44	29 47	28 47	71 30
定点当たり incidence	0.92 1.16	0.08 0.10	0.07 0.11	0.07 0.11	0.08 0.09	0.08 0.13	0.08 0.09	0.07 0.11	0.09 0.08	0.06 0.09	0.05 0.05	0.14 0.06
6. 感染性髄膜炎 meningitis	661 1008	20 42	24 45	23 54	36 72	52 121	136 215	115 148	78 124	62 61	52 37	36 38
定点当たり incidence	1.28 1.67	0.04 0.08	0.05 0.09	0.04 0.10	0.07 0.13	0.10 0.22	0.26 0.40	0.22 0.27	0.15 0.23	0.12 0.11	0.10 0.07	0.07 0.07
7. 細菌性髄膜炎 septic meningitis	106 105	5 8	8 9	8 8	5 11	3 8	11 12	13 7	11 9	16 10	19 9	8 8
定点当たり incidence	0.21 0.19	0.01 0.01	0.01 0.02	0.01 0.01	0.01 0.02	0.01 0.01	0.02 0.02	0.03 0.01	0.02 0.02	0.03 0.02	0.02 0.02	0.01 0.01
8. 無菌性髄膜炎 aseptic meningitis	555 903	15 34	16 39	15 46	31 61	49 113	125 203	102 141	67 115	46 51	42 28	27 30
定点当たり incidence	1.08 1.67	0.03 0.06	0.04 0.08	0.03 0.09	0.06 0.11	0.10 0.21	0.24 0.38	0.20 0.26	0.13 0.21	0.09 0.09	0.08 0.05	0.05 0.06

9. 脳脊髄炎 encephalomyelitis	報告数 reported cases	今年 今年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	報告数	77	10	11	8	9	5	3	6	4	7	4	6	4
	定点点当り incidence	0.15	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	報告数	51	6	4	6	4	6	3	5	4	4	2	4	3
	定点点当り incidence	0.07	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01
	報告数	33	7	4	3	4	1	1	1	2	2	3	2	4
	定点点当り incidence	0.06	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01
	報告数	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	定点点当り incidence	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	報告数	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	定点点当り incidence	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	報告数	767	50	58	52	60	73	47	61	84	66	77	64	75
	定点点当り incidence	1.27	0.08	0.10	0.09	0.10	0.12	0.08	0.10	0.14	0.11	0.13	0.11	0.12
	報告数	6009	440	470	518	450	488	506	541	513	570	546	504	463
	定点点当り incidence	10.57	0.73	0.78	0.85	0.75	0.81	0.84	0.90	0.85	0.94	0.90	0.83	0.77
	報告数	2563	175	170	197	197	222	208	211	232	242	212	254	253
	定点点当り incidence	4.54	0.29	0.28	0.33	0.33	0.37	0.34	0.35	0.37	0.44	0.37	0.42	0.42
	報告数	726	50	51	74	62	65	58	69	58	56	70	57	46
	定点点当り incidence	1.20	0.10	0.09	0.12	0.11	0.11	0.10	0.11	0.13	0.09	0.12	0.09	0.08
	報告数	2834	239	221	220	218	232	228	274	267	240	245	243	207
	定点点当り incidence	5.69	0.40	0.37	0.45	0.36	0.38	0.38	0.45	0.44	0.40	0.41	0.40	0.34

総 数	乳児嚔下病 累積報告数 115204	手足口病 累積報告数 158677	伝染性紅斑 累積報告数 13906	突発性聴覚 累積報告数 85523	ヘルパンギナ 累積報告数 79523	インフルエンザ 累積報告数 757837	MCLS 累積報告数 1340	(川崎病) 定常当り 0.55	咽頭結核熱 累積報告数 8292	(小・内) 定常当り 3.40
北海道	2482	5731	2325	3986	5550	24404	44	0.36	170	1.40
青森県	899	533	276	1004	1090	4674	20	0.67	8	0.26
岩手県	999	1179	1286	1005	836	7933	11	0.39	41	0.78
宮城県	2782	5339	2860	1633	2316	10942	24	0.52	36	0.33
秋田県	816	3400	1048	1635	900	6492	16	0.67	80	0.96
山形県	1426	2225	1180	1298	1018	8494	16	0.59	51	1.09
福島県	2046	3253	1800	1298	1917	8446	29	0.62	80	0.98
茨城県	1756	2077	2302	1384	810	20146	33	0.67	146	2.07
栃木県	1406	1312	1147	1260	921	8750	26	0.68	54	1.69
群馬県	3980	6658	1022	3506	2498	34692	59	0.74	632	7.90
埼玉県	7809	8009	1318	2540	2388	21547	29	0.40	136	1.89
千葉県	5437	8009	1314	4105	4507	31727	46	0.35	320	2.37
神奈川県	1659	9723	1694	5322	4794	42824	54	0.20	200	1.42
新潟県	633	2478	1143	722	798	9602	16	0.29	128	0.98
富山県	383	2606	1149	742	389	10811	6	0.35	67	2.58
石川県	522	1606	1135	614	809	6303	14	0.74	18	0.53
福井県	367	1450	301	1630	522	12043	4	0.98	286	0.61
山梨県	2379	2740	305	1630	1656	10153	41	0.98	286	0.61
岐阜県	2099	1665	57	1005	1467	5293	42	1.16	96	2.53
静岡県	3416	8178	228	2369	1238	12095	91	0.78	720	4.87
愛知県	3410	8779	330	2518	2568	32264	99	0.23	203	2.63
三重県	638	6211	60	2518	444	19100	17	0.50	124	0.94
滋賀県	288	4582	124	489	1978	6652	9	0.70	30	0.54
京都府	555	7084	334	2454	4884	24100	39	0.55	154	1.04
大阪府	413	10902	47	4503	3350	46787	59	0.33	45	0.33
兵庫県	1178	1581	12	980	830	6486	15	0.35	52	1.00
和歌山県	443	1513	20	584	489	5837	7	0.47	14	0.93
鳥取県	921	1408	133	1038	753	10637	8	0.38	106	0.92
徳島県	345	2637	124	1135	439	17997	23	0.58	260	1.96
香川県	265	2637	124	2256	3167	17997	16	0.31	154	0.96
岡山県	366	2637	103	1395	1390	22462	99	0.79	223	0.99
広島県	1463	2338	103	1395	1794	6933	99	0.58	223	0.99
山口県	2780	2192	75	1341	1794	11338	19	0.31	170	0.86
徳島県	1410	940	122	1341	1794	12553	39	0.58	477	1.43
香川県	7650	5150	122	3068	1795	6486	15	0.76	171	0.55
福岡県	1655	1751	41	1013	357	5784	2	0.11	16	0.89
佐賀県	2684	3266	59	1494	989	18756	16	0.34	71	1.66
熊本県	3576	5207	126	1494	1866	20242	30	0.31	189	1.52
大分県	3381	3161	85	2043	1730	22468	41	0.54	41	0.24
宮崎県	1674	3030	44	1571	1176	8446	18	0.50	184	1.11
鹿児島県	1596	1762	18	465	1107	2628	1	0.72	1	0.04
沖縄県	1635	1844	103	1853	2073	7890	3	0.74	159	1.30
東京都	404	1698	107	344	830	2006	18	0.20	121	0.90
千葉県	456	366	66	344	1007	2069	2	0.25	444	1.70
埼玉県	2034	3866	23	913	2968	19662	30	0.43	134	0.91
東京都	1229	4121	126	1740	2477	19362	30	0.37	134	1.18
東京都	1884	2172	84	1576	1793	13457	14	0.38	21	0.88
東京都	1534	2566	114	1025	1153	7821	4	0.68	21	0.50
東京都	1093	2930	42	895	641	7819	7	0.30	4	0.25
東京都	1362	1842	39	560	411	5256	6	0.30	4	0.25
東京都	2662	3474	127	882	497	7891	8	0.47	84	0.43

指定都市(概数)

	明細特異数	(眼)	流行性角膜炎 累積報告数	定点当り	急性性結膜炎 累積報告数	定点当り	愛宕当り
総	782	2.82	22134	70.49	1143	3.64	
北海道	23	0.96	781	32.54	16	0.67	
青森県	117	23.40	474	42.60	22	4.40	
岩手県	23	4.60	2159	47.80	128	3.40	
宮城県	26	5.20	3100	62.00	225	3.00	
秋田県	1	0.20	2896	119.20	178	1.14	
山形県	9	1.80	4422	271.20	21	0.25	
福島県	47	0.93	286	27.10			
群馬県	61	7.63	349	43.63	3	0.35	
千葉県	10	1.25	250	31.25	220	2.75	
東京都	206	1.43	1034	73.86	110	0.79	
神奈川県	20	2.22	6420	71.10	21	0.22	
新潟県	-	-	72	24.00	-	-	
富山県	12	2.40	91	22.00	7	1.40	
石川県	1	0.20	109	30.20	3	0.60	
福井県	81	16.20	391	78.20			
山梨県	-	-					
長野県	-	-					
岐阜県	96	1.80	77	15.40	1	0.20	
静岡県	3	5.00	154	30.90	2	0.18	
愛知県	66	1.50	340	30.90	6	1.50	
三重県	24	3.00	99	24.75	4	0.54	
滋賀県	31	1.63	326	54.96	37	0.37	
京都府	1	0.50	1008	153.00	3	0.75	
大阪府	2	-	132	33.00			
奈良県	-	-					
和歌山県	-	-					
鳥取県	22	0.40	42	14.00	1	0.33	
島根県	1	1.57	277	69.20	35	8.73	
岡山県	10	2.00	632	126.40	16	2.29	
広島県	47	1.97	284	55.80	1	0.20	
山口県	5	1.00	141	28.20	13	3.25	
徳島県	37	1.40	1931	232.75	6	0.67	
香川県	10	-	1189	132.11			
高知県	-	-					
福岡県	-	-					
佐賀県	-	-	57	18.67	1	0.33	
長崎県	4	0.80	380	95.00	8	1.60	
大分県	8	2.00	447	89.40	5	1.50	
宮崎県	-	-	338	99.80			
鹿児島県	-	-	1319	266.17	7	4.50	
沖縄県	-	-	397	66.17	17	119.50	
指定都市(再掲)							
札幌市	21	7.00	654	72.67	10	1.10	
仙台市	37	7.40	4	14.00	1	1.00	
新潟市	-	-	135	26.90	24	0.40	
川崎市	49	8.17	525	18.33	1	0.33	
名古屋市	21	7.00	1425	48.33	1	0.33	
京都市	17	1.89	227	20.64	29	2.64	
神戸市	3	1.50	147	19.00	15	1.60	
広島市	-	-	147	49.50	1	0.50	
北九州市	3	1.00	339	73.00	4	1.10	
福岡市	-	-					

4. 平成7年 都道府県別・疾病別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture, disease and sex, 1995. (Total)

都道府県	MCLS 累積報告数	(川崎病) 定点点当り	ウイルス肝炎 累積報告数	定点点当り	A型肝炎 累積報告数	定点点当り	B型肝炎 累積報告数	定点点当り	その他の肝炎 累積報告数	定点点当り	急性性髄膜炎 累積報告数	定点点当り	細菌性髄膜炎 累積報告数	定点点当り	無菌性髄膜炎 累積報告数	定点点当り
総数	1841	3.57	1862	0.82	421	2.11	1864	3.62	1088	2.11	1864	3.62	245	1619	0.48	
北海道	56	3.29	114	0.24	60	2.94	36	2.40	50	2.94	36	2.40	3	33	0.20	
青森県	17	1.13	12	0.40	6	0.40	2	0.33	5	0.33	2	0.40	1	1	0.20	
岩手県	21	4.20	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	13	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	13	2.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	42	2.33	11	0.61	2	0.33	56	3.11	6	0.33	4	0.80	14	42	0.78	
福島県	9	1.80	22	2.40	12	1.20	18	2.57	79	1.20	4	0.80	1	3	0.20	
茨城県	5	0.71	97	13.86	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	14	2.80	16	0.40	2	1.00	5	1.80	9	1.80	3	0.60	1	2	0.40	
群馬県	60	12.00	16	3.20	5	1.00	5	1.00	9	1.80	40	8.00	1	32	1.60	
埼玉県	26	3.25	198	24.75	54	6.75	54	6.75	126	15.75	25	3.13	95	16	1.33	
千葉県	93	11.63	158	7.25	17	2.13	17	2.13	40	3.38	40	3.00	3	3	0.63	
東京都	156	8.67	147	1.94	35	1.56	24	1.56	83	4.91	57	3.72	16	3	0.89	
神奈川県	130	6.83	97	5.39	28	1.56	28	1.56	4	0.67	94	5.00	3	3	0.89	
新潟県	3	0.00	4	0.67	-	-	-	-	4	0.67	15	2.50	1	1	0.50	
富山県	18	3.00	21	2.40	3	0.60	3	0.60	8	1.60	29	2.40	1	2	0.20	
石川県	2	0.60	13	2.60	4	0.80	4	0.80	19	1.80	10	2.40	1	1	0.20	
福井県	6	2.00	36	7.50	4	0.50	4	0.50	2	0.80	11	2.88	1	1	0.20	
山梨県	19	2.88	37	1.80	4	0.80	4	0.80	24	4.80	15	3.00	5	10	1.80	
長野県	44	1.68	37	1.80	9	1.00	4	0.80	2	0.80	15	3.00	6	10	1.80	
岐阜県	25	5.00	7	1.40	2	0.40	8	0.40	5	1.00	7	1.40	2	5	0.40	
静岡県	62	1.54	75	3.75	1	0.31	1	0.31	44	2.00	60	3.00	10	50	0.50	
愛知県	7	4.80	37	3.70	4	0.60	4	0.60	52	2.60	47	2.35	1	3	0.08	
三重県	48	1.73	16	0.9	3	0.60	3	0.60	13	0.90	51	2.55	4	53	0.40	
滋賀県	41	3.73	102	1.62	17	0.27	17	0.27	80	2.77	74	2.36	7	67	0.45	
京都府	79	1.53	169	3.67	34	0.74	34	0.74	11	1.74	160	3.48	2	140	0.43	
大阪府	35	8.20	16	0.60	-	-	-	-	11	0.60	35	3.00	5	52	1.20	
兵庫県	41	3.67	26	0.60	-	-	-	-	3	0.60	35	3.00	6	49	0.40	
和歌山県	25	5.00	7	1.40	2	0.40	8	0.40	5	1.00	7	1.40	2	50	0.40	
鳥取県	3	3.00	24	2.40	1	0.20	1	0.20	12	0.70	59	5.90	2	7	0.20	
島根県	3	1.17	18	0.77	5	0.70	5	0.70	12	0.83	59	5.90	2	35	0.70	
岡山県	34	8.00	31	3.00	7	0.83	7	0.83	4	0.20	56	5.60	2	47	0.40	
広島県	3	2.00	7	0.50	2	0.33	2	0.33	9	1.52	115	11.50	4	110	0.40	
山口県	22	3.20	148	7.05	32	1.52	32	1.52	19	0.40	115	11.50	5	110	0.40	
徳島県	2	0.20	12	0.60	1	0.33	1	0.33	9	0.20	109	10.90	2	108	0.20	
香川県	2	4.80	4	2.00	2	0.60	2	0.60	1	0.17	99	9.90	2	98	0.50	
愛媛県	9	1.80	12	1.40	1	0.17	1	0.17	7	1.40	24	2.40	2	22	0.40	
高知県	9	3.33	17	1.40	7	0.58	7	0.58	12	1.40	24	2.40	2	22	0.40	
福岡県	205	3.76	34	1.62	2	0.10	2	0.10	32	1.52	16	0.76	5	52	0.49	
佐賀県	6	0.40	16	0.33	6	0.40	6	0.40	5	0.33	38	3.80	8	30	0.60	
長崎県	28	6.62	24	1.85	5	0.38	5	0.38	13	1.00	46	3.68	14	42	0.67	
熊本県	3	3.00	51	5.57	14	2.44	14	2.44	20	2.60	43	4.76	6	37	0.97	
大分県	1	0.00	23	0.25	1	0.25	1	0.25	10	0.36	19	1.90	1	18	0.14	
宮崎県	1	2.40	5	1.29	7	1.71	7	1.71	24	3.43	20	2.86	1	19	0.14	
沖縄県	2	1.14	3	0.33	4	1.00	4	1.00	2	0.33	77	7.70	1	70	1.00	
東京都	1	0.25	1	0.33	1	1.00	1	1.00	2	2.00	1	2.00	1	1	0.33	
札幌市	40	6.67	3	0.33	1	1.00	1	1.00	41	8.20	18	3.60	12	17	2.40	
仙台市	6	2.00	77	15.40	26	5.00	26	5.00	2	0.33	29	5.80	3	13	2.60	
宇都宮市	6	3.00	1	0.14	-	-	-	-	4	0.33	31	6.20	4	27	0.67	
川崎市	36	5.83	1	0.07	3	0.97	3	0.97	2	0.33	20	3.29	9	39	0.50	
名古屋市	16	1.43	25	0.64	12	1.14	12	1.14	11	0.96	46	4.18	7	39	0.14	
京都市	2	3.33	4	1.29	1	1.71	1	1.71	24	3.43	92	13.14	1	91	0.14	
神戸市	1	12.00	1	0.33	-	-	-	-	2	0.33	16	2.67	4	12	0.67	
北九州市	7	3.00	2	0.33	-	-	-	-	2	0.33	16	2.67	4	12	0.67	

指定都市(再掲)

4. 平成7年 都道府県別・疾病別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数 (男)

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture, disease and sex, 1995. (Male)

種 別	M.C.L.S 県庁報告数	(川崎県) 定数当り	ウイルス性炎 県庁報告数	定数当り	A型肝炎 県庁報告数	定数当り	B型肝炎 県庁報告数	定数当り	その他の肝炎 県庁報告数	定数当り	急性細菌性 県庁報告数	定数当り	細菌性髄膜炎 県庁報告数	定数当り	細菌性髄膜炎 県庁報告数	定数当り
総 数			1057	2.05	184	0.36	258	0.50	615	1.19	1203	2.34	139	0.27	1064	2.07
北海道			64	3.76	2	0.12	37	2.18	25	1.47	20	1.33	2	0.13	18	1.20
青森県			2	0.40	1	0.07	3	0.20	2	0.40	1	0.20	1	0.13	1	0.20
岩手県																
宮城県																
秋田県																
山形県			5	0.28			1	0.06	4	0.22	37	2.06	8	0.44	29	1.61
福島県			10	2.00			4	0.80	1	0.20	3	0.60	1	0.20	2	0.40
茨城県			64	9.14			13	1.86	51	7.29	1	0.40	1	0.20	1	0.20
栃木県									4	0.80	26	5.20	4	0.80	22	4.40
群馬県			5	1.00			1	0.20								
埼玉県			123	15.38	13	1.63	31	3.88	79	9.88	15	1.88	5	0.63	10	1.25
千葉県			4	0.80			1	0.20	17	3.40	46	9.20	9	1.80	24	4.80
東京都			88	4.83	17	0.94	17	0.94	54	3.07	46	2.56	9	0.50	37	2.00
神奈川県			49	2.50	10	0.56	18	1.00	21	1.50	49	2.56	12	0.67	35	1.83
新潟県			3	0.60					3	0.60	21	4.20	1	0.20	20	4.00
富山県			1	1.00					3	3.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00
石川県			19	3.80			3	0.60	8	1.60	5	1.00	1	0.20	11	2.20
福井県			17	3.40	4	0.80	2	0.40	11	2.20	10	2.00	5	1.00	37	7.40
岐阜県																
静岡県			4	0.80	2	0.40			2	0.40	3	0.60	1	0.20	3	0.60
愛知県			45	2.25	13	0.65	5	0.25	27	1.35	46	2.30	6	0.30	40	2.00
愛知県			40	3.08	16	0.46	3	0.23	31	2.38	4	0.30	1	0.08	3	0.20
三重県			18	1.80	10	1.00	3	0.30	5	0.50	38	3.80	1	0.30	35	3.50
滋賀県			3	0.60					3	0.60	22	4.40	4	0.80	23	4.60
京都府			59	0.94			12	0.19	3	0.27	59	4.73	8	1.36	47	1.30
大阪府			9	2.07	27	0.33	22	0.48	46	1.00	19	2.27	14	0.67	83	1.80
奈良県																
和歌山県																
鳥取県			16	1.60	8	0.80	4	0.40	4	0.40	43	4.30	2	0.20	41	4.10
島根県			4	0.80					3	0.60	34	3.40	2	0.40	32	3.20
岡山県			92	4.38	16	0.76	21	1.00	54	2.60	89	4.00	2	0.19	57	2.60
広島県																
山口県			1	0.20												
徳島県			4	0.80					2	0.40	5	1.00	2	0.40	4	0.80
香川県																
愛媛県			2	0.40					2	0.40	15	1.50	3	0.60	13	1.30
高知県			14	1.40					2	0.20	14	1.40	3	0.30	19	1.90
福岡県			24	1.14												
佐賀県			9	0.60	4	0.27	4	0.27	1	0.07	24	1.60	5	0.40	18	1.20
長崎県			10	0.77			3	0.23	26	0.46	15	1.00	6	0.46	24	1.60
熊本県			2	0.20					1	0.10	2	0.20	1	0.10	4	0.40
大分県			5	0.75			10	2.50	16	4.00	8	2.00	4	1.00	19	4.75
宮崎県			1	0.20					1	0.20	14	1.40	5	1.00	14	1.40
鹿児島県			13	0.29	2	0.29	3	0.43	11	1.10	14	1.40	2	0.29	41	1.86
指定都市 (再掲)																
札幌市																
仙台市																
宇都宮市			36	1.00	2	0.30	16	0.17	17	3.40	15	2.40		0.30	13	1.70
横浜市長																
川崎市																
名古屋市																
京都市																
大阪市																
神戸市																
広島市																
北九州市																
福岡市																

総 数	脳・脊髄炎 累計報告数	定点点当り	脳炎 累計報告数	定点点当り	脳炎 累計報告数	定点点当り	ライ症候群 累計報告数	定点点当り	脊髄炎 累計報告数	定点点当り
北海道	1	0.06	1	0.13	1	0.07	3	0.01	2	0.00
青森県	1	0.06	1	0.06	1	0.07	1	0.01	1	0.00
岩手県	1	0.06	1	0.06	1	0.07	1	0.01	1	0.00
宮城県	1	0.06	1	0.06	1	0.07	1	0.01	1	0.00
秋田県	2	0.20	2	0.11	1	0.20	1	0.01	1	0.00
山形県	1	0.20	1	0.11	1	0.20	1	0.01	1	0.00
福島県	1	0.20	1	0.11	1	0.20	1	0.01	1	0.00
栃木県	2	0.40	1	0.20	1	0.20	1	0.01	1	0.00
群馬県	1	0.40	1	0.20	1	0.20	1	0.01	1	0.00
埼玉県	16	0.13	14	0.19	2	0.25	1	0.20	1	0.00
千葉県	10	0.56	8	0.50	2	0.11	1	0.20	1	0.00
東京都	3	0.17	3	0.44	1	0.11	1	0.09	1	0.08
神奈川県	2	0.33	2	0.33	1	0.20	1	0.09	1	0.08
新潟県	2	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.09	1	0.08
富山県	2	0.40	2	0.40	6	1.20	1	0.09	1	0.08
石川県	2	0.25	2	0.25	1	0.20	1	0.09	1	0.08
福井県	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.09	1	0.08
山梨県	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.09	1	0.08
長野県	4	0.20	1	0.05	3	0.15	1	0.09	1	0.08
岐阜県	1	0.08	1	0.05	1	0.15	1	0.09	1	0.08
静岡県	1	0.08	1	0.05	1	0.15	1	0.09	1	0.08
愛知県	1	0.08	1	0.05	1	0.15	1	0.09	1	0.08
三重県	1	0.08	1	0.05	1	0.15	1	0.09	1	0.08
滋賀県	2	0.18	1	0.09	1	0.09	1	0.09	1	0.08
京都府	4	0.06	4	0.06	1	0.24	1	0.09	1	0.08
大阪府	16	1.00	5	0.11	1	0.50	1	0.09	1	0.08
兵庫県	2	0.40	3	0.20	1	0.50	1	0.09	1	0.08
奈良県	1	0.40	1	0.20	1	0.50	1	0.09	1	0.08
和歌山県	1	0.40	1	0.20	1	0.50	1	0.09	1	0.08
鳥取県	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.20	1	0.20
徳島県	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.20	1	0.20
岡山県	3	0.14	2	0.20	1	0.17	1	0.20	1	0.20
広島県	3	0.60	2	0.40	1	0.05	1	0.20	1	0.20
山口県	1	0.60	1	0.40	1	0.05	1	0.20	1	0.20
徳島県	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.20	1	0.20
香川県	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.20	1	0.20
愛媛県	1	0.20	1	0.08	1	0.08	1	0.20	1	0.20
高知県	1	0.33	1	0.33	1	0.33	1	0.20	1	0.20
福岡県	1	0.07	1	0.07	1	0.07	1	0.20	1	0.20
佐賀県	2	0.43	2	0.43	1	0.08	1	0.20	1	0.20
長崎県	2	0.15	1	0.08	1	0.08	1	0.20	1	0.20
熊本県	1	0.15	1	0.08	1	0.08	1	0.20	1	0.20
大分県	1	0.15	1	0.08	1	0.08	1	0.20	1	0.20
宮崎県	3	0.60	3	0.60	1	0.14	1	0.20	1	0.20
鹿児島県	3	0.43	2	0.29	1	0.14	1	0.20	1	0.20
沖縄県	1	0.43	1	0.29	1	0.14	1	0.20	1	0.20
指定都市(再掲)										
札幌市	1	0.40	1	0.40	1	0.40	1	0.17	1	0.17
仙台市	1	0.40	1	0.40	1	0.40	1	0.17	1	0.17
千葉市	2	0.40	2	0.40	1	0.14	1	0.17	1	0.17
横浜市	2	0.33	1	0.17	1	0.14	1	0.17	1	0.17
名古屋市	1	0.04	1	0.04	1	0.14	1	0.17	1	0.17
大阪市	1	0.07	1	0.07	1	0.14	1	0.17	1	0.17
神戸市	3	0.43	2	0.29	1	0.14	1	0.17	1	0.17
広島市	1	1.17	1	1.17	1	1.17	1	0.17	1	0.17
北九州市	1	1.17	1	1.17	1	1.17	1	0.17	1	0.17
福岡市	7	1.17	7	1.17	1	1.17	1	0.17	1	0.17

4. 平成7年 都道府県別・疾病別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(女)

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture, disease and sex, 1995. (Female)

総数	MCLS 累積報告数	(川崎新) 一定点当り	ウイルス肝炎 累積報告数	肝炎 一定点当り	A型肝炎 累積報告数	B型肝炎 累積報告数	その他の肝炎 累積報告数	一定点当り	肺炎 累積報告数	一定点当り	悪性腫瘍 累積報告数	一定点当り	細菌性髄膜炎 累積報告数	一定点当り	細菌性髄膜炎 累積報告数	一定点当り
北海道	50	2.94	23	1.35	25	1.47	16	0.88	10	1.25	4	0.50	6	0.75		
青森県	8	0.53	3	0.20	3	0.13	3	0.19	4	0.25	2	0.38				
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.17	7	1.4	14	0.39		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0.56	10	0.50	7	1.17		
秋田県	6	0.33	1	0.06	2	0.11	1	0.16	1	0.60	1	0.20	8	1.60		
山形県	12	2.40	2	0.40	5	1.00	3	0.60	1	0.40	1	0.20	4	0.80		
福島県	33	4.71	5	0.71	28	4.00	11	1.57	5	0.75	7	1.00	7	1.00		
茨城県	-	-	4	0.80	5	1.00	13	2.60	2	0.40	3	0.60	2	0.40		
栃木県	11	2.20	4	0.80	2	0.40	3	0.60	3	0.60	4	0.80	2	0.40		
群馬県	75	9.38	23	2.88	47	5.88	17	2.17	4	0.80	24	3.00	2	0.40		
埼玉県	21	3.63	4	0.88	17	3.52	21	4.20	3	0.60	4	0.80	10	1.60		
千葉県	54	3.00	7	1.00	47	6.30	21	2.80	13	1.73	2	0.25	14	0.38		
東京都	48	2.67	10	0.56	38	5.12	28	3.73	10	1.33	7	0.93	14	1.80		
神奈川県	10	0.17	1	0.14	9	1.80	1	0.14	1	0.20	3	0.60	1	0.20		
新潟県	10	2.00	1	0.20	9	1.80	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
富山県	8	1.60	1	0.20	7	1.40	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
石川県	17	3.40	1	0.20	16	3.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
福井県	12	2.40	1	0.20	11	2.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
山梨県	20	4.00	2	0.40	18	3.60	2	0.40	2	0.40	2	0.40	2	0.40		
長野県	3	0.60	1	0.20	2	0.40	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
岐阜県	30	3.00	3	0.30	27	2.70	3	0.30	3	0.30	3	0.30	3	0.30		
静岡県	34	2.60	1	0.08	33	6.60	1	0.08	1	0.08	1	0.08	1	0.08		
愛知県	19	1.90	1	0.10	18	3.60	1	0.10	1	0.10	1	0.10	1	0.10		
三重県	7	1.40	1	0.20	6	1.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
滋賀県	43	0.64	1	0.09	42	0.84	1	0.09	1	0.09	1	0.09	1	0.09		
京都府	7	0.68	1	0.08	6	1.20	1	0.08	1	0.08	1	0.08	1	0.08		
大阪府	47	1.17	2	0.06	45	0.94	2	0.06	2	0.06	2	0.06	2	0.06		
兵庫県	7	0.60	1	0.10	6	1.20	1	0.10	1	0.10	1	0.10	1	0.10		
奈良県	3	0.60	1	0.20	2	0.40	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
和歌山県	8	0.80	4	0.40	4	0.80	4	0.80	4	0.80	4	0.80	4	0.80		
鳥取県	12	2.00	3	0.50	9	1.50	3	0.50	3	0.50	3	0.50	3	0.50		
島根県	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
岡山県	56	2.67	11	0.52	45	9.04	11	0.52	11	0.52	11	0.52	11	0.52		
広島県	6	1.20	1	0.20	5	1.00	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
山口県	3	0.60	1	0.17	2	0.40	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17		
徳島県	8	1.33	1	0.17	7	1.19	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17		
香川県	5	1.00	1	0.20	4	0.80	1	0.20	1	0.20	1	0.20	1	0.20		
愛媛県	10	0.83	3	0.25	7	1.40	3	0.25	3	0.25	3	0.25	3	0.25		
高知県	10	0.48	2	0.17	8	1.60	2	0.17	2	0.17	2	0.17	2	0.17		
福岡県	7	0.47	1	0.07	6	1.20	1	0.07	1	0.07	1	0.07	1	0.07		
佐賀県	14	2.80	4	0.80	10	2.00	4	0.80	4	0.80	4	0.80	4	0.80		
長崎県	22	1.08	3	0.31	19	3.80	3	0.31	3	0.31	3	0.31	3	0.31		
熊本県	10	2.00	4	1.00	6	1.20	4	1.00	4	1.00	4	1.00	4	1.00		
大分県	17	2.43	2	0.29	15	3.06	2	0.29	2	0.29	2	0.29	2	0.29		
鹿児島県	-	-	4	0.57	1	0.20	1	0.57	1	0.57	1	0.57	1	0.57		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

埼玉県 (再掲)

札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台市	2	2.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00
宇都宮市	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17
宇津宮市	41	8.20	9	1.80	24	4.80	24	4.80	9	1.80	3	0.60	3	0.60	3	0.60
川崎市	1	0.17	-	-	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17	1	0.17
名古屋市	10	0.71	2	0.21	8	1.60	5	1.00	8	1.60	2	0.40	2	0.40	2	0.40
神戸市	15	2.14	1	0.14	14	2.80	14	2.80	1	0.14	3	0.60	3	0.60	3	0.60
北九州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

校 区	協賛校 累積報告数	次 累積報告数	定 点当り	協 賛 累積報告数	定 点当り	ラ イ フ イ ン テ リ ア 累積報告数	定 点当り	協 賛 累積報告数	定 点当り	協 賛 累積報告数	定 点当り
北谷道	7	36	0.07	33	0.06	3	0.01	5	0.01	5	0.01
常友隊	1	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手隊	1	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城隊	1	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田隊	3	2	0.11	1	0.06	-	-	-	-	-	-
山形隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉隊	1	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	-	-
千葉隊	7	4	0.22	3	0.17	-	-	-	-	-	-
東京隊	4	2	0.11	2	0.11	-	-	-	-	-	-
神奈川隊	1	1	0.20	1	0.20	1	0.17	-	-	-	-
新潟隊	1	1	0.20	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-
高山隊	3	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
石川隊	1	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
福井隊	1	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨隊	1	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
長野隊	1	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜隊	5	2	0.10	3	0.15	-	-	-	-	-	-
静岡隊	1	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知隊	1	1	0.18	-	-	-	-	-	-	-	0.10
三重隊	2	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀隊	1	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
京都隊	2	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪隊	2	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫隊	2	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良隊	2	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山隊	2	2	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島隊	2	2	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
高松隊	2	2	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山隊	6	2	0.10	2	0.10	-	-	-	-	-	0.10
広島隊	1	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	0.17
山口隊	1	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-
徳島隊	3	2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	-	-
香川隊	2	2	0.17	1	0.05	-	-	-	-	-	-
愛媛隊	2	2	0.17	1	0.05	-	-	-	-	-	-
高知隊	1	1	0.17	1	0.05	-	-	-	-	-	-
福岡隊	1	1	0.17	1	0.05	-	-	-	-	-	-
佐賀隊	4	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	-	-
長崎隊	5	4	0.31	1	0.43	-	-	-	-	-	-
熊本隊	3	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	0.11
大分隊	1	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	-
宮崎隊	1	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	-
鹿児島隊	1	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	-
沖縄隊	6	5	0.71	1	0.14	-	-	-	-	-	-
指定都市(概観)	1	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	1	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台市	1	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉市	1	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
横浜市	2	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
川崎市	1	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
名古屋市	1	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
名古屋市	1	1	0.07	2	0.07	-	-	-	-	-	-
名古屋市	6	2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	0.29
名古屋市	1	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-
名古屋市	1	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-

道 府 県	州府級疾患 累積報告数	定 点 当 り	機 構 累積報告数	定 点 当 り	肺 部 ヘルペス 累積報告数	定 点 当 り	コ ン ジ ュ ー ム 累積報告数	定 点 当 り	ト リ コ モ ナ ス 累積報告数	定 点 当 り	B 型 肝 炎 累積報告数	再 発： 高血後 定 点 当 り	再 発： 再 発： 再 発： 定 点 当 り	再 発： 再 発： 再 発： 定 点 当 り
北海道	25	1.09	280	1.84	42	1.17	7	0.30	140	6.09	-	-	-	
青森県	-	-	33	1.80	33	1.80	78	7.80	51	1.10	-	-	-	
岩手県	5	0.38	119	0.23	3	0.15	2	0.15	229	1.69	-	-	-	
宮城県	-	-	30	0.38	3	0.22	26	0.64	97	3.68	-	-	-	
秋田県	24	0.26	113	0.20	20	0.18	1	0.18	45	1.09	-	-	-	
山形県	4	0.36	53	0.27	50	0.64	1	0.64	174	6.39	-	-	-	
福島県	14	0.78	90	0.56	55	0.61	1	0.61	39	2.73	-	-	-	
茨城県	102	0.91	170	0.86	23	0.21	3	0.21	117	5.09	-	-	-	
栃木県	-	-	91	1.6	23	0.45	30	1.30	117	5.09	-	-	-	
群馬県	7	0.30	407	17.70	48	2.09	30	1.30	117	5.09	-	-	-	
埼玉県	5	0.33	128	1.83	39	1.60	168	4.20	393	9.97	-	-	-	
千葉県	257	6.42	437	11.89	65	16.45	1	0.47	135	3.24	-	-	-	
東京都	19	0.47	615	17.11	80	2.25	29	1.65	158	4.24	-	-	-	
神奈川県	1	1.12	114	1.57	79	1.07	3	0.55	158	4.24	-	-	-	
新潟県	1	1.57	140	1.94	54	0.75	6	0.60	227	6.15	-	-	-	
富山県	1	1.15	34	0.47	60	1.66	1	0.60	227	6.15	-	-	-	
石川県	1	0.75	57	0.78	17	0.47	1	0.75	236	6.15	-	-	-	
福井県	1	0.75	106	1.44	31	0.42	9	0.75	236	6.15	-	-	-	
山梨県	5	0.42	186	2.61	51	1.44	1	0.75	236	6.15	-	-	-	
長野県	-	-	186	2.61	51	1.44	1	0.75	236	6.15	-	-	-	
岐阜県	1	0.07	36	0.50	35	0.97	5	0.36	3	0.27	-	-	0.07	
静岡県	2	0.67	36	1.25	7	1.94	5	0.36	3	0.27	-	-	-	
愛知県	35	1.13	524	16.08	59	1.66	57	1.78	208	6.40	-	-	-	
三重県	2	0.38	79	1.07	37	0.50	7	0.54	126	3.27	-	-	-	
滋賀県	2	0.27	16	0.22	4	0.28	25	0.28	268	7.17	-	-	-	
京都府	3	0.77	134	1.84	69	1.94	7	0.58	132	3.69	-	-	-	
大阪府	3	3.47	333	6.73	93	2.50	14	0.48	183	5.09	-	-	-	
兵庫県	1	0.41	174	2.33	37	1.00	1	0.48	35	1.22	-	-	-	
奈良県	-	-	4	0.22	2	0.56	1	0.11	22	0.56	-	-	-	
和歌山県	-	-	2	0.22	2	0.56	1	0.11	22	0.56	-	-	-	
鳥取県	1	0.35	11	0.75	1	0.22	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	1	0.50	22	2.20	75	2.20	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	5	0.63	173	3.10	10	0.28	2	0.20	15	0.50	-	-	-	
愛媛県	5	0.63	24	0.33	1	0.18	19	0.88	143	7.58	-	-	-	
高知県	28	2.57	152	0.71	15	0.44	1	0.88	23	0.3	-	-	0.13	
愛媛県	1	2.57	152	0.71	15	0.44	1	0.88	23	0.3	-	-	-	
徳島県	70	4.67	57	1.14	132	3.00	44	0.80	265	11.00	-	-	-	
福岡県	-	-	468	3.80	132	3.00	44	0.80	265	11.00	-	-	-	
佐賀県	7	1.17	9	1.50	3	0.50	3	0.50	40	6.57	-	-	-	
長崎県	8	0.53	78	1.14	104	1.48	21	0.30	99	13.57	-	-	-	
熊本県	1	0.25	35	0.40	69	0.97	1	0.07	16	0.60	-	-	-	
大分県	1	0.25	35	0.40	69	0.97	1	0.07	16	0.60	-	-	-	
宮崎県	5	0.42	19	1.48	77	1.83	5	0.50	11	4.09	-	-	-	
鹿児島県	1	0.42	22	1.83	77	1.83	5	0.50	11	4.09	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
指定都市(再掲)	11	1.38	31	3.88	18	2.25	3	0.38	35	4.38	-	-	-	
札幌市	1	0.50	1	0.50	4	0.08	4	2.00	3	1.50	-	-	-	
仙台市	1	0.17	15	0.83	23	1.57	1	0.71	4	0.40	-	-	-	
新潟市	3	0.43	48	1.57	28	0.97	5	0.38	28	0.62	-	-	-	
川崎市	2	0.08	27	0.22	27	0.61	6	0.25	9	0.44	-	-	-	
名古屋市	153	9.08	286	16.93	34	2.45	6	0.56	16	1.19	-	-	-	
京都市	4	0.44	93	10.97	41	4.78	3	1.00	15	1.67	-	-	-	
神戸市	-	-	93	10.97	41	4.78	3	1.00	15	1.67	-	-	-	
広島市	-	-	93	10.97	41	4.78	3	1.00	15	1.67	-	-	-	
北九州市	-	-	93	10.97	41	4.78	3	1.00	15	1.67	-	-	-	
福岡市	65	13.00	432	86.40	84	16.00	33	6.60	77	15.40	-	-	-	

5. 平成7年 疾病別・ブロック別年間報告数及び一定点当たり報告数

Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area and disease, 1995.

	総 数	北 海 道	京 京	北 京	関 東 甲 信 越	東 海・北 陸	近 畿	中 国・四 国	九 州・沖 縄
麻疹様疾患	17,852 7.32	7,43 6.14	1,811 8.97	1,051 1.41	6,633 8.90	717 2.21	5,980 12.56	1,736 6.18	5814 20.05
一定点当り									
麻疹報告数	16,269 6.67	461 3.81	561 2.78	830 1.14	6,633 8.90	1,201 3.70	1,501 3.15	1,908 6.79	4,004 13.81
一定点当り									
水痘	18,621.4 76.32	123.13 101.76	186.62 92.39	68.98 31.48	51,387 68.98	27,546 84.76	26,294 55.24	23,769 84.59	26,243 90.49
一定点当り									
流行性耳下腺炎	7,092.1 29.07	35.68 29.49	49.23 24.37	15.921 21.37	9,321 28.68	1,057 3.25	1,444 30.34	1,396.8 49.71	877.6 30.26
一定点当り									
百日せき様疾患	5,668 2.32	1.38 1.14	4.80 2.38	9.84 1.32	10,57 3.25	1,035 2.17	851 3.03	851 3.03	1,123 3.87
一定点当り									
急性感染症	6,007 24.59	7,291 60.26	7,461 36.94	17,218 23.11	7,885 24.26	5,694 11.96	8,075 22.01	6,383 22.01	6,383 22.01
一定点当り									
鼻咽炎	23,251 9.53	14.99 12.39	21.41 10.60	54.55 7.32	43.1 13.26	3,991 8.38	2,449 8.72	3,405 11.74	3,405 11.74
一定点当り									
急性性肺炎	47,160.5 193.28	7,728 63.87	37,316 184.73	154,116 206.87	69,570 214.06	87,215 183.22	61,243 217.95	54,417 187.64	26,957 92.96
一定点当り									
乳頭嚢下腺症	11,520.4 47.21	2,482 20.51	8,608 42.61	29,372 39.43	15,601 48.00	15,454 32.47	16,730 59.54	12,88 4.44	12,88 4.44
一定点当り									
手足口病	15,867.7 65.03	5,731 47.36	11,535 57.10	42,900 57.58	32,570 100.22	25,838 54.28	19,260 68.54	20,843 71.87	20,843 71.87
一定点当り									
右脳性紅斑	1,390.6 5.70	2,325 19.21	1,447 7.16	7,887 10.78	11,611 35.57	10,444 28.19	7,811 27.78	12,88 4.44	12,88 4.44
一定点当り									
急性性肺炎	8,523 35.05	3,986 32.94	7,339 36.33	23,456 31.48	11,891 36.59	13,526 28.42	11,718 41.70	13,607 46.92	13,607 46.92
一定点当り									
ヘルパンギーナ	7,952.3 32.59	5,550 45.87	8,076 39.98	23,102 31.01	11,482 35.33	12,562 26.39	10,227 36.40	8,524 29.39	8,524 29.39
一定点当り									
インフルエンザ	75,783.7 310.59	24,404 201.69	48,092 238.08	220,112 295.45	95,468 293.75	133,541 280.55	101,944 362.79	134,276 463.02	134,276 463.02
一定点当り									
MCLS (川崎病)	1,340 0.55	44 0.36	116 0.57	344 0.46	322 0.99	188 0.39	158 0.54	158 0.54	158 0.54
一定点当り									
急性性肺炎 (小・中)	8,292 3.40	1,70 1.40	2,96 1.47	2,379 3.19	1,449 4.46	1,476 3.10	1,544 5.49	978 3.37	978 3.37
一定点当り									
急性性肺炎 (小)	7,82 2.49	23 0.96	168 5.60	259 3.28	112 2.80	84 1.40	106 2.59	30 0.75	30 0.75
一定点当り									
流行性急性性肺炎	22,134 70.49	781 32.54	20,35 67.83	41,83 52.95	905 22.63	2,004 33.40	3,741 91.24	848.5 212.13	848.5 212.13
一定点当り									
急性性肺炎	1,143 3.64	16 0.67	84 2.80	116 1.47	20 0.50	57 0.93	84 2.05	766 19.15	766 19.15
一定点当り									

6. 平成7年 疾病別・ブロック別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数 (総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area, disease and sex, 1995. (Total)

M.C.L.S (川崎病)	総数		北海道	東北	関東甲信越	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州・沖縄
	累積報告数	一定点当り							
	1641	3.57	56	103	570	194	266	261	391
			3.29	1.87	6.48	3.08	1.96	3.48	4.83
ウイルス肝炎	1862	3.62	114	50	677	263	316	254	188
			6.71	0.91	7.69	4.17	2.32	3.39	2.32
A型肝炎	353	0.69	4	19	106	94	66	49	15
			0.24	0.35	1.20	1.49	0.49	0.65	0.19
B型肝炎	421	0.82	60	14	154	26	55	55	57
			3.53	0.25	1.75	0.41	0.40	0.73	0.70
その他のウイルス肝炎	1088	2.11	50	17	417	143	195	150	116
			2.94	0.31	4.74	2.27	1.43	2.00	1.43
感染性単核炎	1854	3.62	-	98	274	179	489	470	354
			-	1.78	3.11	2.84	3.60	6.27	4.37
細菌性髄膜炎	245	0.48	-	19	69	20	54	32	51
			-	0.35	0.78	0.32	0.40	0.43	0.63
細菌性髄膜炎	1619	3.14	-	79	205	159	435	438	303
			-	1.44	2.33	2.52	3.20	5.84	3.74
脳・脊髄炎	184	0.36	1	9	40	25	47	24	38
			0.06	0.16	0.45	0.40	0.35	0.32	0.47
髄膜炎	103	0.20	1	6	28	8	19	13	28
			0.06	0.11	0.32	0.13	0.14	0.17	0.35
髄膜炎	68	0.13	-	3	11	13	25	7	9
			-	0.05	0.13	0.21	0.18	0.09	0.11
ライム病	6	0.01	-	-	1	2	2	1	-
			-	-	0.01	0.03	0.01	0.01	-
脊髄炎	7	0.01	-	-	-	2	1	3	1
			-	-	-	0.03	0.01	0.04	0.01
淋病	6720	11.13	556	486	2198	1036	1035	422	987
			24.17	8.10	11.57	12.48	9.24	6.21	14.51
陰部クラミジア症	13771	22.80	1468	834	4879	2358	1785	898	1549
			63.83	13.90	25.68	28.41	15.94	13.21	22.78
陰部ヘルペス	5715	9.46	298	176	1821	690	1484	414	832
			12.96	2.93	9.58	8.31	13.25	6.09	12.24
尖圭コンジローラ	2147	3.55	52	182	766	312	457	156	222
			2.26	3.03	4.03	3.76	4.08	2.29	3.26
トリコモナス症	3041	5.03	160	247	1142	421	443	230	398
			6.96	4.12	6.01	5.07	3.96	3.38	5.85

6. 平成7年 疾病別・ブロック別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(男)
 Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area, disease and sex, 1995. (Male)

M.C.L.S (川崎病)	総	北	道	東	北	関東甲信越	東海・北陸	近	畿	中国・四国	九州・沖縄
	報告数 一定点当り										
ウイルス肝炎	1057 2.05	64 3.76	24 0.44	402 4.57	142 2.25	174 1.28	32 0.24	36 0.26	106 1.31	145 1.93	7 0.09
点状肝炎	184 0.36	2 0.12	6 0.11	56 0.64	48 0.78	32 0.24	14 0.22	36 0.26	35 0.43	32 0.43	7 0.09
B型肝炎	258 0.50	37 2.18	8 0.15	96 1.09	14 0.22	106 1.28	79 1.25	106 0.78	64 0.79	81 1.08	35 0.43
その他のウイルス肝炎	615 1.19	25 1.47	10 0.18	250 2.84	127 2.02	308 2.26	28 0.21	280 2.06	183 2.28	295 3.93	64 0.79
感染性単核炎	1203 2.34	-	61 1.11	182 2.07	127 2.02	308 2.26	28 0.21	280 2.06	183 2.28	315 4.20	210 2.59
伝播性単核炎	139 0.27	-	11 0.20	42 0.48	11 0.17	28 0.21	20 0.27	27 0.33	27 0.33	20 0.27	27 0.33
無菌性単核炎	1064 2.07	-	50 0.91	140 1.59	116 1.84	280 2.06	116 1.84	280 2.06	183 2.28	295 3.93	183 2.28
脳・脊髄炎	107 0.21	1 0.06	4 0.07	26 0.30	15 0.24	31 0.23	15 0.24	31 0.23	19 0.23	11 0.15	19 0.23
髄炎	67 0.13	1 0.06	2 0.04	21 0.24	4 0.06	15 0.11	4 0.06	15 0.11	7 0.09	7 0.09	17 0.21
脳症	35 0.07	-	2 0.04	5 0.06	9 0.14	14 0.10	9 0.14	14 0.10	3 0.04	3 0.04	2 0.02
ライ症候群	3 0.01	-	-	-	1 0.02	1 0.01	1 0.02	1 0.01	1 0.01	1 0.01	-
脊髄炎	2 0.00	-	-	-	1 0.02	1 0.01	1 0.02	1 0.01	1 0.01	-	-
細菌性髄膜炎	5953 9.86	531 23.09	474 7.90	1852 9.75	977 11.77	862 7.70	406 4.89	902 8.05	467 6.87	367 5.40	890 13.09
髄膜炎	7762 12.85	1188 51.65	478 7.97	2356 12.40	1215 14.64	1152 10.29	406 4.89	902 8.05	467 6.87	457 6.72	916 13.47
髄膜炎	3152 5.22	256 11.13	89 1.48	765 4.03	406 4.89	902 8.05	406 4.89	902 8.05	467 6.87	267 3.93	467 6.87
肺炎球菌肺炎	1421 2.35	45 1.96	87 1.45	471 2.48	200 2.41	364 3.25	200 2.41	364 3.25	143 2.10	111 1.63	143 2.10
肺炎球菌肺炎	207 0.34	20 0.87	2 0.03	40 0.21	22 0.27	48 0.43	22 0.27	48 0.43	18 0.26	18 0.26	57 0.84

6. 平成7年 疾病別・ブロック別・性別年間報告数及び一地点当たり報告数(女)

Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area, disease and sex, 1995. (Female)

M.C.L.S (川崎病)	総	教	北	海	道	東	北	関東甲信越	東海・北陸	近	畿	中国・四国	九州・沖縄
	累積報告数												
	一地点当り												
ウイルス肝炎	805	50	26	275	121	142	109	82					
	1.56	2.94	0.47	3.13	1.92	1.04	1.45	1.01					
A型肝炎	169	2	13	50	45	34	17	8					
	0.33	0.12	0.24	0.57	0.71	0.25	0.23	0.10					
B型肝炎	163	23	6	58	12	19	23	22					
	0.32	1.35	0.11	0.66	0.19	0.14	0.31	0.27					
その他のウイルス肝炎	473	25	7	167	64	89	69	52					
	0.92	1.47	0.13	1.90	1.02	0.65	0.92	0.64					
風疹性髄膜炎	661	-	37	92	52	181	155	144					
	1.28	-	0.67	1.05	0.83	1.33	2.07	1.78					
細菌性髄膜炎	106	-	8	27	9	26	12	24					
	0.21	-	0.15	0.31	0.14	0.19	0.16	0.30					
真菌性髄膜炎	555	-	29	65	43	155	143	120					
	1.08	-	0.53	0.74	0.68	1.14	1.91	1.48					
脳・脊髄炎	77	-	5	14	10	16	13	19					
	0.15	-	0.09	0.16	0.16	0.12	0.17	0.23					
脳炎	36	-	4	7	4	4	6	11					
	0.07	-	0.07	0.08	0.06	0.03	0.08	0.14					
脳症	33	-	1	6	4	11	4	7					
	0.06	-	0.02	0.07	0.06	0.08	0.05	0.09					
ライ症候群	3	-	-	1	1	1	-	-					
	0.01	-	-	0.01	0.02	0.01	-	-					
脊髄炎	5	-	-	-	1	-	3	1					
	0.01	-	-	-	0.02	-	0.04	0.01					
淋病性疾患	767	25	12	346	59	173	55	97					
	1.27	1.09	0.20	1.82	0.71	1.54	0.81	1.43					
髄膜炎	6009	280	356	2523	1143	633	441	633					
	9.95	12.17	5.93	13.28	13.77	5.65	6.49	9.31					
髄膜ヘルペス	2563	42	87	1056	284	582	147	365					
	4.24	1.83	1.45	5.56	3.42	5.20	2.16	5.37					
尖圭コンジローラ	726	7	95	295	112	93	45	79					
	1.20	0.30	1.58	1.55	1.35	0.83	0.66	1.16					
トリコモナス症	2834	140	245	1102	399	395	212	341					
	4.69	6.09	4.08	5.80	4.81	3.53	3.12	5.01					

7. 平成7年 疾病別・年齢階級別年間報告数及び一定点当たり報告数
 Reported cases from clinics and hospitals, by age and disease, 1995.

疾病名	報告数	年齢階級 (歳)											
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~14歳	15歳以上				
麻疹	17552 7.32	2183 0.89	5036 2.06	2513 1.03	1757 0.72	1381 0.57	2944 1.21	10~14 0.60	583 0.24				
風しん	16269 6.67	704 0.29	1902 0.76	1695 0.69	1950 0.80	2072 0.85	4747 1.95	1920 0.79	1279 0.52				
水痘	196214 76.32	18326 7.31	32309 13.24	31863 13.06	33459 13.71	29614 12.14	35534 14.56	31116 12.8	1993 0.82				
流行性耳下腺炎	70921 29.07	386 0.16	2845 1.17	5739 2.35	9762 4.00	12945 5.31	32585 13.35	5123 2.10	1535 0.63				
百日咳	5668 2.32	1617 0.66	1365 0.57	673 0.28	489 0.20	372 0.15	782 0.32	209 0.09	141 0.06				
花柳菌感染症	60007 24.59	306 0.13	1314 0.54	2933 1.20	6140 2.52	10637 4.36	31437 12.88	4664 1.91	2576 1.06				
肺炎球菌	23251 9.53	440 0.18	1224 0.50	1580 0.65	2441 1.00	3098 1.27	8563 3.51	3114 1.28	2791 1.14				
感染症類	471605 193.28	19673 8.06	46796 19.18	49140 20.14	53162 21.79	58413 23.94	128708 52.75	48718 19.97	66995 27.46				
乳児咽下腺症	115204 47.21	43759 17.93	45086 18.48	16924 6.94	9435 3.87	-	-	-	-				
手足口病	158677 65.03	8704 3.57	29067 11.91	28859 11.83	11770 4.76	24968 10.23	34199 14.02	2777 1.14	1547 0.63				
伝染性紅斑	13906 5.70	753 0.31	697 0.29	837 0.34	1287 0.53	1960 0.80	6882 2.82	1148 0.47	342 0.14				
麻疹	85523 35.03	76810 31.48	8143 3.34	426 0.17	103 0.04	41 0.02	-	-	-				
ヘルパンギーナ	79523 32.59	7564 3.09	17763 7.28	14953 6.13	13152 5.39	10423 4.27	12793 5.24	1530 0.63	1369 0.56				
インフルエンザ	757837 310.59	12973 5.32	33098 13.56	40898 16.76	49909 20.45	61703 25.29	205866 84.37	135798 55.65	5936 22.10	49036 20.10	114620 46.98	20~29 80以上	30~34 45~49 50~54 55~59 60以上
MCLS (川崎病)	1340 0.55	333 0.14	336 0.14	226 0.09	158 0.06	105 0.04	139 0.06	27 0.01	16 0.01				
咽頭結核菌 (小・内)	8292 3.40	490 0.20	1090 0.45	1103 0.45	1282 0.53	1345 0.55	2377 0.97	376 0.15	228 0.09				
咽頭結核菌 (外)	782 0.32	40 0.16	85 0.34	56 0.23	52 0.21	75 0.30	176 0.71	43 0.18	254 1.01				
流行性角結膜炎	22134 70.49	344 1.40	612 2.45	571 2.29	187 0.75	620 2.45	2201 8.75	272 1.05	1708 6.65	1496 5.75	1895 7.25	25~29 30~34 35~39 40~44 45~49	50~54 55~59 60以上
急性細菌性眼炎	1143 3.64	19 0.08	41 0.16	30 0.12	37 0.15	44 0.17	147 0.58	137 0.53	48 0.19	67 0.26	79 0.31	84 0.33	84 0.33

8. 平成7年 疾病別・年齢階級別・性別年間報告数及び一地点当たり報告数(総数)
 Reported cases from clinics and hospitals, by age, disease and sex, 1995. (Total)

疾病名	総数	年齢階級										60歳以上						
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳		30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳
MCLS (川崎病)	1841 3.57	508 0.99	499 0.97	294 0.57	215 0.42	119 0.23	172 0.33	24 0.05	10 0.02	15歳以上								
ウイルス肝炎	1862 3.62	0~4歳 127 0.25	5~9歳 60 0.12	10~14歳 62 0.12	15~19歳 70 0.14	20~24歳 151 0.29	25~29歳 129 0.25	30~34歳 119 0.23	35~39歳 119 0.23	40~44歳 167 0.32	45~49歳 170 0.33	50~54歳 133 0.26	55~59歳 145 0.28	60歳以上 410 0.80				
A型肝炎	353 0.69	8 0.02	21 0.04	26 0.05	21 0.04	30 0.06	30 0.06	31 0.06	35 0.07	50 0.10	41 0.08	26 0.05	13 0.03	21 0.04				
B型肝炎	421 0.82	16 0.03	4 0.01	11 0.02	23 0.04	54 0.10	44 0.09	36 0.07	35 0.07	44 0.09	48 0.09	26 0.05	29 0.06	51 0.10				
その他のウイルス肝炎	1088 2.11	103 0.20	35 0.07	25 0.05	26 0.05	67 0.13	55 0.11	52 0.10	49 0.10	73 0.14	81 0.16	81 0.16	103 0.20	338 0.66				
感染症総数	1864 3.62	0歳 382 0.74	1歳 82 0.16	2歳 91 0.18	3歳 134 0.26	4歳 200 0.39	5~9歳 643 1.25	10~14歳 166 0.32	15~19歳 25 0.05	20~24歳 60 0.12	25~29歳 25 0.05	30~34歳 37 0.07	35~39歳 15 0.03	40~44歳 15 0.03	45~49歳 39 0.08	50~54歳 21 0.04	55~59歳 8 0.02	60歳以上 21 0.04
細菌性髄膜炎	245 0.48	92 0.18	33 0.06	31 0.06	15 0.03	7 0.01	26 0.05	12 0.02	4 0.01	4 0.01	4 0.01	3 0.01	3 0.01	9 0.02				
ウイルス性髄膜炎	1619 3.14	290 0.56	49 0.10	60 0.12	119 0.23	193 0.37	617 1.20	154 0.30	21 0.04	56 0.11	31 0.06	12 0.02	5 0.01	12 0.02				
脳・脊髄炎	184 0.36	17 0.03	24 0.05	25 0.05	14 0.03	12 0.02	33 0.06	26 0.05	6 0.01	5 0.01	5 0.01	6 0.01	3 0.01	8 0.02				
髄炎	103 0.20	10 0.02	10 0.02	7 0.01	6 0.01	6 0.01	17 0.03	22 0.04	4 0.01	5 0.01	3 0.01	6 0.01	3 0.01	4 0.01				
髄症	68 0.13	6 0.01	14 0.03	17 0.03	7 0.01	4 0.01	13 0.03	3 0.01	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	2 0.00				
ライ症候群	6 0.01	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	2 0.00	2 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00				
髄膜炎	7 0.01	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	1 0.00	2 0.00				
細菌性髄膜炎	6720 11.13	0~4歳 1 0.00	5~9歳 1 0.00	10~14歳 3 0.00	15~19歳 452 0.75	20~24歳 1633 2.70	25~29歳 1693 2.80	30~34歳 1100 1.82	35~39歳 717 1.19	40~44歳 451 0.75	45~49歳 340 0.56	50~54歳 153 0.25	55~59歳 92 0.15	60歳以上 85 0.14				
髄膜炎	13771 22.80	2 0.00	3 0.00	4 0.01	1032 1.71	3617 5.99	3360 5.56	3282 5.78	1296 2.15	914 1.51	639 1.06	354 0.59	126 0.21	142 0.24				
髄膜炎	5715 9.46	6 0.01	12 0.02	4 0.01	157 0.26	797 1.32	1033 1.71	871 1.44	589 0.98	592 0.98	487 0.81	362 0.60	217 0.36	588 0.97				
髄膜炎	2147 3.55	7 0.01	1 0.00	21 0.03	168 0.28	620 1.03	483 0.80	308 0.51	188 0.31	136 0.23	89 0.15	45 0.07	28 0.05	53 0.09				
髄膜炎	3041 5.03	1 0.00	1 0.00	1 0.00	144 0.24	434 0.72	454 0.75	374 0.62	323 0.53	403 0.67	357 0.59	290 0.48	111 0.18	150 0.25				

8. 平成7年 疾病別・年齢階級別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数 (女)
 Reported cases from clinics and hospitals, by age, disease and sex, 1995. (Female)

NCLC (川崎病)	累積報告数 定点点当り	年齢階級											15歳以上	60歳以上
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~14	15歳以上	15歳以上	15歳以上	15歳以上		
ウイルス肝炎	総数	0~4歳	5~9歳	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60歳以上
	1.56	0.11	0.05	0.05	0.07	0.13	0.11	0.07	0.09	0.13	0.15	0.13	0.10	0.37
A型肝炎	累積報告数	3	12	9	13	11	14	14	15	21	22	17	3	
	0.33	0.01	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.03	0.01	
E型肝炎	累積報告数	9	1	8	11	19	19	6	10	19	19	8	7	
	0.32	0.02	0.00	0.02	0.04	0.04	0.04	0.01	0.02	0.04	0.04	0.02	0.01	
その他のウイルス肝炎	累積報告数	473	12	7	13	38	22	15	22	29	36	41	40	
	0.92	0.09	0.02	0.03	0.07	0.04	0.04	0.03	0.04	0.06	0.07	0.08	0.08	
感状性髄膜炎	総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60歳以上
	1.28	162	35	37	44	63	181	70	55	28	18	9	2	
細菌性髄膜炎	累積報告数	0.31	0.07	0.07	0.09	0.12	0.35	0.14	0.01	0.05	0.03	0.02	0.00	
	0.21	0.07	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.01	
細菌性髄膜炎	累積報告数	555	17	21	37	60	174	62	4	27	16	7	1	
	1.08	0.24	0.03	0.04	0.07	0.12	0.34	0.12	0.01	0.05	0.03	0.01	0.00	
E・系統炎	累積報告数	77	10	18	6	3	7	12	2	1	1	1	1	
	0.15	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	
髄炎	累積報告数	36	6	4	3	1	2	9	1	1	1	1	1	
	0.07	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
髄症	累積報告数	33	4	13	2	1	3	3	1	1	1	1	1	
	0.06	0.01	0.01	0.03	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
ライ症候群	累積報告数	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
脊髄炎	累積報告数	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
帯状疱疹	総数	0~4歳	5~9歳	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60歳以上
	1.27	0.00	0.00	0.00	0.15	0.50	0.29	0.15	0.07	0.04	0.02	0.01	0.01	
麻疹クラミジア症	累積報告数	6009	1	3	628	1940	1582	951	405	238	143	70	21	
	9.95	0.00	0.00	1.04	3.21	2.62	1.57	0.67	0.39	0.24	0.12	0.03	0.04	
髄膜炎	累積報告数	2563	4	7	106	495	549	375	202	186	143	136	82	
	4.24	0.01	0.01	0.18	0.82	0.91	0.62	0.31	0.33	0.24	0.23	0.14	0.46	
尖圭ニューモシラ症	累積報告数	7.26	4	3	65	306	162	75	41	28	11	9	4	
	1.20	0.01	0.00	0.11	0.51	0.27	0.12	0.07	0.05	0.02	0.01	0.01	0.03	
トリコモナス症	累積報告数	2834	1	1	136	416	435	346	296	377	329	274	102	
	4.69	0.00	0.00	0.23	0.69	0.72	0.57	0.49	0.62	0.54	0.45	0.17	0.20	

第4章 感染症サーベイランス事業定点数

平成7年感染症サーベイランス事業定点数

総数	小児科・内科	眼科	病院	性感染症	
3872	2440	313	515	604	
北海道	185	121	24	17	23
青森県	59	30	5	15	9
岩手県	48	28	5	5	10
宮城県	71	46	5	7	13
秋田県	42	24	5	5	8
山形県	59	27	5	18	9
福島県	68	47	5	5	11
茨城県	81	49	7	7	18
栃木県	68	47	5	5	11
群馬県	55	32	4	5	14
埼玉県	119	80	8	8	23
千葉県	103	72	8	8	15
東京都	210	138	14	18	40
神奈川県	224	156	14	18	36
新潟県	121	91	8	5	17
富山県	36	21	3	5	7
石川県	45	26	4	5	10
福井県	33	19	5	5	4
山梨県	55	38	5	8	4
長野県	65	42	5	6	12
岐阜県	62	38	5	5	14
静岡県	77	49	5	20	3
愛知県	172	116	11	13	32
三重県	86	56	7	10	13
滋賀県	38	22	4	5	7
京都府	113	78	6	11	18
大阪府	299	167	24	63	45
兵庫県	250	156	19	46	29
奈良県	40	27	3	6	4
和歌山県	44	26	4	5	9
鳥取県	31	15	3	10	3
島根県	38	24	4	6	4
岡山県	56	36	5	5	10
広島県	100	53	7	21	19
山口県	70	52	5	5	8
徳島県	29	15	5	5	4
香川県	40	24	3	6	7
愛媛県	46	29	4	5	8
高知県	55	33	5	12	5
福岡県	96	51	9	21	15
佐賀県	42	18	3	15	6
長崎県	65	47	4	7	7
熊本県	82	49	5	13	15
大分県	45	27	4	9	5
宮崎県	49	37	4	4	4
鹿児島県	58	36	5	5	12
沖縄県	42	25	6	7	4
(指定都市再掲)					
札幌市	54	31	9	6	8
仙台市	33	22	3	4	4
千葉市	14	10	1	1	2
横浜市	91	62	5	6	18
川崎市	46	31	3	5	7
名古屋市	96	70	6	7	13
京都市	70	49	3	6	12
大阪市	113	57	11	28	17
神戸市	118	86	9	14	9
広島市	39	20	3	7	9
北九州市	20	11	2	3	4
福岡市	31	17	3	6	5

第5章 病原細菌檢出成績



第 5 章 病原細菌検出成績

1. 病原細菌検出状況総括、由来ヒト、1995年

1. The number of bacteria isolated from human sources, Japan, 1995

- 1-1. 地研・保健所、都市立伝染病院、検疫所
 1-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers,
 infectious diseases hospitals and quarantine stations

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	地研・保健所 PREFECTURAL AND MUNICIPAL PUBLIC HEALTH INSTITUTE**	都市立伝染病院 INFECTIOUS DISEASES HOSPITAL	検 疫 所 QUARANTINE STATION
T O T A L	13636(2979)	878(620)	3513(3513)
ESCHERICHIA COLI	1539(863)	47(39)	61(61)
SHIGELLA			
SHIGELLA DYSENTERIAE	8(8)	7(7)	7(7)
SHIGELLA FLEXNERI	56(36)	83(51)	46(46)
SHIGELLA BOYDII	17(13)	19(17)	13(13)
SHIGELLA SONNEI	295(200)	220(209)	298(298)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	-	16(15)	-
SALMONELLA			
SALMONELLA TYPHI	27(10)	29(23)	-
SALMONELLA PARATYPHI A	41(19)	19(14)	-
SALMONELLA GROUP O4	627(81)	20(5)	52(52)
SALMONELLA GROUP O7	849(72)	15(4)	60(60)
SALMONELLA GROUP O8	509(98)	6(4)	60(60)
SALMONELLA GROUP O9	2484(154)	55(18)	107(107)
SALMONELLA GROUP O9,46	1(1)	1(1)	-
SALMONELLA GROUP O3,10	194(118)	8(7)	47(47)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	83(17)	-	9(9)
SALMONELLA GROUP O13	25(1)	1	3(3)
SALMONELLA GROUP O18	23(3)	-	1(1)
SALMONELLA OTHER GROUPS	46(8)	-	5(5)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	12	1	1(1)
YERSINIA ENTEROCOLITICA	26	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	217(192)	106(96)	75(75)
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT-	3(3)	-	1(1)
V.CHOLERAE O1:ELTOR INABA,CT+	1(1)	1	-
VIBRIO CHOLERAE O1 NT	-	2(2)	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1	-	1(1)	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	90(65)	2(1)	194(194)
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	1304(85)	25(10)	526(526)
VIBRIO FLUVIALIS	14(7)	1	35(35)
VIBRIO MIMICUS	11(9)	-	19(19)
AEROMONAS HYDROPHILA	30(18)	5(3)	46(46)
AEROMONAS SOBRIA	59(54)	8(7)	163(163)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	140(135)	-	1(1)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	575(542)	28(28)	1677(1677)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	534(36)	45(16)	-
CAMPYLOBACTER COLI	16(3)	2(1)	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	141(125)	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	334	4(2)	2(2)
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	363	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	5	-	-
BACILLUS CEREUS	63	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	4(1)	69(27)	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	38	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	2523	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	151	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	12	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	80	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	2	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	19	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	4	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	12	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	25	-	-
LEPTOSPIRA SPP.	1(1)	-	-
OTHERS*	3	32(12)	4(4)

** Including health centers

* その他の細菌の内訳 Others
 地研・保健所 Prefectural and municipal public health institutes
Klebsiella oxytoca, *Mycobacterium bovis*, *Mycobacterium* sp.

都市立伝染病院 Infectious diseases hospital
Klebsiella oxytoca, *Giardia lamblia*, *Trichuris trichiura*, *Campylobacter* spp.,
Clostridium difficile, *Aeromonas* sp., *Vibrio alginolyticus*

検 疫 所 Quarantine stations
Vibrio furnissii

病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity		
	地研・保健所	都市立伝染病院	検 疫 所
	PREFECTURAL AND MUNICIPAL PUBLIC HEALTH INSTITUTE**	INFECTIOUS DISEASES HOSPITAL	QUARANTINE STATION
ENTEROINVASIVE E. COLI	29(16)	2(1)	8(8)
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	972(615)	10(10)	1(1)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	407(157)	9(9)	52(52)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	27(2)	4	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	104(73)	22(19)	-

赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars		
	地研・保健所	都市立伝染病院	検 疫 所
	PREFECTURAL AND MUNICIPAL PUBLIC HEALTH INSTITUTE**	INFECTIOUS DISEASES HOSPITAL	QUARANTINE STATION
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	2(2)	2(2)	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	1(1)	-	1(1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	1(1)	-	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	1(1)	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	2(2)	2(2)	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	1(1)	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN	-	3(3)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	11(8)	8(8)	4(4)
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	12(4)	39(14)	9(9)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	3(2)	5(3)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	7(4)	5(5)	8(8)
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	1(1)	1(1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	2(2)	2(1)	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4B	-	1(1)	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4	1(1)	3(3)	2(2)
S. FLEXNERI SEROVAR 6	8(7)	7(6)	16(16)
S. FLEXNERI SEROVAR X	7(3)	2	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	2(1)	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4(4)	8(8)	3(3)
S. BOYDII SEROVAR 1	4(3)	1(1)	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 2	3(3)	4(3)	2(2)
S. BOYDII SEROVAR 4	2	4(4)	2(2)
S. BOYDII SEROVAR 5	1(1)	1(1)	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 8	-	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 9	4(4)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 10	-	1(1)	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 11	1(1)	1(1)	2(2)
S. BOYDII SEROVAR 12	1(1)	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 13	-	2(2)	2(2)
S. BOYDII SEROVAR 14	-	2(2)	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 16	1	1	-
S. BOYDII SEROVAR 18	-	-	1(1)
S. SONNEI	295(200)	220(209)	298(298)

** Including health centers

1-2. 医療機関
1-2. General clinical institutions

() : 海外旅行者分再掲
() : imported cases included in the total

	分 離 材 料 SPECIMEN							
	糞 便	穿刺液1)	髄 液2)	血 液	咽 頭3)	下気道4)	尿	陰 部5)
T O T A L	STOOL	FLUID	CSF	BLOOD	NASOPH.	L. RESP.	URINE	GENIT.
ESCHERICHIA COLI	2759(20)	1042	12	775	.	.	43015	.
SHIGELLA								
SHIGELLA DYSENTERIAE	1
SHIGELLA FLEXNERI	15(2)
SHIGELLA BOYDII	4(3)
SHIGELLA SONNEI	44(24)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	1
SALMONELLA								
SALMONELLA TYPHI	5(3)	.	.	9(3)
SALMONELLA PARATYPHI A	16(4)	.	.	8(4)
SALMONELLA SPP.	.	.	.	46(1)
SALMONELLA GROUP O4	493(2)
SALMONELLA GROUP O7	389(5)
SALMONELLA GROUP O8	166(2)
SALMONELLA GROUP O9	1610(10)
SALMONELLA GROUP O9,46	5
SALMONELLA GROUP O3,10	33(2)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	35(1)
SALMONELLA GROUP O13	6
SALMONELLA GROUP O18	8
SALMONELLA OTHER GROUPS	19
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	53(1)
YERSINIA ENTEROCOLITICA	138
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	5
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	46(41)
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	14
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	990(1)
VIBRIO FLUVIALIS	20
VIBRIO MIMICUS	6
AEROMONAS HYDROPHILA	140(1)
AEROMONAS SOBRIA	55
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	106
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	54(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	1559(2)
CAMPYLOBACTER COLI	39
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	3192(5)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	5991	2123	110	1379	.	47551	12388	.
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	.	1102	.	2133	.	.	19897	.
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	44
BACILLUS CEREUS	27
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	6(1)
STREPTOCOCCUS GROUP A	9059	761	.	.
STREPTOCOCCUS GROUP B	.	.	7	129	.	5716	.	9143
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	.	88	44	107	9725	8027	.	.
NEISSERIA MENINGITIDIS	.	.	3	.	3	.	.	.
NEISSERIA GONORRHOEAЕ	766
LISTERIA MONOCYTOGENES	.	.	2
MYCOBACTERIUM SPP.	.	6
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4671	.	.
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	.	537	.	.	.	13534	10837	.
ENTEROBACTER SPP.	5839	.
ENTEROCOCCUS SPP.	34120	.
ACINETOBACTER SPP.	2340	.
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	.	1035	.	350	.	37263	22839	.
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	.	67	65	51	17509	8878	.	.
BORDETELLA PERTUSSIS	29	.	.	.
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	.	3	.	.	.	31	.	.
UREAPLASMA	181
ANAEROBES	.	850	.	247	.	202	.	.
CANDIDA ALBICANS	6807	12784
TRICHOMONAS VAGINALIS	625
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	1866

- 1) 穿刺液：胸水、腹水、関節液など
FLUID : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)
- 2) 髄 液
CSF : Cerebrospinal fluid
- 3) 咽 頭：咽頭および鼻咽喉からの材料
NASOPH. : Nasopharyngeal source
- 4) 下気道：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
L. RESP. : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)
- 5) 陰 部：陰部尿道頸管分泌物 (分泌) 物
GENIT. : Genitourinary source

2. 病原細菌検出数の月別集計、由来ヒト、1995年

2. Isolation of bacteria from human sources, by month, Japan, 1995

2-1. 地研・保健所

2-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M A R	4 A P R	5 M A Y	6 J U N
T O T A L	13636(2979)	839(228)	727(431)	835(489)	753(282)	961(197)	982(174)
ESCHERICHIA COLI	1539(863)	74(54)	114(94)	173(141)	85(64)	100(75)	134(71)
SHIGELLA							
SHIGELLA DYSENTERIAE	8(8)	-	1(1)	2(2)	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	56(36)	1(1)	-	5(4)	5(1)	5(2)	9(2)
SHIGELLA BOYDII	17(13)	1(1)	-	-	1(1)	3(2)	2(1)
SHIGELLA SONNEI	295(200)	32(30)	13(10)	20(16)	25(20)	17(14)	24(22)
SALMONELLA							
SALMONELLA TYPHI	27(10)	3(1)	4	3(2)	1(1)	4(1)	2(1)
SALMONELLA PARATYPHI A	41(19)	1	1	1(1)	4(1)	1	1
SALMONELLA GROUP 04	627(81)	31(2)	19(9)	23(10)	43(13)	44(7)	60(6)
SALMONELLA GROUP 07	849(72)	53(5)	32(8)	22(8)	29(6)	55(6)	58(2)
SALMONELLA GROUP 08	509(98)	36(5)	39(20)	32(22)	13(6)	39(5)	50(5)
SALMONELLA GROUP 09	2484(154)	97(5)	46(28)	52(40)	119(16)	198(8)	151(8)
SALMONELLA GROUP 09,46	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 03,10	194(118)	11(7)	27(26)	35(31)	13(9)	16(6)	17(9)
SALMONELLA GROUP 01,3,19	83(17)	7	13(6)	11(3)	8(3)	-	8(1)
SALMONELLA GROUP 013	25(1)	3	1	2	-	-	-
SALMONELLA GROUP 018	23(3)	2	1	1(1)	2	-	4
SALMONELLA OTHER GROUPS	46(8)	6	1	3(1)	2(1)	3	3(1)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	12	3	-	1	1	-	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	26	1	1	4	1	-	3
V.CHOLERAE 01:ELTOR OGAWA,CT+	217(192)	1(1)	98(94)	59(57)	1(1)	16(16)	2(2)
V.CHOLERAE 01:ELTOR OGAWA,CT-	3(3)	-	1(1)	-	-	-	-
V.CHOLERAE 01:ELTOR INABA,CT+	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	90(65)	5(5)	26(26)	7(7)	5(4)	4(3)	5(2)
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	1304(85)	4(4)	8(8)	8(8)	9(3)	4(3)	32(8)
VIBRIO FLUVIALIS	14(7)	-	-	-	3(3)	-	-
VIBRIO MINICUS	11(9)	-	3(3)	1(1)	1(1)	1(1)	-
AEROMONAS HYDROPHILA	30(18)	2(2)	-	3(1)	3(3)	6(3)	1
AEROMONAS SOBRIA	59(54)	4(4)	4(3)	2(2)	12(12)	2(2)	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	140(135)	13(13)	24(24)	16(16)	8(8)	8(8)	11(8)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	575(542)	81(80)	45(45)	72(72)	98(96)	22(22)	20(17)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	534(36)	11(1)	25(3)	20(7)	27(2)	124(3)	140(3)
CAMPYLOBACTER COLI	16(3)	1	3	3(2)	-	2(1)	1
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	141(125)	10(7)	21(20)	34(34)	7(6)	11(9)	6(5)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	334	14	4	6	14	23	23
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	363	27	1	42	75	19	47
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	5	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	63	-	-	-	11	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	4(1)	-	-	-	2(1)	1	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	36	2	3	2	2	4	1
STREPTOCOCCUS GROUP A	2523	268	116	145	97	203	143
STREPTOCOCCUS GROUP B	151	16	22	13	12	10	14
STREPTOCOCCUS GROUP C	12	3	-	1	1	2	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	80	11	3	6	2	1	5
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	19	3	1	-	4	1	-
BORDETELLA PERTUSSIS	4	-	1	-	-	3	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	12	-	1	1	3	1	2
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	25	1	2	3	2	-	2
LEFTOSPIRA SPP.	1(1)	-	-	-	-	-	-
OTHERS	3	-	-	1	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity							
ENTEROINVASIVE E.COLI	29(16)	5(1)	2(2)	4(3)	2(1)	-	5(3)
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	972(615)	44(41)	62(55)	103(94)	46(45)	66(64)	63(45)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	407(157)	20(7)	43(30)	47(29)	30(11)	24(6)	63(22)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	27(2)	-	-	3(1)	-	-	2
E.COLI OTHER/UNKNOWN	104(73)	5(5)	7(7)	16(14)	7(7)	10(5)	1(1)
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars							
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	2(2)	-	1(1)	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	1(1)	-	-	1(1)	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	2(2)	-	-	1(1)	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 12	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	11(8)	-	-	-	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	12(4)	-	-	-	1	3	4(2)
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	3(2)	-	-	1(1)	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	7(4)	-	-	1	2	1(1)	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3B	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	2(2)	-	-	1(1)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	8(7)	-	-	-	1(1)	1(1)	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	7(3)	1(1)	-	1(1)	-	-	4
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4(4)	-	-	1(1)	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	4(3)	1(1)	-	-	1(1)	-	1
S.BOYDII SEROVAR 2	3(3)	-	-	-	-	1(1)	1(1)
S.BOYDII SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-
S.BOYDII SEROVAR 9	4(4)	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 12	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 16	1	-	-	-	-	1	-
S.SONNEI	295(200)	32(30)	13(10)	20(16)	25(20)	17(14)	24(22)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	1566(263)	2441(338)	1734(205)	1232(194)	886(96)	680(82)
ESCHERICHIA COLI	173(80)	190(109)	123(72)	250(39)	62(32)	61(32)
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	3(3)	-	2(2)	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	13(9)	10(10)	4(4)	2(2)	1	1(1)
SHIGELLA BOYDII	-	4(2)	-	1(1)	5(5)	-
SHIGELLA SONNEI	30(23)	26(23)	14(14)	16(16)	72(7)	6(5)
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	2(1)	-	3(1)	3	-	2(2)
SALMONELLA PARATYPHI A	2(1)	13(5)	7(2)	4(3)	4(4)	2(2)
SALMONELLA GROUP O4	120(4)	88(12)	68(8)	78(3)	33(4)	20(3)
SALMONELLA GROUP O7	71(5)	139(12)	231(12)	93(5)	37(2)	29(1)
SALMONELLA GROUP O8	57(4)	66(8)	74(7)	57(5)	26(5)	21(6)
SALMONELLA GROUP O9	286(10)	538(19)	394(10)	271(5)	286(4)	46(1)
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	16(7)	18(6)	23(8)	10(3)	4(2)	4(4)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	3	10(1)	7(1)	8(1)	1(1)	7
SALMONELLA GROUP O13	2	4	2	2(1)	4	3
SALMONELLA GROUP O18	-	-	6(2)	2	3	2
SALMONELLA OTHER GROUPS	2(1)	5(1)	11(1)	5(1)	2(1)	3
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	1	1	-	1	3
YERSINIA ENTEROCOLITICA	4	3	3	2	1	3
V.CHOLERAEE O1:ELTOR OGAWA,CT+	13(12)	7(2)	12(1)	2(2)	3(2)	3(2)
V.CHOLERAEE O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	1(1)	1(1)	-	-
V.CHOLERAEE O1:ELTOR INABA,CT+	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAEE NON-O1&O139	6(3)	13(1)	15(11)	3(2)	-	1(1)
VIBRIO PARAHAEEMOLYTICUS	230(7)	624(21)	335(7)	39(6)	6(5)	5(5)
VIBRIO FLUVIALIS	1(1)	6(2)	2(1)	2	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	2	1(1)	-	-	2(2)
AEROMONAS HYDROPHILA	4(3)	1(1)	2	7(5)	-	1
AEROMONAS SOBRIA	14(13)	7(4)	4(4)	8(8)	2(2)	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	12(12)	29(29)	11(9)	3(3)	5(5)	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	68(60)	51(45)	22(15)	80(78)	14(10)	2(2)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	27	40(1)	45(3)	18	22(4)	34(9)
CAMPYLOBACTER COLI	1	-	-	5	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	7(7)	21(21)	12(10)	7(2)	2(1)	3(3)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	80	46	39	34	42	9
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	22	-	47	41	42	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	-	-	-	5	-	-
BACILLUS CEREUS	6	21	13	9	-	3
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	1	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	5	-	4	4	7	4
STREPTOCOCCUS GROUP A	263	430	180	127	174	377
STREPTOCOCCUS GROUP B	6	6	5	16	14	9
STREPTOCOCCUS GROUP C	2	1	-	1	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	8	14	6	9	8	7
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	2	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	5	3	-	-	-	2
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	3	-	-	-	-	1
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	2	2	4	4	1	2
LEPTOSPIRA SPP.	-	-	-	-	-	1(1)
OTHERS	-	-	-	1	-	1
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E.COLI	3	5(5)	-	-	2	1(1)
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	115(55)	136(83)	81(55)	216(31)	23(23)	17(14)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	43(11)	28(9)	25(11)	21(3)	28(6)	35(12)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	4	5	6	6	-	1(1)
E.COLI OTHER/UNKNOWN	8(4)	16(12)	11(6)	7(5)	9(3)	7(4)
赤痢菌血清型別の内訳 Shigella serovars						
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	1(1)	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	-	1(1)	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	1(1)	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	1(1)	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	-	-	1(1)	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	6(4)	3(3)	1(1)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	1	1(1)	1(1)	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	1(1)	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	2(2)	1(1)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	1(1)	-	1(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	1(1)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	4(3)	2(2)	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	1(1)	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1(1)	1(1)	-	1(1)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	-	1(1)	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	-	1(1)	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	-	2	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	4(4)	-
S.BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	1(1)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	1(1)	-
S.BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	30(23)	26(23)	14(14)	16(16)	72(7)	6(5)

2-2. 検疫所
2-2. Quarantine stations

	海外旅行者 Imported cases												
	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	O	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
	A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	3513	287	346	437	179	232	291	312	515	370	180	233	131
ESCHERICHIA COLI	61	4	7	9	6	4	2	2	5	8	3	7	4
SHIGELLA													
SHIGELLA DYSENTERIAE	7	-	-	2	-	-	-	1	2	1	-	-	1
SHIGELLA FLEXNERI	46	3	2	4	9	3	1	3	7	6	2	2	4
SHIGELLA BOYDII	13	1	-	2	1	1	-	1	2	3	-	1	1
SHIGELLA SONNEI	298	26	16	43	19	36	38	37	38	18	8	11	8
SALMONELLA													
SALMONELLA GROUP O4	52	1	5	5	6	4	4	5	6	4	5	5	2
SALMONELLA GROUP O7	60	7	6	5	1	8	1	11	11	3	2	3	2
SALMONELLA GROUP O8	60	4	8	10	4	2	8	5	7	6	3	3	-
SALMONELLA GROUP O9	107	7	11	15	4	10	6	3	13	20	4	10	4
SALMONELLA GROUP O3,10	47	4	6	4	-	1	1	6	12	4	2	4	3
SALMONELLA GROUP O1,3,19	9	-	2	1	-	-	-	-	5	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	3	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	5	-	-	-	1	-	-	-	1	2	1	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	75	-	30	20	-	2	8	10	3	-	2	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	194	22	25	17	5	10	12	14	29	34	8	12	6
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	526	39	35	46	15	40	60	62	78	57	24	46	24
VIBRIO FLUVIALIS	35	3	8	5	2	3	1	4	6	1	-	2	-
VIBRIO MIMICUS	19	-	3	1	1	1	1	1	2	2	3	2	2
AEROMONAS HYDROPHILA	46	-	2	6	4	2	3	3	6	9	5	5	1
AEROMONAS SOBRIA	163	11	13	17	10	11	14	9	35	16	7	9	11
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	1677	154	164	224	90	92	130	135	243	175	101	111	58
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
OTHERS	4	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity													
ENTEROINVASIVE E.COLI	8	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	1	3
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	52	4	6	7	6	3	2	2	5	8	2	6	1
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars													
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	4	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	9	2	1	1	-	1	-	-	2	1	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	8	-	1	1	2	-	-	1	1	-	1	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4B	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	16	-	-	-	6	1	1	-	2	3	-	1	2
S.FLEXNERI SEROVAR Y	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	3	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
S.BOYDII SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S.BOYDII SEROVAR 10	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 13	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 18	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	298	26	16	43	19	36	38	37	38	18	8	11	8

2-3. 都市立伝染病院
2-3. Infectious diseases hospitals

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M A R	4 A P R	5 M A Y	6 J U N
T O T A L	378(620)	41(32)	93(74)	105(95)	47(37)	75(55)	75(56)
ESCHERICHIA COLI	47(39)	5(3)	4(4)	6(6)	3(3)	5(4)	5(5)
SHIGELLA							
SHIGELLA DYSENTERIAE	7(7)	-	-	2(2)	-	1(1)	1(1)
SHIGELLA FLEXNERI	83(51)	5(3)	2(1)	7(7)	1(1)	5(4)	8(2)
SHIGELLA BOYDII	19(17)	-	1(1)	3(3)	2(2)	2(1)	-
SHIGELLA SONNEI	220(209)	15(15)	13(11)	18(17)	18(17)	23(23)	32(32)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	16(15)	1(1)	-	1(1)	2(2)	1(1)	-
SALMONELLA							
SALMONELLA TYPHI	29(23)	2(2)	2(1)	3(2)	2(2)	1(1)	2(2)
SALMONELLA PARATYPHI A	19(14)	2(2)	-	1(1)	1(1)	4(3)	2(2)
SALMONELLA GROUP O4	20(5)	-	1	2(1)	-	-	2(1)
SALMONELLA GROUP O7	15(4)	-	1(1)	-	1	1	-
SALMONELLA GROUP O8	6(4)	-	1(1)	1(1)	-	1(1)	1
SALMONELLA GROUP O9	55(18)	1	1(1)	1(1)	1	1	4
SALMONELLA GROUP O9,46	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	8(7)	-	-	1(1)	-	3(2)	-
SALMONELLA GROUP O13	1	1	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT+	105(96)	-	39(38)	38(38)	-	1(1)	2(2)
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA, CT+	1	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ O1 NT	2(2)	-	-	-	-	-	1(1)
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	1(1)	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	2(1)	-	-	-	1(1)	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	25(10)	-	1(1)	1(1)	-	3(3)	-
VIBRIO FLUVIALIS	1	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	5(3)	1(1)	-	1(1)	1(1)	-	-
AEROMONAS SOBRIA	8(7)	-	1(1)	-	-	2(2)	1(1)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	28(28)	1(1)	6(6)	5(5)	1(1)	6(6)	3(3)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	45(16)	2(2)	6(3)	9(5)	3(1)	5	3(1)
CAMPYLOBACTER COLI	2(1)	-	-	-	-	1	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	4(2)	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBA HISTOLYTICA	69(27)	4(2)	10(2)	2	7(3)	6(2)	5(2)
OTHERS	32(12)	1	3(1)	3(2)	3(2)	3	3(1)

病原大腸菌の内訳 *E. coli* categorized by pathogenicity

ENTEROINVASIVE E. COLI	2(1)	-	-	-	-	1	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	10(10)	-	-	1(1)	1(1)	-	2(2)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	9(9)	1(1)	3(3)	2(2)	-	1(1)	1(1)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	4	-	-	-	-	-	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	22(19)	4(2)	1(1)	3(3)	2(2)	3(3)	2(2)

赤痢菌血清型別の内訳 *Shigella* serovars

S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	2(2)	-	-	-	-	-	1(1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	2(2)	-	-	2(2)	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN	3(3)	-	-	-	-	1(1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	8(8)	1(1)	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	39(14)	4(2)	2(1)	2(2)	-	1	6(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	5(3)	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	5(5)	-	-	-	-	2(2)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	2(1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4B	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	3(3)	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	7(6)	-	-	-	-	-	2(1)
S. FLEXNERI SEROVAR X	2	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	2(1)	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	8(8)	-	-	1(1)	1(1)	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 1	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 2	4(3)	-	-	-	1(1)	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 4	4(4)	-	-	-	1(1)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 5	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 8	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 10	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 11	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 12	1(1)	-	-	1(1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 13	2(2)	-	-	1(1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 14	2(2)	-	1(1)	1(1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 16	1	-	-	-	-	1	-
S. SONNEI	220(209)	15(15)	13(11)	18(17)	18(17)	23(23)	32(32)

*上記以外にロタウイルス 86 例とアデノウイルス 4 例が報告された
In addition, rotaviruses and adenoviruses were detected in 86 and 4 cases, respectively.

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	126(74)	143(90)	67(40)	45(32)	33(18)	28(17)
ESCHERICHIA COLI	4(3)	6(5)	5(2)	-	3(3)	1(1)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	2(2)	-	-	-	-	1(1)
SHIGELLA FLEXNERI	18(4)	15(14)	8(8)	5(4)	5(2)	4(1)
SHIGELLA BOYDII	4(3)	4(4)	1(1)	1(1)	-	1(1)
SHIGELLA SONNEI	26(25)	34(33)	14(13)	11(10)	7(6)	9(7)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	5(4)	3(3)	1(1)	2(2)	-	-
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	2(1)	2(2)	3(2)	6(5)	1(1)	3(2)
SALMONELLA PARATYPHI A	-	5(2)	3(2)	-	1(1)	-
SALMONELLA GROUP O4	7(3)	6	1	-	-	1
SALMONELLA GROUP O7	4(1)	3(1)	3(1)	1	1	-
SALMONELLA GROUP O8	-	-	-	1(1)	-	1
SALMONELLA GROUP O9	5(3)	15(3)	15(6)	5(2)	5(2)	1
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	1(1)	2(2)	-	-	-	1(1)
SALMONELLA GROUP O13	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	1	-	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	11(9)	6(3)	4(1)	3(3)	1	1(1)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	-	1	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ O1 NT	1(1)	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	1(1)	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	1	-	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	6(1)	11(3)	2	-	1(1)	-
VIBRIO FLUVIALIS	-	1	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	1	1	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	1(1)	2(1)	-	-	1(1)	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	2(2)	3(3)	-	1(1)	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	3(1)	6(1)	2	2(1)	3(1)	1
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	1(1)	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2(1)	1(1)	1	-	-	-
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	12(7)	10(6)	2(1)	4	4	3(2)
OTHERS	8	4(3)	1(1)	3(2)	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E.COLI	1(1)	-	-	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	1(1)	2(2)	1(1)	-	2(2)	-
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	1(1)	-	-	-	-	-
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	1	-	3	-	-	-
E.COLI OTHER/UNKNOWN	-	4(3)	1(1)	-	1(1)	1(1)
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars						
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	1(1)
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN	2(2)	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	1(1)	2(2)	2(2)	1(1)	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	15(1)	6(5)	1(1)	-	1	1(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	1(1)	1(1)	-	1	1
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	2(2)	-	1(1)	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	2(1)	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4B	-	1(1)	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	1(1)	-	1(1)	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	1(1)	1(1)	2(2)	-	1(1)	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	2
S.FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	-	1(1)	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	2(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	-	2(2)	-	1(1)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	-	1(1)
S.BOYDII SEROVAR 8	1(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 10	-	1(1)	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	-	-	1(1)	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 13	1(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	26(25)	34(33)	14(13)	11(10)	7(6)	9(7)

2-4. 医療機関
2-4. General clinical institutions

2-4-1. 分離材料：糞便
2-4-1. Specimen : Stool

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	T	1	2	3	4	5	6
	O	J	F	M	A	M	J
	A	A	E	A	P	A	U
	L	N	B	R	R	Y	N
T O T A L	18094(131)	953(6)	1004(34)	1284(22)	1158(7)	1453(6)	1613(7)
ESCHERICHIA COLI	2759(20)	170(2)	203(2)	253(3)	222	218	274(3)
SHIGELLA							
SHIGELLA DYSENTERIAE	1	-	-	1	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	15(2)	-	2	2(2)	2	3	-
SHIGELLA BOYDII	4(3)	-	1(1)	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	44(24)	3(3)	8(5)	5(3)	4(2)	8(4)	2(1)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA							
SALMONELLA TYPHI	5(3)	-	-	1	1(1)	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	16(4)	1(1)	-	1(1)	-	1	1
SALMONELLA GROUP O4	493(2)	26	15	26	30	28	53
SALMONELLA GROUP O7	389(5)	13	7	18	17	20	21
SALMONELLA GROUP O8	166(2)	10	13(1)	7	4	5	11(1)
SALMONELLA GROUP O9	1610(10)	63	51(2)	50	52	106	119
SALMONELLA GROUP O9,46	5	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	33(2)	-	6	4(1)	2	2	4
SALMONELLA GROUP O1,3,19	35(1)	3	3(1)	2	3	6	1
SALMONELLA GROUP O13	6	-	-	1	-	-	1
SALMONELLA GROUP O18	8	-	-	-	-	-	1
SALMONELLA OTHER GROUPS	19	1	-	-	-	1	1
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	53(1)	4	3	1	1	6	5
YERSINIA ENTEROCOLITICA	138	5	9	7	4	18	12
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	5	1	-	-	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	46(41)	-	22(21)	14(11)	2(2)	-	1(1)
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	14	-	-	-	-	1	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	990(1)	1	2	2	4	21	9(1)
VIBRIO FLUVIALIS	20	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	6	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	140(1)	3	2	4	6	2	16
AEROMONAS SOBRIA	55	-	2	2	1	3	1
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	106	1	1	7	3	6	6
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	54(1)	10	4	6	2	1	4
CAMPYLOBACTER JEJUNI	1559(2)	77	59	87	121	187(1)	199
CAMPYLOBACTER COLI	39	2	-	2	5	6	1
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	3192(5)	128	94(1)	204(1)	213(1)	319(1)	356
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	5991	423	490	567	456	483	505
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	44	7	3	7	2	1	1
BACILLUS CEREUS	27	1	3	3	-	1	7
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	6(1)	-	1	-	1(1)	-	1

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ENTEROINVASIVE E.COLI	80	3	5	8	5	3	13
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	229(3)	12	12	21	5	21	24(1)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	1647(17)	103(2)	128(2)	106(3)	169	123	152(2)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	8	-	1	-	-	-	1
E.COLI OTHER/UNKNOWN	795	52	57	118	43	71	84

赤痢菌血清型別の内訳 *Shigella* serovars

S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	1	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	9(2)	-	2	2(2)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	1	-	-	-	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	2	-	-	-	1	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	1	-	-	-	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	1	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	1	-	-	-	-	1	-
S.BOYDII SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	2(2)	-	1(1)	-	-	-	-
S.SONNEI	44(24)	3(3)	8(5)	5(3)	4(2)	8(4)	2(1)

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	1958(13)	2686(14)	1917(13)	1476(1)	1520(3)	1072(5)
ESCHERICHIA COLI	283(2)	329(2)	176(3)	201(1)	263	167(2)
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	1	2	-	-	1	2
SHIGELLA BOYDII	-	2(1)	-	-	1(1)	-
SHIGELLA SONNEI	2(1)	7(2)	3(3)	1	1	-
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA	-	-	1	-	1(1)	1(1)
SALMONELLA TYPHI	-	-	1	-	1(1)	1(1)
SALMONELLA PARATYPHI A	1	2	2(1)	3	4(1)	-
SALMONELLA GROUP O4	71(1)	89(1)	70	36	31	18
SALMONELLA GROUP O7	41(1)	99(4)	71	39	26	17
SALMONELLA GROUP O8	21	42	19	12	14	8
SALMONELLA GROUP O9	227(1)	291(1)	229(6)	194	160	68
SALMONELLA GROUP O9,46	-	5	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	2(1)	5	2	2	2	2
SALMONELLA GROUP O1,3,19	2	1	5	2	3	4
SALMONELLA GROUP O13	-	1	-	2	1	-
SALMONELLA GROUP O18	-	1	3	2	1	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	5	3	4	1	2
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	5	10(1)	10	2	5	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	7	28	22	7	12	7
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	1	-	-	3	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT+	5(5)	1(1)	-	-	1	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	3	9	-	-	1	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	123	496	245	81	5	1
VIBRIO FLUVIALIS	4	7	6	1	-	2
VIBRIO MIMICUS	2	1	3	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	25	36(1)	29	7	6	4
AEROMONAS SOBRIA	4	11	12	9	8	2
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	9	27	25	10	4	7
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	7	12	5	1	1	1(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	198(1)	178	140	118	116	79
CAMPYLOBACTER COLI	5	7	4	3	3	1
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	375	407	305	269	324	198(1)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	522	569	525	462	517	472
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	6	4	-	2	4	7
BACILLUS CEREUS	3	1	1	3	3	1
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	2	1	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E. coli</i> categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E. COLI	10	7	7	2	13	4
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	29	42	18	21(1)	13	11(1)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	170(2)	194(2)	99(3)	118	187	98(1)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	4	1	1	-	-	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	70	85	51	60	50	54
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars						
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	2	-	-	1	2
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	1	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 1	-	1	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	1(1)	-	-	-	-
S. SONNEI	2(1)	7(2)	3(3)	1	1	-

2-4-2. 分離材料：穿刺液（胸水、腹水、關節液など）
 2-4-2. Specimen : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

T O T A L	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12													
													T A L	J A N	F E B	M A R	A P R	M A Y	J U N	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	6853	490	510	599	545	490	577	638	771	566	617	550	500												
ESCHERICHIA COLI	1042	88	79	89	110	82	77	90	96	99	74	81	77												
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	537	38	34	42	32	30	44	56	57	60	48	51	45												
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	67	-	6	1	6	3	4	2	33	-	3	5	4												
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	1035	66	69	98	76	74	76	108	137	89	97	69	76												
MYCOBACTERIUM SPP.	6	-	-	-	-	1	2	2	-	-	-	1	-												
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2123	151	170	175	155	161	180	218	220	150	211	177	155												
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	1102	63	84	94	79	74	112	100	119	93	105	107	72												
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	88	6	8	11	4	3	7	16	5	6	2	12	-												
ANAEROBES	850	78	60	92	76	62	80	52	91	70	73	57	59												
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-												

2-4-3. 分離材料：髄液
 2-4-3. Specimen : Cerebrospinal fluid

T O T A L	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12													
													T A L	J A N	F E B	M A R	A P R	M A Y	J U N	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	243	16	11	33	26	19	18	12	18	16	22	18	34												
ESCHERICHIA COLI	12	1	2	2	-	1	1	-	1	-	1	1	2												
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	65	7	4	8	6	4	4	3	3	4	6	7	9												
NEISSERIA MENINGITIDIS	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-												
LISTERIA MONOCYTOGENES	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-												
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	110	3	3	14	13	10	8	6	12	9	12	5	15												
STREPTOCOCCUS GROUP B	7	1	1	-	2	1	-	2	-	-	-	-	-												
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	44	4	1	8	4	3	4	1	2	3	2	4	8												

2-4-4. 分離材料：血液
 2-4-4. Specimen : Blood

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

T O T A L	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12													
													T A L	J A N	F E B	M A R	A P R	M A Y	J U N	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	5234(8)	401	371	388(1)	379(2)	434	412	550	530(1)	466(1)	447	473(2)	383(1)												
ESCHERICHIA COLI	775	57	57	56	57	83	67	61	69	71	31	58	58												
SALMONELLA TYPHI	9(3)	-	-	1	1(1)	2	-	-	1	2	-	1(1)	1(1)												
SALMONELLA PARATYPHI A	8(4)	-	-	1(1)	1(1)	-	-	1	4(1)	-	-	1(1)	-												
SALMONELLA SPP.	46(1)	2	4	3	2	3	2	5	5	7(1)	6	2	5												
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	51	5	1	4	4	6	4	3	1	5	8	4	6												
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	350	32	27	28	12	25	32	38	40	36	23	31	26												
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1379	112	126	116	105	101	109	140	138	113	113	104	102												
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	2133	155	131	135	146	171	160	256	241	209	182	200	147												
STREPTOCOCCUS GROUP B	129	9	6	6	10	6	9	14	5	2	6	52	4												
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	107	7	6	16	9	13	9	8	6	6	5	8	14												
ANAEROBES	247	22	13	22	32	24	20	24	20	15	23	12	20												

2-4-5. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料
 2-4-5. Specimen : Nasopharyngeal source

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	36325	2822	2772	3320	2725	3907	3932	3097	1914	1910	2649	3445	3832
BORDETELLA PERTUSSIS	29	-	-	1	4	1	1	1	9	9	3	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	17509	1431	1295	1584	1267	1797	1917	1664	1089	941	1251	1463	1810
NEISSERIA MENINGITIDIS	3	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	9059	649	704	849	689	904	861	702	375	462	641	1077	1146
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	9725	742	773	886	763	1204	1153	730	441	498	754	905	876

2-4-6. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
 2-4-6. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	126634	10494	10618	11549	9800	10708	10693	11470	11030	9587	10178	10559	9948
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4671	354	365	363	331	357	376	402	468	362	449	421	423
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	13534	990	946	952	967	1016	1086	1325	1407	1191	1324	1275	1055
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	8878	780	686	865	641	876	885	874	759	578	588	710	636
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	37263	2908	3054	3332	2744	2877	3028	3381	3547	3093	3213	3167	2919
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	47551	4055	4310	4537	3870	4100	3936	4217	3798	3452	3676	3813	3787
STREPTOCOCCUS GROUP A	761	88	65	71	60	78	77	61	56	43	50	47	65
STREPTOCOCCUS GROUP B	5716	532	463	572	477	559	473	520	445	384	330	464	497
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	8027	771	707	821	702	826	808	667	529	460	538	643	555
ANAEROBES	202	12	22	36	8	16	21	22	18	20	6	13	8
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	31	4	-	-	-	3	3	1	3	4	4	6	3

2-4-7. 分離材料：尿
 2-4-7. Specimen : Urine

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	158082	11084	12092	13072	11975	13609	13898	16035	14689	13217	12807	13746	11858
ESCHERICHIA COLI	43015	2934	3321	3629	3182	3711	3902	4562	3995	3439	3360	3730	3250
ENTEROBACTER SPP.	5839	381	367	412	417	473	520	574	612	581	547	535	420
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	10837	709	761	750	748	896	918	1104	1112	1006	1084	893	856
ACINETOBACTER SPP.	2340	144	147	182	143	199	208	281	249	239	216	189	143
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	22839	1629	1705	1829	1661	1878	2008	2280	2087	2064	1946	2071	1681
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	12388	897	967	1027	1087	1069	1086	1198	1081	959	921	1110	986
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	19897	1293	1452	1629	1408	1738	1700	2139	2079	1741	1623	1686	1409
ENTEROCOCCUS SPP.	34120	2441	2799	2996	2785	3078	2996	3273	2889	2634	2622	2983	2624
CANDIDA ALBICANS	6807	656	673	618	544	567	560	624	585	554	488	549	489

2-4-8. 分離材料：陰部尿道頸管擦過（分泌）物
 2-4-8. Specimen : Genitourinary source

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	25365	1823	1838	1890	1749	2251	2145	2627	2279	2373	2210	2412	1768
NEISSERIA GONORRHOEAE	766	51	44	61	42	72	77	79	76	62	71	82	49
STREPTOCOCCUS GROUP B	9143	696	689	671	604	784	797	964	789	814	816	858	661
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	1866	137	125	153	139	151	152	153	173	175	163	181	164
UREAPLASMA	181	13	17	22	15	21	13	12	20	10	16	8	14
CANDIDA ALBICANS	12784	881	910	944	899	1170	1048	1345	1163	1264	1092	1229	839
TRICHOMONAS VAGINALIS	625	45	53	39	50	53	58	74	58	48	52	54	41

2-4-9. 検出された *Staphylococcus aureus* のメチシリン感受性の内訳
 2-4-9. *Staphylococcus aureus* categorized by sensitivity to methicillin

	TOTAL	1月 JAN.	2月 FEB.	3月 MAR.	4月 APR.	5月 MAY	6月 JUN.	7月 JUL.	8月 AUG.	9月 SEP.	10月 OCT.	11月 NOV.	12月 DEC.
MRSA													
糞便	3550	267	316	334	260	276	309	304	314	306	253	307	304
穿刺液	899	81	73	80	63	59	76	99	101	69	72	68	58
髄液	73	2	1	11	7	7	6	5	8	5	6	3	12
血液	776	60	68	60	67	53	65	75	72	64	76	63	53
下気道	28776	2369	2630	2792	2361	2542	2423	2554	2278	2039	2232	2291	2265
尿	7331	539	580	621	661	649	633	640	615	590	511	686	606
MSSA													
糞便	1878	94	138	201	127	150	160	175	197	164	144	184	144
穿刺液	970	49	75	73	73	76	90	92	94	56	116	91	85
髄液	23	-	1	3	5	3	2	-	2	1	3	2	1
血液	456	39	38	41	30	36	38	50	48	38	27	32	39
下気道	10726	926	980	973	824	929	865	917	852	712	889	899	960
尿	3260	217	227	254	294	274	294	384	307	223	274	277	235
未検査	563	62	36	32	69	57	36	43	58	55	65	26	24
Not tested	254	21	22	22	19	26	14	27	25	25	23	18	12
髄液	14	1	1	-	1	-	-	1	2	3	3	-	2
血液	147	13	20	15	8	12	6	15	18	11	10	9	10
下気道	8049	760	700	772	685	629	648	746	668	701	555	623	562
尿	1797	141	160	152	132	146	159	174	159	146	136	147	145
<i>S. aureus</i>													
糞便	5991	423	490	567	456	483	505	522	569	525	462	517	472
穿刺液	2123	151	170	175	155	161	180	218	220	150	211	177	155
髄液	110	3	3	14	13	10	8	6	12	9	12	5	15
血液	1379	112	126	116	105	101	109	140	138	113	113	104	102
下気道	47551	4055	4310	4537	3870	4100	3936	4217	3798	3452	3676	3813	3787
尿	12388	897	967	1027	1087	1069	1086	1198	1081	959	921	1110	986

FLUID : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

CSF : Cerebrospinal fluid

L. RESP.: Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

MRSA : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (methicillin resistant *Staphylococcus aureus*)

MSSA : メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (methicillin sensitive *Staphylococcus aureus*)

3. 病原細菌検出数の報告機関別集計、由来ヒト、1995年

3. Isolation of bacteria from human sources, by participating laboratory, Japan, 1995

3-1. 地研・保健所

3-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 154~159)

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TOTAL	1	1	1	2	3	4	4	5	6	7	8	9	
合	北	礼	函	青	岩	宮	仙	秋	山	福	茨	栃	
計	海	幌	館	森	手	城	台	田	形	島	城	木	
	道	市	市	県	県	県	市	県	県	県	県	県	県
T O T A L	13636(2979)	254(13)	96(13)	4(3)	49(1)	91(5)	109(5)	39(5)	54(2)	27(11)	554(14)	117(10)	228(71)
ESCHERICHIA COLI	1539(863)	6	7	1	-	6	39	-	35(1)	2	-	2	32(31)
SHIGELLA													
SHIGELLA DYSENTERIAE	8(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	56(36)	-	-	-	-	2	1(1)	1(1)	-	3	-	-	1(1)
SHIGELLA BOYDII	17(13)	-	-	-	-	-	-	-	4(4)	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	295(200)	1(1)	3(2)	-	-	64(1)	-	-	-	-	-	3(3)	2(2)
SALMONELLA													
SALMONELLA TYPHI	27(10)	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	41(19)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-
SALMONELLA GROUP O4	627(81)	7	1(1)	-	8	3	1	-	2	-	-	-	22(7)
SALMONELLA GROUP O7	849(72)	12	7	-	3	2(1)	27	-	-	-	1	13	20(1)
SALMONELLA GROUP O8	509(98)	4	4(4)	2(2)	-	-	-	-	-	-	5	11	10(4)
SALMONELLA GROUP O9	2484(154)	137(1)	54(1)	-	16	3(3)	5	-	1	7	35(2)	40	47(10)
SALMONELLA GROUP O9,46	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	194(118)	1	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4(1)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	83(17)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7(2)
SALMONELLA GROUP O13	25(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA GROUP O18	23(3)	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	46(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	26	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT*	217(192)	11(10)	-	-	1(1)	1	1(1)	4(4)	1(1)	7(6)	6(5)	5(6)	1(1)
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT-	3(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR INABA,CT*	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	90(65)	1(1)	3(3)	-	-	1	1(1)	-	-	-	3(3)	-	4(2)
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	1304(85)	32	3	-	21	9	18(2)	6	7(1)	11	12	12	25(2)
VIBRIO FLUVIALIS	14(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	11(9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	30(18)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	59(54)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	140(135)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	575(542)	-	-	-	-	-	-	-	-	3(3)	-	-	6(5)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	534(36)	-	2	-	-	-	5	-	5	-	-	-	38
CAMPYLOBACTER COLI	16(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	141(125)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	334	15	-	-	-	-	-	2	-	-	4	6	3
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	363	-	2	-	-	-	11	8	-	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	63	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
EMTANOREA HISTOLYTICA	4(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	2523	-	-	-	-	-	-	17	9	-	391	-	1
STREPTOCOCCUS GROUP B	151	-	-	-	-	-	-	1	-	-	54	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	80	-	-	-	-	-	-	-	1	-	31	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	12	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEPTOSPIRA SPP.	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity													
ENTEROINVASIVE E.COLI	29(16)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	972(515)	-	4	-	-	-	36	-	11	-	-	-	5(4)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	407(157)	4	1	1	-	5	3	-	8	1	-	2	6(6)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	27(2)	2	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
E.COLI OTHER/UNKNOWN	104(73)	-	2	-	-	-	-	-	15(1)	-	-	-	20(20)
赤痢菌血清型別の内訳 Shigella serovars													
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 12	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	11(8)	-	-	-	-	1	1(1)	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	12(4)	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2D	3(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	7(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3B	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	8(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	7(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	4(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	3(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	4(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	4(4)	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 12	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	295(200)	1(1)	3(2)	-	-	64(1)	-	-	-	-	-	3(3)	2(2)

() : 海外旅行者分再掲
() : reported cases included in the total

	1 0 1 器 馬 鹿	1 1 1 崎 玉 県	1 2 1 千 葉 県	1 2 1 千 葉 市	1 3 1 東 京 都	1 4 1 神 奈 川 県	1 4 2 横 浜 市	1 4 3 川 崎 市	1 4 4 横 須 賀 市	1 5 1 新 潟 県	1 5 2 新 潟 市	1 5 1 富 山 県
T O T A L	76(10)	1233(356)	1466(40)	80(23)	2766(1151)	380(13)	166(33)	291(194)	61(38)	138(19)	26(4)	95(3)
ESCHERICHIA COLI	13(2)	208(179)	159(8)	12(12)	380(353)	17(2)	18(8)	72(70)	11(11)	21(2)	-	10(2)
SHIGELLA	-	2(2)	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	3(2)	1	-	14(10)	-	1(1)	1(1)	-	-	-	2(1)
SHIGELLA FLEXNERI	-	1(1)	1(1)	-	1(1)	-	2	-	-	-	-	-
SHIGELLA BOYDII	4(2)	17(17)	4(4)	1	51(43)	1	3(1)	6(6)	3(3)	1(1)	1(1)	-
SHIGELLA SONNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA	1	2(1)	1(1)	-	1(1)	2(2)	2	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	2(2)	8(4)	1(1)	-	8(6)	-	-	-	-	2(1)	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	1	30(10)	32(6)	-	193(38)	4	14(1)	2(1)	1(1)	4(2)	-	13
SALMONELLA GROUP 04	19	49(12)	66(3)	3(1)	224(28)	3	7(1)	6(6)	2(1)	1(1)	2	6
SALMONELLA GROUP 07	6(2)	41(19)	26	-	122(31)	5(1)	7(1)	29(6)	3(3)	-	3(1)	2
SALMONELLA GROUP 08	12	52(15)	100(3)	36(3)	650(50)	107(1)	42(1)	13(7)	8(2)	13(7)	5(1)	6
SALMONELLA GROUP 09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 09,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 03,10	1(1)	24(21)	4	2(2)	70(48)	-	6(3)	7(7)	4(4)	-	-	1
SALMONELLA GROUP 01,3,19	1	6(3)	7	-	12(1)	-	-	-	-	-	-	3
SALMONELLA GROUP 013	-	1	2	-	8	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 018	-	6(2)	-	-	6	-	-	-	-	-	-	2
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	9(2)	2	-	11(5)	-	-	1(1)	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAE 01:ELTOR OGAWA,CT+	2(1)	6(6)	11(9)	1(1)	32(27)	3(3)	9(7)	3(3)	1(1)	4(4)	-	-
V.CHOLERAE 01:ELTOR OGAWA,CT-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAE 01:ELTOR INABA,CT+	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1/SOL39	1	6(6)	4(1)	-	16(10)	-	6(4)	-	1(1)	-	-	2
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	9	11(9)	55(1)	18	258(36)	46(2)	24(1)	21(13)	16(1)	70(1)	13	46(1)
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	6(3)	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	1(1)	4(3)	1	-	2(2)	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	-	-	-	-	5(3)	1	-	5(4)	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	-	-	1	-	7(7)	1	-	13(13)	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	131(131)	-	-	-	1(1)	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	44(44)	2(1)	-	212(185)	1(1)	3(3)	39(38)	7(7)	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	-	5	36	4(3)	31(5)	12(1)	9(1)	18(16)	1(1)	-	-	-
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	6(1)	-	-	3	1	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	-	-	-	124(124)	1	-	-	-	-	-	1
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	-	4	11	1	92	27	10	-	-	3	-	3
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	2	52	-	-	81	61	-	42	-	13	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	2	-	-	-	7	13	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	-	-	-	-	-	18	1	-	-	6	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	-	526	932	-	-	54	-	8	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	81	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	32	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEPTOSPIRA SPP.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity												
ENTEROINVASIVE E.COLI	-	-	1(1)	-	10(10)	2(1)	-	-	-	-	-	3
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	10(2)	205(179)	153(7)	10(10)	306(281)	1	8(6)	-	11(11)	17(2)	-	1(1)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE 2	-	4	4	2(2)	64(62)	14(1)	7(2)	23(22)	-	4	-	6(1)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	1	2	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-
E.COLI OTHER/UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	49(48)	-	-	-	-
赤痢菌血清型別の内訳 Shigella serovars												
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	-	1(1)	-	-	4(2)	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	-	2(1)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	2(2)	-	-	-	-	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	4(3)	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	-	1(1)	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 12	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	4(2)	17(17)	4(4)	1	51(43)	1	3(1)	6(6)	3(3)	1(1)	1(1)	-

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	7	8	9	0	1	1	2	2	2	3	3	4	5	6	6
	1	1	1	1	1	1	2	3	3	1	2	1	1	1	1
	石	福	山	長	岐	岐	静	静	浜	愛	名	三	滋	京	
	川	井	梨	野	阜	阜	岡	岡	松	知	古	豊	賀	都	
	県	県	県	県	県	市	県	市	市	県	区	県	県	府	
T O T A L	156(54)	99(1)	44(4)	139(24)	166(16)	14(1)	225(26)	10(4)	61(14)	184(38)	93(27)	109(3)	166(22)	98(2)	
ESCHERICHIA COLI	11(4)	1	-	1(1)	3(2)	-	4	2(1)	4	-	6	1	28(9)	7(1)	
SHIGELLA															
SHIGELLA DYSENTERIAE	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	-	-	
SHIGELLA FLEXNERI	1(1)	-	-	-	2(2)	-	-	-	2(2)	5(4)	1(1)	-	-	1	
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	1(1)	-	-	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	
SHIGELLA SONNEI	3(3)	1(1)	2(2)	5(3)	2(2)	1(1)	4(4)	3(3)	-	10(9)	3(3)	3(3)	2(2)	-	
SALMONELLA															
SALMONELLA TYPHI	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3(1)	-	4	2(2)	3(1)	
SALMONELLA PARATYPHI A	1(1)	1	2	3	-	-	-	-	-	1(1)	-	2	1(1)	-	
SALMONELLA GROUP O4	-	-	1	1(1)	16	4	20	1	5	17(2)	3(1)	5	7	7	
SALMONELLA GROUP O7	1	4	-	15	23	4	23	1	2	31	-	6	25	-	
SALMONELLA GROUP O8	3(3)	19	-	1(1)	21	3	6(1)	-	6	43(5)	5	4	3	1	
SALMONELLA GROUP O9	6(1)	55	19	40(1)	12	1	33(1)	-	7	41(7)	28(6)	69	35	12	
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SALMONELLA GROUP O3,10	4(4)	-	-	1	-	-	5(3)	1	2	10(5)	5(5)	-	3	-	
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	-	-	-	1	-	1	-	1	4(2)	2(2)	-	3(1)	1	
SALMONELLA GROUP O13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
SALMONELLA GROUP O18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	1	2	-	1	-	-	4	-	-	-	-	
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT*	30(30)	-	2(2)	7(6)	4(4)	-	9(9)	-	8(8)	3	7(7)	-	4(2)	-	
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	1(1)	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	3(3)	-	-	6(6)	5(5)	-	-	-	3(2)	-	-	1	1(1)	-	
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	77(1)	14	13	30(2)	45	1	55(4)	1	16(1)	-	3	12	31	-	
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	
AEROMONAS HYDROPHILA	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
AEROMONAS SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
FLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	-	-	2(2)	-	-	2(2)	-	-	-	2(2)	-	2(1)	-	
CAMPYLOBACTER JEJUNI	1(1)	1	-	8	13	-	23	1	3	-	-	-	15(2)	-	
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	11	-	2	4	6	-	-	-	-	28	1	3	-	-	
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	3	9	-	-	34	-	-	-	-	-	-	-	
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	1	-	4	
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
NEISSERIA GONORRHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STREPTOCOCCUS GROUP A	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62	
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
BORDETELLA PERTUSSIS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
LEPTOSPIRA SPP.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
OTHERS	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
病種大別の内訳 E.coli categorized by pathogenicity															
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	8(2)	-	-	-	2(2)	-	-	-	1	-	-	-	-	9(4)	1
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	3(2)	-	-	-	-	-	-	1	1	-	6	1	9(3)	6(1)	
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	-	-	1(1)	-	-	4	1(1)	-	-	-	-	7(2)	-	
赤痢菌血清型別の内訳 Shigella serovars															
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	2(2)	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	1	
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	1	1(1)	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR X	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. SONNEI	3(3)	1(1)	2(2)	5(3)	2(2)	1(1)	4(4)	3(3)	-	10(9)	3(3)	3(3)	2(2)	-	

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3		
	6	7	7	7	8	8	8	9	0	1	4	5	6	7	8		
	2	1	2	3	1	2	3	4	1	2	1	2	1	1	1		
	京	大	大	堺	兵	神	姫	奈	和	和	鳥	広	山	徳	香		
	都	阪	阪	阪	庫	戸	路	良	歌	歌	取	島	口	島	川		
	市	府	市	市	県	市	市	市	山	山	県	市	県	県	県		
	市	府	市	市	県	市	市	市	山	山	県	市	県	県	県		
T O T A L	122	991(474)	181(2)	79	38(1)	262(31)	9	3(1)	45(2)	14(3)	39(4)	56(1)	143(84)	52	130(5)	91(1)	140(1)
ESCHERICHIA COLI	50	41(41)	12	-	-	11(7)	1	-	2	-	-	1	50(50)	-	34(3)	27	44
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	-	8(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	3	-	-	-
SHIGELLA BOYDII	-	3(3)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	-	58(58)	1(1)	3	-	2(2)	-	1(1)	-	-	3(3)	-	5(5)	4	3	-	-
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	-	25(6)	30	3	36	17(4)	-	3	-	-	2	-	1	14	4	3	3
SALMONELLA GROUP O7	1	53(11)	11	10	-	15(2)	2	-	14	-	2	1	3(2)	-	17(1)	1	22
SALMONELLA GROUP O8	-	26(9)	-	7	-	5(1)	-	1(1)	-	3	2	2	2(2)	22	4	-	-
SALMONELLA GROUP O9	1	105(18)	35	18	1	151(3)	-	12	3	22	26	27(9)	16	6	2	1	1
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	-	9(7)	7	1	-	1(1)	-	-	-	2	-	-	-	-	3(1)	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	15(4)	1	6	-	2(1)	-	-	-	6	-	-	1(1)	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	1(1)	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT*	-	9(7)	1(1)	-	-	-	-	1(1)	3(3)	1(1)	1(1)	3(3)	-	1	1(1)	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR INABA,CT*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	-	10(9)	-	-	-	2(1)	-	-	-	-	-	-	1(1)	1	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	4	54(1)	45	-	-	27(3)	2	5	8	-	21	2(2)	-	29	-	1(1)	-
VIBRIO FLUVIALIS	-	6(4)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	1(1)	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	-	11(11)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	-	33(32)	-	-	-	-	-	-	-	1	1(1)	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	1(1)	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	242(241)	-	-	-	5(5)	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	22	48	28	29	-	8	-	-	-	-	-	11(1)	-	7	6	38	-
CAMPYLOBACTER COLI	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	-	1	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	16	2	2	1	-	5	-	7	-	-	2	4	2	6	16	9	-
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	1	7	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	11	180	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	3	18	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	5	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-
LEPTOSPIRA SPP.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病媒大菌の内科 E.coli categorized by pathogenicity																	
ENTEROINVASIVE E.COLI	5	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	2	35(35)	12	-	-	-	-	-	-	-	-	49(49)	-	10(2)	3	-	-
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	43	4(4)	-	-	-	11(7)	1	-	-	1	-	-	-	24(1)	17	44	-
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
E.COLI OTHER/UNENOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
赤痢菌血清型別の内科 Shigella serovars																	
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	-	3(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	-	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	-	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	-	58(58)	1(1)	3	-	2(2)	-	1(1)	-	-	3(3)	-	5(5)	4	3	-	-

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	9	0	0	0	1	2	2	3	3	4	5	6	
	1	1	2	3	1	1	2	1	2	1	1	1	
	高	福	福	北	佐	長	長	熊	熊	大	宮	鹿	
	知	岡	岡	九	賀	崎	崎	本	本	分	崎	児	
	県	県	市	州	県	県	市	県	市	県	県	島	
				市								県	
T O T A L	223(1)	35(3)	101(37)	61(6)	14(3)	23	201(27)	15(1)	56	71(10)	195(5)	40	242(3)
ESCHERICHIA COLI	22(1)	-	32(31)	19(4)	-	-	42(26)	-	-	3	23(1)	6	-
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
SHIGELLA SONNEI	-	1	2(1)	-	1(1)	-	-	1(1)	-	-	3(3)	-	3(1)
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	1	3	9	1	-	-	-	-	-	5	28	-	5
SALMONELLA GROUP O7	3	-	13(1)	2	-	-	-	-	-	5	33	17	10
SALMONELLA GROUP O6	2	-	5(1)	-	-	-	-	-	-	-	33	-	2
SALMONELLA GROUP O9	4	20	16	4	1(1)	6	126	-	56	25	17	1	34
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	3
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	-	1	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-
SALMONELLA GROUP O18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	5
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT*	-	4(3)	1(1)	-	1(1)	-	-	-	2(2)	-	-	2	1(1)
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA, CT*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	4(4)	-	-	-	3
VIBRIO PARAHAEEMOLYTICUS	18	5	10	2	7	10	3	1	-	12	4	3	1
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
AEROMONAS SOERIA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIONOMAS SHIGELLOIDES	1	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	62	-	-	-	-	-	1(1)	-	14(4)	28	1	-	-
CAMPYLOBACTER COLI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	9	2	-	-	2	7	-	-	-	-	8	8	-
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	8	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
NEISSERIA GONORRHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	1	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	90	-	-	27	-	-	-	-	-	-	1	-	172
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEPTOSPIRA SPP.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity													
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	1(1)	-	12(11)	15(1)	-	-	11(4)	-	3	-	17(1)	2	-
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE 19	-	-	19(19)	3(3)	-	-	30(21)	-	-	-	3	4	-
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	2	-	-	1	-	-	1(1)	-	-	-	3	-	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤痢菌属菌型別の内訳 Shigella serovars													
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S. BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	-	1	2(1)	-	1(1)	-	-	1(1)	-	-	3(3)	-	3(1)

3-2. 検疫所
 3-2. Quarantine stations
 (Refer to code map in page 154~159)

	海外旅行者 Imported cases																
	0	0	0	1	1	1	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	
TOTAL	4	8	1	1	1	2	4	3	2	4	3	2	3	4	1	2	
合 函 千 仙	館 蔵 台	田 京 松	成 東 小	名 関 岡	古 西 山	屋 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	空 空 空	
計 空 空 空	港 港 港	港 港 港	港 港 港	港 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	空 港 港	
T O T A L	3513	1	4	45	1241	1	2	442	1531	8	14	1	1	207	1	5	9
ESCHERICHIA COLI	61	-	-	20	-	-	-	-	39	1	-	-	-	-	-	-	1
SHIGELLA																	
SHIGELLA DYSENTERIAE	7	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	46	-	-	-	16	-	-	14	15	-	-	-	-	1	-	-	-
SHIGELLA BOYDII	13	-	-	-	2	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	298	-	-	2	165	1	-	21	91	-	-	-	-	18	-	-	-
SALMONELLA																	
SALMONELLA GROUP O4	52	-	-	1	7	-	-	20	14	-	1	-	-	8	-	-	1
SALMONELLA GROUP O7	60	-	-	-	8	-	-	20	14	-	-	-	-	18	-	-	-
SALMONELLA GROUP O8	60	-	-	-	10	-	-	29	12	-	-	1	-	8	-	-	-
SALMONELLA GROUP O9	107	-	-	3	29	-	-	36	23	2	1	1	-	12	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	47	-	-	4	2	-	-	27	6	-	2	-	-	6	-	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	9	-	-	-	-	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	5	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	75	-	1	2	38	-	2	13	13	-	-	-	-	6	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	194	-	1	-	98	-	-	20	56	-	-	-	-	19	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	526	-	-	1	260	-	-	75	153	2	3	-	-	29	-	2	1
VIBRIO FLUVIALIS	35	-	-	-	17	-	-	-	3	15	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	19	-	-	1	7	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	46	-	-	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	163	-	-	-	-	-	-	-	159	1	3	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	1677	1	1	11	571	-	-	153	845	2	3	-	-	80	1	3	6
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
OTHERS	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity																	
ENTEROINVASIVE E.COLI	8	-	-	2	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	52	-	-	18	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	1
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars																	
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	4	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	9	-	-	-	3	-	-	2	3	-	-	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	8	-	-	-	5	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4B	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	16	-	-	-	2	-	-	8	6	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR Y	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 5	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 10	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 13	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 18	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	298	-	-	2	165	1	-	21	91	-	-	-	-	18	-	-	-

3-3. 医療機関
 3-3. General clinical institutions
 (Refer to code map in page 154~159)

3-3-1. 分離材料: 糞便
 3-3-1. Specimen: Stool

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6
合	札	青	山	栃	群	埼	千	千	新	富
計	幌	森	形	木	馬	玉	葉	葉	瀧	山
	市	県	県	県	県	県	県	市	県	県

T O T A L	18094(131)	2180(2)	506(1)	907(5)	562	645(5)	76	217	54(4)	686(3)	777(6)
ESCHERICHIA COLI	2759(20)	169	-	129	34	228	7	6	-	44	57
SHIGELLA											
SHIGELLA DYSENTERIAE	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	15(2)	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-
SHIGELLA BOYDII	4(3)	-	1(1)	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-	-
SHIGELLA SONNEI	44(24)	3(1)	-	-	-	6(3)	-	-	3(1)	1(1)	-
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA											
SALMONELLA TYPHI	5(3)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	15(4)	-	-	6	-	1	-	-	-	-	2(2)
SALMONELLA GROUP O4	493(2)	31	18	39	1	19	-	2	2	4(1)	9
SALMONELLA GROUP O7	389(5)	23	5	11	2	11	-	2	1	7	18
SALMONELLA GROUP O8	166(2)	7	3	11	1	9	-	2	1	2(1)	11
SALMONELLA GROUP O9	1610(10)	310	62	47	20	40(1)	1	10	9	12	22
SALMONELLA GROUP O9,46	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	33(2)	3	1	1	-	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	35(1)	1	-	1	1	-	-	2	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SALMONELLA GROUP O18	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
SALMONELLA OTHER GROUPS	19	-	2	5	-	1	-	-	-	-	5
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	53(1)	12	8	-	1	-	-	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	138	46	7	9	1	8	-	2	3	10	4
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	46(41)	2(1)	-	4(4)	-	1(1)	-	-	1(1)	-	4(4)
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	14	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	990(1)	29	25	68	17	38	-	40	5	9	69
VIBRIO FLUVIALIS	20	5	1	-	-	-	-	-	-	1	-
VIBRIO MIMICUS	6	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	140(1)	25	-	10	-	3	-	8	-	12	-
AEROMONAS SOBRIA	55	12	2	7	-	-	-	-	-	8	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	106	16	11	3	-	4	-	-	-	-	4
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	54(1)	4	1	2	-	9	-	1	-	2	1
CAMPYLOBACTER JEJUNI	1559(2)	55	31	86	22	6	-	11	-	46	50
CAMPYLOBACTER COLI	39	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	3192(5)	432	211	188	10	98	-	-	20(1)	-	39
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	5991	964	114	272	452	163	66	122	8	523	479
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	44	26	-	2	-	-	-	7	-	3	-
BACILLUS CEREUS	27	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	6(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

病原大腸菌の内訳 *E.coli* categorized by pathogenicity

ENTEROINVASIVE E.COLI	80	9	-	6	1	16	-	-	-	-	1
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	229(3)	26	-	5	3	88	-	-	-	-	6
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	1647(17)	65	-	59	30	123	7	6	-	44	40
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
E.COLI OTHER/UNKNOWN	795	69	-	59	-	-	-	-	-	-	10

赤痢菌血清型別の内訳 *Shigella* serovars

S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	9(2)	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	1(1)	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	2(2)	-	1(1)	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
S.SONNEI	44(24)	3(1)	-	-	-	6(3)	-	-	3(1)	1(1)	-

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	7	8	9	2	3	3	5	7	7	8	8	9
	1	1	1	1	1	2	1	1	3	1	2	1
	石	福	山	静	愛	名	滋	大	堺	兵	神	奈
	川	井	梨	岡	知	古	賀	阪	堺	庫	戸	良
	県	県	県	県	県	屋	県	府	市	県	市	県
T O T A L	1221(5)	509	475(1)	119	1510(10)	376(59)	187	352(12)	128	36(1)	369(2)	1258(7)
ESCHERICHIA COLI	410	19	-	22	360	55(16)	35	12(2)	19	11	51	181
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	-	-	1	-	-	2(2)	-	1	-	-	1	3
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	1	1	-	-	3(2)	7(6)	-	7(7)	-	-	1(1)	2(2)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	-	1	1(1)	-	-	2(2)	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	2	-	-	-	2(2)	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	27	13	10	17	47	10(1)	1	12	7	-	13	33
SALMONELLA GROUP O7	30	8	4	2	24	10(2)	3	20	5	1	18	61(3)
SALMONELLA GROUP O8	20	10	1	5	9	8(1)	-	8	2	-	1	16
SALMONELLA GROUP O9	96	118	57	17	100	36(8)	8	53(1)	12	10	36	113
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	4	1	-	-	-	4(2)	-	1	1	-	5	4
SALMONELLA GROUP O1,3,19	4	-	-	-	-	3(1)	-	-	-	-	2	14
SALMONELLA GROUP O13	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	12	1	-	-	5	5(1)	-	-	-	-	-	3
YERSINIA ENTEROCOLITICA	6	-	1	4	19	4	4	-	-	-	1	-
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	5(5)	-	-	-	3(3)	13(12)	1	1(1)	-	1(1)	-	3(2)
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	325	30	76	13	27	13	-	25(1)	6	-	18	29
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	5	3	-	1	-	-	1	-
VIBRIO MIMICUS	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	-	1	8	-	41	1(1)	-	3	-	-	1	8
AEROMONAS SOBRIA	3	-	-	-	14	1	-	-	-	-	-	2
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	2	-	1	-	41	-	1	-	-	1	-	11
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	2	-	-	-	13(1)	1	-	2	-	-	-	8
CAMPYLOBACTER JEJUNI	91	24	32	37	157	94(2)	19	21	46	12	148	282
CAMPYLOBACTER COLI	1	-	-	1	16	9	-	-	3	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	24	153	136	-	71(4)	8	5	113	-	-	24	42
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	146	127	147	-	555	84	109	72	26	-	44	440
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-
病原大腸菌の内訳 <i>E. coli</i> categorized by pathogenicity												
ENTEROINVASIVE E. COLI	18	-	-	-	16	-	-	-	2	-	1	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	8	1	-	-	-	-	14	3(1)	5	-	6	-
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE 261	-	16	-	7	201	54(16)	21	6(1)	12	10	44	46
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2
E. COLI OTHER/UNKNOWN	123	1	-	13	143	-	-	3	-	1	-	133
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars												
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	-	-	1	2
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	1	1	-	-	3(2)	7(6)	-	7(7)	-	-	1(1)	2(2)

() : 海外旅行者分再掲
 () : imported cases included in the total

	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4
	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	4
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	香川	佐賀	長崎	熊本	大分
	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県
	県										
T O T A L	157	19	53	661	2455(3)	84	431	649(2)	302	64(1)	69(2)
ESCHERICHIA COLI	4	5	3	67	412	36	221	118	18	-	25(2)
SHIGELLA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
SALMONELLA GROUP O4	5	1	1	18	105	7	9	16	2	7	7
SALMONELLA GROUP O7	5	-	-	12	54	1	10	21	10	7	3
SALMONELLA GROUP O8	1	-	1	2	24	1	1	7	1	-	1
SALMONELLA GROUP O9	25	4	3	61	189	5	18	54	39	9	14
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	-	1	-	4	1	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	2	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA GROUP O18	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	2	-	1	1	3	-	-	-	1	-	1
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT+	-	-	-	-	3(3)	-	-	2(2)	-	2(1)	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	-	2	-	-	3	-	-	-
VIBRIO PARAHAE M OLYTICUS	4	3	1	7	93	7	1	9	-	3	-
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
AEROMONAS HYDROPHILA	1	-	-	1	11	1	1	-	-	-	4
AEROMONAS SOBRIA	-	-	-	-	3	-	-	-	1	1	1
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	1	-	-	10	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	-	-	-	26	241	-	-	8	-	4	10
CAMPYLOBACTER COLI	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	33	-	26	82	872	20	53	326	194	12	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	75	3	16	378	394	5	88	73	27	18	1
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	4	-	20	-	-	-	-
ENTAMOEB A HISTOLYTICA	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity										
ENTEROINVASIVE E.COLI	-	-	-	-	2	-	6	2	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	-	-	-	-	39	-	22	-	-	-	3(2)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	4	3	2	67	365	36	47	30	18	-	23
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
E.COLI OTHER/UNKNOWN	-	2	1	-	6	-	146	85	-	-	-
赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars										
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-

3-3-2. 分離材料：穿刺液（胸水、腹水、関節液など）
 3-3-2. Specimen : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	3
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	3	3	5	7	7	8	9	0	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	2	1	1	
計	札	青	山	栃	群	埼	千	千	新	富	石	福	山	愛	名	滋	大	堺	神	奈	和	
	槻	森	形	木	馬	玉	葉	葉	潟	山	川	井	梨	知	古	賀	阪	府	市	市	良	歌
	市	県	県	県	県	県	県	市	県	県	県	県	県	県	市	県	府	市	市	県	県	山
T O T A L	6853	1346	343	390	49	132	45	1093	6	311	256	450	145	43	126	286	78	188	27	80	193	19
ESCHERICHIA COLI	1042	147	64	107	10	32	8	121	2	38	49	55	38	17	15	29	11	34	4	16	12	1
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	537	106	25	38	3	17	1	65	-	21	28	18	20	4	10	10	10	20	1	8	8	1
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	67	2	1	1	-	-	-	-	-	3	1	16	1	-	-	-	2	-	1	1	-	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	1035	281	53	33	7	12	6	167	-	59	33	49	18	6	13	67	13	21	3	6	16	2
MYCOBACTERIUM SPP.	6	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2123	362	60	81	12	22	7	535	1	119	78	198	31	7	33	120	33	51	1	30	44	5
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	1102	326	58	50	6	23	3	107	1	25	39	80	27	7	26	51	7	29	3	14	48	6
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	88	8	2	5	-	2	-	1	1	7	1	7	1	-	1	9	4	4	1	-	2	-
ANAEROBES	850	113	80	74	11	24	20	97	1	39	27	27	9	2	26	-	-	27	14	4	59	4
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-

3-3-2. Continued-(1)

	3	3	3	3	3	4	4	4	
	1	2	3	4	5	7	1	2	3
	1	1	1	1	1	1	1	1	1
鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊	
取	根	山	島	口	川	賀	崎	本	
県	県	県	県	県	県	県	県	県	
T O T A L	26	30	218	477	24	208	90	92	82
ESCHERICHIA COLI	2	6	44	118	8	24	14	9	7
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	4	4	17	47	3	31	5	3	9
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	2	5	-	1	-	30	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	5	3	32	72	2	14	10	4	28
MYCOBACTERIUM SPP.	-	-	-	-	1	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	9	3	24	113	6	80	35	14	9
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	4	6	14	71	2	30	14	13	12
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	2	-	3	11	-	2	-	13	1
ANAEROBES	-	8	82	40	3	25	12	6	16
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3-3-3. 分離材料：髄液
 3-3-3. Specimen : Cerebrospinal fluid

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4			
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	5	6	7	8	9	2	3	3	5	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	
合	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
計	札	青	山	栃	群	埼	千	新	富	石	福	山	静	愛	名	滋	大	神	奈	和	鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊	
	槻	森	形	木	馬	玉	葉	潟	山	川	井	梨	岡	知	古	賀	阪	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本	
	市	県	県	県	県	県	県	市	県	県	県	県	県	県	市	県	府	市	県	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県	
T O T A L	243	22	9	29	4	6	5	6	9	9	7	4	4	1	15	6	5	4	5	28	1	1	2	7	29	1	14	7	1	2
ESCHERICHIA COLI	12	1	-	2	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	65	3	4	5	-	2	1	1	2	1	-	1	2	-	3	3	4	-	1	9	1	1	-	2	8	-	5	4	-	2
NEISSERIA MENINGITIDIS	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
LISTERIA MONOCYTOGENES	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	110	13	3	19	2	3	1	4	3	5	4	3	2	-	7	1	-	4	11	-	-	1	2	14	-	7	1	-	-	
STREPTOCOCCUS GROUP B	7	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	44	2	2	3	2	1	1	1	3	1	-	-	-	-	4	1	1	4	-	5	-	-	1	2	6	1	1	2	-	-

3-3-5. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料
 3-3-5. Specimen: Nasopharyngeal source

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	2	3	3	5	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
計	札幌	青森	山形	栃木	群馬	埼玉	千葉	千葉	新潟	富山	石川	福井	山梨	静岡	愛知	名古屋	滋賀	
TOTAL	36325	5667	1301	3017	589	1475	170	140	823	859	1243	2880	646	2067	20	2446	708	328
BORDETELLA PERTUSSIS	29	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	3	1	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	17509	2734	601	1388	376	755	114	72	421	456	640	1214	334	938	-	1392	402	94
NEISSERIA MENINGITIDIS	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
STREPTOCOCCUS GROUP A	9059	744	328	1029	160	406	37	45	73	292	449	1212	135	734	17	475	140	146
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	9725	2189	372	600	53	309	19	23	329	111	154	453	177	395	-	578	166	86

3-3-5. Continued

	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	
	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	4
	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大	大	神	奈	和	鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊	大	
阪	市	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本	分	
府	市	市	県	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	
TOTAL	1061	187	159	3435	42	160	224	596	3019	77	737	1173	807	54	215
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	1	-	-	-	15	-	3	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	568	113	52	1648	11	69	127	262	1046	39	534	652	427	30	-
NEISSERIA MENINGITIDIS	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	117	11	40	599	23	26	26	79	1009	20	71	265	126	10	215
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	376	63	67	1186	8	65	71	240	964	15	132	256	254	14	-

3-3-6. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
 3-3-6. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates,
 specimen of the lower respiratory tract)

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	2	3	3
合 計	札 樽	青 森	山 形	栃 木	群 馬	埼 玉	千 葉	千 葉	新 潟	富 山	石 川	福 井	山 梨	静 岡	愛 知	
TOTAL	126634	21278	3522	8885	1937	2978	1295	3894	617	2943	4704	15928	2013	2755	15	3261
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4671	119	137	31	30	28	10	9	1	65	40	86	26	9	-	22
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	13534	1052	307	967	190	327	187	463	7	314	738	2680	407	343	-	385
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	8878	1977	314	663	78	217	84	102	288	236	381	787	171	227	-	349
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	37263	7427	897	2720	507	781	383	1424	38	736	1129	4063	493	748	-	704
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	47551	7633	1442	3661	1064	1179	548	1594	78	1223	1904	6447	773	1036	-	1415
STREPTOCOCCUS GROUP A	761	78	10	46	3	38	6	1	11	8	63	263	10	9	-	14
STREPTOCOCCUS GROUP B	5716	1539	149	426	12	154	29	217	9	177	112	951	34	116	8	102
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	8027	1444	266	432	52	252	48	65	187	184	334	647	98	265	-	270
ANAEROBES	202	9	-	39	1	2	-	19	-	-	1	4	1	2	-	-
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	31	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7	-	-

3-3-6. Continued

	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	
名 古 屋 市	3	5	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3
滋 賀 県	2	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
大 阪 府																
堺 市																
神 戸 市																
奈 良 県																
和 歌 山 県																
鳥 取 県																
島 根 県																
岡 山 県																
広 島 県																
山 口 県																
香 川 県																
佐 賀 県																
長 崎 県																
熊 本 県																
TOTAL	1546	1326	6935	293	1018	6066	489	488	1026	5749	13753	511	3339	5250	1428	1392
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	30	65	2924	-	7	643	14	26	8	45	129	8	56	62	39	2
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	223	147	282	66	92	382	47	77	242	862	1505	35	485	444	167	111
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	103	45	259	46	66	450	22	44	108	259	583	55	315	375	221	53
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	372	353	1635	69	190	1696	160	147	203	2010	4545	152	1028	1601	432	622
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	673	614	1494	66	529	2197	193	153	300	2144	5047	179	1242	1904	370	549
STREPTOCOCCUS GROUP A	10	7	8	3	3	36	2	-	8	4	93	-	4	22	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	22	25	56	3	14	56	10	1	27	104	761	28	72	485	12	5
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	113	70	222	40	117	540	41	40	129	308	1087	54	135	357	180	50
ANAEROBES	-	-	55	-	-	58	-	-	1	-	3	-	1	-	6	-
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	8	-	-	-	13	-	-	1	-	-	-

3-3-7. 分離材料：尿
3-3-7. Specimen : Urine

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	3	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
計	札幌 市	青森 県	山形 県	栃木 県	群馬 県	埼玉 県	千葉 県	千葉 市	新潟 県	富山 県	石川 県	福井 県	山梨 県	愛知 県	
TOTAL	158082	35329	7325	8818	2175	3257	2214	3855	451	5133	5537	24962	2460	2386	6677
ESCHERICHIA COLI	43015	10829	1709	2332	500	703	394	647	137	1069	1660	8248	702	692	1276
ENTEROBACTER SPP.	5839	1423	255	379	93	126	73	122	8	112	264	516	60	88	225
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	10837	2373	471	616	181	155	125	362	20	225	352	2453	149	189	280
ACINETOBACTER SPP.	2340	861	122	121	23	41	50	63	-	34	72	208	25	26	111
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	22839	5620	1075	1816	232	400	238	698	24	442	894	3591	353	423	532
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	12388	2578	510	716	268	337	193	469	13	229	520	1857	191	256	427
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	19897	2904	1117	865	198	569	417	541	152	1601	475	1626	335	164	1621
ENTEROCOCCUS SPP.	34120	8371	1628	1503	393	663	600	730	87	1340	897	5021	549	445	1974
CANDIDA ALBICANS	6807	370	438	470	287	263	124	223	10	81	403	1442	95	103	331

3-3-7. Continued-(1)

	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
	3	5	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2
	2	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
名	滋	大	堺	神	奈	和	鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊
古	賀	阪	市	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本
屋	県	府	市	市	県	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県
市						県									
TOTAL	2289	2029	2877	726	1299	7006	484	319	482	6010	15113	366	2171	4173	1232
ESCHERICHIA COLI	708	625	676	162	398	1621	128	116	98	813	4641	124	407	1087	345
ENTEROBACTER SPP.	139	74	76	19	54	558	27	14	12	233	512	18	185	117	38
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	153	110	159	52	78	269	50	31	39	346	1075	24	107	268	75
ACINETOBACTER SPP.	34	12	16	7	12	37	1	2	-	90	232	2	49	54	23
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	316	271	287	129	182	832	56	48	91	1093	1824	69	448	515	183
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	219	178	278	55	159	653	41	18	33	411	1005	24	158	434	75
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	230	312	613	106	135	1150	74	41	87	1284	2156	24	230	577	148
ENTEROCOCCUS SPP.	384	342	654	135	222	1354	107	46	100	1529	3088	81	510	989	259
CANDIDA ALBICANS	106	105	118	61	59	532	-	3	22	211	580	-	77	132	81

3-3-8. 分離材料：陰部尿道頭管擦過（分泌）物
 3-3-8. Specimen : Genitourinary source

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	3	3	5	7	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	
計	札幌	青森	山形	栃木	群馬	埼玉	千葉	千葉	新潟	富山	石川	福井	山梨	愛知	名古屋	滋賀	大阪府	
TOTAL	25365	2609	1109	1773	381	754	373	1038	402	1070	1625	4539	519	586	699	977	232	665
NEISSERIA GONORRHOEAE	766	455	21	11	2	33	4	7	-	3	5	11	4	2	13	33	14	10
STREPTOCOCCUS GROUP B	9143	1130	506	681	154	214	177	344	170	506	164	1707	278	208	359	137	28	352
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	1866	660	67	75	1	36	-	61	5	1	67	111	-	17	29	44	16	7
UREAPLASMA	181	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	21	158	-	-
CANDIDA ALBICANS	12784	322	463	980	223	459	192	488	227	560	1327	2699	237	355	274	533	170	262
TRICHOMONAS VAGINALIS	625	42	52	26	1	11	-	138	-	-	62	11	-	4	3	72	4	34

3-3-8. Continued

	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	
	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	3	3	3	3	
	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
堺	神	奈	和	鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊						
市	市	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本					
			山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
TOTAL	327	418	1716	8	4	112	708	1531	47	422	398	175	148					
NEISSERIA GONORRHOEAE	9	4	12	-	2	-	7	72	1	22	5	2	2					
STREPTOCOCCUS GROUP B	97	170	732	3	-	33	21	442	46	191	163	67	63					
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	-	7	109	4	-	43	87	407	-	4	8	-	-					
UREAPLASMA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-					
CANDIDA ALBICANS	208	237	828	1	2	36	564	585	-	188	185	104	75					
TRICHOMONAS VAGINALIS	13	-	35	-	-	-	29	24	-	17	37	2	8					

4. サルモネラの菌型分布、1995年

4. *Salmonella* serovars isolated in Japan, 1995

4-1. 由来別集計、地研・保健所

4-1. *Salmonella* serovars, by source, 1995

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

○群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
02(A)	S. PARATYPHI A	41(19)	-	-	-
04(B)	S. TYPHIMURIUM	279(9)	7	25	59
	S. AGONA	60(16)	-	6	22
	S. HEIDELBERG	44(4)	-	3	1
	S. STANLEY	31(11)	-	-	3
	S. DERBY	28(13)	5	2	9
	S. PARATYPHI B	26(3)	1	3	10
	S. SCHWARZENGRUND	25(5)	-	4	11
	S. SAINTPAUL	24(5)	-	-	10
	S. BRANDENBURG	23	-	1	8
	S. CHESTER	10(1)	-	-	2
	S. II	4	-	24	8
	S. BREDENEY	4	-	3	1
	S. HAIFA	3	-	-	1
	S. WAGENIA	3	-	-	-
	S. SCHLEISSHEIM	2(1)	3	3	-
	S. AGAMA	2	-	-	-
	S. INDIANA	2(2)	-	-	-
	S. STANLEYVILLE	2	-	-	-
	S. ABONY	1	-	-	-
	S. LAGOS	1	-	-	-
	S. READING	1	-	-	-
	S. SARAJANE	1	-	-	-
	S. CLACKAMAS	-	-	-	3
	S. ESSEN	-	-	-	2
	S. ALBERT	-	-	-	1
	S. BANANA	-	-	-	1
	S. BRADFORD	-	-	1	-
	S. BREZANY	-	-	1	-
	S. CANADA	-	1	-	-
	S. FYRIS	-	-	-	1
	S. I	-	-	-	1
	NOT TYPED	50(11)	-	1	2
	SUBTOTAL	626(81)	17	78	156
07(C1, C4)	S. INFANTIS	169(3)	-	71	54
	S. THOMPSON	167(4)	-	1	13
	S. MONTEVIDEO	91(7)	2	-	5
	S. BRAENDERUP	80(9)	-	-	12
	S. BAREILLY	54(5)	-	2	11
	S. VIRCHOW	48(15)	-	6	12
	S. TENNESSEE	42(3)	-	-	15
	S. MBANDAKA	35(4)	5	2	17
	S. POTSDAM	32	-	1	-
	S. SINGAPORE	30(2)	-	4	8
	S. LIVINGSTONE	18	-	4	1
	S. ISANGI	17(8)	-	-	2
	S. ORANIENBURG	10	-	-	5
	S. OTHMARSCHEN	10	-	-	-
	S. OHIO	7(2)	-	-	-
	S. BRAZZAVILLE	3	-	-	1
	S. RISSEN	3(3)	-	-	1
	S. OSLO	3(1)	-	-	-
	S. RICHMOND	2(1)	-	-	2
	S. MIKAWASIMA	2	-	-	-
	S. AEQUATORIA	1	-	-	-
	S. BONN	1(1)	-	-	-
	S. COLINDALE	1	-	-	-
	S. I	1	-	-	-
	S. LOMITA	1	-	-	-
	S. ORITAMERIN	1	-	-	-
	S. INGANDA	-	-	-	5
	S. ESCHWEILER	-	-	-	3
	S. II	-	-	-	2
	S. CONCORD	-	-	-	1
	S. ESCANABA	-	-	-	1
	S. HAELSINGBORG	-	-	-	1
	NOT TYPED	31(3)	-	2	15
	SUBTOTAL	860(71)	7	93	187

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-1. Continued-(1)

○群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
08 (C2, C3)	S. HADAR	192 (44)	5	25	44
	S. LITCHFIELD	87	-	3	6
	S. NEWPORT	62 (8)	-	3	12
	S. CORVALLIS	31 (2)	1	-	1
	S. BLOCKLEY	23 (14)	6	6	4
	S. EMEK	13 (7)	-	-	4
	S. KENTUCKY	6 (1)	-	1	2
	S. MUENCHEN	6 (2)	-	1	1
	S. ALBANY	5 (2)	-	-	-
	S. PAKISTAN	5	-	-	-
	S. BOVISMORBIFICANS	4 (2)	-	-	-
	S. DUESSELDORF	4 (1)	-	-	-
	S. CHAILEY	3	-	1	5
	S. MANHATTAN	2 (1)	-	2	6
	S. NAGOYA	2	-	-	2
	S. NARASHINO	1	-	-	1
	S. CHINCOL	1	-	-	-
	S. CREMIEU	1 (1)	-	-	-
	S. GIZA	1	-	-	-
	S. KOTTBUS	1	-	-	-
	S. MOWANJUM	1	-	-	-
	S. VIRGINIA	1	-	-	-
	S. ZERIFIN	1	-	-	-
	S. BARDO	-	-	-	3
	S. BELLEVUE	-	-	-	1
	S. HAARDT	-	-	1	-
	S. ISTANBUL	-	-	-	1
S. STOURBRIDGE	-	-	-	1	
NOT TYPED	47 (12)	1	11	31	
SUBTOTAL		505 (97)	14	54	124
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	2316 (142)	-	38	73
	S. TYPHI	28 (12)	-	-	-
	S. DUBLIN	7	-	-	4
	S. PANAMA	6 (2)	-	1	-
	S. JAVIANA	3 (2)	-	-	-
	S. EASTBOURNE	2 (1)	-	-	-
	S. LOME	2	-	-	-
	S. CLAIBORNEI	1 (1)	-	-	-
	S. I	1	-	-	-
	S. MIYAZAKI	1	-	-	-
	S. RUANADA	1	-	-	-
	S. II	-	-	-	2
	S. KAPEMBA	-	-	-	2
	NOT TYPED	167 (6)	-	-	-
	SUBTOTAL		2535 (166)	-	39
09, 46 (D2)	S. OUAKAM	1 (1)	-	-	-
	S. LISHABI	-	-	-	1
SUBTOTAL		1 (1)	-	-	1
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	68 (46)	-	-	5
	S. WELTEVREDEN	39 (29)	-	2	1
	S. LONDON	28 (22)	1	-	1
	S. MUENSTER	17	-	-	7
	S. LEXINGTON	7 (4)	-	-	-
	S. UGANDA	5	-	-	-
	S. AMSTERDAM	4 (1)	-	-	-
	S. ORION	3 (1)	-	-	4
	S. AMAGER	3 (1)	-	-	1
	S. GIVE	2	-	-	3
	S. DUMFRIES	2 (1)	-	-	-
	S. MELEAGRIDS	2	-	-	-
	S. REGENT	2 (2)	-	-	-
	S. LEKKE	1 (1)	-	-	-
	S. II	-	-	-	2
	S. ZANZIBAR	-	-	-	1
	NOT TYPED	8 (7)	-	-	2
SUBTOTAL		191 (115)	1	2	27
01, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	64 (11)	1	-	18
	S. KREFELD	12 (5)	-	-	-
	S. KOUKA	2	-	-	-
	S. FULDA	1	-	-	-
	S. TAKSONY	1	-	-	-
	NOT TYPED	3 (1)	-	-	6
SUBTOTAL		83 (17)	1	-	24

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-1. Continued-(2)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
011(F)	S. ABERDEEN	1	-	-	-
013(G1, G2)	S. HAVANA	17(1)	-	-	5
	S. FARMSSEN	1	-	-	-
	S. IDIKAN	1	-	-	-
	S. KEDDOUGOU	1	-	-	-
	S. POONA	1	-	-	-
	S. PUTTEN	1	-	-	-
	S. YARRABAH	1	-	-	-
	S. II	-	-	-	1
	S. NEWYORK	-	-	-	1
	S. WORTHINGTON	-	-	1	-
	NOT TYPED	3	-	1	3
	SUBTOTAL	26(1)	-	2	10
06, 14(H)	S. HARBURG	1	-	-	-
	S. III B	-	-	-	2
	S. II	-	-	-	1
	SUBTOTAL	1	-	-	3
016(I)	S. HVITTINGFOSS	5(3)	-	-	-
	S. ORIENTALIS	2(1)	-	-	-
	S. GAMINARA	1	-	-	-
	S. I	1	-	-	-
	S. KIBI	-	-	-	1
	SUBTOTAL	9(4)	-	-	1
018(K)	S. CERRO	19(2)	-	-	7
	S. III B	-	-	-	1
	NOT TYPED	4(1)	-	1	8
	SUBTOTAL	23(3)	-	1	16
028(M)	S. POMONA	1(1)	-	-	-
	S. LIBREVILLE	-	-	-	1
	SUBTOTAL	1(1)	-	-	1
035(O)	S. ALACHUA	3	-	-	4
	S. III B	1	-	-	1
	S. ADELAIDE	1(1)	-	-	-
	NOT TYPED	1(1)	-	-	-
	SUBTOTAL	6(2)	-	-	5
038(P)	S. III B	-	-	-	1
039(Q)	S. CHAMPAIGN	13	-	-	5
	S. WANDSWORTH	2	-	-	-
	SUBTOTAL	15	-	-	5
040(R)	S. JOHANNESBURG	1	-	-	-
041(S)	S. WAYCROSS	5	-	-	-
	S. III	-	-	-	2
	SUBTOTAL	5	-	-	2
043(U)	S. IV	1	-	-	-
048(Y)	S. III A	1	-	-	-
053	053 NOT TYPED	1(1)	-	-	-
	S. III A NOT TYPED	1	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	15	-	9	7
合計	TOTAL	4949(579)	40	278	650

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-2. 材料別集計、由来ヒト、医療機関

4-2. *Salmonella* serovars from human sources, by specimen, 1995
General clinical institutions

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	分離材料		SPECIMEN
		糞便 STOOL		血液 BLOOD
O2(A)	S. PARATYPHI A	16	(4)	7(3)
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	111		1
	S. PARATYPHI B	11		-
	S. SAINTPAUL	7		-
	S. AGONA	6	(1)	-
	S. STANLEY	4		-
	S. AGAMA	2		-
	S. BRANDENBURG	2		-
	S. DERBY	2		-
	S. HAIFA	2		-
	S. HEIDELBERG	2		-
	S. SCHWARZENGRUND	2		-
	S. EPPENDORF	1		-
	S. KIAMBU	1		-
	NOT TYPED	312	(1)	6
	SUBTOTAL	465	(2)	7
O7(C1,C4)	S. INFANTIS	37		-
	S. THOMPSON	18		-
	S. VIRCHOW	14		-
	S. BAREILLY	6		-
	S. BRAENDERUP	6	(1)	-
	S. SINGAPORE	5		-
	S. TENNESSEE	5	(1)	-
	S. ISANGI	4		-
	S. MONTEVIDEO	4		-
	S. ORANIENBURG	3		1
	S. MBANDAKA	3		-
	S. LIVINGSTONE	1		-
	S. MENSTON	1		-
	S. MIKAWASIMA	1		-
	S. OHIO	1		-
S. OTHMARSCHEN	1		-	
NOT TYPED	273	(3)	1	
	SUBTOTAL	383	(5)	2
O8(C2,C3)	S. LITCHFIELD	15		-
	S. HADAR	14	(1)	-
	S. NEWPORT	9		-
	S. BLOCKLEY	4		-
	S. KENTUCKY	2		-
	S. NAGOYA	2		-
	S. CHINCOL	1		-
	S. MUENCHEN	1		-
	NOT TYPED	117	(1)	-
	SUBTOTAL	165	(2)	-

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-2. Continued

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	分離材料	
		糞便 STOOL	SPECIMEN 血液 BLOOD
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	386(8)	2
	S. TYPHI	5(3)	9(3)
	S. JAVIANA	4	-
	S. MIYAZAKI	3	-
	S. PANAMA	2(1)	-
	NOT TYPED	1184(2)	4(1)
	SUBTOTAL	1584(14)	15(4)
O9,46(D2)	NOT TYPED	5	-
O3,10(E1,E2,E3)	S. ANATUM	2	-
	S. ZANZIBAR	2(1)	-
	S. LONDON	1(1)	-
	S. NYBORG	1	-
	NOT TYPED	26	-
	SUBTOTAL	32(2)	-
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	8(1)	-
	NOT TYPED	29	-
	SUBTOTAL	37(1)	-
O13(G1,G2)	S. HAVANA	2	-
	S. WORTHINGTON	1	-
	NOT TYPED	4	-
	SUBTOTAL	7	-
O18(K)	S. CERRO	3	-
	NOT TYPED	5	-
	SUBTOTAL	8	-
O35(O)	NOT TYPED	1	-
O60	S. III B	1	-
GROUP UNKNOWN 群不明		68(1)	29
合計	TOTAL	2772(31)	60(7)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

4-3. 報告機関別集計、由来とト、地研。保健所
 4-3. *Salmonella* serovars from human sources, by participating laboratory, 1995
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

		011	012	013	021	031	041	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141	
		北	札	函	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	千	東	神	
		海	幌	館	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	葉	京	奈	
		道	市	市	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	市	都	川	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O2(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	2	8	1	-	8	-	
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	7	-	-	8	-	1	4	-	-	4	3	1	4	9	-	107	2	
	S. AGONA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	4	-	8	8	-	16	-	
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	1	-	5	-	
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	11	-	
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	1	-	17	-	
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	8	1	
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	3	3	-	3	-	
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	2	-	10	-	
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	3	-	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. WAGENIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. STANLEYVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ABONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LAGOS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SARAJANE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	1	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	2	2	-	7	-	
	SUBTOTAL	7	1	-	8	3	1	7	-	1	13	22	1	30	30	-	193	4	
O7(C1,C4)	S. INFANTIS	3	-	-	3	-	1	1	-	-	4	2	-	4	12	2	28	-	
	S. THOMPSON	2	-	-	-	-	23	-	-	-	4	-	2	7	12	1	59	-	
	S. MONTEVIDEO	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	7	-	9	1	
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	8	5	-	39	1	
	S. BAREILLY	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	2	4	-	17	-	
	S. VIRCHOW	-	7	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	4	-	15	-	
	S. TENNESSEE	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	-	4	1	-	11	-	
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	8	-	
	S. POTSDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	15	2	1	-	4	1	
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	4	4	-	14	-	
	S. LIVINGSTONE	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	4	-	3	-	
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	2	-	
	S. ORANIENBURG	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	1	-	
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	3	-	
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-	
	S. BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	
	S. OSLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AEQUATORIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. COLINDALE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LOMITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-	2	-	3	-	
	SUBTOTAL	12	7	-	3	2	27	5	-	-	20	20	19	49	63	3	224	3	

4-3. Continued-(1)

		142	143	144	151	152	161	171	181	191	201	211	212	221	222	223	231	232	
		横 浜 市	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 県	新 潟 市	富 山 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	長 野 県	岐 阜 県	岐 阜 市	静 岡 県	静 岡 市	浜 松 市	愛 知 県	名 古 屋 市	
O群 GROUP	血清型 SEROVAR																		
O2(A)	S. PARATYPHI A	2	-	-	2	-	-	1	1	2	3	-	-	-	-	-	1	-	
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	7	-	-	1	-	4	-	-	1	-	12	-	17	1	1	5	-	
	S. AGONA	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	S. STANLEY	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	1	1	
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	2	-	
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	
	S. BRANDENBURG	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BREDENY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. WAGENIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
	S. INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SCHLEISSHEIM	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. STANLEYVILLE	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ABONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. LAGOS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SARAJANE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	1	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
	SUBTOTAL	14	2	2	4	-	13	-	-	1	1	16	4	20	1	5	17	3	
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	5	-	-	-	-	2	-	-	-	14	11	1	10	-	-	8	-	
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	7	-	1	7	-	
	S. MONTEVIDEO	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S. BRAENDERUP	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	4	-	
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	2	-	1	5	-	
	S. VIRCHOW	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	
	S. MBANDAKA	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	1	-	
	S. POTSDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	
	S. ISANGI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OSLO	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RICHMOND	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AEQUATORIA	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BONN	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. COLINDALE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. LOMITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	7	6	3	1	2	6	1	4	-	15	32	4	23	1	2	31	-	

4-3. Continued-(2)

		241	251	261	262	271	272	273	281	282	283	291	301	302	311	342	351	361	
		三	滋	京	京	大	大	堺	兵	神	姫	奈	和	和	鳥	広	山	徳	
		重	賀	都	都	阪	阪	市	庫	戸	路	良	歌	歌	取	島	口	島	
		県	県	府	府	府	府	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O2(A)	S. PARATYPHI A	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	4	4	-	-	14	24	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	11	
	S. AGONA	-	-	1	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. STANLEY	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DERBY	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S. BRANDENBURG	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. II	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. WAGENIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. INDIANA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. STANLEYVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ABONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LAGOS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. READING	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SARAJANE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	3	-	-	17	-	3	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	5	7	2	-	25	30	3	36	17	-	3	-	-	2	-	1	14	
O7(C1,C4)	S. INFANTIS	-	4	-	1	11	1	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	
	S. THOMPSON	4	3	-	-	7	10	1	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	
	S. MONTEVIDEO	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	3	
	S. BRAENDERUP	-	3	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. BAREILLY	1	2	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. VIRCHOW	-	2	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S. TENNESSEE	-	8	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. MBANDAKA	-	1	-	-	4	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S. POTSDAM	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. ISANGI	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OHIO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OSLO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RISSEN	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S. AEQUATORIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. COLINDALE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LOMITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	2	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	6	25	-	1	53	11	10	-	15	2	14	-	2	1	3	-	17	

		371	381	391	401	402	403	411	421	422	432	441	451	461	471	TOTAL
		香	愛	高	福	福	北	佐	長	長	熊	大	宮	鹿	沖	合
		川	媛	知	岡	岡	九	賀	崎	崎	本	分	崎	児	繩	計
		県	県	県	県	市	州	県	県	市	市	県	県	島	県	
O群	血清型															
GROUP	SEROVAR															
O2(A)	S. PARATYPHI A	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	9	-	-	279
	S. AGONA	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	5	-	-	60
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	44
	S. STANLEY	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	31
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	28
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	26
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	25
	S. SAINTPAUL	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	24
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	23
	S. CHESTER	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
	S. WAGENIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. INDIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. STANLEYVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. ABONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. LAGOS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. SARAJANE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
	SUBTOTAL	4	3	1	3	9	1	-	-	-	-	4	28	-	4	626
O7(C1,C4)	S. INFANTIS	1	-	1	-	4	2	-	-	-	-	2	18	1	2	169
	S. THOMPSON	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	167
	S. MONTEVIDEO	-	20	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	16	4	91
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	80
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	54
	S. VIRCHOW	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	48
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	35
	S. POTSDAM	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
	S. LIVINGSTONE	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
	S. ISANGI	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	10
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	S. BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. OSLO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. RICHMOND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. AEQUATORIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. BONN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. COLINDALE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. LOMITA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. ORITAMERIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
	SUBTOTAL	1	22	2	-	13	2	-	-	-	-	5	33	17	10	860

4-3. Continued-(4)

		011	012	013	021	031	041	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141	
		北	礼	函	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	千	東	神	
		海	儀	館	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	葉	京	奈	
		道	市	市	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	市	都	川	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
08(C2,C3)	S. HADAR	1	-	-	-	-	-	-	-	5	3	2	2	17	8	-	75	1	
	S. LITCHFIELD	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	6	4	-	12	-	
	S. NEWFORT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	5	3	-	11	-	
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	2	5	1	-	7	-	
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	1	-	
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CREMIEU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. GIZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. MOWANJUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. ZERIFIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
NOT TYPED	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	
	SUBTOTAL	4	4	2	-	-	-	-	-	5	11	10	6	41	23	-	122	5	
09(D1)	S. ENTERITIDIS	136	53	-	16	3	5	15	7	32	40	46	12	49	98	35	638	107	
	S. TYPHI	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	1	2	
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LOME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CLAIRBORNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RUANADA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	
	SUBTOTAL	139	54	-	16	3	5	16	7	32	40	47	13	54	100	35	651	109	
09, 46(D2)	S. OUAHAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
03, 10(E1, E2, E3)	S. ANATUM	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	12	1	1	26	-	
	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	13	-	
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	10	-	
	S. MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	
	S. LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	3	-	
	S. UGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	
	S. DUMFRIES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. REGENT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
S. LEKKE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
NOT TYPED	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-		
	SUBTOTAL	1	2	-	-	-	-	1	-	-	1	4	1	24	4	2	70	-	
01, 3, 19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3	5	-	8	-	
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	4	-	
	S. KOUKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S. FULDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S. TAKSONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	1	6	7	-	12	-		
011(F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
013(G1, G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	6	-	
	S. FARNSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. IDIKAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. KEDOUGOU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	2	-	8	-		

4-3. Continued-(5)

		142	143	144	151	152	161	171	181	191	201	211	212	221	222	223	231	232	
		横	川	横	新	新	富	石	福	山	長	岐	岐	静	静	浜	愛	名	
		浜	崎	須	潟	潟	山	川	井	梨	野	阜	阜	岡	岡	松	知	古	
		市	市	市	県	市	県	県	県	県	県	市	市	市	市	市	市	市	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
08 (C2, C3)	S. HADAR	4	26	3	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	10	5	
	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	6	2	3	-	-	18	-	
	S. NEWPORT	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	6	-	
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	
	S. BLOCKLEY	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	S. EMEK	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	S. BOVISMORBIFICANS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHINCOL	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CREMIEU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. GIZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MOWANJUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. ZERIFIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
NOT TYPED	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	1	1	-	6	-	-		
	SUBTOTAL	7	29	3	-	3	2	3	19	-	1	21	3	6	-	6	43	5	
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	42	13	8	13	5	4	-	55	19	40	12	1	33	-	7	41	28	
	S. TYPHI	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LOME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CLAIBORNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RUANADA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	44	13	8	13	5	6	6	57	19	40	12	1	33	-	7	44	28	
09, 46 (D2)	S. OUAOKAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	4	3	
	S. WELTEVREDEN	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	
	S. LONDON	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	
	S. MÜNSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. UGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DUMFRIES	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. REGENT	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LEKKE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	6	7	4	-	-	1	-	-	-	1	-	-	5	1	2	10	5	
01, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	-	1	4	1	
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. KOUKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. FULDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. TAKSONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	1	-	1	4	2	
011 (F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
013 (G1, G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S. FARMSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. IDIKAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. KEDOUGOU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	

		241	251	261	262	271	272	273	281	282	283	291	301	302	311	342	351	361	
		三	滋	京	京	大	大	堺	兵	神	姫	奈	和	和	鳥	広	山	徳	
		重	賀	都	都	阪	阪	市	塚	戸	路	良	歌	歌	取	島	口	島	
		県	県	府	府	府	市	市	県	市	市	県	山	山	県	市	県	県	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O8(C2,C3)	S.HADAR	-	2	-	-	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S.LITCHFIELD	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	
	S.NEWPORT	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	
	S.CORVALLIS	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BLOCKLEY	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
	S.EMEK	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KENTUCKY	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S.CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.CREMIEU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.GIZA	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MOWANJUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S.VIRGINIA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S.ZERIFIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
NOT TYPED	4	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	4	3	-	-	26	-	7	-	5	-	1	-	3	2	2	22	4	
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	69	35	20	1	100	35	17	1	-	-	12	3	22	26	26	16	6	
	S.TYPHI	4	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.DUBLIN	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.PANAMA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S.JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.EASTBOURNE	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LOME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CLAIBORNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.RUANADA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	151	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	73	37	23	1	107	35	18	1	151	-	12	3	22	26	27	16	6	
O9,46(D2)	S.OUAKAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O13,10(E1,E2,E3)	S.ANATUM	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
	S.LONDON	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S.MUENSTER	-	-	-	-	1	7	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	S.LEXINGTON	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.UGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.DUMFRIES	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.MELEAGRIDIS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.REGENT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.LEKKE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	3	-	-	9	7	1	-	1	-	-	-	2	-	2	-	3	
O1,3,19(E4)	S.SENFTENBERG	-	3	1	-	14	1	6	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	
	S.KREFELD	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S.KOUKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.FULDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.TAKSONY	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	3	1	-	16	1	6	-	2	-	-	6	-	1	-	-		
O11(F)	S.ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O13(G1,G2)	S.HAVANA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S.FARNSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S.IDIKAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.KEDDOUGOU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S.YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1		

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	371	381	391	401	402	403	411	421	422	432	441	451	461	471	TOTAL
		香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 県	福 岡 市	北 九 州 市	佐 賀 県	長 崎 県	長 崎 市	熊 本 市	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計
O8(C2, C3)	S. HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	192
	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87
	S. NEWPORT	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	62
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	31
	S. BLOCKLEY	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S. BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. CREMIEU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. GIZA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. KOTTBUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. MOWANJUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
S. ZERIFIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
NOT TYPED	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	10	-	-	47	
	SUBTOTAL	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	33	-	2	505	
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	2	1	4	20	16	4	1	6	126	56	25	16	1	36	2316
	S. TYPHI	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	28
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. LOME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. CLAIRBORNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	S. RUANADA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167
		SUBTOTAL	2	1	4	20	16	5	1	6	126	56	25	17	1	40
O9,46(D2)	S. OUAKAM	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O3,10(E1, E2, E3)	S. ANATUM	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	68
	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	39
	S. LONDON	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
	S. MÜNSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
	S. LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	S. UGANDA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. DUMFRIES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. GIVE	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. REGENT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
S. LEKKE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	SUBTOTAL	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	3	191	
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	64
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	S. KOUKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. FULDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. TAKSONY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	83	
O11(F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O13(G1, G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	17
	S. FARMSÉN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. IDIKAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. KEDDOUGOU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	2	-	-	26	

		011	012	013	021	031	041	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141	
		北	札	函	青	岩	宮	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	千	東	神	
		海	幌	館	森	手	城	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	葉	京	奈	
		道	市	市	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	市	都	川	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
06,14(H)	S. HARBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
016(I)	S. HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	
	S. ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	4	-	
018(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	6	-	
	NOT TYPED	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	6	-	
028(M)	S. POMONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
035(O)	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	-	
	S. WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	3	-	
040(R)	S. JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
041(S)	S. WAYCROSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
043(U)	S. IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
048(Y)	S. III A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
053	053 NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. III A NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GROUP	UNKNOWN 群不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	-	
合計	TOTAL	164	68	3	27	8	33	33	7	38	88	113	43	228	232	401	307	121	

4-3. Continued-(9)

		142	143	144	151	152	161	171	181	191	201	211	212	221	222	223	231	232	
		横	川	横	新	新	富	石	福	山	長	岐	岐	静	静	浜	愛	名	
		浜	崎	須	潟	潟	山	川	井	梨	野	阜	阜	岡	岡	松	知	古	
		市	市	賀	県	市	県	県	県	県	県	県	市	県	市	市	県	屋	
		市		市														市	
GROUP	SEROVAR																		
06,14(H)	S.HARBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
016(I)	S.HVITTINGFOSS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
018(K)	S.CERRO	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-
028(M)	S.POMONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
035(O)	S.ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	S.ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-
	S.WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-
040(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
041(S)	S.WAYCROSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
043(U)	S.IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
048(Y)	S.III A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
053	053 NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.III A NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
GROUP	UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-
	群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	TOTAL	80	58	20	20	10	33	11	81	22	62	86	12	89	3	24	164	43	

4-3. Continued-(10)

		241	251	261	262	271	272	273	281	282	283	291	301	302	311	342	351	361
		三 重 県	滋 賀 県	京 都 府	京 都 府	大 阪 府	大 阪 府	堺 市	兵 庫 市	神 戸 市	姫 路 市	奈 良 県	和 歌 山 県	和 歌 山 県	鳥 取 県	広 島 市	山 口 県	徳 島 県
GROUP	SEROVAR																	
06,14(H)	S. HARBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
016(I)	S. HVITTINGFOSS	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
018(K)	S. CERRO	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
028(M)	S. POMONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
035(O)	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040(R)	S. JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
041(S)	S. WAYCROSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
043(U)	S. IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
048(Y)	S. III A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
053	053 NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. III A NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	TOTAL	90	79	26	2	244	84	46	37	192	3	30	3	35	31	35	40	44

4-3. Continued-(11)

		371	381	391	401	402	403	411	421	422	432	441	451	461	471	TOTAL
		香	愛	高	福	福	北	佐	長	長	熊	大	宮	鹿	沖	合
		川	媛	知	岡	岡	九	賀	崎	崎	本	分	崎	島	繩	計
		県	県	県	県	市	州	県	県	市	市	県	県	県	県	
O群	血清型															
GROUP	SEROVAR															
O6,14(H)	S.HARBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O16(I)	S.HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S.ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
O18(K)	S.CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
O28(M)	S.POMONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O35(O)	S.ALACHUA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
	S.ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	6
O39(Q)	S.CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	13
	S.WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	15
O40(R)	S.JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O41(S)	S.WAYCROSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5
O43(U)	S.IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O48(Y)	S.III A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
O53	O53 NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S.III A NOT TYPED		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	15
合計	TOTAL	7	26	10	23	55	8	1	6	129	56	35	118	19	64	4949

4-4. 報告機関別集計、由来ヒト、医療機関
 4-4. *Salmonella* serovars from human sources, by participating laboratory, 1985
 General clinical institutions
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

4-4-1. 分離材料：糞便
 4-4-1. Specimen : Stool

		012	021	061	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	221	231	232	251	
		札 樞 市	青 森 県	山 形 県	栃 木 県	群 馬 県	埼 玉 県	千 葉 県	千 葉 市	新 潟 県	富 山 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	静 岡 県	愛 知 県	名 古 屋 市	滋 賀 県	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O2(A)	S. PARATYPHI A	-	-	6	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	2	-	
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	6	11	-	2	-		
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	1	-	
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	S. AGONA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	1	-		
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. EPPENDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	31	18	39	1	19	-	2	2	2	2	27	13	-	-	47	2	1	
	SUBTOTAL	31	18	39	1	19	-	2	2	4	8	27	13	10	17	47	10	1	
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-		
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	3	-		
	S. VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	2	-		
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-		
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-		
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-		
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	23	5	11	2	11	-	2	1	2	10	30	8	-	-	24	1	3	
	SUBTOTAL	23	5	11	2	11	-	2	1	7	18	30	8	4	2	24	10	3	
O8(C2, C3)	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	2	-		
	S. HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-		
	S. NEWPORT	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-		
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	7	3	11	1	8	-	2	1	2	5	20	10	-	3	9	2		
	SUBTOTAL	7	3	11	1	9	-	2	1	2	11	20	10	1	5	9	8		

4-4-1. Continued-(1)

		271	273	281	282	291	301	311	321	331	341	351	371	411	421	431	441	TOTAL
		大	堺	兵	神	奈	和	鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊	大	合
		阪	市	庫	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本	分	計
		府		県	市	県	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	計
O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
O2(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	16
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	-	4	-	-	-	-	-	1	-	65	-	5	6	-	-	6	111
	S. PARATYPHI B	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	11
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	-	7
	S. AGONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	6
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	4
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	S. DERBY	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	S. EPPENDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	12	-	-	13	33	5	1	-	18	1	7	-	7	2	7	-	312
	SUBTOTAL	12	7	-	13	33	5	1	1	18	81	7	6	16	2	7	7	465
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	-	1	1	-	-	-	-	-	-	20	-	7	4	-	-	1	37
	S. THOMPSON	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	8	-	-	-	18
	S. VIRCHOW	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	3	-	-	-	14
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	6
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	6
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	5
	S. ISANGI	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	4
	S. MONTEVIDEO	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	3
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	3
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. MENSTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	20	-	-	18	61	5	-	-	12	-	1	5	1	10	7	-	273
	SUBTOTAL	20	5	1	18	61	5	-	-	12	44	1	14	21	10	7	3	383
O8(C2, C3)	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	-	-	-	15
	S. HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	-	-	-	14
	S. NEWPORT	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	9
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	4
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. CHINCOL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	8	-	-	1	16	1	-	-	2	1	1	-	2	1	-	-	117
	SUBTOTAL	8	2	-	1	16	1	-	1	2	24	1	-	7	1	-	1	165

4-4-1. Continued-(2)

		012	021	061	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	221	231	232	251	
		礼	青	山	栃	群	埼	千	千	新	富	石	福	山	静	愛	名	滋	
		幌	森	形	木	馬	玉	葉	葉	潟	山	川	井	梨	岡	知	古	賀	
		市	県	県	県	県	県	県	市	県	県	県	県	県	県	県	市	県	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	-	-	-	-	2	-	-	-	7	14	-	-	57	17	-	35	-	
	S. TYPHI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	NOT TYPED	310	62	47	20	38	1	10	9	5	8	96	118	-	-	100	-	8	-
	SUBTOTAL	311	62	47	20	40	1	10	9	12	22	96	119	58	17	100	38	8	
O9,46(D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O3,10(E1,E2,E3)	S. ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. NYBORG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	3	1	-	-	-	-	-	1	-	4	1	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	3	1	-	-	-	-	-	1	-	4	1	-	-	-	-	4	-	
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	NOT TYPED	1	-	1	1	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	
		SUBTOTAL	1	-	1	1	-	-	2	-	-	4	-	-	-	-	3	-	
O13(G1,G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
O18(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
		SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	
O35(O)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
O60	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
GROUP	UNKNOWN 群不明	12	10	5	1	1	-	-	-	4	13	1	-	-	5	5	1	-	
合計	TOTAL	388	99	121	26	81	1	18	13	26	68	196	154	73	42	185	80	13	

		271	273	281	282	291	301	311	321	331	341	351	371	411	421	431	441	TOTAL
		大	堺	兵	神	奈	和	鳥	島	岡	広	山	香	佐	長	熊	大	合
		阪	市	庫	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本	分	計
		府		県	市	県	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県
							県											
O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	-	12	10	-	-	-	-	3	-	154	-	18	43	-	-	14	386
	S. TYPHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	NOT TYPED	53	-	-	36	113	25	4	-	61	-	4	-	8	39	9	-	1184
	SUBTOTAL	53	12	10	36	113	25	4	3	61	159	4	18	54	39	9	14	1584
O9,46(D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5
O3,10(E1,E2,E3)	S. ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. NYBORG	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	1	-	-	5	4	-	1	-	4	-	-	1	-	-	-	-	26
	SUBTOTAL	1	1	-	5	4	-	1	-	4	1	-	1	-	-	-	-	32
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	8
	NOT TYPED	-	-	-	2	14	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	29
	SUBTOTAL	-	-	-	2	14	2	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	37
O13(G1,G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	S. WORTHINGTON	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4
	SUBTOTAL	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	7
O18(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
	NOT TYPED	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	5
	SUBTOTAL	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	8
O35(O)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
O60	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	68
合計	TOTAL	94	28	11	75	246	38	7	5	98	320	13	44	98	61	24	25	2772

4-4-2. 分離材料：血液
4-4-2. Specimen : Blood

		012	061	091	101	111	151	171	181	191	231	232	271	282	291	331	341	371	TOTAL
		礼 幌 市	山 形 県	栃 木 県	群 馬 県	埼 玉 県	新 潟 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	愛 知 県	名 古 屋 市	大 阪 府	神 戸 市	奈 良 県	岡 山 県	広 島 県	香 川 県	合 計
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O2(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	2	-	-	1	1	-	-	7
O4(B)	S. TYPHIMURIUM NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	-	-	6
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	1	-	-	7
O7(C1, C4)	S. ORANIENBURG NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2
O9(D1)	S. TYPHI	1	1	-	-	-	2	-	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-	9
	S. ENTERITIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	-	-	4
	SUBTOTAL	1	1	-	-	-	2	-	2	1	1	2	1	-	-	2	2	-	15
GROUP	UNKNOWN 群不明	10	5	1	2	1	-	2	2	-	2	-	-	3	-	-	-	1	29
合計	TOTAL	11	6	1	3	1	2	2	4	1	7	4	1	3	1	8	4	1	60

4-5. 報告機関別集計、由来動物、地研。保健所
 4-5. *Salmonella* serovars from animal, by participating laboratory, 1995
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

		091	121	161	261	391	TOTAL
		栃	千	富	京	高	合
		木	葉	山	都	知	
		県	県	県	府	県	計
O群	血清型						
GROUP	SEROVAR						
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	-	2	3	2	-	7
	S. DERBY	5	-	-	-	-	5
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	3	-	3
	S. CANADA	-	-	-	1	-	1
	S. PARATYPHI B	-	-	-	1	-	1
	SUBTOTAL	5	2	3	7	-	17
O7(C1, C4)	S. MBANDAKA	4	-	-	-	1	5
	S. MONTEVIDEO	1	-	-	-	1	2
	SUBTOTAL	5	-	-	-	2	7
O8(C2, C3)	S. BLOCKLEY	6	-	-	-	-	6
	S. HADAR	2	3	-	-	-	5
	S. CORVALLIS	-	-	1	-	-	1
	S. HAARDT	-	-	-	1	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	1	1
	SUBTOTAL	8	3	1	1	1	14
O3,10(E1, E2, E3)	S. LONDON	1	-	-	-	-	1
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	1	-	-	-	-	1
合計	TOTAL	20	5	4	8	3	40

4-6. 報告機関別集計、由来食品、地研。保健所
 4-6. *Salmonella* serovars from food, by participating laboratory, 1995
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

		011	012	042	051	061	071	081	121	122	142	161	181	201	211	223	272	281	
		北	札	仙	秋	山	福	茨	千	千	横	富	福	長	岐	浜	大	兵	
		海	幌	台	田	形	島	城	葉	葉	浜	山	井	野	阜	松	阪	庫	
		道	市	市	県	県	県	県	県	市	市	県	県	県	県	市	市	県	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O4(B)	S.TYPHIMURIUM	-	-	-	4	5	-	-	1	-	12	1	-	-	-	-	-	-	-
	S.II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	1	-	-	-	-	13
	S.AGONA	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S.SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BREDENEY	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	S.HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.DERBY	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BRADFORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BRANDENBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BREZANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		SUBTOTAL	-	-	-	4	6	1	7	2	-	25	2	-	1	-	-	1	19
O7(C1, C4)	S.INFANTIS	-	-	-	3	2	5	1	1	-	29	2	-	6	-	-	-	-	11
	S.VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S.SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.BAREILLY	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S.POTS DAM	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	3	2	5	9	1	-	32	2	-	6	-	-	-	19	
O8(C2, C3)	S.HADAR	-	-	-	-	-	-	4	-	-	13	-	-	3	1	-	-	-	-
	S.BLOCKLEY	-	-	1	-	2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	S.NEWPORT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.ISTANBUL	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	S.MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	
	SUBTOTAL	-	-	1	-	2	-	5	-	-	23	-	3	3	1	3	-	6	
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	3	13	-	-	2	3	1	2	1	1	1	1	5	-	-	-	-	1
	S.PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	SUBTOTAL	3	13	-	-	2	3	1	2	1	1	1	1	5	-	-	-	1	1
O3, 10(E1, E2, E3)	S.WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
O13(G1, G2)	S.WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
O18(K)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	5
合計	TOTAL	3	13	1	7	12	9	22	5	1	81	6	4	19	1	4	2	50	

		291	302	381	422	441	461	471	TOTAL
		奈 良 県	和 歌 山 市	愛 媛 県	長 崎 市	大 分 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計
O群	血清型								
GROUP	SEROVAR								
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	-	1	-	-	1	-	-	25
	S. II	3	-	-	-	-	-	-	24
	S. AGONA	3	-	-	-	-	-	-	6
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. DEREY	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. BRADFORD	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. BREZANY	-	-	-	-	-	1	-	1
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	1	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	1
		SUBTOTAL	6	1	-	-	1	2	-
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	2	1	1	-	6	1	-	71
	S. VIRCHOW	1	-	-	-	-	-	-	6
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. POTSDAM	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	2	-	-	-	-	2
	SUBTOTAL	3	1	3	-	6	1	-	93
O8(C2, C3)	S. HADAR	3	-	-	-	1	-	-	25
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	6
	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. NEWPORT	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	1	-	1
	S. ISTANBUL	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	1
NOT TYPED	-	-	2	-	-	-	-	11	
	SUBTOTAL	3	-	2	-	1	1	-	54
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	-	-	-	1	3	-	-	38
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	1	3	-	-	39
O3,10(E1, E2, E3)	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	1	2
O13(G1, G2)	S. WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	1	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	1	-	-	-	-	2
O18(K)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	9
合計	TOTAL	12	2	6	1	11	5	1	278

4-7. 報告機関別集計、由来環境、地研。保健所

4-7. *Salmonella* serovars from environment, by participating laboratory, 1995
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

		042	051	081	091	142	143	161	181	201	222	223	281	311	342	371	391	441	
		仙	秋	茨	栃	機	川	富	福	長	静	浜	兵	鳥	広	香	高	大	
		台	田	城	木	浜	崎	山	井	野	岡	松	庫	取	島	川	知	分	
		市	県	県	県	市	市	県	県	県	市	市	県	県	市	県	県	県	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	3	-	-	-	5	11	7	-	-	4	-	-	7	12	-	4	-	
	S. AGONA	-	-	2	-	1	2	-	-	-	3	1	-	-	4	3	2	-	
	S. SCHWARZENGRUND	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
	S. SAINTPAUL	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-	
	S. DERBY	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
	S. I I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-	-	-	-	
	S. CLACKAMAS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. ESSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. ALBERT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. BANANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. FYRIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S. I	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
	SUBTOTAL		5	-	2	1	7	25	13	-	-	13	1	6	11	28	4	8	-
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	1	-	1	-	5	11	-	-	1	4	-	3	4	10	3	5	1	
	S. MBANDAKA	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	5	1	3	-	-	
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	-	3	3	-	-	1	-	-	4	3	-	1	-	
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	3	1	2	1	-	
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	
	S. VIRCHOW	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3	3	-	
	S. BAREILLY	-	-	2	-	2	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SINGAPORE	2	-	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. INGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MONTEVIDEO	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. ESCHWEILER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
	S. I I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. RICHMOND	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. BRAZZAVILLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. CONCORD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. ESCANABA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HAELSINGBORG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. RISSEN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
NOT TYPED	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	2	4	-	-		
SUBTOTAL		5	2	7	-	11	27	10	-	1	8	-	3	25	31	18	11	1	
O8(C2, C3)	S. HADAR	-	-	4	-	2	4	-	-	-	1	-	-	12	13	-	1	-	
	S. NEWPORT	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	
	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	1	-	2	-	
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BARDO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
	S. BELLEVUE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. MUENCHEN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. NARASHINO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. STOURBRIDGE	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	7	-	-	-	-	
SUBTOTAL		1	-	4	-	6	10	4	-	-	4	16	-	21	24	-	4	-	

		461	471	TOTAL
		鹿	沖	合
		児	繩	
		島	県	計
		県		
GROUP	SEROVAR			
04(B)	S. TYPHIMURIUM	6	-	59
	S. AGONA	4	-	22
	S. SCHWARZENGRUND	5	-	11
	S. PARATYPHI B	5	-	10
	S. SAINTPAUL	4	-	10
	S. DERBY	5	-	9
	S. BRANDENBURG	-	-	8
	S. II	-	-	8
	S. CLACKAMAS	-	-	3
	S. STANLEY	-	-	3
	S. CHESTER	-	-	2
	S. ESSEN	1	-	2
	S. ALBERT	-	-	1
	S. BANANA	1	-	1
	S. BREDENEY	-	-	1
	S. FYRIS	-	-	1
	S. HEIDELBERG	-	-	1
	S. I	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	2
	SUBTOTAL	31	-	155
07(C1, C4)	S. INFANTIS	5	-	54
	S. MBANDAKA	2	-	17
	S. TENNESSEE	-	-	15
	S. THOMPSON	1	-	13
	S. BRAENDERUP	7	-	12
	S. VIRCHOW	2	-	12
	S. BAREILLY	1	-	11
	S. SINGAPORE	-	-	8
	S. INGANDA	5	-	5
	S. MONTEVIDEO	-	-	5
	S. ORANIENBURG	3	-	5
	S. ESCHWEILER	-	-	3
	S. II	1	-	2
	S. ISANGI	-	-	2
	S. RICHMOND	-	-	2
	S. BRAZZAVILLE	-	-	1
	S. CONCORD	-	-	1
	S. ESCANABA	-	-	1
	S. HAELSINGBORG	-	-	1
	S. LIVINGSTONE	-	-	1
S. RISSEN	-	-	1	
NOT TYPED	-	-	15	
	SUBTOTAL	27	-	187
08(C2, C3)	S. HADAR	7	-	44
	S. NEWPORT	4	-	12
	S. LITCHFIELD	-	-	6
	S. MANHATTAN	5	-	6
	S. CHAILEY	2	-	5
	S. BLOCKLEY	1	-	4
	S. EMEK	-	-	4
	S. BARDO	2	-	3
	S. KENTUCKY	-	-	2
	S. NAGOYA	-	-	2
	S. BELLEVUE	1	-	1
	S. CORVALLIS	-	-	1
	S. MUENCHEN	-	-	1
	S. NARASHING	-	-	1
	S. STOURBRIDGE	-	-	1
	NOT TYPED	8	-	31
	SUBTOTAL	30	-	124

		042	051	081	091	142	143	161	181	201	222	223	281	311	342	371	391	441	
		仙	秋	茨	栃	横	川	富	福	長	静	浜	兵	鳥	広	香	高	大	
		台	田	城	木	浜	崎	山	井	野	岡	松	塚	取	島	川	知	分	
		市	県	県	県	市	市	県	県	県	市	市	県	県	市	県	県	県	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
09(D1)	S. ENTERITIDIS	-	-	2	-	7	10	5	1	1	9	-	-	5	14	-	3	-	
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. KAPEMBA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	2	-	7	10	9	1	1	9	-	-	5	14	-	3	-	
09,46(D2)	S. LISHABI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
03,10(E1,E2,E3)	S. MÜNSTER	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-		
	S. ANATUM	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-		
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. GIVE	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	1	6	1	-	-	1	-	-	1	7	-	2	-		
01,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	6	7	-	1	-		
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	2	2	-	-	1	-	-	6	7	5	1	-		
013(G1,G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-		
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. NEWYORK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-		
06,14(H)	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
016(I)	S. KIBI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
018(K)	S. CERRO	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1		
	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1		
028(M)	S. LIBREVILLE	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
035(O)	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-		
	S. III B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-		
038(P)	S. III B	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-		
041(S)	S. III	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-		
合計	TOTAL	11	2	18	1	37	82	41	1	2	36	21	16	72	118	28	29	2	

		461	471	TOTAL
		鹿	沖	合
		児	繩	
		島	県	計
		県		
GROUP	SEROVAR			
09(D1)	S. ENTERITIDIS	16	-	73
	S. DUBLIN	-	-	4
	S. II	2	-	2
	S. KAPEMBA	2	-	2
	SUBTOTAL	20	-	81
09,46(D2)	S. LISHABI	-	-	1
03,10(E1,E2,E3)	S. MUENSTER	-	-	7
	S. ANATUM	1	-	5
	S. ORION	3	-	4
	S. GIVE	1	-	3
	S. II	2	-	2
	S. AMAGER	-	-	1
	S. LONDON	-	-	1
	S. WELTEVREDEN	-	1	1
	S. ZANZIBAR	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	2
	SUBTOTAL	7	1	27
01,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	18
	NOT TYPED	-	-	6
	SUBTOTAL	-	-	24
013(G1,G2)	S. HAVANA	1	-	5
	S. II	1	-	1
	S. NEWYORK	1	-	1
	NOT TYPED	-	-	3
	SUBTOTAL	3	-	10
06,14(H)	S. III B	2	-	2
	S. II	1	-	1
	SUBTOTAL	3	-	3
016(I)	S. KIBI	-	-	1
018(K)	S. CERRO	1	-	7
	S. III B	1	-	1
	NOT TYPED	8	-	8
	SUBTOTAL	10	-	16
028(M)	S. LIBREVILLE	-	-	1
035(O)	S. ALACHUA	-	-	4
	S. III B	1	-	1
	SUBTOTAL	1	-	5
038(P)	S. III B	-	-	1
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	5
041(S)	S. III	-	-	2
GROUP UNKNOWN	群不明	-	-	7
合計	TOTAL	132	1	650

5. チフス菌、パラチフスA菌のフェージ型分布、由来ヒト、1995年

5. Phage types of *S.Typhi* and *S.Paratyphi A* from human sources, Japan, 1995

5-1. チフス菌の月別フェージ型分布

5-1. *S.Typhi* phage types from human sources, by month, 1995

フェージ型別、集計：国立感染症研究所細菌部
外産性細菌室

Phage typing : Laboratory of Enteric Infection II,
Department of Bacteriology, NIID

診定月 Month of diagnosis	チフス菌フェージ型										Phage type of <i>S.Typhi</i>						合計 Total
	A	B1	B2	C1	D1	D2	E1	E2	K1	M1	M4	N	39	42	DVS*	UVS1**	
1月 JAN	-	2 (2)	-	-	-	-	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-	-	1	1 (1)	6 (5)
2月 FEB	-	-	-	-	-	2 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	6 (2)
3月 MAR	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1 (1)	1	4 (1)
4月 APR	1 (1)	-	-	-	-	-	1 (1)	-	-	1 (1)	-	-	-	1	-	-	4 (3)
5月 MAY	1	-	-	1 (1)	1 (1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4 (2)
6月 JUN	-	-	-	-	-	-	1 (1)	-	-	1	-	1 (1)	-	-	-	1 (1)	4 (3)
7月 JUL	-	2 (2)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 (2)
8月 AUG	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3 (1)
9月 SEP	1	1	-	-	-	3 (2)	1 (1)	-	-	-	-	-	1	-	-	2 (2)	9 (5)
10月 OCT	-	1 (1)	-	-	-	1 (1)	3 (2)	1 (1)	-	1	-	-	-	-	-	-	7 (5)
11月 NOV	-	-	1 (1)	-	-	-	1 (1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3 (2)
12月 DEC	-	1	-	-	1 (1)	-	2 (2)	-	-	-	1	-	-	-	-	1 (1)	6 (4)
合計 Total	4 (2)	7 (5)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	8 (5)	10 (9)	2 (1)	1 (1)	5 (1)	2 (1)	1 (1)	1	1	6 (1)	7 (5)	59 (35)

* DVS : ほとんどすべての型別用フェージに溶菌され、A-degradedと総称していた
** UVS : 既知のすべてのフェージに感受性のないもの
() : 海外旅行者分再掲

* DVS : Degraded Vi-positive strain
** UVS : Untypable Vi-positive strain
() : Imported cases included in the total

5-2. パラチフスA菌の月別フェージ型分布

5-2. *S.Paratyphi A* phage types from human sources, by month, 1995

診定月 Month of diagnosis	パラチフス菌フェージ型						合計 UT*	Total
	1	2	3	4	5	6		
1月 JAN	1 (1)	-	-	-	-	-	1 (1)	2 (2)
2月 FEB	-	1	-	-	-	-	1 (1)	2 (1)
3月 MAR	1 (1)	-	-	-	1 (1)	-	1 (1)	3 (3)
4月 APR	2 (2)	-	-	-	-	-	2 (2)	4 (4)
5月 MAY	2	-	-	-	-	2	2 (2)	6 (4)
6月 JUN	2 (1)	-	-	-	1	-	-	3 (1)
7月 JUL	2 (1)	-	1	-	-	-	2 (2)	5 (3)
8月 AUG	5 (4)	-	16 (1)	-	-	-	1 (1)	22 (8)
9月 SEP	3 (3)	-	6	-	-	-	2 (1)	11 (4)
10月 OCT	5 (5)	-	-	-	-	-	-	5 (5)
11月 NOV	6 (6)	-	1	-	-	-	-	7 (6)
12月 DEC	1 (1)	-	-	-	-	-	-	1 (1)
合計 Total	30 (25)	1	24 (1)	-	2 (1)	2 (2)	12 (11)	71 (40)

* UT : 既知のすべてのフェージに感受性のないもの
() : 海外旅行者分再掲

* UT : Untypable
() : Imported cases included in the total

5-3. チフス菌の都道府県別フェージ型分布

5-3. S.Typhi phage types from human sources, by place of residence of the source case, 1995

都道府県	Prefecture of residence	チフス菌フェージ型											Phage type of S.Typhi				合計 Total	
		A	B1	B2	C1	D1	D2	E1	E2	K1	M1	M4	N	39	42	DVS*		UVS1**
北海道	Hokkaido	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
青森	Aomori	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手	Iwate	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城	Miyagi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田	Akita	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	Yamagata	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
福島	Fukushima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	Ibaraki	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	Tochigi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	Gunma	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
			(1)															(1)
埼玉	Saitama	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2
															(1)			(1)
千葉	Chiba	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
							(1)									(1)		(2)
東京	Tokyo	2	1	-	-	1	3	4	-	2	-	-	-	-	-	1	-	14
			(1)			(1)	(3)	(4)		(1)								(9)
神奈川	Kanagawa	1	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	2	-	7
		(1)						(1)	(1)						(2)			(5)
新潟	Niigata	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山	Toyama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川	Ishikawa	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
								(1)										(1)
福井	Fukui	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
							(1)											(1)
山梨	Yamanash	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
				(1)														(1)
長野	Nagano	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
			(1)															(1)
岐阜	Gifu	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
			(1)															(1)
静岡	Shizuoka	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	Aichi	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	4
					(1)													(1)
三重	Mie	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	4
						(1)												(1)
滋賀	Shiga	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
								(1)		(1)								(2)
京都	Kyoto	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
								(1)				(1)						(2)
大阪	Osaka	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	6
			(1)					(2)							(1)	(1)		(5)
兵庫	Hyogo	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良	Nara	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	Wakayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	Tottori	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根	Shimane	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	Okayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	Hiroshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口	Yamaguchi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	Tokushima	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川	Kagawa	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛	Ehime	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	Kochi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	Fukuoka	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	3
		(1)																(1)
佐賀	Saga	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	Nagasaki	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	Kumamoto	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	Oita	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	Miyazaki	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	Kagoshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	Okinawa	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
合計	Total	4	7	1	1	2	8	10	2	1	5	2	1	1	1	6	7	59
		(2)	(5)	(1)	(1)	(2)	(5)	(9)	(1)	(1)	(1)		(1)		(1)	(5)		(35)

* DVS : ほとんどの型別用フェージに溶菌され、A-degradedと総称していた

** UVS : 既知のすべてのフェージに感受性のないもの

* DVS : Degraded Vi-positive strain

** UVS : Untypable Vi-positive strain

() : Imported cases included in the total

5-4. バラチルスA菌の都道府県別フェージ型分布

5-4. S.Paratyphi A phage types from human sources, by place of residence of the source case, 1995

都道府県	Prefecture of residence	バラチルスA菌フェージ型 Phage type of S.Paratyphi A							合計 Total
		1	2	3	4	5	6	UT*	
北海道	Hokkaido	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	Aomori	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	Iwate	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	Miyagi	-	-	1	-	-	-	-	1
秋田県	Akita	-	-	2	-	-	-	-	2
山形県	Yamagata	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	Fukushima	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	Ibaraki	-	-	1	-	-	-	-	1
栃木県	Tochigi	1 (1)	-	1	-	-	-	-	2 (1)
群馬県	Gunma	1 (1)	-	1	-	-	-	1 (1)	3 (2)
埼玉県	Saitama	3 (2)	-	3	-	1 (1)	-	1 (1)	8 (4)
千葉県	Chiba	1 (1)	-	-	-	-	-	-	1 (1)
東京都	Tokyo	8 (6)	-	2	-	-	2 (2)	5 (4)	17 (12)
神奈川県	Kanagawa	2 (2)	-	1	-	-	-	2 (2)	5 (4)
新潟県	Niigata	1 (1)	-	1	-	-	-	-	2 (1)
富山県	Toyama	1 (1)	-	-	-	-	-	1 (1)	2 (2)
石川県	Ishikawa	1 (1)	-	-	-	-	-	-	1 (1)
福井県	Fukui	-	-	-	-	1	-	-	1
山梨県	Yamanashi	1 (1)	-	1	-	-	-	-	2 (1)
長野県	Nagano	-	-	3	-	-	-	1 (1)	4 (1)
岐阜県	Gifu	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	Shizuoka	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	Aichi	3 (3)	-	3 (1)	-	-	-	-	6 (4)
三重県	Mie	-	1	1	-	-	-	-	2
滋賀県	Shiga	1 (1)	-	-	-	-	-	-	1 (1)
京都府	Kyoto	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	Osaka	3 (2)	-	-	-	-	-	-	3 (2)
兵庫県	Hyogo	2 (1)	-	-	-	-	-	-	2 (1)
奈良県	Nara	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	Wakayama	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	Tottori	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	Shimane	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	Okayama	1 (1)	-	1	-	-	-	-	2 (1)
広島県	Hiroshima	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	Yamaguchi	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	Tokushima	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	Kagawa	-	-	1	-	-	-	-	1
愛媛県	Ehime	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	Kochi	-	-	1	-	-	-	-	1
福岡県	Fukuoka	-	-	-	-	-	-	1 (1)	1 (1)
佐賀県	Saga	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	Nagasaki	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	Kumamoto	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	Oita	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	Miyazaki	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	Kagoshima	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	Okinawa	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	Total	30 (25)	1	24 (1)	-	2 (1)	2 (2)	12 (11)	71 (40)

* UT : 既知のすべてのフェージに感受性のないもの
() : 海外旅行者分再掲

* UT : Untypable
() : Imported cases included in the total

6. A群レンサ球菌の菌型分布、由来ヒト、1995年

6. Group A *Streptococcus* serotypes isolated from human sources, Japan, 1995

6-1. 月別全国集計、地研・保健所

6-1. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by month, 1995
Prefectural and municipal public health institutes and health centers

血清型	TYPE	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
T-1		58	23	18	10	29	14	20	39	19	11	14	31	286
T-2		-	-	1	-	-	-	2	-	-	2	2	2	9
T-3		12	2	14	4	15	8	14	22	4	1	3	3	102
T-4		31	24	21	21	25	41	54	41	32	34	53	71	448
T-6		1	1	-	-	-	1	1	1	3	-	-	5	13
T-8		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
T-9		1	-	-	1	3	-	-	2	1	-	-	1	9
T-11		4	-	9	2	3	4	26	6	12	5	6	10	87
T-12		78	37	48	34	69	38	58	171	44	34	36	125	772
T-13		4	-	1	-	1	4	2	2	4	3	1	1	23
T-18		14	4	5	1	8	4	1	13	-	-	4	2	56
T-22		5	3	1	2	2	5	14	9	3	4	5	12	65
T-23		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
T-25		5	-	1	-	1	1	-	1	3	-	-	-	12
T-28		27	13	11	7	18	15	31	64	22	13	23	58	302
T-B3264		24	7	18	7	8	7	27	46	13	6	13	34	210
T-IMP.19		-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
T-5/27/44		-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2
T-14/49		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
型別不能	UNTYPABLE	8	7	10	9	21	7	18	12	13	9	8	33	155
型別せず	NOT DONE	-	-	-	-	3	-	-	-	1	9	26	39	78
TOTAL		273	121	158	98	208	150	269	430	175	131	194	427	2634

6-2. 月別全国集計、医療機関

6-2. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by month, 1995
General clinical institutions

6-2-1. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料

6-2-1. Specimen : Nasopharyngeal source

血清型	TYPE	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
T-1		3	5	7	6	2	4	3	5	3	10	7	8	63
T-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	7	13
T-3		6	1	5	10	6	8	-	1	1	3	5	5	51
T-4		9	13	16	17	14	15	9	6	8	9	15	10	141
T-6		-	-	1	2	-	1	1	-	-	-	-	6	11
T-11		-	1	3	-	5	4	5	1	2	3	4	5	33
T-12		19	9	8	13	21	27	20	5	4	16	27	44	213
T-13		-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2
T-18		-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
T-22		1	-	1	-	1	4	4	-	1	1	2	1	16
T-23		-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
T-25		-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	4
T-28		2	3	3	3	3	7	9	1	1	5	11	9	57
T-B3264		3	4	4	2	5	12	5	2	3	4	6	7	57
T-5/27/44		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
型別不能	UNTYPABLE	17	16	12	5	5	8	3	4	10	10	7	8	105
型別せず	NOT DONE	496	568	679	552	740	659	531	301	347	466	781	812	6932
TOTAL		556	622	739	610	805	749	592	326	382	529	870	924	7704

6-2-2. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

6-2-2. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

血清型	TYPE	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
T-1		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
T-6		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-11		-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-12		-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	3
T-22		-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	3
T-28		-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	4
T-B3264		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
型別不能	UNTYPABLE	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	5
型別せず	NOT DONE	84	60	65	52	71	74	56	47	31	30	33	54	657
TOTAL		86	61	66	55	73	75	56	48	33	33	35	55	676

6-3. 報告機関別集計、地研。保健所

6-3. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by participating laboratory, 1995
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

		042	051	061	071	091	111	121	141	143	201	261	262	271	342	361	371	391	
		仙 台 市	秋 田 県	山 形 県	福 島 県	栃 木 県	埼 玉 県	千 葉 県	神 奈 川 県	川 崎 市	長 野 県	京 都 府	京 都 市	大 阪 府	広 島 市	徳 島 県	香 川 県	高 知 県	
血清型	TYPE																		
T-1		-	9	28	62	-	26	123	6	1	-	-	-	21	1	3	1	5	
T-2		-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	
T-3		3	-	1	3	-	7	43	3	-	1	2	-	13	6	-	-	11	
T-4		4	7	30	101	-	101	74	14	2	-	40	1	34	2	-	7	26	
T-6		-	-	-	1	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
T-8		-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T-9		-	-	2	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T-11		1	-	-	6	-	18	23	4	-	-	1	1	23	1	-	-	-	
T-12		7	18	20	131	-	155	318	20	-	1	5	-	27	3	-	5	34	
T-13		-	-	2	-	-	12	4	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
T-18		1	-	2	14	-	14	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T-22		-	-	3	4	-	17	6	3	-	-	1	1	2	-	-	1	-	
T-23		-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T-25		-	-	-	-	-	4	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
T-28		1	2	-	34	-	75	153	3	-	1	-	-	20	-	-	1	1	
T-B3264		-	3	3	17	-	50	100	-	-	-	4	-	21	1	-	-	7	
T-IMP.19		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T-5/27/44		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
T-14/49		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
型別不能 型別番号	UNTYPABLE NOT DONE	-	1	14	17	-	43	36	1	5	-	6	8	11	6	-	-	5	
TOTAL		17	40	106	391	1	526	932	54	8	3	61	11	180	20	3	18	90	

6-3. Continued

		403	451	471	TOTAL
		北 九 州 市	宮 崎 県	沖 縄 県	合 計
血清型	TYPE				
T-1		-	-	-	286
T-2		-	-	-	9
T-3		7	-	2	102
T-4		2	-	3	448
T-6		-	-	-	13
T-8		-	-	-	2
T-9		-	-	-	9
T-11		3	-	6	87
T-12		13	-	15	772
T-13		-	-	3	23
T-18		-	-	-	56
T-22		-	-	27	65
T-23		-	-	-	1
T-25		-	-	-	12
T-28		1	1	9	302
T-B3264		-	-	4	210
T-IMP.19		-	-	1	1
T-5/27/44		-	-	-	2
T-14/49		-	-	-	1
型別不能 型別番号	UNTYPABLE NOT DONE	-	-	2	155
TOTAL		26	1	146	2634

6-4. 報告機関別集計、医療機関
 6-4. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by participating laboratory, 1995
 General clinical institutions
 (Refer to code map in page 154 ~ 159)

6-4-1. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料
 6-4-1. Specimen : Nasopharyngeal source

		012	021	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	221	231	232	251	271
		札幌市	青森県	新潟県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県	名古屋圏	滋賀県	大阪府
血清型	TYPE																	
A	T-1	-	-	-	-	-	-	-	18	6	-	3	3	5	-	-	-	-
	T-2	-	-	-	-	-	-	-	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-3	-	-	-	-	-	-	-	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-4	-	-	-	-	-	-	-	5	18	-	1	4	-	-	-	-	-
	T-6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	T-11	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	T-12	-	-	-	-	-	-	-	13	6	-	1	1	8	-	-	-	-
	T-13	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-18	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-22	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	T-23	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-28	-	-	-	-	-	-	-	23	1	-	2	1	3	-	-	-	-
	T-B3264	-	-	-	-	-	-	-	14	2	-	1	4	1	-	-	-	-
	T-5/27/44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
型別不能	UNTYPABLE	-	-	-	-	-	-	-	91	1	-	4	2	-	-	-	-	-
型別せず	NOT DONE	744	328	160	406	37	45	73	87	403	1212	123	714	-	475	140	146	117
	TOTAL	744	328	160	406	37	45	73	292	449	1212	135	734	17	475	140	146	117

6-4-1. Continued

		273	282	291	301	311	321	331	341	351	371	411	421	431	441	TOTAL
		堺市	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	合計
血清型	TYPE															
	T-1	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	4	-	-	14	63
	T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	T-3	-	-	-	-	-	-	-	7	-	9	-	-	-	19	51
	T-4	1	-	-	1	-	-	-	30	-	7	-	-	-	74	141
	T-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	11
	T-11	3	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	8	33
	T-12	4	-	-	12	-	-	-	38	-	52	-	-	-	78	213
	T-13	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	T-18	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	T-22	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	16
	T-23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	T-25	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	4
	T-28	1	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	12	57
	T-B3264	1	-	-	1	-	-	-	17	-	16	-	-	-	-	57
	T-5/27/44	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
型別不能	UNTYPABLE	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	105
型別せず	NOT DONE	-	40	599	2	26	26	79	547	20	75	172	126	10	-	6932
	TOTAL	11	40	599	23	26	26	79	679	20	75	265	126	10	215	7704

6-4-2. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
 6-4-2. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

	012	021	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	231	232	251	271	273
	札幌市	青森県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	愛知県	名古屋	滋賀県	大阪府	堺市
血清型	TYPE																
T-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
T-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-12	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
T-22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T-28	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
T-B3264	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
型別不能	UNTYPABLE																
型別せず	NOT DONE	78	10	3	38	6	1	11	3	59	263	10	8	14	10	7	8
TOTAL		78	10	3	38	6	1	11	8	63	263	10	9	14	10	7	8

6-4-2. Continued

	282	291	301	321	331	341	371	411	421	TOTAL
	神戸市	奈良県	和歌山県	島根県	岡山県	広島県	香川県	佐賀県	長崎県	合計
血清型	TYPE									
T-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-12	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
T-22	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
T-28	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
T-B3264	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
型別不能	UNTYPABLE									
型別せず	NOT DONE	3	36	2	8	4	48	4	22	1
TOTAL		3	36	2	8	4	54	4	22	1

7. 病原細菌検出数の年別集計、由来ヒト、1990～1995年

7. Isolation of bacteria from human sources, by year, Japan, 1990 - 1995

7-1. 地研・保健所

7-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	13794(3021)	14470(2027)	11463(1925)	12109(2238)	14581(2176)	13636(2979)
ESCHERICHIA COLI	1482(899)	1331(560)	1169(553)	1453(590)	1546(689)	1539(863)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	7(7)	2(2)	4(3)	8(7)	3(3)	8(8)
SHIGELLA FLEXNERI	84(55)	74(40)	65(44)	70(42)	83(55)	56(36)
SHIGELLA BOYDII	15(13)	8(7)	11(10)	10(8)	7(6)	17(13)
SHIGELLA SONNEI	271(147)	485(129)	399(157)	478(184)	267(137)	295(200)
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	45(13)	44(14)	37(9)	73(12)	40(17)	27(10)
SALMONELLA PARATYPHI A	11(3)	7(3)	18(5)	29(6)	38(9)	41(19)
SALMONELLA GROUP O4	921(139)	1010(101)	774(79)	841(80)	765(62)	627(81)
SALMONELLA GROUP O7	1305(126)	1940(78)	1178(95)	845(61)	824(62)	849(72)
SALMONELLA GROUP O8	922(231)	772(101)	442(85)	536(111)	480(81)	509(98)
SALMONELLA GROUP O9	1107(68)	1426(30)	1781(29)	2607(56)	3348(99)	2484(154)
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	1(1)
SALMONELLA GROUP O3,10	235(121)	147(69)	127(54)	132(62)	155(64)	194(118)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	46(32)	49(26)	37(21)	72(22)	51(18)	83(17)
SALMONELLA GROUP O13	45(7)	24(3)	23(6)	32(4)	28(5)	25(1)
SALMONELLA GROUP O18	49(12)	81(1)	34(5)	19	37(3)	23(3)
SALMONELLA OTHER GROUPS	41(5)	42(8)	43(5)	73(8)	47(6)	46(8)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	23(5)	8	5(1)	14	5	12
YERSINIA ENTEROCOLITICA	42(29)	11(2)	11(1)	9	22	26
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	-	31(1)	1	-	1	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	43(34)	49(32)	32(27)	66(61)	55(39)	217(192)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	4(4)	-	3(2)	3(3)	1(1)	3(3)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	9(7)	5(3)	4(4)	4(3)	3(1)	1(1)
VIBRIO CHOLERAЕ O139 CT+	-	-	-	-	5(5)	-
VIBRIO CHOLERAЕ O139 CT-	-	-	-	-	1(1)	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	66(47)	55(45)	62(42)	101(54)	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	-	71(50)	90(65)
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	1927(188)	1457(142)	569(118)	682(123)	1280(108)	1304(85)
VIBRIO FLUVIALIS	43(19)	49(15)	14(8)	22(8)	16(5)	14(7)
VIBRIO MIMICUS	19(6)	4(3)	15	3(2)	3(3)	11(9)
AEROMONAS HYDROPHILA	70(54)	52(39)	40(33)	50(39)	22(8)	30(18)
AEROMONAS SOBRIA	172(148)	140(119)	86(82)	137(129)	21(19)	59(54)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	2(2)	13(2)	10(9)	6(4)	135(131)	140(135)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	471(433)	288(252)	285(270)	421(397)	342(300)	575(542)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	839(122)	854(145)	841(128)	458(100)	850(37)	534(36)
CAMPYLOBACTER COLI	43(33)	33(28)	38(28)	54(42)	19(3)	16(3)
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	120(7)	136(24)	79(9)	87(20)	210(147)	141(125)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	673	530(1)	402(2)	417	439	334
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	373	791	522	155	540	363
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	-	2	-	-	-	5
BACILLUS CEREUS	65	43	44	50	84	63
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	10	5	2	1	8(1)	4(1)
NEISSERIA GONORRHOЕAE	389	345	164	35	34	38
NEISSERIA MENINGITIDIS	5	12	-	2	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	1324	1677	1752	1736	2388	2523
STREPTOCOCCUS GROUP B	190	132	118	110	115	151
STREPTOCOCCUS GROUP C	11	29	13	8	7	12
STREPTOCOCCUS GROUP G	45	65	74	72	73	80
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	7	4	8	5	4	2
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	25	7	20	8	12	19
CORYNEBACTERIUM DIPHTHERIAE	-	-	3	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	125	110	13	6	9	4
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	6	17	16	27	17	12
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	7(1)	16	33	31	50	25
LEPTOSPIRA SPP.	-	-	-	-	1	1(1)
PLASMODIUM SPP.	1(1)	-	-	-	-	-
OTHERS	59(3)	58(2)	42(1)	51	18(1)	3

病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity					
	1990	1991	1992	1993	1994	1995
ENTEROINVASIVE E. COLI	38(15)	32(67)	18(11)	69(60)	28(7)	29(16)
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	893(534)	746(298)	651(402)	741(370)	843(462)	972(615)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	405(231)	378(148)	385(108)	387(117)	473(162)	407(157)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	-	-	-	103(1)	131(1)	27(2)
E. COLI OTHER/UNKNOWN	146(119)	125(47)	115(32)	153(42)	71(57)	104(73)

赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars					
	1990	1991	1992	1993	1994	1995
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	2(2)	1(1)	4(3)	4(3)	3(3)	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	2(2)	-	-	4(4)	-	1(1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	1(1)	-	-	-	-	1(1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 6	1(1)	1(1)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	1(1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	1(1)	-	-	-	-	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	-	-	-	-	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	3(3)	-	-	1(1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	3(1)	10(8)	8(8)	3(3)	10(10)	11(8)
S. FLEXNERI SEROVAR 1	1(1)	1(1)	-	1	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	31(21)	29(11)	23(14)	30(19)	27(7)	12(4)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	3(1)	1(1)	3(2)	6(2)	7(7)	3(2)
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	13(12)	10(9)	17(11)	11(8)	8(5)	7(4)
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	1(1)	1	2(2)	-	1(1)	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	15(3)	9(4)	2(2)	-	1(1)	2(2)
S. FLEXNERI SEROVAR 4	4(3)	5(1)	2(2)	2(2)	3(3)	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 5A	1(1)	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 5B	-	1	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	5(5)	4(2)	4(2)	11(5)	21(19)	8(7)
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	1(1)	-	-	7(3)
S. FLEXNERI SEROVAR Y	2(1)	-	1	5(2)	1	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	5(5)	-	2	-	3(1)	4(4)
S. BOYDII SEROVAR 1	1(1)	3(3)	5(4)	-	1(1)	4(3)
S. BOYDII SEROVAR 2	-	2(2)	1(1)	-	3(3)	3(3)
S. BOYDII SEROVAR 3	-	-	-	3(3)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	5(4)	1(1)	1(1)	5(3)	2(1)	2
S. BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 8	2(2)	1	1(1)	-	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	4(4)
S. BOYDII SEROVAR 10	-	1(1)	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 11	3(3)	-	-	-	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 13	1(1)	-	1(1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	1(1)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	-	1
S. BOYDII SEROVAR 17	-	-	1(1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 18	1(1)	-	1(1)	1(1)	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	2(1)	-	-	-	-	-
S. SONNEI	271(147)	485(129)	399(157)	478(184)	267(137)	295(200)

7-2. 検疫所
7-2. Quarantine stations

海外旅行者
Imported cases

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	2714	2299	2640	2476	2830	3513
ESCHERICHIA COLI	193	84	16	40	51	61
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	6	12	4	7	3	7
SHIGELLA FLEXNERI	43	42	41	40	57	46
SHIGELLA BOYDII	13	12	14	9	13	13
SHIGELLA SONNEI	193	173	204	177	267	298
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	1	2	1	1	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	1	-	3	-	-
SALMONELLA GROUP O4	75	75	103	93	75	52
SALMONELLA GROUP O7	27	46	69	48	58	60
SALMONELLA GROUP O8	69	79	86	65	79	60
SALMONELLA GROUP O9	29	38	39	48	68	107
SALMONELLA GROUP O9,46	-	2	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	78	67	62	63	61	47
SALMONELLA GROUP O1,3,19	25	14	13	19	11	9
SALMONELLA GROUP O13	4	11	-	5	3	3
SALMONELLA GROUP O18	5	1	5	2	2	1
SALMONELLA OTHER GROUPS	4	1	6	5	2	5
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	13	5	4	2	1	1
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	21	32	20	30	31	75
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT-	8	1	6	3	1	1
V.CHOLERAE O1:ELTOR INABA,CT+	3	2	2	1	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR INABA,CT-	1	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE O139 CT+	-	-	-	-	4	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1	163	154	177	189	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	-	-	-	-	245	194
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	785	544	563	497	493	526
VIBRIO FLUVIALIS	32	18	14	20	30	35
VIBRIO MIMICUS	18	5	3	10	18	19
AEROMONAS HYDROPHILA	2	8	8	17	14	46
AEROMONAS SOBRIA	9	17	35	43	49	163
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	2	2	1
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	879	840	1134	1035	1184	1677
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	3	5	6	1	1	2
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	1	-	-	-
OTHERS	12	8	4	1	7	4

病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity					
	1990	1991	1992	1993	1994	1995
ENTEROINVASIVE E. COLI	10	19	9	2	9	8
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	134	18	2	2	1	1
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	49	47	5	36	41	52

赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars					
	1990	1991	1992	1993	1994	1995
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	3	9	2	4	1	2
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	1	1	-	2	1	1
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	1	-	1	-	-	2
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	1	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	1	1	1	2
S. DYSENTERIAE SEROVAR 11	1	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	1	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	1	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	1	8	5	8	4	4
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	18	14	11	7	16	9
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	1	2	1	1	9	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	14	7	11	5	5	8
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	-	3	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	2	7	2	2	3	1
S. FLEXNERI SEROVAR 4B	-	-	-	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	1	1	2	1	2
S. FLEXNERI SEROVAR 5A	-	-	1	1	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 5B	1	1	1	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	6	2	4	6	6	16
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	1	-	6	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	1	1	3	1
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	1	4	4	3
S. BOYDII SEROVAR 1	1	9	3	2	2	1
S. BOYDII SEROVAR 2	2	-	2	1	6	2
S. BOYDII SEROVAR 3	-	-	-	1	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	4	-	3	2	4	2
S. BOYDII SEROVAR 5	1	-	-	-	-	1
S. BOYDII SEROVAR 7	1	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 8	1	1	-	1	-	-
S. BOYDII SEROVAR 10	1	-	-	-	-	1
S. BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	-	-	2
S. BOYDII SEROVAR 12	-	-	2	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 13	1	2	1	-	1	2
S. BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	2	-	1
S. BOYDII SEROVAR 18	1	-	3	-	-	1
S. SONNEI	193	173	204	177	267	298

7-3. 都市立伝染病院
7-3. Infectious diseases hospitals

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	894(530)	900(485)	908(472)	803(452)	804(503)	878(620)
ESCHERICHIA COLI	42(31)	56(33)	64(37)	29(21)	24(18)	47(39)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	8(7)	8(8)	7(7)	7(6)	4(4)	7(7)
SHIGELLA FLEXNERI	82(67)	51(43)	81(66)	79(60)	90(71)	83(51)
SHIGELLA BOYDII	11(11)	13(12)	7(7)	11(11)	7(6)	19(17)
SHIGELLA SONNEI	235(204)	301(198)	339(192)	265(169)	266(217)	220(209)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	3(3)	3(3)	4(4)	6(6)	13(11)	16(15)
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	49(33)	30(18)	32(21)	50(28)	26(20)	29(23)
SALMONELLA PARATYPHI A	12(10)	14(12)	11(9)	14(12)	16(14)	19(14)
SALMONELLA GROUP O4	47(8)	51(5)	47(12)	31(1)	25(2)	20(5)
SALMONELLA GROUP O7	21(8)	14(4)	21(5)	10(3)	17(4)	15(4)
SALMONELLA GROUP O8	24(10)	26(6)	7(3)	5(3)	10(9)	6(4)
SALMONELLA GROUP O9	56(6)	36(3)	30(1)	48(4)	44(6)	55(18)
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	2	-	1	1(1)
SALMONELLA GROUP O3,10	6(5)	7(6)	4(3)	3(3)	2(1)	8(7)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	2(2)	1(1)	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	-	1(1)	2(1)	-	1
SALMONELLA GROUP O18	1	-	-	1(1)	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	3(3)	1	-	1	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	1	5(4)	1(1)	-	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	1(1)	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	19(17)	28(21)	18(18)	40(39)	33(30)	106(96)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	1(1)	-	1	-	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	4(4)	-	2(2)	1(1)	3(1)	1
VIBRIO CHOLERAЕ O1 NT	-	-	-	-	-	2(2)
VIBRIO CHOLERAЕ O139 CT+	-	-	-	-	2(2)	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	5(4)	6(6)	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	-	6(5)	2(1)
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	52(12)	34(12)	25(7)	19(8)	25(6)	25(10)
VIBRIO FLUVIALIS	2(2)	-	-	1(1)	1	1
VIBRIO MIMICUS	-	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	-
AEROMONAS HYDROPHILA	9(3)	9(6)	8(6)	4(4)	7(5)	5(3)
AEROMONAS SOBRIA	8(4)	7(3)	5(3)	5(2)	4(2)	8(7)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	2(2)	1	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	24(24)	15(13)	9(9)	8(7)	15(15)	28(28)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	66(14)	58(18)	56(15)	38(14)	55(16)	45(16)
CAMPYLOBACTER COLI	2(2)	-	2(1)	1	2(1)	2(1)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	4(2)	7(1)	1	2	1(1)	4(2)
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	55(16)	59(32)	50(19)	65(25)	67(18)	69(27)
OTHERS	41(17)	53(20)	57(18)	50(15)	35(16)	32(12)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

病原大腸菌の内訳		<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity					
		1990	1991	1992	1993	1994	1995
ENTEROINVASIVE E. COLI		3(3)	4(4)	5(5)	5(4)	1(1)	2(1)
ENTEROTOXIGENIC E. COLI		16(16)	16(10)	21(17)	6(6)	7(6)	10(10)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE		20(11)	24(16)	27(12)	8(6)	6(5)	9(9)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI		1	2	2	3	2(1)	4
E. COLI OTHER/UNKNOWN		2(1)	10(3)	9(3)	7(5)	8(5)	22(19)
赤痢菌血清型別の内訳		<i>Shigella</i> serovars					
		1990	1991	1992	1993	1994	1995
S. DYSENTERIAE SEROVAR 1		-	-	-	1	2(2)	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2		2(2)	3(3)	3(3)	1(1)	1(1)	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3		2(1)	1(1)	1(1)	4(4)	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 6		1(1)	1(1)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7		1(1)	1(1)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8		-	1(1)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9		-	-	2(2)	1(1)	1(1)	2(2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 11		1(1)	1(1)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN		1(1)	-	1(1)	-	-	3(3)
S. FLEXNERI SEROVAR 1A		1(1)	2(2)	2(2)	4(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B		8(7)	6(5)	7(6)	5(5)	17(15)	8(8)
S. FLEXNERI SEROVAR 2A		31(23)	17(14)	25(21)	29(19)	16(8)	39(14)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B		-	-	3(7)	1(1)	7(7)	5(3)
S. FLEXNERI SEROVAR 3A		18(17)	8(8)	15(9)	11(8)	13(8)	5(5)
S. FLEXNERI SEROVAR 3B		1	-	3(3)	2(2)	1	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4A		2(2)	4(3)	1(1)	4(4)	6(5)	2(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4B		-	-	-	1(1)	-	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4		5(4)	3(1)	4(4)	2(2)	1(1)	3(3)
S. FLEXNERI SEROVAR 5A		-	1(1)	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 5B		-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6		9(8)	7(7)	8(7)	11(10)	13(12)	7(6)
S. FLEXNERI SEROVAR X		1	1(1)	2(1)	-	2(2)	2
S. FLEXNERI SEROVAR Y		1(1)	-	-	1(1)	2(1)	2(1)
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN		5(4)	2(1)	5(4)	8(6)	12(12)	8(8)
S. BOYDII SEROVAR 1		2(2)	3(3)	-	-	1(1)	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 2		1(1)	6(5)	3(3)	-	2(2)	4(3)
S. BOYDII SEROVAR 3		-	-	-	2(2)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4		-	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	4(4)
S. BOYDII SEROVAR 5		1(1)	-	-	-	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 7		1(1)	-	-	-	1(1)	-
S. BOYDII SEROVAR 8		3(3)	-	-	2(2)	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 10		-	-	-	-	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 11		-	1(1)	-	-	1(1)	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 12		-	-	-	-	-	1(1)
S. BOYDII SEROVAR 13		-	1(1)	1(1)	-	-	2(2)
S. BOYDII SEROVAR 14		-	-	-	1(1)	-	2(2)
S. BOYDII SEROVAR 15		1(1)	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 16		-	-	-	-	-	1
S. BOYDII SEROVAR 18		2(2)	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN		-	1(1)	1(1)	5(5)	1	-
S. SONNEI		235(204)	301(198)	339(192)	265(169)	266(217)	220(209)

7-4. 医療機関
7-4. General clinical institutions

7-4-1. 分離材料：糞便
7-4-1. Specimen : Stool

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	13101(43)	13977(50)	13271(34)	16404(41)	17615(63)	18093(131)
ESCHERICHIA COLI	1630(2)	1905(2)	2042(6)	2219(6)	2142(9)	2759(20)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	1	2(2)	1	1	2(1)	1
SHIGELLA FLEXNERI	14(5)	13(3)	14(4)	11(4)	28(12)	15(2)
SHIGELLA BOYDII	4(3)	1(1)	-	-	1(1)	4(3)
SHIGELLA SONNEI	54(22)	81(20)	100(7)	42(8)	46(21)	44(24)
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	11(3)	8(2)	9(3)	7(2)	6(2)	5(3)
SALMONELLA PARATYPHI A	4(1)	2	1	4(1)	4(1)	16(4)
SALMONELLA GROUP O4	918	927(2)	887	710	626(1)	493(2)
SALMONELLA GROUP O7	479(1)	516(3)	432(2)	344	497(1)	389(5)
SALMONELLA GROUP O8	531(1)	347(2)	209	172	252	166(2)
SALMONELLA GROUP O9	707	636(1)	995(1)	1722	1970(2)	1610(10)
SALMONELLA GROUP O9,46	10	3	2	2	17	5
SALMONELLA GROUP O3,10	34(1)	27(1)	17	16	14(1)	33(2)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	4	3	2	14(1)	20	35(1)
SALMONELLA GROUP O13	13	3	2	7(1)	9	6
SALMONELLA GROUP O18	23	19	11	15(1)	12	8
SALMONELLA OTHER GROUPS	22	22(1)	30	38(1)	57	19
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	68	62	29	28	61	53(1)
YERSINIA ENTEROCOLITICA	156	188	169(1)	126	126	138
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	10	3	9	11	3	5
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	2(2)	4(2)	3(3)	6(4)	8(3)	46(41)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	1(1)	-	-	-	1	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	22	14(2)	11	27	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	-	19	14
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	901	861	405(2)	396(1)	1054(3)	990(1)
VIBRIO FLUVIALIS	38	29	9	12(1)	22	20
VIBRIO MIMICUS	7(1)	3	4	3	5	6
AEROMONAS HYDROPHILA	150	159(1)	121	121(1)	89	140(1)
AEROMONAS SOBRIA	62	56	37	42	43	55
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	89	155	113	97	97	106
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	35	48(2)	42(4)	31(3)	30(1)	54(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	2376	2166	1876	1920(1)	1553(4)	1559(2)
CAMPYLOBACTER COLI	69	61	52	39	21	39
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	3782	4141(3)	3466(1)	3598(2)	3317	3192(5)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	704	1432	2096	4463	5297	5991
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	100	35	51	133	134	44
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	-	1	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	59	37	23	17	24	27
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	11	7	1	10(3)	8	6(1)
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E.COLI	61	80	70	70	70	80
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	65(1)	167	113	179	142	229(3)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	1064(1)	1254(2)	1454(6)	1533(5)	1379(9)	1647(17)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	-	-	-	22	13	8
E.COLI OTHER/UNKNOWN	440	404	405	415(1)	538	795
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars						
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	2(2)	-	1	2(1)	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	1	-	-	-	-	1
S.DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	1(1)	3	3	-	3(2)	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	9(2)	3	6(1)	2	12(2)	9(2)
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	1	3	2(1)	1
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	1	-	-	2(1)	2	2
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	2(2)	1(1)	-	-	1(1)	1
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	3(1)	3(3)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	-	2(1)	-	2(2)	7(6)	1
S.FLEXNERI SEROVAR X	1	1	-	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	1	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	1(1)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	-	1
S.BOYDII SEROVAR 8	1(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	1(1)
S.BOYDII SEROVAR 11	1	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	-	-	2(2)
S.BOYDII SEROVAR 15	1(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 18	1(1)	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	1(1)	-	-	1(1)	-
S.SONNEI	54(22)	81(20)	100(7)	42(8)	46(21)	44(24)

7-4-2. 分離材料：穿刺液（胸水、腹水、關節液など）
 7-4-2. Specimen : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	6980	6081	5690	6195	6446	6853
ESCHERICHIA COLI	884	852	891	1012	1039	1042
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	421	350	397	426	576	537
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	125	89	73	86	29	67
NEISSERIA MENINGITIDIS	-	1	-	-	-	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	1123	974	952	1017	1007	1035
MYCOBACTERIUM SPP.	29	15	12	12	17	6
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1993	1975	1611	1884	1939	2123
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	1231	1078	987	997	1051	1102
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	117	106	96	100	67	88
ANAEROBES	1055	641	671	657	718	850
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	2	-	-	4	3	3

7-4-3. 分離材料：髄液
 7-4-3. Specimen : Cerebrospinal fluid

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	238	313	274	415	240	243
ESCHERICHIA COLI	14	16	19	28	18	12
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	46	50	32	81	42	65
NEISSERIA MENINGITIDIS	1	1	3	2	1	3
LISTERIA MONOCYTOGENES	5	4	5	11	6	2
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	111	154	155	215	115	110
STREPTOCOCCUS GROUP B	16	27	22	13	14	7
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	45	61	38	65	44	44

7-4-4. 分離材料：血液
 7-4-4. Specimen : Blood

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	3841(7)	4335(3)	4312(4)	4583(1)	5273(4)	5234(8)
ESCHERICHIA COLI	455	508	456	613	729	775
SALMONELLA TYPHI	19(4)	12(2)	9(4)	13(1)	6(2)	9(3)
SALMONELLA PARATYPHI A	3(2)	4(1)	2	3	5(2)	8(4)
SALMONELLA SPP.	27(1)	22	31	20	39	46(1)
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	57	33	22	51	47	51
NEISSERIA MENINGITIDIS	1	1	-	1	1	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	361	327	344	357	407	350
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	865	1027	1057	1165	1412	1379
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	1659	2054	2022	1932	2222	2133
STREPTOCOCCUS GROUP B	68	61	67	74	71	129
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	116	101	105	121	124	107
ANAEROBES	210	185	197	233	210	247

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

7-4-5. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料
7-4-5. Specimen : Nasopharyngeal source

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	26725	31484	30820(5)	32900(1)	36355	36325
BORDETELLA PERTUSSIS	100	51	58	18	22	29
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	10909	12096	12872	13451	15204	17509
NEISSERIA MENINGITIDIS	11	5	5	3	2	3
STREPTOCOCCUS GROUP A	10206	12633	11597(5)	12462(1)	13031	9059
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	5499	6699	6288	6966	8095	9725
CORYNEBACTERIUM DIPHTHERIAE	-	-	-	-	1	-

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

7-4-6. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
7-4-6. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	81892(1)	95995	105551	119598	119563	126634
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	3756	4840	4184	3625	4254	4671
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	8701	9181	9924	12100	12459	13534
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	7719	7818	8253	8992	8260	8878
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	1	3	3	1	1	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	27601	33296	35057	36105	36226	37263
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	22091(1)	28574	34806	44123	44313	47551
STREPTOCOCCUS GROUP A	719	668	672	809	820	761
STREPTOCOCCUS GROUP B	2563	3236	4208	5448	5472	5716
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	8171	8193	8145	8221	7518	8027
ANAEROBES	269	147	136	101	184	202
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	301	39	163	73	56	31

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

7-4-7. 分離材料：尿
7-4-7. Specimen : Urine

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	131570(2)	128277	134211	148804	157725	158082
ESCHERICHIA COLI	34306	33719	36111	41307	43054	43015
ENTEROBACTER SPP.	5788	5659	5755	6587	6415	5839
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	7871	6829	7352	9061	10909	10837
ACINETOBACTER SPP.	2108	2043	2251	2225	2430	2340
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	19060	20931	22792	23624	23918	22839
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	8083	8841	10170	12189	12082	12388
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	14527	14324	14037	16799	19393	19897
ENTEROCOCCUS SPP.	28785(2)	27680	28254	30007	33073	34120
CANDIDA ALBICANS	11042	8251	7489	7005	6451	6807

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

7-4-8. 分離材料：陰部尿道頸管擦過（分泌）物
7-4-8. Specimen : Genitourinary source

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
T O T A L	20384	21748	21114	21953	25073	25365
NEISSERIA GONORRHOEAE	816	1021	795	491	463	766
STREPTOCOCCUS GROUP B	5243	6325	6501	7545	9192	9143
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	1108	1409	1942	1871	1747	1866
UREAPLASMA	397	217	193	174	234	181
CANDIDA ALBICANS	12097	12061	11046	11267	12779	12784
TRICHOMONAS VAGINALIS	723	715	637	605	658	625

第6章 ウイルス、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ検出成績



第6章 ウイルス、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ検出成績

1. 検体採取月別、由来ヒト、1995年

1. Isolation/detection of viruses from human sources, by month, Japan, 1995

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	Y	N	L	G	P	T	V	C		
TOTAL	13455	3404	1940	1445	565	558	860	1111	773	491	436	545	1327
COXSA.A2	18	-	-	-	-	3	8	6	-	1	-	-	-
COXSA.A3	7	-	-	-	-	1	2	1	2	1	-	-	-
COXSA.A4	201	-	1	1	4	9	75	80	20	4	4	3	-
COXSA.A5	55	-	-	-	2	4	17	22	5	4	1	-	-
COXSA.A6	73	-	1	-	-	4	16	29	12	5	1	4	1
COXSA.A8	4	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-
COXSA.A9	72	1	-	3	2	2	14	20	10	6	11	2	1
COXSA.A10	38	-	-	-	-	3	7	10	4	9	2	3	-
COXSA.A16	710	2	12	3	23	97	223	245	66	19	11	7	2
COXSA.A24	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
COXSA.B1	11	1	-	1	-	-	-	4	-	3	1	-	1
COXSA.B2	79	2	4	14	5	21	25	6	-	1	1	-	-
COXSA.B3	462	10	10	3	6	5	51	130	104	70	50	15	8
COXSA.B4	100	-	-	-	1	3	5	25	27	14	12	8	5
COXSA.B5	269	5	2	6	6	20	20	91	66	39	9	3	2
COXSA.B6	9	-	-	-	3	-	1	1	2	1	-	1	-
ECHO 1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
ECHO 2	8	-	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 3	15	3	-	2	3	1	-	3	1	2	-	-	-
ECHO 4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
ECHO 6	12	-	-	-	-	1	-	4	3	3	1	-	-
ECHO 7	325	-	1	-	3	9	22	38	56	56	71	56	13
ECHO 9	58	2	1	-	8	4	4	11	11	6	9	2	-
ECHO 11	14	-	-	-	1	3	3	2	-	1	3	1	-
ECHO 14	18	-	-	1	-	3	-	8	3	-	3	-	-
ECHO 16	71	1	-	1	-	-	9	22	10	15	9	2	2
ECHO 17	4	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-
ECHO 18	9	-	-	1	1	-	1	1	-	1	3	1	-
ECHO 22	15	2	-	-	-	-	1	1	2	1	4	3	1
ECHO 24	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	94	2	4	2	2	7	14	32	20	5	2	2	2
ECHO 30	4	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	40	-	-	-	9	6	6	1	1	-	5	9	3
POLIO 2	30	-	-	-	3	7	2	2	-	-	5	3	3
POLIO 3	16	-	-	-	3	-	3	-	1	-	3	5	1
ENTERO71	49	3	6	2	5	13	4	4	8	3	1	-	-
RHINO	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
INF.A(H1)	646	3	4	2	-	-	-	-	-	-	-	46	591
INF.A H1N1	422	14	19	37	10	1	-	-	-	1	-	15	325
INF.A(H3)	1755	1455	290	5	-	2	-	-	-	-	-	-	3
INF.A H3N2	1895	1515	358	19	-	-	-	-	-	-	-	-	3
INF.B	1914	75	820	921	95	2	-	-	-	-	-	-	1
PARAINF.1	54	2	1	5	6	7	8	8	2	4	7	2	2
PARAINF.2	3	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
PARAINF.3	56	-	-	1	7	31	11	2	3	-	1	-	-
RS	94	16	8	17	8	5	2	5	6	1	2	2	22
MUMPS	157	3	4	7	13	10	23	13	25	4	17	22	16
MEASLES	55	2	7	3	1	9	11	10	6	6	-	-	-
REO 1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 2	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
ROTA	785	83	198	246	147	73	7	2	1	1	5	6	16
SRV	266	28	35	7	2	18	3	4	1	1	19	78	70
ADENO NT	135	8	5	6	7	6	15	18	20	17	7	16	10
ADENO 1	169	8	16	8	21	16	22	16	14	11	4	15	18
ADENO 2	293	31	23	8	27	21	39	29	25	13	15	29	33
ADENO 3	533	30	14	13	19	37	65	80	89	60	27	37	62
ADENO 4	67	-	-	5	6	5	7	12	11	6	6	5	4
ADENO 5	126	11	7	5	14	11	17	10	14	7	5	14	11
ADENO 6	38	6	4	2	5	1	8	4	2	3	-	3	-
ADENO 7	102	-	-	-	1	1	16	8	11	11	8	16	30
ADENO 8	144	3	1	7	16	6	10	14	22	17	15	21	12
ADENO 11	53	3	4	4	4	7	3	5	8	7	1	3	4
ADENO 13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
ADENO 19	6	1	-	-	2	-	1	2	-	-	-	-	-
ADENO 37	77	5	4	5	8	8	5	4	10	5	6	9	8
ADENO 40	3	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	21	2	1	-	-	-	-	-	4	1	2	10	1
HSV NT	81	6	13	9	6	7	4	6	8	3	5	11	3
HSV 1	331	38	28	34	27	35	19	21	20	23	35	28	22
HSV 2	16	1	3	1	-	1	-	-	2	3	-	4	1
VZV	24	4	2	5	1	1	2	1	1	1	3	1	2
CMV	227	15	17	20	19	10	28	34	27	12	18	16	11
HEPATITISA	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
CHLAMYD.NT	54	2	3	3	5	4	4	3	9	7	7	4	3
C.TRACHOMA	135	6	6	6	10	13	15	18	8	14	16	16	7

NT: 未同定
NT: Not typed

2. 感染年齢、由来ヒト、1995年

2. Isolation/detection of viruses from human sources, by age of the source case, Japan, 1995

2-1. 年齢別
2-1. Age in years

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

	TOTAL	年齢(歳) AGE IN YEARS															不明 UNKNOWN	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		15-
TOTAL	13455	1347	1696	1130	974	1111	904	813	778	534	518	461	372	318	274	242	1714	269
COXSA.A2	18	1	3	3	3	5	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
COXSA.A3	7	2	-	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A4	201	16	65	40	20	33	14	3	2	1	1	-	-	-	-	1	2	2
COXSA.A5	55	5	15	7	10	5	3	3	3	1	-	2	-	-	-	-	1	-
COXSA.A6	73	9	19	15	11	8	6	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A8	4	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A9	72	10	16	3	13	8	9	6	-	1	1	1	-	-	1	-	2	1
COXSA.A10	38	6	12	4	5	6	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
COXSA.A16	710	44	120	123	86	127	70	48	24	14	12	5	6	4	2	-	16	9
COXSA.A24	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
COXSA.B1	11	4	2	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B2	79	21	15	13	5	6	3	4	4	3	-	2	-	-	3	-	-	-
COXSA.B3	462	103	62	38	54	55	47	26	22	8	13	3	3	1	4	1	15	7
COXSA.B4	100	21	13	7	10	13	10	9	4	5	2	1	-	-	-	-	1	4
COXSA.B5	269	60	37	21	20	33	27	30	10	4	2	4	5	2	4	-	7	3
COXSA.B6	9	3	1	1	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
ECHO 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 3	15	2	3	2	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
ECHO 4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	12	2	3	1	1	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	325	50	40	34	29	40	25	26	24	12	11	9	1	1	2	2	6	13
ECHO 9	58	7	8	5	7	7	6	5	2	3	2	-	1	-	-	-	2	3
ECHO 11	14	-	5	1	-	1	3	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	18	-	2	2	-	3	5	1	2	1	-	-	-	-	-	1	1	-
ECHO 16	71	12	9	7	5	6	6	8	3	3	1	5	1	1	1	1	2	-
ECHO 17	4	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	9	3	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	15	5	6	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	94	27	14	11	9	3	13	10	1	1	1	1	-	1	-	1	-	1
ECHO 30	4	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
POLIO 1	40	23	15	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
POLIO 2	30	22	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	16	6	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	49	5	16	5	9	5	7	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
RHINO	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1)	646	13	29	17	29	64	71	115	153	54	24	21	12	13	1	2	22	6
INF.A H1N1	422	8	18	22	33	57	57	58	62	27	12	17	9	8	5	4	21	4
INF.A(H3)	1755	67	102	89	79	87	92	93	119	109	136	93	83	74	89	73	356	14
INF.A H3N2	1895	56	161	134	105	114	95	95	93	100	104	120	104	111	77	89	298	39
INF.B	1914	49	98	108	102	145	128	123	148	100	117	121	112	73	67	53	343	27
PARAINF.1	54	8	6	8	7	7	5	1	1	-	2	2	2	-	-	-	5	-
PARAINF.2	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.3	56	8	22	8	8	2	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	2
RS	94	42	17	8	13	6	3	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	2
MUMPS	157	3	13	17	22	22	17	13	13	12	9	6	1	1	4	-	2	2
MEASLES	55	10	19	7	4	1	-	5	1	-	-	1	4	-	-	1	1	1
REO 1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	785	254	260	109	55	32	14	6	3	5	9	4	3	3	1	-	8	19
SRV	266	41	51	23	29	8	6	3	8	4	2	5	4	4	-	1	23	54
ADENO NT	135	19	28	9	8	4	3	5	4	3	5	5	2	1	1	-	32	6
ADENO 1	169	17	56	23	15	16	16	5	5	3	-	1	-	-	1	-	6	5
ADENO 2	293	55	77	52	29	29	12	10	4	4	2	1	-	-	-	-	16	2
ADENO 3	533	23	39	42	72	75	67	53	26	25	24	8	9	5	4	1	51	9
ADENO 4	67	-	2	1	3	3	3	3	5	1	2	4	3	1	-	-	36	-
ADENO 5	126	20	31	20	15	19	6	5	2	1	1	2	-	-	1	-	1	2
ADENO 6	38	10	14	5	1	1	3	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1
ADENO 7	102	4	16	10	6	8	4	7	2	7	6	1	2	3	2	2	19	3
ADENO 8	144	2	5	3	1	11	7	1	-	1	3	2	1	-	1	3	99	4
ADENO 11	53	1	-	1	1	1	1	1	1	4	2	1	-	-	-	1	37	1
ADENO 13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ADENO 19	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-
ADENO 37	77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	71	4
ADENO 40	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	21	7	2	3	2	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	3	1
HSV NT	81	7	17	4	4	6	2	6	3	1	2	-	-	-	1	-	27	1
HSV 1	331	21	59	44	21	17	19	7	10	8	5	6	2	7	1	3	87	14
HSV 2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-
VZV	24	1	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	17	-
CMV	227	118	30	10	4	4	5	3	4	-	-	3	-	-	-	-	45	1
HEPATITISA	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
CHLAMYD.NT	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-
C.TRACHOMA	135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	134	1

NT: 未同定
NT: Not typed

2-2. 年齡群別
2-2. Age groups

1996年 9月30日現在報告致
Based on the data received before September 30, 1996

	年齡 (歲) AGE IN YEARS											不明 UNKNOWN
	T	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	
TOTAL	13455	6258	3547	1667	425	378	435	223	112	73	68	269
COXSA.A2	18	15	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
COXSA.A3	7	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A4	201	174	21	2	-	-	1	-	1	-	-	2
COXSA.A5	55	42	10	2	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.A6	73	62	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A8	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A9	72	50	17	2	-	1	1	-	-	-	-	1
COXSA.A10	38	33	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
COXSA.A16	710	500	168	17	3	5	6	1	1	-	-	9
COXSA.A24	4	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1
COXSA.B1	11	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B2	79	60	14	5	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B3	462	312	116	12	10	2	2	1	-	-	-	7
COXSA.B4	100	64	30	1	1	-	-	-	-	-	-	4
COXSA.B5	269	171	73	15	4	-	2	-	-	1	-	3
COXSA.B6	9	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 3	15	10	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ECHO 4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	12	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	325	193	98	15	1	3	2	-	-	-	-	13
ECHO 9	58	34	18	1	-	1	1	-	-	-	-	3
ECHO 11	14	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	18	7	9	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	71	39	21	9	1	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 17	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	9	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	15	13	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	94	64	26	3	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 30	4	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	40	38	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
POLIO 2	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	49	40	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHINO	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1)	846	152	417	49	2	3	12	4	-	1	-	6
INF.A H1N1	422	138	216	43	4	3	11	1	1	1	-	4
INF.A(H3)	1755	424	549	412	140	77	67	38	16	6	12	14
INF.A H3N2	1895	570	487	501	128	60	65	22	12	5	6	39
INF.B	1914	502	616	426	66	76	102	50	23	15	11	27
PARAINF.1	54	36	9	4	1	-	3	-	-	-	-	1
PARAINF.2	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.3	56	48	3	-	1	1	-	-	1	-	-	2
RS	94	86	4	2	-	-	-	-	-	-	-	2
MUMPS	157	77	64	12	1	-	1	-	-	-	-	2
MEASLES	55	41	6	6	1	-	-	-	-	-	-	1
REO 1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	785	710	37	11	-	-	3	1	2	2	-	19
SRV	266	152	23	14	4	9	5	1	3	1	-	54
ADENO NT	135	68	20	9	1	4	9	17	-	1	-	6
ADENO 1	169	127	29	2	1	1	1	2	1	-	-	5
ADENO 2	293	242	32	1	2	1	4	2	3	1	3	2
ADENO 3	533	251	195	27	4	14	20	3	5	5	-	9
ADENO 4	67	9	14	8	-	6	17	5	4	3	1	-
ADENO 5	126	105	15	3	-	-	-	1	-	-	-	2
ADENO 6	38	31	5	1	-	-	-	-	-	-	-	1
ADENO 7	102	44	26	10	11	5	2	1	-	-	-	3
ADENO 8	144	22	12	7	4	31	21	10	13	6	14	4
ADENO 11	53	4	9	2	4	3	11	15	3	1	-	1
ADENO 13	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
ADENO 19	6	1	1	1	-	-	2	-	1	-	-	-
ADENO 37	77	-	-	2	8	20	17	11	3	6	6	4
ADENO 40	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	21	15	1	1	1	-	-	1	-	-	1	1
HSV NT	81	38	14	1	3	6	6	3	4	3	2	1
HSV 1	331	162	49	19	13	19	21	15	6	7	6	14
HSV 2	16	-	-	-	3	4	4	2	-	2	1	-
VZV	24	3	2	2	1	3	2	3	4	3	1	-
CMV	227	166	12	3	-	15	10	10	5	3	2	1
HEPATITISA	3	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-
CHLAMYD.NT	54	-	-	-	3	34	10	3	3	1	-	-
C.TRACHOMA	135	-	-	-	9	66	39	14	5	1	-	1

NT : 未同定
NT : Not typed

2-3. 0歳児の月齢
2-3. Infants

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

	月齢(月) AGE IN MONTHS												不明 UNKNOWN
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
TOTAL	128	119	82	60	57	82	92	116	121	142	140	168	40
COXSA.A2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.A3	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
COXSA.A4	1	-	-	-	-	-	-	2	4	1	3	3	2
COXSA.A5	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	-
COXSA.A6	-	-	-	-	1	1	-	1	-	2	1	3	-
COXSA.A8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A9	1	3	2	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-
COXSA.A10	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-
COXSA.A16	1	2	-	2	-	-	2	1	6	8	9	12	1
COXSA.A24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
COXSA.B2	5	4	3	4	1	1	-	1	-	-	-	-	2
COXSA.B3	43	20	7	4	3	2	3	3	7	-	5	4	2
COXSA.B4	9	-	1	1	-	-	-	2	-	2	2	2	2
COXSA.B5	19	9	9	4	1	1	1	4	4	3	2	3	-
COXSA.B6	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	3	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
ECHO 7	8	10	5	2	2	3	1	4	3	4	6	2	-
ECHO 9	1	1	-	1	1	-	-	1	-	2	-	-	-
ECHO 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	-	7	1	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-
ECHO 17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
ECHO 22	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-
ECHO 24	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	3	8	3	1	3	1	-	-	2	1	-	5	-
ECHO 30	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	-	-	-	1	2	4	6	5	3	2	-	-	-
POLIO 2	-	-	-	1	-	3	3	5	4	2	3	1	-
POLIO 3	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	-
ENTERO71	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
RHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1)	2	-	-	1	-	-	2	2	1	3	-	2	-
INF.A H1N1	-	1	1	-	-	-	1	2	1	-	1	1	-
INF.A(H3)	2	7	4	3	4	6	4	4	5	10	5	9	4
INF.A H3N2	2	5	1	2	2	1	1	9	6	6	7	14	-
INF.B	2	3	1	1	-	4	4	2	5	4	8	12	3
PARAINF.1	-	-	1	1	-	1	-	2	2	1	-	-	-
PARAINF.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.3	-	-	-	-	1	1	1	1	-	2	2	-	-
RS	4	11	7	2	1	4	3	3	2	2	1	1	1
MUMPS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-
MEASLES	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	3	3	-
REO 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	5	10	10	11	15	15	26	23	24	39	31	35	10
SRV	-	-	1	1	1	3	4	3	4	6	6	10	2
ADENO NT	-	-	-	2	3	1	2	3	1	2	2	3	-
ADENO 1	-	-	-	2	1	2	1	3	-	5	1	2	-
ADENO 2	-	1	2	1	3	4	3	5	11	8	8	5	4
ADENO 3	2	2	-	-	-	2	2	2	3	3	4	2	1
ADENO 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 5	-	-	5	-	-	1	2	3	2	1	2	4	-
ADENO 6	-	-	-	-	-	2	-	1	1	2	3	1	-
ADENO 7	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-
ADENO 8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ADENO 11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 40	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-
ADENO40/41	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	3	-
HSV NT	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-
HSV 1	-	-	2	1	1	-	4	-	-	2	3	6	2
HSV 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VZV	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CMV	5	7	11	7	5	14	12	11	13	7	11	11	4
HEPATITISA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CHLAMYD.NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C.TRACHOMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

NT: 未同定
NT: Not typed

3. 性別、由来ヒト、1995年

3. Isolation/detection of viruses from human sources, by sex of the source case, Japan, 1995

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

TOTAL	男性 MALE													女性 FEMALE													性別不明 SEX UNKNOWN
	年齢群 (歳) AGE GROUP (AGE IN YEARS)													年齢群 (歳) AGE GROUP (AGE IN YEARS)													
	TOTAL	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	UNKNOWN	TOTAL	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	UNKNOWN			
TOTAL	13455	7293	3479	1954	919	248	169	172	109	55	29	30	129	6043	2732	1585	745	174	204	263	114	56	43	36	91	119	
COXSA.A2	18	11	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A3	7	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A4	201	92	82	7	1	-	1	-	-	-	-	1	-	108	91	14	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	
COXSA.A5	55	28	22	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	19	4	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
COXSA.A6	73	41	33	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	29	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A8	4	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A9	72	37	27	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	34	23	8	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	
COXSA.A10	38	17	14	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	19	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A16	710	391	284	84	11	2	1	2	1	-	-	-	6	315	213	84	6	1	4	4	-	1	-	-	2	4	
COXSA.A24	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	
COXSA.B1	11	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B2	79	46	34	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	30	23	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
COXSA.B3	462	273	185	67	7	6	1	1	1	-	-	-	-	185	124	49	5	3	1	1	-	-	-	-	-	2	4
COXSA.B4	100	62	38	20	1	1	-	-	-	-	-	-	-	37	26	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
COXSA.B5	269	170	102	54	8	1	-	2	-	-	-	-	-	96	66	19	7	3	-	-	-	-	-	-	-	1	3
COXSA.B6	9	6	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	8	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 3	15	11	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 6	12	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 7	325	188	116	54	7	1	2	1	-	-	-	-	-	120	74	44	8	-	1	1	-	-	-	-	-	2	7
ECHO 9	58	36	22	11	-	-	1	1	-	-	-	-	-	22	12	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 11	14	8	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ECHO 14	18	12	4	7	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 16	71	46	26	16	3	1	-	-	-	-	-	-	-	25	13	5	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 17	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 18	9	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 22	16	7	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 25	94	65	41	22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	28	22	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ECHO 30	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
POLIO 1	40	22	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	16	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
POLIO 2	30	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
POLIO 3	16	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ENTERO71	49	26	22	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	17	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
RHINO	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A NT	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A(H1)	646	343	91	215	31	-	1	3	-	-	-	-	2	301	60	202	18	2	2	9	4	-	1	-	3	2	
INF.A(H1N1)	422	197	53	120	19	2	1	-	-	1	-	-	-	221	83	96	24	2	2	11	1	-	1	-	1	4	
INF.A(H3)	1755	954	238	294	246	77	32	23	17	8	2	6	11	795	185	255	165	62	45	44	21	7	4	5	2	6	
INF.A(H3N2)	1895	937	287	277	269	71	21	21	11	6	2	2	20	896	280	206	230	57	38	44	11	6	3	4	17	12	
INF.B	1914	983	276	328	229	42	31	30	18	11	7	3	8	920	226	286	197	23	42	72	32	12	8	8	14	11	
PARAINF.1	54	23	16	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	31	20	5	3	-	2	-	-	-	-	-	-	1	
PARAINF.2	3	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF.3	56	36	32	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	20	16	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
RS	94	45	42	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	49	44	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
MUMPS	157	92	51	38	7	1	-	-	-	-	-	-	-	57	24	26	5	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2
MEASLES	55	34	26	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	20	14	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
REO 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
REO 2	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ROTA	785	450	408	22	7	-	-	2	1	1	1	-	-	324	296	14	4	-	-	1	-	1	1	-	7	11	
SRV	266	134	79	11	6	2	6	3	-	-	-	-	27	120	73	12	8	2	3	2	1	3	1	-	15	12	
ADENO NT	135	82	43	11	7	-	4	5	11	-	1	-	-	47	25	9	2	1	-	4	6	-	-	-	-	6	
ADENO 1	169	91	68	16	2	-	1	1	-	-	-	-	3	78	59	13	-	1	-	-	2	1	-	-	-	2	
ADENO 2	293	161	136	14	-	1	1	1	2	3	-	2	1	127	103	17	1	-	3	-	-	-	-	-	1	5	
ADENO 3	533	289	133	110	16	2	5	12	2	1	3	-	5	244	118	85	11	2	9	8	1	4	2	-	4	-	
ADENO 4	67	38	7	3	4	-	4	10	3	1	1	-	-	29	2	6	4	-	2	7	2	3	2	1	-	-	
ADENO 5	126	75	66	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50	38	9	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	
ADENO 6	38	26	21	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ADENO 7	102	67	26	16	6	11	5	1	1	-	-	-	-	33	16	10	4	-	1	-	-	-					

4. 検体の種類、由来ヒト、1995年

4. Isolation/detection of viruses from human sources, by source of specimens, Japan, 1995

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

例数	便	鼻	眼	髄	皮膚	尿	血	肝	肺	その他	不明
NUMBER OF CASES	STOOL	NASOPHARYNG. SOURCE	EYE SWAB	SPINAL FLUID	SKIN/VESSICLE SOURCE	URINE	BLOOD	LIVER	LUNG/BRONCH	OTHER	UNKNOWN
TOTAL	13455	1849	10581	438	475	189	172	22	1	24	36
COXSA.A2	18	7	11	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A3	7	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A4	201	168	185	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A5	55	5	59	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A6	73	1	72	-	-	1	-	-	-	-	-
COXSA.A8	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A9	72	16	50	-	7	-	-	-	-	-	-
COXSA.A10	38	3	34	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.A16	710	43	607	1	3	97	-	-	-	-	-
COXSA.A24	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B1	11	4	6	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.B2	79	9	47	1	26	1	3	-	-	-	-
COXSA.B3	462	116	315	1	79	2	9	1	1	1	-
COXSA.B4	100	32	52	-	18	-	-	-	-	-	-
COXSA.B5	269	55	102	3	136	-	1	-	-	-	-
COXSA.B6	9	5	3	-	3	-	-	-	-	-	-
ECHO 1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 3	15	3	11	-	-	1	-	-	-	-	-
ECHO 4	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-
ECHO 6	12	4	10	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	325	61	212	-	106	1	2	-	-	-	-
ECHO 9	58	10	37	-	15	-	-	-	-	-	-
ECHO 11	14	6	5	-	5	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	18	3	12	-	3	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	71	34	50	1	8	-	-	-	-	-	-
ECHO 17	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	9	3	4	-	2	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	15	6	8	-	-	-	1	-	-	-	-
ECHO 24	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	94	35	52	-	12	-	1	-	-	-	-
ECHO 30	4	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
FOLIO 1	40	16	26	-	-	-	-	-	-	-	-
FOLIO 2	30	20	12	-	-	-	-	-	-	-	-
FOLIO 3	16	10	5	-	1	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	49	7	38	-	-	5	-	-	-	-	-
RHINO	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1)	646	-	646	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1N1)	422	-	422	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H3)	1755	-	1754	-	-	-	-	-	1	-	-
INF.A(H3N2)	1895	-	1894	-	1	-	-	-	-	-	-
INF.B	1914	-	1914	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.1	54	-	54	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.2	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.3	56	-	56	-	-	-	-	-	-	-	-
RS	94	-	90	-	-	-	-	-	-	4	-
MUMPS	157	-	117	-	44	-	-	-	-	-	-
MEASLES	55	-	40	1	-	-	21	-	-	-	-
REO 1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	785	785	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	266	266	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO NT	135	58	29	25	-	-	23	-	-	-	-
ADENO 1	169	22	146	2	-	-	1	-	-	1	-
ADENO 2	293	40	253	13	-	-	1	-	-	-	-
ADENO 3	533	41	440	71	1	-	1	-	-	1	-
ADENO 4	67	1	20	48	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 5	126	28	101	-	-	-	-	-	-	1	-
ADENO 6	38	7	31	-	1	-	-	-	-	-	-
ADENO 7	102	23	88	9	-	-	2	-	-	1	-
ADENO 8	144	1	-	143	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 11	53	1	3	1	-	-	48	-	-	-	-
ADENO 13	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 19	6	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	77	-	-	77	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 40	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	21	21	1	-	-	-	-	-	-	-	-
HSV NT	81	-	58	2	-	11	1	-	-	-	9
HSV 1	331	-	241	28	1	44	-	-	-	1	16
HSV 2	16	-	2	-	-	3	1	-	-	-	10
VZV	24	-	-	-	-	23	-	-	-	-	1
CMV	227	-	133	1	-	-	76	-	-	14	1
HEPATITISA	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CHLAMYD.NT	54	-	-	-	-	36	-	-	-	-	40
C.TRACHOMA	135	-	-	7	-	-	-	-	-	-	128

NT: 未同定 異なる種類の検体から同一ウイルスが検出された例を含む
NT: Not typed Including cases from which the same virus was isolated from multiple specimens

6. 臨床症状、由来ヒト、1995年

6. Isolation/detection of viruses from human sources, by clinical condition of the source case, Japan, 1995

1996年9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

	例数	不詳	無症状	発熱	水疱	発疹	口炎	ヘルパンギーナ	手足口病	咽部・筋炎	上気道炎	下気道炎	胃腸炎	肝炎	循環器病	高血圧	髄膜炎	麻痺	泌尿生殖器病	出血性	先天性	その他					
	NUMBER OF CASES	NO DATA	NO ILL.	FEVER	VESICLE	ERUPTION	STOMATITIS	HERPANGINA	H-F-H DIS.	PHARY. & INT.	RESP. UPPER	RESP. LOWER	GASTRO-INTEST.	HEPATITIS	CARD-VASC	HYPERTENS.	ENCEPHALITIS	PARALYSIS	GENIT/URIN	HEMORRHAGIC	CONGENITAL	OTHER					
TOTAL	13455	725	75	9510	132	680	533	371	575	734	6544	909	2493	30	3	6	672	529	31	9	37	67	68	9	2	1325	
COXSA. A2	18	-	-	11	-	-	3	6	-	-	6	2	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. A3	7	-	-	4	-	-	-	3	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. A4	201	-	-	116	3	7	54	139	5	-	71	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. A6	55	-	-	47	2	4	19	25	4	1	13	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A8	73	-	-	45	1	4	6	57	1	-	36	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
COXSA. A9	4	-	-	2	-	-	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A10	72	4	-	38	-	32	1	4	-	1	33	4	10	-	1	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
COXSA. A16	38	-	-	16	1	7	11	24	-	-	5	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
COXSA. A24	710	9	1	254	68	296	254	15	501	4	114	5	13	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
COXSA. B1	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. B2	11	-	1	5	-	-	-	-	-	1	4	2	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. B3	79	2	-	59	-	6	-	-	-	23	23	11	-	-	-	1	18	3	2	1	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. B4	462	38	27	334	1	15	21	29	6	9	210	16	99	2	-	6	73	7	3	2	1	5	-	-	-	-	55
COXSA. B5	100	4	-	56	1	5	2	5	-	3	40	4	21	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
COXSA. B6	269	14	22	199	1	4	4	3	1	2	46	26	32	-	-	5	134	4	1	-	-	-	-	-	-	-	10
ECHO 1	9	-	-	5	-	-	-	1	-	-	1	1	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ECHO 2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 3	8	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	15	1	-	9	-	1	-	-	1	-	8	1	3	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ECHO 5	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	12	-	-	5	-	2	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	325	16	-	240	-	35	3	4	4	1	170	5	76	1	-	11	109	-	-	-	-	2	-	-	-	-	49
ECHO 9	58	1	-	39	-	22	-	-	-	-	15	3	12	1	1	1	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8
ECHO 11	14	1	-	12	-	-	-	2	-	-	4	1	3	-	-	1	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	18	2	2	13	-	7	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	71	-	-	50	-	24	-	1	-	-	14	3	3	1	-	2	26	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
ECHO 17	4	-	-	4	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	9	-	-	8	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	15	2	1	9	-	1	-	-	-	-	7	-	6	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
ECHO 24	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	94	9	4	61	-	6	2	2	-	-	38	8	16	1	-	2	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
ECHO 30	4	-	-	3	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
POLIO 1	40	1	-	23	-	6	1	-	1	-	18	6	21	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
POLIO 2	30	-	-	15	-	2	-	-	-	-	11	6	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
POLIO 3	16	1	-	9	1	2	-	1	-	1	5	1	6	1	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ENTERO71	49	1	2	11	5	14	8	-	31	-	9	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
RHINO	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A NT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A (H1)	646	7	-	566	-	3	-	-	-	41	399	32	85	3	1	15	-	2	-	-	2	-	-	1	-	-	73
INF. A H1N1	422	6	-	387	-	-	-	-	-	36	252	44	43	-	-	12	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	40
INF. A (H3)	1755	25	2	1495	1	6	2	-	-	178	1182	132	200	-	4	24	1	2	1	-	1	2	1	-	-	-	283
INF. A H3N2	1895	52	-	1698	2	8	5	2	-	259	1249	196	165	1	-	41	2	5	-	1	4	-	-	-	-	-	282
INF. B	1914	23	-	1655	-	9	3	1	2	163	1256	137	173	1	-	24	2	2	-	3	-	-	-	-	-	-	187
PARAINF. 1	54	1	-	52	-	1	1	-	-	1	33	10	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
PARAINF. 2	3	-	-	3	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 3	56	1	-	52	-	2	2	-	2	-	36	16	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
RS	94	24	-	59	-	1	-	-	-	-	45	46	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
MUMPS	167	30	1	85	-	1	-	-	-	-	17	1	13	-	-	-	38	-	-	-	4	62	-	-	-	-	18
MEASLES	55	3	-	49	-	30	3	3	-	-	18	6	6	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
REO 1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 2	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	785	19	-	295	-	5	-	-	1	1	110	6	746	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
SRV	266	13	-	86	-	1	-	-	-	-	13	-	251	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
ADENO NT	135	48	-	31	1	2	1	-	-	-	19	1	53	-	-	-	26	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4
ADENO 1	169	10	-	138	-	5	2	1	1	2	108	7	39	2	-	-	9	-	-	-	2	1	-	-	-	-	16
ADENO 2	293	7	1	211	3	16	2	6	2	6	188	47	61	1	-	18	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	22
ADENO 3	533	36	-	423	-	12	3	9	2	3	329	55	98	1	1	142	6	-	-	-	13	1	1	-	-	-	58
ADENO 4	67	3	-	23	-	2	2	-	-	-	20	1	-	-	-	49	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
ADENO 5	126	2	8	94	1	7	2	4	2	1	77	10	37	-	-	4	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	

7. 検出方法、由来ヒト、1995年

7. Isolation/detection of viruses from human sources, by method of isolation, Japan, 1995

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

例 数	培 養 数	培養の方法 ISOLATED BY			電 鏡 法	蛍 光 法	疫 学 検査 法	R P H A	E I A	O T H E R	
		動物 培養	細胞 培養	鶏卵 培養							ISOLATED BY
TOTAL	13455	12261	502	121	11765	537	29	568	25	164	
COXSA. A2	18	18	12	-	6	-	-	-	-	-	
COXSA. A3	7	7	2	-	5	-	-	-	-	-	
COXSA. A4	201	201	150	-	54	-	-	-	-	-	
COXSA. A5	55	55	52	-	4	-	-	-	-	-	
COXSA. A6	73	73	45	-	28	-	-	-	-	-	
COXSA. A8	4	4	2	-	2	-	-	-	-	-	
COXSA. A9	72	72	-	-	72	-	-	-	-	-	
COXSA. A10	38	38	12	-	26	-	-	-	-	-	
COXSA. A16	710	710	227	-	535	-	-	-	-	-	
COXSA. A24	4	4	-	-	4	-	-	-	-	-	
COXSA. B1	11	11	-	-	11	-	-	-	-	-	
COXSA. B2	79	79	-	-	79	-	-	-	-	-	
COXSA. B3	462	462	-	-	462	-	-	-	-	-	
COXSA. B4	100	100	-	-	100	-	-	-	-	-	
COXSA. B5	269	269	-	-	269	-	-	-	-	-	
COXSA. B6	9	9	-	-	9	-	-	-	-	-	
ECHO 1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
ECHO 2	8	8	-	-	8	-	-	-	-	-	
ECHO 3	15	15	-	-	15	-	-	-	-	-	
ECHO 4	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	
ECHO 6	12	12	-	-	12	-	-	-	-	-	
ECHO 7	325	325	-	-	325	-	-	-	-	-	
ECHO 9	58	58	-	-	58	-	-	-	-	-	
ECHO 11	14	14	-	-	14	-	-	-	-	-	
ECHO 14	18	18	-	-	18	-	-	-	-	-	
ECHO 16	71	71	-	-	71	-	-	-	-	-	
ECHO 17	4	4	-	-	4	-	-	-	-	-	
ECHO 18	9	9	-	-	9	-	-	-	-	-	
ECHO 22	15	15	-	-	15	-	-	-	-	-	
ECHO 24	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
ECHO 25	94	94	-	-	94	-	-	-	-	-	
ECHO 30	4	4	-	-	4	-	-	-	-	-	
POLIO 1	40	40	-	-	40	-	-	-	-	-	
POLIO 2	30	30	-	-	30	-	-	-	-	-	
POLIO 3	16	16	-	-	16	-	-	-	-	-	
ENTERO71	49	49	-	-	49	-	-	-	-	-	
RHINO	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
INF. A NT	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
INF. A (H1)	646	646	-	5	646	-	-	-	-	-	
INF. A H1M1	422	422	-	1	421	-	-	-	-	-	
INF. A (H3)	1755	1755	-	41	1723	-	-	-	-	-	
INF. A H3N2	1895	1895	-	47	1878	-	-	-	-	-	
INF. B	1914	1914	-	27	1905	-	-	-	-	-	
PARAINF. 1	54	54	-	-	54	-	-	-	-	-	
PARAINF. 2	3	3	-	-	3	-	-	-	-	-	
PARAINF. 3	56	56	-	-	56	-	-	-	-	-	
RS	94	70	-	-	70	-	-	24	-	-	
MUMPS	157	157	-	-	157	-	-	-	-	-	
MEASLES	55	55	-	-	55	-	-	-	-	-	
REG 1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
REG 2	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	
ROTA	785	-	-	-	234	-	-	476	25	142	
SRV	266	-	-	-	266	-	-	1	-	-	
ADENO NT	135	69	-	-	69	28	-	22	-	21	
ADENO 1	169	169	-	-	169	-	-	-	-	-	
ADENO 2	293	293	-	-	293	1	-	-	-	-	
ADENO 3	533	533	-	-	533	1	-	5	-	-	
ADENO 4	67	67	-	-	67	-	-	9	-	-	
ADENO 5	126	126	-	-	126	-	-	-	-	-	
ADENO 6	38	38	-	-	38	-	-	-	-	-	
ADENO 7	102	102	-	-	102	-	-	1	-	-	
ADENO 8	144	144	-	-	144	-	-	3	-	-	
ADENO 11	53	53	-	-	53	-	-	-	-	-	
ADENO 13	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
ADENO 19	6	6	-	-	6	-	-	-	-	-	
ADENO 37	77	77	-	-	77	-	-	-	-	-	
ADENO 40	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
ADENO40/41	21	-	-	-	-	6	-	21	-	-	
HSV NT	81	81	-	-	81	-	-	-	-	-	
HSV 1	331	321	-	-	321	-	14	-	-	-	
HSV 2	16	11	-	-	11	-	5	-	-	-	
VZV	24	14	-	-	14	-	10	-	-	-	
CMV	227	227	-	-	227	-	-	-	-	-	
HEPATITISA	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	
CHLAMYD. NT	54	1	-	-	1	-	-	53	-	-	
C. TRACHOMA	135	55	-	-	55	-	105	-	-	-	

NT: 未同定 異なる方法で同一ウイルスが検出された例を含む
NT: Not typed Including cases from which the same virus was isolated by multiple methods

8. 検体採取の理由、由来ヒト、1995年

8. Isolation/detection of viruses from human sources, by reason for specimen collection, Japan, 1995

1996年9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

例数	散発	流行	ワクチン接種者	出稼労働者	海外渡来者	検疫所	その他
NUMBER OF CASES	SPORADIC CASE	EPIDEMIC CASE	NATIONAL EPIDEMIOLOGICAL SURVEILLANCE OF VACCINE-PREVENTABLE DISEASES	REGIONAL (EPIDEMIOLOGICAL) SURVEILLANCE/SPECIAL STUDY	NATIONAL EPIDEMIOLOGICAL SURVEILLANCE OF INFECTIOUS DISEASES	OTHER	OTHER
TOTAL	13455	2502	1375	1206	2314	8408	33
COXSA.A2	18	-	2	-	-	18	-
COXSA.A3	7	-	-	-	3	6	-
COXSA.A4	201	9	12	-	25	179	-
COXSA.A6	55	1	1	-	13	48	-
COXSA.A6	73	4	20	-	5	68	-
COXSA.A8	4	-	1	-	-	4	-
COXSA.A9	72	13	5	-	12	57	-
COXSA.A10	38	6	13	-	1	37	-
COXSA.A16	710	109	63	1	78	624	-
COXSA.A24	4	3	-	-	-	1	-
COXSA.B1	11	3	1	-	-	7	-
COXSA.B2	79	6	-	1	-	76	-
COXSA.B3	462	64	-	37	117	272	-
COXSA.B4	100	25	2	-	7	89	-
COXSA.B5	269	32	1	22	15	218	-
COXSA.B6	9	3	1	-	-	9	-
ECHO 1	1	-	-	-	-	1	-
ECHO 2	8	-	-	-	-	8	-
ECHO 3	16	2	-	-	5	9	-
ECHO 4	2	-	-	-	-	2	-
ECHO 6	12	1	-	-	1	11	-
ECHO 7	325	35	5	12	50	246	-
ECHO 9	58	4	1	-	6	51	-
ECHO 11	14	-	1	-	-	14	-
ECHO 14	18	3	1	2	-	14	-
ECHO 16	71	13	1	-	2	66	-
ECHO 17	4	1	1	-	1	2	-
ECHO 18	9	3	-	1	3	6	-
ECHO 22	15	3	-	1	4	7	-
ECHO 24	1	-	-	-	-	1	-
ECHO 25	94	10	-	4	14	68	-
ECHO 30	4	-	-	1	2	1	-
POLIO 1	40	2	-	2	8	30	-
POLIO 2	30	2	-	1	8	21	-
POLIO 3	16	3	-	-	4	10	-
ENTERO71	49	11	6	2	2	39	-
RHINO	1	-	-	-	1	-	-
INF.A NT	1	1	-	-	-	1	-
INF.A(H1)	646	13	175	73	66	428	-
INF.A H1N1	422	59	19	89	37	269	-
INF.A(H3)	1755	397	320	374	117	1084	-
INF.A H3N2	1895	262	371	277	372	986	12
INF.B	1914	372	144	262	646	1046	13
PARAINF.1	54	13	-	8	35	11	-
PARAINF.2	3	-	-	-	2	1	-
PARAINF.3	56	2	-	-	45	10	-
RS	94	40	-	-	23	31	-
MUMPS	157	22	4	-	12	127	8
MEASLES	56	9	26	-	5	47	-
REO 1	1	-	-	-	-	1	-
REO 2	2	-	-	1	1	1	-
ROTA	785	148	28	-	116	600	-
SRV	266	67	98	-	45	120	-
ADENO NT	135	68	3	2	18	81	-
ADENO 1	169	15	-	5	61	102	-
ADENO 2	293	23	1	7	76	205	-
ADENO 3	533	93	9	14	96	381	-
ADENO 4	67	26	1	1	19	40	-
ADENO 5	125	6	-	14	36	72	-
ADENO 6	38	4	-	1	13	24	-
ADENO 7	102	27	11	-	6	67	-
ADENO 8	144	83	7	-	3	131	-
ADENO 11	53	41	-	-	1	11	-
ADENO 13	1	-	-	-	-	1	-
ADENO 19	6	2	1	-	2	4	-
ADENO 37	77	64	-	-	2	72	-
ADENO 40	3	-	-	-	-	3	-
ADENO40/41	21	10	-	-	2	18	-
HSV NT	81	34	-	-	32	16	-
HSV 1	331	95	8	-	56	198	-
HSV 2	16	8	-	-	-	9	-
VZV	24	24	-	-	-	-	-
CMV	227	144	-	-	82	1	-
HEPATITISA	3	-	3	-	-	-	-
CHLAMYD.NT	54	54	-	-	-	53	-
C.TRACHOMA	135	10	-	-	-	135	-

注：素同定 複数回答あり
BY: Not typed Including cases for which multiple answers were furnished

9. 検査実施機関、由来ヒト、1995年

9. Isolation/detection of viruses from human sources, by institution, Japan, 1995

1995年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

合計	地 研	病 院・大 学		民 間 検 査 機 関
		HOSPITAL/UNIVERSITY	COMMERCIAL DIAGNOSTIC LABORATORY	
TOTAL	PUBLIC HEALTH INSTITUTE			
TOTAL	13455	12061	817	577
COXSA. A2	18	18	-	-
COXSA. A3	7	7	-	-
COXSA. A4	201	201	-	-
COXSA. A5	55	55	-	-
COXSA. A6	73	73	-	-
COXSA. A8	4	4	-	-
COXSA. A9	72	65	3	4
COXSA. A10	38	38	-	-
COXSA. A16	710	662	42	6
COXSA. A24	4	1	-	3
COXSA. B1	11	11	-	-
COXSA. B2	79	77	-	2
COXSA. B3	462	386	46	30
COXSA. B4	100	97	-	3
COXSA. B5	269	249	7	13
COXSA. B6	9	9	-	-
ECHO 1	1	1	-	-
ECHO 2	8	8	-	-
ECHO 3	15	14	-	1
ECHO 4	2	2	-	-
ECHO 6	12	12	-	-
ECHO 7	325	306	2	17
ECHO 9	58	57	-	1
ECHO 11	14	14	-	-
ECHO 14	18	16	-	2
ECHO 16	71	70	1	-
ECHO 17	4	4	-	-
ECHO 18	9	9	-	-
ECHO 22	15	12	-	3
ECHO 24	1	1	-	-
ECHO 25	94	86	-	8
ECHO 30	4	4	-	-
POLIO 1	40	38	2	-
POLIO 2	30	28	2	-
POLIO 3	16	15	-	1
ENTERO71	49	48	-	1
RHINO	1	-	1	-
INF. A NT	1	1	-	-
INF. A(H1)	646	646	-	-
INF. A H1N1	422	405	17	-
INF. A(H3)	1755	1755	-	-
INF. A H3N2	1895	1682	213	-
INF. B	1914	1720	192	2
PARAINF.1	54	44	10	-
PARAINF.2	3	1	2	-
PARAINF.3	56	35	20	1
RS	94	48	23	23
MUMPS	157	144	2	11
MEASLES	55	51	3	1
REO 1	1	1	-	-
REO 2	2	2	-	-
ROTA	785	775	10	-
SRV	266	266	-	-
ADENO NT	135	74	6	55
ADENO 1	169	141	23	6
ADENO 2	293	261	29	3
ADENO 3	533	469	21	43
ADENO 4	67	59	-	8
ADENO 5	126	113	11	2
ADENO 6	38	34	4	-
ADENO 7	102	85	-	17
ADENO 8	144	134	-	10
ADENO 11	53	12	-	41
ADENO 13	1	1	-	-
ADENO 19	6	6	-	-
ADENO 37	77	74	-	3
ADENO 40	3	3	-	-
ADENO40/41	21	21	-	-
HSV NT	81	19	29	33
HSV 1	331	265	5	61
HSV 2	16	11	-	5
VZV	24	1	9	14
CMV	227	1	82	144
HEPATITISA	3	3	-	-
CHLAMYD. NT	54	54	-	-
C. TRACHOMA	135	135	-	-

NT:未同定
NT:Not typed

12. 年別、由来ヒト、1990～1995年

12. Isolation/detection of viruses from human sources, by year, Japan, 1990-1995

1996年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1996

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
TOTAL	10545	13287	10674	10387	9181	13455
COXSA.A NT	1	1	6	-	-	-
COXSA.A1	-	-	2	-	-	-
COXSA.A2	126	269	14	25	99	18
COXSA.A3	15	2	8	11	3	7
COXSA.A4	107	184	226	179	87	201
COXSA.A5	112	50	45	64	81	55
COXSA.A6	45	260	60	84	30	73
COXSA.A7	4	2	1	-	2	-
COXSA.A8	3	4	2	20	3	4
COXSA.A9	76	54	107	97	82	72
COXSA.A10	269	29	271	46	204	38
COXSA.A16	347	106	171	170	124	710
COXSA.A24	-	-	-	30	3	4
COXSA.B1	21	170	261	7	107	11
COXSA.B2	224	43	112	94	338	79
COXSA.B3	339	80	49	97	188	462
COXSA.B4	25	58	208	108	212	100
COXSA.B5	224	37	38	88	379	269
COXSA.B6	31	4	3	-	3	9
ECHO NT	-	-	2	-	1	-
ECHO 1	-	-	-	-	2	1
ECHO 2	-	-	-	-	-	8
ECHO 3	3	3	2	73	101	15
ECHO 4	-	3	13	7	7	2
ECHO 5	3	46	94	4	5	-
ECHO 6	23	55	658	40	17	12
ECHO 7	3	-	2	127	23	325
ECHO 9	433	350	662	186	592	58
ECHO 11	98	22	75	511	59	14
ECHO 14	32	9	3	10	6	18
ECHO 15	2	-	-	-	1	-
ECHO 16	3	2	42	23	7	71
ECHO 17	-	-	3	14	12	4
ECHO 18	5	8	24	51	26	9
ECHO 19	1	2	1	3	-	-
ECHO 21	5	-	-	-	-	-
ECHO 22	7	33	16	21	21	15
ECHO 24	10	3	275	3	9	1
ECHO 25	69	33	9	21	50	94
ECHO 27	-	6	3	4	-	-
ECHO 30	573	4062	63	93	8	4
ECHO 31	-	-	5	-	-	-
ECHO 33	-	-	-	-	11	-
POLIO 1	27	43	33	53	38	40
POLIO 2	21	31	34	49	29	30
POLIO 3	20	39	29	37	21	16
ENTERO71	443	50	53	305	153	49
RHINO	1	30	17	8	2	1

NT: 未同定

NT: Not typed

12. Continued

1996年 9月30日現在報告数

Based on the data received before September 30, 1996

	1990	1991	1992	1993	1994	1995
INF. A NT	-	1	10	9	-	1
INF. A(H1)	-	210	1191	-	20	646
INF. A H1N1	-	98	766	-	7	422
INF. A(H3)	700	1253	555	993	1023	1755
INF. A H3N2	814	798	603	1097	843	1895
INF. B	1555	579	246	2268	194	1914
INF. C	1	4	2	4	-	-
PARA INF. NT	1	-	1	-	-	-
PARA INF. 1	8	16	9	21	16	54
PARA INF. 2	34	27	57	3	27	3
PARA INF. 3	33	30	27	69	47	56
RS	58	127	82	61	87	94
MUMPS	291	225	137	109	171	157
MEASLES	4	19	22	15	20	55
RUBELLA	10	12	2	2	1	-
REO NT	1	-	-	-	1	-
REO 1	-	-	1	-	3	1
REO 2	2	1	5	4	3	2
ROTA	525	574	559	805	907	785
ROTA C	-	8	1	18	-	-
SRV	155	161	43	136	318	266
ADENO NT	138	112	87	107	95	135
ADENO 1	137	163	179	152	193	169
ADENO 2	262	260	321	242	280	293
ADENO 3	652	687	567	462	647	533
ADENO 4	134	229	225	60	57	67
ADENO 5	83	120	105	129	139	126
ADENO 6	28	39	49	31	51	38
ADENO 7	-	-	15	3	-	102
ADENO 8	41	91	42	20	25	144
ADENO 11	47	19	59	50	49	53
ADENO 13	-	-	-	-	-	1
ADENO 14	-	1	-	-	-	-
ADENO 19	31	39	10	15	23	6
ADENO 31	-	2	-	1	-	-
ADENO 37	46	86	23	4	30	77
ADENO 40	2	-	7	4	-	3
ADENO 41	3	17	9	5	4	-
ADENO40/41	-	-	-	13	5	21
HSV NT	93	106	153	89	77	81
HSV 1	440	466	479	395	411	331
HSV 2	105	101	66	54	46	16
VZV	29	42	31	27	25	24
CMV	325	381	226	147	188	227
HEPATITISA	5	-	-	-	2	3
C. BURNETII	-	-	-	4	-	-
R. TSUTSUG.	-	2	-	1	-	-
CHLAMYD. NT	80	96	80	68	54	54
C. TRACHOMA	246	280	221	210	185	135
M. PNEUMON.	33	2	-	-	-	-

NT: 未同定

NT: Not typed

第7章 結核・感染症サーベイランス事業の実施について
(局長通知)

健医発 第704号
昭和61年6月9日

都道府県知事 }
政令市長 } 殿
特別区長 }

厚生省保健医療局長

結核・感染症サーベイランス事業
の実施について

感染症サーベイランス事業の実施については、かねてから御尽力を願っているところであるが、昭和62年1月からは、結核等を対象疾病に追加するとともに、全国的規模のコンピュータ・オンライン・システムを樹立することにより、迅速な情報の収集、解析及び還元を図るため、本事業を実施することとし、別添「結核・感染症サーベイランス事業実施要綱」を定めたので、本事業の実施については格段の御配意をお願いする。

なお、本事業実施上の細部については、別途当局結核難病感染症課長、感染症対策室長から通知することとしているので申し添える。

結核・感染症サーベイランス事業実施要綱

(昭和61年6月9日)
保健医療局長通知

第1 目 的

近年、公衆衛生の向上、生活環境の変化等により、各種感染症の発生状況は著しく変貌してきた。結核については、かつてに比べ患者数等は減少しているが、近年、減少率の鈍化、地域的偏在、集団発生の散発等がみられ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されていることから、患者発生状況、受療状況等の実態を集中的に把握し、その詳細な分析を行うことにより、効果的な予防対策を講ずるとともに、患者管理の充実を図る必要がある。

また、結核以外の感染症については、法定・指定伝染病は急速に減少してきた反面、風しん、手足口病、ウイルス肝炎、性行為感染症等の流行が社会的に問題となっていることから、医療機関の協力を得て、これら感染症の患者発生状況、病原体検索結果等の流行実態を早期かつ的確に把握することにより、必要な情報を速やかに地域に還元するとともに、予防接種、衛生教育等の適切な予防措置を講ずる必要がある。

このため、結核その他の感染症に関する情報を全国的規模で迅速に収集、解析、還元するコンピュータ・オンライン・システムを樹立し、これらの疾病に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資することを目的として、本事業を実施するものとする。

第2 対象疾病

この事業の対象とする疾病は、次のとおりとする。

(1)結核 (2)麻しん様疾患 (3)風しん (4)水痘 (5)流行性耳下腺炎 (6)百日せき様疾患 (7)溶連菌感染症 (8)異型肺炎 (9)感染性(ウイルス性及び細菌性)胃腸炎(乳児嘔吐下痢症を除く。)(10)乳児嘔吐下痢症 (11)手足口病 (12)伝染性紅斑 (13)突発性発しん (14)ヘルパンギーナ (15)インフルエンザ様疾患 (16)MCLS(川崎病) (17)咽頭結膜熱 (18)流行性角結膜炎 (19)急性出血性結膜炎 (20)感染性髄膜炎 ((a)細菌性髄膜炎 (b)無菌性髄膜炎) (21)脳・脊髄炎 ((a)脳炎 (b)脳症 (c)ライ症候群 (d)脊髄炎) (22)ウイルス肝炎 ((a)A型肝炎 (b)B型肝炎 (c)その他のウイルス肝炎) (23)淋病様疾患 (24)陰部クラミジア感染症 (25)陰部ヘルペス (26)尖圭コンジローム (27)トリコモナス症

第3 実施主体

実施主体は、国、都道府県及び保健所を設置する市(特別区を含む)とする。

第4 実施体制の整備

情報処理の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制を整備するものとする。

1 結核・感染症情報センター

(1) 中央結核・感染症情報センター(厚生省)

中央結核・感染症情報センターは、地方結核・感染症情報センターから伝送された患者情報及び国立予防衛生研究所から報告された検査情報を集計、解析し、その結果を全国情報として速やかに地方結核・感染症情報センター等に還元するための中心的役割を果たす。

(2) 地方結核・感染症情報センター（都道府県・指定都市衛生主管部局）

地方結核・感染症情報センターは、地域内における患者情報及び検査情報を収集し、全国情報と併せて、これらを速やかに保健所、医師会等関係機関に還元する。

2 定 点

都道府県（指定都市の区域内にあっては指定都市）は、結核以外の対象疾病について、患者情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、第5の1に従い、患者定点及び検査定点をあらかじめ選定する。

なお、結核については、結核予防法による医療機関からの届出等の情報が保健所に集積されていることから、本事業においては、これらの患者情報のうち広域的な集計、解析に必要なものを保健所から収集するものとする。

3 結核・感染症サーベイランス委員会

(1) 結核・感染症サーベイランス委員会

本事業の適切な運用を図るため、厚生省に結核・感染症対策に関する学識経験者からなる結核・感染症サーベイランス委員会を置き、同委員会に結核・感染症サーベイランスのシステムの検討を行うためのサーベイランス・システム小委員会及び情報の解析評価を行うための情報解析小委員会を置く。

(2) 地方結核・感染症サーベイランス委員会

地方における事業の適切な運用を図るため、都道府県及び指定都市に小児科、内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、微生物学、疫学等の専門家（10名程度）からなる地方結核・感染症サーベイランス委員会を置き、必要な情報の解析評価等を行う。

第5 事業の実施

1 定点の選定

(1) 患者定点

結核以外の対象疾病については、患者発生状況を地域的に把握するため、都道府県及び指定都市は、次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から患者定点を選定する。

ア 人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ当該都道府県（市）全体の疾病の発生状況を把握できるよう考慮すること。

イ 対象疾病のうち第2の(2)から(17)までに掲げる疾病については、小児科及び内科の医療機関（主として小児科）を患者定点とし、定点数は別記1に掲げる「保健所の人口規模別による患者定点の算出方法」を参考として算定すること。

ウ 第2の(17)から(19)までに掲げる疾病については、眼科の医療機関を患者定点とし、定点数は前記イにより算定された定点数の概ね10%（その値が3未満である都道府県（市）にあっては、3か所）とすること。

エ 第2の(16)及び(20)から(22)までに掲げる疾病については、対象者がほとんど入院患者であるため病院（主として小児科、内科）を患者定点とし、定点数は前記イにより算定された定点数の概ね10%（その値が5未満である都道府県（市）にあっては、5か所）とすること。

オ 第2の(2)から(7)までに掲げる疾病については、皮膚科及び泌尿器科の医療機関を患者定点として、定点数は別記1に掲げる「保健所の人口規模別による患者定点の算出方法」を参考として算定すること。

(2) 検査定点

病原体の分離等検査情報を収集するため、医療機関を検査定点とし、都道府県及び指定都市は、次の点に留意してこれを選定する。

ア 原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定すること。

イ 第2の(2)から(9)までに掲げる疾病についての検査定点数は、(1)のイ及びウにより選定された患者定点数の概ね30%とすること。

ウ (1)のエにより選定された病院は、第2の(2)から(7)までに掲げる疾病についての検査定点とすること。

エ (1)のオにより選定された医療機関は、第2の(2)から(7)までの疾病についての検査定点とすること。

2 調査単位等

(1) 患者情報のうち、前記1の(1)のイ及びウにより選定された医療機関に関するものについては1週間（日曜日から土曜日まで）を調査単位とし、同エ及びオにより選定された医療機関に関するものについては月を調査単位とする。

(2) 病原体検査情報については、原則として月間を調査単位とする。

(3) 結核については、(1)に定めるところは別に情報の収集を図るものとするが、その結果は、新登録患者に関しては原則として月報、登録除外者に関しては年報、登録者の全体に関しては年末現在につき年報として取りまとめるものとする。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における主として臨床的診断の結果をもって、患者発生状況の把握を行うものとする。

イ 前記1の(1)のイにより選定された小児科、内科の医療機関においては別紙様式1により、同ウにより選定された眼科の医療機関においては別紙様式2により、同エにより選定された病院においては別紙様式3により、同オにより選定された皮膚科、泌尿器科の医療機関においては別紙様式4により、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。

ウ 別紙様式1から4までによる患者情報については、調査単位が週単位の場合は翌週の火曜日まで、月単位の場合は翌月の3日までに到着するように、郵送等により提供を図るものとする。この場合において、提供の方法については、患者情報の円滑な収集の観点から、地域の特性に応じた適切な方法を採用することができるものとする。

(2) 検査定点

ア 検査定点として選定された医療機関は、別に定める「病原体検査指針」により、細菌学的及びウイルス学的検査のために検体を採取する。

イ 検査定点で採取された検体は、別紙様式5の検査依頼票を添付して、速やかに地方衛生研究所へ搬送する。

(3) 保健所

ア 保健所は、患者定点から得られた患者情報（別紙様式1～4）の情報項目を、調査単位が週単位の場合は調査対象週の翌週の水曜日まで、月単位の場合は調査対象月の翌月の4日までに、地方結核・感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する。

なお、別紙様式3及び別紙様式4による調査票のうち原因病原体に関する記載のあるものについては、その写を同時に送付する。

また、対象疾病についての集団発生その他特記すべき情報についても、地方結核・感染症情報センターに報告する。

イ 保健所は、地方結核・感染症情報センターから呼び出した患者情報を速やかに週報（月単位の場合は月報）として、市町村、患者定点その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関へ配布する。

ウ 保健所は、結核予防法の届出等に基づく結核患者等の情報のうち別記2に掲げる事項を、新登録患者については所定の情報が得られ次第コンピュータ・オンラインにより、年末現在の登録者及び年間の登録除外者については翌年の1月20日までにコンピュータ・オンライン又はフロッピー・ディスクにより、地方結核・感染症情報センターへ伝送又は送付する。

なお、結核の患者又は登録者に関する情報のコンピュータ処理に当たっては、患者等のプライバシーの保護に十分な注意を払うものとする。

エ 指定都市以外の保健所設置市（区）の保健所は、本事業により得られた情報について、当該市（区）衛生主管部局と緊密な連絡を図るものとする。

(4) 地方衛生研究所

ア 地方衛生研究所は、前記(2)のイにより搬送された検体を検査し、その結果を保健所を經由して検査定点に通知するとともに、これを検査情報として地方結核・感染症情報センターへ報告する。

イ 検査のうち地方衛生研究所において実施することが困難なものについては、必要に応じ国立予防衛生研究所へ検査依頼する。

ウ 地方衛生研究所は、別紙様式6および7により、前記アの検査情報を月単位にとりまとめ、翌月の15日までに国立予防衛生研究所に到着するように報告する。

ただし、ウイルス分離結果については、別紙様式8のマークシートによりその都度報告する。

(5) 国立予防衛生研究所

ア 国立予防衛生研究所は、地方衛生研究所から検査依頼を受けた検体について検査を実施し、その結果を地方衛生研究所へ通知する。

イ 国立予防衛生研究所は、前記(4)のウにより地方衛生研究所から報告された検査情報を集計し、報告を受けた月の翌月の20日までに中央結核・感染症情報センターへ報告する。

ただし、ウイルス分離結果等で特に重要なものについては、その都度報告する。

(6) 地方結核・感染症情報センター

ア 地方結核・感染症情報センターは、管内の患者定点、保健所から得られた患者情報を編集し、調査単位が週単位の場合は調査対象週の翌週の木曜日の午前中まで、月単位の場合は調査対象月の翌月の5日まで、結核の新登録患者については保健所からの情報の伝送があり次第コンピュータ・オンラインにより、結核の年末現在の登録者及び年間の登録除外者については翌年の1月末日までにコンピュータ・オンライン又はフロッピー・ディスクにより、中央結核・感染症情報センターへ伝送又は送付する

また、対象疾病についての集団発生、その他特記すべき情報についても、中央結核・感染症情報センターへ報告する。

なお、別紙様式3及び別紙様式4による調査票のうち原因病原体の記載のあるものについては、その写を同時に送付する。

イ 地方結核・感染症情報センターは、管内の患者定点、保健所から得られた患者情報の集計とあわせて、地方衛生研究所から通報された検査情報及び中央結核・感染症情報センターから呼び出した全国情報の解析評価を行い、速やかに保健所、医師会、市町村等の関係機関へ還元する。

(7) 中央結核・感染症情報センター

ア 中央結核・感染症情報センターは、地方結核・感染症情報センターから伝送された患者情報を速やかに集計し、解析評価を加えた全国情報を、調査単位等の区分に応じ週報、月報又は年報として作成する。

イ 中央結核・感染症情報センターは、国立予防衛生研究所から報告された検査情報の解析評価を行い、速やかに地方結核・感染症情報センターへ送付する。

第6 費 用

国は、本事業に要する費用のうち都道府県、指定都市、政令市、特別区が支弁するものについて、予算の範囲内において別に定めるところにより補助するものとする。

第7 実施時期

この実施要綱は、昭和62年1月1日から施行する。

別記1

保健所の人口規模別による患者定点の算出方法

保健所の区分	患者定点数	
	(2)～(17)の疾病 小児科・内科定点	(23)～(27)の疾病 病院定点
1型 (所管人口25万以上)	5	1
2型(所管人口17万5千 以上25万未満)	4	1
3型(" 12万5千 以上17万5千未満)	3	1
4型(" 7万5千 以上12万5千未満)	2	1
5型(" 3万以上 7万5千未満)	1	
S型 (" 3万未満)	1	

1. 新登録患者

- (1) 患者の生年月、性別及び市町村
- (2) 登録までの状況
- (3) 病状及び治療状況

2. 登 録 者

- (1) 登録者の生年月、性別及び市町村
- (2) 登録当時の状況
- (3) 現在の病状及び治療状況
- (4) 病状等の経過

3. 登録除外者

- (1) 登録除外者の生年月、性別及び市町村
- (2) 登録時以降の経過の概要
- (3) 除外年月日及び除外理由

様式1. 結核・感染症サーベイランス調査票（小児科・内科用）

調査期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

平成 年 第 週 市町村コード 電話番号

病名	年齢									合計	合計のうち 予防接種(+)
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~			
麻疹様疾患											
風しん											
水痘											
流行性耳下腺炎											
百日せき様疾患											
溶連菌感染症											
異型肺炎											
感染性胃腸炎											
乳児嘔吐下痢症											
手足口病											
伝染性紅斑											
突発性発しん											
ヘルパンギーナ											

病名	年齢										合計	合計のうち 予防接種(+)
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~		
インフルエンザ様疾患												

病名	年齢									合計
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~		
M C L S										
咽頭結膜熱										

その他特記事項

様式2. 結核・感染症サーベイランス調査票（眼科用）

平成 年 月 日 町村コード 区コード

調査期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

年齢 病名	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~	合計
	咽頭結膜炎								

年齢 病名	0歳	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-	合計
	流行性角結膜炎																	
急性出血性結膜炎																		

その他特記事項

様式4. 結核・感染症サーベイランス調査票（STD診療科用）

調査期間 平成 年 月 1日 ~ 月 末日

平成 年 月 日
 調査コード

病名		年齢													
		0-4歳	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-	計
淋病様疾患	男														
	女														
陰部クラミジア感染症	男														
	女														
陰部ヘルペス	男														
	女														
尖圭コンジローム	男														
	女														
トリコモナス症	男														
	女														

その他特記事項

様式 5.

感染症サーベイランス検査依頼票	
材料採取定点 定点No. _____	
機関名 _____	衛研受付番号 _____
担当者(主治医) _____	No. _____
材料送付日 年 月 日	検体番号 No. _____
患者	氏名 男、女* 年 月 日生(歳) 住所 (市町村名まで記入)
検査材料	採取日 年 月 日 材料の種類* ふん便、咽頭うがい液、鼻咽頭口腔ぬぐい液、結膜ぬぐい液、髄液、皮膚病巣、尿、血液、陰部尿道頸管擦過(分泌)物、穿刺吸引物(部位: _____)、生・剖検材料(臓器: _____) その他(_____)
臨 床 報 告	発病日 年 月 日
	疫学的事項* 散発、流行(幼稚園、保育所、育児所、学校、宿舎、家族内、地域) その他(_____)
	臨床診断名* 麻疹様疾患、風しん、水痘、流行性耳下腺炎、百日せき様疾患、溶連菌感染症、異型肺炎、感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、インフルエンザ様疾患、MCLS(川崎病)、咽頭結膜炎、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、感染性髄膜炎(細菌性、無菌性)、脳・脊髄炎、(脳炎、脳症、ライ症候群、脊髄炎)、ウイルス肝炎(A型肝炎、B型肝炎、その他のウイルス肝炎)、淋病様疾患(淋菌感染症)、陰部クラミジア感染症、陰部ヘルペス、尖圭コンジローム、トリコモナス症 その他(_____)
	臨床症状・徴候等* 無症状、発熱(最高 ℃)、水疱、発疹、口内炎、関節痛・筋肉痛、上気道炎、下気道炎(肺炎を含む)、胃腸炎、肝炎、腎炎、循環器障害、角膜炎、結膜炎、髄膜炎、脳炎、麻痺、尿路生殖器症状、リンパ節腫脹、唾液腺腫脹、出血傾向、先天性疾患 その他
連絡事項等	
検査結果	報告日 年 月 日 検出病原体
* 印の欄は、該当事項に○印をする。	

様式 6. 病原微生物検出報告書 (書式 3 A - 表)

病原菌検出状況報告書

(地研・総研所兼計)

発信日 年 月 日
 報告内容 年 月 日
 報告内容 定期 追加 変更

報告機関名

コード番号

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数 () ^{a)}
001	<i>Escherichia coli</i> (Total) ^{env}	
002	<i>Shigella</i> (Total)	
003	<i>Salmonella</i> Typhi	
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	
006	<i>Salmonella</i> O4 (B)	
007	<i>Salmonella</i> O7 (C1, C4)	
008	<i>Salmonella</i> O8 (C2, C3)	
009	<i>Salmonella</i> O9 (D1)	
010	<i>Salmonella</i> O9, 4b (D2)	
013	<i>Salmonella</i> O3, 10 (E1, E2, E3)	
014	<i>Salmonella</i> O13 (G1, G2)	
015	<i>Salmonella</i> O18 (K)	
016	<i>Salmonella</i> その他	
017	<i>Salmonella</i> 群不明	
018	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	
019	<i>Yersinia enterocolitica</i>	
405	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Ogawa, CT (+)	
406	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Ogawa, CT (-)	
407	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Inaba, CT (+)	
408	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Inaba, CT (-)	
409	<i>V. cholerae</i> O139, CT (+) ^{g)}	
410	<i>V. cholerae</i> O139, CT (-) ^{g)}	
411	<i>Vibrio cholerae</i> O1 & O139 以外	
022	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
104	<i>Vibrio fluvialis</i>	
115	<i>Vibrio mimicus</i>	
206	<i>Aeromonas hydrophila</i>	
207	<i>Aeromonas sobria</i>	
111	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず	
101	<i>Plesiomonas shigelloides</i>	
208	<i>Campylobacter jejuni</i>	
209	<i>Campylobacter coli</i>	
023	<i>Campylobacter jejuni/coli</i> 種別せず	
024	<i>Staphylococcus aureus</i> ^{env}	
	合 計	

^{a)} *V. cholerae* O139 が検出された場合は、菌株の [*V. cholerae* O139 併発] 記入欄に記入してください。

()^{g)} : 菌株検出番号分再掲

^{env} : 急性胃腸炎の原因菌と考えられるもののみ記載

^{env} : 菌株検出番号分再掲を行なった時は患者・検体番号別の内訳を裏面に併記してください。

^{g)} : 追加の報告書作成の際には追加する数字のみを記入し、合計の欄には何も記入しないでください。

^{g)} : 変更の報告書作成の際には元の数字と変更した数字とを両方併記してください。例 4-1-5 (A) をらに変更する場合)

(毎月15日/切)

コード	<i>Shigella</i> の型別 (再掲)	ヒト由来 検出数 () ^{a)}
074	<i>Shigella boydii</i> 1	
075	" 2	
076	" 3	
077	" 4	
078	" 5	
079	" 6	
080	" 7	
081	" 8	
082	" 9	
083	" 10	
084	" 11	
085	" 12	
086	" 13	
087	" 14	
088	" 15	
214	" 16	
215	" 17	
216	" 18	
089	" 型不明	
090	<i>Shigella sonnei</i>	
091	<i>Shigella</i>	

コード	<i>Escherichia coli</i> の内訳 (再掲)	ヒト由来 検出数 () ^{a)}
092	<i>Escherichia coli</i> 細菌侵入性	
093	" 毒素原性	
094	" 病原大腸菌血清型	
305	" EHEC/VTec ^{env}	
095	" その他・不明	

^{env} Vero 毒素産生性を確認した例について検出源を記入してください。また、下記のエHEC/VTec 菌株記入欄に検出点でわかる範囲の情報を記入してください。

コード	<i>Shigella</i> の型別 (再掲)	ヒト由来 検出数 () ^{a)}
047	<i>Shigella dysenteriae</i> 1	
048	" 2	
049	" 3	
050	" 4	
051	" 5	
052	" 6	
053	" 7	
054	" 8	
055	" 9	
056	" 10	
210	" 11	
211	" 12	
057	" 型不明	
058	<i>Shigella flexneri</i> 1a	
059	" 1b	
060	" 1	
061	" 2a	
062	" 2b	
063	" 3a	
064	" 3b	
066	" 4a	
067	" 4b	
212	" 5a	
213	" 5b	
070	" 6	
071	" var. X	
072	" var. Y	
073	" 型不明	

EHEC/VTec 情報

検体採取年月日	血清型	V T 産生性	毒素検出方法	V T 型	年齢	性別	臨床症状	備考

様式6. (書式3A-裏)

Vibrio cholerae O139 情報

発 生 地	検体採取年月日	C T 産生性	毒素検出方法	発 見 / 散 発	年 齢	性 別	臨 床 症 状	海外渡航歴 (国名・期間)	備 考

流行・集団発生に関する情報

*同一人からの同一菌種(同一血清型、生物型)の複数検分種は1検として報告して下さい

No	発生期間	原因施設	摂取場所	推定される		撰 食 者 数	患者数	原 因 菌 (菌株数) ²⁾	被 験 者 数	菌陽性 者 数
				原因食品	発生原因					
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
備 考										

食品検査情報

*流行・集団発生関連の食品からの検出例は上記「流行・集団発生に関する情報」の備考欄に記載して下さい

No	材 料	検 体 数	検 出 病 原 菌 種 (菌株数)	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				

輸入食品の場合、原産国名(不明の場合は輸出国名)などが分かっている場合には備考欄に記入して下さい

環境汚染調査(定点観測など)情報

No	場 所 (河川水など)	検査箇所数	検 出 病 原 菌 種 (菌株数)	備 考
1				
2				
3				

重要と思われる症例、またはまれな症例等に関する情報

No	検体採取年月日	検 体 の 種 類	検 出 病 原 菌 種 ・ 菌 型	年 齢 ・ 月 齢	性 別	臨 床 診 断 名 ・ 症 状	基 礎 疾 患 等

劇症型A群溶連菌感染症、希少感染症等、情報として重要と思われるものを記入して下さい
「基礎疾患等」の欄は、発症との関連性が考えられる基礎疾患がある場合に記入して下さい

その他の情報

表7. 検出された病原体のリスト (表3B-1参照)

(毎月15日/切)

病原菌検出状況報告書

(医療機関集計)

発症日 年 月 日
報告内容 年 月 分
報告内容 発症日 追加 変更

報告内容 発症日 追加 変更

報告内容 発症日 追加 変更

分離材料：血液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
001	<i>Escherichia coli</i>	
003	<i>Salmonella</i> Typhi	
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	
426	<i>Salmonella</i> spp.	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
032	<i>Listeria monocytogenes</i>	
034	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
038	<i>Streptococcus B</i>	
102	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	
024	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> *	
421	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
032	<i>Staphylococcus B</i>	
038	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	
422	<i>Anaerobes</i>	
042	<i>Plasmodium</i> spp.	
	合計	

分離材料：膿液

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
106	<i>Listeria monocytogenes</i>	
034	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
032	<i>Streptococcus B</i>	
038	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	
	合計	

分離材料：膿腫および関節腔からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
037	<i>Bordetella pertussis</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
031	<i>Streptococcus A</i>	
038	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	
036	<i>Corynebacterium diphtheriae</i>	
	合計	

分離材料：髄液、気管吸引液および下気道からの材料

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
109	<i>Mycobacterium tuberculosis</i>	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	
118	<i>Haemophilus influenzae</i>	
039	<i>Legionella pneumophila</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	
024	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
031	<i>Streptococcus A</i>	
032	<i>Streptococcus B</i>	
038	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	
422	<i>Anaerobes</i>	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	合計	

分離材料：尿

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
001	<i>Escherichia coli</i>	
176	<i>Enterobacter</i> spp.	
119	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	
423	<i>Acinetobacter</i> spp.	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	
024	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
421	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
424	<i>Enterococcus</i> spp.	
425	<i>Candida albicans</i>	
	合計	

分離材料：糞便 (つぎ)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
026	<i>Clostridium botulinum E</i>	
027	<i>Clostridium botulinum E</i> 以外	
028	<i>Bacillus cereus</i>	
263	<i>Bacillus thuringiensis</i>	
041	<i>Entamoeba histolytica</i>	
092	<i>Escherichia coli</i> 腸炎侵入性	
093	※ 毒素原性	
094	※ 希配大腸菌血清型	
305	※ EHEC/VTEC*	
095	※ その他・不明	
	<i>Shigella dysenteriae</i> 型 ()	
	<i>Shigella dysenteriae</i> 型 ()	
	<i>Shigella flexneri</i> 型 ()	
	<i>Shigella flexneri</i> 型 ()	
	<i>Shigella boydii</i> 型 ()	
	<i>Shigella boydii</i> 型 ()	
090	<i>Shigella sonnei</i>	
091	<i>Shigella</i> 群不明	
	合計	

* Vero 毒素産生性を確認した例については検出数を記入してください。また、鼠面のEHEC/VTEC情報記入欄に現時点でわかる鼠面の情報を記入してください。

分離材料：穿刺液 (胸水、髄水、関節液など)

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
001	<i>Escherichia coli</i>	
118	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	
119	<i>Haemophilus influenzae</i>	
030	<i>Neisseria meningitidis</i>	
102	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	
163	<i>Mycobacterium</i> spp.	
024	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
421	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
038	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	
422	<i>Anaerobes</i>	
125	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>	
	合計	

分離材料：糞便

コード	菌種・群・型	ヒト由来 検出数() ^{a)}
003	<i>Salmonella</i> Typhi	
004	<i>Salmonella</i> Paratyphi A	
006	<i>Salmonella</i> O4 (B)	
007	<i>Salmonella</i> O7 (C1, C4)	
008	<i>Salmonella</i> O8 (C2, C3)	
009	<i>Salmonella</i> O8 (D1)	
010	<i>Salmonella</i> O9, 46 (D2)	
201	<i>Salmonella</i> O1, 3, 19 (E4)	
013	<i>Salmonella</i> O13 (C1, G2)	
014	<i>Salmonella</i> O18 (K)	
015	<i>Salmonella</i> その他	
016	<i>Salmonella</i> その他	
017	<i>Salmonella</i> 群不明	
018	<i>Yersinia enterocolitica</i>	
019	<i>Yersinia pseudotuberculosis</i>	
405	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Ogawa, CT (+)	
406	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Ogawa, CT (-)	
407	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Inaba, CT (+)	
408	<i>V. cholerae</i> O1: El Tor, Inaba, CT (-)	
409	<i>V. cholerae</i> O139, CT (+) ^{a)}	
410	<i>V. cholerae</i> O139, CT (-) ^{a)}	
411	<i>Vibrio cholerae</i> O1 & O139 以外	
022	<i>Vibrio parahaemolyticus</i>	
104	<i>Vibrio fluvialis</i>	
115	<i>Vibrio mimicus</i>	
206	<i>Aeromonas hydrophila</i>	
207	<i>Aeromonas sobria</i>	
111	<i>Aeromonas hydrophila/sobria</i> 種別せず	
101	<i>Plesiomonas shigelloides</i>	
208	<i>Campylobacter jejuni</i>	
209	<i>Campylobacter coli</i>	
023	<i>Campylobacter jejuni</i> coli 種別せず	
024	<i>Staphylococcus aureus</i> *	
025	<i>Clostridium perfringens</i>	

^{a)} *V. cholerae* O139 が検出された場合は、鼠面の「*V. cholerae* O139 情報」記入欄に記入してください。

()^{a)} : 海外旅行客分析局

* *Staphylococcus aureus* が検出された場合は、その内訳を裏面に記入してください。

様式7. (書式3B-裏)

重要と思われる症例、またはまれな症例等に関する情報

No.	検体採取年月日	検体の種類	検出病原菌種・菌型	年齢・月齢	性別	臨床診断名・症状	基礎疾患等
備 考							

細菌性髄膜炎、劇症型A群溶連菌感染症、特記すべき日和見感染、希少感染症等、情報として重要と思われるものを記入して下さい
 「基礎疾患等」の欄は、発症との関連性が考えられる基礎疾患がある場合に記入して下さい

<記入例>

No.	検体採取年月日	検体の種類	検出病原菌種・菌型	年齢・月齢	性別	臨床診断名・症状	基礎疾患等
1	199X年10月1日	髄液	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	60歳	男	髄膜炎、発熱、頭痛、嘔吐	糖尿病
2	199X年10月5日	筋穿刺液・血液	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3 M3, SPE B+C	53歳	男	左大腿部広範壊死、ショック	

Vibrio cholerae O139 情報

発 生 地	検体採取年月日	C T 産生性	毒素検出方法	集 発 / 散 発	年齢	性別	臨 床 症 状	海外渡航歴 (国名・期間)	備 考

EHEC/VTEC 情報

検体採取年月日	血 清 型	V T 産生性	毒素検出方法	V T 型	年齢	性別	臨 床 症 状	備 考

検出された *Staphylococcus aureus* の内訳 (再掲)

	分 離 材 料					
	糞 便	穿 刺 液	髄 液	血 液	喀痰、気管吸引液 および下気道	尿
MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)						
MSSA (メチシリン感受性黄色ブドウ球菌)						
メチシリン感受性未検査						

病原微生物検出報告書 (書式 1) 個票

1995. 4 改正 9

検出病原体	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
報告機関名	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
検体番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
採取機関名	都道府県 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 機関名 国立 都道府県立 市区町村立 その他 研究所 保健所 病院・医院 大学 診療機関 その他
検体提供者 (場所)	都道府県 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 市区町村 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
採取理由	散発 流行 厚生省監視または厚生省サーベ 気団発生 流行予知業務 特定研究 イラリス定点 輸入 その他
採取年月日	19 年 91 92 93 94 95 96 97 98 99 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
検体源	ヒト プタ トリ サル カ ウマ ウシ その他の動物 産地 その他 性別 男 女 性別不明 年齢不明 年齢 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 歳 (0歳の場合は必ず記入) 月齢 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 か月 10 11 月齢不明
検体の由来	便 鼻いこう 眼ぬぐい液 髄液 皮膚病巣 尿 血液 脳 肝 肺・気管支 全臓器 河川水 ^{※1} 上水 ^{※2} 下水 ^{※3} 食品 その他
検出方法	培養 (動物 発育 培養 人工 その他) 光顕 電顕 蛍光 EIA RPHAその他
記入しないこと	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(註) 検体源がヒトで、検体の由来が不明の場合、河川水^{※1}に、
口腔の場合上水^{※2}、陰部の場合下水^{※3}にそれぞれマーク
すること。

報告内容	初回報告	追加	変更	その他
	(臨床診断名)			
臨床 症 状	<input type="checkbox"/> 不詳 <input type="checkbox"/> 無症状 <input type="checkbox"/> 発熱 <input type="checkbox"/> 水疱 <input type="checkbox"/> 発疹 <input type="checkbox"/> 口内炎 <input type="checkbox"/> ヘルパンギーナ <input type="checkbox"/> 手足口病症状 <input type="checkbox"/> 関節痛・筋肉痛 <input type="checkbox"/> 上気道炎 <input type="checkbox"/> 下気道炎(肺炎を含む) <input type="checkbox"/> 胃腸炎(下痢・嘔吐を含む) <input type="checkbox"/> 肝炎 <input type="checkbox"/> 腎炎 <input type="checkbox"/> 循環器障害 <input type="checkbox"/> 角膜炎・結膜炎 <input type="checkbox"/> 髄膜炎 <input type="checkbox"/> 脳炎 <input type="checkbox"/> 麻疹 <input type="checkbox"/> 泌尿生殖器疾患 <input type="checkbox"/> リンパ節腫脹 <input type="checkbox"/> 唾液腺腫脹 <input type="checkbox"/> 出血傾向 <input type="checkbox"/> 先天性疾患 <input type="checkbox"/> その他			

発熱最高	3 4 7 8 9 0 1 2 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
℃	

ポリオウイルス検出	本人のポリオワクチン接種歴	無 不明 1回 2回 有 有回数不詳
	最近の接種	年 月 日 記入有
	当該地区における最近の生ポリオワクチン接種	年 月 日 記入有

検出の場合 インフル エンザウ イルス	本人の今期のインフル エンザワクチン接種歴	無 不明 有
	報告機関における株名 () 提出ウイルスHA価 () 使用細胞名・継代数 ()	
	抗原	患者 H I 価 急性期 回復期 記入有

備考欄	(マークした上で本欄に記入すること) 特別記号等
-----	--------------------------

報告 年 月 日

第 8 章 結核・感染症サーベイランス事業の実施について
(課長、室長通知)



健医結発第43号
健医感発第68号
昭和61年11月19日

各 { 都道府県
指定都市
政令市(区) } 衛生主管部(局)長 殿

厚生省保健医療局
結核難病感染症課長
感染症対策室長

結核・感染症サーベイランス事業の実施について

標記については、昭和61年6月9日健医第704号をもって厚生省保健医療局長から通知されたところであるが、さらに下記の事項に御留意の上、本事業の円滑な推進を図られるようお願いする。

記

第1 総括的事項

1 本事業の趣旨

本事業の目的は、上記保健医療局長通知による結核・感染症サーベイランス事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）の第1に示されたとおりであるが、従来施策との関連でみると、本事業は、昭和36年以来実施している「結核登録者に関する定期報告」及び56年7月以来実施している「感染症サーベイランス事業」を発展的に統合するとともに、結核・感染症対策に関し地域の保健医療体制の充実を図るためのものである。このような趣旨を踏まえつつ、関係機関の積極的な協力を得て事業の推進に当たられたいこと。

2 今後のシステムの運用と検討

本事業のため昭和62年1月から運用を開始するコンピュータシステムについては、事業開始後の運用実績も踏まえながら、結核に関する情報項目の見直し、感染症に関する対象疾病の追加等の検

討を行うこととするが、おおむね3年間は原則として当初のシステムにより対応する予定であること。

第2 結核のサーベイランスに関する留意事項

1 事業実施時期の取扱い

- (1) 結核に関する情報のうち、新登録患者については昭和62年1月1日から、登録者（全体）については62年12月末日現在から、登録除外者については62年分（同年1月1日から12月末日までの間の登録除外者）から、それぞれ本事業によるサーベイランスを開始するものとする。
- (2) 各月の新登録患者の情報は、当面、保健所から地方結核・感染症情報センターへは翌月10日までに、地方結核・感染症情報センターから中央結核・感染症情報センターへは同月15日までに、オンライン伝送により提供すること。

また、年末現在の登録者（全体）及び年間の登録除外者の情報は、保健所から地方結核・感染症情報センターへは翌年1月20日までに、地方結核・感染症情報センターから中央結核・感染症情報センターへは同月末日までに、オンライン伝送又はフロッピーディスクの送付により提供すること。

- (3) 各月の新登録患者に関する全国情報の中央結核・感染症情報センターからのオンライン還元は、当面、翌月20日までに行うものとする。なお、オンライン還元以外の全国情報については、適宜、書面による月報又は年報（結核の統計）の形で厚生省から提供するものとする。

2 保健所におけるシステムの活用

本事業のため提供されるコンピュータシステムは、結核情報の広域的な収集、解析及び還元の機能にとどまらず、保健所における結核医療対策等の患者管理業務を支援する機能を有しているため、各保健所においてこれらの機能が十分に活用され、結核に関する患者管理の充実が図られるようにすること。

3 プライバシーの保護

結核サーベイランスにおけるプライバシー保護のための措置については、昭和61年11月6日健医結発第39号結核難病感染症課長通知によること。

第3 感染症のサーベイランスに関する留意事項

1 事業実施時期の取扱い

- (1) 感染症に関する患者情報のうち、調査単位を1週間とするもの（小児科・内科定点及び眼科定点）の各年における週の決定方法は、1月1日が日曜日から水曜日の間の曜日である場合にはこの日の属する週を第1週とし、1月1日が木曜日から土曜日の間の曜日である場合には次の日曜日から始まる週を第1週とするもの（三捨四入方式）とすること。このため、昭和62年においては、1月4日から始まる週を第1週として本事業によるサーベイランスを開始すること。

また、調査単位を月間とする患者情報（病院定点及びSTD定点）並びに病原体検査情報については、昭和62年1月1日から本事業によるサーベイランスを開始すること。

(2) 患者情報の提供時期については、実施要綱の第5の3に定めるところに従い、下表のとおりであること。

情報区分	患者定点からの情報提供	オンライン伝送		全国情報のオンライン還元
		保健所 →	地方結核・感染症情報センター →	中央結核・感染症情報センター
週単位の患者情報 (小児・内科・眼科)	翌週火曜日まで	水曜日	木曜日午前	金曜日午前
月単位の患者情報 (病院、STD)	翌月3日まで	4日	5日	6日午後

なお、病原体検査情報の提供時期については、実施要綱の第5の3の(2)、(4)、(5)及び(7)のイに定めるところであること。

(3) 感染症に関する全国情報のうち、患者情報については上記(2)の表に掲げるオンライン還元のほか書面による年報として、病原体検査情報については書面による月報及び年報として、それぞれ厚生省から提供するものとする。

2 患者情報等の調査

- (1) 対象疾病の定義、診断方法等については、別添「感染症サーベイランス対象疾病について」によらねたいこと。
- (2) 実施要綱で示した調査表の様式1、様式2、様式3及び様式4の「その他特記事項」欄には、対象疾病について実施された検査、対象疾病以外の感染症の流行等に関し特に注目すべき事項があった場合には、その旨を記載すること。
- (3) 調査票の様式1及び様式3の「予防接種+」欄には、患者数の合計のうち過去に当該疾病の予防接種を受けた人数を記入すること。ただし、インフルエンザ様疾患については、過去半年(6ヶ月)間におけるインフルエンザ予防接種歴によること。
- (4) 本事業による患者定点からの情報提供は、伝染病予防法又は性病予防法に基づく医師の届出とは別個のものであること。
- (5) 検査定点における検体の採取は、全例について実施するものではなく、あくまでも患者の診療上必要な場合に限るものであること。
- (6) 地方衛生研究所は、本事業における病原体検査の業務を実施するとともに、各地方における病原体検査情報の拠点となるものであること。

3 都道府県・指定都市の措置

- (1) 地方結核・感染症情報センター(各都道府県・指定都市)において隣接地域等の患者発生状況を詳細に把握する必要がある場合には、都道府県・指定都市別の全国情報の還元とあわせて、その希望する2都道府県・指定都市分の保健所管内別の患者情報を中央結核・感染症情報セン

ターからオンラインで提供を受けることが可能であること。各都道府県・指定都市においてこの情報提供を希望する都道府県・指定都市名については、別紙の申込書により、あらかじめ感染症対策室まで連絡されたいこと。

- (2) 中央結核・感染症情報センターに伝送された患者情報の修正は、週単位の調査情報については前5週間の伝送分、月単位の調査情報については前月の伝送分まで可能であること。
- (3) 各都道府県・指定都市が選定した保健所管内別の患者定点数の変更が必要な場合には、年毎の調査開始の当初において変更を行うものとし、年の途中で患者定点数の変更は生じないようにされたいこと。

第4 その他の留意事項

1 情報提供期限に関する特例

- (1) 第2の1の(2)及び第3の1の(2)の表に掲げる情報提供の期日が土曜日、日曜日若しくは国民の祝日又は12月29日～1月3日の間の日（以下「休日等」という。）である場合には、情報提供期限は、休日等の翌日まで延期するものとする。
- (2) 結核情報の提供期日と感染症患者情報の提供期日が重なる場合には、感染症患者情報の処理を優先し、結核情報の提供期限を翌日まで延期するものとする。
- (3) 上記(1)、(2)により患者定点、保健所又は地方結核・感染症情報センターのいずれかの段階で情報提供期限が延期された場合には、その日数に応じて事後の機関における情報提供期限も延期するものとする。

2 機器の運用・管理

本事業に用いるコンピュータ（オンラインを含む。）の運用・管理については、この通知に定めるところによるほか、別途配布する「結核・感染症サーベイランスマニュアル」を参照されたいこと。

3 その他

本事業の統計法第8条による総務庁への届出は、厚生省から一括して処理する予定であること。

(別 紙)

感染症サーベイランスにおける他都道府県
指定都市分の患者情報の提供申込書

昭和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

都道
府県 (市) ____ 部 (局) ____ 課

提供を希望する対象の 都道府県・指定都市名	1. _____ 都道府縣市 2. _____ 都道府縣市
備 考	1. 提供開始時期 昭和 ____ 年 ____ 月分から 2. 申込の区分 新規申込 追加申込 (_____ 県市分) 変更申込 (_____ 県市 → _____ 県市)

(別 添)

感染症サーベイランスの対象疾病について

本事業における感染症のサーベイランスは、流行状況の早期把握が診断・治療管理に有効な感染症、発生状況の把握が十分でない新しいタイプの感染症等、その流行・発生の的確な把握が今後の予防対策上特に重要な感染症を対象疾病としている。

以下に26の対象疾病について、把握に際しての基本的な考え方を示す。患者定点医療機関における患者発生件数の把握に際しては、本事業の使命が迅速な情報の収集・還元にあるという観点から、診療時における主として臨床的診断の結果をもって行うことを原則とする。

(1) 麻しん様疾患

麻しん類似の発しん性疾患もしばしばみられるが、本事業の対象とするのは麻しんが目標である。麻しんの疫学的状況は、予防接種の普及により大きく変わりつつあり、その推移を監視する必要がある。診断は臨床状況から通常は容易である。

合併症としての脳炎は、様式3の調査票を使用する病院の患者定点からは⑳の「脳・脊髄炎」としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点では、「麻しん様疾患」として報告し、特記事項欄に「麻しん脳炎〇件」と記載する。

(2) 風 し ん

我が国の風しんは、数年間隔で全国流行を起こしているが、地域的な流行もかなりみられるようになっているので、発生状況を十分に把握する必要がある。

合併症としての脳炎は、様式3の調査票を使用する病院の患者定点からは⑳の「脳・脊髄炎」としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点では、「風しん」として報告し、特記事項欄に「風しん脳炎〇件」と記載する。

(3) 水 痘

水痘は幼児学童を中心とする普遍的な感染症であり、診断は臨床症状から容易である。水痘は学校伝染病としても重要であり、また、免疫不全状態にある者が罹患すると重篤となることから、その予防、院内感染の予防が重視され、サーベイランスの意義が大きい。

带状疱疹しんは、同じウイルスによるものであるが、当面对象疾病とはしない。

(4) 流行性耳下腺炎

耳下腺腫脹を主症状とするが、ムンプスウイルスの全身感染症であり、各種臓器に多彩な病変をみる。水痘と並んで幼児学童の主要伝染病である。

不顕性感染が多いことが特徴である。生ワクチンによる予防接種が行われるようになったので、今後の疫学状況の変化に注目する必要がある。

診断は、臨床症状から容易である。

合併症としての髄膜炎、脳炎等は、様式3の調査票を使用する病院の患者定点からはそれぞれ⑨の「感染性髄膜炎」、⑳の「脳・脊髄炎」としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点では「流行性耳下腺炎」として報告し、特記事項欄に「ムンプス髄膜炎〇件」

「ムンプス脳炎〇件」と記載する。

(5) 百日せき様疾患

百日せき菌のほか、パラ百日せき菌、アデノウイルス等によっても類似の症状を示すが、百日せき様疾患のほとんどは百日せき菌によるものである。母親からの移行免疫が有効に働かないため、乳児早期から罹患することがある。一般に百日せきの痙咳期には治療が困難であるが、特に乳児は重篤になりやすく、しばしば肺炎、脳症などを併発するので、早期診断、予防が重要である。改良百日せきワクチンの導入以来、接種率は向上し、患者数も減少しつつあるが、なおかなりの発生が認められるので、その実態を把握する必要がある。

診断は、特徴的な症状及び血液像等の一般検査により容易であるが、菌分離による菌型決定等の検索を進めることも必要である。

(6) 溶連菌感染症

溶連菌感染症のほとんどはA群溶連菌によるもので、多彩な病像を示すが、本事業の対象は咽頭炎、アンギーナ（発しんを伴わないものを含む。）を主体とする。溶連菌感染か否かを臨床的に判定することは困難な場合が多いので、なるべく菌の培養検査により確実な診断をつけることが望ましい。

(7) 異型肺炎

異型肺炎の病原体としては、肺炎マイコプラズマのほか、ウイルス、クラミジア（オーム病）等も挙げられるが、現在の我が国の一般診療においては、異型肺炎の大部分はマイコプラズマ肺炎と考えられ、本事業の対象もマイコプラズマ肺炎を目標とするものである。

マイコプラズマ肺炎と診断するには病原体の分離培養又は抗体検査が必要であるが、早期の情報収集の目的から異型肺炎という病名を取り上げているものである。

(8) 感染性胃腸炎

ウイルス又は細菌による感染性胃腸炎を一括したものであるが、そのうち乳児嘔吐下痢症は(9)でとりあげることとし、本項目には含まないこととする。ウイルスによるものとしては、従来、流行性嘔吐症、流行性下痢症あるいは伝染性下痢症等と呼ばれていた急性胃腸炎があり、病原ウイルスの研究も急速な進歩をみているところである。細菌性のものとしては、サルモネラ、カンピロバクター、エルシニア、病原大腸菌（組織侵入性、毒素原性、血清型）、腸炎ビブリオ等によるものがある。本症については、特に、病原体分離により実態を明らかにすることが望まれる。

(9) 乳児嘔吐下痢症

乳幼児、特に6カ月から18カ月くらいの月齢に好発する急性の胃腸炎で、従来、仮性小児コレラ、白色便性下痢症、白痢あるいは晩秋嘔吐下痢症等と呼ばれていたものがこれに当たる。病原はロタウイルスによるものが大部分とみられ、特に11月から3月にかけて流行することが多い。

(10) 手足口病

1958年に世界で初めて報告された新しい感染症である。我が国では、1963年に初めての報告があり、1967～68年頃から注目されるようになり、1969～70年の全国的な流行から次第に一般に知られるようになった。最近の我が国では、コクサッキーA群16型又はエンテロウイルス71型によるものが1～2年おきに交互に流行をくりかえし、これにコクサッキーA群10型によるものも少数混じっ

ている。新しい感染症として、今後の流行の推移を十分に監視する必要がある。

診断は特徴的な臨床所見から容易であるが、病原ウイルスの分離、型別等の検査も望まれる。

(11) 伝染性紅斑

最近数年間にわたって全国的に流行がみられ、関心を呼んでいる。このため、本症は軽症の疾病であり合併症もないが、対象疾病として取り上げられたものである。診断は、特徴的な病像から容易である。病原体はまだ分離されていないが、ヒトパルボウイルスが疑われている。

(12) 突発性発しん

2才未満の乳幼児にみられる予後良好の急性発しん性疾患である。病原体は不明であり、流行性に発生することも少ないが、小児の代表的な発しん性疾患ということから対象疾病に取り上げられたものである。

(13) ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスA群による夏期の急性熱性疾患であり、特徴的な口腔内所見をみる。エンテロウイルス感染症は数多くあるが、その代表的な疾病として対象疾病に取り上げられたものである。

(14) インフルエンザ様疾患

インフルエンザはかぜ症候群の代表的疾患で、インフルエンザウイルスの上気道感染によって生じ、急激な発熱、強い全身反応及び咳、咽頭痛等の上気道症状を特徴とする。短期間に、速やかに流行が拡大し、小学生を中心とする小児の罹患率が高く、老人、特に基礎疾患を有する者では、しばしば肺炎などの合併症を起こし重篤となることから重視される。

インフルエンザは、他のウイルスによるかぜ症候群と区別し難い点があるが、流行状況や発熱を伴う特徴的かつ急激な症状から、これが疑われるものをインフルエンザ様疾患として対象疾病に取り上げられたものである。

インフルエンザウイルスは変異しやすく、特にA型は10～15年毎に大きな変異を起こし、世界的な流行となるので、ウイルス分離による検索が望まれる。

(15) MCLS (川崎病)

本症は、主として4才以下の小児に好発し、発熱、四肢末端の腫脹、不定型発しん、眼球結膜の充血、口唇の紅潮、頸部リンパ節腫脹等を主症状とする疾病である。

本症の原因は不明であるが、我が国における発生が多く、冠状動脈瘤から心血管後遺症（心筋硬塞、弁膜症、心筋炎、心膜炎等）を起こし、また、しばしば流行を起こすことから重視され、対象疾病に加えられたものである。

本症の診断は、厚生省川崎病研究班の診断の手引き(改訂4版、昭和59年9月)を参考とされたい。

なお、心血管後遺症の治療、管理に関する手引き(日本小児科学会誌90巻6号1399-1401頁)も発表されている。

(16) 咽頭結膜熱

アデノウイルスの感染により、発熱、咽頭炎、結膜炎を三主徴とし、夏期に多発する。しばしばプールを介して流行し、プール熱の別名がある。最近のわが国ではアデノウイルス3型、4型、19型が多い。

診断は、通常臨床症状により容易であるが、病原ウイルスの分離に努めることが望まれる。

(17) 流行性角結膜炎

アデノウイルス感染による急性結膜炎で、さらに角膜炎を起こす。最近の我が国では、アデノウイルス4型、8型が多く、その他3型、19型、37型、11型等も分離されている。

診断は、通常臨床症状により容易であるが、病原ウイルスの分離に努めることが望まれる。

(18) 急性出血性結膜炎

エンテロウイルス70型の感染による急性結膜炎で、結膜下出血が高頻度に起こる。アポロ11病の別名がある。数週後、稀に麻痺を起こすことがある。

本症は新しい感染症であり、1969年ガーナに初発し、我が国では1971年の流行以来、発生がみられる。

東南アジアでは、同様の結膜炎をきたす別の病原としてコクサッキーA群24型変異株の存在が知られていたが、1985年我が国にも侵入し沖縄で大流行を起こし、1986年にはその他の地域でも分離報告がみられるようになったので、今後の警戒が必要である。

診断は、通常臨床症状により容易であるが、病原ウイルスの分離に努めることが望まれる。

(19) 感染性髄膜炎（細菌性、無菌性）

臨床所見及び髄液検査により、細菌性髄膜炎と無菌性髄膜炎に区分して報告する。病院における検査で病原体が判明したものは、その結果を添える。検査を院内で実施できない場合は、衛生研究所に検体を送付する等により、積極的に病原体を明らかにすることが望まれる。

原発性のものを対象とし、術後感染あるいは免疫不全状態に併発したものは除外する。

(20) 脳・脊髄炎

脳炎は、日本脳炎や単純ヘルペスウイルス等の直接侵襲によって起こる一時性脳炎と、麻しん等の感染症又は予防接種後に生ずる感染後若しくは接種後脳炎に大別される。

脳症は、諸種の刺激に対する脳の急激な反応といえることができる。感冒等の感染を先行疾患として認めることもあるが、明らかな原因を見出し得ないものも多く、原因不明の急性脳症として一括される。

小児急性脳症の特殊な形としてライ症候群があり、これは肝臓等の諸臓器に著名な脂肪変性を伴う。ライ症候群の診断は、厚生省心身障害研究小児急性脳症研究班の診断の手引き（日本小児科学会誌82巻11号）を参考とされたい。

脳炎と脳症は、臨床的に区別し難いことが多いが、髄液の炎症所見の有無を考慮して判断する。

脊髄炎としては、脊髄症状のみ症例のほか、脊髄症状が主体である脳脊髄膜炎も対象とする。これらの疾病については、十分な病原ウイルス検査を行うことが望まれる。

(21) ウイルス肝炎

肝炎ウイルスが原因と考えられるA型肝炎、B型肝炎及び非A非B型肝炎が対象である。

診断は、既往歴、臨床症状及び抗原・抗体検査により、通常容易である。

なお、B型肝炎、非A非B型肝炎については、感染後短期間のうちに急性症状を呈する症例のほかに、キャリアが経過中に急性肝炎様症状を呈する症例があるが、これらについても対象に含める。

(22) 淋病様疾患（淋菌感染症）

淋病様症状を呈する疾患には非淋菌感染症もあるが、本事業の対象とするのは淋菌感染症が目標である。淋菌感染症としては、女兒の外陰部腫炎、新生児結膜炎等の非性行為感染症もあるが、本事業では性行為感染症としての淋菌感染症を対象としている。

通常、自覚症状が強く、診断は容易であるが、淋菌の検出により確実な診断を行うことが望ましい。

(23) 陰部クラミジア感染症

クラミジア・トラコマチスによる陰部感染症を対象とする。

非淋菌性尿道炎の原因の多くがクラミジア・トラコマチスによるものといわれているが、淋菌と同時感染があることにも注意を要する。

一般に自覚症状は軽微なため、症状だけでは診断が困難な場合が多いので、クラミジアの分離あるいは陰部擦過物の塗抹染色等による検索を行うことが望ましい。

(24) 陰部ヘルペス

単純ヘルペスウイルス1・2型により引き起こされる陰部感染症である。

単純ヘルペスウイルスによる感染症には、陰部以外の感染症もあるが、本事業では近年注目されている性行為感染症の実態把握を目的としているため、陰部感染症のみを対象とする。

一般的には問診や症状等から診察は容易であるが、硬性下かん、軟性下かん、ベーチェット病との鑑別を要する。ヘルペスウイルスの分離に努めることが望まれる。

再発傾向が強い疾病であるが、再発の場合は再度報告する。

(25) 尖圭コンジローム

ヒト乳頭腫ウイルスによって引き起こされる。診断は、問診、臨床症状から十分可能である。

ウイルスの分離方法はまだ確立されていない。

(26) トリコモナス症

腔トリコモナスにより引き起こされる陰部感染症を対象とする。一般的に自覚症状は軽微なことが多いため、直接鏡検等による診断が有用である。

第9章 感染症サーベイランス事業病原体検査指針

病原体検査指針

1. 病原体検査の対象疾病

感染症サーベイランス事業において病原体検査の対象となる疾病は、(5)百日せき様疾患、(6)溶連菌感染症、(7)異型肺炎、(8)感染性胃腸炎、(9)乳児嘔吐下痢症、(10)手足口病、(13)ヘルパンギーナ、(14)インフルエンザ様疾患、(16)咽頭結膜熱、(17)流行性角結膜炎、(18)急性出血性結膜炎、(19)感染性髄膜炎 ((a)細菌性、(b)無菌性)、(20)脳・脊髄炎 ((a)脳炎、(b)脳症、(c)ライ症候群、(d)脊髄炎)、(22)淋病様疾患 (淋菌感染症)、(23)陰部クラミジア感染症、(24)陰部ヘルペスおよび(26)トリコモナス症であり、検査定点医療機関では、これらの疾病の患者から必要に応じて細菌学のおよびウイルス学的検査のために検体を採取すること。

なお、(1)麻疹様疾患、(2)風しん、(3)水痘、(4)流行性耳下腺炎、(11)伝染性紅斑、(12)突発性発しん、(15)MCL S (川崎病)、(21)ウイルス肝炎 ((a)A型肝炎、(b)B型肝炎、(c)その他のウイルス肝炎) および(25)尖圭コンジロームについては、主として、臨床診断、必要に応じて抗原抗体検査等によること。

2. 検査材料及び病原体

本事業における病原体検査のために採取すべき検査材料および対象となる病原体は、次表に示す。

対象疾病名	病原体 検出	検査材料	対象となる病原体
(1) 麻疹様疾患		咽頭ぬぐい液	麻疹ウイルス
(2) 風しん		咽頭ぬぐい液	風疹ウイルス
(3) 水痘		咽頭ぬぐい液、水疱内容	水痘-帯状疱疹ウイルス
(4) 流行性耳下腺炎		唾液、咽頭ぬぐい液	ムンプスウイルス
(5) 百日せき様疾患	○	鼻咽頭ぬぐい液、喀痰	百日咳菌、パラ百日咳菌
(6) 溶連菌感染症	○	咽頭ぬぐい液	レンサ球菌（A、C、G群）
(7) 異型肺炎	○	喀痰、うがい液	マイコプラズマ・ニューモニエ
(8) 感染性胃腸炎	○	糞便	アデノ、エンテロ、小型球形、 ロタ等のウイルス、 サルモネラ、カンピロバクター エルシニア、大腸菌、コレラ菌 非O1、腸炎ビブリオ等
(9) 乳児嘔吐下痢症	○	糞便	ロタウイルス等
(10) 手足口病	○	咽頭ぬぐい液、糞便、水 疱内容	コクサッキーウイルスA16、コ クサッキーウイルスA10、エン テロウイルス71
(11) 伝染性紅斑		血液	ヒトパルボウイルスB19
(12) 突発性発しん		血液	ヒトヘルペスウイルス6型
(13) ヘルパンギーナ	○	咽頭ぬぐい液、糞便	コクサッキーウイルスA、B
(14) インフルエンザ様疾 患	○	咽頭ぬぐい液、うがい液	インフルエンザウイルス
(15) MCLS（川崎病）			
(16) 咽頭結膜熱	○	咽頭ぬぐい液、糞便、結 膜擦過物	アデノウイルス（3、4型な ど）
(17) 流行性角結膜炎	○	結膜擦過物	アデノウイルス（4、8、19、 37型など）
(18) 急性出血性結膜炎	○	結膜擦過物	エンテロウイルス70、コクサッ キーウイルスA24

対象疾病名	病原体 検 出	検 査 材 料	対象となる病原体
(19) 感染性髄膜炎			
(a) 細菌性髄膜炎	○	髄液、脳脊髄組織（剖検時）	髄膜炎菌、インフルエンザ（桿）菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌等の細菌、真菌等
(b) 無菌性髄膜炎	○	髄液、血液、糞便、咽頭ぬぐい液、脳脊髄組織（剖検時）	エンテロ、ムンプス等のウイルス等
(20) 脳・脊髄炎	○	髄液、血液、糞便、咽頭ぬぐい液、脳脊髄組織（剖検時）	日本脳炎、単純ヘルペス、麻疹、ポリオ等のウイルス等
(21) ウイルス肝炎			
(a) A型肝炎		糞便	A型肝炎ウイルス
(b) B型肝炎		血液	B型肝炎ウイルス
(c) その他のウイルス肝炎		血液	C型肝炎ウイルス、その他
(22) 淋病様疾患（淋菌感染症）	○	尿道または子宮頸管擦過物・分泌物、肛門直腸ぬぐい液	淋菌
(23) 陰部クラミジア感染症	○	男子初尿・尿道擦過物または子宮頸管擦過物	クラミジア・トラコマチス
(24) 陰部ヘルペス	○	陰部擦過物	単純ヘルペスウイルス（1、2型）
(25) 尖圭コンジローム			ヒト乳頭腫ウイルス
(26) トリコモナス症	○	尿道または子宮頸管擦過物・分泌物	膣トリコモナス

○ 本事業において病原体検査の対象となる疾患

3. 検体の採取・保存・輸送法

検査定点医療機関において患者から検体を採取し、検査機関に搬送する方法は、細菌とウイルスとでは異なるので注意が必要である。

なお、検査材料の取扱いの詳細については、下記を参照、あるいは検査機関（地方衛生研究所）に相談すること。

- (1) 厚生省監修「微生物検査必携第3版」（1987年、日本公衆衛生協会）
細菌・真菌検査及びウイルス・クラミジア・リケッチャ検査の各分冊
- (2) 厚生省微生物検査におけるレファレンスシステムに関する研究班作成
「検査マニュアル」（国立予防衛生研究所）

4. 細菌感染症の場合の検体の採取・輸送法

(1) 糞便

- ア 細菌学的検査用には、抗生物質投与前の糞便を採取する。
- イ 排泄直後の糞便をキャリー・ブレイアー培地または1%食塩加グリセリン保存液に採取する。
- ウ 検体採取後は常温に保存し、24時間以内に分離培養することが望ましい。冷凍で保存・輸送をしてはならない。

(2) 鼻咽頭ぬぐい液・咽頭ぬぐい液

- ア 滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽頭をよくぬぐい、輸送培地中（アミー培地等）にその綿棒を深部まで突き刺す。容器の口のところで棒を折り、ただちに固く栓を締める。
- イ 検体採取後は常温に保存し、24時間以内に分離培養することが望ましい。冷凍で保存・輸送をしてはならない。

(3) 髄液、血液

- ア 細菌学的検査用には、抗生物質投与前の検体を採取する。
- イ 髄液は0.5mlを無菌的に採取し、ただちに輸送培地（トランスアイソレーション培地等）に接種する。保存・輸送とも常温で行う。
- ウ 血液は2～5mlをカルチャーボトルに直接採取し、常温で検査機関に輸送する。

(4) 陰部分泌物および擦過物

- ア 分泌物中の白血球や淋菌などを鏡検するためには、外尿道口にスライドグラスを当てて分泌液をつけ、グラム染色用の標本とする。
- イ 淋菌の分離培養には、滅菌綿棒で尿道、頸管、直腸等をよくぬぐい、輸送培地中（アミー培地など）にその綿棒を深部まで突き刺す。容器の口のところで棒を折り、ただちに固く栓を締める。
- ウ 検体採取後は常温に保存し、24時間以内に分離培養することが望ましい。冷凍で保存・輸送をしてはならない。

5. ウイルス感染症の場合の検体採取法

(1) 糞便

- ア できるだけ早期（急性期）に排泄直後の糞便を採取する。
- イ ウイルス培養検査用には約2g（2ml）を採取する。
- ウ 電子顕微鏡法による検査のためには5～10g以上、小型球形ウイルス感染が疑われる場合はできるだけ多く（約50g）採取する。

(2) 咽喉うがい液

生理食塩水等を用い咽喉の奥でよくうがいさせる。吐き出させたうがい液に等量の保存液（0.5%ウシ血清アルブミンまたは0.5%ゼラチン加細胞培養液あるいは普通ブイヨン等に抗生物質を添加する）を加える。

(3) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽喉をよくぬぐい、滅菌容器に分注した保存液（0.5%ウシ血清アルブミンまたは0.5%ゼラチン加細胞培養液等に抗生物質を添加する）2 mlにその綿棒を浸す。綿棒の柄の部分をはさみ等で切り落として密栓するか、あるいはよく絞った後、綿棒を取り除いて密栓する。

(4) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒を保存液中でよく振とうして擦過物を出来る限り浮遊させた後、綿棒を管壁に押しつけてから取り出して密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱または膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器などで局所を突き穿し内容を吸引するか、または局所を滅菌綿棒でこすり、前記ぬぐい液と同様に処理する。

(6) 陰部分泌物及び擦過物

ア クラミジアの検出には、滅菌綿棒を尿道または子宮頸管に挿入し、ゆっくり回転させて擦過する。蛍光抗体法による抗原検出のためには、スライドガラスの直径1 cm以内の狭い範囲に綿棒を回転させながら検体をこすりつけ、風乾後、冷アセトンで10~15分間固定する。直ちに染色しない場合は、固定後、-20℃で保存する。分離培養またはELISA法による抗原検出のためには、擦過した綿棒を1.5 mlの保存液（SPG又は2SP）に浸し、前記鼻咽頭ぬぐい液と同様に処理して容器を密栓する。

イ ヘルペスウイルスの検出には、滅菌綿棒で患部を擦過するが、採取直前に患部をアルコールなどで消毒してはならない。前記のクラミジアの場合と同様、蛍光抗体法または分離培養法によって検査する。ただし、分離培養のための検体は、トランスポートメジウム（20%コウシ非働化血清加YLE等）を使用する。

(7) 髄液

無菌的に1~5 ml髄液を採取して、滅菌容器にいれ密栓する。

6. ウイルス検査検体の保存及び輸送法

(1) 検体は、できるだけ速やかに検査機関に搬送する。

(2) 検体採取当日あるいは翌日に検査可能な場合は氷冷して保存・輸送する。

(3) やむを得ず長時間保存する場合は、密封および凍結可能な容器に入れ、ドライアイスアセトン、ドライアイスアルコール又は液体窒素で急速に凍結した後、ドライアイスまたは冷凍庫（-25℃以下、できれば-70℃以下が望ましい）で凍結保存する。

(4) 凍結して輸送する場合は、断熱性の搬送用コンテナに入れ、ドライアイスまたは寒剤（例えば水75%+食塩25%）を使用し、輸送中に融解しないようにすること。

- (5) 保存・輸送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ガスが容器内部に侵入してpHが低下するのを防ぐため、検体容器はビニールテープでシールして完全に密封するよう十分注意する。

7. 検査情報報告書の記入要領

病原微生物検出情報事務局作成「病原微生物検出報告書記入の手引き」（国立予防衛生研究所）を参照する。

第10章 〈 資 料 編 〉

1. 平成7年 都道府県別・男女別人口（日本人人口）
2. 平成7年 年齢5歳階級・男女別人口（日本人人口）
3. 年次別人口
4. 伝染病患者数・死者数（法定・指定伝染病）
5. 同 （届出伝染病）
6. インフルエンザ様疾患総患者数（昭和61年～平成8年）
7. インフルエンザ様疾患週別発生状況（年次別週別）
8. インフルエンザ様疾患発生報告（都道府県・指定都市別・最終報 7.10.22～8.5.11）
9. 平成7年 性病患者数・り患率（人口10万対）、病類・年次別
10. 平成7年 性病患者数、病類別・都道府県別
11. 平成7年 梅毒発生状況、月別

1. 平成7年 都道府県別・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総数	男	女	都道府県	総数	男	女
全 国	124,298,947	60,919,153	63,379,794	徳 島 県	830,479	394,725	435,754
北 海 道	5,675,833	2,727,566	2,948,272	香 川 県	1,023,865	492,103	531,762
青 森 県	1,478,123	702,351	775,772	愛 媛 県	1,503,411	710,949	792,462
岩 手 県	1,416,864	680,790	736,074	高 知 県	814,302	383,195	431,107
宮 城 県	2,319,433	1,140,128	1,179,305	福 岡 県	4,896,451	2,338,280	2,558,171
秋 田 県	1,211,616	576,603	635,013	佐 賀 県	882,320	417,710	464,610
山 形 県	1,253,941	606,138	647,803	長 崎 県	1,540,498	724,562	815,936
福 島 県	2,127,214	1,039,147	1,088,067	熊 本 県	1,855,087	877,530	977,557
茨 城 県	2,929,220	1,462,678	1,466,542	大 分 県	1,227,269	579,968	647,301
栃 木 県	1,965,431	977,371	988,060	宮 崎 県	1,173,631	555,207	618,424
群 馬 県	1,981,799	977,895	1,003,904	鹿 児 島 県	1,791,419	839,862	951,557
埼 玉 県	6,696,390	3,384,961	3,311,429	沖 縄 県	1,265,783	620,632	645,151
千 葉 県	5,744,010	2,896,807	2,847,203	(13大都市)			
東 京 都	11,543,005	5,770,200	5,772,805	東 京 都 区 部	7,778,356	3,859,522	3,918,834
神 奈 川 県	8,152,458	4,159,965	3,992,493	札 幌 市	1,747,133	837,460	909,673
新 潟 県	2,480,287	1,205,815	1,274,472	仙 台 市	964,802	477,220	487,582
富 山 県	1,117,592	538,200	579,392	千 葉 市	847,756	429,269	418,487
石 川 県	1,175,042	568,409	606,633	横 浜 市	3,266,358	1,664,232	1,602,126
福 井 県	819,320	398,115	421,205	川 崎 市	1,185,859	620,702	565,157
山 梨 県	873,970	430,744	443,226	名 古 屋 市	2,109,459	1,051,199	1,058,260
長 野 県	2,173,400	1,060,695	1,112,705	京 都 市	1,417,971	683,245	734,726
岐 阜 県	2,081,104	1,009,799	1,071,305	大 阪 市	2,494,602	1,225,681	1,268,921
静 岡 県	3,699,146	1,822,004	1,877,142	神 戸 市	1,388,794	665,786	723,008
愛 知 県	6,769,815	3,386,955	3,382,860	広 島 市	1,095,494	535,404	560,090
三 重 県	1,824,717	885,246	939,471	北 九 州 市	1,009,712	478,928	530,784
滋 賀 県	1,272,620	626,896	645,724	福 岡 市	1,269,829	616,409	653,420
京 都 府	2,572,600	1,247,727	1,324,873	資料：「平成7年10月1日現在国勢調査人口」 (平成8年3月総務庁統計局刊)			
大 阪 府	8,603,130	4,224,473	4,378,657				
兵 庫 県	5,318,913	2,570,836	2,748,077				
奈 良 県	1,421,770	684,140	737,630				
和 歌 山 県	1,075,666	511,271	564,395				
鳥 取 県	612,602	293,313	319,289				
鳥 根 県	768,865	367,610	401,255				
岡 山 県	1,937,865	932,037	1,005,828				
広 島 県	2,858,462	1,387,437	1,471,025				
山 口 県	1,542,204	730,108	812,096				

2. 平成7年 年齢5歳階級・男女別人口（日本人人口）

年 齢 階 級	総 数	男	女
総 数	124,298,947	60,919,153	63,379,794
0～4歳	5,949,623	3,046,659	2,902,964
5～9	6,493,110	3,325,548	3,167,562
10～14	7,424,703	3,799,992	3,624,711
15～19	8,491,929	4,352,058	4,139,871
20～24	9,765,295	4,979,898	4,785,397
25～29	8,614,403	4,369,726	4,244,677
30～34	7,968,686	4,034,652	3,934,034
35～39	7,709,028	3,889,083	3,819,945
40～44	8,916,937	4,482,072	4,434,865
45～49	10,544,944	5,289,590	5,255,354
50～54	8,867,530	4,393,729	4,473,801
55～59	7,912,482	3,885,871	4,026,611
60～64	7,445,934	3,597,767	3,848,167
65～69	6,373,007	2,987,287	3,385,720
70～74	4,674,557	1,931,305	2,743,252
75～79	3,276,736	1,254,390	2,022,346
80～84	2,293,864	821,596	1,472,268
85～89	1,134,102	361,022	773,080
90歳以上	442,077	116,908	325,169

資料：「平成7年10月1日現在国勢調査人口」（平成8年3月総務庁統計局刊）

3. 年次別人口

昭和	22	年	*	78,101,473
	25		*	83,199,637
	26			84,573,000
	27			85,852,000
	28			87,033,000
	29			88,293,000
	30		*	89,275,529
	31			90,259,000
	32			91,088,000
	33			92,010,000
	34			92,971,000
	35		*	93,418,501
	36			94,285,000
	37			95,178,000
	38			96,156,000
	39			97,186,000
	40		*	98,274,961
	41			99,056,000
	42			99,637,000
	43			100,794,000
	44			102,022,000
	45		*	103,119,447
	46			104,345,000
	47			105,742,000
	48			108,079,000
	49			109,410,000
	50		*	111,251,507
	51			112,420,000
	52			113,499,000
	53			114,511,000
	54			115,465,000
	55		*	116,320,358
	56			117,204,000
	57			118,008,000
	58			118,786,000
	59			119,523,000
	60		*	120,265,700
	61			120,946,000
	62			121,535,000
	63			122,026,000
平成	1	年		122,460,000
	2		*	122,721,397
	3			123,102,000
	4			123,476,000
	5			123,788,000
	6			124,069,000
	7		*	124,298,947

注：*印は国勢調査人口。昭和41年までは総人口。昭和42年以降は日本人人口。昭和48年以降は沖縄県を含む。

4. 伝染病患者数・死者数（法定・指定伝染病）

（単位：人）

疾病年次 西暦元号	コレラ		赤痢		腸チフス		パラチフス		盛せう		傷寒チフス		しんりゅう血熱		ジフテリア		流行性 髄膜炎		日本風災		ポリオ		ラッサ熱		腸管出血性 大腸菌感染症		計 患者 死者	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者		
1946 昭和21	1,245	560	80,214	13,409	44,658	5,446	9,154	466	17,954	3,029	3,351	32,366	3,351	2,208	100	49,364	3,325	455	201	99	0	0	0	0	0	0	247,300	30,740
1950	25	0	49,780	11,966	4,483	630	1,711	80	5	2	928	68	6,149	33	12,821	1,182	1,193	367	5,196	2,430	3,212	775	0	0	0	84,678	17,535	
1955	30	0	80,664	6,042	1,939	105	590	13	1	0	0	0	19,486	62	15,557	913	630	161	3,699	1,373	1,314	314	0	0	0	117,870	8,983	
1960	35	0	93,971	2,048	1,572	39	319	6	0	0	0	0	9,756	22	14,921	497	526	112	1,607	650	5,006	317	0	0	0	177,308	3,691	
1965	40	0	69,621	270	789	9	71	1	0	0	0	0	10,735	14	2,159	39	214	50	1,179	658	76	28	0	0	0	63,844	1,069	
1970	45	0	9,996	51	211	3	50	0	0	0	0	0	7,774	3	596	6	72	18	145	167	8	11	0	0	0	18,852	259	
1975	50	0	1,498	6	524	1	81	1	0	0	0	0	7,818	2	139	5	33	10	21	25	4	3	0	0	0	9,818	53	
1976	51	0	727	6	372	3	74	2	0	0	0	0	5,314	1	145	2	33	11	7	19	0	0	0	0	0	6,672	44	
1977	52	29	1,737	11	346	4	77	0	0	0	0	0	3,933	0	122	2	42	13	4	9	0	0	0	0	0	5,290	40	
1978	53	34	1,037	4	385	1	123	1	0	0	0	0	3,733	0	69	0	28	6	75	49	0	0	0	0	0	5,484	62	
1979	54	11	1,313	5	391	2	135	0	0	0	0	0	4,437	0	104	1	25	2	61	42	0	0	0	0	0	6,477	52	
1980	55	22	951	0	294	1	123	2	0	0	0	0	2,804	0	66	1	24	3	28	20	2	0	0	0	0	4,314	27	
1981	56	19	1,021	1	292	3	185	0	0	0	0	0	1,596	1	47	0	25	2	21	10	2	0	0	0	0	3,198	17	
1982	57	15	1,260	4	247	2	201	0	0	0	0	0	908	1	30	0	18	2	25	8	1	0	0	0	0	2,705	17	
1983	58	35	1,658	3	289	0	167	0	0	0	0	0	749	0	20	0	15	2	26	9	0	0	0	0	0	2,958	14	
1984	59	55	997	3	196	1	142	0	0	0	0	0	640	0	15	0	25	4	32	6	0	0	0	0	0	2,102	14	
1985	60	34	1,128	6	211	0	141	0	0	0	0	0	368	0	10	0	27	1	40	8	1	0	0	0	0	1,960	15	
1986	61	26	1,303	4	184	0	37	0	0	0	0	0	319	0	9	0	22	1	28	6	0	0	0	0	0	1,928	11	
1987	62	34	1,275	3	145	0	27	0	0	0	0	0	222	0	7	1	21	1	44	7	2	0	0	0	0	1,778	12	
1988	63	33	1,046	3	111	0	32	0	0	0	0	0	185	0	9	0	9	1	31	5	0	0	0	0	0	1,456	9	
1989 平成元	95	0	924	4	105	0	65	0	0	0	0	0	96	0	4	0	10	0	32	7	0	0	0	0	0	1,331	11	
1990	2	73	920	5	120	2	26	0	0	0	0	0	29	0	5	0	12	2	55	10	0	0	0	0	0	1,240	19	
1991	3	90	1,120	3	106	1	25	0	0	0	0	0	22	0	2	0	10	0	14	3	0	0	0	0	0	1,309	7	
1992	4	48	1,124	3	71	0	29	0	0	0	0	0	31	0	4	0	11	1	4	1	0	0	0	0	0	1,322	5	
1993	5	92	1,120	3	129	0	46	0	0	0	0	0	23	0	5	1	7	0	8	0	3	0	0	0	0	1,433	4	
1994	6	90	1,042	1	71	1	49	0	0	0	0	0	6	0	1	0	6	0	6	1	1	0	0	0	0	1,272	3	
1995	7	306	1,062	4	64	0	75	0	0	0	0	0	5	0	1	0	3	0	4	2	1	0	0	0	0	1,521	7	

（注） ・ベストについては、患者・死者ともなし。
 ・昭和47年から神島院分室。
 ・パラチフスについては、「パラチフス」のみを対象とした。
 ・コレラについては、昭和63年10月1日より「CT(+)」のみを対象とした。
 （資料） ・昭和21年は、患者数、死者数とも厚生省「衛生統計」により、昭和22年以降の患者数は、厚生省「伝染病統計」、死者数は、厚生省「人口動態統計」による。
 ・患者数は、其のままで、死者数は、厚保・保固も含む。
 ・ラッサ熱は、昭和55年からの統計である。

5. 伝染病患者数・死者数(届出伝染病)

(単位:人)

疾病年次 西暦	インフルエンザ		狂犬病		炭		伝染性 下痢症		百日せき		ましん		破傷風		マラリア		つつが虫		フィラリア		回帰熱		計		
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	
1946	昭和21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1950	25	39,324	1,250	63	2	0	91	122,796	9,426	56,236	3,745	1,915	1,558	1,016	73	116	5	106	59	0	221,659	15,179	0	221,659	
1955	30	18,639	539	0	6	1	81	14,134	401	60,271	2,255	960	897	66	20	43	0	61	54	0	94,261	4,160	0	94,261	
1960	35	142,892	4,012	0	3	0	226	3,890	65	48,395	1,346	820	605	16	10	63	0	59	44	0	196,364	6,084	0	196,364	
1965	40	409,391	5,024	0	22	0	3	2,362	2	37,789	598	542	384	6	3	8	0	118	33	0	450,241	6,064	0	450,241	
1970	45	173,371	3,707	1	2	1	20	655	5	31,248	556	243	160	17	4	6	0	12	14	0	205,575	4,447	0	205,575	
1975	50	36,250	1,361	0	0	0	1	1,084	5	15,217	232	103	85	30	1	12	0	24	8	0	52,721	1,723	0	52,721	
1976	51	321,601	2,654	0	0	0	5	2,508	20	31,647	268	90	82	24	2	31	0	8	8	0	355,914	3,034	0	355,914	
1977	52	198,427	602	0	0	0	7	5,420	20	18,061	138	72	79	37	3	39	1	5	8	0	222,066	931	0	222,066	
1978	53	119,812	707	0	0	0	4	9,626	32	34,305	191	74	63	23	4	61	0	1	11	0	163,906	998	0	163,906	
1979	54	12,524	136	0	0	0	0	13,105	41	18,866	80	59	51	29	1	94	1	3	3	0	44,680	313	0	44,680	
1980	55	66,744	718	0	0	0	24	5,033	18	13,219	50	50	45	55	6	212	1	2	3	0	85,339	841	0	85,339	
1981	56	19,910	193	0	0	0	0	3,368	12	21,471	52	41	50	41	3	388	2	4	4	0	45,223	316	0	45,223	
1982	57	72,188	802	0	1	0	3	2,832	1	6,716	24	36	26	49	4	508	0	1	5	0	82,334	862	0	82,334	
1983	58	26,143	751	0	0	0	58	2,459	12	7,281	47	56	44	54	2	672	1	1	1	0	36,724	858	0	36,724	
1984	59	17,882	191	0	1	0	16	1,114	5	12,268	90	42	31	69	1	957	3	1	2	0	32,350	323	0	32,350	
1985	60	63,572	523	0	0	0	0	938	7	2,810	36	43	28	56	2	885	3	1	3	0	68,305	602	0	68,305	
1986	61	14,296	280	0	0	0	0	1,037	5	6,323	68	62	22	54	1	763	5	0	1	0	22,535	382	0	22,535	
1987	62	5,759	121	0	0	0	3	909	9	5,972	96	50	19	45	1	804	0	1	1	0	13,443	247	0	13,443	
1989	63	17,859	192	0	0	0	0	499	5	3,109	78	53	17	55	1	608	3	1	1	0	22,184	297	0	22,184	
1989 平成元	平	11,508	121	0	0	0	0	229	1	1,753	34	42	11	57	2	754	0	2	0	0	14,345	169	0	14,345	
1990	2	25,021	443	0	0	0	0	583	4	3,259	53	47	26	55	1	941	3	0	2	0	29,906	537	0	29,906	
1991	3	5,868	100	0	0	0	0	536	2	5,452	39	34	20	58	1	937	1	1	0	0	12,886	163	0	12,886	
1992	4	6,053	177	0	0	0	0	391	1	2,250	14	47	17	51	0	704	4	0	0	0	9,498	213	0	9,498	
1993	5	16,555	519	0	0	0	2	131	2	2,002	14	33	14	58	0	712	4	1	1	0	19,594	554	0	19,594	
1994	6	2,404	65	0	2	1	1	145	3	1,766	11	44	11	74	3	652	4	0	1	0	5,088	99	0	5,088	
1995	7	22,393	1,244	0	0	0	0	226	5	931	7	45	13	66	0	529	3	1	1	0	24,191	1,273	0	24,191	

(注) 昭和46年から沖縄県分含む。

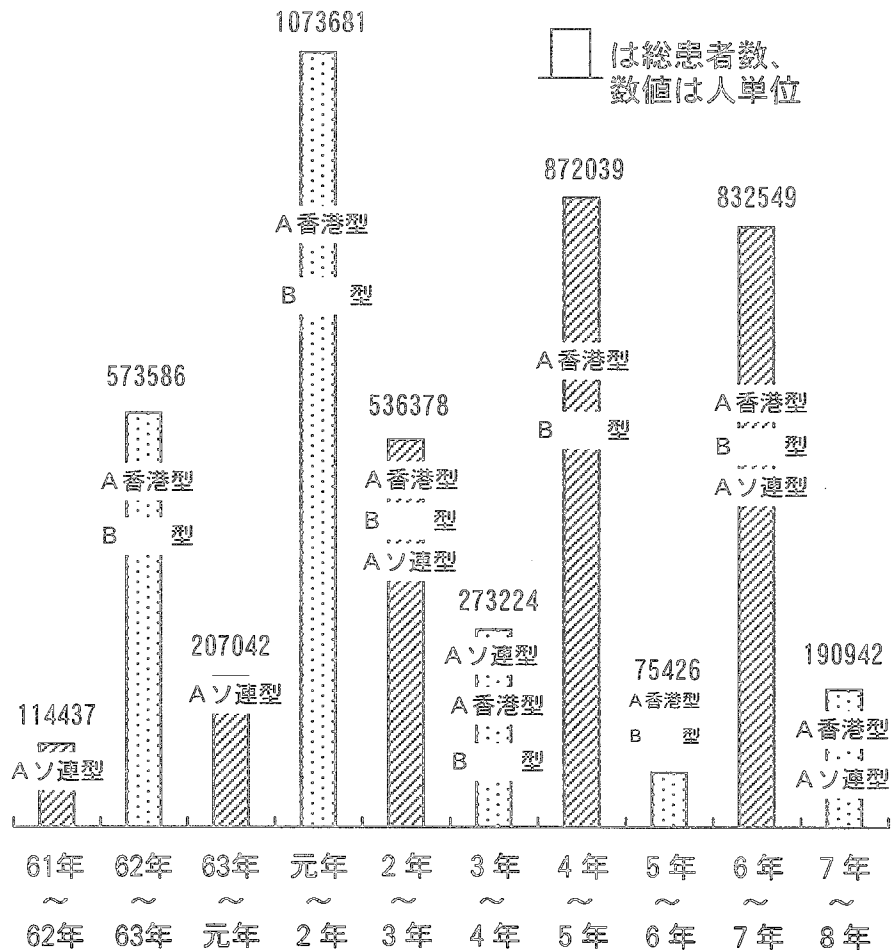
(資料) 昭和21年は、患者数、死者数とも厚生省「衛生統計」により、昭和22年以降の患者数は、厚生省「伝染病統計」、死者数は、厚生省「人口動態統計」による。

・患者数は、真症のみで、死者数は、疑似・保菌も含む。

・「-」については、計数不明である。

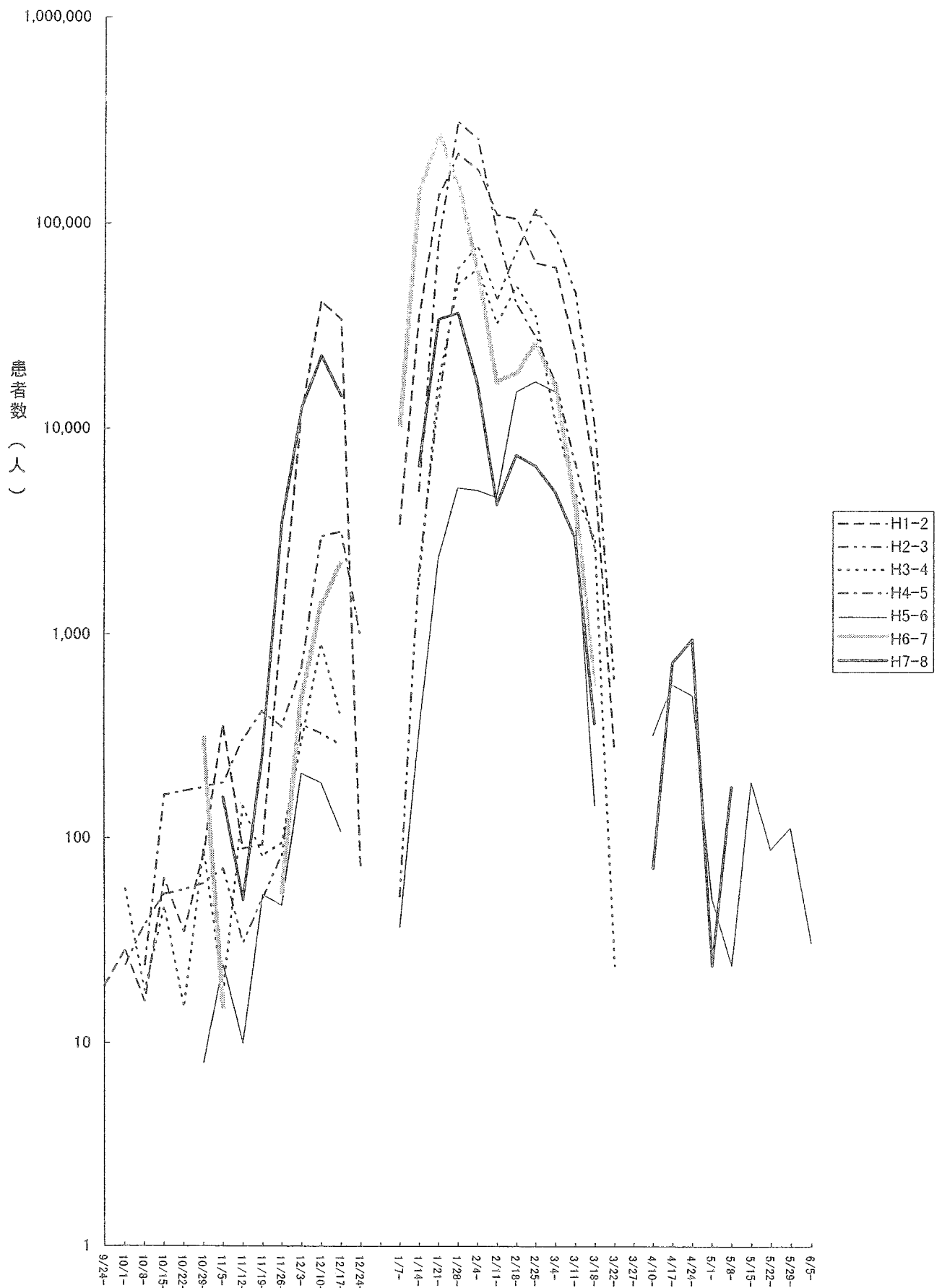
6. インフルエンザ様疾患総患者数（昭和 61 年 ～ 平成 8 年）

インフルエンザ様疾患発生状況（年次別）



（備考） 疾病発生数は、保育所、幼稚園、小学校、中学校等が対象である。

7. インフルエンザ様疾患週別発生状況（年次別週別）



8. インフルエンザ様疾患発生報告（最終報）

累計7.10.22-8. 5.11

	施設数		休校数		学年閉鎖 学校数		学級閉鎖 学校数		在籍者数		患者数		欠席者数		初発 年月日	ウイルス分離状況	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計		Aノ運	A香港 B型
北海道	3	554	1	57	2	150		347	240	30811	179	19533	63	7492	7.10.26	8. 2.1	
青森	0	48		9		27		12		4173		2351		997	7.10.23	8. 2.	
岩手	0	19		9		7		3		1099		644		462	7. 2. 3	8. 2.1	
宮城	0	13		6		0		7		1030		497		450	8. 1.11	8. 1.1	
秋田	0	16		7		6		3		1143		758		523			
山形	0	98		30		46		23		8562		4239		1820	7.12. 4	7.12.2	
福島	0	1		0		0		1		25		19		14			8. 2.2
茨城	0	17		3		4		10		787		535		323	8. 1.12	8. 2.	
栃木	0	15		0		5		10		783		390		228	7.12.14	7.12.2	
群馬	0	97		7		12		78		3624		1873		1253	7.12. 6	7.12.1	
埼玉	0	309		1		29		279		17885		7519		5614	7.12. 6	7.12.1	8. 1.1
千葉	0	51		2		9		40		2840		1350		949	7.12.11	7.12.1	
東京	0	1014		11		20		983		42148		26234		12126	7.12. 1	7.12.2	8. 1.1
神奈川	0	320		9		19		292		19646		10640		5586	7.11.30	7.12.1	8. 2.1
新潟	0	260		41		108		111		24305		11556		5068			8. 2.
富山	0	18		1		4		13		8607		1784		504	8. 1.16	8. 1.2	
石川	0	25		1		10		14		879		458		285	8. 1.20	8. 1.3	
福井	0	10		3		4		3		405		269		165	7.12.19	8. 1.1	
山梨	0	42		7		20		15		2439		1435		812	8. 1.19	8. 1.2	
長野	0	3		1		2		0		240		113		89	8. 1.22	8. 1.2	
岐阜	0	168		18		64		86		8104		4687		2482	7.12.11	7.12.1	8. 1.3
静岡	0	4		2		1		1		155		94		61	8. 1.30	8. 2.	8. 4.
愛知	0	58		6		13		39		2713		1634		1015	7.12.11	8. 1.3	
三重	0	266		17		86		163		10450		6342		3384	7.12.13	8. 1.	
滋賀	0	171		9		37		125		8334		4482		2724	7.12. 7	7.12.2	
京都	0	126		2		36		38		5090		2936		1580	7.11.24	7.12.2	
大阪	0	493		22		43		428		30744		15185		9715	7.11. 7	7.12.	
兵庫	0	683		89		120		474		51139		25867		17236	7.11. 7	7.12.	
奈良	0	118		7		10		101		5234		2926		1782	7.12. 7	7.12.1	
和歌山	0	189		19		84		86		6585		3826		1821	7.11.13	7.12.2	
鳥取	0	18		1		10		7		1255		724		471	7.11.20	7.12.	
島根	0	142		27		67		48		6655		3881		2208	7.12. 5	7.12.	
岡山	0	193		35		75		83		11046		6398		3872	7.11.30	7.12.1	
広島	0	97		11		53		33		4019		2496		1488	7.12. 1	7.12.1	
山口	0	116		25		44		47		7293		4269		2361	7.12. 6	7.12.1	
徳島	0	7		1		5		1		252		125		125			
香川	0	20		6		11		3		1042		471		471	8. 1.22	8. 1.3	
愛媛	0	6		3		1		2		2186		675		353	8. 1.22	8. 1.2	
高知	0	15		3		10		2		550		309		156			
福岡	0	125		4		21		100		6678		3976		2105	7.12.12	8. 2.	
佐賀	0	12		4		1		7		864		420		277	8. 1.17	8. 2.	
長崎	0	11		6		0		5		676		430		217	8. 1.22	8. 2.	8. 2.2
熊本	0	100		7		38		55		3777		2246		1104	8. 1.10	8. 1.2	
大分	0	29		4		14		11		1697		1027		482	8. 1.16	8. 1.2	
宮崎	0	5		1		2		2		473		248		158	8. 1.16	8. 1.3	
鹿児島	0	68		14		24		30		4737		2891		1673	7.12.18	8. 1.2	
沖縄	0	0		0		0		0		0		0		0			
計	3	6171	1	548	2	1352	0	4271	240	353179	179	190942	63	104081			
昨年同期	1	18069	0	1527	0	4225	1	12317	63	1535564	48	832549	14	370765	(H6.10.30~H7. 4.22)		
再	札	0	15	0	0	2	13	1443		923		396		67	8. 1.26		
	仙	0	5	0	0	0	5	161		48		48					
	千	0	0	0	0	0	0	0		0		0					
	横	0	6	0	0	0	6	262		141		117	7.12.15		7.12.2		
	川	0	15	1	2	12	1100	506		334	7.12. 5						
	名	0	34	2	6	26	1338	813		520	7.12.11		7.12.1				
	京	0	1	0	0	1	55	14		14	8. 2. 1						
	大	0	37	4	2	31	2376	1404		877	7.12. 4		7.12.				
掲	神	0	57	9	14	34	4300	1577		1559	7.11.20		7.11.2		8. 4.3		
	広	0	2	1	1	0	402	200		139	7.12. 4		7.12.1				
	北九州	0	32	3	6	23	2151	1419		622	8. 1.22		8. 2.1				
	福岡	0	5	0	1	4	248	153		111	7.12.13		7.12.2				

(参考) 調査対象外でのウイルス分離状況

注: 累計は前報までの修正数を含む

(Aノ運型)

(A香港型)

神戸市	7.11.27	兵庫県	7.12.15	長野県	8. 1. 4	和歌山県	8. 2. 9	高知県	7.12.22	大阪府	8. 1.29
広島県	7.11.30	京都市	7.12.18	石川県	8. 1.16	茨城県	8. 2.14	群馬県	8. 1.11	札幌市	8. 1.30
大阪府	7.12. 1	徳島県	7.12.19	長崎県	8. 1.16	岩手県	8. 2.19	横浜市	8. 1.11	新潟県	8. 2.20
鳥取県	7.12. 4	横浜市	7.12.20	名古屋市	8. 1.16			北九州市	8. 1.12	川崎市	8. 2.20
札幌市	7.12. 5	福岡市	7.12.20	福島県	8. 1.20			東京都	8. 1.18	山形県	8. 3. 8
群馬県	7.12. 7	宮城県	7.12.21	北九州市	8. 1.20			青森県	8. 1.22	富山県	8. 3.18
大阪府	7.12. 8	香川県	7.12.21	青森県	8. 1.22			長野県	8. 1.25	兵庫県	8. 4.22
仙台市	7.12.12	富山県	7.12.25	福井県	8. 1.22			福岡市	8. 1.25		
広島市	7.12.12	鹿児島県	7.12.26	山梨県	8. 1.26			香川県	8. 1.26		
川崎市	7.12.13	高知県	7.12.28	静岡県	8. 1.30			仙台市	8. 1.26		

9. 平成7年 性病患者数・り患率(人口10万対)、病類・年次別

昭和26年～平成7年

年次		総数		梅毒		りん病		軟性下かん		そけいりんば 肉芽しゅ症	
		患者数	り患率	患者数	り患率	患者数	り患率	患者数	り患率	患者数	り患率
1951	昭和26年	271,024	320.5	77,044	91.1	177,774	210.2	15,903	18.8	303	0.4
52	27	224,315	261.3	50,528	58.9	158,670	184.8	14,909	17.4	208	0.2
53	28	191,856	220.4	38,721	44.5	140,458	161.4	12,514	14.4	163	0.2
54	29	184,115	208.5	33,829	38.3	141,416	160.2	8,745	9.9	125	0.1
55	30	167,950	188.1	28,673	32.1	134,571	150.7	4,636	5.2	70	0.1
56	31	144,273	159.9	24,323	26.9	116,842	129.5	3,068	3.4	40	0.0
57	32	106,447	116.9	18,011	19.8	86,195	94.6	2,216	2.4	25	0.0
58	33	38,324	41.7	13,211	14.4	24,367	26.5	733	0.8	13	0.0
59	34	21,710	23.4	11,468	12.3	9,970	10.7	266	0.3	6	0.0
1960	35	19,086	20.4	10,126	10.8	8,736	9.4	214	0.2	10	0.0
61	36	13,889	14.7	7,313	7.8	6,364	6.7	207	0.2	5	0.0
62	37	11,687	12.3	6,301	6.6	5,125	5.4	256	0.3	5	0.0
63	38	10,154	10.6	5,761	6.0	4,166	4.3	221	0.2	6	0.0
64	39	9,540	9.8	5,326	5.5	4,041	4.2	169	0.2	4	0.0
65	40	10,849	11.0	6,001	6.1	4,663	4.7	179	0.2	6	0.0
66	41	18,071	18.2	10,821	10.9	6,951	7.0	288	0.3	11	0.0
67	42	24,125	24.1	11,755	11.8	11,874	11.8	490	0.5	6	0.0
68	43	18,758	18.5	8,848	8.7	9,592	9.5	316	0.3	2	0.0
69	44	17,641	17.2	7,767	7.6	9,645	9.4	226	0.2	3	0.0
1970	45	14,641	14.0	6,138	5.9	8,349	8.0	151	0.1	3	0.0
71	46	12,547	11.8	5,105	4.8	7,299	6.9	137	0.1	6	0.0
72	47	12,707	11.9	5,449	5.1	7,097	6.7	157	0.1	4	0.0
73	48	12,795	11.8	5,281	4.9	7,375	6.8	138	0.1	1	0.0
74	49	10,340	9.4	4,165	3.8	6,047	5.5	126	0.1	2	0.0
75	50	8,860	7.9	3,635	3.2	5,127	4.6	97	0.1	1	0.0
76	51	8,392	7.4	3,284	2.9	5,037	4.5	69	0.1	2	0.0
77	52	7,949	7.0	3,026	2.7	4,858	4.3	63	0.1	2	0.0
78	53	8,083	7.0	2,874	2.5	5,130	4.5	76	0.1	3	0.0
79	54	9,114	7.8	2,444	2.1	6,581	5.7	88	0.1	1	0.0
1980	55	9,819	8.4	2,081	1.8	7,661	6.5	75	0.1	2	0.0
81	56	10,490	8.9	1,627	1.4	8,777	7.4	86	0.1	-	-
82	57	12,166	10.2	1,668	1.4	10,409	8.8	89	0.1	-	-
83	58	14,055	11.8	1,687	1.4	12,291	10.3	74	0.1	3	0.0
84	59	15,268	12.7	1,642	1.4	13,511	11.2	106	0.1	9	0.0
85	60	13,446	11.1	1,904	1.6	11,443	9.5	94	0.1	5	0.0
86	61	12,609	10.4	2,598	2.1	9,915	8.1	95	0.1	1	0.0
87	62	9,529	7.8	2,928	2.4	6,528	5.3	72	0.1	1	0.0
88	63	8,503	6.9	2,530	2.1	5,931	4.8	34	0.0	8	0.0
89	平成元年	7,610	6.2	2,108	1.7	5,439	4.4	54	0.0	9	0.0
1990	2	7,584	6.1	1,877	1.5	5,646	4.6	53	0.0	8	0.0
91	3	7,095	5.7	1,494	1.2	5,567	4.5	22	0.0	12	0.0
92	4	4,533	3.6	1,055	0.8	3,465	2.8	12	0.0	1	0.0
93	5	2,538	2.0	804	0.6	1,724	1.4	9	0.0	1	0.0
94	6	2,118	1.7	666	0.5	1,448	1.2	4	0.0	-	-
95	7	2,234	1.8	530	0.4	1,699	1.4	5	0.0	-	-

注：昭和47年以前には沖縄県を含まない。

資料：厚生省「伝染病統計」

10. 平成7年 性病患者数、病類別・都道府県別

都道府県	総数	梅毒	りん病	軟性下かん	そけいりんぱ 肉芽しゅ症
全	2, 234	530	1, 699	5	-
北	181	8	173	-	-
海	1	1	-	-	-
青	49	10	39	-	-
岩	-	-	-	-	-
宮	-	-	-	-	-
秋	-	-	-	-	-
山	22	1	21	-	-
福	-	-	-	-	-
茨	-	-	-	-	-
栃	5	1	5	-	-
群	3	-	3	-	-
埼	6	-	6	-	-
千	3	-	3	-	-
東	883	249	632	2	-
神	166	39	126	1	-
奈	36	1	35	-	-
新	-	-	-	-	-
富	-	-	-	-	-
石	5	-	5	-	-
福	4	1	3	-	-
山	44	44	-	-	-
長	18	1	17	-	-
岐	-	-	-	-	-
静	-	-	-	-	-
愛	85	9	75	1	-
三	1	-	1	-	-
滋	-	-	-	-	-
京	79	26	53	-	-
大	119	36	83	-	-
兵	63	28	35	-	-
奈	-	-	-	-	-
和	9	2	7	-	-
歌	7	7	-	-	-
鳥	-	-	-	-	-
島	72	4	68	-	-
岡	9	5	4	-	-
山	73	15	57	1	-
徳	-	-	-	-	-
香	-	-	-	-	-
愛	21	21	-	-	-
高	-	-	-	-	-
福	129	12	117	-	-
佐	1	1	-	-	-
長	-	-	-	-	-
熊	1	-	1	-	-
大	14	2	12	-	-
宮	1	1	-	-	-
鹿	29	1	28	-	-
児	44	4	40	-	-
島					
縄					

資料：厚生省「伝染病統計」

11. 平成7年 梅毒発生状況、月別

		初 期	第 2 期	早期潜伏	後期潜伏	晚 期	先天性	不 詳	総 数
1 月	男	5	2	2	1	7	0	25	42
	女	3	1	1	2	2	0	13	22
2 月	男	5	5	2	0	2	0	20	34
	女	4	0	1	0	1	0	5	11
3 月	男	4	2	3	0	5	0	4	18
	女	4	2	1	2	0	0	1	10
4 月	男	4	3	1	2	7	0	12	29
	女	3	0	1	2	1	0	6	13
5 月	男	7	3	4	0	5	0	10	29
	女	3	1	1	0	0	0	8	13
6 月	男	11	6	4	2	4	0	11	38
	女	4	0	3	0	0	0	5	12
7 月	男	5	3	1	2	5	0	14	30
	女	1	0	2	0	1	2	5	11
8 月	男	7	3	1	0	5	0	13	29
	女	3	0	3	0	4	0	12	22
9 月	男	6	7	2	1	1	0	20	37
	女	2	0	1	1	0	0	4	8
10 月	男	5	3	5	1	1	0	7	22
	女	1	0	3	1	1	0	9	15
11 月	男	7	2	2	0	0	1	24	36
	女	2	0	1	0	0	0	10	13
12 月	男	2	1	4	0	1	1	14	23
	女	2	0	3	1	0	1	6	13

資料：厚生省「伝染病統計」